

茨城県教育財団文化財調査報告第272集

向 原 遺 跡  
小 組 遺 跡  
上加賀田城跡

北関東自動車道(協和～友部)建設  
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XVI

茨城県教育財団文化財調査報告第272集

上小向  
加組原  
賀田遺遺  
城跡跡跡

財団法人  
茨城県教育財団

平成 19 年 3 月

東日本高速道路株式会社  
財団法人 茨城県教育財団

向<sup>むかい</sup>原<sup>はら</sup>遺<sup>い</sup>跡<sup>せき</sup>  
小<sup>こ</sup>組<sup>ぐみ</sup>遺<sup>い</sup>跡<sup>せき</sup>  
上<sup>かみ</sup>加<sup>か</sup>賀<sup>が</sup>田<sup>た</sup>城<sup>じょう</sup>跡<sup>あと</sup>

北関東自動車道(協和～友部)建設  
事業地内埋蔵文化財調査報告書 XVI

平成 19 年 3 月

東日本高速道路株式会社  
財団法人 茨城県教育財団

## 序

茨城県は、県土の均衡ある発展を念頭におきながら地域の特性を生かした振興を図るために、高規格幹線道路などの根幹的な県土基盤の整備とともに、広域的な交通ネットワークの整備を進めております。北関東自動車道建設事業も、その目的に沿って計画されたものであります。

このたび、東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）は、笠間市本戸・上加賀田両地区において、北関東自動車道（協和～友部）建設事業を決定いたしました。この事業地内には埋蔵文化財包蔵地である向原遺跡、小組遺跡、上加賀田城跡が所在します。

財団法人茨城県教育財団は、東日本高速道路株式会社から埋蔵文化財調査についての委託を受け、平成14年4月から平成17年8月にかけて発掘調査を実施いたしました。

本書は、向原遺跡、小組遺跡、上加賀田城跡の調査成果を収録したもので、学術的な研究資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、ひいては教育・文化の向上の一助として御活用いただければ幸いです。

なお、発掘調査から報告書の刊行に至るまで、委託者である東日本高速道路株式会社から多大な御協力を賜りましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

また、茨城県教育委員会、笠間市教育委員会をはじめ、関係各位からいただいた御指導、御協力に対し、感謝申し上げます。

平成19年3月

財団法人 茨城県教育財団

理事長 人 見 實 徳



## 例 言

1 本書は、東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）の委託により、財団法人茨城県教育財団が平成14年度、16年度及び17年度に発掘調査を実施した、茨城県笠間市大字本戸向原4622番地の1ほかに所在する向原遺跡、同市大字上加賀田字北原139番地の2ほかに所在する小組遺跡及び同市大字上加賀田254番地の1ほかに所在する上加賀田城跡の発掘調査報告書である。

2 発掘調査期間及び整理期間は、以下のとおりである。

### 調 査

向 原 遺 跡 平成14年4月1日～平成14年7月31日、平成16年11月1日～平成17年2月28日  
平成17年7月11日～平成17年8月3日

小 組 遺 跡 平成14年4月1日～平成14年11月30日、平成16年11月1日～平成17年3月31日

上 加 賀 田 城 跡 平成16年11月1日～平成17年3月31日

整 理 平成17年4月1日～平成17年9月30日

平成18年4月1日～平成18年7月31日、平成19年1月1日～平成19年3月31日

3 発掘調査は、平成14年度は調査第二課長鈴木美治、平成16年度及び17年度は調査課長川井正一のもと、以下の者が担当した。

### 向原遺跡

平成14年度 首席調査員兼班長 萩野谷悟

首席調査員 山口厚

主任調査員 浅野和久

平成16年度 首席調査員兼班長 江幡良夫

主任調査員 皆川修 平成16年11月1日～平成16年11月30日

平成17年度 首席調査員兼班長 川又清明

主任調査員 市村俊英

### 小組遺跡

平成14年度 首席調査員兼班長 萩野谷悟

主任調査員 川上直登 平成14年4月1日～平成14年9月30日

調査員 早川麗司

主任調査員 横倉要次 平成14年10月1日～平成14年11月30日

平成16年度 首席調査員兼班長 江幡良夫

主任調査員 石川義信 平成16年11月1日～平成16年12月31日

主任調査員 照山大作 平成17年2月1日～平成17年3月31日

主任調査員 柳 雅彦 平成17年3月1日～平成17年3月31日

### 上加賀田城跡

平成16年度 首席調査員兼班長 江幡良夫

主任調査員 大塚雅昭 平成17年2月1日～平成17年3月31日

主任調査員 小松崎和治 平成17年3月1日～平成17年3月31日

4 整理及び本書の執筆・編集は、整理第二課長大森雅之のもと、主任調査員石川義信、調査員早川麗司が担当した。執筆分担は、以下のとおりである。

主任調査員 石川義信 第1章、第2章、第3章、第5章、写真図版

調査員 早川麗司 第1章、第2章、第4章、写真図版

5 小組遺跡の石器の実測・浄写については、その一部を榎大成エンジニアリングに委託した。

## 凡 例

- 1 各遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第IX系座標を原点とし、向原遺跡は $X=+37,600\text{m}$ 、 $Y=+35,280\text{m}$ の交点、小組遺跡は $X=+37,840\text{m}$ 、 $Y=+38,480\text{m}$ の交点、上加賀田城跡は $X=+37,640\text{m}$ 、 $Y=+39,120\text{m}$ の交点をそれぞれ基準点(A1a1)とした。なお、抄録では遺跡の緯度・経度について、世界測地系に基づく緯度・経度も( )を付して併記した。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々40m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々10等分し、4m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA、B、C…、西から東へ1、2、3…とし、「A1区」、「B2区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へa、b、c…、西から東へ1、2、3…0と小文字を付し、名称は、大調査区の名称を冠して「A1a1区」、「B2b2区」のように呼称した。

- 2 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次のとおりである。

遺構	SI-一住居跡	SB-掘立柱建物跡	SH-方形竪穴遺構	SK-火葬墓・墓坑・土坑		
	SE-井戸跡	SD-溝跡	SF-道路跡	SX-不明遺構	PG-ピット群	SA-柵跡
	SY-炭焼窯跡	TP-陥し穴	P-柱穴	K-攪乱		
遺物	P-土器	TP-拓本記録土器	DP-土製品	Q-石器・石製品	M-金属製品	古銭
土層	K-攪乱					

- 3 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

- (1) 遺構全体図の縮尺は、向原遺跡、上加賀田城跡を400分の1、小組遺跡を600分の1とし、各遺構の実測図は縮尺60分の1で掲載することを基本とした。
- (2) 遺物は原則として3分の1の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。
- (3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。

	火床面、焼土、赤変		炉、黒色処理、繊維土器断面						
	竈材、粘土、煤		油煙、石断面						
●	土器	○	土製品	□	石器・石製品	△	金属製品	- - - - -	硬化面

- 4 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）を使用した。

- 5 遺構一覧表及び遺物観察表の表記は次のとおりである。

- (1) 計測値の( )内の数値は現存値を、[ ]内の数値は推定値を示した。遺物観察表の計測値の単位は、cm、gで示した。
  - (2) 遺物観察表の備考の欄は、残存率、写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。
  - (3) 遺物番号については、各遺跡とも、土器、拓本記録土器、土製品、石器・石製品、金属製品ごとに通し番号とし、挿図、観察表、写真図版に記した番号は同一とした。
- 6 「主軸」は、炉又は竈を持つ堅穴住居跡についてはそれらの中心を通る軸線とし、他の遺構については長軸(径)を主軸とみなした。「主軸方向」は主軸が座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した(例 N-10°-E)。

- 7 整理時に遺構名称・番号を変更した場合、旧遺構名称・番号を( )を付して併記した。

## 抄 録

ふりがな	むかいほらいせき こぐみいせき かみかがたじょうあと							
書名	向原遺跡 小組遺跡 上加賀田城跡							
副書名	北関東自動車道(協和～友部)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書							
巻次	XVI							
シリーズ名	茨城県教育財団文化財調査報告							
シリーズ番号	第272集							
著者名	石川義信 早川麗司							
編集機関	財団法人 茨城県教育財団							
所在地	〒310-0911 茨城県水戸市見和1丁目356番地の2		TEL 029-225-6587					
発行日	2007(平成19)年3月23日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因
向原遺跡	茨城県笠間市大字本戸字向原4622番地の1ほか	08216	36度	140度	88	20020401	9,942㎡  2,147㎡  540㎡	北関東自動車道(協和～友部)建設事業に伴う事前調査
		—	20分	13分	～	～		
		143	13秒	41秒	103m	20020731		
		(36度	(140度	20分	13分	20041101		
		25秒	29秒)	～	～	20050228		
20050711	～	20050803						
小組遺跡	茨城県笠間市大字上加賀田字北原139番地の2ほか	08216	36度	140度	34	20020401	11,679㎡  5,108㎡	
		—	20分	15分	～	～		
		171	23秒	43秒	52m	20021130		
(36度	(140度	20分	15分	20041101				
34秒	39秒)	～	～	20050331				
上加賀田城跡	茨城県笠間市大字上加賀田254番地の1ほか	08216	36度	140度	29	20041101	6,912㎡	
		—	20分	16分	～	～		
		047	16秒	21秒	43m	20050331		
(36度	(140度	20分	15分					
28秒	57秒)							
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
向原遺跡	包蔵地	縄文	遺物包含層4か所		縄文土器, 石器(石鏃・剥片)			
	狩猟場	縄文	陥し穴	31基	縄文土器, 石器(石鏃・剥片)			
	集落跡	縄文	竪穴住居跡	3軒	縄文土器, 石器(石鏃・剥片)			
			屋外炉跡	2基				
		平安	竪穴住居跡	2軒	土師器, 石器(砥石)			
墓跡	近世	墓坑	5基	金属製品(煙管・古銭・釘)				

	その他	時期不明	方形竪穴遺構 1基 土坑 71基 溝跡 5条	縄文土器, 石器 (石鏃)	
小 組 遺 跡	包蔵地	旧 石 器	石器集中地点 8か所	石器 (有樋尖頭器・尖頭器・ 打製石斧・石核・二次加工の ある剥片・剥片・砕片・敲石・ 台石)	第1号石器集中地点 は、水晶を石材とし て尖頭器を製作して おり、2000点ほどの 剥片・台石が出土し
	狩猟場	縄 文	陥し穴 13基	縄文土器 (深鉢)	ている。水晶製の有 樋尖頭器が2点出土 しており、県内初の 出土例である。
	集落跡	平 安	竪穴住居跡 25軒 火葬墓 1基 土坑 5基 不明遺構 1基	土師器, 須恵器 (円面硯), 土製品 (支脚・紡錘車・置き甕・ 土玉・隅物形土製品), 石製 品 (支脚・砥石), 金属製品 (鉄 斧・鉄鎌・鉄織・紡錘車・刀子) 鍛冶関連遺物 (羽口・椀状滓・ 鉄滓)	
	墓 跡	近 世	墓坑 9基	金属製品 (煙管・古銭・鉄鍋・ 刀子・釘)	
	その他	時期不明	掘立柱建物跡 5棟 井戸跡 9基 土坑 319基 溝跡 15条 道路跡 1条 柵跡 5条 ピット群 7か所	陶器 (碗・播鉢) 磁器 (碗) 土師質土器 (短頭蓋) 縄文土器 石器 (石鏃・敲石・磨石)	
上加賀田城跡	その他	時期不明	炭焼窯跡 7基 溝跡 1条	土師質土器 (小皿・鍋), 陶 器 (碗)	
要 約	<p>向原遺跡は、縄文時代から近世まで断続的に営まれた複合遺跡である。縄文時代は、丘陵性台地の最頂部付近に短期的と見られる集落が形成され、緩やかに傾斜する台地上が狩猟場とされていたと考えられ、31基の陥し穴が確認されている。平安時代には小規模な集落が短期間営まれたと考えられる。近世には墓城が形成されている。</p> <p>小組遺跡は、旧石器時代から近世まで断続的に営まれた複合遺跡である。旧石器時代の石器集中地点、縄文時代の陥し穴は、丘陵上の平坦部から斜面部及び裾部の緩斜面にかけて東西に直線的に配列されている。また、平安時代に集落が形成されるが、短期間で廃絶されている。その後江戸時代になって墓城が形成されている。</p> <p>上加賀田城跡は、戦国時代末戸氏の出城で、笠間に対しての境目城であったと考えられている。調査区は城跡東から北側の急斜面部にあたり、城郭に関連する遺構は確認されなかった。</p>				



# 目 次

序	
例言	
凡例	
抄録	
目次	
第1章 調査経緯	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査経過	1
第2章 位置と環境	3
第1節 地理的環境	3
第2節 歴史的環境	3
第3章 向原遺跡	9
第1節 遺跡の概要	9
第2節 基本層序	9
第3節 遺構と遺物	11
1 縄文時代の遺構と遺物	11
(1) 竪穴住居跡	11
(2) 陥し穴	16
(3) 屋外炉跡	35
(4) 遺物包含層	36
2 平安時代の遺構と遺物	45
竪穴住居跡	45
3 近世の遺構と遺物	49
墓坑	49
4 その他の遺構と遺物	57
(1) 方形竪穴遺構	57
(2) 土坑	58
(3) 溝跡	71
(4) 遺構外出土遺物	73
第4節 まとめ	77

第4章 小組遺跡 .....	91
第1節 遺跡の概要 .....	91
第2節 基本層序 .....	91
第3節 遺構と遺物 .....	93
1 旧石器時代の遺構と遺物 .....	93
(1) 調査の方法 .....	93
(2) 石器集中地点の記載方法 .....	93
(3) 石器の記載方法 .....	93
(4) 石器集中地点の層序 .....	95
(5) 石器集中地点の概要 .....	96
2 縄文時代の遺構と遺物 .....	155
陥し穴 .....	155
3 平安時代の遺構と遺物 .....	162
(1) 竪穴住居跡 .....	162
(2) 火葬墓 .....	218
(3) 土坑 .....	219
(4) 不明遺構 .....	221
4 近世の遺構と遺物 .....	223
墓坑 .....	223
5 その他の遺構と遺物 .....	230
第4節 まとめ .....	242
第5章 上加賀田城跡 .....	249
第1節 遺跡の概要 .....	249
第2節 基本層序 .....	249
第3節 遺構と遺物 .....	251
1 炭焼窯跡 .....	251
2 溝跡 .....	257
3 トレンチ .....	258
4 遺構外出土遺物 .....	263
第4節 まとめ .....	264
写真図版 .....	271

# 第1章 調査経緯

## 第1節 調査に至る経緯

東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）は、常陸那珂港と北関東の各主要都市を結ぶ北関東自動車道の早期開通を目指している。

平成10年11月4日、日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、北関東自動車道建設事業地内における埋蔵文化財の所在の有無とその取り扱いについて照会した。これを受けて茨城県教育委員会は、平成11年1月7・8日に向原遺跡、平成10年12月15日～18日に小組遺跡、平成10年12月15日～18日及び平成12年6月19日に上加賀田城跡の現地踏査を、平成13年12月12・13日に向原遺跡、平成13年2月26日～28日、7月10・11日に小組遺跡、平成13年2月26日～28日に上加賀田城跡の試掘調査をそれぞれ実施し、遺跡の所在を確認した。平成14年1月16日に向原遺跡、平成13年8月8日に小組遺跡、平成13年3月28日に上加賀田城跡について、茨城県教育委員会教育長は、日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長あてに、事業地内に遺跡が所在する旨回答した。

日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、平成14年2月25日に文化財保護法第57条の3第1項（現 第94条）の規定に基づき、土木工事のための埋蔵文化財包蔵地の発掘について通知した。茨城県教育委員会教育長は、現状保存が困難であることから、記録保存のための発掘調査が必要であると判断し、日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長あてに、工事着手前に発掘調査を実施するよう、平成14年2月26日にそれぞれ通知した。

日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長に対して、向原遺跡については平成14年3月1日、平成16年3月10日及び平成17年1月25日、小組遺跡については平成14年3月1日及び平成16年3月10日、上加賀田城跡については平成14年3月10日に、北関東自動車道建設事業に係わる埋蔵文化財発掘調査の実施についてそれぞれ協議した。茨城県教育委員会教育長は、日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長あてに、向原遺跡については平成14年3月1日、平成16年3月15日及び平成17年2月14日、小組遺跡については平成14年3月1日及び平成16年3月15日、上加賀田城跡については平成16年3月15日に発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて埋蔵文化財の調査機関として財団法人茨城県教育財団を紹介した。

財団法人茨城県教育財団は、日本道路公団東京建設局水戸工事事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、向原遺跡については平成14年4月1日から平成14年7月31日、平成16年11月1日から平成17年2月28日及び平成17年7月11日から平成17年8月3日まで、小組遺跡については平成14年4月1日から平成14年11月30日及び平成16年11月1日から平成17年3月31日まで、上加賀田城跡については平成16年11月1日から平成17年3月31日まで発掘調査をそれぞれ実施することとなった。

## 第2節 調査経過

向原遺跡、小組遺跡及び上加賀田城跡の調査の経過について、その概要を表で記載する。

向原遺跡  
平成14年度

工程	期間	4月	5月	6月	7月
調査準備 表土除去 遺構確認		■		■	
遺構調査			■		■
遺物洗浄 注記作業 写真整理			■		
撤 収					■

平成16年度

工程	期間	11月	12月	1月	2月
調査準備 表土除去 遺構確認		■			
遺構調査		■			
遺物洗浄 注記作業 写真整理			■		
撤 収					■

平成17年度

工程	期間	7月	8月
調査準備 表土除去 遺構確認		■	
遺構調査		■	
遺物洗浄 注記作業 写真整理		■	
撤 収			■

小組遺跡  
平成14年度

工程	期間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
調査準備 表土除去 遺構確認		■		■		■		■	
遺構調査			■						
遺物洗浄 注記作業 写真整理			■						
撤 収									■

平成16年度

工程	期間	11月	12月	1月	2月	3月
調査準備 表土除去 遺構確認		■				
遺構調査			■			
遺物洗浄 注記作業 写真整理			■			
撤 収						■

上加賀田城跡  
平成16年度

工程	期間	11月	12月	1月	2月	3月
調査準備 表土除去 遺構確認		■				■
遺構調査		■				
遺物洗浄 注記作業 写真整理				■		
撤 収						■

## 第2章 位置と環境

### 第1節 地理的環境

向原遺跡は茨城県笠間市大字本戸に、小組遺跡、上加賀田城跡は茨城県笠間市大字上加賀田に所在している。いずれも旧笠間市域に位置している。旧市域<sup>1)</sup>は茨城県中央部の西端に位置しており、周囲を鶴足山塊・筑波山塊の山々とそこから延びる丘陵に囲まれた盆地である。旧市域内を潤沼川が南流し、飯田川、片庭川、稲田川が合流し、それぞれの流域に平地が形成されている。旧市域の大部分は丘陵で、平地の占める割合は少ない。

向原遺跡は、旧市域の南部に位置し、筑波山塊北縁の山々から続く丘陵性台地の縁辺部に立地しており、調査区の標高は100m前後である。台地の西側は、南指原川に沿って狭小な平地が続き、水田として利用されている。水田面と調査区最頂部との標高差は約30mである。調査前の現況は畑地、山林、荒蕪地である。

小組遺跡は旧市域の南東部に位置し、潤沼川右岸の標高約52mの丘陵上に東西に延びる狭小な平坦部から潤沼川に向かって傾斜する斜面部と、標高約39mから約34mの緩やかに傾斜する裾部に立地している。調査前の現況は、山林・畑地である。

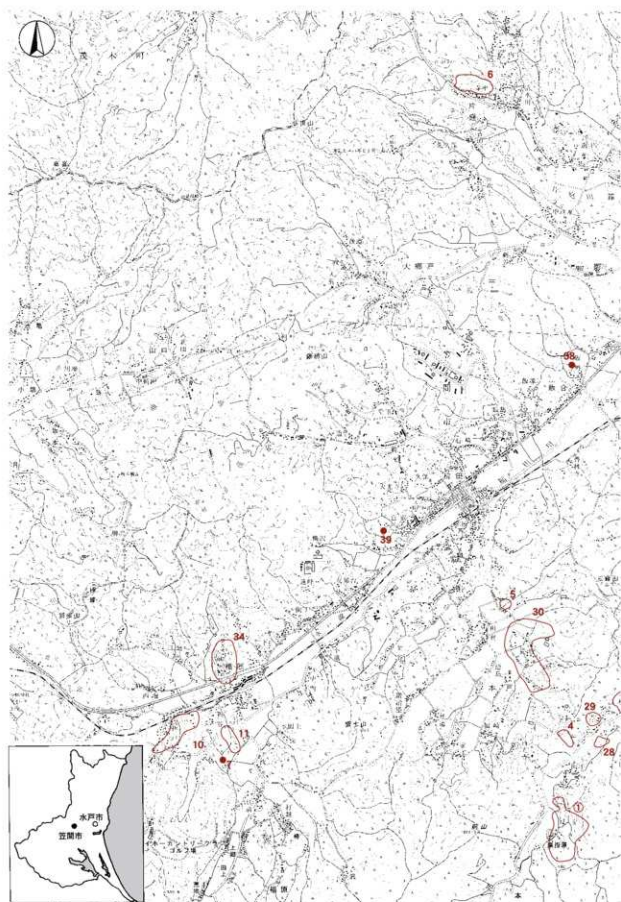
上加賀田城跡は旧市域の南東端に位置し、標高56mの独立した小丘陵に立地している。山頂は平坦で、一边50mほどの方形を呈し、主郭跡と考えられ、二の郭、三の郭跡は南側の下っていく。小丘陵の東側から北側部分は急な斜面となっており、わずかな平場を経て潤沼川に続いており、潤沼川が堀の役目を果たしていたと考えられる。城跡の西から南側には水田が開け、こちらは泥田堀の役目を果たしていたと考えられる。調査区は、小丘陵の北東から北側部分で、調査前の現況は山林である。

### 第2節 歴史的環境

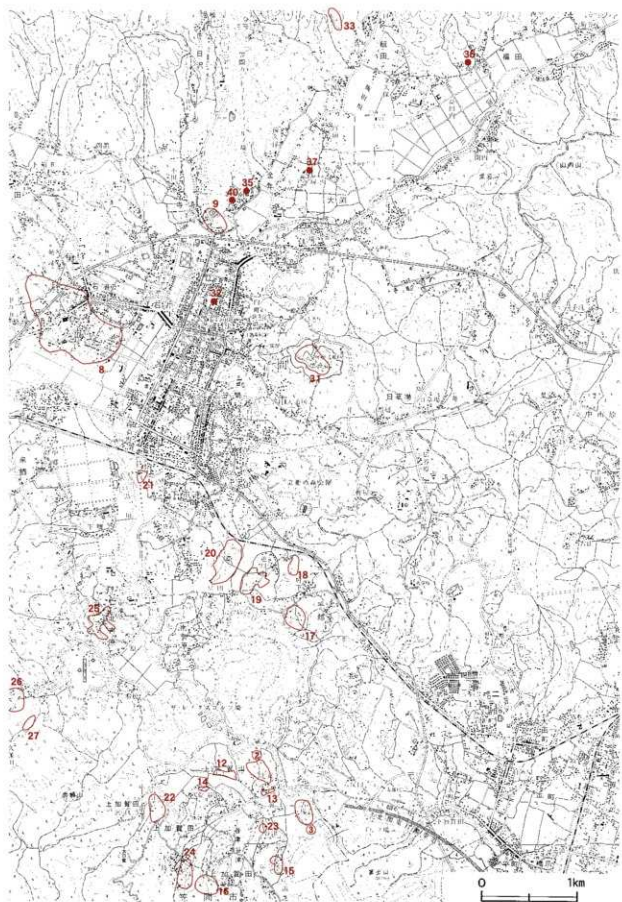
笠間市内の遺跡は、茨城県遺跡地図<sup>2)</sup>に171遺跡が登録されている。また、笠間市史編さん事業の一環で、綿密な分布調査が筑波大学によって行なわれている<sup>3)</sup>。これらの分布調査の結果と今までの発掘調査事例をもとに向原遺跡、小組遺跡、上加賀田城跡に関連する主な遺跡を中心に述べていく。

旧石器時代については、確実に旧石器時代といえる遺跡は確認されていないが、旧石器時代の所産と考えられる遺物は確認されている。石崎遺跡(4)、本戸(本殿)城跡(5)からは、それぞれ頁岩製とチャート製の細石刃が2点採集されている<sup>4)</sup>。西田遺跡(6)出土の遺物の中からは、神子柴型と考えられる石斧の未製品が確認されている。福原打越塚群<sup>5)</sup>(7)からは頁岩製と瑪瑙製の縦長剥片2点が、塚の盛土内から出土している。石井遺跡群<sup>6)</sup>(8)の平成14年度発掘調査では、硬質頁岩製の縦長剥片1点とチャート製の石核が1点出土している。このように旧石器時代の資料は極めて少ないが、「近隣地域の水戸市や勝田市においては旧石器時代の遺跡が発見されており、笠間市域においても旧石器時代の遺跡が発見されることが予測される。」と述べられている<sup>3)</sup>。

縄文時代の遺跡は、早期から晩期まですべての時期にわたり確認されている。寺崎台地遺跡(現在は峯崎遺跡)<sup>7)</sup>(9)では、後期に属する竪穴住居跡1軒と円形溝状遺構1基、石井台遺跡(現在は石井遺跡群)<sup>8)</sup>では時期は不明であるが、フラスコ形土坑1基が確認されている。中山遺跡<sup>9)</sup>(10)では竪穴住居跡は早期後半が1軒、土坑は早期後半4基、前期前半1基、前期後半3基、陥し穴はおおむね早期後半から前期後半と推測されるものが6基確認されており、尾根部の平坦面を中心に集落がさらに広がる可能性が指摘されている。福原打越塚群では、前期の竪穴住居跡が2軒確認されている。周辺地域の調査事例も含めて推測すると、縄文時



第1図 向原遺跡・小組遺跡・上加賀田城跡周辺遺跡分布図



代の陥し穴が構築された狩猟場が、笠間市域を囲む丘陵に広く分布しているものと考えられる。

奈良・平安時代は遺跡数が一番多く、発掘調査事例も比較的多い。石井台遺跡は、国道50号線の笠間バイパス道路建設に伴い調査され、「中火殿」と判読できる墨書土器が出土していることで著名である。8世紀から11世紀の集落跡で、堅穴住居跡31軒の他、9世紀中葉と9世紀後葉の2時期に区分できる掘立柱建物跡7棟が確認され、「中火殿」「中」「殿」「三和田」「麻呂」等の墨書土器や転用硯、朱墨痕のある坏・椀などが出土していることから、「軍団との関わりを指摘する声も聞かれる『中火殿』や50㎡を超える倉庫であるVI号掘立柱建物の存在を含めて、集落内にそうした遺構や遺物と密接に関わる有力者が居住していた可能性が高い」と指摘されている<sup>9)</sup>。中山遺跡では9世紀後葉から集落が形成され、11世紀前葉まで継続する。時期ごとに変化する住居の規模、竈の向きと付設位置は、「同一郷内の動き」と分析されている<sup>10)</sup>。福原原遺跡<sup>11)</sup> (11) では、堅穴住居跡は8世紀代が2軒、9世紀代が1軒、時期不明が1軒、掘立柱建物跡は平安時代が1棟確認されている。石井台遺跡のように長期間継続する拠点集落や、中山遺跡、福原原遺跡のようにある一定期間だけの集落のほか、上加賀田宮後東遺跡<sup>12)</sup> (12) のように短期間で廃絶する集落もある。上加賀田宮後東遺跡では堅穴住居跡6軒が確認されており、すべて9世紀末葉から10世紀初頭のものである。墨書土器が38点出土しており、「久寶」「千」「斤」「矢」「峯」「末」が判読されている。同じ文字が複数の堅穴住居跡から出土しており「標識文字」と考えられ、山間部を開発した集団の存在が想定されている。奈良・平安時代の単独の遺跡としては、北原遺跡 (13)、荒谷北遺跡 (14)、上加賀田打越塚群 (15)、上加賀田谷津遺跡 (16)、間瀬久保遺跡 (17)、手越逆川東遺跡 (18)、手越逆川西遺跡 (19)、下市毛逆川遺跡 (20)、鍛冶屋遺跡 (21) がある。また、縄文時代で一度断絶してこの時代に再び形成される遺跡としては、近藤峰遺跡 (22)、釜口遺跡 (23)、八反田遺跡 (24)、添川遺跡 (25)、上ノ台遺跡 (26)、古坪遺跡 (27)、本戸宮前遺跡 (28)、大日後遺跡 (29)、石崎遺跡、荒牧遺跡群 (30) がある。特に、丘陵地帯に奈良・平安時代の遺跡が急増しており、その要因が何かは不明である。今後の調査研究が待たれる。

中世の旧市域は、下野宇都宮を本拠とした宇都宮氏の支族である笠間氏の所領であったが、上加賀田城跡が所在する上加賀田地区は穴戸氏の支配下に属し、下加賀田地区を含め、加賀田と呼ばれた<sup>13)</sup>。中世の城館跡は、笠間城跡 (31)、麓城跡 (32)、飯田城跡 (33)、本戸城跡、福原城跡 (34)、岡ノ宿城 (大橋城) 跡、金井前東館跡 (35)、福田館跡 (36)、大洲館跡 (37)、飯岡館跡 (38)、稲田城跡 (39)、金井前西館跡 (40) 等がある。

※ 文中の ( ) 内の番号は、第1図及び表1の該当番号と同じである。

#### 註

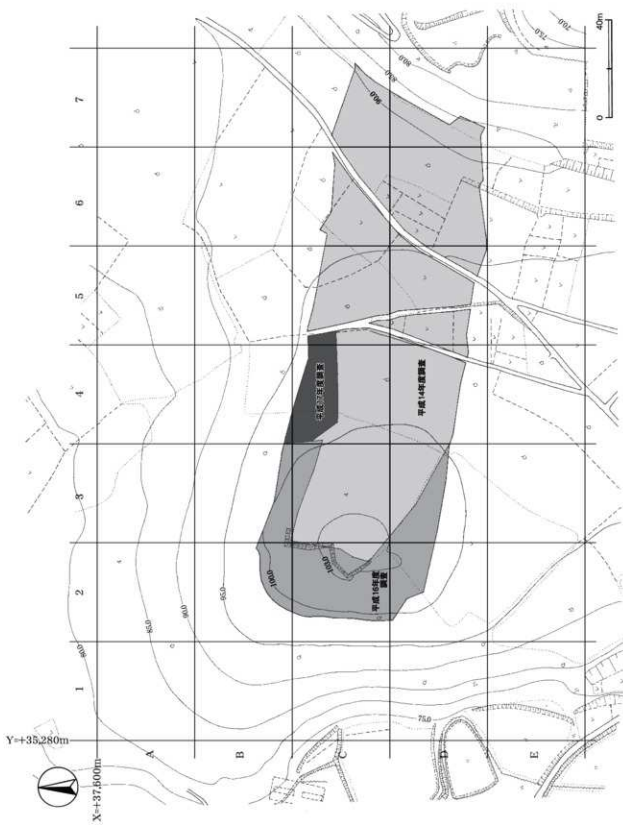
- 1) 笠間市は、平成18年3月19日に友部町、岩間町と合併した。旧市域は旧笠間市域を指している。
- 2) 茨城県教育庁文化課『茨城県遺跡地図(地名表編、地図編)』茨城県教育委員会 2001年3月
- 3) 西野元『笠間市遺跡分布調査報告書』『笠間市史資料』第5集 笠間市史編さん委員会 1992年3月
- 4) 前掲文獻3)の中で2点の榊石刀について、「石器製作時の細部調整削片である可能性」が指摘されている。
- 5) 横倉要次 早川麗司「中山遺跡 福原打越塚群 上加賀田宮後東遺跡 北関東自動車道(協和へ部)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書VI」『茨城県教育財団文化財調査報告』第227集 2004年3月
- 6) 鹿島直樹「石井遺跡群 一般国道355号バイパス新設工事地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第219集 2004年3月
- 7) 千種重樹『寺崎台地遺跡 太平洋観光開発(株)の事務所兼共同住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』寺崎台地遺跡発掘調査会 1992年3月
- 8) 大川清「石井台遺跡」『考古学研究室報告』乙種第3冊 飛鳥書房 1973年7月



- 9) 稲田義弘「石井台遺跡」『古代地方官衙周辺における集落の様相—常陸国河内郡を中心として—』茨城県考古学協会 2005年2月
- 10) 成島一也「中山遺跡 国補第14-03-620-0-051号埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第204集 2003年3月
- 11) 萩原義照「福原原遺跡」『笠間市埋蔵文化財調査報告書』第8集 笠間市教育委員会 福原原遺跡発掘調査会 1995年3月
- 12) 笠間市史編さん委員会『笠間市史「地誌編」』笠間市 2004年3月

表1 向原遺跡・小組遺跡・上加賀田城跡周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	時代					番号	遺跡名	時代								
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平			中世	近世	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈・平	中世	近世
①	向原遺跡		○			○	○	○	21	鍛冶屋遺跡					○		
②	小組遺跡	○	○				○	○	22	近藤峯遺跡	○				○		
③	上加賀田城跡						○		23	笹口遺跡	○				○		
4	石崎遺跡	○	○				○		24	八反田遺跡	○				○		
5	本戸城跡	○	○				○	○	25	添川遺跡	○				○		
6	西田遺跡		○		○				26	上ノ台遺跡	○				○		
7	福原打越塚群	○				○	○	○	27	古坪遺跡	○				○		
8	石井遺跡群	○	○	○	○				28	本戸宮前遺跡	○				○		
9	峯崎遺跡	○	○	○	○				29	大日後遺跡	○				○	○	
10	中山遺跡	○			○	○	○	○	30	荒牧遺跡群		○			○	○	
11	福原原遺跡	○				○			31	笠間城跡							○
12	上加賀田宮後東遺跡			○		○		○	32	麓城跡							○
13	北原遺跡					○			33	飯田城跡							○
14	荒谷北遺跡					○			34	福原城跡							○
15	上加賀田打越塚群					○			35	金井前東館跡							○
16	上加賀田谷津遺跡					○			36	福田館跡							○
17	間瀬久保遺跡					○			37	大湫館跡							○
18	手越逆川東遺跡					○			38	飯岡館跡							○
19	手越逆川西遺跡					○			39	稲田城跡							○
20	下市毛逆川遺跡					○			40	金井前西館跡							○



第2図 向原遺跡調査区設定図

## 第3章 向原遺跡

### 第1節 遺跡の概要

向原遺跡は、筑波山塊北縁の山々からのびる丘陵地に立地している。調査区は、標高100mほどの丘陵性台地の平坦部に位置しており、平成14年度、16年度、17年度と三次にわたり12,629㎡が調査された。調査によって、縄文時代、平安時代及び近世の複合遺跡であることが明らかになった。調査前の現況は、畑地、山林及び荒蕪地である。

遺構は、竪穴住居跡5軒（縄文時代3、平安時代2）、方形竪穴遺構1基（時期不明）、陰し穴31基（縄文時代）、墓坑5基（近世）、土坑71基（時期不明）などが確認された。遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に6箱出土している。主な遺物は、縄文土器（深鉢）、土師器（坏・甕）、土師質土器（鍋）、石器・石製品（剥片・砥石）、金属製品（煙管・釘・古銭）などである。

### 第2節 基本層序

C3j1区及びC4e4区にテストピットを設定し（前者をテストピット1、後者をテストピット2とする）、それぞれ深さ2.1m、2.3mまで掘り下げて基本土層（第3図）の観察を行った。土層は10層に分層される。以下、テストピットの観察から、層序を説明する。

第1層は、黒褐色を呈する表土層である。層厚は最大11cmである。

第2層は、褐色を呈するローム層で、黒色土粒子を微量含み、粘性が強い。層厚は14～29cmである。

第3層は、明褐色を呈するローム層である。層厚は16～30cmである。

第4層は、褐色を呈するローム層で、粘性・締まりとも強い（ただし、テストピット1は2に比べ、粘性・締まりがともに弱い）。層厚は、24～45cm以上である。

第5層は、黄褐色を呈する鹿沼軽石層への漸移層で、ロームブロック及び鹿沼パミスの中量含み、締まりが強い。層厚は9～36cmである。

第6層は、明黄褐色を呈する鹿沼軽石純層で、黒色粒子を極微量含み、粘性は弱く、締まりが強い。層厚は20～71cmである。

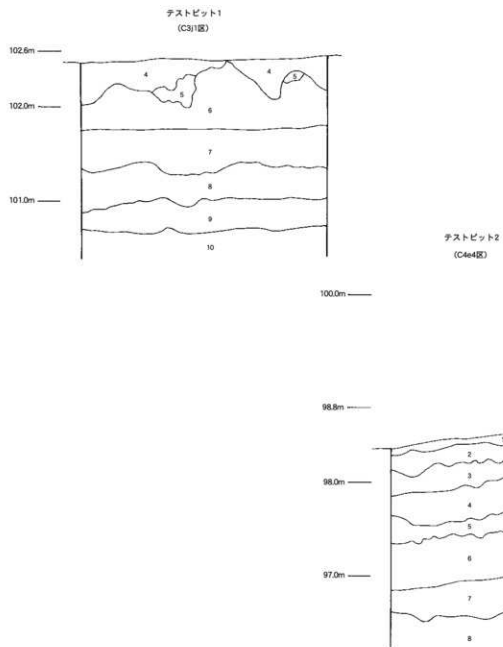
第7層は、褐色を呈するローム層で、粘性が強い。層厚は28～50cmである。

第8層は、褐色を呈するローム層で、締まりが極めて強い。層厚は25～50cmである。

第9層は、褐色を呈するローム層で、粘性が極めて強い。層厚は7～37cmである。

第10層は、にぶい黄褐色を呈する粘土層で、粘土粒子を中量、ローム粒子を少量、花崗岩質の細礫を微量含み、粘性が極めて強い。層厚は最大40cmほどであるが、下層は未掘のため本来の層厚は不明である。

遺構は、台地縁辺部では第2層上面で、台地平坦部では第4層上面で確認している。



第3図 基本土層図

### 第3節 遺構と遺物

#### 1 縄文時代の遺構と遺物

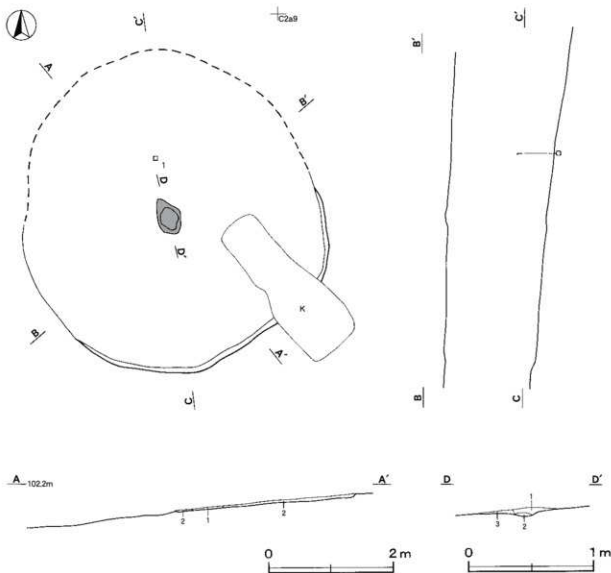
住居跡3軒と屋外炉跡2基を確認した。また、平面形が長楕円形または隅丸長方形で、深い掘り込みを有し、壁がほぼ直立する土坑31基を確認した。これらの土坑は、遺物がほとんど出土していないため時期判断が困難であるが、形状から陥し穴と判断した。さらに、遺物包含層4か所を確認した。以下、遺構と遺物の特徴について記述する。

##### (1) 竪穴住居跡

##### 第3号住居跡（第4・5図）

**位置** 調査区西部のC2a8区で、標高102mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**規模と形状** 覆土が薄く、確認面が北西に緩やかに傾斜しているため、本跡の北西側は床面が露出及び削平された状態で確認された。規模は、長径5.1m、短径4.8mの円形で、主軸方向はN-40°-Wである。壁高は南東側で5cmほどで、外傾して立ち上がっている。



第4図 第3号住居跡実測図

床 ほぼ平坦で、北西部に向かってやや傾斜している。

炉 中央部に位置し、長径60cm、短径40cmの楕円形で、掘り込みを伴わない地床炉である。炉床は火熱で赤変硬化している。

炉断ち割り土層解説

- 1 暗赤褐色 焼土ブロック中量  
 2 暗赤褐色 焼土粒子中量、ロームブロック少量  
 3 褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量

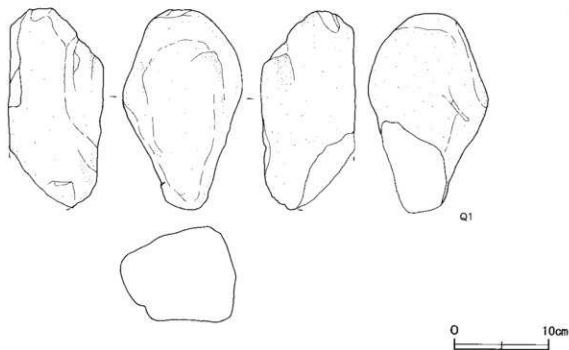
覆土 2層からなる。ロームブロックを多量に含んだ褐色を基調とした層で、6cmほどの深さのため、堆積状況は不明である。

土層解説

- 1 濃い赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子微量  
 2 褐色 ロームブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 縄文土器片16点（深鉢）のほか、石器4点（台石カ1、剥片3）が、中央部から南部にかけて散在している。Q1は中央部の床面に一部潜り込んだ状態で出土している。その他はいずれも細片のため、図示することはできなかった。縄文土器片は、条痕文をモチーフとしたものや繊維を含むものが出土している。

所見 時期は、出土土器から、縄文時代早期後葉から前期前葉と考えられる。



第5図 第3号住居跡出土遺物実測図

第3号住居跡出土遺物観察表（第5図）

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q1	台石カ	21.5	12.9	10.1	(3510)	雲母片岩	一端部欠損	中央部床面	PL16

## 第4号住居跡 (第6・7図)

位置 調査区西部のC2e8区で、標高103mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

重複関係 北東部から中央部にかけて、第105号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 北壁部が擾乱されているため、長径は3.7mほど、短径は3.37mの楕円形又は円形と推定される。

主軸方向はN-43°-Wである。壁高は5~18cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほぼ平坦で、北部に向かってやや傾斜している。

炉 中央部に位置し、長径約100cm、短径70cmの楕円形で、床面を5cmほど掘り込んだ地床炉である。炉床は火熱で赤変硬化している。

伊土層解説 (第2・3層は、伊の断り割り土層である。)

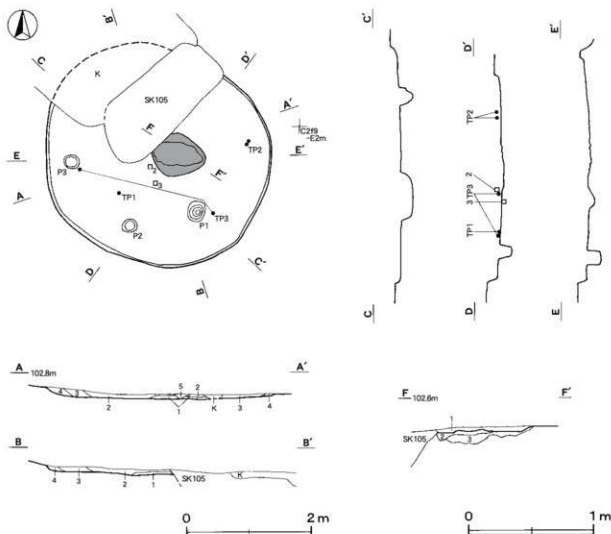
- |                        |                |
|------------------------|----------------|
| 1 暗赤褐色 焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 3 褐色 ロームブロック多量 |
| 2 暗赤褐色 焼土ブロック中量        |                |

ピット 3か所。深さは22~28cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。

覆土 5層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

土層解説

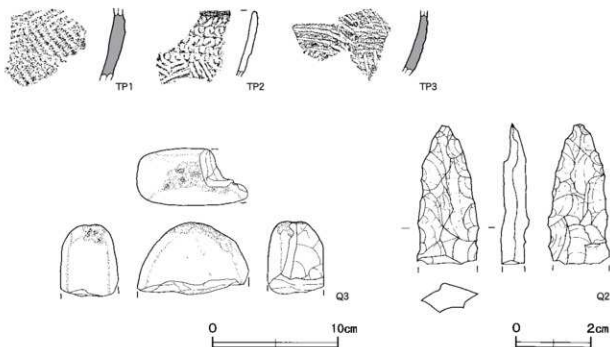
- |                             |               |
|-----------------------------|---------------|
| 1 黒褐色 炭化粒子少量、焼土ブロック・ローム粒子微量 | 4 暗褐色 ローム粒子少量 |
| 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量   | 5 褐色 ローム粒子少量  |
| 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量        |               |



第6図 第4号住居跡実測図

**遺物出土状況** 縄文土器片22点(深鉢)のほか、石器15点(戴石1, 尖頭器1, チャート剥片13)が、中央部から南部の覆土中層から下層を中心に出土している。Q3は中央部の床面, TP1, Q2は中央部の覆土下層から、それぞれ出土している。TP2は東壁際の覆土下層から出土した破片が接合したものである。TP3は南壁際と西壁際のそれぞれ覆土下層から出土した破片が接合したものである。縄文土器片は、繊維を含むものが多い。

**所見** 時期は、出土土器から、前期前葉の可能性が高いと考えられる。



第7図 第4号住居跡出土遺物実測図

第4号住居跡出土遺物観察表(第7図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP1	縄文土器	深鉢	-	5.9	-	長石・石英	橙	普通	RL・LRの単部縄文を羽状に施文	中央部下層	前期前葉 Pl.13
TP2	縄文土器	深鉢	-	5.3	-	長石・雲母	橙	普通	口辺部ループ文	東壁際下層	前期前葉 Pl.12
TP3	縄文土器	深鉢	-	5.3	-	長石	橙	普通	RLの単部縄文	南壁際・西壁 際下層	前期前葉 Pl.13

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q2	尖頭器	(3.7)	1.6	0.8	(4.46)	チャート	基部欠損	中央部下層	Pl.15
Q3	戴石	(5.7)	8.7	4.5	(272)	安山岩	上部部:戴打痕 下部部欠損	中央部床面	

#### 第7号住居跡(第8図)

**位置** 調査区西部のC3c3区で、標高103mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**規模と形状** 径2.90mの円形で、主軸方向はN-0°である。壁高は12~20cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で、中央部が踏み固められている。



炉 中央部に位置している。長径52cm、短径40cmの楕円形で、床面を4cmほど掘り込んだ地床炉である。炉床は火熱で赤変硬化している。

伊土層解説

1 黒 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量

2 種暗赤褐色 ローム粒子少量、焼土ブロック微量

ピット 4か所。深さは16~28cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。

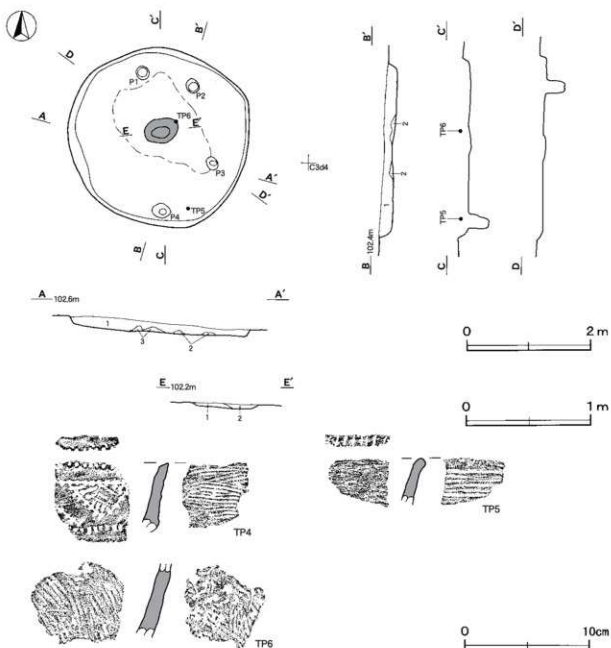
覆土 3層からなる。ロームブロックを含み、不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

土層解説

1 暗 褐色 ロームブロック中量、炭化物微量

3 黒 褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

2 褐 色 ロームブロック多量



第8図 第7号住居跡・出土遺物実測図

遺物出土状況 縄文土器片18点（深鉢）が出土している。ほとんどが細片で、北壁際と南壁際から多く出土している。TP5は南壁際、TP6は中央部のいずれも覆土上層から出土している。TP4は覆土中から出土している。縄文土器片は、条痕文をモチーフとするものが多い。

所見 時期は、出土土器から、早期後葉の可能性が高いと考えられる。

#### 第7号住居跡出土遺物観察表（第8図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP4	縄文土器	深鉢	-	5.5	-	長石・雲母	橙	普通	口唇部外面に屈み 外面に縄文と刺突文で二角形のモチーフを繰り返す内面に条痕文	覆土中	早期後葉 Ⅳ.12
TP5	縄文土器	深鉢	-	3.2	-	長石・石英	橙	普通	口唇部に屈み 内外面に条痕文	南壁際上層	早期後葉 Ⅳ.12
TP6	縄文土器	深鉢	-	5.9	-	長石・雲母	橙	普通	内外面に条痕文	中央部上層	早期後葉 Ⅳ.13

## ② 陥し穴

### 第1号陥し穴（SK1）（第9・10図）

位置 調査区東部のC7g1区で、標高92mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

規模と形状 長径1.74m、短径1.08mの楕円形で、長径方向はN-75°-Wである。深さは138cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長径方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。

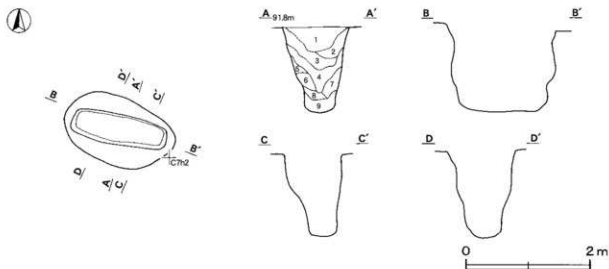
覆土 9層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

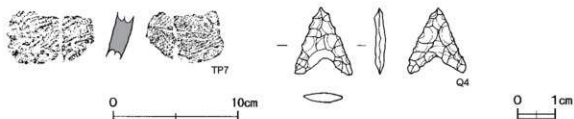
- |       |                  |       |                   |
|-------|------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 | 6 褐色  | ロームブロック中量         |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量        | 7 褐色  | ロームブロック多量         |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量        | 8 暗褐色 | ロームブロック中量         |
| 4 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子微量 | 9 暗褐色 | ロームブロック中量、糞屑パミス微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック多量        |       |                   |

遺物出土状況 縄文土器片3点（深鉢）、石器1点（石鏃）が、覆土中から出土している。

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第9図 第1号陥し穴実測図



第10図 第1号陥し穴出土遺物実測図

第1号陥し穴出土遺物観察表（第10図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴		出土位置	備考
TP7	縄文土器	深鉢	-	3.8	-	長石・石英	橙	普通	外面縄文施文	内面貝殻条痕文	覆土中	早期後葉 Pl.13
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴		出土位置	備考		
Q4	石器	1.8	1.6	0.3	0.44	チャート	凹基無茎縁		覆土中	Pl.15		

## 第2号陥し穴（SK8）（第11図）

**位置** 調査区東部のD7b1区で、標高91mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**規模と形状** 長軸2.14m、短軸1.20mの隅丸長方形で、長軸方向はN-2°-Wである。深さは87cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが5か所確認された。

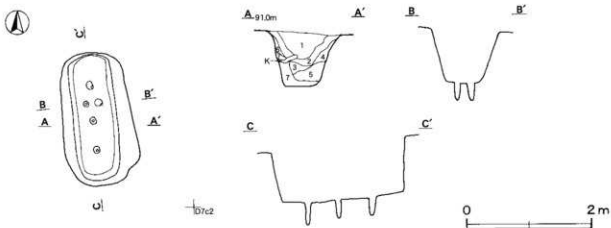
**覆土** 7層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- |       |                       |       |                         |
|-------|-----------------------|-------|-------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 褐色  | ロームブロック多量               |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量             | 6 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量   |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量      | 7 褐色  | ロームブロック多量、糞沼ブロック・炭化粒子微量 |
| 4 褐色  | ローム粒子多量               |       |                         |

**遺物出土状況** 混入と考えられる土師器片1点（燧類）が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第11図 第2号陥し穴実測図

### 第3号陥し穴 (SK11) (第12図)

**位置** 調査区中央部のD 4 g5区で、標高99mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

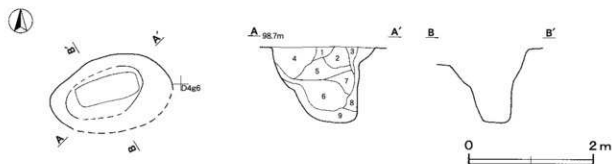
**規模と形状** 南側が木の根による攪乱を受けているが、長径1.96m、短径1.23mの楕円形で、長径方向はN-75°-Eである。深さは118cmで、短径方向の壁の下位は直立し、上位は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。底面は平坦である。

**覆土** 9層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

#### 土層解説

- |                               |                           |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック微量               | 6 黒褐色 ロームブロック少量、黒色土ブロック微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量               | 7 暗褐色 ロームブロック中量           |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量(綿まり強い) | 8 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量     |
| 4 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量        | 9 暗褐色 ロームブロック・黒色土ブロック少量   |
| 5 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量        |                           |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第12図 第3号陥し穴実測図

### 第4号陥し穴 (SK13) (第13図)

**位置** 調査区東部のD 6 e5区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

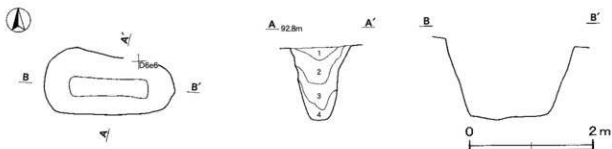
**規模と形状** 長軸2.08m、短軸1.02mの隅丸長方形で、長軸方向はN-84°-Wである。深さは125cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 4層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

- |                              |                                 |
|------------------------------|---------------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック・鹿沼パミス少量、炭化粒子微量 | 3 暗褐色 ロームブロック中量、黒色土ブロック・鹿沼パミス微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・鹿沼パミス微量 | 4 褐色 ロームブロック多量、鹿沼パミス微量          |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第13図 第4号陥し穴実測図

## 第5号陥し穴 (SK15) (第14図)

位置 調査区中央部のD 5 e6区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

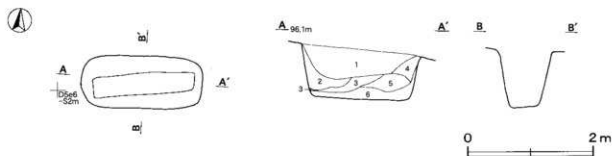
規模と形状 長軸1.94m、短軸0.86mの隅丸長方形で、長軸方向はN-90°である。深さは92cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。

覆土 6層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量 (粘性弱い) | 4 極暗褐色 ロームブロック中量 |
| 2 極暗褐色 ロームブロック少量     | 5 黒褐色 ローム粒子微量    |
| 3 黒褐色 ローム粒子少量        | 6 褐色 ローム粒子多量     |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第14図 第5号陥し穴実測図

## 第6号陥し穴 (SK16) (第15図)

位置 調査区中央部のD 5 e6区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

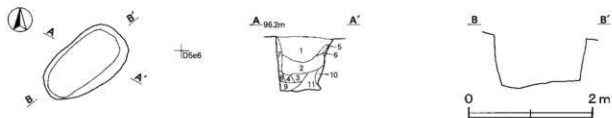
規模と形状 長軸1.47m、短軸0.80mの隅丸長方形で、長軸方向はN-49°-Eである。深さは77cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。

覆土 11層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                          |                                 |
|--------------------------|---------------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量            | 7 極暗褐色 ロームブロック少量                |
| 2 黒褐色 ローム粒子少量            | 8 暗褐色 ローム粒子中量                   |
| 3 黒褐色 ローム粒子微量 (1より彩度が高い) | 9 極暗褐色 ロームブロック中量                |
| 4 極暗褐色 ローム粒子少量           | 10 極暗褐色 ロームブロック中量 (9より含有黒色土が多い) |
| 5 黒褐色 ロームブロック少量          | 11 黒褐色 ロームブロック少量 (中ブロック含む)      |
| 6 褐色 ロームブロック多量           |                                 |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第15図 第6号陥し穴実測図

### 第7号陥し穴（SK19）（第16図）

位置 調査区中央部のC5J4区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

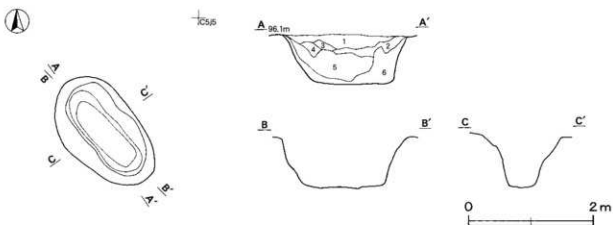
規模と形状 長径2.00m、短径1.20mの楕円形で、長径方向はN-40°-Wである。深さは85cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長径方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

覆土 6層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

#### 土層解説

- |       |           |        |                   |
|-------|-----------|--------|-------------------|
| 1 黒色  | ローム粒子微量   | 4 極暗褐色 | ローム粒子中量           |
| 2 暗褐色 | ローム粒子多量   | 5 暗褐色  | ローム粒子多量（黒色土を少量含む） |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量 | 6 褐色   | ロームブロック多量         |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

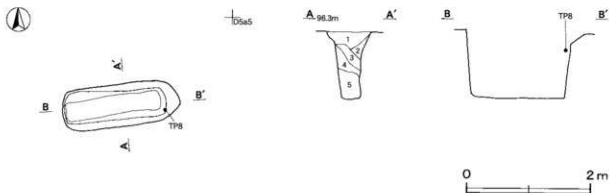


第16図 第7号陥し穴実測図

### 第8号陥し穴（SK20）（第17・18図）

位置 調査区中央部のD5a4区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

規模と形状 長軸1.86m、短軸0.70mの長方形で、長軸方向はN-82°-Eである。深さは105cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。



第17図 第8号陥し穴実測図

覆土 5層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |        |                  |       |                 |
|--------|------------------|-------|-----------------|
| 1 褐色   | ローム粒子多量、砂粒微量     | 4 黒褐色 | ローム粒子少量         |
| 2 極暗褐色 | ロームブロック微量、粘土粒子微量 | 5 暗褐色 | ローム粒子多量、鹿沼バミス微量 |
| 3 暗褐色  | ローム粒子多量          |       |                 |

遺物出土状況 縄文土器片5点(深鉢)が出土している。TP8は、東壁際の覆土上層から出土している。

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第18図 第8号陥し穴出土遺物実測図

第8号陥し穴出土遺物観察表(第18図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP8	縄文土器	深鉢	-	3.1	-	長石	に灰+橙	普通	口唇部直下横位の押引文 口辺部斜交文による弧線	東壁際上層	中期 PL12
TP9	縄文土器	深鉢	-	4.6	-	長石	に灰+橙	普通	風の単純縄文 2条の沈線が壺下	覆土中	中期 PL13

第9号陥し穴(SK21)(第19図)

位置 調査区中央部のD5a5区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

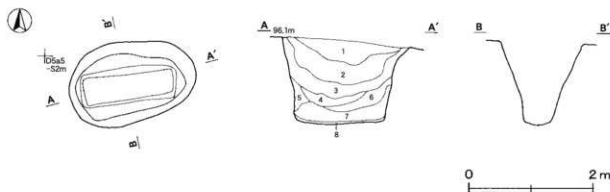
規模と形状 長径2.03m、短径1.33mの楕円形で、長径方向はN-81°-Eである。深さは130cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長径方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。

覆土 8層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- |        |           |       |                       |
|--------|-----------|-------|-----------------------|
| 1 黒褐色  | ロームブロック微量 | 5 褐色  | ロームブロック多量             |
| 2 黒褐色  | ロームブロック微量 | 6 黒褐色 | ロームブロック少量             |
| 3 極暗褐色 | ロームブロック中量 | 7 黒褐色 | ロームブロック中量             |
| 4 黒褐色  | ローム粒子少量   | 8 黒褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |

所見 時期は、規模や形状から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第19図 第9号陥し穴実測図

### 第10号陥し穴 (SK23) (第20図)

**位置** 調査区東部のD 6 f5区で、標高93mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

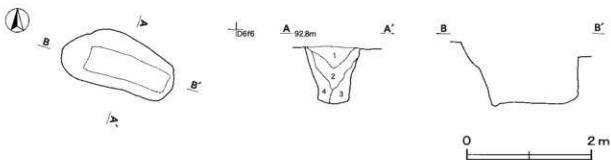
**規模と形状** 長軸1.85m、短軸0.82mの長方形で、長軸方向はN-72°-Wである。深さは80cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁は、西壁は外傾、東壁は直立し、底面は平坦である。

**覆土** 4層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量   | 3 黒褐色 ロームブロック中量、炭屑ブロック微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量、炭屑ブロック微量 |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



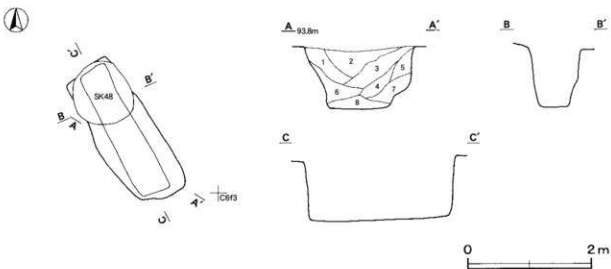
第20図 第10号陥し穴実測図

### 第11号陥し穴 (SK29) (第21図)

**位置** 調査区東部のC 6 e2区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**重複関係** 第48号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸2.43m、短軸1.00mの長方形で、長軸方向はN-28°-Wである。深さは97cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。



第21図 第11号陥し穴実測図



**覆土** 8層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

土層解説					
1	黒褐色	ロームブロック微量	5	極暗褐色	ロームブロック中量
2	黒褐色	ローム粒子微量(細玉引)	6	暗褐色	ロームブロック多量
3	黒褐色	ローム粒子微量	7	褐色	ロームブロック多量、鹿沼バミス微量
4	黒褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量	8	黒褐色	ロームブロック少量

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

### 第12号陥し穴 (SK33) (第22図)

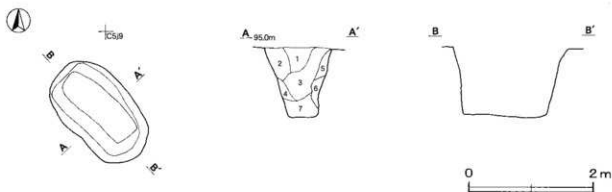
**位置** 調査区中央部のC 5 j8区で、標高95mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.84m、短軸1.12mの隅丸長方形で、長軸方向はN-45°-Wである。深さは108cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 7層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

土層解説					
1	黒褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	5	暗褐色	ロームブロック少量
2	黒褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量	6	暗褐色	ロームブロック多量
3	黒褐色	ロームブロック少量	7	暗褐色	ロームブロック中量、焼土粒子微量
4	暗褐色	ロームブロック中量			

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第22図 第12号陥し穴実測図

### 第13号陥し穴 (SK43) (第23図)

**位置** 調査区中央部のD 4 a2区で、標高100mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

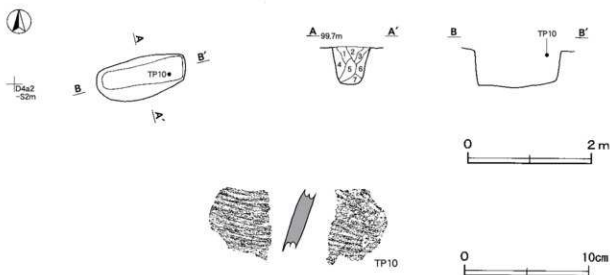
**規模と形状** 長軸1.46m、短軸0.66mの長方形で、長軸方向はN-76°-Eである。深さは59cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦である。

**覆土** 7層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

土層解説					
1	黒褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量	5	暗褐色	ロームブロック少量
2	黒褐色	ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量	6	暗褐色	ロームブロック多量
3	黒褐色	ロームブロック少量	7	極暗褐色	ロームブロック中量
4	暗褐色	ロームブロック中量			

**遺物出土状況** 縄文土器片1点(深鉢)が、覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第23図 第13号陥し穴・出土遺物実測図

第13号陥し穴出土遺物観察表（第23図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	使用	文様の特徴	出土位置	備考
TP10	縄文土器	深鉢	-	5.2	-	長石・雲母	にじみ・黄橙	普通	内外面に穀類痕文	東部上層	早期後葉 Ⅱ.13

第14号陥し穴（SK44）（第24図）

位置 調査区中央部のC4g5区で、標高98mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

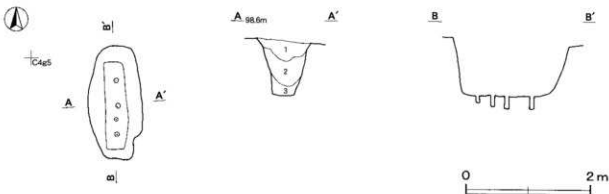
規模と形状 長軸1.81m、短軸0.87mの長方形で、長軸方向はN-2°-Wである。深さは88cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが4か所確認された。

覆土 3層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量  
2 暗褐色 ロームブロック中量（大ブロック含む）  
3 暗褐色 ロームブロック中量（1より黄色味が強い）

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第24図 第14号陥し穴実測図

## 第15号陥し穴 (SK45) (第25図)

位置 調査区中央部のC 5 ii区で、標高97mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

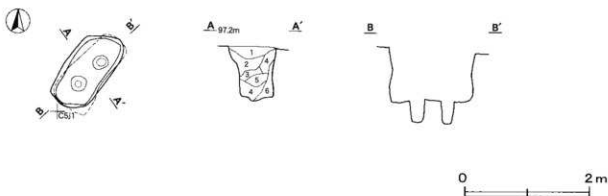
規模と形状 長径1.35m、短径0.71mの楕円形で、長径方向はN-37°-Eである。深さは80cmで、短径方向の壁の下部は直立し、上部は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長径方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが2か所確認された。

覆土 6層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量   | 4 暗褐色 ロームブロック中量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量 | 5 黒褐色 ロームブロック微量 |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量 | 6 褐色 ロームブロック多量  |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第25図 第15号陥し穴実測図

## 第16号陥し穴 (SK46) (第26図)

位置 調査区中央部のD 4 a0区で、標高98mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

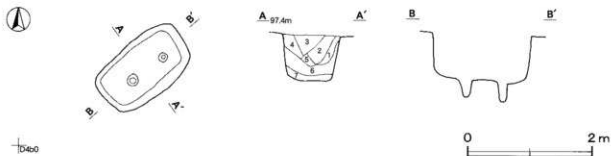
規模と形状 長軸1.58m、短軸0.94mの長方形で、長軸方向はN-55°-Eである。深さは74cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁はほぼ直立し、底面は平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが2か所確認された。

覆土 7層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量 | 5 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック微量        | 6 暗褐色 ロームブロック多量    |
| 3 黒褐色 ローム粒子微量          | 7 極暗褐色 ロームブロック中量   |
| 4 黒褐色 ロームブロック少量        |                    |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第26図 第16号陥し穴実測図

### 第17号陥し穴（SK47）（第27図）

**位置** 調査区中央部のC4J4区で、標高100mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

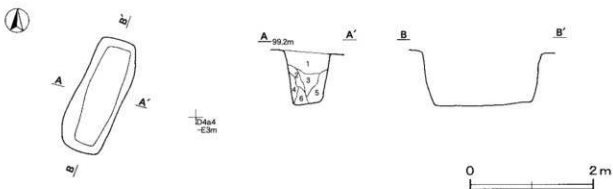
**規模と形状** 長軸1.90m、短軸0.70mの長方形で、長軸方向はN-20°-Eである。深さは85cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 6層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

**土層解説**

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子微量           | 4 暗褐色 ロームブロック中量  |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量、埴土粒子微量  | 5 褐色 ロームブロック多量   |
| 3 極暗褐色 ロームブロック中量、埴土粒子微量 | 6 極暗褐色 ロームブロック少量 |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第27図 第17号陥し穴実測図

### 第18号陥し穴（SK49）（第28図）

**位置** 調査区東部のD6I6区で、標高92mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

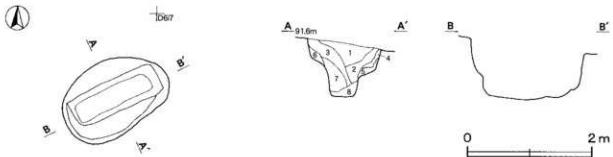
**規模と形状** 長径1.78m、短径1.18mの楕円形で、長径方向はN-65°-Eである。深さは88cmで、短径方向の壁の下位は直立し、上位は外傾して立ち上がり、断面形は漏斗状を呈している。長径方向の壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。

**覆土** 8層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

**土層解説**

- |                             |                          |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック少量、黄褐色粘土ブロック微量 | 5 褐色 ローム粒子多量             |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量、埴土粒子・炭化粒子微量 | 6 褐色 ロームブロック多量           |
| 3 黒褐色 ロームブロック中量、埴土粒子微量      | 7 暗褐色 ロームブロック中量、粘土ブロック微量 |
| 4 黒褐色 ロームブロック中量、粟沼ブロック微量    | 8 暗褐色 ロームブロック・粟沼バミス少量    |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第28図 第18号陥し穴実測図

## 第19号陥し穴 (SK50) (第29図)

**位置** 調査区東部のD5h0区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

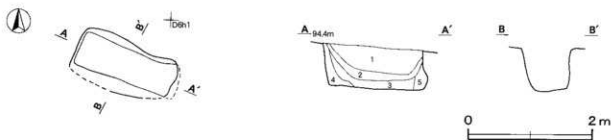
**規模と形状** 長軸1.62m、短軸0.85mの長方形で、長軸方向はN-70°-Wである。深さは67cmで、短軸方向の南壁は外傾し、北壁は直立し、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の西壁は外傾して立ち上がり、東壁はオーバーハンクしている。底面は平坦である。

**覆土** 5層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック微量 | 4 暗褐色 ロームブロック中量  |
| 2 黒褐色 ロームブロック中量 | 5 極暗褐色 ロームブロック少量 |
| 3 黒褐色 ロームブロック少量 |                  |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第29図 第19号陥し穴実測図

## 第20号陥し穴 (SK55) (第30図)

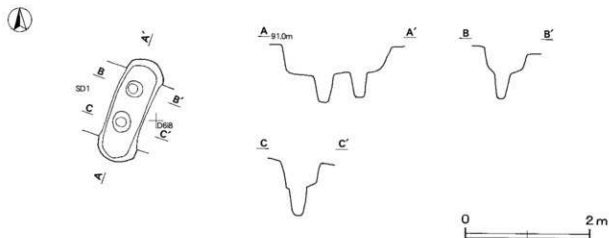
**位置** 調査区東部のD6i7区で、標高91mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**重複関係** 第1号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径1.75m、短径0.65mの長楕円形で、長径方向はN-20°-Eである。深さは65cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長径方向の壁は外傾して立ち上がり、底面は平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが2か所確認された。

**覆土** 第1号溝跡の掘り込み中に確認したため、土層断面図は作成していない。ただし、覆土は、褐色土でロームブロックを含み、下層ほど大きなブロックを含んでいる。堆積状況は不明である。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第30図 第20号陥し穴実測図

### 第21号陥し穴（SK57）（第31図）

**位置** 調査区東部のD6J2区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

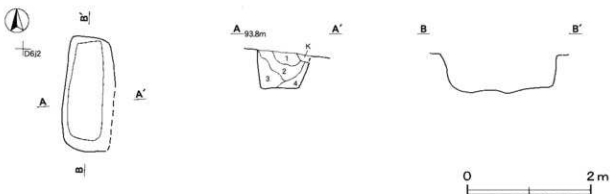
**規模と形状** 長軸1.80m、短軸0.83mの長方形で、長軸方向はN-1°-Eである。深さは58cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 4層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                  |      |                          |
|-------|------------------|------|--------------------------|
| 1 黒褐色 | 焼土ブロック少量、ローム粒子微量 | 4 褐色 | ロームブロック中量、黒色土ブロック・焼土粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量 |      |                          |
| 3 褐色  | ロームブロック中量、焼土粒子微量 |      |                          |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第31図 第21号陥し穴実測図

### 第22号陥し穴（SK75）（第32・33図）

**位置** 調査区西部のC3J6区で、標高102mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 撓乱のため確認された長軸は1.63m、短軸は0.70mの長方形で、長軸方向はN-7°-Wである。深さは70cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。底面は平坦である。

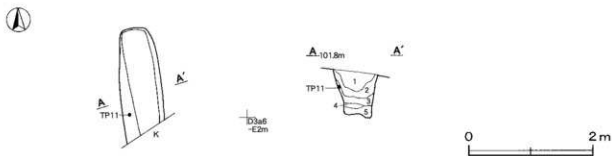
**覆土** 5層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                       |       |           |
|-------|-----------------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック中量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量（中ブロックを含む）   | 5 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 褐色  | ロームブロック多量             |       |           |

**遺物出土状況** 縄文土器片6点（深鉢）が、覆土中から出土している。TP11は西壁際の覆土上層から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第32図 第22号陥し穴実測図



第33図 第22号陥し穴出土遺物実測図

第22号陥し穴出土遺物観察表（第33図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP11	縄文土器	深鉢	-	4.1	-	長石	に濃い黄褐色	普通	外面に高土銅文と銅何字モチーフを描く 内面に段条文	西壁際上層	早期後葉 PI.12
TP12	縄文土器	深鉢	-	4.8	-	長石	に濃い橙	普通	内・外面に段条文	層土中	早期後葉 PI.13

第23号陥し穴（SK78）（第34図）

**位置** 調査区西部のD3d7区で、標高101mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径2.53m、短径0.96mの長楕円形で、長径方向はN-53°-Wである。深さは158cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長径方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

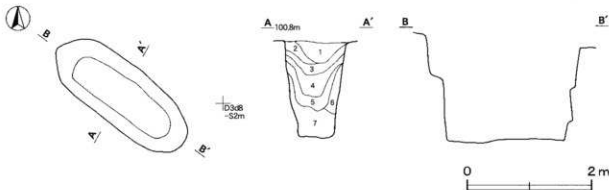
**覆土** 7層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- |       |                         |       |                                |
|-------|-------------------------|-------|--------------------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・鹿沼パミス少量         | 5 暗褐色 | ロームブロック中量                      |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量、鹿沼ブロック少量      | 6 暗褐色 | ロームブロック・鹿沼ブロック少量               |
| 3 暗褐色 | ロームブロック・鹿沼ブロック少量、炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック中量、鹿沼ブロック少量（ローム大ブロック含む） |
| 4 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量        |       |                                |

**遺物出土状況** 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第34図 第23号陥し穴実測図

第24号陥し穴（SK79）（第35図）

**位置** 調査区西部のD3b9区で、標高101mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長径1.66m、短径0.77mの長楕円形で、長径方向はN-10°-Wである。深さは88cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長径方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は

平坦で、逆茂木の跡と想定されるピットが2か所確認された。

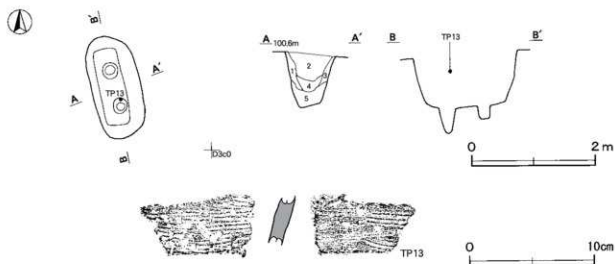
**覆土** 5層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |           |       |           |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量 | 4 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 黒色  | ローム粒子少量   | 5 暗褐色 | ローム粒子中量   |
| 3 黒褐色 | ローム粒子少量   |       |           |

**遺物出土状況** 縄文土器片1点（深鉢）、石器1点（剃片）が覆土中から出土している。TP13は、中央部の覆土中層から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第35図 第24号陥し穴・出土遺物実測図

第24号陥し穴出土遺物観察表（第35図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP13	縄文土器	深鉢	-	4.1	-	長石	明赤褐	普通	内外面に鼓条痕文	中央部中層	早期定案 TP13

**第25号陥し穴（SK80）（第36図）**

**位置** 調査区西部のC3e9区で、標高101mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.87m、短軸0.52mの長方形で、長軸方向はN-16°-Wである。深さは115cmで、短軸方向の壁は直立し、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁は外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 4層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

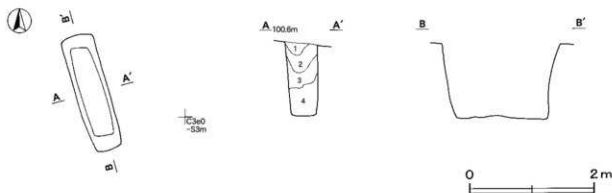
**土層解説**

- |       |                        |       |                   |
|-------|------------------------|-------|-------------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子・糞沼バミス微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量  |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量、糞沼バミス微量      | 4 褐色  | ロームブロック中量、糞沼バミス微量 |

**遺物出土状況** 混入と考えられる土師器片1点（甕類）が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。





第36図 第25号陥し穴実測図

## 第26号陥し穴 (SK93) (第37図)

**位置** 調査区東部のC6f6区で、標高93mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

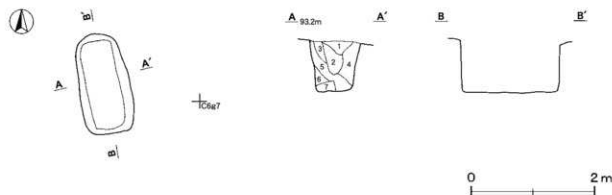
**規模と形状** 長軸1.62m、短軸0.82mの長方形で、長軸方向はN-8°-Wである。深さは84cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁は直立し、底面は平坦である。

**覆土** 7層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |       |                |       |                     |
|-------|----------------|-------|---------------------|
| 1 黒色  | ローム粒子微量        | 5 黒褐色 | ロームブロック少量 (大ブロック含む) |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・粘土粒子微量 | 6 黒褐色 | ロームブロック少量           |
| 3 黒褐色 | ローム粒子少量        | 7 黒褐色 | ローム粒子微量             |
| 4 褐色  | ロームブロック多量      |       |                     |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第37図 第26号陥し穴実測図

## 第27号陥し穴 (SK114) (第38図)

**位置** 調査区西部のC3a0区で、標高99mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

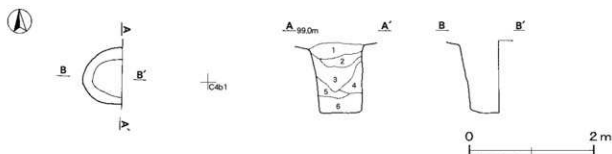
**規模と形状** 東側が調査区域外のため確認された長径は $\pm 0.62$ m、短径は $\pm 0.89$ mの楕円形または円形と推測される。長径方向はN-90°である。深さは112cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長径方向の西壁も外傾して立ち上がっており、底面は平坦である。

覆土 6層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

土層解説

- |       |                               |       |                  |
|-------|-------------------------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量              | 4 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量（1より彩度が高い）    | 5 暗褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量（ローム中ブロックを含む） | 6 暗褐色 | ロームブロック微量        |

所見 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

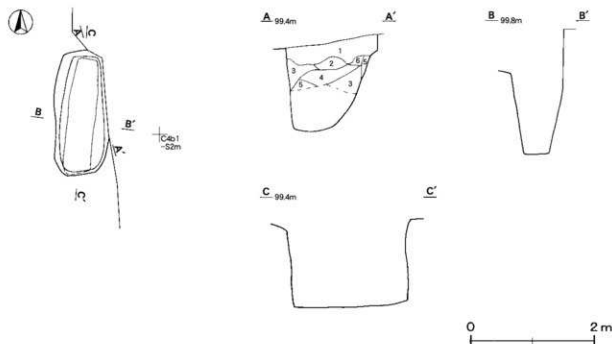


第38図 第27号陥し穴実測図

第28号陥し穴（SK115）（第39図）

位置 調査区西部のC3b0区で、標高99mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

規模と形状 長軸1.98m、短軸0.89mの隅丸長方形で、長軸方向はN-4°-Eである。深さは130cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長軸方向の壁は直立しており、底面は平坦である。



第39図 第28号陥し穴実測図

**覆土** 上層は6層からなり、不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。下層は崩落のため、不明である。

## 土層解説

- |       |                       |       |                       |
|-------|-----------------------|-------|-----------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量      | 4 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量   | 5 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量      |
| 3 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | ロームブロック中量             |

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

## 第29号陥し穴（SK116）（第40図）

**位置** 調査区中央部のB3j6区で、標高100mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**規模と形状** 長径1.94m、短径0.92mの長楕円形で、長径方向はN-2°-Wである。深さは120cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長径方向の壁は直立しており、底面は平坦である。

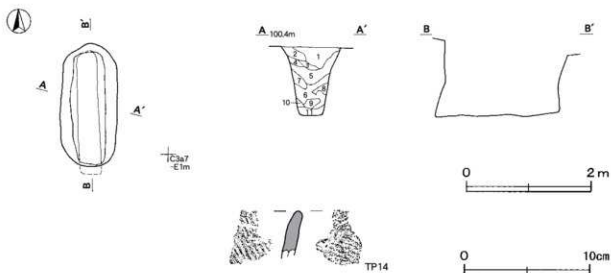
**覆土** 11層からなる。不規則な堆積状況から、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |       |                            |        |                          |
|-------|----------------------------|--------|--------------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量      | 7 褐色   | ロームブロック多量、焼土粒子微量         |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量      | 8 暗褐色  | ロームブロック少量、炭化粒子微量         |
| 3 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量（粘性・締まり弱い） | 9 褐色   | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量    |
| 4 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量             | 10 黄褐色 | 鹿沼パミス中量、ロームブロック少量、炭化粒子微量 |
| 5 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量      | 11 黒褐色 | ロームブロック・鹿沼パミス少量、炭化粒子微量   |
| 6 褐色  | ロームブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量    |        |                          |

**遺物出土状況** 縄文土器片3点（深鉢）が、覆土中から出土している。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。



第40図 第29号陥し穴・出土遺物実測図

第29号陥し穴出土遺物観察表（第40図）

番号	種別	形種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP14	縄文土器	深鉢	-	3.7	-	長石・雲母	橙	普通	内・外面員線条痕文	覆土中	早期後葉

### 第30号陥し穴 (SK122) (第41図)

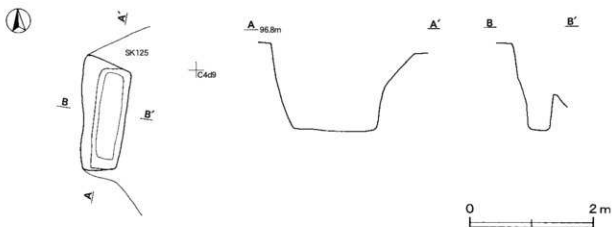
**位置** 調査区中央部のC4d8区で、標高96mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**重複関係** 第125号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸1.71m、短軸0.68mの長方形で、長軸方向はN-5°-Eである。深さは140cmで、短軸方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形はU字状を呈している。長軸方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。

**覆土** 第125号土坑を掘り進める中で確認したため、覆土の堆積状況は不明である。

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

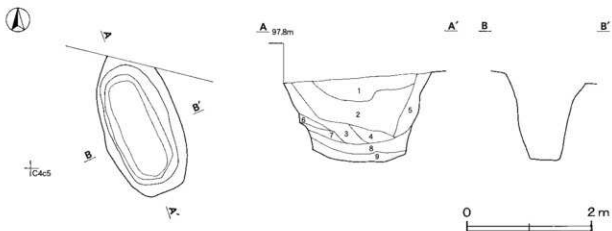


第41図 第30号陥し穴実測図

### 第31号陥し穴 (SK133) (第42図)

**位置** 調査区中央部のC4b5区で、標高97mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**規模と形状** 北側が調査区外のため確認された長径は2.37m、短径は1.24mの楕円形で、長径方向はN-24°-Wである。深さは137cmで、短径方向の壁は外傾して立ち上がり、断面形は逆台形状を呈している。長径方向の壁も外傾して立ち上がり、底面は平坦である。



第42図 第31号陥し穴実測図

**覆土** 9層からなる。周囲からの土砂の流入を示す堆積状況から、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

1 黒色	ロームブロック中量、炭化物少量	6 黒色	ロームブロック少量、鹿沼バミス微量
2 黒色	ロームブロック中量、炭化粒子微量	7 黒褐色	ロームブロック微量
3 灰褐色	ロームブロック多量	8 褐色	ロームブロック多量、鹿沼バミス少量
4 暗褐色	ロームブロック中量	9 黒褐色	ロームブロック少量、鹿沼バミス微量
5 黒褐色	ロームブロック中量、鹿沼バミス少量、炭化粒子微量		

**所見** 時期は、規模や形状及び遺構の状況から縄文時代と考えられるが、明確な時期判断は困難である。

(3) 屋外炉跡

今回の調査で、壁や床、柱穴が確認できず、炉のみを検出した遺構2基を屋外炉跡とした。

**第1号屋外炉跡 (S I 5) (第43図)**

**位置** 調査区西部のD 2 b6区で、標高102mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**確認状況** 確認面において、不整形円形の焼土の広がり確認された。住居の炉を想定して周辺を精査したが、床や柱穴は検出されなかった。

**規模と形状** 長径86cm、短径60cmほどの不整形円形を呈する地床炉である。炉床は確認面と同じ高さで、掘り込みは確認されなかった。炉床は火熱でわずかに赤変硬化している。長径方向は、N-57°-Eである。

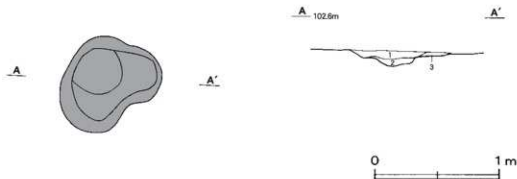
**覆土** 確認されなかったため、断ち割り土層について記載する。

**土層解説**

1 暗赤褐色	焼土ブロック・ローム粒子少量、炭化粒子微量	3 褐色	ローム粒子多量、炭化粒子微量
2 暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量		

**遺物出土状況** 炉床面から、縄文土器片3点が出土しているが、細片のため図示できなかった。

**所見** 周囲に柱穴が確認されず、屋外炉の可能性が高い。時期は、出土土器や周囲の第3・4・7号住居跡及び包含層の土器片から、早期後葉から前前期葉と考えられる。



第43図 第1号屋外炉跡実測図

**第2号屋外炉跡 (S I 6) (第44図)**

**位置** 調査区中央部のC 4 d6区で、標高97mほどの丘陵性台地の端部に位置している。

**確認状況** 確認面において不定形の焼土の広がり確認され、周囲に踏み固められた痕跡が認められた。住居の炉を想定して周辺を精査したが、柱穴は検出されなかった。

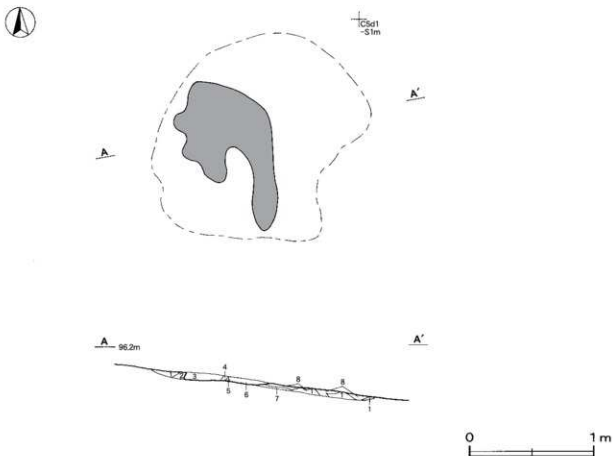
**規模と形状** 長径132cm，短径72cmの不定形を呈する地床炉である。確認面からの深さは4cmである。炉床は火熱でわずかに赤変している。炉の周囲は踏み固められている。長径方向はN-20°-Wである。

**覆土** 4層からなる。

伊土層解説 (第1・2・7・8層は硬化面の断り割り土層である。)

- |       |                      |       |               |
|-------|----------------------|-------|---------------|
| 1 明褐色 | ローム粒子多量              | 5 明褐色 | ローム粒子多量(粘性弱い) |
| 2 明褐色 | 焼土粒子・炭化粒子微量          | 6 灰褐色 | 焼土粒子少量，炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子少量(詰まり弱い) | 7 褐色  | 焼土粒子少量，炭化粒子微量 |
| 4 褐色  | 焼土粒子中量，炭化粒子微量        | 8 黒褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子微量 |

**所見** 炉とその周囲に踏み固められた部分が確認されたが，周囲に柱穴が確認されず，屋外炉の可能性が高い。時期は，土器が出土していないため明確な判断はできないが，周囲の第3・4・7号住居跡及び包含層の土器片から，早期後葉から前期前葉と考えられる。



第44図 第2号屋外炉跡実測図

#### (4) 遺物包含層

調査区西部の標高101～103mの丘陵性台地の最頂部付近に位置し，縄文土器片や剥片が集中しているC2g0区，C3b2区，C2c8区，D2a0区を中心に，4か所に分けて調査を行った。面積は，合計288㎡である。

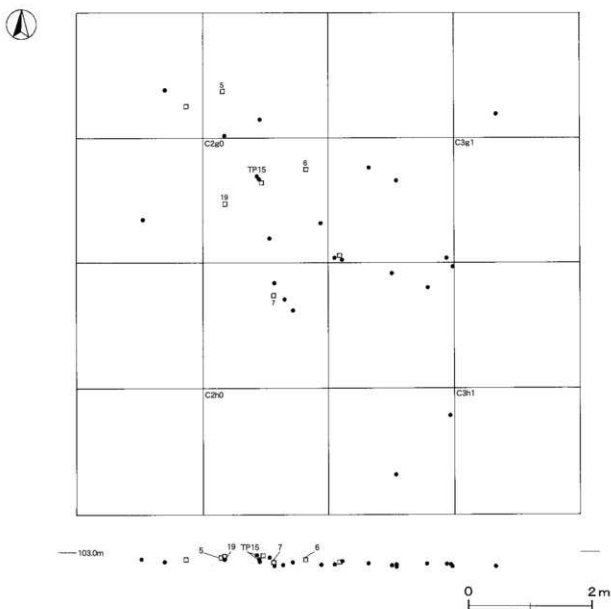
調査の結果，多くの縄文土器片や剥片が出土し，その層位は基本層序の第2～4層に相当すると考えられ，縄文時代の包含層と判断した。調査順に第1～4遺物包含層と呼称し，以下，遺構と遺物について記述する。

## 第1遺物包含層 (第45・46図)

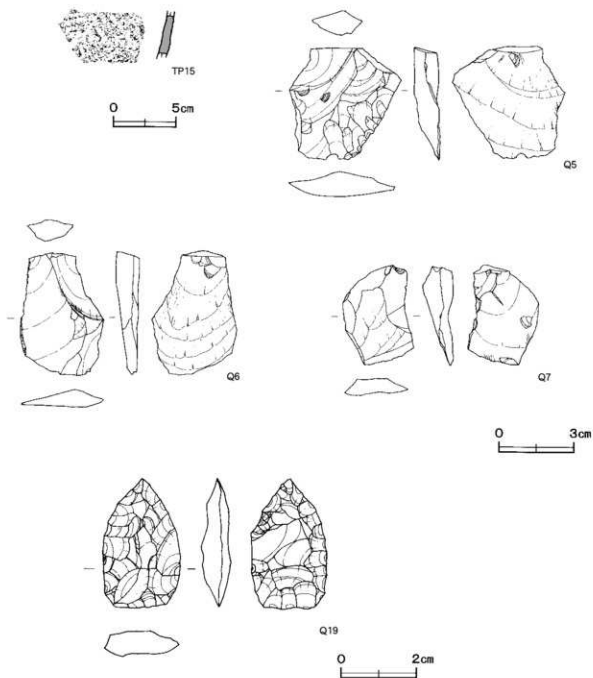
**位置** 調査区西縁辺部のC 2 f9～C 3 h1区で、標高102～103mの丘陵性台地に位置している。調査区の最頂部にあたる。

**遺物出土状況** 縄文土器片21点（深鉢類）、石器7点（石鏃1、剥片6）が出土している。出土位置は標高102.737～102.996mで、垂直分布幅は25.9cmである。TP15、Q 6・Q 7・Q 19はC 2 g0区、Q 5はC 2 f0区から出土している。

**所見** 時期は、出土土器が条痕文系土器と胎土に繊維を含んでいるものが多いことから、早期後葉から前期前葉と考えられる。また、石器の石質は6点がチャートで、1点は頁岩である。



第45図 第1遺物包含層実測図



第46図 第1遺物包含層出土遺物実測図

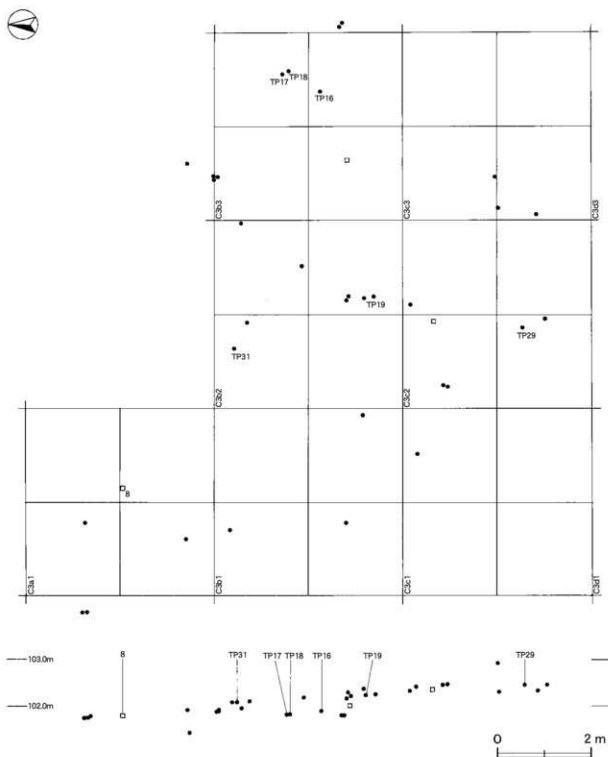
第1遺物包含層出土遺物観察表 (第46図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP15	縄文土器	深鉢	-	3.8	-	長石・石英	橙	普通	RL・LRの単節縄文を羽状に施文	C2g0区	前期前葉 PL14
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴		出土位置	備考	
Q5	剥片	4.5	4.5	1.0	17.30	チャート	縦長剥片	右辺部に二次加工痕	C2g0区	PL16	
Q6	剥片	4.8	3.3	0.9	12.60	チャート	縦長剥片		C2g0区	PL16	
Q7	剥片	4.0	2.8	1.2	9.70	チャート	縦長剥片		C2g0区	PL16	
Q19	石鏃	3.5	2.0	0.8	5.50	チャート	平基無茎鏃		C2g0区	PL15	



## 第2遺物包含層 (第47・48図)

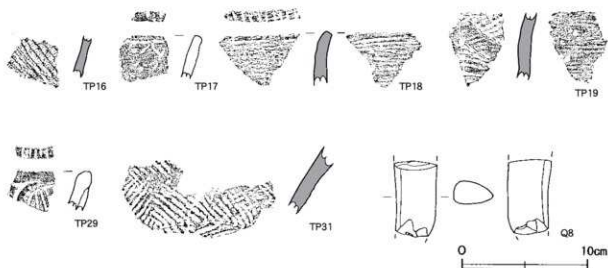
位置 調査区西縁辺部のC 2 a0～C 3 c3区で、標高101～103mの丘陵性台地の、北側に緩やかに傾斜する斜面上に位置している。



第47図 第2遺物包含層実測図

**遺物出土状況** 縄文土器片31点（深鉢類），石器3点（石刀カ1，剥片2）が出土している。出土位置は標高101.383～102.874mで，垂直分布幅は149.1cmである。TP16～TP18はC3b3区，TP19・TP31はC3b2区，TP29はC3c2区，Q8はC3a1区から出土している。

**所見** 時期は，出土土器が条痕文系土器と胎土に繊維を含んでいるものが多く，早期後葉から前期前葉と考えられる。また，剥片の石質はチャートである。



第48図 第2遺物包含層出土遺物実測図

第2遺物包含層出土遺物観察表（第48図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP16	縄文土器	深鉢	-	3.4	-	長石	灰褐	普通	RLの単部縄文	C3b3区	前期前葉 Pl.14
TP17	縄文土器	深鉢	-	3.4	-	長石	橙	普通	口唇部内側に浅み 口縁部横位の刺突文列 口辺部斜位の刺突文	C3b3区	早期中葉 Pl.12
TP18	縄文土器	深鉢	-	4.3	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	口唇部に浅み 内外面貝殻条痕文	C3b3区	早期後葉 Pl.12
TP19	縄文土器	深鉢	-	5.3	-	石英・雲母	にぶい黄橙	普通	外面沈線と刺突文で幾何学モチーフを描く 交点に内面竹管文 内面貝殻条痕文	C3b2区	早期後葉 Pl.13
TP29	縄文土器	深鉢	-	3.2	-	長石・雲母	黒褐	普通	口唇部に浅み 隆帯区画内結節沈線文	C3c2区	中期前葉 Pl.12
TP31	縄文土器	深鉢	-	5.5	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	RL・LRの単部縄文を羽状に施文	C3b2区	前期前葉 Pl.14

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q8	石刀カ	(6.0)	3.4	1.8	(60.9)	粘板岩	刃部カ 一側縁に刃外反り	C3a1区	Pl.16

第3遺物包含層（第49・50図）

**位置** 調査区西縁辺部のC2c8～C2d9区で，標高102～103mの丘陵性台地の，北西側に緩やかに傾斜する斜面上に位置している。

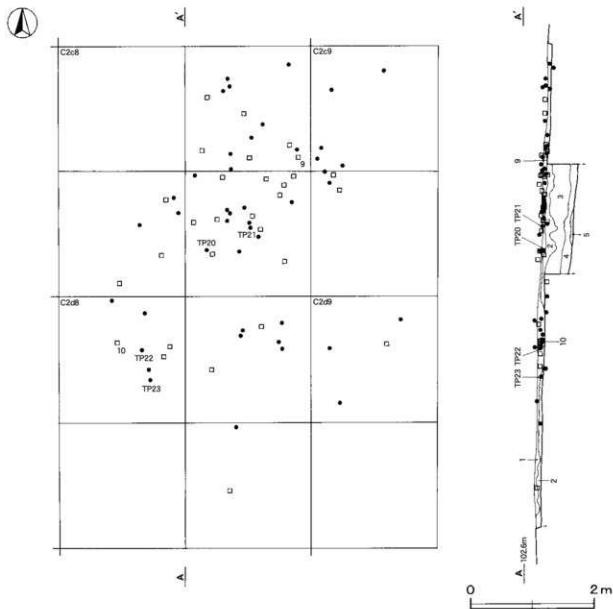
**遺物出土状況** 縄文土器片44点（深鉢類），石器31点（石鏃2，剥片29）が出土している。出土位置は標高102.101～102.415mで，垂直分布幅は31.4cmである。TP20・TP21，Q9はC2c8区，TP22・TP23，Q10はC2d8区から出土している。

**土層** 遺物が出土しなくなるまで掘り下げ、土層を視察した。おおむね、第1・2層は基本層序の第2・3層、第3・4層は基本層序の第4層、第5層は基本層序の第5層に相当すると考えられる。遺物は、第1・2層から出土している。

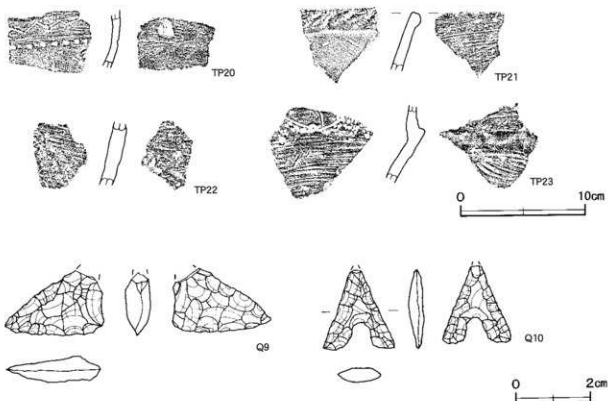
## 土層解説

- |         |                 |       |                           |
|---------|-----------------|-------|---------------------------|
| 1 褐色    | ローム粒子多量、炭化粒子極微量 | 4 明褐色 | ローム粒子多量（粘性・締まり強い）         |
| 2 褐色    | ロームブロック多量       | 5 明褐色 | ローム粒子多量、裏沼バミス少量（粘性・締まり強い） |
| 3 にぶい褐色 | ローム粒子多量（締まり強い）  |       |                           |

**所見** 時期は、出土した土器が条痕文系土器と胎土に繊維を含んでいるものが多く、早期後葉から前期前葉と考えられる。また、石器の石質はほとんどがチャートで、石鏃と剥片の各1点は珉瑯である。なお、剥片が多数出土していることから石器製作跡の可能性も想定したが、石核や台石、蔽石等が出土していないため、包含層と考えられる。



第49図 第3遺物包含層実測図



第50図 第3遺物包含層出土遺物実測図

第3遺物包含層出土遺物観察表 (第50図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP20	縄文土器	深鉢	-	4.2	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	網罟状の北線文とそれに平行する刺突文	C2・88区	早期中葉 Ⅱ.13
TP21	縄文土器	深鉢	-	4.8	-	長石	橙	普通	口野部筋糸体圧痕 内面貝殻染痕文	C2・88区	早期後葉 Ⅱ.12
TP22	縄文土器	深鉢	-	5.1	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	内・外面貝殻染痕文	C2・88区	早期後葉 Ⅱ.14
TP23	縄文土器	深鉢	-	6.3	-	長石	にぶい橙	普通	外面圧痕と刺突文で幾何学モチーフを結ぶ交点に円形竹管文 内面貝殻染痕文	C2・88区	早期後葉 Ⅱ.13

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q9	石匙か	(2.6)	(1.7)	0.7	(2.64)	チャート	横型 つまみ部欠損	C2・88区	Ⅱ.15
Q10	石鏃	(2.1)	1.8	0.4	(1.06)	瑪瑙	長細鏃	C2・88区	Ⅱ.15

#### 第4遺物包含層 (第51図)

**位置** 調査区西縁辺部のD 2 a9～D 2 b0区で、標高102～103mの丘陵性台地の、南側に緩やかに傾斜する斜面上に位置している。

**遺物出土状況** 縄文土器片21点(深鉢類)、石器10点(剃片)が出土している。出土位置は標高102.095～102.555mで、垂直分布幅は46.0cmである。

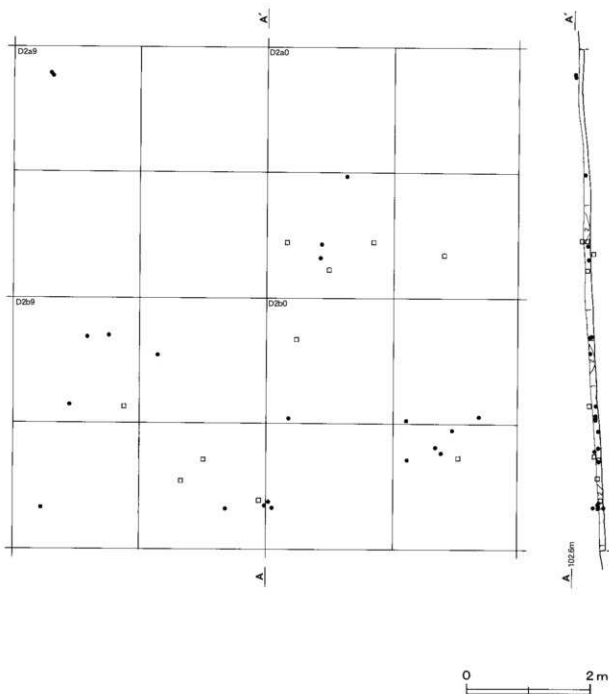
**土層** 遺物が出土しなくなるまで掘り下げ、土層を観察した。おおむね、第1・2層は基本層序の第4層に相当すると思われる。遺物は、第1・2層から出土している。

#### 土層解説

1 褐色 ローム粒子多量(粘性強い)

2 暗褐色 ローム粒子多量

所見 時期は、出土土器が条痕文系土器と胎土に繊維を含んでいるものが多く、早期後葉から前期前葉と考えられる。また、剥片の石質は、すべてチャートである。なお、剥片が多数出土していることから石器製作跡の可能性も想定したが、石核や台石、蔽石等が出土していないため、包含層と考えられる。



第51図 第4遺物包含層実測図

表2 縄文時代竪穴住居跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模(m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	壁溝	内部施設				覆土	主な出土遺物	時代	備考
								柱穴	土口 ピット	灶	貯蔵穴				
3	C2a8	N-87°-W	円形	5.1×4.8	5	平埧	-	-	-	円	-	不明	縄文土器片、石器(石・銅)	早期後葉~ 前期前葉	
4	C2f8	N-47°-W	円形又は楕円形	5.7×3.7	5~10	平埧	-	-	3	円	-	自然	縄文土器片、石器(石・丸頭部)	前期前葉	本跡→SK105
7	C3c3	N-0°	円形	2.90×2.90	12~20	平埧	-	4	-	円	-	人為	縄文土器片	早期後葉	

表3 縄文時代陥し穴一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		壁面	横断面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径(軸) ×短径(軸)(m)	深さ (cm)						
1	C7a1	N-75°-W	楕円形	1.74×1.08	138	外傾	U字状	平埧	自然	縄文土器片、石鏃	旧SK1
2	D7b1	N-2°-W	隅丸長方形	2.14×1.20	87	外傾	U字状	平埧	自然	土師器片	旧SK8 浅茂木跡あり
3	D4a5	N-75°-E	楕円形	1.96×1.23	118	外傾	U字状	平埧	人為	—	旧SK11
4	D6a5	N-84°-W	隅丸長方形	2.08×1.02	125	外傾	U字状	平埧	人為	—	旧SK13
5	D5a6	N-90°	隅丸長方形	1.94×0.86	92	外傾	U字状	平埧	人為	—	旧SK15
6	D5a5	N-49°-E	隅丸長方形	1.47×0.80	77	外傾	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK16
7	C5j4	N-40°-W	楕円形	2.00×1.20	85	外傾	U字状	平埧	人為	—	旧SK19
8	D5a4	N-82°-E	長方形	1.86×0.70	105	直立	U字状	平埧	人為	縄文土器片	旧SK20
9	D5a5	N-81°-E	楕円形	2.03×1.33	130	外傾	U字状	平埧	自然	—	旧SK21
10	D6f5	N-72°-W	長方形	1.85×0.82	80	外傾	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK23
11	C6e2	N-28°-W	長方形	2.43×1.00	97	直立	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK29 本跡→SK48
12	C5j8	N-45°-W	隅丸長方形	1.84×1.12	108	外傾	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK33
13	D4a2	N-76°-E	長方形	1.46×0.66	59	直立	逆台形状	平埧	人為	縄文土器片	旧SK43
14	C4a5	N-2°-W	長方形	1.81×0.87	88	外傾	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK44 浅茂木跡あり
15	C5i1	N-37°-E	楕円形	1.35×0.71	80	直立	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK45 浅茂木跡あり
16	D4a0	N-55°-E	長方形	1.58×0.94	74	外傾	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK46 浅茂木跡あり
17	C4j4	N-30°-E	長方形	1.90×0.70	85	外傾	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK47
18	D6f6	N-65°-E	楕円形	1.78×1.18	88	直立	漏斗状	平埧	人為	—	旧SK49
19	D5b0	N-70°-W	長方形	1.62×0.85	67	直立	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK50
20	D6f7	N-30°-E	長楕円形	1.75×0.65	65	外傾	逆台形状	平埧	不明	—	旧SK55 本跡→ SD1 浅茂木跡あり
21	D6j2	N-1°-E	長方形	1.80×0.83	58	外傾	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK57
22	C3j6	N-7°-W	[長方形]	(1.63)×0.70	70	外傾	逆台形状	平埧	自然	縄文土器片	旧SK75
23	D3a7	N-33°-W	長楕円形	2.53×0.96	158	外傾	U字状	平埧	自然	縄文土器片	旧SK78
24	D3b9	N-30°-W	長楕円形	1.66×0.77	88	外傾	逆台形状	平埧	自然	縄文土器片、刺片	旧SK79 浅茂木跡あり
25	C3a9	N-16°-W	長方形	1.87×0.82	115	直立	U字状	平埧	自然	土師器片	旧SK80
26	C6f6	N-8°-W	長方形	1.62×0.82	84	直立	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK93
27	C3a0	N-90°	円形又は楕円形	(0.62)×0.89	112	直立	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK114
28	C3b0	N-4°-E	隅丸長方形	1.98×0.89	130	直立	逆台形状	平埧	人為	—	旧SK115
29	B3j6	N-2°-W	長楕円形	1.94×0.92	120	直立	U字状	平埧	人為	縄文土器片	旧SK116
30	C4d8	N-5°-E	長方形	1.71×0.68	140	外傾	U字状	平埧	不明	—	旧SK122 本跡→SK125
31	C4b5	N-20°-W	楕円形	(2.37)×1.24	137	外傾	逆台形状	平埧	自然	—	旧SK133

表4 縄文時代屋外炉跡一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模		覆土	主な出土遺物	時代	備考
				長径×短径 (cm)	深さ (cm)				
1	D2b0	N-51°-E	不整形円形	86×60	7	-	縄文土器片	早期後葉~前期前葉	
2	C4d0	N-20°-W	不定形	132×72	4	-	-	早期後葉~前期前葉	

## 2 平安時代の遺構と遺物

平安時代の竪穴住居跡2軒を確認した。以下、遺構と遺物の特徴について記述する。

## 竪穴住居跡

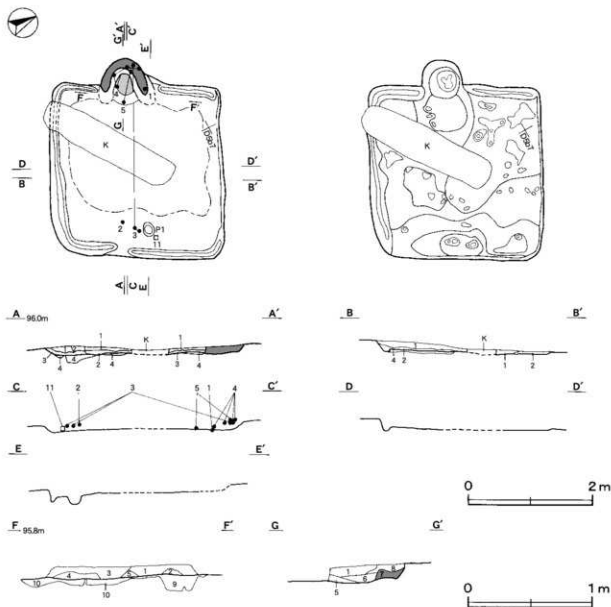
## 第1号住居跡 (第52・53図)

位置 調査区中央部D5b6区で、標高96mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

規模と形状 一辺2.75mの方形で、主軸方向はN-33°-Wである。壁高は4~10cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほぼ平坦である。全面が貼り床で、南東壁際を除いて踏み固められている。貼床は、ロームブロックを含む暗褐色土及び褐色土(覆土土層断面図, 第4層)を埋土として構築されている。掘り方は、中央部と南東コーナー一部が深く掘り込まれている。壁溝が、北東壁際と南東壁際の中央部を除いて確認されている。

竈 北西壁の中央部に付設されている。規模は、焚口部から煙出部まで60cm、袖部幅88cmである。袖部の遺



第52図 第1号住居跡実測図

存状態は極めて悪い。構築状況は、床面と同じ高さを基部とし、白色粘土で構築されていたと考えられる。火床部は床面を12cm掘り下げ、褐色土を埋め戻して使用し、火床面は火熱により赤変硬化している。煙道部は壁外に半円形状に44cm掘り込まれ、緩やかに外傾して立ち上がっている。

竈土層解説 (第10層は住居の掘り方の第4層と共通である。)

- |        |                             |          |                            |
|--------|-----------------------------|----------|----------------------------|
| 1 暗褐色  | ロームブロック少量、ローム粒子・粘土粒子微量      | 6 暗赤褐色   | 粘土粒子中量、ロームブロック・焼土粒子少量      |
| 2 暗褐色  | 焼土ブロック・粘土粒子・砂粒少量、ローム粒子微量    | 7 にぶい赤褐色 | 粘土粒子中量、ロームブロック少量、炭化粒子微量    |
| 3 暗赤褐色 | ロームブロック・粘土粒子中量、焼土ブロック・炭化物少量 | 8 暗褐色    | 粘土粒子中量、ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 4 暗赤褐色 | ロームブロック・焼土粒子・粘土粒子・砂粒少量      | 9 暗褐色    | ロームブロック多量、焼土ブロック少量         |
| 5 暗褐色  | 粘土粒子中量、ロームブロック少量、焼土ブロック微量   | 10 褐色    | ロームブロック中量                  |

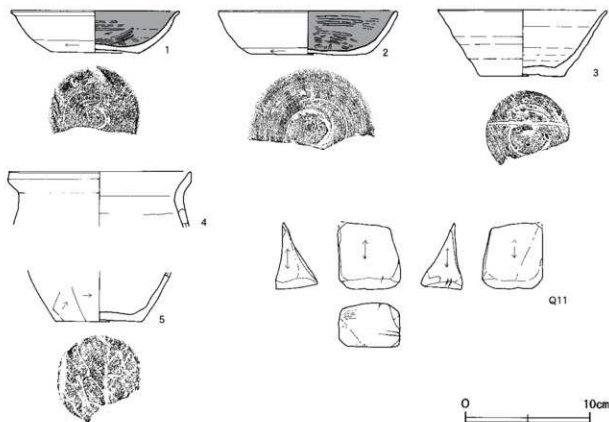
ピット 深さは14cmで、南東壁際に位置していることから、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

覆土 3層からなる。不規則な堆積状況を呈しており、人為堆積と考えられる。第4層は、貼床の構築土である。

土層解説

- |       |                       |       |                |
|-------|-----------------------|-------|----------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 3 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 褐色  | ロームブロック中量      |

遺物出土状況 土師器片37点(坏類7, 甕類30), 須恵器7点(坏), 石器1点(砥石)が出土している。遺物は、竈及び南東部の覆土中から多く出土している。1は竈の右袖部脇の床面, 2は南東壁際の覆土上層, Q11は南東壁際の覆土下層からそれぞれ出土している。4は竈の覆土中から出土した破片が, 5は竈手前の床面と竈の覆土中から出土した破片が, 3は南東壁際の覆土上層と竈の覆土中から出土した破片が, それぞれ接合したものである。他に, 流れ込みと考えられる縄文土器片1点(深鉢)も出土している。



第53図 第1号住居跡出土遺物実測図



所見 時期は、出土土器から9世紀末葉と考えられる。

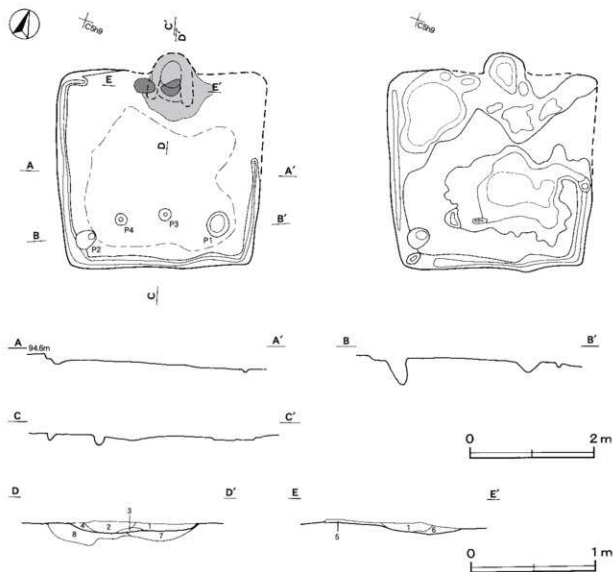
第1号住居跡出土遺物観察表 (第53図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏	14.0	3.4	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶ・黄褐色	普通	体部外面下端の縞へラ削り 底面の縞へラ削り 内面へラ削り	甕石橋部墓床面	70% PL.11
2	土師器	坏	14.0	3.5	9.0	長石・石英・雲母	にぶ・褐色	普通	体部外面下端の縞へラ削り 底面の縞へラ削り 後ナデ 内面へラ削り	南東壁際土層	40% PL.11
3	須恵器	坏	13.4	5.3	6.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	底面の縞へラ削り 後ナデ	南東壁際土層・甕石橋部	60% 底面へラ削り PL.11
4	土師器	甕	14.3	(4.4)	-	長石・石英・雲母	にぶ・褐色	普通	口縁部内・外面横ナデ	甕埋土中	5% PL.11
5	土師器	甕	-	(4.0)	7.0	長石・石英	褐色	普通	体部外面下位へラ削り 底部木炭痕	甕手前床面・甕埋土中	5%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q11	砥石	5.3	4.9	3.3	78.1	凝灰岩	砥面4面	南東壁際下層	PL.16

第2号住居跡 (第54・55図)

位置 調査区中央部のC5h9区で、標高95mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。



第54図 第2号住居跡実測図

**規模と形状** 西側部分の覆土は、わずかに残存していたが、中央部から東コーナー部は、床面が露出した状態で確認された。長軸約3.2m、短軸約3.1mの方形で、主軸方向はN-17°-Wである。壁高は3~12cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦である。全面が粘床で、中央部から南壁際にかけて踏み固められている。掘り方は、中央部と北西コーナー部が深く掘り込まれている。壁溝が、竈の両脇と東壁の北部を除いて確認されている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。遺存状態は極めて悪く、袖部は残存していない。規模は、焚口部から煙出部まで107cmと推定される。袖部は、床面を3~7cm掘り込み、暗褐色土を埋め戻して基部とし、白色粘土で構築されていたと考えられる。火床部は床面を14cm掘りくぼめて、ローム土を埋め戻して使用し、火床面は火熱により赤変硬化している。煙道部は壁外に半円形状に44cm掘り込まれ、緩やかに外傾して立ち上がっている。

**覆土層解説**

- |          |                                 |        |                               |
|----------|---------------------------------|--------|-------------------------------|
| 1 暗褐色    | ロームブロック・焼土ブロック・白色粘土粒子少量         | 5 暗褐色  | ロームブロック・白色粘土粒子少量、焼土粒子・炭化物少量   |
| 2 暗赤褐色   | 焼土ブロック中量、ロームブロック・白色粘土粒子少量、炭化物微量 | 6 暗褐色  | ロームブロック・焼土ブロック・白色粘土粒子少量、炭化物少量 |
| 3 に近い赤褐色 | 焼土ブロック多量、ロームブロック・白色粘土粒子微量       | 7 暗赤褐色 | ローム粒子多量、焼土粒子少量                |
| 4 褐色     | ロームブロック中量、焼土ブロック・炭化物・白色粘土粒子微量   | 8 褐色   | ローム粒子多量、焼土ブロック少量、白色粘土粒子微量     |

**ピット** 4か所。P1・P2は、深さ8cm、48cmで、配置から主柱穴と考えられる。P3・P4は、深さ17cm、21cmで、性格は不明である。

**遺物出土状況** 土師器片4点(坏類1、甕類3)と、流れ込みと考えられる縄文土器片2点(深鉢)が出土している。6は覆土中から出土した破片と第1号住居跡の覆土中から出土した破片が接合したものである。

**所見** 時期は、出土土器から第1号住居跡と同時期の廃絶であり、9世紀末葉と考えられる。



第55図 第2号住居跡出土遺物実測図

第2号住居跡出土遺物観察表(第55図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
6	土師器	坏	[14.0]	(2.5)	-	長石・白色粘土・赤色粒子	橙	普通	ロクロナデ	覆土中	58

表5 平安時代竪穴住居跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	縦横(m)	壁高(cm)	床面	壁溝	内部施設			覆土	主な出土遺物	時代	備考		
								土柱穴	出入口	ピット						
1	D5h6	N-33°-W	方形	2.75×2.75	4~10	平坦	田沼全周	-	1	-	覆1	-	人丸	土師器片、須恵器片、石部(灰石)	9世紀末葉	
2	C5h6	N-47°-W	方形	3.2×3.1	3~12	平坦	田沼全周	2	-	2	覆1	-	土師器片		9世紀末葉	

## 3 近世の遺構と遺物

近世の墓坑5基を確認した。以下、遺構と遺物の特徴について記述する。

## 第1号墓坑（SK51）（第56・57図）

位置 調査区東部のD6d4区で、標高93mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

規模と形状 長軸1.45m、短軸1.34mの方形で、長軸方向はN-55°-Wである。二段の掘り込みを有し、上段部の深さは38cmである。壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。下段部の掘り込みは北コーナー部に位置し、一辺50cmほどの方形で、深さは確認面から98cmである。壁は直立しており、底面は平坦である。

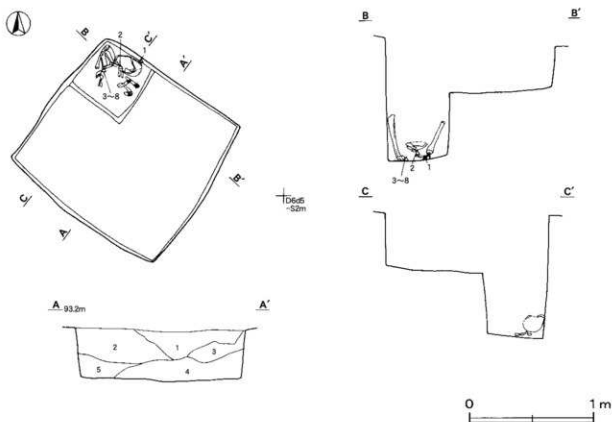
覆土 5層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

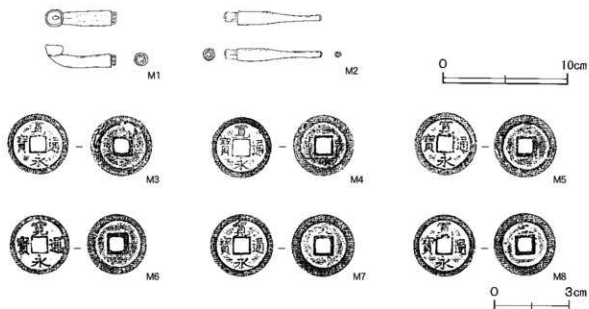
- |       |           |       |           |
|-------|-----------|-------|-----------|
| 1 褐色  | ロームブロック多量 | 4 褐色  | ローム粒子多量   |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量 | 5 黒褐色 | ロームブロック少量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック中量 |       |           |

遺物出土状況 金属製品33点（釘片25、煙管雁首1、煙管吸口1、古銭6）が出土している。また、北コーナー部下段の底面から人骨が確認されている。M1・M3～M8は北コーナー部下段の底面から、M2は北コーナー部下段の覆土下層から出土している。釘片にはわずかな木質の付着が見られたが、図示できるものはなかった。

所見 時期は、出土した副葬品の煙管及び古銭から近世と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第56図 第1号墓坑実測図



第57図 第1号墓坑出土遺物実測図

第1号墓坑出土遺物観察表（第57図）

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M1	排管様首	5.7	1.4	1.8	9.0	銅	火皿部円形 接合部断面円形 羅字竹管残存	下段底面	PL.17
M2	排管吸口	7.7	1.1	1.0	4.8	銅	吸口部断面円形 羅字竹管残存	下段埋土下層	PL.17

番号	銭名	径	孔幅	重量	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
M3	寛永通寶	2.45	0.58	3.58	1668	銅	新寛永 無背銭	下段底面	PL.18
M4	寛永通寶	2.44	0.63	3.18	1668	銅	新寛永 無背銭	下段底面	PL.18
M5	寛永通寶	2.52	0.56	3.44	1668	銅	新寛永 無背銭	下段底面	PL.18
M6	寛永通寶	2.40	0.56	4.02	1668	銅	新寛永 無背銭	下段底面	PL.18
M7	寛永通寶	2.48	0.58	3.40	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL.18
M8	寛永通寶	2.46	0.58	3.20	1668	銅	新寛永 無背銭	下段底面	PL.18

### 第2号墓坑（SK52）（第58図）

位置 調査区東部のD6g2区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

規模と形状 長軸1.28m、短軸1.18mの方形で、長軸方向はN-65°-Wである。二段の掘り込みを有し、上段部の深さは65cmである。壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。下段部の掘り込みは中央部に位置し、一辺50cmほどの方形で、深さは確認面から135cmである。壁は直立しており、底面は平坦である。

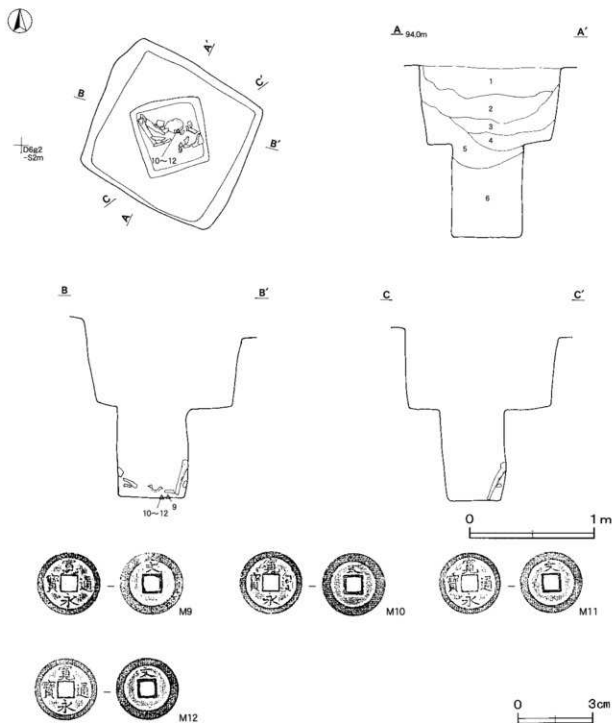
覆土 6層に分層される。各層ともロームブロックを含み、人為堆積と考えられる。

#### 土層解説

1 暗褐色	ロームブロック中量、葉沼バミス少量	4 黒褐色	ロームブロック少量
2 黒褐色	ロームブロック中量、葉沼バミス微量	5 暗褐色	ローム粒子中量
3 暗褐色	ロームブロック中量、葉沼バミス微量	6 暗褐色	ロームブロック中量

遺物出土状況 金属製品36点（釘片32、古銭4）が出土している。また、中央部下段の底面から人骨が確認されている。M9～M12は中央部下段の底面から出土している。釘片にはわずかな木質の付着が見られたが、図示できるものはなかった。

所見 時期は、出土した古銭から近世と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第58図 第2号墓坑・出土遺物実測図

第2号墓坑出土遺物観察表(第58図)

番号	銭名	径	孔径	重量	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
M9	寛永通寶	2.51	0.59	2.64	1668	銅	新寛永 背「文」	中央部底面	Pl.18
M10	寛永通寶	2.48	0.58	3.38	1668	銅	新寛永 背「文」	中央部底面	Pl.18
M11	寛永通寶	2.45	0.62	3.14	1668	銅	新寛永 背「文」	中央部底面	Pl.18
M12	寛永通寶	2.49	0.58	3.76	1668	銅	新寛永 背「文」	中央部底面	Pl.18

### 第3号墓坑（SK53）（第59・60図）

**位置** 調査区東部のD 6 h2区で、標高94mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.25m、短軸1.22mの方形で、長軸方向はN-20°-Eである。二段の掘り込みを有し、上段部の深さは60cmである。壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。下段部の掘り込みは北コーナー部に位置し、一辺50cmほどの方形で、深さは確認面から120cmである。壁は直立しており、底面は平坦である。

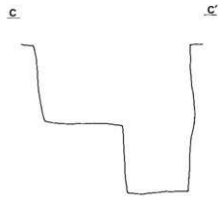
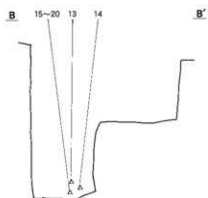
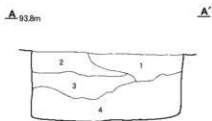
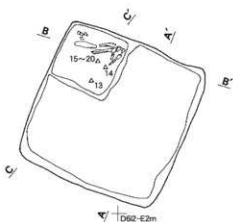
**覆土** 4層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

#### 土層解説

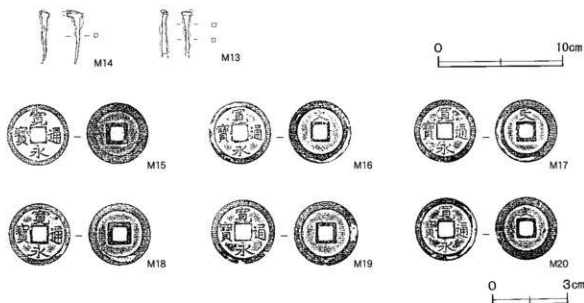
- |       |                   |      |                    |
|-------|-------------------|------|--------------------|
| 1 褐色  | ロームブロック多量、糞沼パミス少量 | 3 褐色 | ロームブロック多量          |
| 2 暗褐色 | ロームブロック中量、糞沼パミス微量 | 4 褐色 | ロームブロック多量、糞沼ブロック少量 |

**遺物出土状況** 金属製品27点（釘片21、古銭6）が出土している。また、北コーナー部下段の底面から人骨が確認されている。M13～M20は北コーナー部下段の覆土下層から出土している。釘にはわずかな木質の付着が見られる。

**所見** 時期は、出土した副葬品の古銭から近世と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第59図 第3号墓坑実測図



第60図 第3号墓坑出土遺物実測図

第3号墓坑出土遺物観察表(第60図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M13	釘	(3.5)	0.6	0.8	(1.68)	鉄	断面方形	F段下層	PL17
M14	釘	(4.1)	0.7	1.3	(1.27)	鉄	断面方形	F段下層	PL17

番号	銭名	径	孔幅	重量	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
M15	寛永通寶	2.46	0.54	2.96	1636	銅	古寛永 無背銭	F段下層	PL18
M16	寛永通寶	2.47	0.60	3.32	1668	銅	新寛永 背「文」	F段下層	PL18
M17	寛永通寶	2.50	0.57	3.62	1668	銅	新寛永 背「文」	F段下層	PL18
M18	寛永通寶	2.48	0.57	3.32	1636	銅	古寛永 無背銭	F段下層	PL18
M19	寛永通寶	2.53	0.58	3.86	1668	銅	新寛永 無背銭	F段下層	PL18
M20	寛永通寶	2.49	0.57	3.36	1668	銅	新寛永 背「文」	F段下層	PL18

## 第4号墓坑 (SK54) (第61図)

**位置** 調査区東部のD6i3区で、標高93mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.56m、短軸1.50mの方形で、長軸方向はN-25°-Eである。二段の掘り込みを有し、上段部の深さは40cmである。壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。下段部の掘り込みは中央部に位置し、一辺50cmほどの方形で、深さは確認面から105cmである。壁は直立しており、底面は平坦である。

**覆土** 7層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

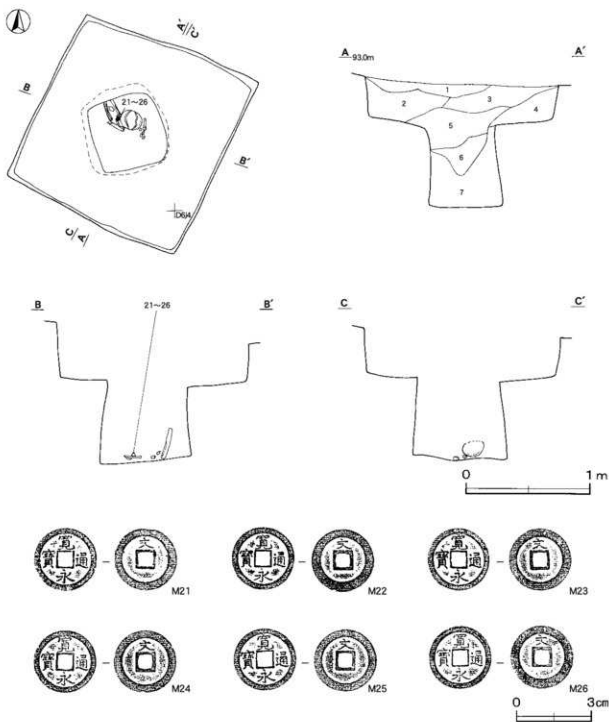
## 土層解説

1 暗褐色	ロームブロック少量	5 暗褐色	ロームブロック中量、鹿沼バミス少量
2 暗褐色	ロームブロック中量、鹿沼バミス微量	6 暗褐色	ローム粒子中量、鹿沼バミス少量
3 暗褐色	ロームブロック多量	7 暗褐色	ローム粒子中量、鹿沼バミス少量(6より割合が高い)
4 暗褐色	ロームブロック・鹿沼ブロック少量		

**遺物出土状況** 金属製品19点(釘片13、古銭6)が出土している。また、中央部下段の底面から人骨が確認されている。M21~M26は中央部下段の覆土下層から出土している。釘にはわずかな木質の付着が見られたが、

図示できるものはなかった。

所見 時期は、出土した副葬品の古銭から近世と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第61図 第4号墓坑・出土遺物実測図

第4号墓坑出土遺物観察表 (第61図)

番号	銭名	径	孔幅	重量	初铸年	材質	特 徴	出土位置	備考
M21	寛永通寶	2.50	0.58	3.48	1668	銅	新寛永 背「文」	下段下層	PL18
M22	寛永通寶	2.49	0.58	3.66	1668	銅	新寛永 背「文」	F段下層	PL18



番号	銭名	径	孔幅	重量	初鋳年	材質	特徴	出土位置	備考
M23	寛永通寶	2.49	0.60	3.78	1668	銅	新寛永 背「文」	下段下層	PL18
M24	寛永通寶	2.48	0.58	3.40	1668	銅	新寛永 背「文」	下段下層	PL18
M25	寛永通寶	2.48	0.59	3.88	1668	銅	新寛永 背「文」	下段下層	PL18
M26	寛永通寶	2.51	0.59	3.16	1668	銅	新寛永 背「文」	下段下層	PL18

### 第5号墓坑 (SK96) (第62・63図)

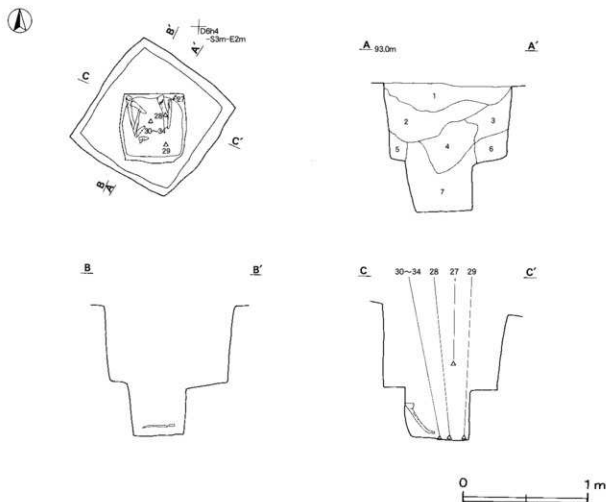
**位置** 調査区東部のD6h4区で、標高93mほどの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.02m、短軸1.00mの方形で、長軸方向はN-37°-Eである。二段の掘り込みを有し、上段部の深さは66cmである。壁はほぼ直立しており、底面は平坦である。下段部の掘り込みは中央部に位置し、一辺50cmほどの方形で、深さは確認面から105cmである。壁は直立しており、底面は平坦である。

**覆土** 7層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

#### 土層解説

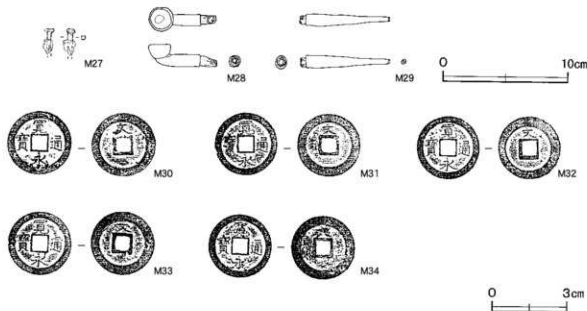
- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 1 暗褐色 ロームブロック中量 | 5 暗褐色 ローム粒子中量           |
| 2 暗褐色 ロームブロック少量 | 6 黒褐色 ローム粒子少量           |
| 3 褐色 ローム粒子多量    | 7 暗褐色 ロームブロック中量 (細まり弱い) |
| 4 黒褐色 ロームブロック少量 |                         |



第62図 第5号墓坑実測図

遺物出土状況 金属製品50点(釘片43, 煙管雁首1, 煙管吸口1, 古銭5)が出土している。また, 中央部下段の底面から人骨が確認されている。M27は北東壁際の覆土中層, M28~M34は中央部下段の底面から出土している。釘にはわずかな木質の付着が見られる。

所見 時期は, 出土した副葬品の煙管及び古銭から近世と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第63図 第5号墓坑出土遺物実測図

第5号墓坑出土遺物観察表(第63図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M27	釘	(2.1)	(0.6)	0.7	(0.63)	鉄	頭部・脚部欠損 木質付着	北東壁際中層	PL17
M28	煙管雁首	5.4	1.9	1.8	6.80	銅	火皿部内形 接合部断面内形 羅字竹管残存	下段底面	PL17
M29	煙管吸口	7.1	1.0	1.0	4.90	銅	吸口部断面内形 羅字竹管残存	下段底面	PL17

番号	銭名	径	孔幅	重量	初铸年	材質	特徴	出土位置	備考
M30	寛永通寶	2.50	0.56	3.42	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL18
M31	寛永通寶	2.49	0.57	3.44	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL18
M32	寛永通寶	2.48	0.58	3.28	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL18
M33	寛永通寶	2.48	0.59	4.04	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL18
M34	寛永通寶	2.48	0.53	3.68	1668	銅	新寛永 背「文」	下段底面	PL18

表6 近世墓坑一覧表

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考	
				長径(軸)×短径(軸) (m)	下段深さ (cm)						
1	D6-04	N-55°-W	方形	1.45×1.34	38	98	直立	平坦	人為	釘, 煙管, 古銭	旧S K51
2	D6-02	N-65°-W	方形	1.28×1.18	65	135	直立	平坦	人為	釘, 古銭	旧S K52
3	D6-02	N-20°-E	方形	1.25×1.22	60	120	直立	平坦	人為	釘, 古銭	旧S K53
4	D6-13	N-25°-E	方形	1.56×1.50	40	105	直立	平坦	人為	釘, 古銭	旧S K54
5	D6-04	N-37°-E	方形	1.02×1.00	66	105	直立	平坦	人為	釘, 煙管, 古銭	旧S K96

## 4 その他の遺構と遺物

時期不明の遺構と遺物について記述する。遺構は方形竪穴遺構1基、土坑71基、溝跡5条が確認されている。

## (1) 方形竪穴遺構

## 第1号方形竪穴遺構 (SK103) (第64図)

**位置** 調査区西部のD3e1区で、標高101mの丘陵性台地の平坦部に位置している。

**重複関係** 第104号土坑を掘り込んでいる。

**規模と形状** 南側が調査区域外に延びているため、確認できたのは東西軸3.50m、南北軸1.66mで、台形または長方形を呈していたと推測される。長軸方向はN-77°-Wである。壁高は22~32cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で、踏み固められた部分は確認できなかった。

**ピット** 4か所。深さは37~66cmで、性格は不明である。

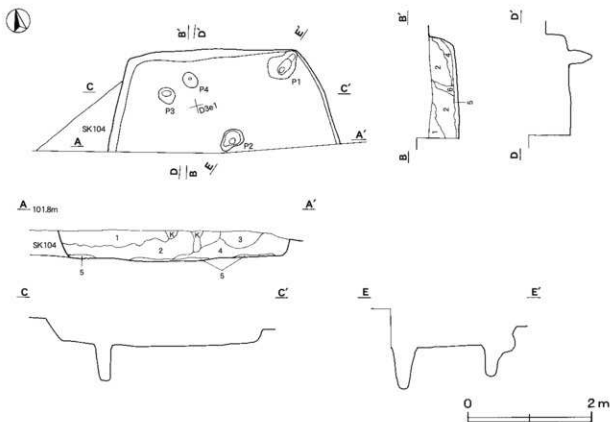
**覆土** 6層からなる。不規則な堆積状況を呈しており、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                             |                             |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量   | 4 暗褐色 ロームブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量      |
| 3 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量        | 6 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量   |

**遺物出土状況** 土師器片11点(甕類)、縄文土器片25点(深鉢)、石器6点(剥片)が出土している。いずれも混入によるものと考えられ、細片のため、図示することはできなかった。

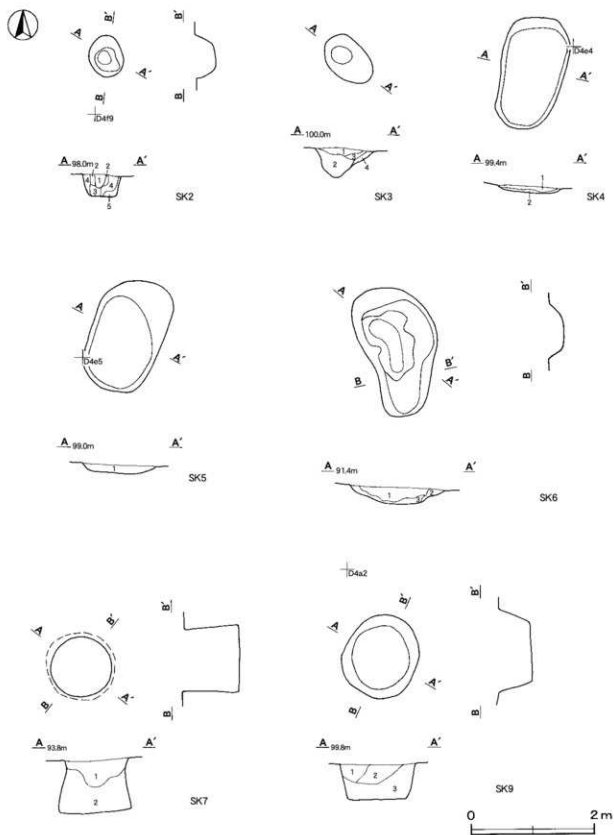
**所見** 時期は、判断できる出土土器がなく、不明である。



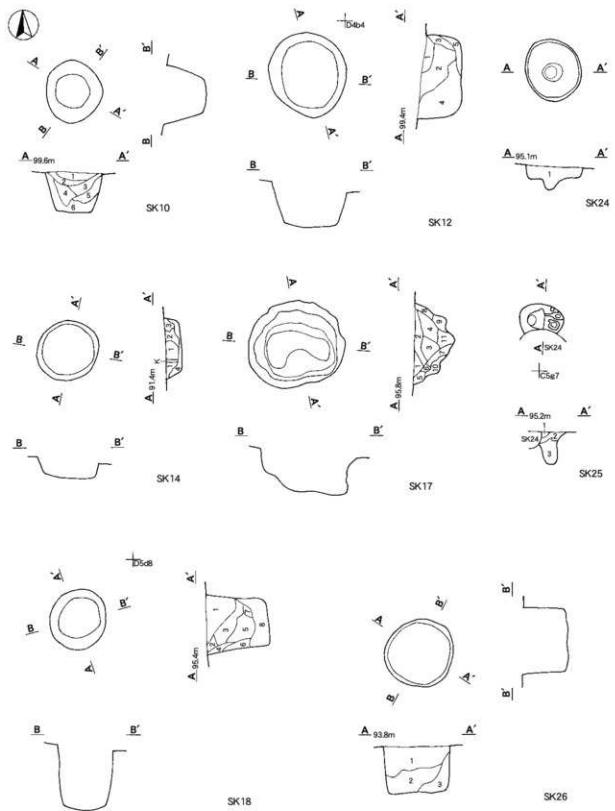
第64図 第1号方形竪穴遺構実測図

(2) 土坑

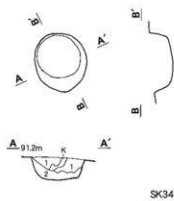
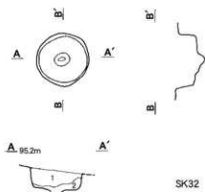
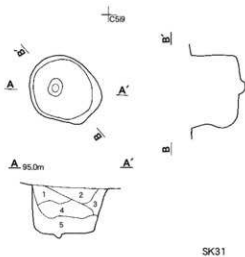
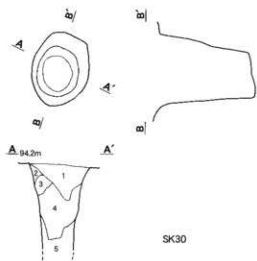
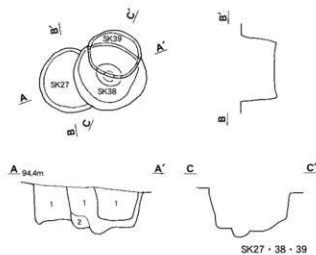
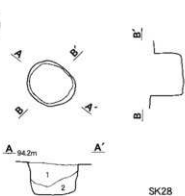
時期及び性格が不明な土坑71基について、実測図（第65～74図）と一覧表で示し、併せて土層解説を記載する。



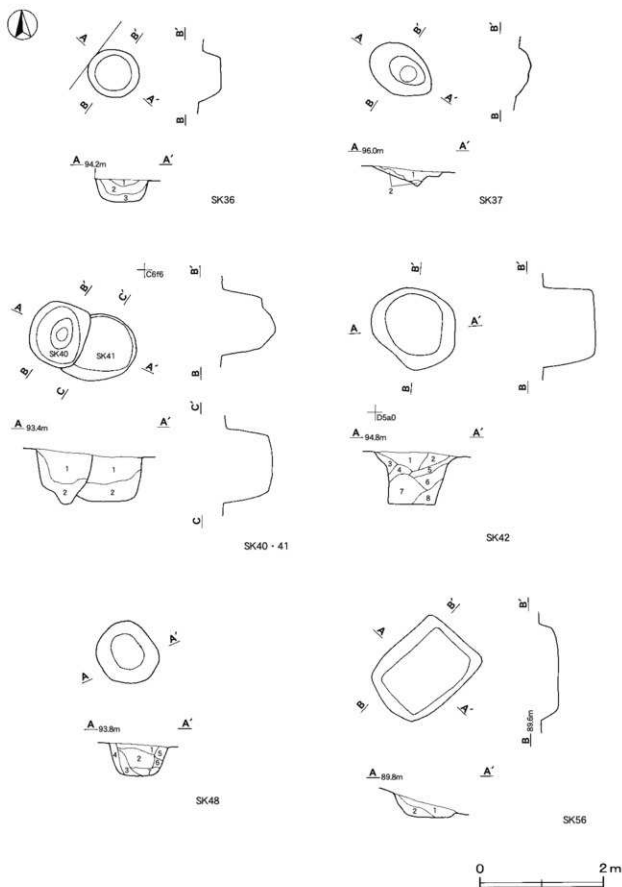
第65図 土坑実測図(1)



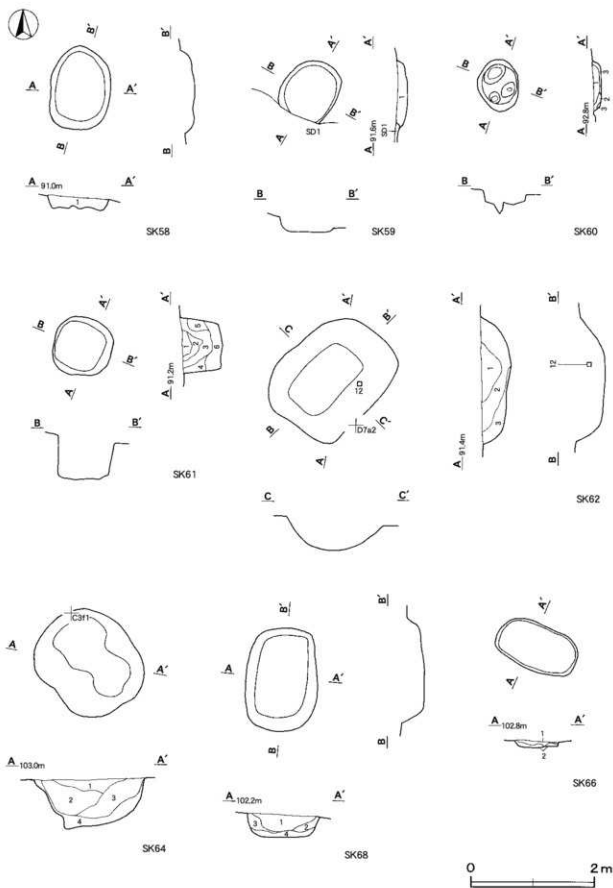
第66図 土坑実測図②



第67图 土坑实测图(3)

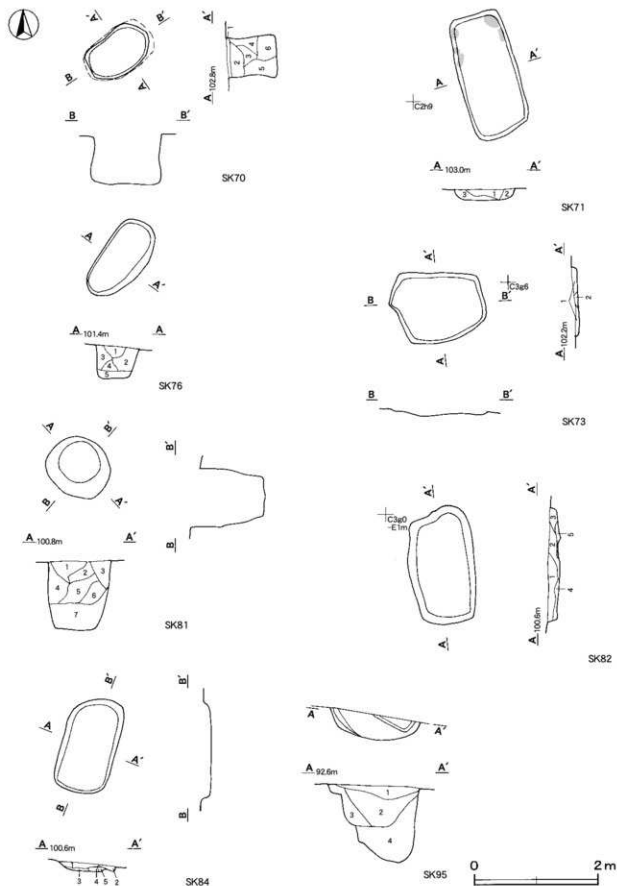


第68図 土坑実測図(4)

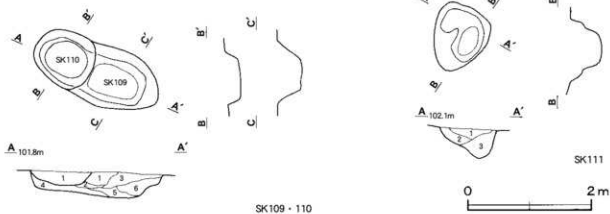
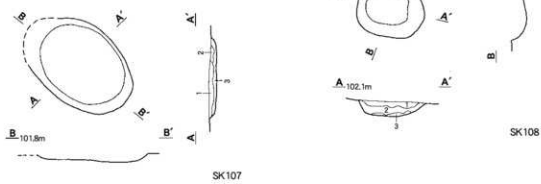
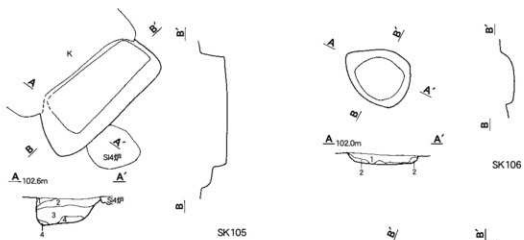
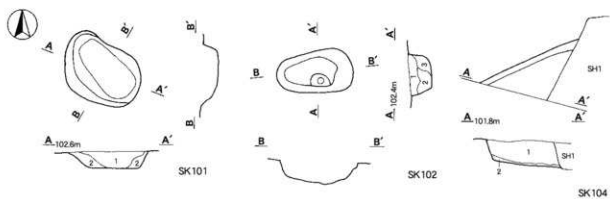


第69图 土坑实测图(5)

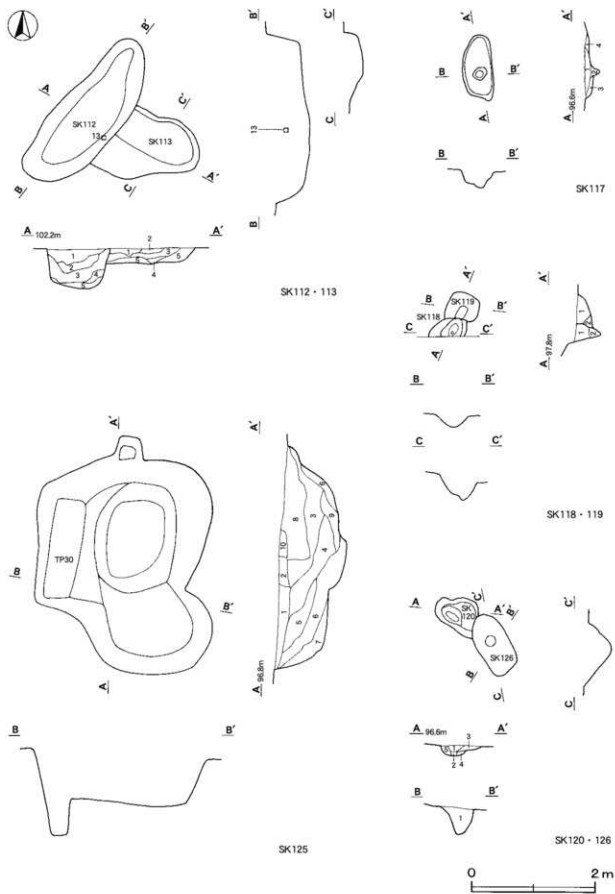




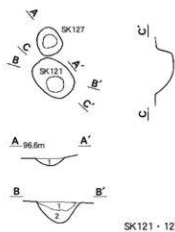
第70図 土坑実測図(6)



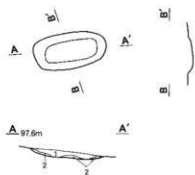
第71图 土坑实测图7)



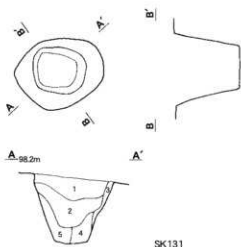
第72図 土坑実測図(8)



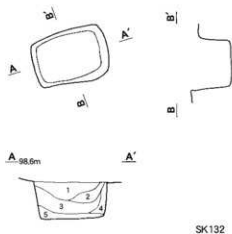
SK121 · 127



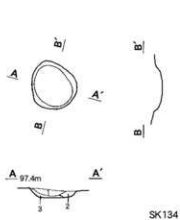
SK123



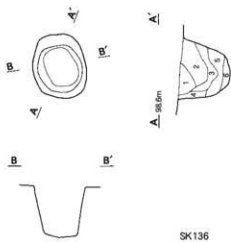
SK131



SK132



SK134



SK136



第73图 土坑实测图(9)

## 第2号土坑土層解説

- 1 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子少量
- 2 暗赤褐色 焼土ブロック多量、ロームブロック少量
- 3 暗赤褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック多量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック多量、焼土ブロック微量

## 第3号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 褐色 ローム粒子多量（大ブロック微量含む）
- 3 褐色 ローム粒子多量
- 4 暗褐色 ローム粒子多量

## 第4号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 炭化粒子多量、焼土粒子少量、ローム粒子微量

## 第5号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子少量

## 第6号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子中量

## 第7号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック多量（甕沼ブロック含む）
- 2 暗褐色 ロームブロック多量（甕沼バミス含む）

## 第9号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック多量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## 第10号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量、甕沼バミス微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック多量

## 第12号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量（ローム大ブロック含む）
- 3 暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量

## 第14号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量（中ブロック含む）
- 4 褐色 ロームブロック多量

## 第17号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量（締まり強い）
- 2 黒褐色 ロームブロック少量（締まり強い）
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量（中ブロック含む）
- 5 暗褐色 ロームブロック中量（大ブロック含む）
- 6 暗褐色 ロームブロック少量
- 7 暗褐色 ロームブロック中量
- 8 暗褐色 ロームブロック中量（硬度が高い）
- 9 暗褐色 ロームブロック多量
- 10 暗褐色 ロームブロック多量
- 11 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

## 第18号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量（中ブロック含む）
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量
- 5 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 7 褐色 ロームブロック多量
- 8 暗褐色 ロームブロック中量

## 第24号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

## 第25号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量
- 3 褐色 ローム粒子多量

## 第26号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・甕沼ブロック中量
- 2 暗褐色 ロームブロック・甕沼ブロック少量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量、甕沼ブロック微量

## 第27号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量

## 第28号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

## 第30号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量
- 2 暗褐色 ローム粒子多量、焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ローム粒子多量

## 第31号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子中量
- 2 極暗褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量

## 第32号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量

## 第34号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量

## 第36号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量

## 第37号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子多量
- 2 褐色 ローム粒子多量

## 第38号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック多量、甕沼ブロック微量

## 第39号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量

## 第40号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

**第41号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック多量、炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量

**第42号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子中量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ローム粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量
- 6 極暗褐色 ローム粒子少量
- 7 黒褐色 ローム粒子微量（4より割合が低い）
- 8 極暗赤褐色 ロームブロック少量

**第48号土壌層解説**

- 1 極暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化物・焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 極暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック微量
- 5 褐色 ロームブロック多量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量
- 7 黒褐色 ローム粒子微量

**第56号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量

**第58号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量

**第59号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量

**第60号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ロームブロック多量

**第61号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量（大ブロック含む）
- 5 暗褐色 ロームブロック中量
- 6 黒褐色 ロームブロック少量、澱沼ブロック微量

**第62号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量
- 3 褐色 ロームブロック多量

**第64号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量
- 2 褐色 ロームブロック中量、澱沼ブロック微量
- 3 褐色 ロームブロック中量、澱沼ブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック多量、澱沼ブロック少量

**第66号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 暗褐色 炭化物中量、ロームブロック少量

**第68号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量

**第70号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、澱沼パミス微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子・澱沼パミス微量
- 3 黒褐色 ロームブロック・澱沼ブロック少量
- 4 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック中量、澱沼ブロック微量
- 6 暗褐色 ロームブロック少量

**第71号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック多量、焼土粒子・澱沼パミス微量
- 3 暗褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量

**第73号土壌層解説**

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土ブロック微量
- 2 褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量

**第76号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量、澱沼パミス微量
- 3 暗褐色 ロームブロック少量
- 4 黒褐色 ロームブロック中量
- 5 暗褐色 ロームブロック・澱沼パミス中量

**第81号土壌層解説**

- 1 極暗褐色 ローム粒子少量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 褐色 ローム粒子多量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量、砂粒微量
- 5 黒褐色 ローム粒子少量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量
- 7 暗褐色 ローム粒子中量

**第82号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物・焼土粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土ブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 黒褐色 炭化粒子多量、ローム粒子少量、焼土粒子微量
- 5 黒褐色 ローム粒子中量、炭化物少量、焼土粒子微量

**第84号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子多量
- 3 黒褐色 炭化物中量、ロームブロック少量
- 4 暗褐色 ローム粒子中量
- 5 黒褐色 炭化粒子多量、ローム粒子少量

**第95号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量
- 3 暗褐色 ロームブロック多量
- 4 黒褐色 ロームブロック少量

**第101号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土ブロック微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

**第102号土壌層解説**

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子・澱沼パミス微量
- 3 褐色 ロームブロック中量

**第104号土壌層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量

**第105号土壌層解説**

- 1 褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量、炭化粒子・澱沼パミス微量
- 4 褐色 ロームブロック・澱沼パミス少量、炭化粒子微量

第106号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック多量、炭化粒子微量

第107号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

第108号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 3 褐色 ローム粒子中量

第109号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 暗褐色 焼土ブロック少量、ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 4 暗赤褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック・炭化粒子微量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量、焼土ブロック・炭化粒子微量
- 6 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量

第110号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量

第111号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ローム粒子中量

第112号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量（2より窮度が低い）
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 褐色 ローム粒子中量、鹿沼パミス微量

第113号土坑土層解説

- 1 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 2 褐色 ローム粒子少量
- 3 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 4 暗褐色 ローム粒子微量
- 5 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量

第117号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子微量
- 2 褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量
- 4 褐色 ロームブロック中量

第118号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ローム粒子微量

第119号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量
- 2 明褐色 炭化粒子少量

第120号土坑土層解説

- 1 極暗褐色 ローム粒子少量
- 2 極暗褐色 ロームブロック少量
- 3 極暗褐色 ロームブロック中量
- 4 暗褐色 ロームブロック多量
- 5 暗褐色 ローム粒子中量

第121号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック微量
- 2 黒褐色 ロームブロック中量

第123号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 2 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量

第125号土坑土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 暗褐色 ローム粒子・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 5 灰褐色 ロームブロック中量
- 6 褐色 ロームブロック多量
- 7 明褐色 ロームブロック多量
- 8 褐色 ローム粒子中量
- 9 極暗褐色 ロームブロック微量
- 10 褐色 ロームブロック多量（粘性弱い）

第126号土坑土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量

第127号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第131号土坑土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量
- 3 明褐色 ロームブロック多量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量（ローム中ブロック含む）

第132号土坑土層解説

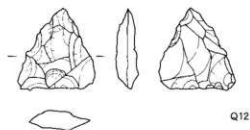
- 1 黒褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子少量
- 3 黒褐色 ロームブロック微量
- 4 灰褐色 ロームブロック中量
- 5 黒褐色 鹿沼ブロック少量、ロームブロック微量

第134号土坑土層解説

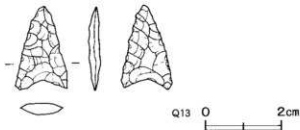
- 1 褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量
- 2 暗褐色 ロームブロック少量
- 3 明褐色 ロームブロック多量

第136号土坑土層解説

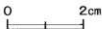
- 1 褐色 ロームブロック多量、鹿沼パミス少量
- 2 黒褐色 ローム粒子少量
- 3 極暗褐色 ローム粒子・鹿沼パミス少量
- 4 暗褐色 ローム粒子多量
- 5 黒褐色 鹿沼ブロック・ローム粒子少量
- 6 褐色 ローム粒子多量



Q12



Q13



第74図 第62・112号土坑出土遺物実測図

第62号土坑出土遺物観察表 (第74図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q12	石鏡	2.1	2.0	0.6	1.92	チャート	平基無茶漉 未製品 $\phi$	中層	PL15

第112号土坑出土遺物観察表 (第74図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q13	石鏡	2.2	1.4	0.3	0.83	頁岩	凹基無茶漉	中層	PL15

表7 その他の土坑一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規格		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径(軸) $\times$ 短径(軸)(m)	深さ(cm)					
2	D4e9	N-17°-W	楕円形	0.65 $\times$ 0.54	36	外傾	皿状	人為	—	
3	D4c1	N-42°-W	楕円形	0.90 $\times$ 0.60	47	外傾	皿状	自然	縄文土器片	
4	D4e3	N-10°-E	隅丸長方形	1.80 $\times$ 1.03	10	緩斜	平坦	人為	—	
5	D4e5	N-18°-E	隅丸長方形	1.84 $\times$ 1.16	13	緩斜	平坦	人為	—	
6	C7g3	N-8°-W	不整形楕円形	2.08 $\times$ 1.23	26	外傾	凹凸	人為	縄文土器片	
7	D6e2	N-0°	円形	1.08	90	内傾	平坦	人為	須恵器片	SD5→本跡
9	D4e2	N-0°	楕円形	1.32 $\times$ 1.22	52	外傾	平坦	人為	—	
10	D4b3	N-0°	楕円形	1.02 $\times$ 0.90	65	外傾	平坦	人為	—	
12	D4b3	N-18°-W	楕円形	1.35 $\times$ 1.22	64	外傾	平坦	人為	縄文土器片, 瓦質土器片	
14	C7f2	N-0°	円形	0.97 $\times$ 0.95	27	外傾	平坦	人為	—	
17	D5d7	N-79°-E	楕円形	1.54 $\times$ 1.32	65	緩斜	凹凸	人為	—	
18	D5d7	N-0°	円形	0.95 $\times$ 0.90	100	直立	平坦	人為	—	
24	C5f6	N-39°-W	楕円形	0.90 $\times$ 0.87	22	直立	平坦	人為	—	SK25→本跡
25	C5f6	N-87°-W	[楕円形]	0.70 $\times$ (0.40)	51	外傾	皿状	人為	縄文土器片	本跡→SK24
26	D6e1	N-0°	円形	1.09	71	直立	平坦	人為	—	
27	C5g0	N-0°	円形	1.05 $\times$ [1.00]	54	直立	平坦	人為	—	本跡→SK38→SK39
28	C5f0	N-47°-W	楕円形	0.79 $\times$ 0.66	48	直立	平坦	人為	—	
30	C5e0	N-17°-E	楕円形	1.18 $\times$ 0.93	147	外傾	平坦	人為	—	
31	C5i8	N-51°-W	楕円形	1.17 $\times$ 1.02	75	直立	平坦	人為	—	
32	C5i8	N-0°	円形	0.96 $\times$ 0.82	32	直立	平坦	人為	—	
34	C7h3	N-24°-W	楕円形	0.95 $\times$ 0.83	33	外傾	平坦	人為	縄文土器片	
36	D5e0	N-52°-W	円形	0.82 $\times$ 0.77	33	外傾	平坦	人為	—	
37	D5e6	N-53°-W	楕円形	1.07 $\times$ 0.77	20	緩斜	皿状	自然 $\phi$	—	
38	C5g0	N-0°	円形	1.15 $\times$ [1.10]	62	外傾	平坦	人為	土師器片, 須恵器片, 陶器片	SK27→本跡→SK39
39	C5g0	N-78°-W	楕円形	0.87 $\times$ 0.74	50	外傾	平坦	人為	—	SK27→SK38→本跡
40	C6f5	N-23°-E	楕円形	1.01 $\times$ 0.89	86	外傾	平坦	人為	—	SK41→本跡
41	C6f5	N-22°-E	[楕円形]	1.14 $\times$ [1.01]	73	外傾	平坦	人為	陶器片	本跡→SK40
42	C5j0	N-43°-W	楕円形	1.41 $\times$ 1.17	83	外傾	平坦	人為	—	
48	C6e2	N-35°-W	円形	0.96 $\times$ 0.90	48	外傾	平坦	人為	—	TP11→本跡
56	C7h7	N-50°-E	長方形	1.60 $\times$ 1.20	28	外傾	平坦	人為	—	
58	D6b8	N-10°-E	楕円形	1.31 $\times$ 0.95	20	外傾	凹凸	人為	—	
59	D6h7	N-29°-E	楕円形	1.09 $\times$ 0.86	16	外傾	平坦	人為	土師器片	本跡→SD1
60	D6g5	N-0°	楕円形	0.83 $\times$ 0.66	18	外傾	平坦	人為	—	
61	D6e9	N-20°-E	隅丸長方形	0.95 $\times$ 0.95	67	外傾	平坦	人為	—	
62	C7j1	N-40°-E	隅丸長方形	1.95 $\times$ 1.55	42	緩斜	平坦	自然	縄文土器片, 石鏡	



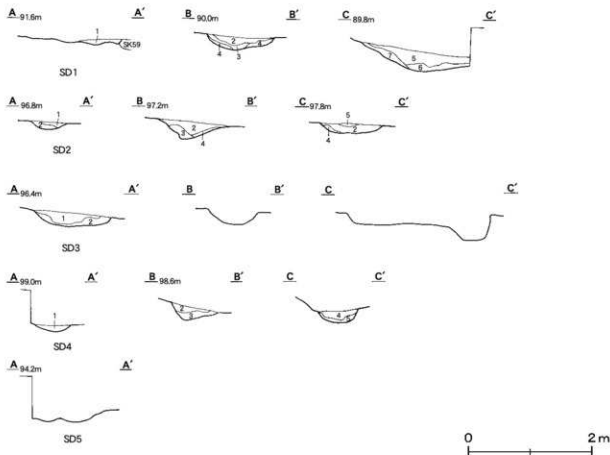
番号	位置	長径方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)(m)	深さ(cm)					
64	C3f1	N-80°-W	楕円形	1.75×1.53	74	外積	平坦	人為	縄文土器片,馬歯	
66	C3d1	N-60°-W	長楕円形	1.33×0.72	12	直立	平坦	人為	-	
68	C3f5	N-10°-E	楕丸長方形	1.67×1.13	33	外積	平坦	人為	土師器片	
70	C3l3	N-55°-E	楕円形	1.08×0.65	70	内積	平坦	人為	-	陥し穴の可能性あり
71	C2g9	N-17°-W	長方形	1.98×0.97	17	外積	平坦	人為	-	
73	C3g5	N-75°-E	不定形	1.40×1.13	9	外積	平坦	人為	-	
76	C3j7	N-30°-E	長楕円形	1.40×0.71	50	外積	平坦	人為	縄文土器片	陥し穴の可能性あり
81	C3f9	N-54°-W	円形	1.02×0.93	111	外積	平坦	人為	-	
82	C3g0	N-6°-W	長方形	1.83×1.06	19	外積	平坦	人為	-	
84	C3j0	N-14°-E	楕丸長方形	1.51×0.86	14	外積	平坦	人為	-	
95	C6f6	N-8°-W	[長方形]	1.45×(0.40)	120	直立	皿状	自然	-	
101	C2f9	N-45°-W	楕円形	1.40×0.96	26	外積	平坦	自然	縄文土器片,土師器片	陥し穴の可能性あり
102	D3b1	N-84°-E	楕円形	1.23×0.66	36	外積	平坦	人為	縄文土器片,土師器片	陥し穴の可能性あり
104	D2a0	-	-	(0.77)×(0.73)	39	外積	平坦	人為	縄文土器片	本跡→SH1
105	C2e8	N-44°-E	長方形	2.21×1.05	45	直立	平坦	人為	縄文土器片,土師器片	SH4→本跡
106	D3e2	N-60°-W	楕円形	1.12×0.84	17	緩斜	平坦	自然	縄文土器片,土師器片	
107	D3d1	N-52°-W	[楕円形]	(1.62)×1.28	13	緩斜	平坦	自然	縄文土器片,土師器片	
108	D3c2	N-75°-W	楕円形	1.08×0.88	26	緩斜	皿状	自然	土師器片	
109	D3d2	N-72°-W	長楕円形	2.10×0.97	38	緩斜	平坦	人為	縄文土器片	本跡→SK110
110	D3d1	N-66°-W	楕円形	0.97×0.88	30	外積	平坦	人為	-	SK109→本跡
111	D3e4	N-21°-E	不定形	1.08×0.92	50	緩斜	凹凸	自然	-	
112	D3b2	N-40°-E	長楕円形	2.73×0.95	63	外積	平坦	自然	縄文土器片,土師器片,石鏃	SK113→本跡
113	D3b6	N-62°-W	[長楕円形]	(1.32)×1.20	24	外積	平坦	自然か	縄文土器片,土師器片	本跡→SK112
117	C4d9	N-11°-W	楕円形	1.07×0.30	13(26)	外積	凹凸	人為	-	
118	C4e7	N-50°-E	[楕円形]	0.60×(0.20)	40	緩斜	凹凸	自然	-	SK119→本跡
119	C4e7	N-23°-E	[長方形]	0.51×(0.41)	22	緩斜	皿状	自然	-	本跡→SK118
120	C4e8	[N-57°-W]	不定形	(0.68)×0.55	18	外積	皿状	人為	-	本跡→SK125
121	C4e8	N-50°-W	楕円形	0.69×0.53	35	外積	皿状	自然か	-	
123	C4d6	N-82°-E	楕円形	1.13×0.57	8	緩斜	平坦	人為	-	
125	C4e8	N-6°-E	楕円形	3.80×(2.80)	106	外積	平坦	自然か	-	TP30→本跡
126	C4e8	N-28°-W	楕円形	0.99×0.51	42	緩斜	皿状	自然か	-	SK120→本跡
127	C4e8	N-23°-W	楕円形	0.45×0.40	12	緩斜	皿状	自然か	-	
131	C4d4	N-88°-E	楕円形	1.45×1.12	105	外積	平坦	人為	-	
132	C4e0	N-74°-E	長方形	1.22×0.85	62	直立	平坦	人為	-	
134	C4b4	N-19°-E	円形	0.75×0.74	12	緩斜	平坦	人為	-	
136	C4c2	N-19°-W	楕円形	1.04×0.85	83	外積	平坦	人為	-	

### (3) 溝跡(第75・85図)

溝跡5条を確認した。第1・5号溝は、調査区東部のD6区で確認された。第1号溝は東西方向に延び、第5号溝は部分的に確認されただけで全容は不明であるが、南北方向に延びていると推測される。第2・3・4号溝は調査区中央部のC4区で確認された。第2号溝は東西方向に、第3・4号溝は南北方向に延びている。

これらの溝は、土地の筆境や道路との境界にはほぼ一致することから、区画溝あるいは根切り溝である可能性が想定される。第1・2・4号溝からは、縄文土器片や土師質土器片等が、少量出土しているが、い

ずれも流れ込みによるものと考えられる。以下、これらの溝跡について、平面図は遺構全体図（第85図）に示し、土層断面図及びエレベーション図を記載する。



第75図 溝跡実測図

第1号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量
- 3 黒褐色 ロームブロック中量
- 4 褐色 ロームブロック多量
- 5 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 6 暗褐色 ロームブロック中量、白色粘土ブロック微量
- 7 褐色 ローム粒子多量

第2号溝跡土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック少量、炭化物微量
- 2 黒褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量
- 3 暗褐色 ロームブロック中量

- 4 明褐色 ロームブロック多量
- 5 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

第3号溝跡土層解説

- 1 褐色 ロームブロック中量
- 2 褐色 ロームブロック多量

第4号溝跡土層解説

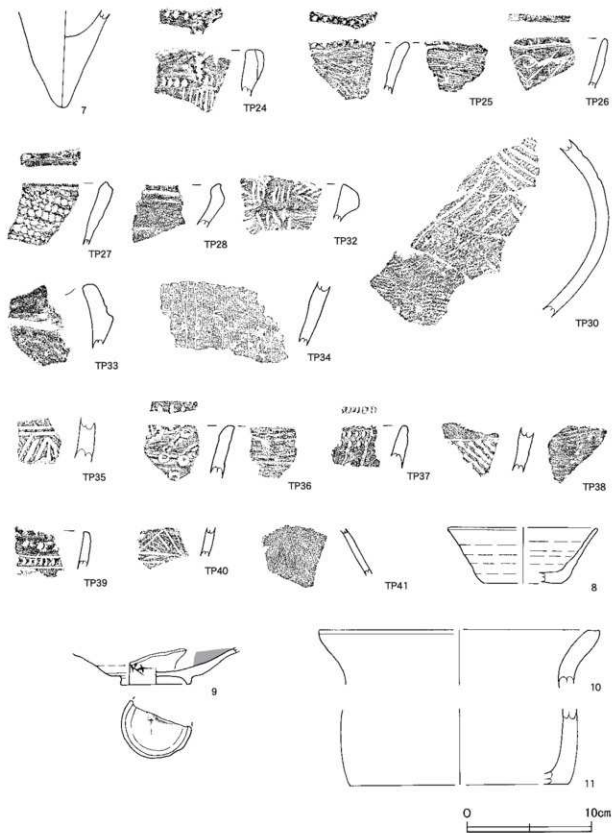
- 1 暗褐色 ロームブロック中量
- 2 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量
- 3 暗褐色 ロームブロック・炭化粒子少量、鹿沼パミス微量
- 4 暗褐色 ローム粒子少量
- 5 褐色 ロームブロック中量

表8 溝跡一覧表

番号	位置	方向	形状	規模				底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長さ(m)	最大上幅(m)	最大下幅(m)	深さ(cm)				
1	D6f1~D6j9	N-114°-E	直線状	(36.0)	1.00	0.67	8~32	皿状	自然	縄文土器片、土師器土器片	T P20, S K 59→本跡
2	C 4e6~C 4e0	N-92°-E	直線状	(16.0)	1.15	0.50	10~30	皿状	自然	縄文土器片	
3	C 4e9~C 4d9	N-25°-W	直線状	(3.2)	1.20	0.90	23~46	皿状	自然	-	
4	C 4e3~C 4a1	N-5°-W~N-55°-W	S字状	(18.4)	0.80	0.60	10~22	皿状	自然	縄文土器片	
5	D 6e1~D 6k3	N-50°-E	直線状	(6.8)	1.10	0.90	8~15	凹凸	不明	縄文土器片	本跡→S K 7

## (4) 遺構外出土遺物

遺構に伴わない主な遺物について、実測図（第76～78図）と出土遺物観察表で記載する。



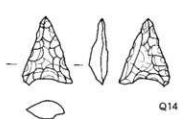
第76図 遺構外出土遺物実測図(1)



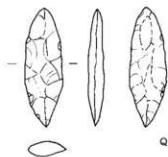
12



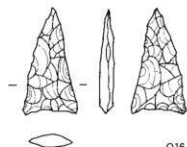
13



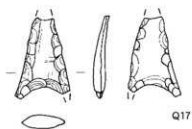
Q14



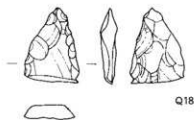
Q15



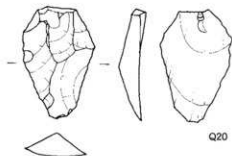
Q16



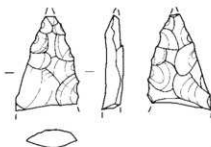
Q17



Q18



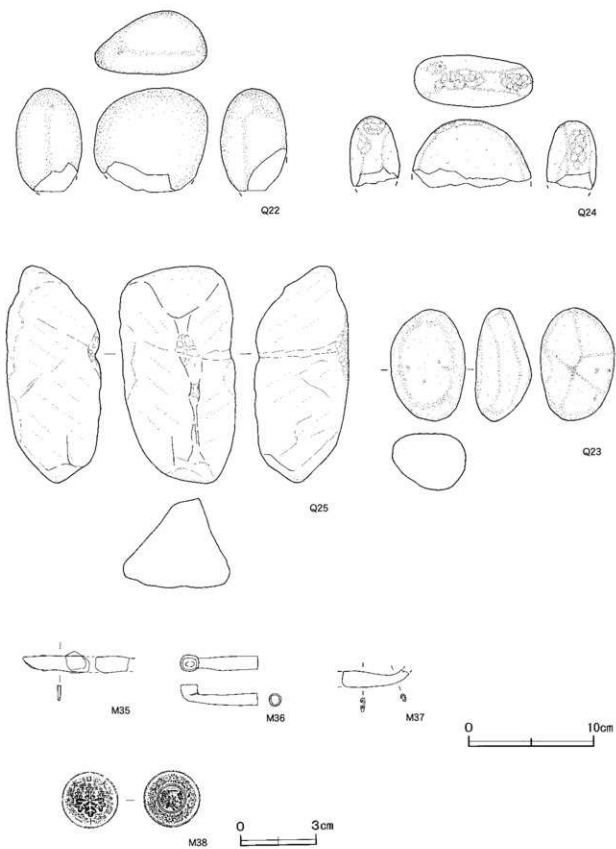
Q20



Q21



第77图 道桥外出土遗物实测图(2)



第78図 遺構外出土遺物実測図③

遺構外出土遺物観察表 (第76~78図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
7	縄文土器	実底土器	-	(7.8)	-	長石・石英	橙	普通	外面ナデ	表採 C596 B区	5% PL11
8	須恵器	坏	[12.0]	4.4	[6.0]	長石・針状物	黄灰	普通	ロクロナデ	表採	20%
9	土師器	高台付皿	-	(1.8)	5.4	長石・赤色粒子・針状物	橙	普通	底部凹輪へタ切り後高台貼り付け	表採	10%黒帯 [本] PL11
10	土師質土器	鍋か	[22.2]	(4.3)	-	長石・石英・雲母	灰	普通	口縁部内外面横ナデ	表採 C596 B区	5% PL11
11	土師質土器	鍋か	-	(6.0)	[17.4]	長石・雲母	灰	普通	内外面ナデ	表採	5%
12	土師質土器	焙烙	[28.8]	2.8	[29.6]	長石・雲母	灰	普通	内外面横ナデ	表採	5%
13	瓦質土器	圓形けし	[25.4]	5.4	[26.8]	長石・雲母	灰	普通	内外面横ナデ	表採	5% PL11

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP24	縄文土器	深鉢	-	3.9	-	長石・石英	橙	普通	口唇部内側に第5条筋部下部に黒帯文の残存 黒帯の底に赤い染帯と垂下する黒い筋	表採 B2区	早期中葉 PL12
TP25	縄文土器	深鉢	-	4.2	-	長石・雲母	にぶい赤橙	普通	口唇部外側に細み 内外面貝殻条痕文	表採 C2区	早期後葉 PL12
TP26	縄文土器	深鉢	-	3.9	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	沈澱で曲線的なモチーフと山部のモチーフを揃く	表採 C2区	早期中葉 PL12
TP27	縄文土器	深鉢	-	5.1	-	長石・石英	にぶい橙	普通	LRの単節縄文	表採	後期前葉 PL12
TP28	縄文土器	深鉢	-	3.5	-	長石・石英	にぶい赤橙	普通	口縁部横位の沈澱	表採	後期前葉 PL12
TP29	縄文土器	浅鉢	-	14.3	-	長石	黒褐	普通	単節縄文を境文とし上半に4条以上を単位とする部位の沈澱	表採 C3区	後期前葉 PL12
TP30	縄文土器	深鉢	-	2.9	-	長石	にぶい橙	普通	口唇部貝殻条痕文 波部部下連続する波状貝殻条痕文	表採	早期中葉 PL12
TP31	縄文土器	深鉢	-	5.2	-	長石	浅黄橙	普通	横位の太い沈澱と平行する隆帯 波状口縁か	表採 D2区	中期後葉カ PL12
TP34	縄文土器	深鉢	-	5.3	-	長石	にぶい橙	普通	縦位の細く粗い条痕文	表採 D2区	早期後葉 PL12
TP35	縄文土器	深鉢	-	3.3	-	長石・石英	にぶい橙	普通	沈澱で文様を揃く	表採 D2区	後期前葉 PL14
TP36	縄文土器	深鉢	-	4.2	-	長石	にぶい橙	普通	外面沈澱で幾何学モチーフを描く 交点に凹形竹管文 内面貝殻条痕文	表採 D3区	早期後葉 PL14
TP37	縄文土器	深鉢	-	3.5	-	長石・石英	暗赤褐	普通	口唇部細み 口縁部2列の刺突文列	表採 D3区	早期後葉 PL12
TP38	縄文土器	深鉢	-	3.7	-	長石・石英・雲母	暗赤褐	普通	外面沈澱と刺突文で幾何学モチーフを描く 内面貝殻条痕文	表採 D3区	早期後葉 PL14
TP39	縄文土器	深鉢	-	3.1	-	長石・石英	黒褐	普通	口唇部外側に第5条筋部に刺突文 横位の粗い赤い筋部と上半に4条以上を単位とする部位の沈澱	表採	早期中葉 PL12
TP40	縄文土器	深鉢	-	2.5	-	長石・石英	にぶい橙	普通	沈澱と貝殻条痕文	表採	早期中葉 PL14
TP41	土師器	甕	-	3.8	-	長石	黒褐	普通	体部ハケ目調整	表採	古墳前期 PL14

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q14	石鏝	1.8	1.3	0.5	0.78	チャート	凹基無条痕	表採	PL15
Q15	尖頭器	3.1	1.0	0.4	1.16	安山岩	木の葉型	表採	PL15
Q16	石鏝	2.8	1.5	0.4	1.18	チャート	凹基無条痕	表採 C46区	PL15
Q17	石鏝	(2.0)	1.5	0.4	(1.02)	頁岩	凹基無条痕 先端部欠損	表採	PL15
Q18	石鏝	2.0	1.5	0.4	1.18	チャート	凹基無条痕	表採	PL15
Q20	剥片	3.0	1.9	0.7	2.64	チャート	縦長剥片 石鏝の素材か	表採	PL15
Q21	石鏝	(2.5)	(1.7)	0.6	(1.98)	チャート	基部欠損	表採 C39区	PL15
Q22	磨石	(8.2)	10.0	5.2	(502)	安山岩	全面研磨痕 一端部欠損	表採 C25区	PL17
Q23	磨石	9.0	6.0	4.5	315	安山岩	全面研磨痕	表採 C25区	PL17
Q24	敲石	(5.5)	9.5	4.1	(312)	安山岩	上端部に敲打痕 下端部欠損	表採 C36区	
Q25	台石	17.3	9.2	(7.4)	(1350)	砂岩	二側縁に敲打痕	表採	PL16

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M35	刀子	(8.5)	1.3	0.3	(6.95)	鉄	基部欠損	表採	PL17
M36	煙管煙首	6.1	1.3	1.8	8.60	銅	火皿部円形 接合部断面円形	S139P	PL17
M37	煙管吸口カ	(5.4)	0.3	(1.3)	(3.30)	銅	接合部一部欠損	表採 C2区	PL17

番号	銭名	径	孔幅	重量	初鋳年	材質	特 徴	出土位置	備考
M38	一枚銅貨	2.26	-	3.28	1937	銅	表絵柄 傾	表採	PL18

## 第4節 ま と め

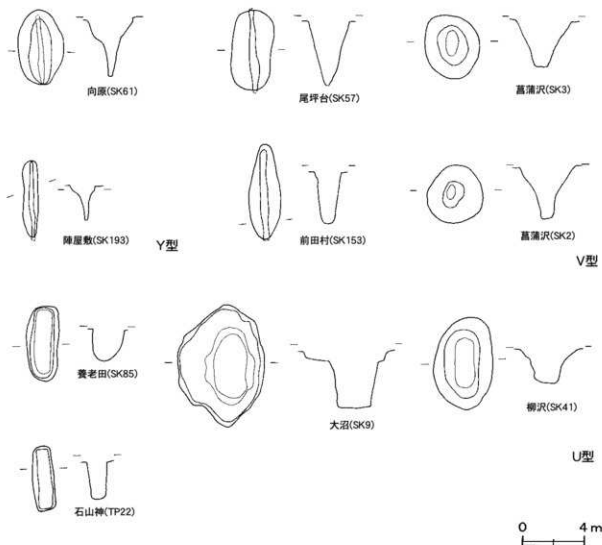
調査の結果、縄文時代の竪穴住居跡3軒、陥し穴31基、屋外炉跡2基、平安時代の竪穴住居跡2軒、近世の墓坑5基、時期不明の方形竪穴遺構1基、土坑71基、溝跡5条が確認され、当遺跡は縄文時代、平安時代、近世の複合遺跡であることが明らかになった。

縄文時代には、確認された竪穴住居跡を拠点として、当地は狩猟場として利用されていたと考えられる。その後、平安時代の一時期に小規模な集落が営まれ、近世には墓域としてその一部が利用されていた。

ここでは、確認された遺構と遺物のうち、縄文時代の陥し穴と近世の墓坑について若干の検討を行い、まとめたい。

### 1 縄文時代の陥し穴

縄文時代の陥し穴と考えられる土坑が31基確認されている。これらの土坑は、出土遺物がわずかであるため、時期の詳細を明らかにすることは困難であるが、その形状から縄文時代の陥し穴と判断したものである。以下、陥し穴について考察する。



第79図 陥し穴の横断面形状の分類（註1文献第261図から引用）

## (1) 陥し穴の分類

確認された31基の陥し穴について、規模や形状から分類してみる。分類の観点は、断面形状、平面形状、底面の小ピットの有無、規模の4点である。

### ア 断面形状について

陥し穴の横断面（短軸方向の断面）の形状に着目して、武田石高遺跡<sup>1)</sup>や西原遺跡<sup>2)</sup>では、横断面がY字状を呈するもの（Y型）、V字状を呈するもの（V型）、U字状を呈するもの（U型）の3つに分類している（第79図参照）<sup>3)</sup>。この分類に従えば、当遺跡の陥し穴はすべてU型に該当する。

さらに、西原遺跡では、縦断面（長軸方向の断面）の形状にも着目し、次の4つの形状に分類している（第80図参照）。

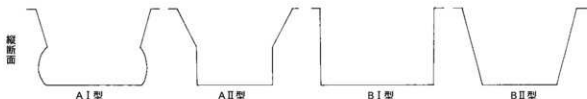
A I型 括れ部を有し、開口部が広がる型で、中位から下位の壁が尖って張り出す型。

A II型 括れ部を有し、開口部が広がる型で、中段の括れから、壁が垂下する型。

B I型 中段に括れを持たず、壁面が直線的に開口部へ広がる型で、壁が直立している型。

B II型 中段に括れを持たず、壁面が直線的に開口部へ広がる型で、壁が外傾して立ち上がる型。

当遺跡の陥し穴は、A I型が2基、A II型が4基、B I型が7基、B II型が18基（内1基は推定）で、B II型が半数以上を占めている。



第80図 陥し穴の縦断面形状の分類模式図（註2文献第14図から引用）

### イ 平面形状について

当遺跡の陥し穴の確認面での形状は、楕円形・長楕円形・隅丸長方形・長隅丸長方形の4種類に分類することができる。この形状については、次のような遺跡の分類を参考にしている。

武田石高遺跡では、長楕円形から楕円形・楕円形・隅丸長方形・隅丸長方形の4つに、また、西原遺跡では、短楕円形・楕円形・長楕円形・細長楕円形・長方形の5つに分類している。さらに、登谷遺跡<sup>4)</sup>では、長楕円形・楕円形・円に近い楕円形・円形等に分類している。この中で、西原遺跡では、分類するに当たり「長短軸指数」（長短軸指数＝短軸／長軸×100<sup>5)</sup>）を示し、50前後を正楕円形（標準の楕円形）、それ以上を短楕円形、それ以下を長楕円形としている。

当遺跡でも、「長短軸指数」を基準とし、長短軸指数48以上を楕円形及び隅丸長方形、47以下を長楕円形及び長隅丸長方形とした。その結果、楕円形が8基（1基は推定）、長楕円形が4基、隅丸長方形が8基、長隅丸長方形が11基となった。

また、底面の形状については、登谷遺跡で、長方形・楕円形・長楕円形・四隅が突出する形等に分類している。当遺跡の陥し穴の底面形状は、すべて隅丸長方形と捉えることができる。

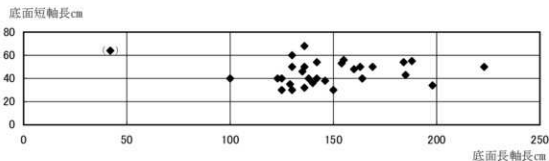
さらに、登谷遺跡では、小ピットの位置にも着目し、底部に逆茂木の跡と考えられる小ピットが確認されたか否かも分類の観点としている。当遺跡で小ピットを持つものは6基である。



## ウ 規模

規模によって分類する場合は、計測値の集中と分散や平均値等をもとにして、遺跡ごとに便宜的な分類基準を設けている。武田石高遺跡では、底面の長軸長の計測値の分散・集中具合を、複数の遺跡で比較して基準を設定している。また、西原遺跡では、長軸長の平均を基準として、それより大きいもの（大型）と小さいもの（小型）に分類している。

当遺跡の陥し穴については、武田石高遺跡で示された基準に照らし合わせつつ、底面の長軸長の分散と集中具合から（第81図参照）、底面長軸長が1.7m未満のもの、1.7m以上3m未満のもの、3m以上のものの3つに分類した。その結果、1.7m未満のもの（小形）が25基、1.7m以上3m未満のもの（中形）が5基で、3m以上のもの（大形）はない（不明1基）。



第81図 向原遺跡陥し穴底面の長軸長と短軸長

## エ 向原遺跡の陥し穴の規模や形状の傾向

ア、イ、ウを踏まえ、当遺跡の陥し穴を分類すると表9のようになる。確認面での平面形は、楕円形グループと隅丸長方形グループに分けて見ると、隅丸長方形グループがやや多く、長軸と短軸の比率を見ると、標準のものやや細長いものが半々である。横断面はすべてU字状を呈しており、縦断面は、壁が直線的に外傾して立ち上がるか、直線的に直立する型が圧倒的に多い。壁の中心に括れをもつ型は6基と少なく、下位の壁が張り出し、中心がオーバーハングする型はわずか2基である。それら6基の平面形は楕円形又は長楕円形で、隅丸長方形を呈するものはない。小ピットを持つものは6基で、うち4基は長軸方向の壁が直線的に外傾して立ち上がる型に見られる。規模は、小形のものほとんどである。断面がY字状やV字状で、開口部の幅が狭く、大形の、いわゆる「溝状陥し穴」は1基も確認されていない。

表9 向原遺跡の陥し穴の分類

縦断面形状	確認面の形状			
	楕円形	長楕円形	隅丸長方形	長隅丸長方形
A I型	15P	29中	—	—
A II型	1 18 31	23中	—	—
B I型	—	—	16P 26	8 11中 13 22 28中
B II型	3 7 9 27	20P 24P	29中 4 6 12 14P 19	5 10 17 21 25 30

※ 番号は陥し穴の番号、Pは小ピットあり、中は中形。

## ② 陥し穴の配置・配列

武田石高遺跡では「陥穴状遺構の分布には、同時に機能したこと証明は困難であっても、規則性をうかがうことができるものもある。むしろ、単独で機能した陥穴状遺構を積極的に捉えることが現状では難しい」<sup>61)</sup>と述べられ、規則性が認められる分布を以下のように分類している。

I型 2基の対の配置。

II A型 3基以上の配置で、遺構の間隔が10m以上の疎な配置。

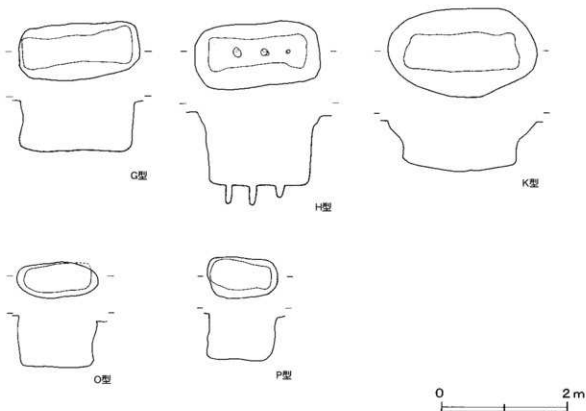
II B型 3基以上の配置で、遺構の間隔が10m未満の密な配置。

いずれの型とも、長軸を平行にして並び、短軸を平行にして並ぶことはなく、さらに、単位と考えられる配置を連続的に配列することが認められ、茨城県内の複数の遺跡を事例に標準型を示している。

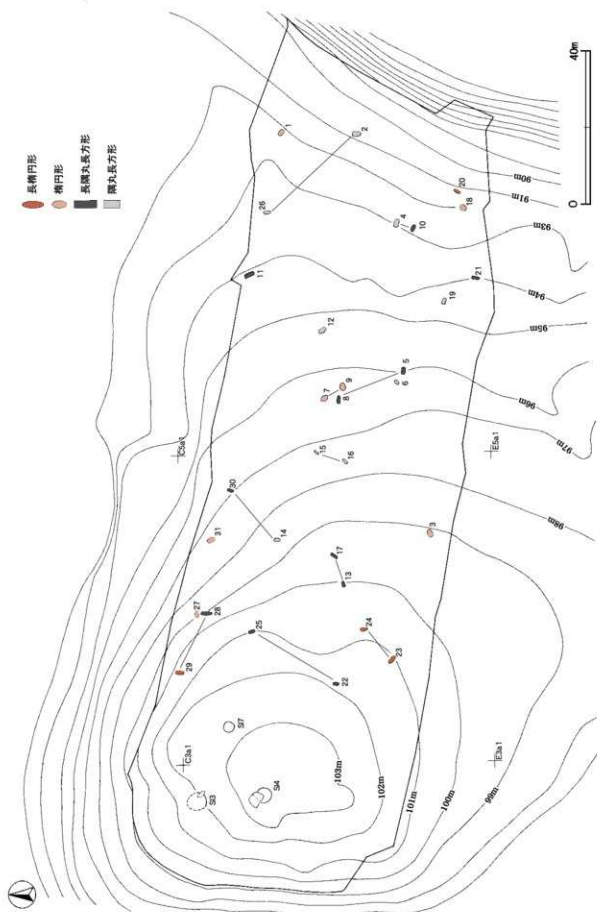
当遺跡の陥し穴の分布は第83図に示したようになり、一見すると不規則な分布を示しており、陥し穴が短軸を平行にして直線状あるいは弧状に配列される様子は見られない。しかし、I型が複数配列されていると考えることは可能であり、第83図の中の線で結んである陥し穴が、規模や形状から対になると考えられるものである。当遺跡では、単独で存在するものもあるが、2～3基を一つの単位として配列されているといえる。

## ③ 陥し穴の時期

陥し穴については、出土土器が必ずしも時期を示すものではないとの指摘がある上、当遺跡では出土している土器が極わずかであり、時期を明確にすることは困難である。しかし、登谷遺跡の事例及びここまでの考察をもとに時期を推定してみたい。



第82図 登谷遺跡陥し穴の形態分類（註4文献第217図から引用）



第83図 向原遺跡陥し穴の配置図

登谷遺跡では213基の陥し穴が確認され、それに主眼を置いた調査を行っている。その結果、「掘込面と覆土」「出土遺物」「他遺構との切り合い」という要素について多くの情報を得、さらに、「火山灰分析」と「C14年代測定」の結果を加味して、時期設定を試みている。そして、各時期ごとに陥し穴の形態を観察し、時期によって1つあるいは複数の群にまとまることから、それを細別の形態として分類している。この分類に従えば、当遺跡の陥し穴は、登谷遺跡のG型・H型・K型・O型・P型（第82図）に相当すると考えられる。これらの型に当てはまる時期は、G型・H型が早期末葉、K型・O型・P型が前期である。この結果を裏付けるように、当遺跡では、早期末葉から前期前葉と考えられる堅穴住居跡が3軒確認されており、遺物包含層からも、同時期の土器片が多数出土している。陥し穴からも同時期の土器片が出土しており、おおむね早期末葉から前期を中心とした陥し穴群ととらえている。

また、すでに指摘したように、当遺跡の陥し穴の分布は一見すると不規則であるが、対になる配置が複数見られる。登谷遺跡における早期末葉及び前期の陥し穴の分布にも同様の傾向が見られ、尾根上から斜面にかけて2～3基がまとまって配置されたり、2基一対で配置されたりしている。以上のことから、当遺跡の陥し穴が当該期のものであることが推定される。

#### 4) 小結

当遺跡では、調査区西側の小丘陵の最頂部に縄文時代早期末葉から前期前葉の堅穴住居跡が3軒確認されている。この地点から東側は、緩やかな傾斜面が続いており、そこに陥し穴が分布している。このことから、最頂部を居住の場とし、その東側の緩斜面を狩猟場としていた可能性が考えられる。最頂部付近の遺物包含層をはじめ、調査区からは石鏃やチャートの剥片が複数出土している。石核やハンマーは確認されていないものの、近くで狩猟用の石鏃などが製作されていた可能性も考えられる。

陥し穴を列配置せず、2～3基単位、あるいは単独で配置する場合は、けもの道をねらって作られていると考えられる。しかも、当遺跡では底面の長軸長が1.7m未満の小形のものが多く、狼の対象はノウサギやタヌキあるいはイノシシなどであったと考えられる。

旧笠間市域では、中山遺跡<sup>7)</sup>や小組遺跡<sup>8)</sup>でも丘陵性台地の尾根部に近い緩斜面で陥し穴が確認されている。また、旧岩瀬町域の高幡遺跡<sup>9)</sup>や旧友部町域の石山神遺跡<sup>10)</sup>でも陥し穴が確認されており、筑波山塊北嶺一帯の丘陵性台地上には、陥し穴を構築した狩猟場が広く分布している様子がうかがわれる。

## 2 近世の墓坑

近世と考えられる墓坑が5基確認された。これらは、形状が独特で、二段に掘り込まれている。同様の形状を呈する墓坑は、福原打越塚群<sup>11)</sup>と登谷遺跡<sup>12)</sup>で、それぞれ2基づつ確認されている。ここでは、これらの墓坑について若干の考察を行う。

### 1) 墓坑の規模と形状

向原第1～5号墓坑（以下向原1～5と記載）及び福原打越塚群第1・2号墓坑（以下福原1・2と記載）は、上段の平面形状は一辺1.0～1.9mの方形を呈し、コーナー部又は中央部に一辺50～70cmほどの方形の二段目の掘り込みを有している。登谷遺跡B1・B26土葬墓（以下登谷B1・B26と記載）は、上段の平面形状は直径1.8～2.1mの円形を呈し、B1は中央部に直径1.1mの円形の、B26は一辺1mほどの方形の二段目の掘り込みを有している（第84図参照）。確認面からの深さは、向原1～5及び福原1・2の上段は38～66cm、下段は98～145cmである。登谷B1の上段の深さは40cmである。これら9基について便宜的に分類するなら、平面形状が上段・下段とも方形を呈するもの（1型）、上段・下段とも円形を呈

するもの（2型）、上段は円形で下段は方形を呈するもの（3型）に分けられ、さらに1型は下段の掘り込みの位置が、コーナー部に位置する（1型a）のか中央部に位置する（1型b）のかで2つに分けられる。まとめると表10のように、1型aが3基、1型bが4基、2型が1基、3型が1基となる。

#### (2) 墓坑の分布状況

当遺跡及び福原打越塚群においては、調査区内で確認された墓坑はすべて二段の掘り込みを有する墓坑である。登谷遺跡では、26基の墓坑（土葬墓）が、ある一定の範囲にまとまって確認されており、そのうち2基のみが二段の掘り込みを有するものである。他の24基は、平面形状が方形で壁がまっすぐに落ちる形状を呈している。また、他の24基が複数まとまって確認されている（一部が重複するものもある）のに対して、登谷B1・B26は単独で存在している。

向原1～5は、D6区の南西部で、東西16m、南北28mの範囲で5基が確認されており、それぞれ単独で存在していると捉えたい分布状況である。福原1・2は東西に隣り合って確認されている。

#### (3) 墓坑の時期

福原2は17世紀末以降、福原1は近世と考えられ、登谷遺跡の墓坑（土葬墓）は、登谷B1・B26を含めて、すべて17世紀末～18世紀代と判断されている。向原1～5も、出土した寛永通寶から判断すれば、17世紀末以降といえるだろう。ここで取り上げた9基の二段掘り込みを有する墓坑は、ほぼ17世紀末以降という年代に当てはまることになる。

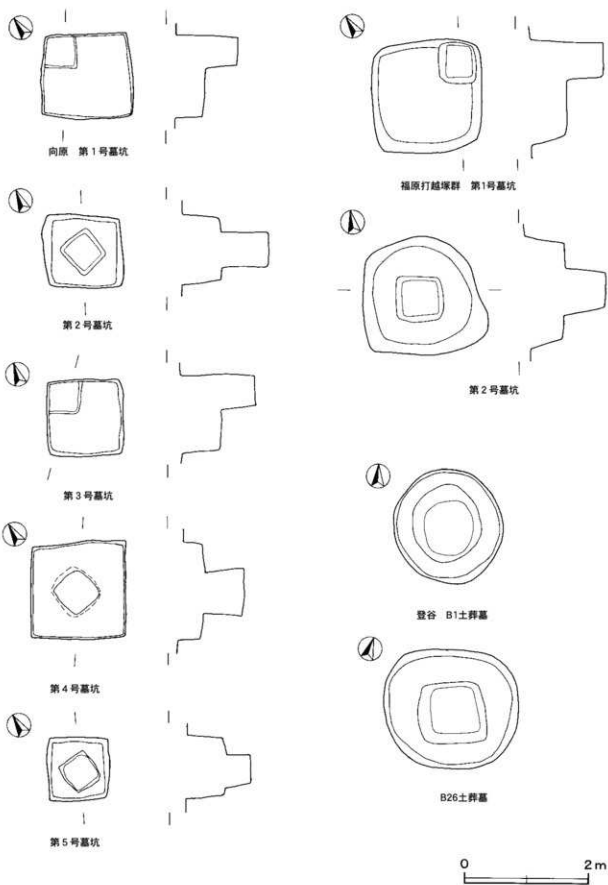
#### (4) 埋葬方法・形態

向原1～5では鉄釘片が複数出土しており、木質が付着しているものが見られたことや、下段の掘り込みが方形であることから、遺体は方形の木棺に納められたと考えられる。福原1・2、登谷B26でも鉄釘片あるいは鉄釘片と見られる遺物が出土しており、向原1～5と同様と考えられる。登谷B1については不明である。

埋葬位は、広い意味での座葬と考えられる。詳細に見ると、木棺を納めたと考えられる下段の底部の規模が、登谷B26・福原2は60～70cmほどあるが、向原1～5、福原1は40～50cm弱程度で、正座や胡座の姿勢をとらせるにはやや狭小であることから、蹲る姿勢の蹲葬であったと考えられる。なお、江戸市中においては蹲葬が多く（おそらく墓地の確保の面からだと考えられる）、江戸周辺の農山村でも同様の傾向があるとされる<sup>12)</sup>。

#### (5) 小結

当遺跡及び福原打越塚群においては、確認された墓坑はすべて二段の掘り込みを有するものである。しかし、登谷遺跡においては、確認された26基のうち、わずか2基だけが二段の掘り込みを有するものである。このことから、二段の掘り込みを有する墓坑は、登谷遺跡では特別な意味を持つものであることが想定されるのに対し、当地においては一般的な形態であったと想定することが可能であり、当地の墓坑の特徴といえる。今後、類例の増加によって、詳細な検討が進められることを望む。



第84図 二段の掘り込みを有する墓坑

表10 二段の掘り込みを有する墓坑の分類

上段平面形		下段平面形	
方形		方形	円形
円形		—	2型 登谷B1
方形	1型a	下段がコーナー部 向原1 向原3 墓原1	3型 登谷B26
	1型b	下段が中央部 向原2 向原4 向原5 墓原2	

## 註

- 1) 鈴木素行 加藤博文 長沼正樹 柴田徹 山本薫 高松武次郎「武田石高遺跡 旧石器・縄文・弥生時代編」『(財)ひたちなか市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告』第15集 財団法人ひたちなか市文化・スポーツ振興公社 1998年1月  
鈴木氏は、茨城県内の陥し穴状遺構の集成を行った上で、武田石高遺跡の陥し穴状遺構について考察されている。
- 2) 赤井博之 小川和博 大淵淳志 石川太郎「西原遺跡 山加電業株式会社村岡地先倉庫等建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書」『千代川村埋蔵文化財発掘調査報告書』第6集 千代川村教育委員会村史編さん室 有限会社日考研茨城 2000年3月
- 3) 西原遺跡ではY字状を呈するものをYⅠ型・YⅡ型に細分している。
- 4) 中村紀男「登谷遺跡調査報告書ツインリンクもてぎ内のホテル建設に伴う発掘調査」登谷遺跡調査団 2002年4月
- 5) 報告書中には、「長短軸指数＝長軸/短軸×100」と記載されているが、実際には「短軸/長軸×100」で算出されている。
- 6) 註1)に同じ
- 7) 横倉要次 早川麗司「中山遺跡 福原打越塚群 上加賀田宮後東遺跡 北関東自動車道(協和～友部)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書VI」『茨城県教育財団文化財調査報告』第227集 2004年3月
- 8) 本書
- 9) 横倉要次 早川麗司 越田真太郎「高幡遺跡 加茂東遺跡 大田山神古墳 北関東自動車道(協和～友部)建設事業地内埋蔵文化財調査報告書VII」『茨城県教育財団文化財調査報告』第228集 2004年3月
- 10) 上野修生「茨城県立総合教育研修センター(仮称)建設用地内埋蔵文化財調査報告書 石山神遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第62集 1990年3月
- 11) 註7)に同じ
- 12) 註4)に同じ
- 13) 古泉弘「近世墓研究の課題と展望—基調報告—」『墓と埋葬と江戸時代』江戸遺跡研究会 2004年8月

## 参考文献

- ・ 後藤孝行「中内西ノ妻遺跡 一般国道468号首都圏中央連絡自動車道新設工事地内埋蔵文化財調査報告書」『茨城県教育財団文化財調査報告』第234集 2005年3月
- ・ 今村啓爾「陥穴(おとし穴)」『縄文文化の研究』第2巻(生業)雄山閣 1994年8月
- ・ 越川敏夫他「向原遺跡 茨城県土浦市向原遺跡調査報告書」向原遺跡調査会 土浦市教育委員会 1987年12月
- ・ 戸沢克則他「茨城県稲敷郡美浦村陣屋敷遺跡 1989年度の陣屋敷遺跡(台地部)における弥生・古墳・平安時代集落址の調査研究報告書」陸平研究所報告1 美浦村 陸平調査会 1992年12月
- ・ 中村幸雄「竜ヶ崎ニュータウン内埋蔵文化財調査報告書14 尾坪台遺跡 十三塚遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第39集 1986年3月

- ・ 吉原作平「伊奈・谷和原丘陵部特定土地画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書1 西ノ脇遺跡 前田村遺跡」『茨城県教育財団文化財調査報告』第87集 1994年3月
- ・ 汀安衛「茨城県行方郡北浦村 菖蒲沢遺跡調査報告書」菖蒲沢遺跡調査会 1991年11月
- ・ 川崎志郎他「日立市大沼遺跡発掘調査報告書」『日立市文化財調査報告』第3集 日立市教育委員会 1978年2月
- ・ 小川和博他「柳沢・養老田・寿行地北遺跡発掘調査報告書」『霞友ゴルフクラブ建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』第1集 土浦市教育委員会 出島村教育委員会 1996年3月
- ・ 長佐古真也「発掘事例にみる多摩丘陵の墓制」『江戸時代の墓と墓制』江戸遺跡研究会 1996年2月





## 第4章 小組遺跡

### 第1節 遺跡の概要

調査区を便宜上Ⅰ～Ⅵ区に分けており、平成14年度調査区はⅠ～Ⅳ区、平成16年度調査区はⅤ・Ⅵ区である(第87図)。

調査の結果、旧石器時代から近世まで断続的に営まれた複合遺跡であることが確認された。調査前の現況は山林・畑地であり、調査対象面積は、16,787㎡である。

遺構は、旧石器時代の石器集中地点8か所、縄文時代の陥し穴13基、平安時代の竪穴住居跡25軒、火葬墓1基、土坑5基、不明遺構1基、近世の墓坑9基、時期不明の掘立柱建物跡5棟、井戸跡9基、土坑319基、溝跡15条、道路跡1条、柵跡5条、ピット群7か所などが確認された。

遺物は、遺物収納コンテナ(60×40×20cm)に35箱出土している。主な出土遺物は、旧石器時代では有稜尖頭器、尖頭器、打製石斧、石核、二次加工のある剥片、微細剥離痕のある剥片、剥片、砕片、敲石、台石などである。縄文時代では縄文土器(深鉢)、石器(石鏃・敲石・磨石)などである。平安時代では土師器(小皿・坏・椀・高台付皿・鉢・甕・甔・墨書土器・刻書土器)、須恵器(甕・甔・円面硯)、土製品(支脚・紡錘車・置き竈・土玉・陽物形土製品)、石器・石製品(支脚・砥石)、金属製品(鉄斧・鉄鎌・鉄鍬・紡錘車・刀子)などで、鍛冶関連遺物は羽口、椀状滓・鉄滓である。近世では陶磁器(碗・播鉢)、土師質土器(短頸甃)、金属製品(煙管・古銭・鉄鍋・刀子・釘)などである。

### 第2節 基本層序

調査区に標高差があるため調査区ごとにテストピットを設定し、基本土層の観察を行った(第86図)。

第Ⅰ層は黒褐色の表土層で、炭化粒子を微量に含む。粘性・締まりは弱い。層厚は25～35cmである。

第Ⅱ層は暗褐色の腐植土層で、ローム粒子を微量に含む。粘性・締まりは弱い。層厚は20～30cmである。

第Ⅲ層は暗褐色のローム漸移層で、赤色スコリアを微量に含む。粘性・締まりは普通である。層厚は10～22cmである。

第Ⅳ層は褐色のソフトローム層で、赤色スコリア・黒色スコリア・白色粒子を微量に含む。粘性・締まりは強い。層厚は25～37cmである。

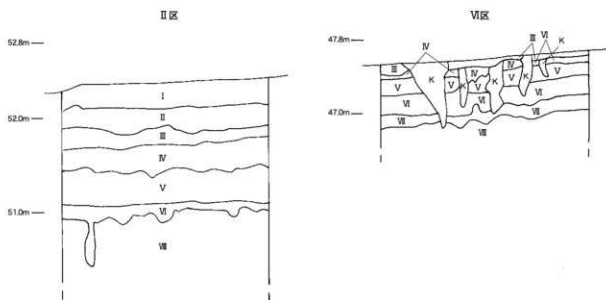
第Ⅴ層は明褐色のハードローム層で、赤色スコリア・黒色スコリア・白色粒子を微量に含む。粘性・締まりは強い。層厚は22～36cmである。

第Ⅵ層は褐色のハードローム層で、赤色スコリア・黒色スコリア・白色粒子を微量に含む。粘性・締まりは強い。層厚は15～26cmである。

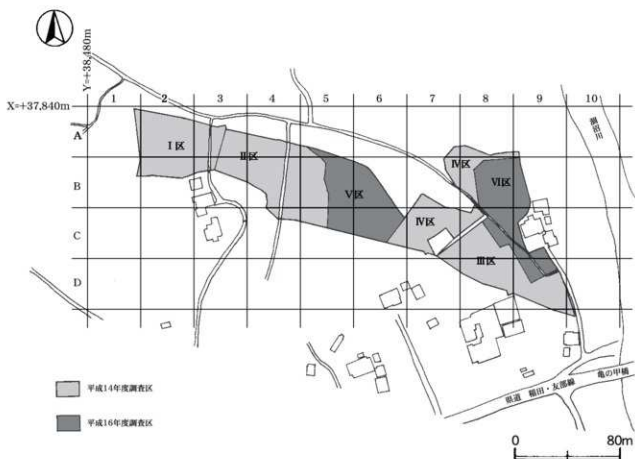
第Ⅶ層は黄褐色の鹿沼軽石層との漸移層で、粘性は普通で、締まりは強い。層厚は12～18cmである。

第Ⅷ層は明黄褐色の鹿沼軽石層の純層で、粘性は普通で、締まりは強い。層厚は不明である。

なお、遺構は、第Ⅳ層上面で確認されている。



第86図 基本土層図



第87図 小組遺跡調査区設定図

## 第3節 遺構と遺物

### 1 旧石器時代の遺構と遺物

#### (1) 調査の方法

調査Ⅲ区（平成14年度調査区）と調査Ⅵ区（平成16年度調査区）で旧石器時代の文化層が確認できると想定される地点に、各調査区とも4m四方のグリッドを設定し、四辺に土層観察用のベルトを残してローム層の掘り下げを実施した。石器の平面分布の広がりを確認するため、グリッドは随時拡張していき、調査Ⅲ区ではC8i7・C8j7・C8i8・C8j8・C8i9・C8j9・D8a8・D8a9・D8a0の9グリッド、面積約90㎡を調査した。調査Ⅵ区ではB9d1・B9e1・B9f1・B9g1・B9h1・B9e2・B9f2・B9g2・B9g3・B9h3・C8j3・C8a9・C8b9・C8c9・C8b0の15グリッド、面積約160㎡を調査した。調査の結果、調査Ⅲ区からは1か所、調査Ⅵ区から7か所の石器集中地点が確認された。

#### (2) 石器集中地点の記載方法

調査時に認識した石器集中地点について、石器が確認されない空白を目安に分布の再検討を行い、石器集中地点の呼称を整理時に変更した。また、調査年度が異なる石器集中地点間で層位的検証を行い、さらに石器組成を検討した結果、二つの文化層があることが判明した。そこで、上部の層から出土した石器群を「第Ⅰ文化層」、下部の層から出土した石器群を「第Ⅱ文化層」とする。

(変更前)

(変更後)

平成14年度 「石英剥片・砕片集中地点」

第1号石器集中地点、第2号石器集中地点  
に分離

平成16年度 「A地点」

第3号石器集中地点

「B地点」

第4号石器集中地点

「C地点」「D地点」

第5号石器集中地点に融合

「E地点」

第6号石器集中地点

「F地点」

第7号石器集中地点

「G地点」

第8号石器集中地点

#### (3) 石器の記載方法

8つの石器集中地点から出土した石器の総数は約2500点である。調査時の石器の遺物番号は、石器集中地点ごとに番号を付している。本報告の番号とともに、調査時の番号も併せて掲載した。実測図未掲載の石器もすべて一覧表で掲載した。記載内容は、「番号」「旧番号」「器種」「石質」「重量」「出土位置」である。「器種」「石質」については、アルファベットで記号化し掲載した。「出土位置」の「グリッド番号→」は、出土した小グリッドの北西角から南（X座標）、東（Y座標）への距離であり、Zは「標高」である。なお、重量の「-」は、微細なため計測不能の石器である。以下、記号の凡例を示す。（ ）内は図版中の記号である。

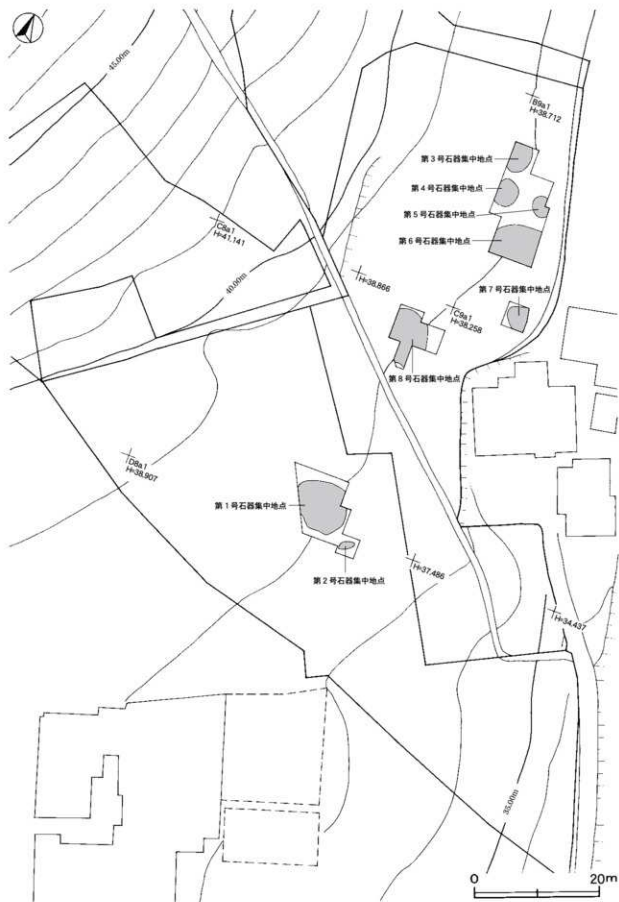
原石A (□) 石核B (■) 剥片C (小●) 砕片D (大●) 二次加工剥片E (△) 微細剥離痕のある剥片F (小●) 尖頭器G (★)

礫石I (▲) 台石J (☆) 打製石斧K (小○) 礫L 礫片M (大○) (※ Hは使用していない、Iは図版化していない)

水晶a (小●) 黒色顔面安山岩b (小■) 雲母片岩c (小○) 花崗岩d (小▲) 凝灰岩e (大○) 硬質頁岩f (大□) 砂岩g (中●)

石英斑岩h (大▲) 珪質頁岩I (大■) チャートj (大●) 頁岩k (大△) ホルンフェルスl (小△) 流紋岩m (小□)

(例) C8i8 → X = 1.58 Y = 1.16 Z = 37.489 (C8i8から南へ1.58m、東へ1.16m、標高37.489m)



第88图 石器集中地点分布图

#### (4) 石器集中地点の層序

B 9g3・C 8 j7区の2か所で、基本土層の観察を行った。確認面から深さ約1mで甍沼層が確認されている。土層の観察結果は以下の通りであり、各試掘坑の層は対応している(第89図)。

第I層は黒色土層で、焼土粒子・炭化粒子を微量含む。粘性・締まりとも弱い。層厚は45～55cmである。

第II層は黒色土層で、第I層と比べてロームブロックが多く含有している。粘性・締まりとも弱い。層厚は5～10cmである。

第III層は黒色土層で、第I・II層よりも色調が明るい。ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子を少量含む。粘性・締まりとも弱い。層厚は10～15cmである。

第IV層は暗褐色土層で、炭化粒子を微量含む。粘性・締まりとも普通である。層厚は5～10cmである。

第I～III層が表土層で、第IV層が旧地表と考えられる。

第V層は暗褐色のローム漸移層で、赤色スコリア、橙色スコリアを微量含む。粘性・締まりとも普通である。層厚は10～20cmである。

第VI層は褐色のソフトローム層で、白色粒子・赤色粒子・黒色粒子を微量含む。クラックが発達している。粘性・締まりとも強い。層厚は10～35cmである。

第VII層は明褐色のハードローム層で、白色粒子・赤色粒子・黒色粒子を微量含む。粘性・締まりとも強い。層厚は20～40cmである。

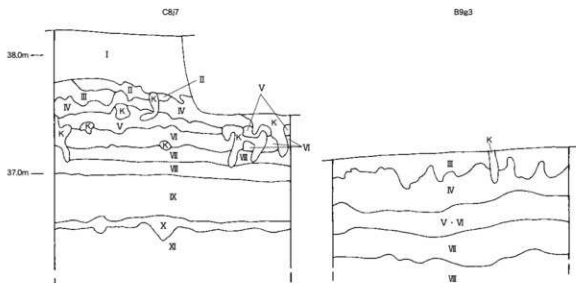
第VIII層は褐色のハードローム層で、赤色粒子・黒色粒子を少量含む。粘性・締まりとも強い。層厚は15～25cmである。

第IX層は褐色のハードローム層で、色調は第I～III層と比べて暗く、粘性・締まりとも極めて強い。白色粒子・赤色粒子・黒色粒子を微量含む。層厚は30～45cmである。

第X層は黄褐色の甍沼軽石層との漸移層で、粘性は普通で、締まりは強い。層厚は5～10cmである。

第XI層は明黄褐色の甍沼軽石層の純層で、粘性は普通で、締まりは強い。層厚は約40cmまで確認されている。

第V～VI層が第I文化層、第VII層が第II文化層と考えられる。



第89図 石器集中地点基本土層図

(5) 石器集中地点の概要

平成14・16年度の調査で確認された石器集中地点は、8か所である。以下、個々の石器集中地点について記述する。

**第1号石器集中地点**（第90・99・101・110～118図）

**位置** C8i8～D8a9区、標高38mほどの丘陵裾部に位置している。

**出土状況** C8j8区付近に石器が集中しており、分布の中心と考えられ、その周縁になると石器類の出土は散漫になる。出土位置は、ローム漸移層からソフトローム層にわたり、中心はソフトローム層である。

**遺物** 有種尖頭器、尖頭器の未成品、ポイントフレイク、石核・原石などが出土している。その他、剥片・砕片が多量に出土している。

**所見** 石材は水晶がほとんどで、水晶製の尖頭器を製作していたものと考えられる。

**第2号石器集中地点**（第90・100・101・119・120図）

**位置** D8a0区、標高38mほどの丘陵裾部に位置している。

**出土状況** 第1号石器集中地点に隣接しており、石器の出土範囲は狭い。出土層位は、ソフトローム層である。

**遺物** 蔽石や台石で構成されている。

**所見** 第1号石器集中地点からはあまり出土していない石器製作の道具が、まとまって出土している。出土層位は、第1号石器集中地点と同じであり、関連性が考えられる。

**第3～5号石器集中地点**（第102・103・121～124図）

**位置** B9d1～B9f2区、標高38mほどの丘陵裾部に位置している。

**出土状況** 3地点とも石器の出土点数は少なく、散漫な出土状況である。すべてソフトローム層からの出土である。これらの石器集中地点は、隣接して形成されている。

**遺物** 3地点とも、水晶を石材とした石器は、剥片・砕片より石核が多く確認されている。また、水晶以外の石材の石器も出土している。

**所見** 比較的小さな3か所の石器集中地点が、同一文化層から確認されている。

**第6号石器集中地点**（第104・105・125～127図）

**位置** B9g1～B9h3区、標高38mほどの丘陵裾部に位置している。

**出土状況** 石器の出土範囲は比較的広い。範囲の中央より周縁の方が出土点数は多い。出土層位は、ソフトローム層とハードローム層に分離できる。

**遺物** ソフトローム層からは、水晶の石核など、ハードローム層からは、打製石斧の未成品などが出土している。

**所見** 二つの文化層から成る石器集中地点である。打製石斧は、県内でも古い段階の石器である。

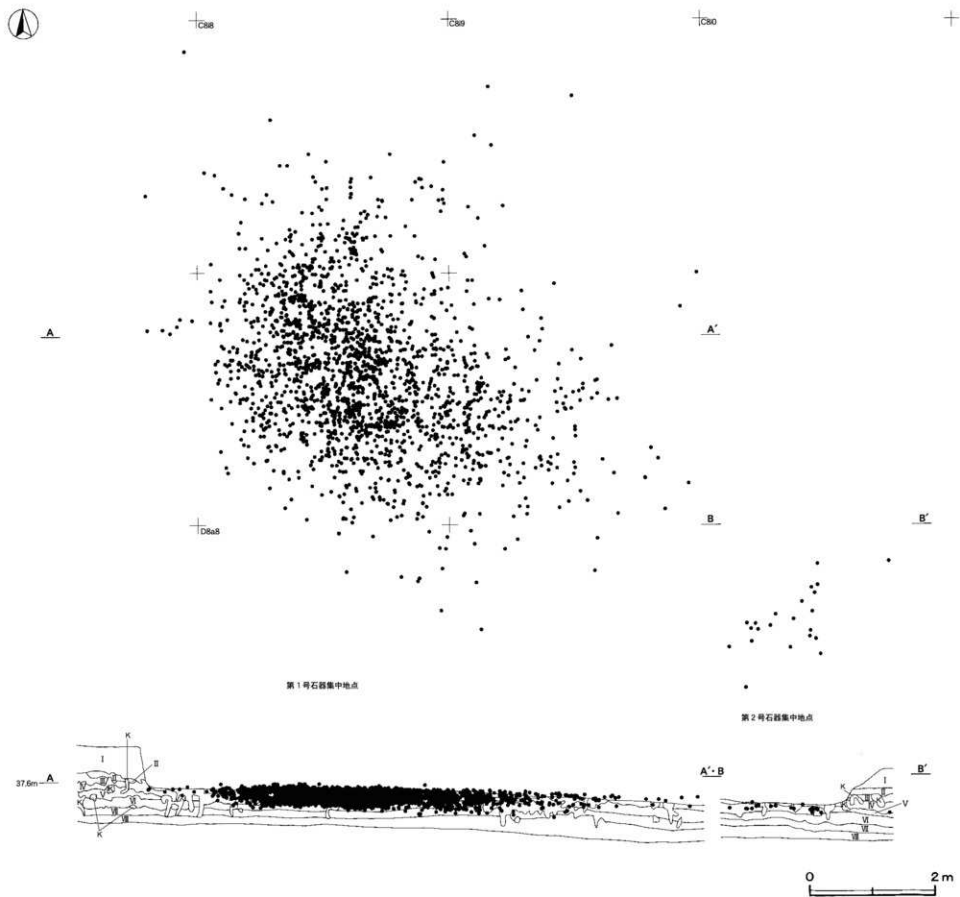
**第7・8号石器集中地点**（第106～109・128・129図）

**位置** 第7・8号石器集中地点はそれぞれB9j3区、C8b9区、標高38mほどの丘陵裾部に位置している。

**出土状況** 2地点とも、石器の分布は散漫である。

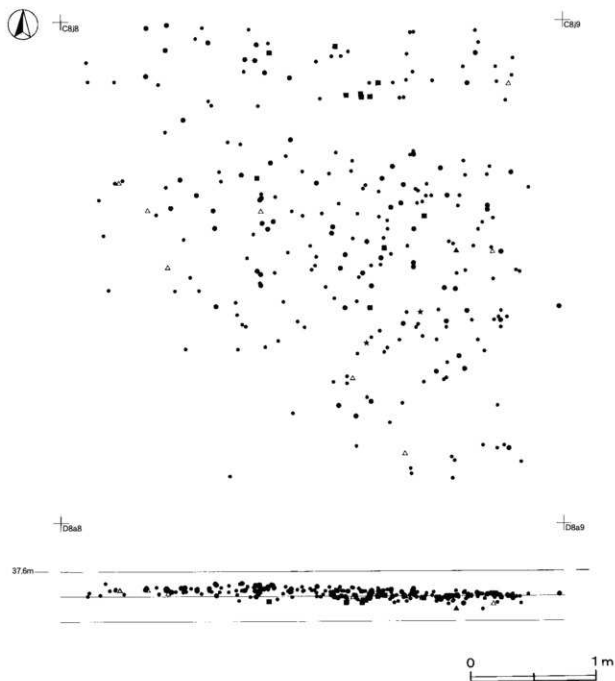
**遺物** 第7号石器集中地点からは水晶の石核が、第8号石器集中地点からは水晶の有種尖頭器が出土している。これらの石器は、ソフトローム層から出土している。また、第8号石器集中地点では、打製石斧の未成品がハードローム層から出土している。

**所見** 第8号石器集中地点は、第6号石器集中地点同様、二つの文化層から成る石器集中地点である。



第90图 第1・2号石器集中地点出土遺物分布图

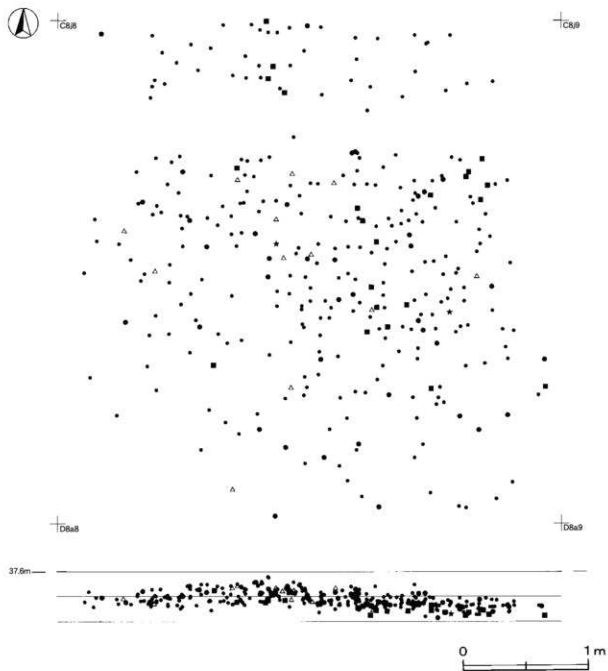




第91図 第1号石器集中地点（C 8 j8区の1）器種別分布図

凡例

- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 磯片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 磯石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※磯は図化していない。
- 石質 水晶 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珪質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



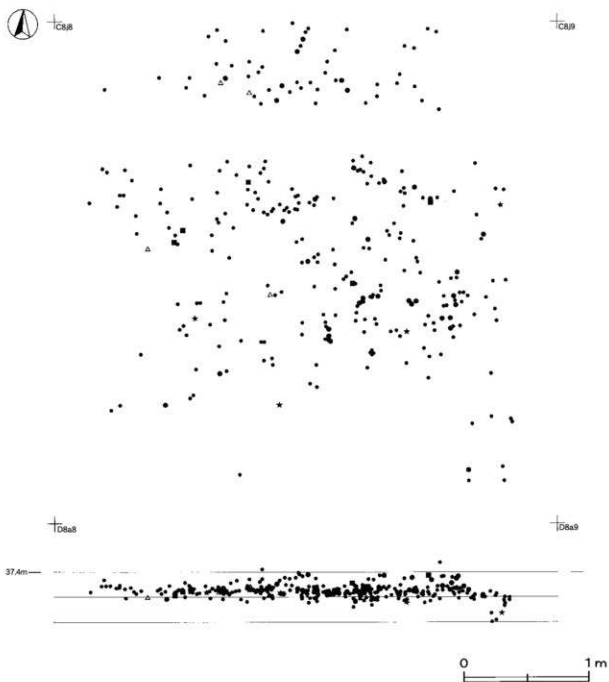
第92図 第1号石器集中地点（C8j8区の2）器種別分布図



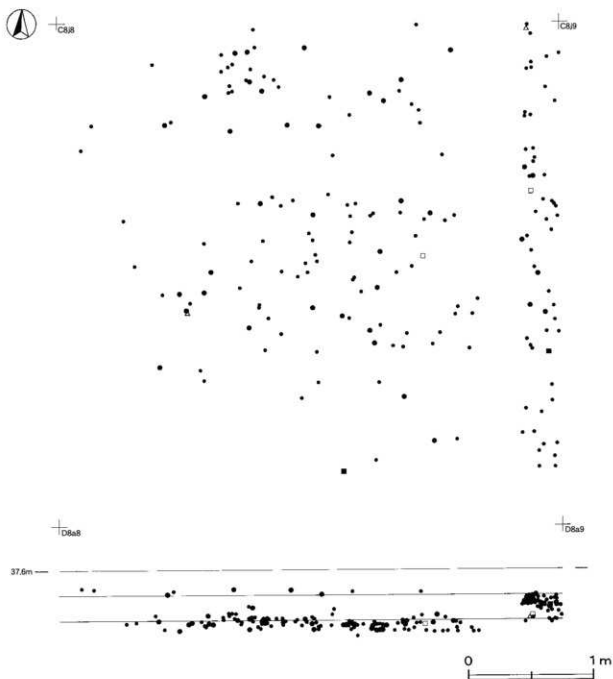
第93図 第1号石器集中地点（C 8 j8区の3）器種別分布図

凡例

- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 磯片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 敲石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※礫は図化していない。
- 石質 水晶 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珪質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



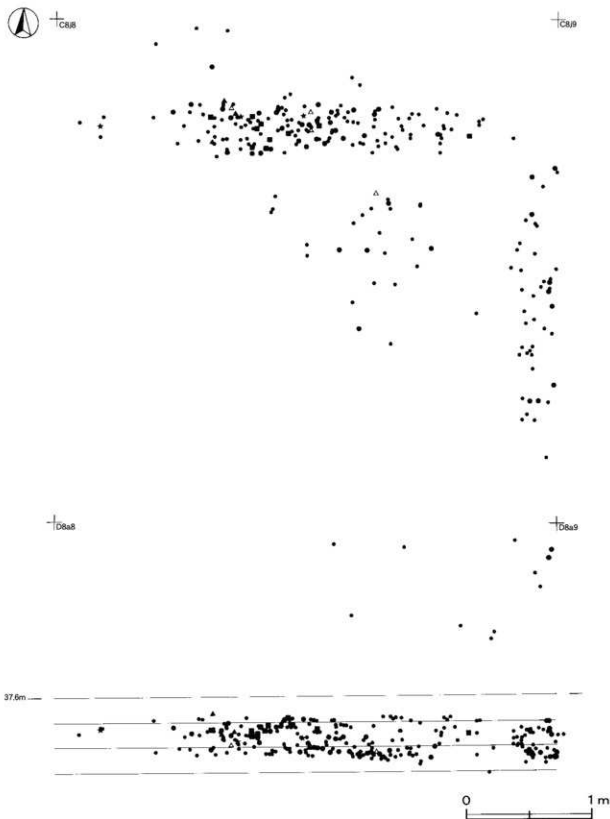
第94図 第1号石器集中地点（C8j8区の4）器種別分布図



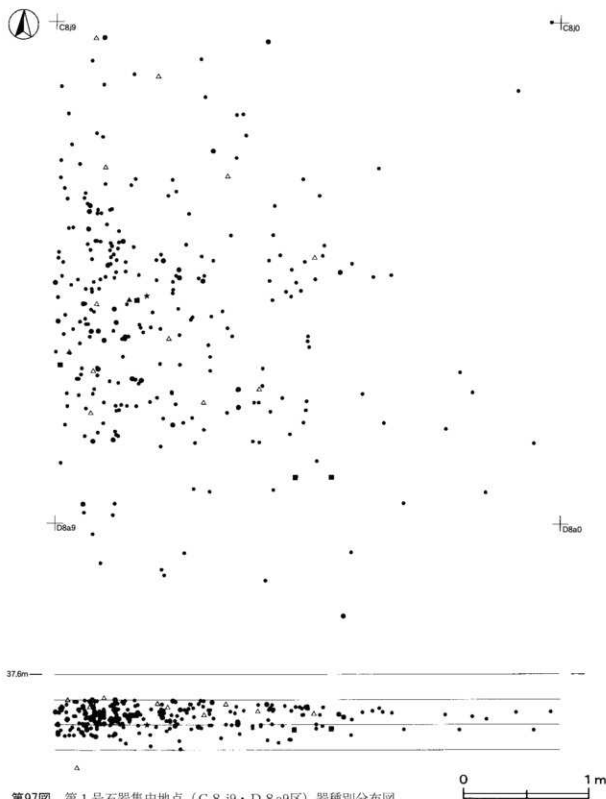
第95図 第1号石器集中地点（C 8 j8区の5）器種別分布図

凡例

- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 磯片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 敲石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※礫は図化していない。
- 石質 水晶 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珪質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



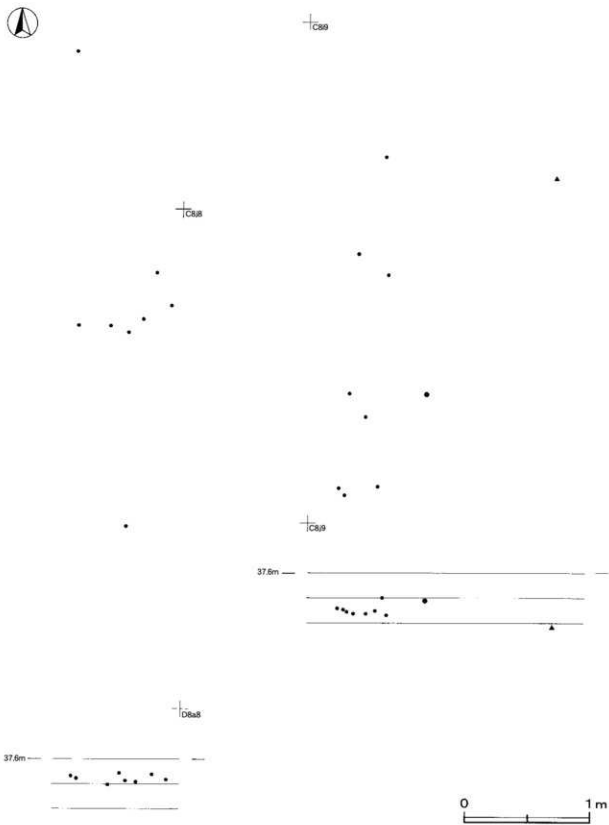
第96図 第1号石器集中地点（C8j8区の6，D8a8区）器種別分布図



第97図 第1号石器集中地点（C 8 j9 · D 8 a9区）器種別分布図

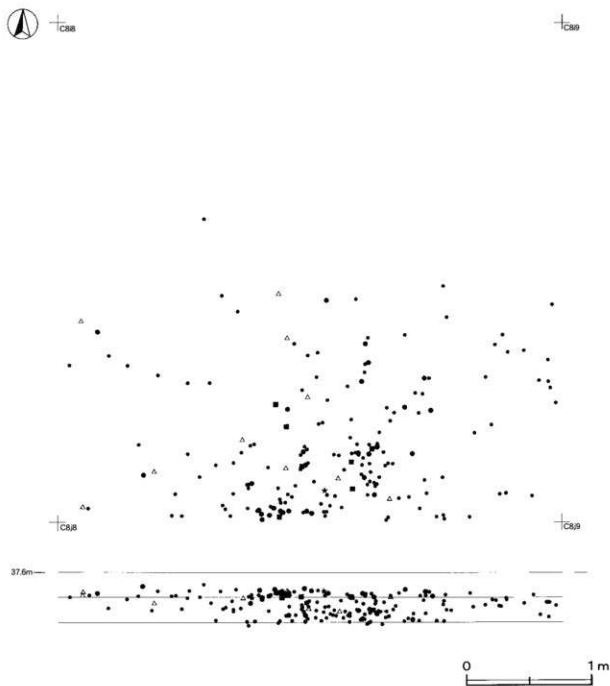
凡例

- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片（小●） 砕片（大●） 打製石斧（小○） 磯片（大○） 石核（■） 原石（□） 敲石（▲）  
 二次加工剥片（△） 尖頭器（★） 台石（☆） ※礫は図化していない。
- 石質 水晶（小●） 砂岩（中●） チャート（大●） 雲母片岩（小○） 凝灰岩（大○） 黒色緻密安山岩（小■） 珪質頁岩（大■）  
 流紋岩（小□） 硬質頁岩（大□） 花崗岩（小▲） 石英斑岩（大▲） ホルンフェルス（小△） 頁岩（大△）



第98图 第1号石器集中地点(C817·C819区, C818区)器種別分布图

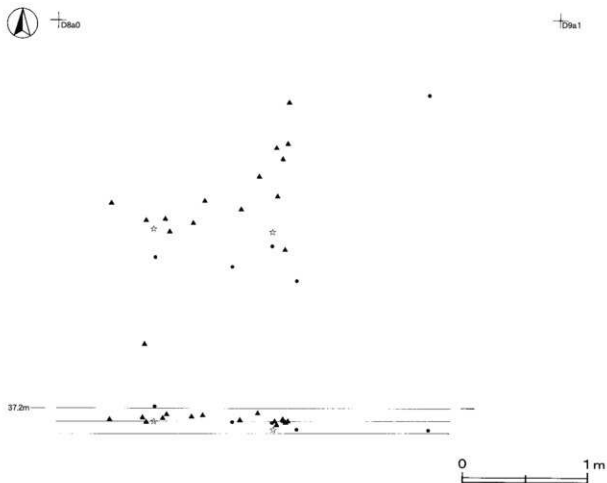




第99図 第1号石器集中地点（C 8 i8区）器種別分布図

凡例

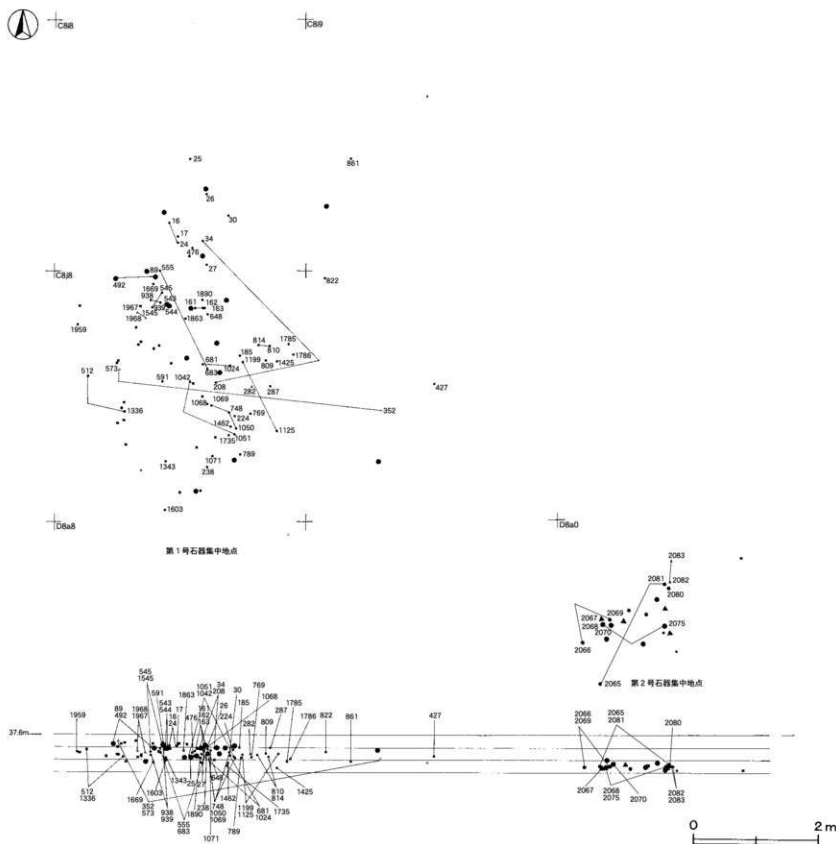
- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片（小●） 砕片（大●） 打製石斧（小○） 磯片（大○） 石核（■） 原石（□） 敲石（▲）  
 二次加工剥片（△） 尖頭器（★） 台石（☆） ※礫は図化していない。
- 石質 水晶（小●） 砂岩（中●） チャート（大●） 雲母片岩（小○） 凝灰岩（大○） 黒色緻密安山岩（小■） 珪質頁岩（大■）  
 流紋岩（小□） 硬質頁岩（大□） 花崗岩（小▲） 石英斑岩（大▲） ホルンフェルス（小△） 頁岩（大△）



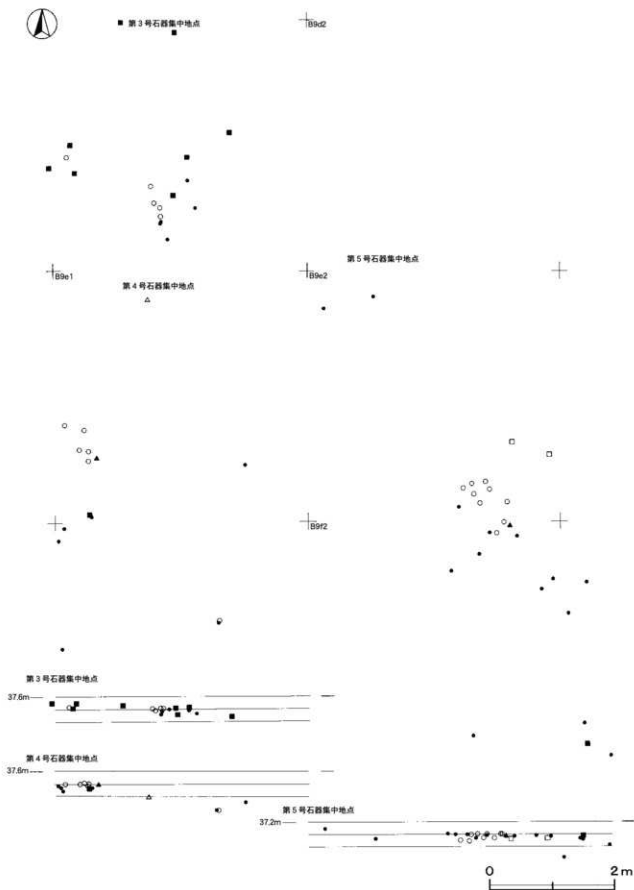
第100図 第2号石器集中地点器種別分布図

凡例

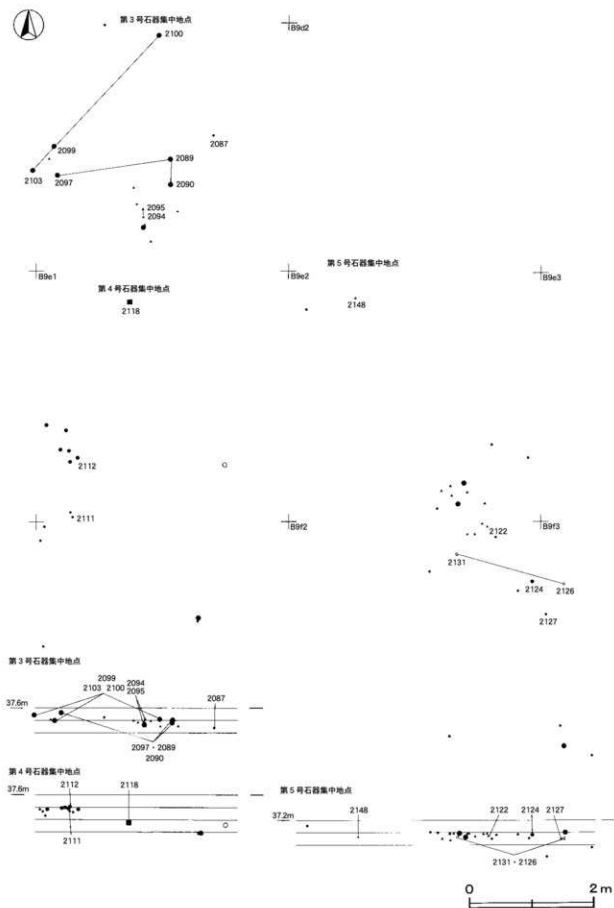
- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 礫片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 敲石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※礫は固化していない。
- 石質 水晶 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珪質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



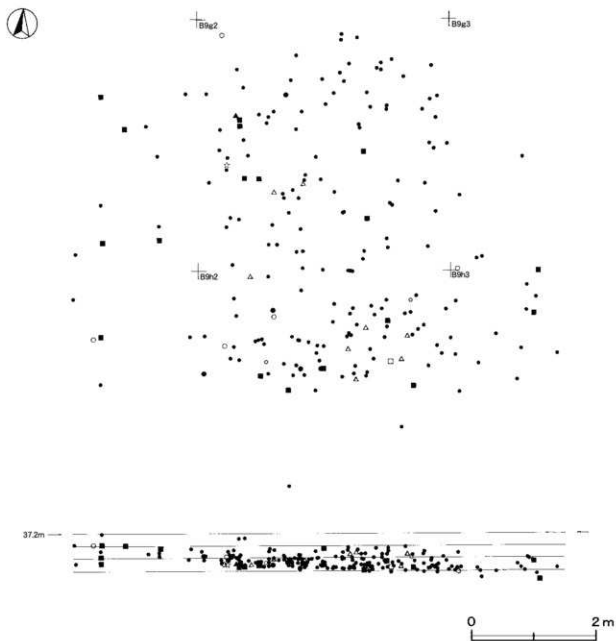
第101图 第1・2号石器集中地点石質分布图



第102图 第3～5号石器集中地点器種別分布图



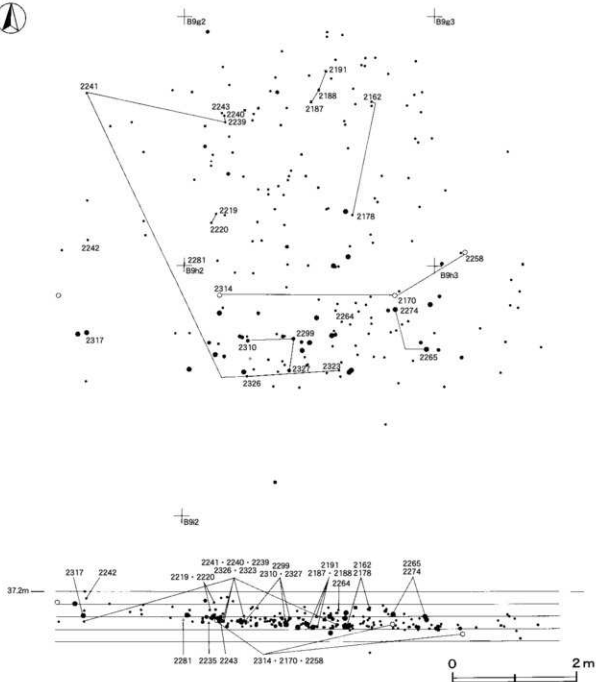
第103图 第3~5号石器集中地点石质分布图



第104図 第6号石器集中地点器種別分布図

凡例

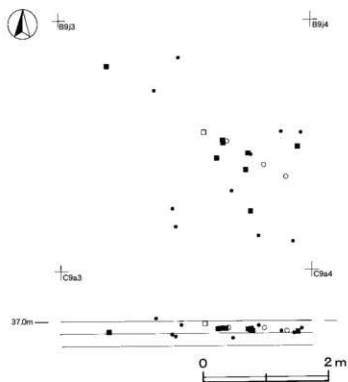
- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 磯片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 巖石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※磯は図化していない。
- 石質 水晶 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珉質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



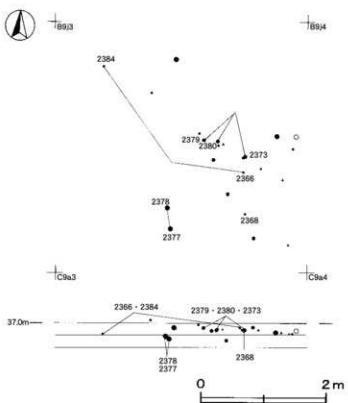
第105図 第6号石器集中地点石質分布図

凡例

- 器種 剥片・微細剥離痕のある剥片 (小●) 砕片 (大●) 打製石斧 (小○) 磯片 (大○) 石核 (■) 原石 (□) 敲石 (▲)  
 二次加工剥片 (△) 尖頭器 (★) 台石 (☆) ※磯は図化していない。
- 石質 本品 (小●) 砂岩 (中●) チャート (大●) 雲母片岩 (小○) 凝灰岩 (大○) 黒色緻密安山岩 (小■) 珪質頁岩 (大■)  
 流紋岩 (小□) 硬質頁岩 (大□) 花崗岩 (小▲) 石英斑岩 (大▲) ホルンフェルス (小△) 頁岩 (大△)



第106図 第7号石器集中地点器種別分布図

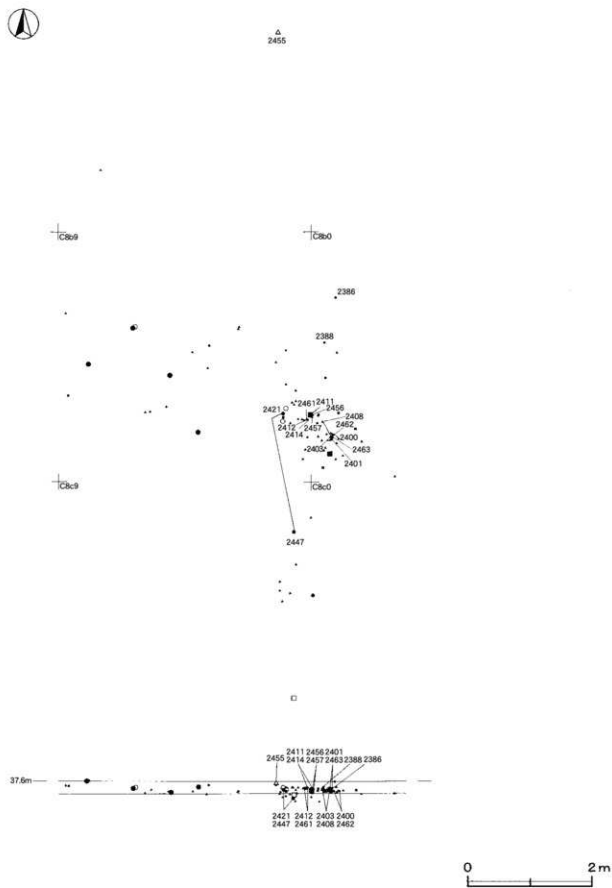


第107図 第7号石器集中地点石質分布図





第108图 第8号石器集中地点器種別分布图



第109図 第8号石器集中地点石質分布図

表11 石器集中地点出土石器一覽表

番号	器番号	器種	石質	重量	出土位置	番号	器番号	器種	石質	重量	出土位置	番号	器番号	器種	石質	重量	出土位置
1	1	C	a	0.29	C 818-X-1.56 Y=0.68 Z=37.489	51	51	C	a	0.23	C 818-X-1.26 Y=0.78 Z=37.411	101	101	C	a	1.70	C 818-X-1.15 Y=1.10 Z=37.436
2	2	E	a	0.31	C 818-X-2.40 Y=0.10 Z=37.412	52	52	C	a	0.13	C 818-X-1.27 Y=0.57 Z=37.384	102	102	C	a	0.39	C 818-X-1.20 Y=1.27 Z=37.409
3	3	D	a	1.19	C 818-X-2.48 Y=0.32 Z=37.417	53	53	C	a	0.74	C 818-X-1.38 Y=0.88 Z=37.421	103	103	D	a	0.12	C 818-X-1.12 Y=1.14 Z=37.403
4	4	C	b	0.16	C 818-X-2.83 Y=0.90 Z=37.428	54	54	C	a	1.18	C 818-X-1.97 Y=0.97 Z=37.42	104	104	B	a	47.40	C 818-X-1.25 Y=1.24 Z=37.461
5	5	C	a	1.64	C 818-X-3.36 Y=0.63 Z=37.423	55	55	C	a	1.96	C 818-X-1.75 Y=1.16 Z=37.438	105	105	D	a	0.65	C 818-X-1.33 Y=1.67 Z=37.494
6	6	D	a	0.00	C 818-X-3.62 Y=0.68 Z=37.468	56	56	C	a	0.54	C 818-X-1.08 Y=0.42 Z=37.493	106	106	C	a	0.34	C 818-X-1.60 Y=1.10 Z=37.493
7	7	E	a	3.68	C 818-X-3.69 Y=0.21 Z=37.42	57	57	D	a	0.65	C 818-X-2.95 Y=0.96 Z=37.375	107	107	C	a	0.68	C 818-X-1.54 Y=1.82 Z=37.406
8	8	C	a	0.68	C 818-X-3.90 Y=1.04 Z=37.423	58	58	C	a	2.58	C 818-X-0.31 Y=0.24 Z=37.412	108	108	C	a	0.14	C 818-X-1.20 Y=1.92 Z=37.444
9	9	C	a	0.41	C 818-X-3.20 Y=1.30 Z=37.443	59	59	D	a	0.16	C 818-X-0.05 Y=0.68 Z=37.469	109	109	C	a	0.13	C 818-X-1.37 Y=1.10 Z=37.480
10	10	C	a	0.74	C 818-X-2.22 Y=1.43 Z=37.444	60	60	D	a	0.23	C 818-X-0.94 Y=0.85 Z=37.445	110	110	C	a	0.68	C 818-X-1.54 Y=1.92 Z=37.444
11	11	E	a	6.55	C 818-X-2.18 Y=1.16 Z=37.433	61	61	D	a	0.68	C 818-X-0.23 Y=0.84 Z=37.479	111	111	C	a	0.20	C 818-X-1.10 Y=1.84 Z=37.441
12	12	E	a	0.68	C 818-X-2.22 Y=1.83 Z=37.422	62	62	C	a	0.94	C 818-X-0.68 Y=0.78 Z=37.421	112	112	D	a	0.91	C 818-X-1.41 Y=1.59 Z=37.409
13	13	C	a	4.16	C 818-X-2.57 Y=1.09 Z=37.425	63	63	D	a	0.11	C 818-X-0.45 Y=0.68 Z=37.463	113	113	D	a	0.16	C 818-X-1.43 Y=1.10 Z=37.400
14	14	C	a	76.20	C 818-X-3.40 Y=1.53 Z=37.412	64	64	C	a	0.12	C 818-X-0.86 Y=0.43 Z=37.458	114	114	E	a	21.10	C 818-X-1.19 Y=1.59 Z=37.483
15	15	H	a	0.52	C 818-X-3.25 Y=1.83 Z=37.423	65	65	C	a	0.45	C 818-X-0.41 Y=0.98 Z=37.443	115	115	D	a	0.22	C 818-X-1.62 Y=1.84 Z=37.483
16	16	H	a	136.60	C 818-X-3.25 Y=1.83 Z=37.423	66	66	C	a	0.65	C 818-X-0.78 Y=0.98 Z=37.470	116	116	D	a	0.21	C 818-X-1.40 Y=1.68 Z=37.483
17	17	D	a	0.13	C 818-X-3.44 Y=1.06 Z=37.421	67	67	C	a	0.58	C 818-X-0.97 Y=0.43 Z=37.461	117	117	D	a	11.70	C 818-X-1.66 Y=1.84 Z=37.483
18	18	E	a	0.51	C 818-X-3.57 Y=1.82 Z=37.448	68	68	C	a	0.09	C 818-X-1.47 Y=0.43 Z=37.454	118	118	C	a	1.08	C 818-X-1.69 Y=1.53 Z=37.483
19	19	C	a	0.14	C 818-X-3.38 Y=1.24 Z=37.479	69	69	E	a	3.20	C 818-X-1.48 Y=0.47 Z=37.453	119	119	D	a	0.97	C 818-X-1.33 Y=1.86 Z=37.440
20	20	C	a	0.66	C 818-X-3.46 Y=1.04 Z=37.436	70	70	C	a	1.73	C 818-X-1.28 Y=0.50 Z=37.421	120	120	D	a	0.02	C 818-X-1.51 Y=1.22 Z=37.508
21	21	D	a	0.03	C 818-X-3.93 Y=1.60 Z=37.458	71	71	D	a	0.11	C 818-X-1.27 Y=0.81 Z=37.462	121	121	C	a	0.93	C 818-X-1.27 Y=1.23 Z=37.480
22	22	D	a	0.65	C 818-X-3.90 Y=1.72 Z=37.477	72	72	C	a	0.34	C 818-X-1.32 Y=0.84 Z=37.445	122	122	C	a	0.21	C 818-X-1.86 Y=1.80 Z=37.478
23	23	D	a	0.02	C 818-X-3.97 Y=1.79 Z=37.453	73	73	D	a	0.98	C 818-X-1.09 Y=0.88 Z=37.434	123	123	C	a	0.98	C 818-X-1.83 Y=1.80 Z=37.454
24	24	H	a	108.80	C 818-X-3.56 Y=1.79 Z=37.425	74	74	E	a	1.56	C 818-X-1.51 Y=0.70 Z=37.464	124	124	C	a	1.22	C 818-X-1.78 Y=1.80 Z=37.483
25	25	D	a	0.17	C 818-X-2.22 Y=2.14 Z=37.429	75	75	C	a	3.90	C 818-X-1.55 Y=0.76 Z=37.426	125	125	C	a	0.24	C 818-X-1.97 Y=2.00 Z=37.451
26	26	D	a	0.44	C 818-X-2.74 Y=2.14 Z=37.423	76	76	C	a	0.46	C 818-X-1.73 Y=0.88 Z=37.427	126	126	C	a	0.50	C 818-X-1.99 Y=1.69 Z=37.461
27	27	D	a	0.61	C 818-X-3.86 Y=2.42 Z=37.419	77	77	C	a	0.36	C 818-X-1.41 Y=0.31 Z=37.421	127	127	D	a	0.91	C 818-X-1.89 Y=1.56 Z=37.441
28	28	C	a	2.54	C 818-X-3.76 Y=2.30 Z=37.462	78	78	C	a	0.78	C 818-X-1.26 Y=0.34 Z=37.505	128	128	D	a	0.14	C 818-X-2.04 Y=1.86 Z=37.442
29	29	C	a	0.72	C 818-X-2.86 Y=2.94 Z=37.441	79	79	E	a	8.06	C 818-X-1.18 Y=0.38 Z=37.456	129	129	D	a	0.13	C 818-X-2.13 Y=1.59 Z=37.454
30	30	D	a	0.53	C 818-X-3.09 Y=2.76 Z=37.447	80	80	C	a	0.68	C 818-X-1.21 Y=0.38 Z=37.456	130	130	C	a	0.85	C 818-X-2.03 Y=1.63 Z=37.472
31	31	C	a	15.40	C 818-X-3.19 Y=2.64 Z=37.461	81	81	C	a	17.18	C 818-X-2.17 Y=0.96 Z=37.446	131	131	C	b	1.32	C 818-X-2.13 Y=1.80 Z=37.462
32	32	D	a	0.62	C 818-X-3.12 Y=2.98 Z=37.339	82	82	C	a	3.44	C 818-X-2.60 Y=0.99 Z=37.440	132	132	D	a	0.90	C 818-X-2.57 Y=1.21 Z=37.413
33	33	C	a	0.73	C 818-X-3.22 Y=2.97 Z=37.448	83	83	C	a	1.12	C 818-X-0.93 Y=1.12 Z=37.429	133	133	C	a	0.19	C 818-X-2.23 Y=1.80 Z=37.461
34	34	H	a	91.30	C 818-X-3.53 Y=2.34 Z=37.392	84	84	C	a	11.20	C 818-X-0.12 Y=1.08 Z=37.450	134	134	C	a	0.14	C 818-X-2.33 Y=1.80 Z=37.449
35	35	C	a	0.68	C 818-X-3.40 Y=2.92 Z=37.423	85	85	D	a	0.06	C 818-X-0.47 Y=1.18 Z=37.466	135	135	C	a	0.12	C 818-X-2.41 Y=1.80 Z=37.446
36	36	C	a	0.26	C 818-X-3.67 Y=2.92 Z=37.399	86	86	C	a	1.94	C 818-X-0.65 Y=1.50 Z=37.398	136	136	C	a	1.20	C 818-X-2.33 Y=1.40 Z=37.408
37	37	C	a	1.06	C 818-X-3.96 Y=2.88 Z=37.401	87	87	D	a	0.17	C 818-X-0.86 Y=1.64 Z=37.448	137	137	C	a	0.15	C 818-X-2.69 Y=1.76 Z=37.427
38	38	C	a	0.68	C 818-X-3.92 Y=2.72 Z=37.402	88	88	C	a	6.90	C 818-X-0.19 Y=1.56 Z=37.389	138	138	C	a	0.64	C 818-X-2.36 Y=1.99 Z=37.456
39	39	E	a	2.35	C 818-X-3.82 Y=2.64 Z=37.392	89	89	D	a	105.50	C 818-X-0.25 Y=1.63 Z=37.364	139	139	C	a	2.48	C 818-X-2.69 Y=1.94 Z=37.449
40	40	D	a	0.68	C 818-X-3.79 Y=2.45 Z=37.451	90	90	D	a	0.12	C 818-X-0.46 Y=1.82 Z=37.443	140	140	C	a	0.32	C 818-X-2.54 Y=1.72 Z=37.409
41	41	C	a	0.50	C 818-X-3.74 Y=2.45 Z=37.424	91	91	D	a	0.36	C 818-X-0.42 Y=1.62 Z=37.437	141	141	C	a	0.25	C 818-X-2.66 Y=1.47 Z=37.373
42	42	D	a	0.08	C 818-X-2.86 Y=2.44 Z=37.441	92	92	D	a	0.16	C 818-X-0.36 Y=1.47 Z=37.446	142	142	C	a	0.83	C 818-X-3.12 Y=1.80 Z=37.446
43	43	H	a	76.40	C 818-X-3.76 Y=2.35 Z=37.382	93	93	D	a	0.60	C 818-X-0.32 Y=1.47 Z=37.451	143	143	C	a	0.08	C 818-X-2.76 Y=1.33 Z=37.441
44	44	G	b	11.20	C 818-X-3.76 Y=2.35 Z=37.382	94	94	C	a	1.88	C 818-X-0.46 Y=1.62 Z=37.427	144	144	C	a	0.25	C 818-X-2.60 Y=1.33 Z=37.426
45	45	D	a	0.12	C 818-X-3.93 Y=2.92 Z=37.444	95	95	C	a	0.28	C 818-X-0.63 Y=1.18 Z=37.441	145	145	C	a	0.81	C 818-X-3.08 Y=2.81 Z=37.419
46	46	C	a	7.50	C 818-X-3.96 Y=2.12 Z=37.410	96	96	C	a	0.32	C 818-X-0.68 Y=1.20 Z=37.411	146	146	C	a	12.70	C 818-X-2.77 Y=2.73 Z=37.380
47	47	C	a	2.40	C 818-X-2.12 Y=1.96 Z=37.361	97	97	C	a	2.40	C 818-X-0.46 Y=1.57 Z=37.427	147	147	C	a	5.16	C 818-X-3.40 Y=2.99 Z=37.445
48	48	C	a	0.45	C 818-X-3.56 Y=3.48 Z=37.366	98	98	C	a	27.80	C 818-X-0.56 Y=1.82 Z=37.466	148	148	C	a	0.15	C 818-X-2.77 Y=2.96 Z=37.445
49	49	C	a	0.42	C 818-X-2.61 Y=2.42 Z=37.409	99	99	C	a	0.18	C 818-X-0.97 Y=1.42 Z=37.409	149	149	C	a	3.06	C 818-X-3.47 Y=3.12 Z=37.378
50	50	C	a	2.94	C 818-X-3.42 Y=3.43 Z=37.369	100	100	C	b	1.38	C 818-X-0.95 Y=1.33 Z=37.489	150	150	C	a	5.15	C 818-X-3.49 Y=2.64 Z=37.349

番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置
151	151	C	a	0.34	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.363	201	201	C	a	37.40	C 8 8-X-1-13 Y=2.17 Z=37.366	251	251	E	a	0.32	C 8 8-X-0-343 Y=2.17 Z=37.412
152	152	C	a	0.24	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.366	202	202	D	a	45.80	C 8 8-X-1-154 Y=2.38 Z=37.273	252	252	C	a	0.06	C 8 8-X-0-356 Y=2.17 Z=37.412
153	153	B	a	82.60	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.366	203	203	D	a	0.97	C 8 8-X-1-166 Y=2.80 Z=37.433	253	253	C	a	0.37	C 8 8-X-0-360 Y=2.28 Z=37.381
154	154	C	a	0.46	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.366	204	204	C	a	10.90	C 8 8-X-1-179 Y=2.24 Z=37.366	254	254	C	a	0.20	C 8 8-X-0-366 Y=2.30 Z=37.420
155	155	C	a	0.17	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.366	205	205	D	a	0.08	C 8 8-X-1-181 Y=2.80 Z=37.403	255	255	C	a	0.18	C 8 8-X-0-366 Y=2.32 Z=37.426
156	156	C	a	0.25	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.366	206	206	D	a	0.14	C 8 8-X-1-196 Y=2.39 Z=37.406	256	256	D	a	0.07	C 8 8-X-0-366 Y=2.30 Z=37.433
157	157	B	a	27.00	C 8 8-X-0-60 Y=2.19 Z=37.446	207	207	C	a	2.96	C 8 8-X-1-194 Y=2.62 Z=37.438	257	257	C	a	0.15	C 8 8-X-0-366 Y=2.30 Z=37.433
158	158	C	a	0.05	C 8 8-X-0-60 Y=2.15 Z=37.444	208	208	B	a	67.20	C 8 8-X-1-182 Y=2.36 Z=37.403	258	258	D	a	0.16	C 8 8-X-0-366 Y=2.34 Z=37.422
159	159	C	a	0.69	C 8 8-X-0-60 Y=2.03 Z=37.493	209	209	D	a	0.03	C 8 8-X-1-190 Y=2.35 Z=37.443	259	259	C	a	0.92	C 8 8-X-0-366 Y=2.60 Z=37.420
160	160	C	a	0.97	C 8 8-X-0-60 Y=2.06 Z=37.493	210	210	C	a	0.32	C 8 8-X-1-193 Y=2.51 Z=37.445	260	260	C	a	0.90	C 8 8-X-0-366 Y=2.56 Z=37.427
161	161	B	a	159.90	C 8 8-X-0-60 Y=2.27 Z=37.344	211	211	C	a	0.26	C 8 8-X-1-194 Y=2.45 Z=37.433	261	261	C	a	0.99	C 8 8-X-0-366 Y=2.58 Z=37.402
162	162	B	a	253.00	C 8 8-X-0-60 Y=2.38 Z=37.317	212	212	D	a	0.02	C 8 8-X-1-176 Y=2.43 Z=37.432	262	262	E	a	2.34	C 8 8-X-0-366 Y=2.56 Z=37.392
163	163	B	a	72.60	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.365	213	213	C	a	2.38	C 8 8-X-1-173 Y=2.32 Z=37.407	263	263	C	a	4.01	C 8 8-X-0-366 Y=2.47 Z=37.407
164	164	C	a	0.32	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.445	214	214	C	a	0.72	C 8 8-X-1-222 Y=2.25 Z=37.438	264	264	C	a	29.80	C 8 8-X-0-366 Y=2.66 Z=37.352
165	165	C	a	83.00	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.445	215	215	D	a	2.66	C 8 8-X-1-202 Y=2.39 Z=37.433	265	265	C	a	2.84	C 8 8-X-0-366 Y=2.60 Z=37.441
166	166	C	a	0.92	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.445	216	216	C	a	0.45	C 8 8-X-1-203 Y=2.36 Z=37.425	266	266	D	a	0.18	C 8 8-X-0-366 Y=2.63 Z=37.370
167	167	C	a	0.34	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.445	217	217	D	a	0.13	C 8 8-X-1-212 Y=2.54 Z=37.412	267	267	C	a	1.14	C 8 8-X-0-366 Y=2.62 Z=37.441
168	168	D	a	0.01	C 8 8-X-0-60 Y=2.03 Z=37.481	218	218	C	a	1.54	C 8 8-X-1-222 Y=2.34 Z=37.428	268	268	C	a	0.62	C 8 8-X-0-366 Y=2.62 Z=37.430
169	169	C	a	0.06	C 8 8-X-0-60 Y=2.06 Z=37.481	219	219	D	a	0.02	C 8 8-X-1-228 Y=2.24 Z=37.423	269	269	C	a	0.48	C 8 8-X-0-366 Y=2.62 Z=37.429
170	170	C	a	0.32	C 8 8-X-0-60 Y=2.21 Z=37.476	220	220	C	a	23.50	C 8 8-X-1-221 Y=2.16 Z=37.443	270	270	D	a	0.08	C 8 8-X-0-366 Y=2.59 Z=37.373
171	171	C	a	1.98	C 8 8-X-0-60 Y=2.41 Z=37.439	221	221	C	a	1.92	C 8 8-X-1-208 Y=2.19 Z=37.473	271	271	C	a	2.92	C 8 8-X-0-366 Y=2.72 Z=37.422
172	172	C	a	0.37	C 8 8-X-0-60 Y=2.20 Z=37.441	222	222	B	a	31.80	C 8 8-X-1-228 Y=2.44 Z=37.279	272	272	D	a	0.03	C 8 8-X-0-366 Y=2.70 Z=37.423
173	173	D	a	0.94	C 8 8-X-0-60 Y=2.55 Z=37.433	223	223	C	a	0.12	C 8 8-X-1-231 Y=2.15 Z=37.383	273	273	D	a	0.05	C 8 8-X-0-366 Y=2.39 Z=37.426
174	174	C	a	0.10	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.445	224	224	G	a	19.20	C 8 8-X-1-232 Y=2.12 Z=37.315	274	274	C	a	0.13	C 8 8-X-0-366 Y=2.56 Z=37.422
175	175	D	a	0.82	C 8 8-X-0-60 Y=2.63 Z=37.289	225	225	C	a	1.34	C 8 8-X-1-230 Y=2.00 Z=37.367	275	275	C	a	0.91	C 8 8-X-0-366 Y=2.55 Z=37.423
176	176	C	a	9.25	C 8 8-X-0-60 Y=2.38 Z=37.446	226	226	C	a	0.13	C 8 8-X-1-241 Y=2.44 Z=37.291	276	276	C	a	0.42	C 8 8-X-0-366 Y=2.60 Z=37.443
177	177	C	a	0.26	C 8 8-X-0-60 Y=2.61 Z=37.443	227	227	C	a	0.83	C 8 8-X-1-243 Y=2.33 Z=37.396	277	277	C	a	0.34	C 8 8-X-0-366 Y=2.58 Z=37.416
178	178	C	a	1.94	C 8 8-X-0-60 Y=2.91 Z=37.412	228	228	D	a	0.13	C 8 8-X-1-242 Y=2.72 Z=37.402	278	278	C	a	0.24	C 8 8-X-0-366 Y=2.16 Z=37.417
179	179	C	a	12.10	C 8 8-X-0-60 Y=2.84 Z=37.419	229	229	C	a	0.48	C 8 8-X-1-240 Y=2.87 Z=37.397	279	279	D	a	0.00	C 8 8-X-0-366 Y=2.97 Z=37.376
180	180	C	a	0.11	C 8 8-X-0-60 Y=2.85 Z=37.428	230	230	C	a	0.28	C 8 8-X-1-251 Y=2.98 Z=37.336	280	280	C	a	4.62	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
181	181	B	a	155.80	C 8 8-X-0-60 Y=2.80 Z=37.419	231	231	D	a	0.03	C 8 8-X-1-240 Y=2.98 Z=37.336	281	281	C	a	2.18	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
182	182	D	a	0.08	C 8 8-X-0-60 Y=2.80 Z=37.419	232	232	C	a	2.84	C 8 8-X-1-247 Y=2.87 Z=37.391	282	282	I	a	429.00	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
183	183	D	a	0.13	C 8 8-X-0-60 Y=2.73 Z=37.385	233	233	C	a	32.60	C 8 8-X-1-252 Y=2.68 Z=37.362	283	283	C	a	5.10	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
184	184	C	a	0.19	C 8 8-X-0-60 Y=2.91 Z=37.419	234	234	C	a	0.28	C 8 8-X-1-260 Y=2.27 Z=37.391	284	284	C	a	0.87	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
185	185	C	a	8.15	C 8 8-X-0-60 Y=2.96 Z=37.411	235	235	C	a	0.13	C 8 8-X-1-263 Y=2.37 Z=37.398	285	285	C	a	0.81	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
186	186	C	a	0.62	C 8 8-X-0-60 Y=2.84 Z=37.424	236	236	C	a	0.76	C 8 8-X-1-266 Y=2.32 Z=37.385	286	286	C	a	0.11	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
187	187	D	a	0.01	C 8 8-X-0-60 Y=2.70 Z=37.421	237	237	C	a	0.71	C 8 8-X-1-265 Y=2.45 Z=37.381	287	287	E	a	7.60	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
188	188	D	a	0.01	C 8 8-X-0-60 Y=2.72 Z=37.462	238	238	G	a	5.45	C 8 8-X-1-272 Y=2.12 Z=37.314	288	288	D	a	0.16	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
189	189	C	a	1.56	C 8 8-X-0-60 Y=2.66 Z=37.413	239	239	C	a	10.30	C 8 8-X-1-264 Y=2.35 Z=37.378	289	289	C	a	0.08	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
190	190	C	a	14.60	C 8 8-X-0-60 Y=2.52 Z=37.428	240	240	C	b	12.20	C 8 8-X-1-282 Y=2.21 Z=37.385	290	290	C	a	0.35	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
191	191	C	a	26.60	C 8 8-X-0-60 Y=2.52 Z=37.428	241	241	E	a	0.98	C 8 8-X-1-285 Y=2.21 Z=37.385	291	291	D	a	0.10	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
192	192	C	a	2.84	C 8 8-X-0-60 Y=2.58 Z=37.417	242	242	C	a	3.40	C 8 8-X-1-289 Y=2.17 Z=37.409	292	292	D	a	0.11	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
193	193	C	a	0.81	C 8 8-X-0-60 Y=2.55 Z=37.454	243	243	C	a	2.22	C 8 8-X-1-288 Y=2.17 Z=37.412	293	293	D	a	0.10	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
194	194	C	a	0.60	C 8 8-X-0-60 Y=2.55 Z=37.454	244	244	C	a	6.60	C 8 8-X-1-289 Y=2.17 Z=37.412	294	294	D	a	0.10	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
195	195	D	a	0.08	C 8 8-X-0-60 Y=2.16 Z=37.494	245	245	D	J	0.14	C 8 8-X-1-303 Y=2.16 Z=37.412	295	295	C	a	0.16	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
196	196	D	a	0.02	C 8 8-X-0-60 Y=2.11 Z=37.416	246	246	C	a	0.78	C 8 8-X-1-301 Y=2.19 Z=37.402	296	296	C	a	10.50	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
197	197	C	a	0.98	C 8 8-X-0-60 Y=2.02 Z=37.455	247	247	C	a	0.29	C 8 8-X-1-320 Y=2.40 Z=37.382	297	297	D	a	0.03	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
198	198	C	a	0.12	C 8 8-X-0-60 Y=2.02 Z=37.455	248	248	D	a	0.02	C 8 8-X-1-324 Y=2.20 Z=37.387	298	298	C	a	0.13	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
199	199	D	a	0.06	C 8 8-X-0-60 Y=2.18 Z=37.395	249	249	D	a	0.13	C 8 8-X-1-316 Y=2.18 Z=37.410	299	299	D	a	0.09	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399
200	200	D	a	0.12	C 8 8-X-0-60 Y=2.22 Z=37.399	250	250	C	a	0.11	C 8 8-X-1-338 Y=2.35 Z=37.413	300	300	C	a	1.28	C 8 8-X-0-366 Y=2.98 Z=37.399

番号	符号	図形	材質	重量	出仕位置	番号	符号	図形	材質	重量	出仕位置	番号	符号	図形	材質	重量	出仕位置
301	301	C	a	3.40	$C8\beta-X-2.84$ $Y=3.30 Z=37.305$	351	351	C	a	5.80	$C8\beta-X-2.23$ $Y=3.26 Z=37.283$	401	401	C	a	0.17	$C8\beta-X-2.65$ $Y=3.14 Z=37.314$
302	302	D	a	0.05	$C8\beta-X-2.86$ $Y=3.04 Z=37.303$	352	352	I	1	215.00	$C8\beta-X-2.23$ $Y=3.06 Z=37.290$	402	402	C	a	0.26	$C8\beta-X-2.29$ $Y=3.06 Z=37.303$
303	303	C	a	0.07	$C8\beta-X-2.78$ $Y=3.20 Z=37.313$	353	353	B	a	80.80	$C8\beta-X-2.23$ $Y=3.03 Z=37.290$	403	403	C	a	1.64	$C8\beta-X-2.24$ $Y=3.12 Z=37.329$
304	304	C	a	0.09	$C8\beta-X-2.54$ $Y=3.31 Z=37.301$	—	—	—	—	—	—	404	404	C	a	4.82	$C8\beta-X-2.78$ $Y=3.20 Z=37.294$
305	305	C	a	3.82	$C8\beta-X-2.45$ $Y=3.37 Z=37.303$	355	355	D	a	0.92	$C8\beta-X-2.03$ $Y=3.08 Z=37.303$	405	405	C	a	0.68	$C8\beta-X-2.64$ $Y=3.36 Z=37.303$
306	306	C	a	0.18	$C8\beta-X-2.44$ $Y=3.30 Z=37.305$	356	356	E	a	6.23	$C8\beta-X-2.34$ $Y=3.07 Z=37.300$	406	406	C	a	0.71	$C8\beta-X-2.94$ $Y=3.08 Z=37.310$
307	307	D	a	0.17	$C8\beta-X-2.38$ $Y=3.48 Z=37.309$	357	357	C	a	0.66	$C8\beta-X-2.45$ $Y=3.83 Z=37.312$	407	407	E	a	0.50	$C8\beta-X-2.91$ $Y=3.60 Z=37.289$
308	308	C	a	0.46	$C8\beta-X-2.36$ $Y=3.54 Z=37.308$	358	358	C	a	0.28	$C8\beta-X-2.45$ $Y=3.66 Z=37.300$	408	408	C	a	0.73	$C8\beta-X-2.97$ $Y=3.68 Z=37.304$
309	309	C	a	1.56	$C8\beta-X-2.36$ $Y=3.54 Z=37.304$	359	359	C	a	1.28	$C8\beta-X-2.47$ $Y=3.66 Z=37.300$	409	409	C	a	2.38	$C8\beta-X-2.15$ $Y=3.93 Z=37.326$
310	310	C	a	0.33	$C8\beta-X-2.36$ $Y=3.46 Z=37.308$	360	360	D	a	0.10	$C8\beta-X-2.41$ $Y=3.47 Z=37.284$	410	410	C	a	0.21	$C8\beta-X-2.16$ $Y=3.62 Z=37.341$
311	311	C	a	0.52	$C8\beta-X-2.31$ $Y=3.49 Z=37.304$	361	361	C	a	0.86	$C8\beta-X-2.48$ $Y=3.53 Z=37.348$	411	411	C	a	0.85	$C8\beta-X-2.09$ $Y=3.96 Z=37.303$
312	312	C	a	0.15	$C8\beta-X-2.22$ $Y=3.94 Z=37.408$	362	362	C	a	0.90	$C8\beta-X-2.68$ $Y=3.52 Z=37.372$	412	412	C	a	0.30	$C8\beta-X-2.51$ $Y=3.99 Z=37.335$
313	313	D	a	0.02	$C8\beta-X-2.27$ $Y=3.95 Z=37.412$	363	363	D	a	0.81	$C8\beta-X-2.48$ $Y=3.29 Z=37.400$	413	413	C	a	1.72	$C8\beta-X-2.25$ $Y=3.99 Z=37.291$
314	314	C	a	1.20	$C8\beta-X-2.61$ $Y=3.47 Z=37.348$	364	364	C	a	0.99	$C8\beta-X-2.58$ $Y=3.08 Z=37.338$	414	414	C	a	2.27	$C8\beta-X-2.60$ $Y=3.08 Z=37.314$
315	315	C	a	0.21	$C8\beta-X-2.38$ $Y=3.47 Z=37.348$	365	365	C	a	0.53	$C8\beta-X-2.58$ $Y=3.09 Z=37.339$	415	415	F	a	1.60	$C8\beta-X-3.04$ $Y=3.14 Z=37.273$
316	316	D	a	0.00	$C8\beta-X-3.39$ $Y=3.55 Z=37.465$	366	366	E	a	0.51	$C8\beta-X-2.66$ $Y=3.09 Z=37.338$	416	416	C	a	0.28	$C8\beta-X-3.18$ $Y=3.08 Z=37.347$
317	317	C	a	0.15	$C8\beta-X-3.40$ $Y=3.55 Z=37.465$	367	367	B	a	87.10	$C8\beta-X-2.75$ $Y=3.05 Z=37.274$	417	417	C	a	0.43	$C8\beta-X-3.26$ $Y=3.08 Z=37.347$
318	318	C	a	9.50	$C8\beta-X-3.37$ $Y=3.35 Z=37.351$	368	368	C	a	1.10	$C8\beta-X-2.85$ $Y=3.17 Z=37.376$	418	418	C	a	0.15	$C8\beta-X-3.04$ $Y=3.60 Z=37.304$
319	319	C	a	0.26	$C8\beta-X-3.45$ $Y=3.14 Z=37.378$	369	369	E	a	0.28	$C8\beta-X-2.86$ $Y=3.29 Z=37.358$	419	419	C	a	0.13	$C8\beta-X-3.11$ $Y=3.20 Z=37.319$
320	320	C	a	0.07	$C8\beta-X-3.50$ $Y=3.12 Z=37.375$	370	370	C	a	2.44	$C8\beta-X-2.93$ $Y=3.30 Z=37.376$	420	420	C	a	0.21	$C8\beta-X-3.30$ $Y=3.96 Z=37.296$
321	321	C	a	0.17	$C8\beta-X-3.43$ $Y=3.11 Z=37.377$	371	371	C	a	0.60	$C8\beta-X-2.98$ $Y=3.19 Z=37.352$	421	421	C	a	1.22	$C8\beta-X-3.16$ $Y=3.98 Z=37.311$
322	322	C	a	0.16	$C8\beta-X-2.52$ $Y=3.27 Z=37.314$	372	372	C	a	21.90	$C8\beta-X-2.87$ $Y=3.43 Z=37.282$	422	422	C	a	1.10	$C8\beta-X-3.20$ $Y=3.99 Z=37.284$
323	323	C	a	0.31	$C8\beta-X-2.62$ $Y=3.04 Z=37.312$	373	373	D	a	0.93	$C8\beta-X-2.87$ $Y=3.67 Z=37.261$	423	423	C	a	0.52	$C8\beta-X-3.18$ $Y=3.98 Z=37.319$
324	324	C	a	0.34	$C8\beta-X-2.51$ $Y=3.27 Z=37.306$	374	374	C	a	0.66	$C8\beta-X-2.64$ $Y=3.42 Z=37.281$	424	424	C	a	0.49	$C8\beta-X-3.17$ $Y=3.95 Z=37.316$
325	325	C	a	4.28	$C8\beta-X-2.42$ $Y=3.62 Z=37.341$	375	375	C	a	0.53	$C8\beta-X-3.07$ $Y=3.08 Z=37.297$	425	425	C	a	1.46	$C8\beta-X-3.29$ $Y=3.08 Z=37.290$
326	326	E	a	2.96	$C8\beta-X-3.44$ $Y=3.48 Z=37.346$	376	376	C	a	0.50	$C8\beta-X-3.22$ $Y=3.05 Z=37.353$	426	426	C	a	1.16	$C8\beta-X-3.12$ $Y=3.14 Z=37.293$
327	327	C	a	1.02	$C8\beta-X-3.14$ $Y=3.18 Z=37.310$	377	377	E	a	0.44	$C8\beta-X-3.13$ $Y=3.37 Z=37.309$	427	427	F	a	2.08	$C8\beta-X-1.80$ $Y=2.66 Z=37.285$
328	328	C	a	1.34	$C8\beta-X-3.25$ $Y=3.04 Z=37.321$	378	378	C	a	1.06	$C8\beta-X-3.32$ $Y=3.03 Z=37.324$	428	428	D	a	0.90	$C8\beta-X-2.96$ $Y=3.23 Z=37.329$
329	329	C	a	1.23	$C8\beta-X-3.33$ $Y=3.06 Z=37.362$	379	379	D	a	0.93	$C8\beta-X-3.36$ $Y=3.29 Z=37.307$	429	429	C	a	2.80	$C8\beta-X-2.01$ $Y=2.65 Z=37.282$
330	330	C	a	0.41	$C8\beta-X-3.27$ $Y=3.23 Z=37.380$	380	380	D	a	0.65	$C8\beta-X-3.38$ $Y=3.45 Z=37.351$	430	430	C	a	0.11	$C8\beta-X-2.63$ $Y=3.52 Z=37.288$
331	331	E	a	3.32	$C8\beta-X-1.17$ $Y=3.29 Z=37.387$	381	381	C	a	0.11	$C8\beta-X-3.29$ $Y=3.46 Z=37.380$	431	431	C	a	0.63	$C8\beta-X-2.98$ $Y=3.43 Z=37.276$
332	332	C	a	3.36	$C8\beta-X-1.36$ $Y=3.62 Z=37.342$	382	382	C	a	0.28	$C8\beta-X-3.07$ $Y=3.47 Z=37.304$	432	432	C	a	0.12	$C8\beta-X-3.29$ $Y=3.60 Z=37.281$
333	333	D	a	0.18	$C8\beta-X-1.49$ $Y=3.26 Z=37.322$	383	383	C	a	0.18	$C8\beta-X-3.07$ $Y=3.55 Z=37.341$	433	433	C	a	0.19	$C8\beta-X-3.00$ $Y=3.81 Z=37.294$
334	334	C	a	0.37	$C8\beta-X-1.53$ $Y=3.23 Z=37.319$	384	384	C	a	0.43	$C8\beta-X-3.18$ $Y=3.65 Z=37.304$	434	434	C	a	3.14	$C8\beta-X-0.55$ $Y=3.63 Z=37.283$
335	335	C	a	1.86	$C8\beta-X-1.53$ $Y=3.48 Z=37.319$	385	385	D	a	0.03	$C8\beta-X-3.23$ $Y=3.85 Z=37.307$	435	435	E	a	0.68	$C8\beta-X-2.96$ $Y=3.51 Z=37.311$
336	336	C	a	1.08	$C8\beta-X-1.65$ $Y=3.14 Z=37.376$	386	386	C	J	0.50	$C8\beta-X-3.05$ $Y=3.95 Z=37.359$	436	436	C	a	0.94	$C8\beta-X-3.25$ $Y=3.99 Z=37.253$
337	337	C	a	0.72	$C8\beta-X-1.91$ $Y=3.05 Z=37.313$	387	387	D	a	0.06	$C8\beta-X-3.18$ $Y=3.66 Z=37.353$	437	437	C	a	0.32	$C8\beta-X-3.18$ $Y=3.23 Z=37.288$
338	338	C	a	0.16	$C8\beta-X-1.62$ $Y=3.27 Z=37.300$	388	388	C	a	0.46	$C8\beta-X-3.30$ $Y=3.14 Z=37.304$	438	438	C	a	1.68	$C8\beta-X-0.30$ $Y=3.96 Z=37.291$
339	339	C	a	0.49	$C8\beta-X-1.90$ $Y=3.28 Z=37.300$	389	389	C	a	0.14	$C8\beta-X-3.23$ $Y=3.81 Z=37.353$	439	439	C	a	0.26	$C8\beta-X-3.28$ $Y=3.65 Z=37.318$
340	340	C	a	0.15	$C8\beta-X-1.77$ $Y=3.43 Z=37.325$	390	390	C	a	0.22	$C8\beta-X-2.39$ $Y=3.17 Z=37.282$	440	440	D	a	0.66	$C8\beta-X-0.72$ $Y=3.95 Z=37.282$
341	341	C	a	1.08	$C8\beta-X-1.83$ $Y=3.43 Z=37.334$	391	391	C	a	0.22	$C8\beta-X-3.60$ $Y=3.17 Z=37.331$	441	441	D	a	0.97	$C8\beta-X-0.23$ $Y=3.95 Z=37.292$
342	342	C	a	0.26	$C8\beta-X-1.91$ $Y=3.43 Z=37.343$	392	392	D	a	0.02	$C8\beta-X-1.63$ $Y=3.43 Z=37.282$	442	442	D	a	0.02	$C8\beta-X-0.38$ $Y=3.43 Z=37.282$
343	343	C	a	2.26	$C8\beta-X-1.68$ $Y=3.30 Z=37.314$	393	393	E	a	1.82	$C8\beta-X-1.24$ $Y=3.35 Z=37.342$	443	443	C	a	0.49	$C8\beta-X-2.76$ $Y=3.10 Z=37.279$
344	344	C	a	0.11	$C8\beta-X-1.80$ $Y=3.40 Z=37.283$	394	394	C	a	0.12	$C8\beta-X-1.54$ $Y=3.65 Z=37.310$	444	444	C	a	1.90	$C8\beta-X-2.76$ $Y=3.62 Z=37.276$
345	345	C	a	0.77	$C8\beta-X-1.81$ $Y=3.39 Z=37.351$	395	395	C	a	0.96	$C8\beta-X-1.78$ $Y=3.03 Z=37.302$	—	—	—	—	—	—
346	346	C	a	0.30	$C8\beta-X-1.90$ $Y=3.05 Z=37.372$	396	396	C	a	0.84	$C8\beta-X-1.47$ $Y=3.73 Z=37.318$	446	446	E	a	3.06	$C8\beta-X-3.24$ $Y=3.71 Z=37.338$
347	347	C	a	0.44	$C8\beta-X-2.04$ $Y=3.09 Z=37.373$	397	397	C	a	0.28	$C8\beta-X-1.70$ $Y=3.71 Z=37.354$	447	447	C	a	0.45	$C8\beta-X-3.79$ $Y=3.95 Z=37.401$
348	348	C	a	1.80	$C8\beta-X-2.03$ $Y=3.45 Z=37.304$	398	398	C	a	1.96	$C8\beta-X-1.71$ $Y=3.38 Z=37.287$	448	448	C	a	0.63	$C8\beta-X-3.16$ $Y=3.92 Z=37.306$
349	349	C	a	2.42	$C8\beta-X-2.12$ $Y=3.15 Z=37.309$	399	399	C	a	0.74	$C8\beta-X-1.95$ $Y=3.15 Z=37.289$	449	449	C	a	1.18	$C8\beta-X-2.90$ $Y=3.63 Z=37.278$
350	350	F	a	0.45	$C8\beta-X-2.26$ $Y=3.31 Z=37.333$	400	400	C	a	0.08	$C8\beta-X-1.90$ $Y=3.96 Z=37.272$						

番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	部番号	部種	石質	重量	出土位置
451	451	C	a	1.36	CR18-X-2-47 Y=1.85 Z=27.531	501	501	C	a	0.11	CR8-X-1-21 Y=0.43 Z=27.365	551	551	C	a	2.28	CR8-X-1-61 Y=1.45 Z=27.423
452	452	F	a	0.35	CR18-X-2-30 Y=1.98 Z=27.407	502	502	D	a	0.12	CR8-X-1-21 Y=0.99 Z=27.321	552	552	C	a	0.29	CR8-X-1-63 Y=0.94 Z=27.320
453	453	F	a	1.62	CR18-X-2-31 Y=1.47 Z=27.375	503	503	C	a	0.96	CR8-X-1-20 Y=0.86 Z=27.413	553	553	C	a	0.31	CR8-X-1-64 Y=1.96 Z=27.311
454	454	C	a	8.10	CR18-X-2-32 Y=1.88 Z=27.320	504	504	C	a	0.48	CR8-X-1-25 Y=0.96 Z=27.371	554	554	C	a	1.41	CR8-X-1-65 Y=1.52 Z=27.384
455	455	D	a	0.12	CR18-X-2-35 Y=1.96 Z=27.327	505	505	C	b	1.12	CR8-X-1-18 Y=0.79 Z=27.401	555	555	B	a	109.80	CR8-X-1-66 Y=1.05 Z=27.355
456	456	C	a	0.32	CR18-X-2-38 Y=1.85 Z=27.319	506	506	C	a	1.60	CR8-X-1-13 Y=0.82 Z=27.377	556	556	D	a	0.03	CR8-X-1-67 Y=1.48 Z=27.378
457	457	D	a	0.11	CR18-X-2-37 Y=1.83 Z=27.417	507	507	C	a	4.76	CR8-X-1-55 Y=0.75 Z=27.349	557	557	C	a	11.00	CR8-X-1-68 Y=1.88 Z=27.518
458	458	D	a	0.06	CR18-X-2-31 Y=1.77 Z=27.473	508	508	D	a	0.04	CR8-X-1-14 Y=0.66 Z=27.419	558	558	C	a	1.94	CR8-X-1-124 Y=1.22 Z=27.368
459	459	B	a	208.00	CR18-X-2-36 Y=1.28 Z=27.471	509	509	C	a	0.10	CR8-X-1-16 Y=0.64 Z=27.417	559	559	C	a	32.80	CR8-X-1-111 Y=1.45 Z=27.383
460	460	D	a	0.01	CR18-X-2-35 Y=1.67 Z=27.491	510	510	C	a	17.00	CR8-X-1-59 Y=0.70 Z=27.331	560	560	C	a	68.50	CR8-X-1-112 Y=1.48 Z=27.416
461	461	C	a	3.90	CR18-X-2-45 Y=1.13 Z=27.388	511	511	C	a	0.26	CR8-X-1-175 Y=0.31 Z=27.389	561	561	C	a	0.27	CR8-X-1-111 Y=1.64 Z=27.398
462	462	C	a	0.59	CR18-X-2-37 Y=1.52 Z=27.392	512	512	F	b	113.00	CR8-X-1-168 Y=0.32 Z=27.382	562	562	C	a	0.22	CR8-X-1-108 Y=0.7 Z=27.548
463	463	C	a	0.88	CR18-X-2-39 Y=1.59 Z=27.391	513	513	C	a	0.11	CR8-X-1-179 Y=0.48 Z=27.345	563	563	C	a	12.50	CR8-X-1-125 Y=1.55 Z=27.512
464	464	C	a	0.25	CR18-X-2-39 Y=1.20 Z=27.346	514	514	C	a	0.23	CR8-X-1-191 Y=0.59 Z=27.346	564	564	C	b	0.60	CR8-X-1-121 Y=1.48 Z=27.463
465	465	C	a	0.54	CR18-X-2-36 Y=2.06 Z=27.354	515	515	C	a	0.72	CR8-X-1-155 Y=0.99 Z=27.422	565	565	E	a	0.62	CR8-X-1-128 Y=1.48 Z=27.429
466	466	C	a	0.41	CR18-X-2-45 Y=2.06 Z=27.354	516	516	C	a	5.90	CR8-X-1-165 Y=0.99 Z=27.422	566	566	B	a	102.10	CR8-X-1-117 Y=1.42 Z=27.349
467	467	C	a	0.12	CR18-X-2-40 Y=2.02 Z=27.405	517	517	C	a	0.06	CR8-X-1-180 Y=0.80 Z=27.388	567	567	C	a	1.16	CR8-X-1-145 Y=1.48 Z=27.416
468	468	C	a	1.20	CR18-X-2-20 Y=3.52 Z=27.326	518	518	C	a	1.70	CR8-X-1-193 Y=0.88 Z=27.320	568	568	C	a	0.15	CR8-X-1-106 Y=1.46 Z=27.447
469	469	C	a	3.02	CR18-X-2-13 Y=2.68 Z=27.387	519	519	F	a	0.49	CR8-X-2-290 Y=0.77 Z=27.344	569	569	C	a	22.90	CR8-X-1-145 Y=1.48 Z=27.416
470	470	C	a	0.18	CR18-X-2-38 Y=2.56 Z=27.318	520	520	C	a	1.64	CR8-X-2-202 Y=0.41 Z=27.353	570	570	C	a	0.72	CR8-X-1-149 Y=1.30 Z=27.496
471	471	C	a	3.50	CR18-X-2-38 Y=2.38 Z=27.317	521	521	C	a	3.48	CR8-X-2-202 Y=0.68 Z=27.368	571	571	C	a	11.30	CR8-X-1-150 Y=1.26 Z=27.481
472	472	C	a	3.30	CR18-X-2-43 Y=2.59 Z=27.359	522	522	C	a	1.10	CR8-X-2-208 Y=0.88 Z=27.359	572	572	C	a	1.36	CR8-X-1-158 Y=1.18 Z=27.496
473	473	B	a	96.30	CR18-X-2-43 Y=2.50 Z=27.316	523	523	C	a	0.09	CR8-X-2-209 Y=0.88 Z=27.340	573	573	C	f	2.56	CR8-X-1-156 Y=1.02 Z=27.495
474	474	C	a	3.00	CR18-X-2-31 Y=2.69 Z=27.513	524	524	D	a	0.03	CR8-X-2-245 Y=0.77 Z=27.349	574	574	D	a	0.04	CR8-X-1-159 Y=1.18 Z=27.434
475	475	C	a	32.70	CR18-X-2-40 Y=2.53 Z=27.358	525	525	C	a	0.12	CR8-X-2-250 Y=0.77 Z=27.413	575	575	D	a	0.66	CR8-X-1-160 Y=1.18 Z=27.434
476	476	F	a	24.30	CR18-X-2-46 Y=2.22 Z=27.294	526	526	C	a	0.34	CR8-X-2-226 Y=0.88 Z=27.386	576	576	C	a	0.29	CR8-X-1-169 Y=1.48 Z=27.416
477	477	C	a	0.31	CR18-X-2-78 Y=2.14 Z=27.318	527	527	C	a	0.53	CR8-X-2-250 Y=0.73 Z=27.359	577	577	C	a	7.80	CR8-X-1-169 Y=1.45 Z=27.475
478	478	C	a	0.25	CR18-X-2-82 Y=2.12 Z=27.314	528	528	C	a	3.60	CR8-X-2-250 Y=0.88 Z=27.380	578	578	C	a	1.60	CR8-X-1-170 Y=1.41 Z=27.391
479	479	C	a	0.46	CR18-X-2-70 Y=2.66 Z=27.296	529	529	C	a	0.00	CR8-X-2-275 Y=0.71 Z=27.342	579	579	C	a	1.40	CR8-X-1-169 Y=1.37 Z=27.411
480	480	C	a	0.41	CR18-X-2-97 Y=2.62 Z=27.296	530	530	C	a	0.66	CR8-X-2-294 Y=0.78 Z=27.376	580	580	D	a	0.04	CR8-X-1-169 Y=1.57 Z=27.409
481	481	C	a	18.00	CR18-X-2-29 Y=3.40 Z=27.343	531	531	C	a	0.41	CR8-X-2-284 Y=0.35 Z=27.410	581	581	E	a	1.54	CR8-X-1-171 Y=1.87 Z=27.419
482	482	C	a	0.82	CR18-X-2-37 Y=3.30 Z=27.317	532	532	C	a	0.07	CR8-X-2-318 Y=0.47 Z=27.378	582	582	C	a	10.20	CR8-X-1-172 Y=2.00 Z=27.376
483	483	C	a	0.35	CR18-X-2-43 Y=3.06 Z=27.338	533	533	C	a	21.90	CR8-X-2-309 Y=1.10 Z=27.327	583	583	C	a	0.50	CR8-X-1-172 Y=1.84 Z=27.456
484	484	C	a	0.39	CR18-X-2-38 Y=3.52 Z=27.325	534	534	C	a	1.04	CR8-X-2-319 Y=0.65 Z=27.382	584	584	C	a	0.20	CR8-X-1-180 Y=1.91 Z=27.488
485	485	C	a	0.17	CR18-X-2-185 Y=0.40 Z=27.281	535	535	C	a	4.92	CR8-X-2-221 Y=1.38 Z=27.361	585	585	C	a	0.21	CR8-X-1-181 Y=1.82 Z=27.494
486	486	C	j	0.60	CR18-X-2-206 Y=0.32 Z=27.281	536	536	C	a	0.16	CR8-X-2-206 Y=1.38 Z=27.346	586	586	D	a	0.14	CR8-X-1-180 Y=1.82 Z=27.495
487	487	C	a	0.44	CR18-X-2-206 Y=0.45 Z=27.281	537	537	C	a	0.54	CR8-X-2-206 Y=1.38 Z=27.346	587	587	C	a	19.70	CR8-X-1-181 Y=1.72 Z=27.429
488	488	C	a	0.14	CR18-X-2-370 Y=0.31 Z=27.316	538	538	C	a	0.66	CR8-X-2-277 Y=1.40 Z=27.430	588	588	F	a	1.18	CR8-X-1-182 Y=1.73 Z=27.429
489	489	C	a	0.24	CR18-X-2-375 Y=0.28 Z=27.314	539	539	C	a	0.05	CR8-X-2-277 Y=1.48 Z=27.426	589	589	C	a	6.45	CR8-X-1-182 Y=1.62 Z=27.515
490	490	C	a	0.63	CR18-X-2-369 Y=0.35 Z=27.285	540	540	C	a	0.11	CR8-X-2-325 Y=1.60 Z=27.435	590	590	C	a	1.21	CR8-X-1-182 Y=1.80 Z=27.478
491	491	D	a	0.01	CR8-X-2-316 Y=0.35 Z=27.316	541	541	C	a	12.20	CR8-X-2-316 Y=1.60 Z=27.412	591	591	G	a	18.30	CR8-X-1-176 Y=1.21 Z=27.417 R24
492	492	C	j	5.85	CR8-X-2-311 Y=0.35 Z=27.316	542	542	B	a	102.20	CR8-X-2-311 Y=1.66 Z=27.378	592	592	C	a	0.55	CR8-X-1-180 Y=1.80 Z=27.416
493	493	C	a	0.26	CR8-X-2-311 Y=0.82 Z=27.316	543	543	H	j	34.90	CR8-X-2-311 Y=1.26 Z=27.349	593	593	D	a	0.09	CR8-X-1-180 Y=1.98 Z=27.445
494	494	C	a	4.90	CR8-X-2-315 Y=0.35 Z=27.315	544	544	C	j	6.15	CR8-X-2-309 Y=1.80 Z=27.366	594	594	C	a	4.02	CR8-X-1-185 Y=1.88 Z=27.475
495	495	C	a	0.93	CR8-X-2-323 Y=0.25 Z=27.265	545	545	B	a	80.10	CR8-X-2-306 Y=1.30 Z=27.424	595	595	E	a	3.88	CR8-X-1-189 Y=1.80 Z=27.453
496	496	C	a	14.90	CR8-X-2-323 Y=0.86 Z=27.369	546	546	C	a	1.38	CR8-X-2-306 Y=1.84 Z=27.315	596	596	D	a	0.05	CR8-X-1-189 Y=1.68 Z=27.465
497	497	C	a	2.44	CR17-X-0-31 Y=3.80 Z=27.487	547	547	C	a	6.25	CR8-X-2-309 Y=1.80 Z=27.349	597	597	D	a	0.03	CR8-X-1-189 Y=1.68 Z=27.465
498	498	C	a	0.94	CR18-X-2-327 Y=0.78 Z=27.332	548	548	C	a	0.19	CR8-X-2-309 Y=1.80 Z=27.349	598	598	C	a	15.80	CR8-X-1-190 Y=1.85 Z=27.448
499	499	C	a	2.40	CR18-X-2-117 Y=0.80 Z=27.373	549	549	C	a	0.12	CR8-X-2-09 Y=1.80 Z=27.362	599	599	C	a	3.62	CR8-X-1-204 Y=1.73 Z=27.461
500	500	C	a	0.58	CR8-X-2-101 Y=0.86 Z=27.393	550	550	C	a	0.14	CR8-X-2-05 Y=1.83 Z=27.408	600	600	C	a	1.06	CR8-X-1-212 Y=2.00 Z=27.353

番号	符号	図形	石質	重量	出土位置	番号	符号	図形	石質	重量	出土位置	番号	符号	図形	石質	重量	出土位置
601	601	C	a	0.61	$C8\beta-X-2.96$ $Y=1.53 Z=37.564$	651	651	C	a	0.86	$C8\beta-X-1.93$ $Y=2.30 Z=37.456$	701	701	C	J	2.42	$C8\beta-X-1.62$ $Y=2.53 Z=37.903$
602	602	C	b	12.90	$C8\beta-X-2.18$ $Y=1.06 Z=37.450$	652	652	C	a	11.60	$C8\beta-X-1.03$ $Y=1.68 Z=37.379$	702	702	B	a	186.00	$C8\beta-X-1.75$ $Y=2.53 Z=37.286$
603	603	C	a	0.20	$C8\beta-X-2.28$ $Y=1.09 Z=37.431$	653	653	C	a	0.69	$C8\beta-X-1.30$ $Y=2.07 Z=37.288$	703	703	C	a	3.90	$C8\beta-X-1.81$ $Y=1.61 Z=37.330$
604	604	D	0	0.00	$C8\beta-X-2.54$ $Y=1.12 Z=37.450$	654	654	E	0	0.60	$C8\beta-X-1.29$ $Y=2.20 Z=37.436$	704	704	C	a	6.45	$C8\beta-X-1.83$ $Y=1.59 Z=37.236$
605	605	C	a	0.32	$C8\beta-X-2.43$ $Y=1.03 Z=37.461$	655	655	C	a	10.50	$C8\beta-X-1.22$ $Y=2.26 Z=37.419$	705	705	B	a	66.10	$C8\beta-X-2.21$ $Y=2.49 Z=37.317$
606	606	B	a	28.50	$C8\beta-X-2.75$ $Y=1.24 Z=37.452$	656	656	C	a	0.23	$C8\beta-X-1.20$ $Y=2.37 Z=37.436$	706	706	C	a	143.00	$C8\beta-X-2.06$ $Y=2.52 Z=37.412$
607	607	C	a	0.91	$C8\beta-X-2.37$ $Y=1.27 Z=37.363$	657	657	C	a	0.16	$C8\beta-X-1.31$ $Y=2.35 Z=37.440$	707	707	C	a	3.76	$C8\beta-X-2.19$ $Y=2.58 Z=37.366$
608	608	C	a	0.31	$C8\beta-X-2.37$ $Y=1.35 Z=37.355$	658	658	C	a	0.53	$C8\beta-X-1.29$ $Y=2.45 Z=37.425$	708	708	C	a	0.19	$C8\beta-X-2.29$ $Y=2.58 Z=37.230$
609	609	C	a	7.40	$C8\beta-X-2.55$ $Y=1.43 Z=37.356$	659	659	C	a	0.13	$C8\beta-X-1.30$ $Y=2.52 Z=37.460$	709	709	B	a	131.90	$C8\beta-X-2.28$ $Y=2.52 Z=37.293$
610	610	C	a	0.12	$C8\beta-X-2.07$ $Y=1.30 Z=37.421$	660	660	C	J	0.28	$C8\beta-X-1.17$ $Y=2.59 Z=37.280$	710	710	E	a	11.50	$C8\beta-X-2.20$ $Y=2.59 Z=37.287$
611	611	C	a	0.12	$C8\beta-X-2.17$ $Y=1.37 Z=37.471$	661	661	C	a	0.58	$C8\beta-X-1.53$ $Y=2.15 Z=37.345$	711	711	C	a	248.00	$C8\beta-X-2.35$ $Y=2.48 Z=37.244$
612	612	C	a	0.15	$C8\beta-X-2.16$ $Y=1.72 Z=37.471$	662	662	C	a	1.56	$C8\beta-X-1.59$ $Y=2.38 Z=37.400$	712	712	B	a	6.95	$C8\beta-X-2.48$ $Y=2.45 Z=37.337$
613	613	C	a	0.86	$C8\beta-X-2.17$ $Y=1.83 Z=37.449$	663	663	C	a	2.38	$C8\beta-X-1.78$ $Y=2.06 Z=37.273$	713	713	B	a	39.90	$C8\beta-X-2.45$ $Y=2.61 Z=37.296$
614	614	C	a	0.21	$C8\beta-X-2.29$ $Y=1.84 Z=37.413$	664	664	E	a	1.16	$C8\beta-X-1.86$ $Y=2.02 Z=37.361$	714	714	C	a	0.99	$C8\beta-X-2.52$ $Y=2.68 Z=37.339$
615	615	C	a	0.25	$C8\beta-X-2.29$ $Y=1.84 Z=37.413$	665	665	C	a	0.17	$C8\beta-X-1.93$ $Y=2.20 Z=37.357$	715	715	C	a	0.99	$C8\beta-X-2.73$ $Y=2.53 Z=37.334$
616	616	C	a	0.31	$C8\beta-X-2.27$ $Y=1.73 Z=37.436$	666	666	C	b	5.24	$C8\beta-X-1.80$ $Y=2.20 Z=37.302$	716	716	C	a	1.56	$C8\beta-X-2.85$ $Y=2.53 Z=37.334$
617	617	C	a	2.60	$C8\beta-X-2.42$ $Y=1.94 Z=37.358$	667	667	D	a	0.92	$C8\beta-X-1.90$ $Y=2.24 Z=37.323$	717	717	D	a	0.93	$C8\beta-X-2.97$ $Y=2.62 Z=37.328$
618	618	C	a	1.14	$C8\beta-X-2.44$ $Y=1.95 Z=37.362$	668	668	C	a	3.62	$C8\beta-X-1.79$ $Y=2.30 Z=37.338$	-	-	-	-	-	-
619	619	C	a	0.8	$C8\beta-X-2.36$ $Y=1.85 Z=37.426$	669	669	C	a	0.06	$C8\beta-X-2.23$ $Y=2.00 Z=37.280$	719	719	C	a	0.20	$C8\beta-X-3.00$ $Y=2.65 Z=37.217$
620	620	C	a	0.10	$C8\beta-X-2.66$ $Y=1.87 Z=37.424$	670	670	C	a	0.43	$C8\beta-X-2.21$ $Y=2.12 Z=37.415$	720	720	C	a	5.95	$C8\beta-X-3.16$ $Y=2.85 Z=37.217$
621	621	C	a	0.85	$C8\beta-X-2.84$ $Y=1.96 Z=37.410$	671	671	C	a	5.60	$C8\beta-X-2.27$ $Y=2.17 Z=37.372$	721	721	C	a	0.16	$C8\beta-X-3.22$ $Y=2.83 Z=37.239$
622	622	C	a	0.20	$C8\beta-X-2.93$ $Y=1.97 Z=37.411$	672	672	C	a	6.79	$C8\beta-X-2.37$ $Y=2.06 Z=37.287$	722	722	C	a	6.10	$C8\beta-X-3.32$ $Y=2.72 Z=37.255$
623	623	C	a	0.11	$C8\beta-X-2.86$ $Y=1.95 Z=37.421$	673	673	C	a	0.28	$C8\beta-X-2.30$ $Y=2.15 Z=37.360$	723	723	C	a	6.17	$C8\beta-X-3.41$ $Y=2.73 Z=37.405$
624	624	E	a	5.45	$C8\beta-X-2.92$ $Y=1.81 Z=37.370$	674	674	C	a	0.92	$C8\beta-X-2.51$ $Y=2.08 Z=37.289$	724	724	C	a	4.52	$C8\beta-X-3.63$ $Y=2.65 Z=37.267$
625	625	C	a	0.27	$C8\beta-X-3.00$ $Y=1.81 Z=37.370$	675	675	C	a	0.21	$C8\beta-X-2.63$ $Y=2.08 Z=37.337$	725	725	C	a	0.93	$C8\beta-X-3.72$ $Y=2.62 Z=37.412$
626	626	C	a	0.56	$C8\beta-X-3.14$ $Y=1.82 Z=37.411$	676	676	D	a	0.11	$C8\beta-X-2.70$ $Y=2.09 Z=37.232$	726	726	C	a	0.99	$C8\beta-X-3.82$ $Y=2.72 Z=37.412$
627	627	C	a	0.89	$C8\beta-X-3.19$ $Y=1.35 Z=37.395$	677	677	C	a	0.84	$C8\beta-X-2.82$ $Y=1.96 Z=37.228$	727	727	C	a	0.13	$C8\beta-X-3.76$ $Y=2.68 Z=37.353$
628	628	C	a	0.76	$C8\beta-X-3.29$ $Y=1.44 Z=37.408$	678	678	C	a	12.90	$C8\beta-X-2.63$ $Y=2.23 Z=37.337$	728	728	D	a	0.96	$C8\beta-X-3.79$ $Y=2.62 Z=37.350$
629	629	C	a	0.52	$C8\beta-X-3.15$ $Y=1.39 Z=37.416$	679	679	C	a	3.80	$C8\beta-X-3.00$ $Y=2.23 Z=37.337$	729	729	D	a	0.98	$C8\beta-X-3.80$ $Y=2.78 Z=37.328$
630	630	D	a	0.21	$C8\beta-X-3.25$ $Y=1.60 Z=37.425$	680	680	D	a	0.14	$C8\beta-X-2.71$ $Y=2.22 Z=37.282$	730	730	C	a	0.96	$C8\beta-X-3.82$ $Y=2.78 Z=37.370$
631	631	D	a	0.06	$C8\beta-X-3.39$ $Y=1.81 Z=37.462$	681	681	B	a	99.50	$C8\beta-X-1.48$ $Y=2.38 Z=37.311$	731	731	C	a	1.66	$C8\beta-X-3.89$ $Y=2.88 Z=37.328$
632	632	C	a	0.09	$C8\beta-X-3.52$ $Y=1.97 Z=37.446$	682	682	D	a	0.98	$C8\beta-X-1.57$ $Y=2.38 Z=37.375$	732	732	C	a	2.36	$C8\beta-X-3.93$ $Y=2.85 Z=37.364$
633	633	C	a	0.27	$C8\beta-X-3.42$ $Y=1.13 Z=37.411$	683	683	B	a	48.60	$C8\beta-X-1.56$ $Y=2.42 Z=37.332$	733	733	C	a	0.18	$C8\beta-X-3.43$ $Y=2.82 Z=37.418$
634	634	E	a	6.75	$C8\beta-X-3.72$ $Y=1.38 Z=37.468$	684	684	C	a	17.90	$C8\beta-X-1.80$ $Y=2.40 Z=37.360$	734	734	C	a	13.40	$C8\beta-X-3.36$ $Y=2.83 Z=37.404$
635	635	D	a	0.02	$C8\beta-X-3.93$ $Y=1.30 Z=37.411$	685	685	C	a	0.12	$C8\beta-X-1.85$ $Y=2.40 Z=37.390$	735	735	D	a	0.91	$C8\beta-X-3.49$ $Y=2.82 Z=37.418$
636	636	C	a	1.04	$C8\beta-X-4.05$ $Y=2.07 Z=37.427$	686	686	C	a	25.20	$C8\beta-X-2.04$ $Y=2.23 Z=37.349$	736	736	D	a	0.10	$C8\beta-X-3.55$ $Y=2.96 Z=37.427$
637	637	C	a	0.10	$C8\beta-X-4.08$ $Y=2.36 Z=37.378$	687	687	C	a	0.38	$C8\beta-X-2.08$ $Y=2.30 Z=37.360$	737	737	C	a	0.41	$C8\beta-X-3.66$ $Y=2.98 Z=37.321$
638	638	C	a	0.28	$C8\beta-X-4.13$ $Y=2.53 Z=37.373$	688	688	C	a	0.16	$C8\beta-X-2.05$ $Y=2.35 Z=37.409$	738	738	C	a	1.22	$C8\beta-X-3.71$ $Y=3.04 Z=37.249$
639	639	C	a	0.16	$C8\beta-X-4.30$ $Y=2.35 Z=37.397$	689	689	D	a	0.69	$C8\beta-X-2.10$ $Y=2.35 Z=37.414$	739	739	D	a	0.95	$C8\beta-X-3.79$ $Y=3.06 Z=37.349$
640	640	C	a	0.24	$C8\beta-X-4.37$ $Y=2.54 Z=37.390$	690	690	C	a	0.10	$C8\beta-X-2.23$ $Y=2.40 Z=37.373$	740	740	B	a	82.60	$C8\beta-X-3.88$ $Y=3.06 Z=37.318$
641	641	C	a	0.98	$C8\beta-X-4.11$ $Y=2.84 Z=37.380$	691	691	C	a	0.38	$C8\beta-X-2.30$ $Y=2.34 Z=37.391$	741	741	C	a	0.75	$C8\beta-X-3.99$ $Y=3.00 Z=37.338$
642	642	C	a	1.66	$C8\beta-X-4.17$ $Y=3.93 Z=37.403$	692	692	C	a	0.67	$C8\beta-X-2.95$ $Y=2.47 Z=37.345$	742	742	C	a	80.40	$C8\beta-X-2.90$ $Y=3.02 Z=37.418$
643	643	C	a	5.70	$C8\beta-X-4.40$ $Y=2.83 Z=37.493$	693	693	C	a	1.28	$C8\beta-X-2.96$ $Y=2.43 Z=37.356$	743	743	C	a	1.12	$C8\beta-X-3.92$ $Y=2.91 Z=37.392$
644	644	C	a	88.70	$C8\beta-X-4.60$ $Y=3.83 Z=37.263$	694	694	C	a	0.98	$C8\beta-X-3.17$ $Y=2.20 Z=37.294$	744	744	C	a	0.93	$C8\beta-X-3.94$ $Y=3.04 Z=37.330$
645	645	C	a	1.68	$C8\beta-X-4.53$ $Y=2.47 Z=37.371$	695	695	C	a	0.18	$C8\beta-X-3.25$ $Y=2.16 Z=37.346$	745	745	C	a	0.11	$C8\beta-X-4.00$ $Y=3.06 Z=37.277$
646	646	C	a	3.20	$C8\beta-X-4.48$ $Y=2.32 Z=37.485$	696	696	D	a	0.69	$C8\beta-X-3.48$ $Y=2.11 Z=37.355$	746	746	C	a	25.00	$C8\beta-X-4.02$ $Y=3.06 Z=37.264$
-	-	-	-	-	-	697	697	C	J	5.25	$C8\beta-X-3.50$ $Y=2.24 Z=37.329$	747	747	C	a	6.21	$C8\beta-X-4.01$ $Y=3.04 Z=37.353$
648	648	C	a	126.00	$C8\beta-X-4.70$ $Y=2.45 Z=37.376$	698	698	C	a	0.99	$C8\beta-X-3.63$ $Y=2.30 Z=37.334$	748	748	B	a	87.10	$C8\beta-X-4.03$ $Y=3.17 Z=37.280$
649	649	D	a	0.12	$C8\beta-X-1.05$ $Y=2.34 Z=37.412$	699	699	C	a	0.33	$C8\beta-X-3.41$ $Y=2.37 Z=37.294$	-	-	-	-	-	-
650	650	D	a	0.39	$C8\beta-X-1.06$ $Y=2.34 Z=37.412$	700	700	D	a	0.06	$C8\beta-X-3.57$ $Y=2.39 Z=37.288$	750	750	C	a		

圖号	新站号	路線	石質	重量	出土位置	图号	新站号	路線	石質	重量	出土位置	图号	新站号	路線	石質	重量	出土位置
751	751	C	a	8.70	C 8 8-X-2.14 Y=2.12 Z=37.254	801	801	C	a	0.35	C 8 8-X--1.92 Y=3.38 Z=37.272	851	851	C	a	0.20	C 8 8-X--2.30 Y=4.08 Z=37.250
752	752	C	a	3.06	C 8 8-X--2.12 Y=3.22 Z=37.314	802	802	C	a	2.04	C 8 8-X--1.71 Y=3.42 Z=37.323	852	852	C	a	2.20	C 8 8-X--2.28 Y=4.23 Z=37.253
753	753	C	a	0.97	C 8 8-X--2.12 Y=3.55 Z=37.314	803	803	C	a	0.90	C 8 8-X--1.78 Y=3.35 Z=37.313	853	853	C	a	2.85	C 8 8-X--2.42 Y=4.24 Z=37.258
754	754	C	a	1.28	C 8 8-X--2.20 Y=3.10 Z=37.341	804	804	C	a	3.00	C 8 8-X--1.66 Y=3.44 Z=37.353	854	854	C	a	1.10	C 8 8-X--2.45 Y=4.13 Z=37.191
755	755	C	a	0.37	C 8 8-X--2.22 Y=2.22 Z=37.297	805	805	C	a	0.55	C 8 8-X--1.68 Y=3.21 Z=37.285	855	855	C	a	11.80	C 8 8-X--2.52 Y=4.66 Z=37.168
756	756	C	a	0.09	C 8 8-X--2.54 Y=2.86 Z=37.350	806	806	C	a	2.66	C 8 8-X--1.54 Y=3.19 Z=37.308	856	856	D	a	0.04	C 8 8-X--2.25 Y=4.08 Z=37.202
757	757	C	a	0.27	C 8 8-X--2.45 Y=2.80 Z=37.347	807	807	C	a	7.00	C 8 8-X--1.44 Y=3.30 Z=37.337	857	857	D	a	0.06	C 8 8-X--2.29 Y=4.46 Z=37.209
758	758	C	a	5.45	C 8 8-X--2.43 Y=2.31 Z=37.297	808	808	C	a	1.68	C 8 8-X--1.29 Y=3.28 Z=37.331	858	858	C	a	0.46	C 8 8-X--2.03 Y=4.64 Z=37.168
759	759	C	a	0.35	C 8 8-X--2.69 Y=2.86 Z=37.329	809	809	D	a	310.00	C 8 8-X--1.42 Y=3.12 Z=37.296	859	859	D	a	0.00	C 8 8-X--2.52 Y=4.54 Z=37.273
760	760	C	a	0.38	C 8 8-X--2.60 Y=2.86 Z=37.330	810	810	D	a	133.00	C 8 8-X--1.21 Y=3.12 Z=37.296	860	860	C	a	0.07	C 8 8-X--2.09 Y=4.08 Z=37.193
761	761	C	a	1.24	C 8 8-X--2.44 Y=2.88 Z=37.357	811	811	C	a	0.11	C 8 8-X--1.30 Y=3.40 Z=37.317	861	861	G	a	22.10	C 8 8-X--2.19 Y=4.72 Z=37.188
762	762	D	a	0.62	C 8 8-X--2.39 Y=2.86 Z=37.352	812	812	B	a	60.50	C 8 8-X--1.10 Y=3.17 Z=37.355	862	862	C	a	11.00	C 8 8-X--2.50 Y=4.97 Z=37.195
763	763	D	a	0.15	C 8 8-X--2.46 Y=2.80 Z=37.346	813	813	B	a	80.80	C 8 8-X--1.23 Y=3.24 Z=37.253	863	863	C	a	0.17	C 8 8-X--1.86 Y=4.82 Z=37.275
764	764	C	a	0.12	C 8 8-X--2.21 Y=2.80 Z=37.385	814	814	B	a	62.60	C 8 8-X--1.29 Y=3.26 Z=37.275	864	864	C	a	0.28	C 8 8-X--2.90 Y=4.93 Z=37.277
765	765	C	a	5.30	C 8 8-X--2.45 Y=3.02 Z=37.325	815	815	C	a	0.18	C 8 8-X--1.19 Y=3.36 Z=37.329	865	865	C	a	0.82	C 8 8-X--1.87 Y=4.08 Z=37.258
766	766	D	a	1.58	C 8 8-X--2.58 Y=3.02 Z=37.296	816	816	C	a	0.19	C 8 8-X--1.36 Y=3.36 Z=37.327	866	866	C	a	0.22	C 8 8-X--1.90 Y=4.25 Z=37.238
767	767	C	a	0.35	C 8 8-X--2.48 Y=2.80 Z=37.325	817	817	C	a	0.77	C 8 8-X--1.09 Y=3.12 Z=37.338	867	867	C	a	15.80	C 8 8-X--2.25 Y=4.08 Z=37.193
768	768	C	a	0.22	C 8 8-X--2.43 Y=3.20 Z=37.325	818	818	C	a	0.94	C 8 8-X--0.96 Y=3.08 Z=37.273	868	868	C	a	0.08	C 8 8-X--2.35 Y=4.23 Z=37.183
769	769	G	a	8.55	C 8 8-X--1.12 Y=3.12 Z=37.329	819	819	C	a	4.62	C 8 8-X--0.72 Y=3.11 Z=37.329	869	869	C	a	0.87	C 8 8-X--1.90 Y=4.08 Z=37.253
770	770	C	a	8.65	C 8 8-X--2.42 Y=3.20 Z=37.244	820	820	C	a	0.23	C 8 8-X--0.80 Y=3.24 Z=37.367	870	870	C	a	3.14	C 8 8-X--2.22 Y=4.11 Z=37.294
771	771	C	a	0.25	C 8 8-X--1.65 Y=2.88 Z=37.407	821	821	C	a	1.20	C 8 8-X--0.68 Y=3.45 Z=37.368	871	871	C	a	0.43	C 8 8-X--2.51 Y=4.40 Z=37.191
772	772	C	a	0.11	C 8 8-X--2.79 Y=2.47 Z=37.350	822	822	F	a	0.54	C 8 8-X--0.13 Y=3.20 Z=37.251	872	872	C	a	0.37	C 8 8-X--2.68 Y=4.22 Z=37.177
773	773	D	a	0.12	C 8 8-X--3.08 Y=2.55 Z=37.366	823	823	D	a	0.93	C 8 8-X--0.12 Y=3.37 Z=37.289	873	873	C	a	1.22	C 8 8-X--3.00 Y=4.80 Z=37.184
774	774	C	a	0.54	C 8 8-X--3.76 Y=3.85 Z=37.360	824	824	C	a	0.23	C 8 8-X--0.21 Y=3.08 Z=37.284	874	874	C	a	0.57	C 8 8-X--2.90 Y=4.80 Z=37.188
775	775	C	a	2.10	C 8 8-X--3.48 Y=2.82 Z=37.315	825	825	C	a	0.35	C 8 8-X--1.10 Y=4.03 Z=37.290	875	875	D	a	0.02	C 8 8-X--2.95 Y=4.43 Z=37.202
776	776	C	a	0.74	C 8 8-X--3.38 Y=2.80 Z=37.330	826	826	C	a	1.74	C 8 8-X--1.41 Y=4.00 Z=37.244	876	876	D	a	0.65	C 8 8-X--3.08 Y=4.08 Z=37.258
777	777	C	a	0.87	C 8 8-X--3.80 Y=3.18 Z=37.312	827	827	C	a	5.80	C 8 8-X--1.41 Y=4.23 Z=37.320	877	877	C	a	1.70	C 8 8-X--3.35 Y=4.62 Z=37.177
778	778	C	a	0.15	C 8 8-X--3.69 Y=3.24 Z=37.318	828	828	C	a	0.13	C 8 8-X--1.96 Y=4.25 Z=37.196	878	878	C	a	1.16	C 8 8-X--3.35 Y=4.10 Z=37.258
779	779	C	a	0.52	C 8 8-X--3.80 Y=3.50 Z=37.372	829	829	C	a	1.62	C 8 8-X--1.65 Y=4.08 Z=37.261	879	879	C	a	3.14	C 8 8-X--3.89 Y=4.91 Z=37.242
780	780	F	a	3.22	C 8 8-X--3.69 Y=3.62 Z=37.356	830	830	C	a	0.10	C 8 8-X--1.56 Y=4.35 Z=37.230	880	880	C	a	0.06	C 8 8-X--3.25 Y=4.91 Z=37.224
781	781	D	a	0.11	C 8 8-X--3.25 Y=3.81 Z=37.369	831	831	C	a	0.10	C 8 8-X--1.50 Y=4.45 Z=37.242	881	881	D	a	0.11	C 8 8-X--2.86 Y=4.60 Z=37.267
782	782	D	a	0.16	C 8 8-X--3.14 Y=3.38 Z=37.313	832	832	C	a	0.29	C 8 8-X--1.62 Y=4.40 Z=37.190	882	882	C	a	0.72	C 8 8-X--2.76 Y=4.32 Z=37.288
783	783	D	a	0.27	C 8 8-X--3.15 Y=3.01 Z=37.287	833	833	C	a	0.20	C 8 8-X--1.29 Y=4.40 Z=37.209	883	883	C	a	0.15	C 8 8-X--2.64 Y=4.10 Z=37.248
784	784	C	a	0.37	C 8 8-X--3.05 Y=3.01 Z=37.287	834	834	C	a	0.25	C 8 8-X--1.31 Y=4.09 Z=37.222	884	884	C	a	0.18	C 8 8-X--2.77 Y=4.21 Z=37.194
785	785	C	a	6.50	C 8 8-X--3.03 Y=3.06 Z=37.271	835	835	C	a	0.16	C 8 8-X--1.36 Y=4.04 Z=37.233	885	885	C	a	0.25	C 8 8-X--2.80 Y=4.20 Z=37.147
786	786	C	a	0.20	C 8 8-X--3.00 Y=3.52 Z=37.283	836	836	C	a	3.66	C 8 8-X--1.25 Y=4.30 Z=37.166	886	886	C	a	0.20	C 8 8-X--3.26 Y=4.79 Z=37.130
787	787	C	a	0.10	C 8 8-X--3.08 Y=3.82 Z=37.327	837	837	C	a	1.86	C 8 8-X--1.10 Y=4.12 Z=37.184	887	887	C	a	2.80	C 8 8-X--3.75 Y=5.29 Z=37.130
788	788	B	a	257.60	C 8 8-X--2.92 Y=3.87 Z=37.255	838	838	C	a	0.41	C 8 8-X--1.93 Y=4.20 Z=37.234	888	888	C	a	0.24	C 8 8-X--3.25 Y=5.41 Z=37.278
789	789	B	a	83.20	C 8 8-X--2.92 Y=2.86 Z=37.296	839	839	C	a	1.86	C 8 8-X--1.86 Y=2.12 Z=37.177	889	889	C	a	3.74	C 8 8-X--3.84 Y=5.26 Z=37.155
790	790	C	a	1.10	C 8 8-X--2.91 Y=3.86 Z=37.311	840	840	C	a	0.50	C 8 8-X--2.05 Y=4.20 Z=37.192	890	890	B	a	63.10	C 8 8-X--3.63 Y=5.40 Z=37.184
791	791	D	a	0.63	C 8 8-X--2.70 Y=3.86 Z=37.320	841	841	C	a	1.26	C 8 8-X--1.75 Y=4.21 Z=37.228	891	891	C	a	0.35	C 8 8-X--3.49 Y=5.07 Z=37.146
792	792	D	a	1.68	C 8 8-X--2.74 Y=3.55 Z=37.296	842	842	C	a	0.96	C 8 8-X--1.75 Y=4.35 Z=37.234	892	892	B	a	68.10	C 8 8-X--3.64 Y=5.13 Z=37.217
793	793	C	a	1.66	C 8 8-X--2.72 Y=3.40 Z=37.255	843	843	C	a	0.90	C 8 8-X--1.76 Y=4.30 Z=37.232	893	893	C	a	3.70	C 8 8-X--3.74 Y=5.13 Z=37.202
794	794	C	a	0.08	C 8 8-X--2.72 Y=3.55 Z=37.293	844	844	C	a	0.19	C 8 8-X--1.80 Y=4.45 Z=37.242	894	894	C	a	11.70	C 8 8-X--3.74 Y=5.10 Z=37.188
795	795	C	a	0.41	C 8 8-X--2.59 Y=3.56 Z=37.327	845	845	C	a	0.12	C 8 8-X--1.85 Y=4.86 Z=37.243	895	895	C	a	1.00	C 8 8-X--3.72 Y=5.10 Z=37.237
796	796	C	a	0.98	C 8 8-X--2.59 Y=3.53 Z=37.327	846	846	C	a	0.32	C 8 8-X--1.94 Y=4.42 Z=37.246	896	896	C	a	0.28	C 8 8-X--3.86 Y=5.15 Z=37.213
797	797	C	a	1.80	C 8 8-X--2.45 Y=3.63 Z=37.317	847	847	D	a	0.01	C 8 8-X--1.94 Y=4.40 Z=37.251	897	897	C	a	0.20	C 8 8-X--3.84 Y=4.46 Z=37.211
798	798	C	a	8.35	C 8 8-X--2.70 Y=3.45 Z=37.320	848	848	C	a	0.27	C 8 8-X--2.06 Y=4.30 Z=37.243	898	898	D	a	0.12	C 8 8-X--3.86 Y=4.21 Z=37.355
799	799	D	a	7.55	C 8 8-X--2.11 Y=3.45 Z=37.325	849	849	C	a	1.14	C 8 8-X--2.06 Y=4.35 Z=37.258	899	899	C	a	0.58	C 8 8-X--3.20 Y=4.30 Z=37.213
800	800	F	a	1.36	C 8 8-X--2.01 Y=3.32 Z=37.247	850	850	D	a	0.05	C 8 8-X--2.18 Y=4.32 Z=37.264	900	900	C	a	0.12	C 8 8-X--3.29 Y=4.49 Z=37.259



番号	符号	図様	石質	重量	出土位置	番号	符号	図様	石質	重量	出土位置	番号	符号	図様	石質	重量	出土位置
901	901	C	a	1.56	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.14 Y = 0.63 Z = 37.361	951	951	C	a	7.06	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.51 Y = 1.04 Z = 37.327	1001	1001	D	a	0.97	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 0.71 Z = 37.294
-	-	-	-	-	-	952	952	C	a	2.60	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.98 Y = 1.08 Z = 37.330	1002	1002	T	a	0.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.09 Y = 1.12 Z = 37.295
903	903	C	a	1.90	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.19 Y = 0.77 Z = 37.329	953	953	C	a	1.56	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.02 Y = 0.73 Z = 37.288	1003	1003	D	a	0.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.11 Y = 0.78 Z = 37.294
904	904	C	a	0.90	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.75 Y = 0.35 Z = 37.356	954	954	C	a	7.15	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.02 Y = 0.77 Z = 37.293	1004	1004	C	a	1.58	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.18 Y = 2.23 Z = 37.264
905	905	C	a	6.05	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.82 Y = 0.32 Z = 37.239	955	955	C	a	0.29	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.31 Y = 0.86 Z = 37.375	1005	1005	C	a	1.10	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.20 Y = 2.23 Z = 37.342
906	906	C	a	1.08	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.31 Y = 0.39 Z = 37.211	956	956	D	a	0.63	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.26 Y = 0.98 Z = 37.337	1006	1006	C	a	0.38	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.21 Y = 2.31 Z = 37.259
-	-	-	-	-	-	957	957	D	a	0.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.08 Y = 1.08 Z = 37.374	1007	1007	C	a	0.97	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.29 Y = 2.28 Z = 37.361
908	908	C	a	3.80	D8 8 <sup>+</sup> X - 0.22 Y = 0.98 Z = 37.123	958	958	C	a	0.63	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.50 Y = 1.28 Z = 37.281	1008	1008	G	a	2.68	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.37 Y = 2.38 Z = 37.256
909	909	C	a	0.23	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.92 Y = 0.98 Z = 37.300	959	959	C	a	18.70	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.07 Y = 1.48 Z = 37.284	1009	1009	C	a	0.53	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.29 Y = 2.31 Z = 37.270
910	910	C	a	0.65	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.88 Y = 1.33 Z = 37.311	960	960	C	a	10.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.21 Y = 1.37 Z = 37.298	1010	1010	D	a	0.91	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.20 Y = 2.38 Z = 37.256
911	911	C	a	1.26	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.67 Y = 1.31 Z = 37.305	961	961	C	a	3.38	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.75 Y = 1.23 Z = 37.374	1011	1011	C	a	0.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.29 Y = 2.63 Z = 37.289
912	912	C	a	0.32	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.78 Y = 1.39 Z = 37.294	962	962	C	a	0.12	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.77 Y = 1.26 Z = 37.289	1012	1012	C	a	0.20	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.09 Y = 2.48 Z = 37.256
913	913	D	a	0.01	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.98 Y = 1.62 Z = 37.290	-	-	-	-	-	-	1013	1013	D	a	0.02	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.12 Y = 2.31 Z = 37.259
914	914	C	a	0.02	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.92 Y = 1.62 Z = 37.258	964	964	C	a	2.54	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.17 Y = 1.36 Z = 37.280	1014	1014	C	a	1.42	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 2.58 Z = 37.250
915	915	C	a	0.16	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.42 Y = 1.66 Z = 37.280	965	965	C	a	0.28	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.63 Y = 1.44 Z = 37.278	1015	1015	C	a	0.33	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 2.63 Z = 37.256
916	916	C	a	0.30	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.56 Y = 1.66 Z = 37.280	966	966	C	a	1.34	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.63 Y = 1.68 Z = 37.294	1016	1016	C	a	0.97	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.09 Y = 2.73 Z = 37.236
917	917	C	a	1.98	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.46 Y = 1.92 Z = 37.311	967	967	C	a	0.21	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.62 Y = 1.62 Z = 37.280	1017	1017	C	a	0.94	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.11 Y = 2.63 Z = 37.256
918	918	C	a	0.12	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.51 Y = 1.98 Z = 37.334	968	968	D	a	0.64	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.81 Y = 2.07 Z = 37.294	1018	1018	C	a	0.17	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.11 Y = 2.88 Z = 37.235
919	919	C	a	2.58	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.90 Y = 1.94 Z = 37.305	969	969	D	a	0.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.65 Y = 1.18 Z = 37.311	1019	1019	C	a	0.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 2.88 Z = 37.256
920	920	C	a	0.05	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.84 Y = 2.06 Z = 37.299	970	970	C	a	1.36	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.61 Y = 2.06 Z = 37.296	1020	1020	C	a	0.42	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 2.82 Z = 37.244
921	921	C	a	0.97	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.84 Y = 2.15 Z = 37.278	971	971	C	a	0.86	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.58 Y = 2.12 Z = 37.307	1021	1021	C	a	19.30	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.10 Y = 2.63 Z = 37.270
922	922	C	a	0.92	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.20 Y = 2.10 Z = 37.279	972	972	C	a	1.08	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.57 Y = 2.13 Z = 37.287	1022	1022	D	a	0.61	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.32 Y = 2.71 Z = 37.240
923	923	C	a	0.17	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.71 Y = 2.27 Z = 37.284	973	973	D	a	0.17	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.60 Y = 2.14 Z = 37.328	1023	1023	C	a	34.80	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.11 Y = 2.81 Z = 37.294
924	924	C	a	6.70	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.71 Y = 2.27 Z = 37.284	974	974	D	a	0.18	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.86 Y = 1.97 Z = 37.289	1024	1024	C	a	179.00	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.52 Y = 3.03 Z = 37.280
925	925	C	a	0.19	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.48 Y = 2.42 Z = 37.315	975	975	D	a	0.03	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.22 Y = 2.09 Z = 37.353	1025	1025	C	a	16.30	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.49 Y = 2.87 Z = 37.280
926	926	C	a	0.36	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.18 Y = 2.46 Z = 37.374	976	976	C	a	0.10	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.27 Y = 2.13 Z = 37.289	1026	1026	C	a	3.36	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.50 Y = 3.03 Z = 37.280
927	927	C	a	0.41	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.38 Y = 2.54 Z = 37.279	977	977	C	a	0.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.18 Y = 2.08 Z = 37.324	1027	1027	C	a	0.43	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.52 Y = 2.52 Z = 37.291
928	928	C	a	0.65	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.08 Y = 2.60 Z = 37.290	978	978	C	a	0.21	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.16 Y = 1.68 Z = 37.295	1028	1028	C	a	1.90	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.58 Y = 3.03 Z = 37.280
929	929	C	a	2.90	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.97 Y = 2.89 Z = 37.373	979	979	C	a	0.42	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.17 Y = 1.74 Z = 37.329	1029	1029	C	a	0.51	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.68 Y = 2.77 Z = 37.252
930	930	C	a	7.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 3.21 Y = 2.37 Z = 37.296	980	980	B	a	30.80	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.18 Y = 1.79 Z = 37.277	1030	1030	D	a	0.68	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.79 Y = 2.66 Z = 37.337
931	931	C	a	0.16	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.36 Y = 2.89 Z = 37.305	981	981	C	a	0.78	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.05 Y = 1.44 Z = 37.289	1031	1031	D	a	0.11	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.83 Y = 2.81 Z = 37.340
932	932	C	a	15.20	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.94 Y = 1.12 Z = 37.293	982	982	C	a	0.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.05 Y = 1.72 Z = 37.372	1032	1032	D	a	0.11	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.83 Y = 2.41 Z = 37.341
933	933	C	a	0.24	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.90 Y = 0.98 Z = 37.255	983	983	C	a	1.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.01 Y = 1.78 Z = 37.283	1033	1033	C	a	0.19	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.85 Y = 2.88 Z = 37.244
934	934	C	a	0.16	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.53 Y = 0.94 Z = 37.321	984	984	C	a	0.05	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.95 Y = 1.63 Z = 37.324	1034	1034	C	a	1.78	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.86 Y = 2.88 Z = 37.284
935	935	D	a	0.18	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.14 Y = 0.98 Z = 37.305	985	985	C	a	14.90	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.91 Y = 1.69 Z = 37.332	1035	1035	D	a	0.05	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.97 Y = 3.03 Z = 37.280
936	936	B	a	0.08	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.11 Y = 1.09 Z = 37.366	986	986	D	a	0.23	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.66 Y = 1.56 Z = 37.286	1036	1036	D	a	0.04	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.47 Y = 2.56 Z = 37.296
937	937	B	a	92.70	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.07 Y = 1.06 Z = 37.320	987	987	C	a	0.28	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.74 Y = 1.53 Z = 37.279	1037	1037	C	a	0.15	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.74 Y = 2.42 Z = 37.297
938	938	B	a	136.40	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.48 Y = 1.52 Z = 37.419	988	988	C	a	0.86	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.73 Y = 1.59 Z = 37.294	1038	1038	C	a	0.40	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.57 Y = 2.83 Z = 37.239
939	939	C	a	38.70	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.51 Y = 1.69 Z = 37.312	989	989	C	a	0.25	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.13 Y = 1.67 Z = 37.328	1039	1039	C	a	0.36	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.62 Y = 2.44 Z = 37.287
940	940	D	a	0.10	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.11 Y = 1.69 Z = 37.312	990	990	C	a	0.62	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.63 Y = 1.58 Z = 37.292	1040	1040	C	a	1.82	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.59 Y = 2.88 Z = 37.280
941	941	C	a	0.63	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.51 Y = 1.79 Z = 37.301	991	991	C	a	0.84	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.86 Y = 1.46 Z = 37.292	1041	1041	D	a	0.99	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.61 Y = 2.28 Z = 37.294
942	942	C	a	7.30	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.68 Y = 1.86 Z = 37.305	992	992	C	a	0.62	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.54 Y = 1.63 Z = 37.283	1042	1042	C	a	30.40	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.75 Y = 3.03 Z = 37.280
943	943	C	a	0.06	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.28 Y = 0.65 Z = 37.348	993	993	C	a	1.68	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.96 Y = 1.55 Z = 37.337	1043	1043	C	a	0.15	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.90 Y = 2.06 Z = 37.302
944	944	D	a	0.05	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.43 Y = 0.69 Z = 37.352	994	994	D	a	0.13	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.29 Y = 1.43 Z = 37.354	1044	1044	C	a	2.60	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.86 Y = 2.88 Z = 37.280
945	945	C	a	0.14	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.48 Y = 0.76 Z = 37.321	995	995	B	a	35.30	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.31 Y = 1.46 Z = 37.334	1045	1045	C	a	3.42	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.85 Y = 2.96 Z = 37.245
946	946	C	a	0.36	C8 8 <sup>+</sup> X - 0.97 Y = 0.73 Z = 37.309	996	996	C	a	2.60	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.11 Y = 1.32 Z = 37.332	1046	1046	C	a	0.11	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.85 Y = 2.13 Z = 37.271
947	947	C	a	0.69	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.28 Y = 0.85 Z = 37.327	997	997	C	a	5.46	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.20 Y = 1.44 Z = 37.377	1047	1047	D	a	0.66	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.23 Y = 2.83 Z = 37.254
948	948	C	a	0.91	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.36 Y = 0.93 Z = 37.325	998	998	C	a	2.14	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.17 Y = 1.61 Z = 37.443	1048	1048	D	a	0.03	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.97 Y = 2.96 Z = 37.333
949	949	C	a	0.07	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.36 Y = 0.93 Z = 37.325	999	999	C	a	0.93	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.48 Y = 1.84 Z = 37.288	1049	1049	C	a	2.14	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.45 Y = 3.03 Z = 37.280
950	950	C	a	0.16	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.31 Y = 0.92 Z = 37.377	1000	1000	C	a	0.28	C8 8 <sup>+</sup> X - 1.31 Y = 1.86 Z = 37.336	1050	1050	B	a	38.40	C8 8 <sup>+</sup> X - 2.80 Y = 3.03 Z = 37.280

番号	新番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	新番号	部種	石質	重量	出土位置	番号	新番号	部種	石質	重量	出土位置
1051	1051	B	a	102.90	C 8 8-X-2-41 Y=2.31 Z=37.2523	1301	1301	C	a	0.55	C 8 8-X-1-125 Y=0.42 Z=37.269	1351	1351	C	a	0.11	C 8 8-X-1-149 Y=0.88 Z=37.217
1052	1052	D	a	8.13	C 8 8-X-2-80 Y=2.98 Z=37.263	1302	1302	D	a	0.19	C 8 8-X-1-129 Y=3.19 Z=37.262	-	-	-	-	-	-
1053	1053	D	a	0.23	C 8 8-X-2-83 Y=2.2 Z=37.262	1303	1303	D	a	0.13	C 8 8-X-1-136 Y=3.30 Z=37.262	1352	1352	C	a	0.66	C 8 8-X-1-136 Y=3.50 Z=37.262
1054	1054	D	a	0.64	C 8 8-X-2-30 Y=2.81 Z=37.269	1304	1304	C	a	0.21	C 8 8-X-1-175 Y=3.27 Z=37.269	1354	1354	C	a	0.53	C 8 8-X-1-175 Y=3.57 Z=37.249
1055	1055	C	a	0.69	C 8 8-X-2-27 Y=2.84 Z=37.275	1305	1305	C	a	0.12	C 8 8-X-1-187 Y=3.30 Z=37.276	1355	1355	C	a	0.24	C 8 8-X-1-187 Y=3.50 Z=37.216
1056	1056	C	a	0.17	C 8 8-X-2-245 Y=2.31 Z=37.296	1306	1306	C	a	0.27	C 8 8-X-1-190 Y=3.46 Z=37.296	1356	1356	D	a	0.03	C 8 8-X-1-190 Y=3.55 Z=37.257
1057	1057	B	a	86.30	C 8 8-X-2-296 Y=2.68 Z=37.292	1307	1307	C	a	0.55	C 8 8-X-1-177 Y=3.46 Z=37.279	1357	1357	C	a	1.30	C 8 8-X-1-177 Y=3.46 Z=37.279
1058	1058	D	a	0.08	C 8 8-X-2-289 Y=2.66 Z=37.294	1308	1308	C	a	0.33	C 8 8-X-1-164 Y=3.49 Z=37.275	1358	1358	C	a	0.60	C 8 8-X-1-164 Y=3.49 Z=37.275
1059	1059	C	a	0.09	C 8 8-X-2-307 Y=2.62 Z=37.307	1309	1309	C	a	0.36	C 8 8-X-1-180 Y=3.31 Z=37.277	1359	1359	C	a	1.42	C 8 8-X-1-180 Y=3.31 Z=37.277
1060	1060	C	a	0.45	C 8 8-X-2-247 Y=2.59 Z=37.306	1310	1310	F	a	1.72	C 8 8-X-1-194 Y=3.33 Z=37.279	1360	1360	D	a	0.04	C 8 8-X-1-194 Y=3.33 Z=37.277
1061	1061	C	a	0.25	C 8 8-X-2-67 Y=2.50 Z=37.337	1311	1311	C	a	13.50	C 8 8-X-1-180 Y=3.35 Z=37.241	1361	1361	C	a	0.54	C 8 8-X-1-180 Y=3.35 Z=37.241
1062	1062	C	a	2.76	C 8 8-X-2-31 Y=2.57 Z=37.295	1312	1312	C	a	0.12	C 8 8-X-1-136 Y=3.36 Z=37.219	1362	1362	D	a	0.54	C 8 8-X-1-136 Y=3.36 Z=37.219
1063	1063	C	a	37.40	C 8 8-X-2-80 Y=2.52 Z=37.283	1313	1313	C	a	0.46	C 8 8-X-1-168 Y=3.12 Z=37.252	1363	1363	D	a	0.05	C 8 8-X-1-168 Y=3.12 Z=37.252
1064	1064	D	a	0.10	C 8 8-X-2-29 Y=2.61 Z=37.319	1314	1314	C	a	0.37	C 8 8-X-1-145 Y=3.35 Z=37.292	-	-	-	-	-	-
1065	1065	C	a	12.40	C 8 8-X-2-29 Y=2.51 Z=37.328	1315	1315	C	a	0.26	C 8 8-X-1-131 Y=3.39 Z=37.266	1365	1365	C	a	0.50	C 8 8-X-1-131 Y=3.39 Z=37.266
1066	1066	D	a	0.11	C 8 8-X-2-31 Y=2.62 Z=37.353	1316	1316	C	a	26.70	C 8 8-X-1-160 Y=3.39 Z=37.335	1366	1366	C	a	0.16	C 8 8-X-1-160 Y=3.39 Z=37.315
1067	1067	C	a	0.29	C 8 8-X-2-12 Y=2.52 Z=37.352	1317	1317	D	a	0.01	C 8 8-X-1-123 Y=3.39 Z=37.322	1367	1367	C	a	3.80	C 8 8-X-1-123 Y=3.39 Z=37.283
1068	1068	B	a	103.10	C 8 8-X-2-12 Y=2.45 Z=37.288	1318	1318	C	a	1.34	C 8 8-X-1-126 Y=3.04 Z=37.342	-	-	-	-	-	-
1069	1069	B	a	86.20	C 8 8-X-2-13 Y=2.51 Z=37.328	1319	1319	C	a	0.17	C 8 8-X-1-110 Y=3.37 Z=37.266	1369	1369	C	a	0.29	C 8 8-X-1-110 Y=3.07 Z=37.301
1070	1070	D	a	0.06	C 8 8-X-2-79 Y=2.52 Z=37.244	1320	1320	C	a	0.08	C 8 8-X-1-280 Y=3.28 Z=37.238	1370	1370	C	a	3.80	C 8 8-X-1-280 Y=3.28 Z=37.238
1071	1071	G	a	12.70	C 8 8-X-2-81 Y=2.51 Z=37.338	1321	1321	C	a	0.92	C 8 8-X-1-194 Y=3.47 Z=37.172	1371	1371	C	a	0.05	C 8 8-X-1-194 Y=3.47 Z=37.172
1072	1072	C	a	0.35	C 8 8-X-2-99 Y=2.53 Z=37.264	1322	1322	D	a	3.65	C 8 8-X-2-211 Y=3.41 Z=37.275	1372	1372	C	a	0.42	C 8 8-X-2-211 Y=3.41 Z=37.275
1073	1073	C	a	0.14	C 8 8-X-2-79 Y=2.36 Z=37.254	1323	1323	C	a	0.40	C 8 8-X-2-145 Y=3.41 Z=37.269	1373	1373	C	a	0.61	C 8 8-X-2-145 Y=3.41 Z=37.269
1074	1074	C	a	0.46	C 8 8-X-2-271 Y=2.51 Z=37.248	1324	1324	C	a	3.54	C 8 8-X-2-245 Y=3.41 Z=37.229	1374	1374	C	a	0.23	C 8 8-X-2-245 Y=3.41 Z=37.229
1075	1075	B	a	63.10	C 8 8-X-2-29 Y=2.37 Z=37.342	1325	1325	B	a	55.80	C 8 8-X-2-256 Y=3.35 Z=37.301	1375	1375	C	a	0.39	C 8 8-X-2-256 Y=3.35 Z=37.301
1076	1076	D	a	0.04	C 8 8-X-2-18 Y=2.40 Z=37.320	1326	1326	D	a	0.01	C 8 8-X-2-134 Y=3.31 Z=37.299	1376	1376	D	a	0.10	C 8 8-X-2-134 Y=3.31 Z=37.299
1077	1077	C	a	6.70	C 8 8-X-2-212 Y=2.40 Z=37.252	1327	1327	D	a	0.03	C 8 8-X-2-256 Y=3.44 Z=37.306	1377	1377	C	a	0.23	C 8 8-X-2-256 Y=3.44 Z=37.306
1078	1078	C	a	0.10	C 8 8-X-2-80 Y=2.40 Z=37.340	1328	1328	D	a	0.12	C 8 8-X-2-262 Y=3.31 Z=37.193	1378	1378	C	a	0.27	C 8 8-X-2-262 Y=3.31 Z=37.193
1079	1079	C	a	1.12	C 8 8-X-2-67 Y=2.14 Z=37.195	1329	1329	C	a	1.92	C 8 8-X-2-300 Y=3.24 Z=37.167	1379	1379	C	a	0.22	C 8 8-X-2-300 Y=3.24 Z=37.167
1080	1080	C	a	13.00	C 8 8-X-2-80 Y=2.09 Z=37.224	1330	1330	C	a	0.09	C 8 8-X-2-265 Y=3.23 Z=37.198	1380	1380	C	a	1.12	C 8 8-X-2-265 Y=3.23 Z=37.198
1081	1081	C	a	0.38	C 8 8-X-2-90 Y=2.40 Z=37.214	1331	1331	D	a	0.01	C 8 8-X-2-284 Y=3.27 Z=37.214	1381	1381	C	a	1.34	C 8 8-X-2-284 Y=3.27 Z=37.214
1082	1082	D	a	0.05	C 8 8-X-2-305 Y=2.15 Z=37.301	1332	1332	C	a	0.32	C 8 8-X-2-297 Y=3.22 Z=37.212	1382	1382	C	a	0.22	C 8 8-X-2-297 Y=3.22 Z=37.212
1083	1083	C	a	0.65	C 8 8-X-2-31 Y=2.04 Z=37.253	1333	1333	C	a	0.83	C 8 8-X-2-272 Y=3.24 Z=37.298	1383	1383	C	a	0.07	C 8 8-X-2-272 Y=3.24 Z=37.298
1084	1084	C	a	1.48	C 8 8-X-2-32 Y=2.15 Z=37.232	1334	1334	D	a	0.04	C 8 8-X-2-288 Y=3.19 Z=37.272	1384	1384	C	a	0.07	C 8 8-X-2-288 Y=3.19 Z=37.272
1085	1085	C	a	1.26	C 8 8-X-2-23 Y=2.19 Z=37.329	1335	1335	C	a	0.08	C 8 8-X-2-302 Y=3.24 Z=37.248	1385	1385	C	a	0.62	C 8 8-X-2-302 Y=3.24 Z=37.248
1086	1086	C	a	1.41	C 8 8-X-2-67 Y=2.09 Z=37.266	1336	1336	C	a	0.23	C 8 8-X-2-313 Y=3.30 Z=37.266	1386	1386	C	a	0.42	C 8 8-X-2-313 Y=3.30 Z=37.266
1087	1087	C	a	0.72	C 8 8-X-2-80 Y=2.09 Z=37.270	1337	1337	D	a	0.02	C 8 8-X-2-313 Y=3.35 Z=37.337	1387	1387	C	a	0.26	C 8 8-X-2-313 Y=3.35 Z=37.337
1088	1088	C	a	0.20	C 8 8-X-2-310 Y=2.02 Z=37.253	1338	1338	C	a	0.24	C 8 8-X-2-336 Y=3.36 Z=37.252	-	-	-	-	-	-
1089	1089	C	a	0.06	C 8 8-X-2-372 Y=2.00 Z=37.278	1339	1339	C	a	1.06	C 8 8-X-2-359 Y=3.32 Z=37.279	1389	1389	C	a	0.15	C 8 8-X-2-359 Y=3.32 Z=37.279
1090	1090	D	a	0.65	C 8 8-X-2-45 Y=2.41 Z=37.276	1340	1340	D	a	0.02	C 8 8-X-2-379 Y=3.19 Z=37.262	1390	1390	D	a	0.04	C 8 8-X-2-379 Y=3.19 Z=37.262
1091	1091	C	a	0.16	C 8 8-X-2-80 Y=2.41 Z=37.280	1341	1341	D	a	0.04	C 8 8-X-2-381 Y=3.19 Z=37.307	1391	1391	C	a	0.40	C 8 8-X-2-381 Y=3.19 Z=37.307
1092	1092	D	a	0.03	C 8 8-X-2-80 Y=2.41 Z=37.282	1342	1342	C	a	0.32	C 8 8-X-2-389 Y=3.15 Z=37.273	1392	1392	C	a	0.26	C 8 8-X-2-389 Y=3.15 Z=37.273
1093	1093	C	a	1.28	C 8 8-X-2-16 Y=2.37 Z=37.233	1343	1343	C	a	0.32	C 8 8-X-2-393 Y=3.17 Z=37.212	1393	1393	C	a	0.38	C 8 8-X-2-393 Y=3.17 Z=37.212
-	-	-	-	-	-	1344	1344	C	a	0.13	C 8 8-X-2-405 Y=3.15 Z=37.262	1394	1394	C	a	4.36	C 8 8-X-2-405 Y=3.15 Z=37.262
1095	1095	C	a	1.70	C 8 8-X-2-91 Y=2.24 Z=37.271	1345	1345	C	a	0.38	C 8 8-X-2-407 Y=3.00 Z=37.249	1395	1395	C	a	1.04	C 8 8-X-2-407 Y=3.00 Z=37.249
1096	1096	C	a	1.45	C 8 8-X-2-90 Y=2.20 Z=37.291	1346	1346	C	a	0.14	C 8 8-X-2-422 Y=2.88 Z=37.241	1396	1396	D	a	0.07	C 8 8-X-2-422 Y=2.88 Z=37.241
1097	1097	D	a	0.80	C 8 8-X-2-92 Y=2.20 Z=37.299	1347	1347	C	a	0.11	C 8 8-X-2-330 Y=3.02 Z=37.222	1397	1397	C	a	0.71	C 8 8-X-2-330 Y=3.02 Z=37.222
1098	1098	C	b	0.01	C 8 8-X-2-93 Y=2.32 Z=37.232	1348	1348	C	a	0.29	C 8 8-X-2-64 Y=3.25 Z=37.245	1398	1398	D	a	0.14	C 8 8-X-2-64 Y=3.25 Z=37.245
1099	1099	C	a	0.06	C 8 8-X-2-317 Y=2.15 Z=37.214	1349	1349	C	a	0.16	C 8 8-X-2-05 Y=3.15 Z=37.238	1399	1399	B	a	104.70	C 8 8-X-2-05 Y=3.15 Z=37.238
1100	1100	C	a	2.28	C 8 8-X-2-98 Y=2.27 Z=37.217	1350	1350	C	a	0.46	C 8 8-X-2-06 Y=3.24 Z=37.228	1200	1200	C	a	21.20	C 8 8-X-2-06 Y=3.24 Z=37.228

番号	符号	図解	石質	重量	出土位置	番号	符号	図解	石質	重量	出土位置	番号	符号	図解	石質	重量	出土位置
1201	1201	C	a	2.14	$C8\beta-X-X-1.36$ $Y=0.29$ $Z=37,222$	1251	1251	C	a	1.62	$C8\beta-X-X-2.14$ $Y=0.44$ $Z=37,260$	1301	1301	D	a	0.92	$C8\beta-X-X-2.25$ $Y=0.28$ $Z=37,268$
1202	1202	C	a	36.70	$C8\beta-X-X-1.55$ $Y=0.50$ $Z=37,222$	1252	1252	C	a	0.52	$C8\beta-X-X-2.20$ $Y=0.53$ $Z=37,286$	1302	1302	C	a	2.42	$C8\beta-X-X-2.20$ $Y=0.56$ $Z=37,280$
1203	1203	C	a	0.36	$C8\beta-X-X-2.20$ $Y=0.50$ $Z=37,266$	1253	1253	C	a	0.89	$C8\beta-X-X-2.28$ $Y=0.53$ $Z=37,180$	1303	1303	D	a	0.65	$C8\beta-X-X-2.22$ $Y=0.59$ $Z=37,263$
1204	1204	C	a	0.49	$C8\beta-X-X-2.20$ $Y=0.42$ $Z=37,192$	1254	1254	C	a	0.32	$C8\beta-X-X-2.38$ $Y=0.46$ $Z=37,252$	1304	1304	C	a	0.69	$C8\beta-X-X-1.16$ $Y=0.69$ $Z=37,252$
1205	1205	C	a	0.42	$C8\beta-X-X-2.35$ $Y=0.33$ $Z=37,203$	1255	1255	C	a	0.43	$C8\beta-X-X-2.36$ $Y=0.28$ $Z=37,226$	1305	1305	C	a	2.96	$C8\beta-X-X-2.35$ $Y=0.68$ $Z=37,243$
1206	1206	C	a	1.22	$C8\beta-X-X-2.19$ $Y=0.28$ $Z=37,247$	1256	1256	C	a	0.18	$C8\beta-X-X-2.28$ $Y=0.41$ $Z=37,258$	1306	1306	C	a	0.14	$C8\beta-X-X-1.57$ $Y=0.87$ $Z=37,289$
1207	1207	D	a	0.65	$C8\beta-X-X-2.16$ $Y=0.24$ $Z=37,225$	1257	1257	C	a	0.16	$C8\beta-X-X-2.09$ $Y=0.39$ $Z=37,283$	1307	1307	C	a	0.66	$C8\beta-X-X-2.22$ $Y=0.85$ $Z=37,289$
1208	1208	C	a	0.21	$C8\beta-X-X-2.05$ $Y=0.19$ $Z=37,223$	1258	1258	C	a	0.13	$C8\beta-X-X-2.05$ $Y=0.29$ $Z=37,285$	1308	1308	C	a	10.90	$C8\beta-X-X-1.52$ $Y=0.91$ $Z=37,281$
1209	1209	D	a	0.96	$C8\beta-X-X-2.00$ $Y=0.19$ $Z=37,234$	1259	1259	C	a	0.28	$C8\beta-X-X-2.13$ $Y=0.23$ $Z=37,284$	1309	1309	B	a	68.00	$C8\beta-X-X-1.66$ $Y=0.92$ $Z=37,243$
1210	1210	C	a	0.53	$C8\beta-X-X-2.06$ $Y=0.15$ $Z=37,234$	1260	1260	B	a	52.60	$C8\beta-X-X-2.10$ $Y=0.36$ $Z=37,283$	1310	1310	C	a	0.99	$C8\beta-X-X-1.62$ $Y=0.91$ $Z=37,281$
1211	1211	C	a	0.52	$C8\beta-X-X-2.19$ $Y=0.08$ $Z=37,229$	1261	1261	C	a	13.90	$C8\beta-X-X-2.23$ $Y=0.13$ $Z=37,276$	1311	1311	C	a	3.40	$C8\beta-X-X-1.62$ $Y=0.96$ $Z=37,243$
1212	1212	D	a	0.15	$C8\beta-X-X-2.19$ $Y=0.16$ $Z=37,221$	1262	1262	C	a	11.20	$C8\beta-X-X-1.12$ $Y=0.06$ $Z=37,185$	1312	1312	C	a	4.42	$C8\beta-X-X-1.78$ $Y=0.98$ $Z=37,246$
1213	1213	C	a	0.30	$C8\beta-X-X-2.23$ $Y=0.18$ $Z=37,215$	1263	1263	C	a	0.36	$C8\beta-X-X-1.88$ $Y=0.06$ $Z=37,218$	1313	1313	C	a	3.22	$C8\beta-X-X-1.19$ $Y=0.96$ $Z=37,204$
1214	1214	C	a	0.32	$C8\beta-X-X-2.36$ $Y=0.06$ $Z=37,235$	1264	1264	D	a	0.91	$C8\beta-X-X-1.92$ $Y=0.01$ $Z=37,308$	1314	1314	C	a	4.70	$C8\beta-X-X-1.22$ $Y=0.62$ $Z=37,275$
1215	1215	C	a	0.31	$C8\beta-X-X-2.08$ $Y=0.14$ $Z=37,185$	1265	1265	C	a	0.88	$C8\beta-X-X-1.92$ $Y=0.07$ $Z=37,355$	1315	1315	C	a	1.72	$C8\beta-X-X-1.39$ $Y=0.91$ $Z=37,279$
1216	1216	C	a	11.80	$C8\beta-X-X-2.44$ $Y=0.21$ $Z=37,193$	1266	1266	C	a	7.65	$C8\beta-X-X-1.74$ $Y=1.06$ $Z=37,238$	1316	1316	C	a	0.27	$C8\beta-X-X-1.72$ $Y=0.52$ $Z=37,296$
1217	1217	C	a	0.00	$C8\beta-X-X-2.44$ $Y=0.00$ $Z=37,287$	1267	1267	C	a	0.37	$C8\beta-X-X-1.78$ $Y=0.02$ $Z=37,253$	1317	1317	C	a	1.34	$C8\beta-X-X-1.47$ $Y=0.93$ $Z=37,286$
1218	1218	D	a	0.01	$C8\beta-X-X-2.45$ $Y=0.13$ $Z=37,264$	1268	1268	D	a	0.13	$C8\beta-X-X-1.43$ $Y=0.07$ $Z=37,254$	1318	1318	C	a	1.02	$C8\beta-X-X-1.56$ $Y=0.63$ $Z=37,235$
1219	1219	C	a	0.31	$C8\beta-X-X-2.37$ $Y=0.18$ $Z=37,255$	1269	1269	D	a	0.03	$C8\beta-X-X-1.47$ $Y=0.01$ $Z=37,218$	1319	1319	C	a	5.65	$C8\beta-X-X-1.21$ $Y=0.41$ $Z=37,294$
1220	1220	D	a	0.07	$C8\beta-X-X-2.37$ $Y=0.13$ $Z=37,258$	1270	1270	C	a	0.46	$C8\beta-X-X-1.44$ $Y=0.02$ $Z=37,254$	1320	1320	C	a	0.28	$C8\beta-X-X-1.46$ $Y=0.28$ $Z=37,242$
1221	1221	C	a	0.02	$C8\beta-X-X-2.37$ $Y=0.08$ $Z=37,276$	1271	1271	C	a	0.96	$C8\beta-X-X-1.38$ $Y=0.01$ $Z=37,289$	1321	1321	C	a	6.14	$C8\beta-X-X-1.68$ $Y=0.38$ $Z=37,291$
1222	1222	C	a	0.48	$C8\beta-X-X-2.47$ $Y=0.01$ $Z=37,220$	1272	1272	C	a	0.94	$C8\beta-X-X-1.44$ $Y=0.00$ $Z=37,244$	1322	1322	C	a	0.17	$C8\beta-X-X-2.66$ $Y=0.60$ $Z=37,249$
1223	1223	C	a	0.74	$C8\beta-X-X-3.35$ $Y=0.97$ $Z=37,220$	1273	1273	C	a	0.21	$C8\beta-X-X-1.74$ $Y=0.01$ $Z=37,377$	-	-	-	-	-	-
1224	1224	C	a	0.45	$C8\beta-X-X-2.67$ $Y=0.00$ $Z=37,291$	1274	1274	C	a	0.96	$C8\beta-X-X-1.52$ $Y=0.08$ $Z=37,314$	1324	1324	C	a	0.34	$C8\beta-X-X-3.06$ $Y=0.53$ $Z=37,271$
1225	1225	C	a	1.74	$C8\beta-X-X-2.67$ $Y=0.98$ $Z=37,165$	1275	1275	C	a	0.74	$C8\beta-X-X-1.90$ $Y=1.08$ $Z=37,289$	1325	1325	C	a	2.19	$C8\beta-X-X-3.10$ $Y=0.43$ $Z=37,291$
1226	1226	C	a	0.68	$C8\beta-X-X-2.85$ $Y=0.00$ $Z=37,255$	1276	1276	C	a	0.23	$C8\beta-X-X-1.56$ $Y=0.43$ $Z=37,335$	1326	1326	D	a	0.93	$C8\beta-X-X-3.05$ $Y=0.50$ $Z=37,291$
1227	1227	C	a	0.24	$C8\beta-X-X-2.60$ $Y=0.92$ $Z=37,215$	1277	1277	C	a	0.98	$C8\beta-X-X-1.48$ $Y=0.79$ $Z=37,231$	1327	1327	C	a	0.14	$C8\beta-X-X-3.00$ $Y=0.88$ $Z=37,188$
1228	1228	C	a	1.48	$C8\beta-X-X-2.72$ $Y=0.79$ $Z=37,192$	1278	1278	C	a	0.18	$C8\beta-X-X-1.98$ $Y=0.74$ $Z=37,265$	1328	1328	C	a	1.18	$C8\beta-X-X-2.71$ $Y=0.40$ $Z=37,226$
1229	1229	C	a	0.19	$C8\beta-X-X-2.51$ $Y=0.74$ $Z=37,192$	1279	1279	C	a	0.98	$C8\beta-X-X-1.54$ $Y=0.72$ $Z=37,282$	1329	1329	C	a	0.85	$C8\beta-X-X-2.78$ $Y=1.11$ $Z=37,296$
1230	1230	C	a	0.81	$C8\beta-X-X-2.48$ $Y=0.71$ $Z=37,213$	1280	1280	C	a	0.11	$C8\beta-X-X-1.58$ $Y=1.06$ $Z=37,281$	1330	1330	C	a	0.66	$C8\beta-X-X-2.50$ $Y=1.01$ $Z=37,195$
1231	1231	C	a	0.33	$C8\beta-X-X-2.47$ $Y=0.08$ $Z=37,212$	1281	1281	C	a	0.68	$C8\beta-X-X-1.48$ $Y=0.53$ $Z=37,295$	1331	1331	C	a	0.10	$C8\beta-X-X-2.45$ $Y=1.00$ $Z=37,258$
1232	1232	D	a	0.92	$C8\beta-X-X-2.26$ $Y=0.83$ $Z=37,213$	1282	1282	C	a	0.76	$C8\beta-X-X-1.35$ $Y=1.54$ $Z=37,273$	1332	1332	C	b	0.32	$C8\beta-X-X-2.42$ $Y=1.01$ $Z=37,239$
1233	1233	C	a	0.31	$C8\beta-X-X-1.89$ $Y=0.97$ $Z=37,229$	1283	1283	B	a	43.00	$C8\beta-X-X-1.28$ $Y=0.54$ $Z=37,255$	1333	1333	G	b	8.65	$C8\beta-X-X-2.37$ $Y=1.11$ $Z=37,243$
1234	1234	C	a	0.37	$C8\beta-X-X-1.76$ $Y=0.84$ $Z=37,206$	1284	1284	C	a	0.18	$C8\beta-X-X-1.46$ $Y=1.08$ $Z=37,298$	1334	1334	C	a	1.28	$C8\beta-X-X-2.25$ $Y=0.98$ $Z=37,253$
1235	1235	C	a	22.40	$C8\beta-X-X-1.91$ $Y=0.60$ $Z=37,186$	1285	1285	C	b	0.32	$C8\beta-X-X-1.48$ $Y=0.65$ $Z=37,327$	1335	1335	C	a	0.98	$C8\beta-X-X-2.21$ $Y=1.00$ $Z=37,222$
1236	1236	C	a	0.70	$C8\beta-X-X-1.73$ $Y=0.73$ $Z=37,263$	1286	1286	C	a	7.30	$C8\beta-X-X-1.13$ $Y=0.67$ $Z=37,406$	1336	1336	C	b	0.45	$C8\beta-X-X-2.21$ $Y=1.14$ $Z=37,231$
1237	1237	C	a	82.70	$C8\beta-X-X-2.08$ $Y=0.69$ $Z=37,282$	1287	1287	C	a	0.66	$C8\beta-X-X-1.48$ $Y=0.41$ $Z=37,218$	1337	1337	C	a	0.10	$C8\beta-X-X-2.59$ $Y=1.21$ $Z=37,280$
1238	1238	C	a	0.86	$C8\beta-X-X-1.71$ $Y=0.63$ $Z=37,259$	1288	1288	C	b	0.48	$C8\beta-X-X-1.13$ $Y=0.37$ $Z=37,254$	1338	1338	C	a	0.16	$C8\beta-X-X-2.59$ $Y=1.20$ $Z=37,246$
1239	1239	C	a	0.18	$C8\beta-X-X-1.68$ $Y=0.63$ $Z=37,273$	1289	1289	C	a	4.58	$C8\beta-X-X-1.19$ $Y=0.31$ $Z=37,236$	1339	1339	D	a	0.95	$C8\beta-X-X-2.71$ $Y=1.31$ $Z=37,241$
1240	1240	C	a	1.06	$C8\beta-X-X-1.48$ $Y=0.78$ $Z=37,228$	1290	1290	C	a	0.14	$C8\beta-X-X-1.37$ $Y=0.19$ $Z=37,282$	1340	1340	C	a	0.15	$C8\beta-X-X-2.80$ $Y=1.36$ $Z=37,296$
1241	1241	C	a	0.38	$C8\beta-X-X-1.26$ $Y=0.73$ $Z=37,239$	1291	1291	C	a	0.83	$C8\beta-X-X-1.32$ $Y=1.35$ $Z=37,219$	-	-	-	-	-	-
1242	1242	D	a	0.03	$C8\beta-X-X-1.29$ $Y=0.67$ $Z=37,217$	1292	1292	C	a	0.13	$C8\beta-X-X-1.64$ $Y=1.44$ $Z=37,214$	1342	1342	C	a	0.33	$C8\beta-X-X-3.61$ $Y=1.08$ $Z=37,245$
1243	1243	C	a	0.23	$C8\beta-X-X-1.20$ $Y=0.58$ $Z=37,273$	1293	1293	C	a	0.48	$C8\beta-X-X-1.88$ $Y=1.38$ $Z=37,219$	1343	1343	G	a	2.30	$C8\beta-X-X-3.07$ $Y=1.38$ $Z=37,220$
1244	1244	C	a	12.70	$C8\beta-X-X-1.31$ $Y=0.60$ $Z=37,189$	1294	1294	C	a	0.98	$C8\beta-X-X-1.71$ $Y=1.69$ $Z=37,280$	1344	1344	C	a	0.17	$C8\beta-X-X-2.71$ $Y=1.02$ $Z=37,183$
1245	1245	C	a	0.35	$C8\beta-X-X-1.42$ $Y=0.22$ $Z=37,246$	1295	1295	C	a	0.13	$C8\beta-X-X-2.17$ $Y=0.75$ $Z=37,289$	1345	1345	C	a	0.98	$C8\beta-X-X-2.56$ $Y=1.66$ $Z=37,259$
1246	1246	D	a	0.02	$C8\beta-X-X-1.58$ $Y=0.38$ $Z=37,256$												

番号	新番号	路線	石質	重量	出土位置	番号	新番号	路線	石質	重量	出土位置	番号	新番号	路線	石質	重量	出土位置
1351	1301	C	a	0.24	C 8 8 9-X-2.49 Y=3.36 Z=37.162	1401	1401	C	a	0.91	C 8 8 9-X-3.71 Y=1.40 Z=37.259	1451	1451	C	a	0.42	C 8 8 9-X-1.42 Y=2.17 Z=37.253
1352	1302	C	a	0.31	C 8 8 9-X-2.81 Y=3.36 Z=37.231	1402	1402	C	a	0.82	C 8 8 9-X-3.80 Y=1.87 Z=37.215	1452	1452	D	a	0.07	C 8 8 9-X-2.80 Y=2.17 Z=37.216
1353	1303	D	a	0.94	C 8 8 9-X-3.71 Y=3.36 Z=37.216	1403	1403	D	a	0.05	C 8 8 9-X-3.71 Y=1.83 Z=37.211	1453	1453	D	a	0.04	C 8 8 9-X-2.54 Y=2.18 Z=37.222
1354	1354	C	a	0.14	C 8 8 9-X-3.07 Y=3.26 Z=37.214	1404	1404	C	a	0.14	C 8 8 9-X-3.45 Y=2.34 Z=37.221	1454	1454	D	a	0.02	C 8 8 9-X-2.55 Y=2.19 Z=37.222
1355	1355	C	a	0.72	C 8 8 9-X-2.35 Y=3.37 Z=37.128	1405	1405	C	a	0.18	C 8 8 9-X-3.55 Y=2.41 Z=37.229	1455	1455	D	a	0.01	C 8 8 9-X-2.54 Y=2.18 Z=37.227
1357	1357	C	a	0.09	C 8 8 9-X-3.48 Y=3.37 Z=37.173	1407	1407	C	a	0.01	C 8 8 9-X-3.69 Y=0.41 Z=37.202	1456	1456	C	a	0.16	C 8 8 9-X-2.54 Y=2.19 Z=37.226
1358	1358	C	a	1.40	C 8 8 9-X-3.15 Y=3.45 Z=37.082	1408	1408	C	a	0.20	C 8 8 9-X-3.20 Y=0.75 Z=37.201	1457	1457	C	a	0.08	C 8 8 9-X-2.44 Y=2.16 Z=37.219
1359	1359	C	a	7.35	C 8 8 9-X-3.38 Y=3.42 Z=37.107	1409	1409	C	a	0.27	C 8 8 9-X-3.19 Y=3.62 Z=37.183	1458	1458	C	a	1.98	C 8 8 9-X-3.20 Y=2.31 Z=37.191
1360	1360	D	a	0.13	C 8 8 9-X-1.68 Y=0.28 Z=37.154	1410	1410	C	a	0.86	C 8 8 9-X-2.67 Y=0.41 Z=37.203	1459	1459	C	a	4.66	C 8 8 9-X-2.40 Y=2.91 Z=37.197
1361	1361	C	a	0.56	C 8 8 9-X-1.36 Y=0.25 Z=37.173	1411	1411	C	a	0.05	C 8 8 9-X-2.80 Y=2.48 Z=37.200	1460	1460	C	a	2.08	C 8 8 9-X-2.42 Y=2.94 Z=37.147
1362	1362	C	a	0.13	C 8 8 9-X-2.60 Y=0.48 Z=37.150	1412	1412	C	a	0.05	C 8 8 9-X-0.07 Y=1.29 Z=37.200	1461	1461	C	a	0.28	C 8 8 9-X-2.41 Y=2.80 Z=37.158
1363	1363	C	a	0.16	C 8 8 9-X-2.13 Y=0.21 Z=37.140	1413	1413	C	a	0.28	C 8 8 9-X-3.67 Y=2.58 Z=37.202	1462	1462	C	a	0.19	C 8 8 9-X-2.75 Y=2.49 Z=37.181
1364	1364	C	a	0.98	C 8 8 9-X-2.22 Y=0.22 Z=37.130	1414	1414	C	a	0.28	C 8 8 9-X-3.37 Y=2.41 Z=37.227	1463	1463	C	a	0.42	C 8 8 9-X-2.52 Y=2.52 Z=37.177
1365	1365	C	a	5.80	C 8 8 9-X-2.49 Y=0.68 Z=37.157	1415	1415	C	a	2.23	C 8 8 9-X-0.01 Y=0.36 Z=37.210	1464	1464	b	1.18	C 8 8 9-X-2.64 Y=2.53 Z=37.191	
1366	1366	C	a	0.46	C 8 8 9-X-2.60 Y=0.33 Z=37.196	1416	1416	C	a	4.14	C 8 8 9-X-3.53 Y=2.41 Z=37.225	1465	1465	C	a	0.07	C 8 8 9-X-2.62 Y=2.53 Z=37.191
1367	1367	C	a	0.14	C 8 8 9-X-2.47 Y=0.68 Z=37.172	1417	1417	C	a	0.19	C 8 8 9-X-3.43 Y=0.36 Z=37.205	1466	1466	C	a	0.05	C 8 8 9-X-2.65 Y=2.53 Z=37.192
1368	1368	C	a	0.21	C 8 8 9-X-2.53 Y=0.52 Z=37.072	1418	1418	C	a	0.19	C 8 8 9-X-2.28 Y=3.30 Z=37.030	1467	1467	C	a	1.28	C 8 8 9-X-2.41 Y=2.56 Z=37.177
1369	1369	C	a	0.23	C 8 8 9-X-2.45 Y=0.68 Z=37.147	1419	1419	C	a	0.13	C 8 8 9-X-0.08 Y=1.47 Z=37.234	1468	1468	C	a	1.13	C 8 8 9-X-2.24 Y=2.51 Z=37.208
1370	1370	C	a	1.20	C 8 8 9-X-2.32 Y=0.71 Z=37.142	1420	1420	C	a	0.19	C 8 8 9-X-0.12 Y=1.24 Z=37.252	1469	1469	C	a	0.51	C 8 8 9-X-2.19 Y=2.51 Z=37.200
1371	1371	C	a	0.70	C 8 8 9-X-2.80 Y=0.17 Z=37.258	1421	1421	C	a	0.20	C 8 8 9-X-2.28 Y=3.30 Z=37.010	1470	1470	D	a	0.10	C 8 8 9-X-2.22 Y=2.44 Z=37.229
1372	1372	C	a	0.32	C 8 8 9-X-2.46 Y=0.68 Z=37.252	1422	1422	C	a	0.32	C 8 8 9-X-2.07 Y=2.57 Z=37.159	1471	1471	D	a	0.02	C 8 8 9-X-2.24 Y=2.42 Z=37.225
1373	1373	C	a	0.46	C 8 8 9-X-2.63 Y=0.34 Z=37.096	1423	1423	C	a	0.34	C 8 8 9-X-2.06 Y=3.48 Z=36.989	1472	1472	C	a	0.55	C 8 8 9-X-2.40 Y=2.14 Z=37.251
1374	1374	C	a	0.17	C 8 8 9-X-2.88 Y=0.34 Z=37.093	1424	1424	C	a	0.14	C 8 8 9-X-1.73 Y=1.47 Z=37.187	1473	1473	C	a	0.21	C 8 8 9-X-2.56 Y=2.57 Z=37.117
1375	1375	C	a	0.08	C 8 8 9-X-2.96 Y=3.62 Z=37.123	1425	1425	G	a	0.45	C 8 8 9-X-1.07 Y=1.54 Z=37.078	1474	1474	C	a	5.28	C 8 8 9-X-2.54 Y=1.48 Z=37.181
1376	1376	C	a	0.27	C 8 8 9-X-3.40 Y=0.53 Z=37.093	1426	1426	C	a	7.55	C 8 8 9-X-1.15 Y=0.33 Z=37.188	1475	1475	C	a	2.70	C 8 8 9-X-2.41 Y=2.23 Z=37.181
1377	1377	C	a	3.10	C 8 8 9-X-2.92 Y=1.32 Z=37.094	1427	1427	C	a	0.01	C 8 8 9-X-1.36 Y=3.04 Z=37.200	1476	1476	C	a	0.27	C 8 8 9-X-2.25 Y=1.34 Z=37.185
1378	1378	C	a	2.82	D 8 8 9-X-0.45 Y=1.47 Z=37.082	1428	1428	C	a	0.36	C 8 8 9-X-1.80 Y=3.04 Z=37.200	1477	1477	C	a	0.62	C 8 8 9-X-2.27 Y=1.08 Z=37.276
1379	1379	C	a	7.80	D 8 8 9-X-0.45 Y=0.88 Z=37.138	1429	1429	D	a	0.96	C 8 8 9-X-1.33 Y=2.47 Z=37.227	1478	1478	C	a	1.04	C 8 8 9-X-1.86 Y=2.08 Z=37.276
1380	1380	C	a	8.84	C 8 8 9-X-2.81 Y=2.84 Z=37.266	1430	1430	C	a	0.39	C 8 8 9-X-1.26 Y=2.14 Z=37.200	1479	1479	C	j	0.19	C 8 8 9-X-1.79 Y=2.08 Z=37.235
1381	1381	C	a	6.50	C 8 8 9-X-3.37 Y=2.48 Z=37.268	1431	1431	C	a	0.28	C 8 8 9-X-1.27 Y=2.61 Z=37.200	1480	1480	C	a	0.18	C 8 8 9-X-1.45 Y=0.85 Z=37.224
1382	1382	D	a	0.16	C 8 8 9-X-3.05 Y=2.54 Z=37.271	1432	1432	C	a	4.72	C 8 8 9-X-1.24 Y=2.52 Z=37.216	1481	1481	C	a	80.60	C 8 8 9-X-1.26 Y=0.95 Z=37.218
1383	1383	D	a	0.13	C 8 8 9-X-3.45 Y=2.49 Z=37.256	1433	1433	C	a	4.80	C 8 8 9-X-1.13 Y=2.31 Z=37.094	1482	1482	D	a	0.10	C 8 8 9-X-1.12 Y=2.38 Z=37.172
1384	1384	D	a	0.07	C 8 8 9-X-3.45 Y=2.49 Z=37.256	1434	1434	C	a	0.19	C 8 8 9-X-1.21 Y=2.36 Z=37.200	1483	1483	C	a	0.13	C 8 8 9-X-1.28 Y=1.70 Z=37.213
1385	1385	C	a	0.23	C 8 8 9-X-3.45 Y=2.49 Z=37.256	1435	1435	C	a	2.10	C 8 8 9-X-1.19 Y=2.31 Z=37.200	1484	1484	C	a	0.09	C 8 8 9-X-1.16 Y=1.83 Z=37.168
1386	1386	C	a	1.20	C 8 8 9-X-3.62 Y=2.52 Z=37.284	1436	1436	C	a	2.08	C 8 8 9-X-1.17 Y=2.37 Z=37.227	1485	1485	C	a	0.05	C 8 8 9-X-1.20 Y=1.59 Z=37.253
1387	1387	D	a	0.62	C 8 8 9-X-3.45 Y=2.43 Z=37.265	1437	1437	C	a	0.13	C 8 8 9-X-1.19 Y=2.43 Z=37.203	1486	1486	C	a	0.35	C 8 8 9-X-1.24 Y=1.61 Z=37.258
1388	1388	C	a	0.16	C 8 8 9-X-3.34 Y=2.2 Z=37.254	1438	1438	C	a	0.95	C 8 8 9-X-1.07 Y=2.44 Z=37.241	1487	1487	C	a	0.55	C 8 8 9-X-1.52 Y=1.66 Z=37.260
1389	1389	C	a	0.72	C 8 8 9-X-3.39 Y=2.83 Z=37.283	1439	1439	C	a	0.25	C 8 8 9-X-1.09 Y=2.14 Z=37.219	1488	1488	C	a	0.33	C 8 8 9-X-1.19 Y=1.69 Z=37.253
1390	1390	C	a	1.00	C 8 8 9-X-3.80 Y=1.89 Z=37.234	1440	1440	C	a	0.77	C 8 8 9-X-1.98 Y=2.98 Z=37.279	1489	1489	C	a	0.08	C 8 8 9-X-1.49 Y=1.83 Z=37.285
1391	1391	C	a	0.48	C 8 8 9-X-3.43 Y=1.89 Z=37.234	1441	1441	C	a	0.78	C 8 8 9-X-1.92 Y=2.98 Z=37.284	1490	1490	D	a	0.07	C 8 8 9-X-1.58 Y=1.80 Z=37.218
1392	1392	C	a	4.72	C 8 8 9-X-3.47 Y=2.20 Z=37.292	1442	1442	C	a	0.95	C 8 8 9-X-2.00 Y=2.98 Z=37.284	1491	1491	C	a	0.80	C 8 8 9-X-1.50 Y=1.83 Z=37.291
1393	1393	C	a	8.11	C 8 8 9-X-2.47 Y=2.20 Z=37.292	1443	1443	C	a	1.12	C 8 8 9-X-2.15 Y=3.24 Z=37.229	1492	1492	C	a	0.01	C 8 8 9-X-1.47 Y=0.95 Z=37.227
1394	1394	C	a	0.16	C 8 8 9-X-3.44 Y=2.43 Z=37.277	1444	1444	C	a	0.25	C 8 8 9-X-2.16 Y=3.12 Z=37.227	1493	1493	C	a	0.97	C 8 8 9-X-1.82 Y=2.20 Z=37.254
1395	1395	C	a	0.51	C 8 8 9-X-3.79 Y=2.21 Z=37.244	1445	1445	C	a	0.19	C 8 8 9-X-2.23 Y=3.22 Z=37.262	1494	1494	C	a	0.35	C 8 8 9-X-1.82 Y=2.20 Z=37.254
1396	1396	C	a	1.70	C 8 8 9-X-3.83 Y=2.26 Z=37.273	1446	1446	D	a	0.04	C 8 8 9-X-2.25 Y=3.17 Z=37.269	1495	1495	C	a	0.21	C 8 8 9-X-1.84 Y=2.21 Z=37.230
1397	1397	C	a	0.65	C 8 8 9-X-3.26 Y=2.19 Z=37.270	1447	1447	C	a	1.18	C 8 8 9-X-2.25 Y=2.87 Z=37.219	1496	1496	C	a	0.21	C 8 8 9-X-2.00 Y=2.35 Z=37.216
1398	1398	D	a	0.05	C 8 8 9-X-3.93 Y=1.86 Z=37.270	1448	1448	D	a	0.02	C 8 8 9-X-2.24 Y=2.87 Z=37.219	1497	1497	E	a	66.80	C 8 8 9-X-1.81 Y=0.74 Z=37.189
1399	1399	C	a	0.36	C 8 8 9-X-0.86 Y=2.83 Z=37.271	1449	1449	D	a	0.03	C 8 8 9-X-2.24 Y=2.87 Z=37.219	1498	1498	C	a	0.16	C 8 8 9-X-1.69 Y=1.83 Z=37.233
1400	1400	C	a	0.46	C 8 8 9-X-2.81 Y=1.82 Z=37.252	1450	1450	C	a	0.18	C 8 8 9-X-2.03 Y=2.21 Z=37.208	1499	1499	C	a	1.00	C 8 8 9-X-2.20 Y=1.66 Z=37.192

序号	符号	材料	石质	重量	出土位置	序号	符号	材料	石质	重量	出土位置	序号	符号	材料	石质	重量	出土位置
1501	1501	C	a	0.42	$C8\beta8-X-2.68$ $Y=0.43$ $Z=37.182$	1553	1551	C	a	3.56	$C8\beta8-X-0.41$ $Y=0.49$ $Z=37.266$	1601	1601	C	a	0.59	$C8\beta8-X-0.07$ $Y=0.46$ $Z=37.214$
1502	1502	C	a	1.56	$D8a6-X-0.16$ $Y=2.22$ $Z=37.192$	1552	1552	C	a	0.96	$C8\beta8-X-0.47$ $Y=0.83$ $Z=37.256$	-	-	-	-	-	-
1503	1503	C	a	0.76	$C8\beta8-X-0.48$ $Y=0.45$ $Z=37.153$	1554	1554	C	b	0.83	$C8\beta8-X-0.52$ $Y=0.49$ $Z=37.205$	1603	1603	C	a	16.50	$C8\beta8-X-3.82$ $Y=1.71$ $Z=37.497$
1504	1504	C	a	2.70	$C8\beta8-X-2.48$ $Y=2.45$ $Z=37.115$	1555	1555	C	a	7.36	$C8\beta8-X-0.68$ $Y=2.47$ $Z=37.252$	1604	1604	C	a	0.22	$C8\beta8-X-3.85$ $Y=2.19$ $Z=37.396$
1505	1505	D	a	1.12	$C8\beta8-X-0.45$ $Y=2.82$ $Z=37.222$	1556	1556	C	a	0.98	$C8\beta8-X-0.47$ $Y=2.27$ $Z=37.220$	1605	1605	D	a	0.20	$C8\beta8-X-0.54$ $Y=1.93$ $Z=37.220$
1506	1506	C	a	0.45	$C8\beta8-X-2.51$ $Y=2.48$ $Z=37.208$	1556	1556	C	a	0.13	$C8\beta8-X-0.52$ $Y=1.88$ $Z=37.214$	1606	1606	C	j	0.10	$C8\beta8-X-0.59$ $Y=1.88$ $Z=37.205$
1507	1507	C	a	5.30	$C8\beta8-X-2.85$ $Y=3.97$ $Z=37.210$	1557	1557	C	a	1.41	$C8\beta8-X-0.49$ $Y=1.93$ $Z=37.238$	1607	1607	C	a	0.66	$C8\beta8-X-0.54$ $Y=2.72$ $Z=37.195$
1508	1508	C	a	0.10	$C8\beta8-X-3.96$ $Y=2.91$ $Z=37.222$	-	-	-	-	-	-	1608	1608	C	a	0.07	$C8\beta8-X-0.65$ $Y=2.82$ $Z=37.220$
1509	1509	C	a	0.32	$C8\beta8-X-0.68$ $Y=3.03$ $Z=37.237$	1559	1559	C	a	0.23	$C8\beta8-X-0.20$ $Y=1.96$ $Z=37.218$	-	-	-	-	-	-
1510	1510	C	a	0.21	$C8\beta8-X-0.21$ $Y=3.85$ $Z=37.238$	1560	1560	C	a	0.04	$C8\beta8-X-0.52$ $Y=1.89$ $Z=37.214$	1610	1610	C	a	0.11	$C8\beta8-X-0.26$ $Y=1.83$ $Z=37.236$
1511	1511	C	a	0.90	$C8\beta8-X-0.70$ $Y=3.06$ $Z=37.307$	1561	1561	C	a	0.52	$C8\beta8-X-0.92$ $Y=3.47$ $Z=36.993$	-	-	-	-	-	-
1512	1512	C	a	3.90	$C8\beta8-X-0.43$ $Y=2.92$ $Z=37.232$	1562	1562	C	a	3.72	$C8\beta8-X-1.32$ $Y=3.17$ $Z=37.182$	1612	1612	C	a	0.99	$C8\beta8-X-0.23$ $Y=1.20$ $Z=37.212$
1513	1513	C	a	0.19	$C8\beta8-X-0.52$ $Y=2.90$ $Z=37.283$	1563	1563	D	a	0.68	$C8\beta8-X-3.32$ $Y=3.90$ $Z=37.240$	1613	1613	C	a	0.66	$C8\beta8-X-1.52$ $Y=2.50$ $Z=37.192$
1514	1514	C	a	0.41	$C8\beta8-X-0.20$ $Y=3.75$ $Z=37.182$	1564	1564	D	a	0.99	$C8\beta8-X-2.49$ $Y=2.75$ $Z=37.190$	1614	1614	C	a	4.20	$C8\beta8-X-2.38$ $Y=2.30$ $Z=37.172$
1515	1515	C	a	0.66	$C8\beta8-X-0.20$ $Y=3.56$ $Z=37.186$	1565	1565	C	a	0.88	$C8\beta8-X-2.39$ $Y=2.55$ $Z=37.171$	1615	1615	C	a	0.03	$C8\beta8-X-1.85$ $Y=2.16$ $Z=37.171$
1516	1516	C	a	0.23	$C8\beta8-X-0.41$ $Y=3.56$ $Z=37.229$	1566	1566	C	a	0.19	$C8\beta8-X-2.41$ $Y=2.56$ $Z=37.166$	1616	1616	C	a	1.31	$C8\beta8-X-0.54$ $Y=1.66$ $Z=37.165$
1517	1517	C	a	0.18	$C8\beta8-X-0.52$ $Y=3.56$ $Z=37.186$	1567	1567	C	a	1.23	$C8\beta8-X-2.14$ $Y=2.40$ $Z=37.173$	1617	1617	C	a	0.28	$C8\beta8-X-2.38$ $Y=2.16$ $Z=37.171$
1518	1518	D	a	0.65	$C8\beta8-X-0.55$ $Y=2.32$ $Z=37.231$	1568	1568	C	a	0.26	$C8\beta8-X-1.98$ $Y=2.69$ $Z=37.183$	1618	1618	C	a	0.02	$C8\beta8-X-1.80$ $Y=1.51$ $Z=37.183$
1519	1519	C	a	0.06	$C8\beta8-X-0.47$ $Y=2.29$ $Z=37.250$	1569	1569	A	a	27.10	$C8\beta8-X-1.81$ $Y=2.96$ $Z=37.170$	1619	1619	C	a	0.12	$C8\beta8-X-2.11$ $Y=1.88$ $Z=37.205$
1520	1520	C	a	0.16	$C8\beta8-X-0.41$ $Y=2.15$ $Z=37.238$	-	-	-	-	-	-	1620	1620	D	a	0.06	$C8\beta8-X-2.14$ $Y=1.16$ $Z=37.181$
1521	1521	C	a	0.14	$C8\beta8-X-0.58$ $Y=2.71$ $Z=37.237$	1571	1571	C	a	0.49	$C8\beta8-X-1.70$ $Y=2.81$ $Z=37.168$	1621	1621	C	a	0.96	$C8\beta8-X-2.24$ $Y=1.65$ $Z=37.184$
1522	1522	C	a	0.32	$C8\beta8-X-0.33$ $Y=2.71$ $Z=37.242$	1572	1572	C	a	1.42	$C8\beta8-X-1.52$ $Y=2.72$ $Z=37.182$	1622	1622	C	a	1.20	$C8\beta8-X-2.21$ $Y=1.91$ $Z=37.184$
1523	1523	C	a	0.31	$C8\beta8-X-0.25$ $Y=2.23$ $Z=37.212$	1573	1573	C	a	0.14	$C8\beta8-X-1.53$ $Y=2.33$ $Z=37.176$	1623	1623	C	b	0.99	$C8\beta8-X-2.76$ $Y=1.13$ $Z=37.179$
1524	1524	C	a	11.20	$C8\beta8-X-0.07$ $Y=2.11$ $Z=37.237$	1574	1574	C	a	0.13	$C8\beta8-X-1.47$ $Y=2.33$ $Z=37.173$	1624	1624	D	a	0.02	$C8\beta8-X-2.74$ $Y=0.63$ $Z=37.189$
1525	1525	C	a	0.22	$C8\beta8-X-2.91$ $Y=2.14$ $Z=37.237$	1575	1575	D	a	0.07	$C8\beta8-X-1.52$ $Y=2.02$ $Z=37.193$	1625	1625	C	a	0.25	$C8\beta8-X-2.30$ $Y=2.06$ $Z=37.186$
1526	1526	C	a	0.62	$C8\beta8-X-0.09$ $Y=2.00$ $Z=37.223$	1576	1576	C	a	0.07	$C8\beta8-X-1.48$ $Y=2.06$ $Z=37.212$	1626	1626	C	a	1.84	$C8\beta8-X-1.50$ $Y=2.03$ $Z=37.151$
1527	1527	D	a	0.03	$C8\beta8-X-0.15$ $Y=1.96$ $Z=37.245$	1577	1577	C	a	0.12	$C8\beta8-X-1.72$ $Y=2.01$ $Z=37.209$	1627	1627	C	a	0.03	$C8\beta8-X-0.39$ $Y=1.29$ $Z=37.220$
1528	1528	C	a	0.25	$C8\beta8-X-0.59$ $Y=2.03$ $Z=37.193$	1578	1578	C	a	0.07	$C8\beta8-X-1.91$ $Y=1.78$ $Z=37.191$	1628	1628	C	j	0.88	$C8\beta8-X-2.21$ $Y=1.88$ $Z=37.223$
1529	1529	C	a	0.16	$C8\beta8-X-0.66$ $Y=2.07$ $Z=37.205$	1579	1579	C	a	1.02	$C8\beta8-X-2.28$ $Y=1.66$ $Z=37.183$	1629	1629	C	a	0.22	$C8\beta8-X-0.38$ $Y=1.53$ $Z=37.216$
1530	1530	C	a	1.72	$C8\beta8-X-0.53$ $Y=1.95$ $Z=37.255$	1580	1580	C	a	0.16	$C8\beta8-X-2.28$ $Y=1.63$ $Z=37.174$	1630	1630	D	a	0.94	$C8\beta8-X-0.82$ $Y=1.62$ $Z=37.215$
1531	1531	D	a	0.08	$C8\beta8-X-0.24$ $Y=1.93$ $Z=37.262$	1581	1581	C	a	0.98	$C8\beta8-X-2.98$ $Y=1.93$ $Z=37.189$	1631	1631	C	a	0.57	$C8\beta8-X-0.86$ $Y=1.72$ $Z=37.206$
1532	1532	C	a	0.31	$C8\beta8-X-0.96$ $Y=1.86$ $Z=37.232$	1582	1582	D	a	15.16	$C8\beta8-X-3.56$ $Y=2.25$ $Z=37.163$	1632	1632	C	a	0.29	$C8\beta8-X-0.59$ $Y=1.77$ $Z=37.212$
1533	1533	D	a	0.06	$C8\beta8-X-0.63$ $Y=1.77$ $Z=37.269$	1583	1583	C	a	0.41	$C8\beta8-X-2.27$ $Y=1.47$ $Z=37.186$	1633	1633	C	a	18.90	$C8\beta8-X-2.97$ $Y=0.89$ $Z=37.171$
1534	1534	C	a	0.24	$C8\beta8-X-0.55$ $Y=1.71$ $Z=37.236$	1584	1584	D	a	0.04	$C8\beta8-X-1.52$ $Y=1.47$ $Z=37.189$	1634	1634	C	a	1.98	$C8\beta8-X-5.89$ $Y=0.80$ $Z=37.066$
1535	1535	C	a	5.15	$C8\beta8-X-0.37$ $Y=1.60$ $Z=37.255$	1585	1585	C	a	0.57	$C8\beta8-X-1.41$ $Y=1.20$ $Z=37.186$	1635	1635	C	a	0.29	$C8\beta8-X-2.10$ $Y=0.89$ $Z=37.169$
-	-	-	-	-	-	1586	1586	C	a	0.22	$C8\beta8-X-2.62$ $Y=2.96$ $Z=37.176$	1636	1636	C	a	0.13	$C8\beta8-X-2.07$ $Y=0.16$ $Z=37.163$
1537	1537	C	a	0.83	$C8\beta8-X-0.40$ $Y=1.62$ $Z=37.265$	1587	1587	C	a	0.67	$C8\beta8-X-1.96$ $Y=1.98$ $Z=37.186$	1637	1637	C	a	0.15	$C8\beta8-X-0.82$ $Y=1.85$ $Z=37.061$
1538	1538	C	a	0.24	$C8\beta8-X-0.66$ $Y=1.63$ $Z=37.244$	1588	1588	C	a	0.12	$C8\beta8-X-2.05$ $Y=1.35$ $Z=37.180$	1638	1638	C	a	0.12	$C8\beta8-X-1.80$ $Y=2.93$ $Z=37.061$
1539	1539	C	a	1.96	$C8\beta8-X-0.69$ $Y=1.59$ $Z=37.239$	1589	1589	D	a	0.03	$C8\beta8-X-2.13$ $Y=2.25$ $Z=37.172$	1639	1639	C	a	0.20	$C8\beta8-X-0.82$ $Y=1.49$ $Z=37.301$
1540	1540	C	a	1.00	$C8\beta8-X-0.36$ $Y=1.55$ $Z=37.212$	1590	1590	C	a	0.64	$C8\beta8-X-0.33$ $Y=1.75$ $Z=37.229$	1640	1640	C	a	0.31	$C8\beta8-X-0.75$ $Y=0.99$ $Z=37.216$
1541	1541	C	a	0.39	$C8\beta8-X-0.43$ $Y=1.54$ $Z=37.353$	1591	1591	D	a	0.08	$C8\beta8-X-0.32$ $Y=1.36$ $Z=37.247$	1641	1641	C	a	0.29	$C8\beta8-X-0.82$ $Y=0.36$ $Z=37.256$
1542	1542	C	a	0.80	$C8\beta8-X-0.33$ $Y=1.53$ $Z=37.312$	1592	1592	C	b	0.13	$C8\beta8-X-0.56$ $Y=1.50$ $Z=37.253$	1642	1642	C	a	0.09	$C8\beta8-X-0.89$ $Y=0.99$ $Z=37.224$
1543	1543	D	a	0.00	$C8\beta8-X-0.46$ $Y=1.35$ $Z=37.271$	1593	1593	C	a	1.23	$C8\beta8-X-0.50$ $Y=1.37$ $Z=37.261$	1643	1643	C	a	0.11	$C8\beta8-X-0.74$ $Y=0.99$ $Z=37.222$
1544	1544	E	a	88.30	$C8\beta8-X-0.49$ $Y=1.35$ $Z=37.234$	1594	1594	C	a	0.93	$C8\beta8-X-0.32$ $Y=1.40$ $Z=37.249$	1644	1644	C	a	62.90	$C8\beta8-X-1.27$ $Y=0.99$ $Z=37.171$
1545	1545	F	a	18.20	$C8\beta8-X-0.58$ $Y=1.55$ $Z=37.274$	1595	1595	C	a	0.10	$C8\beta8-X-0.43$ $Y=1.56$ $Z=37.311$	1645	1645	C	a	1.98	$C8\beta8-X-0.75$ $Y=1.86$ $Z=37.117$
1546	1546	C	a	7.60	$C8\beta8-X-0.16$ $Y=1.36$ $Z=37.232$	1596	1596	D	a	0.98	$C8\beta8-X-0.98$ $Y=1.52$ $Z=37.302$						

序号	拟套号	拟稿	石质	重量	出土位置	序号	拟套号	拟稿	石质	重量	出土位置	序号	拟套号	拟稿	石质	重量	出土位置	
1651	1651	C	a	0.31	C 8 19-X-0.37 Y=1.33 Z=32.143	1701	1701	C	a	0.06	C 8 19-X-0.181 Y=0.38 Z=32.355	1751	1751	C	a	0.19	C 8 19-X-0.137 Y=2.05 Z=32.163	
1652	1652	C	a	0.36	C 8 19-X-0.230 Y=2.52 Z=32.213	1702	1702	C	a	0.93	C 8 19-X-0.195 Y=3.38 Z=32.363	1752	1752	C	a	0.81	C 8 19-X-0.189 Y=2.05 Z=32.139	
1653	1653	D	a	0.08	C 8 19-X-0.21 Y=2.41 Z=32.223	1703	1703	D	a	0.01	C 8 19-X-0.198 Y=3.82 Z=32.355	1753	1753	C	a	4.20	C 8 19-X-0.26 Y=1.98 Z=32.127	
1654	1654	C	a	0.17	C 8 19-X-0.313 Y=2.86 Z=32.219	1704	1704	C	a	0.85	C 8 19-X-0.211 Y=3.90 Z=32.360	1754	1754	D	a	0.03	C 8 19-X-0.245 Y=2.48 Z=32.136	
1655	1655	C	a	0.12	C 8 19-X-0.32 Y=2.31 Z=32.194	1705	1705	D	a	0.05	C 8 19-X-0.209 Y=0.90 Z=32.292	1755	1755	D	a	0.02	C 8 19-X-0.218 Y=2.51 Z=32.132	
1656	1656	C	a	0.44	C 8 19-X-0.339 Y=1.53 Z=32.208	1706	1706	D	a	0.07	C 8 19-X-0.225 Y=0.36 Z=32.305	1756	1756	C	a	0.12	C 8 19-X-0.235 Y=2.03 Z=32.141	
1657	1657	C	a	0.61	C 8 19-X-0.339 Y=1.56 Z=32.197	1707	1707	C	a	0.28	C 8 19-X-0.225 Y=3.94 Z=32.352	1757	1757	C	a	0.29	C 8 19-X-0.248 Y=2.52 Z=32.171	
1658	1658	C	a	12.00	C 8 19-X-0.331 Y=1.28 Z=32.212	1708	1708	D	a	0.05	C 8 19-X-0.231 Y=0.38 Z=32.313							
1659	1659	C	a	8.10	C 8 19-X-0.339 Y=1.50 Z=32.194	1709	1709	C	a	0.20	C 8 19-X-0.236 Y=3.45 Z=32.325	1759	1759	C	a	0.11	C 8 19-X-0.232 Y=3.28 Z=32.110	
1660	1660	C	a	3.00	C 8 19-X-0.332 Y=1.33 Z=32.219	1710	1710	C	a	0.11	C 8 19-X-0.251 Y=3.71 Z=32.300	1760	1760	D	a	0.08	C 8 19-X-0.235 Y=0.61 Z=32.141	
1661	1661	C	a	0.63	C 8 19-X-0.327 Y=2.45 Z=32.223	1711	1711	C	a	1.68	C 8 19-X-0.236 Y=3.38 Z=32.304	1761	1761	D	a	0.02	C 8 19-X-0.238 Y=1.60 Z=32.134	
1662	1662	C	a	0.15	C 8 19-X-0.327 Y=2.45 Z=32.223	1712	1712	C	a	0.11	C 8 19-X-0.236 Y=3.99 Z=32.327	1762	1762	D	a	0.04	C 8 19-X-0.241 Y=1.51 Z=32.128	
1663	1663	C	a	0.19	C 8 19-X-0.329 Y=2.45 Z=32.180	1713	1713	C	a	0.66	C 8 19-X-0.240 Y=3.77 Z=32.265	1763	1763	C	a	1.22	C 8 19-X-0.245 Y=1.16 Z=32.160	
1664	1664	C	a	0.16	C 8 19-X-0.321 Y=2.85 Z=32.178	1714	1714	B	a	0.20	C 8 19-X-0.242 Y=3.89 Z=32.312	1764	1764	D	a	0.02	C 8 19-X-0.247 Y=1.01 Z=32.155	
1665	1665	D	a	0.03	C 8 19-X-0.321 Y=2.85 Z=32.178	1715	1715	C	a	0.78	C 8 19-X-0.244 Y=3.92 Z=32.309	1765	1765	C	a	0.29	C 8 19-X-0.246 Y=0.43 Z=32.152	
1666	1666	D	a	0.03	C 8 19-X-0.325 Y=2.23 Z=32.166	1716	1716	C	a	0.85	C 8 19-X-0.246 Y=3.26 Z=32.324	1766	1766	D	a	0.05	C 8 19-X-0.249 Y=1.22 Z=32.179	
1667	1667	D	a	0.04	C 8 19-X-0.321 Y=2.85 Z=32.178	1717	1717	C	a	0.17	C 8 19-X-0.248 Y=3.92 Z=32.309	1767	1767	C	a	1.68	C 8 19-X-0.252 Y=0.43 Z=32.172	
1668	1668	D	a	0.09	C 8 19-X-0.325 Y=2.48 Z=32.163	1718	1718	C	a	0.20	C 8 19-X-0.247 Y=3.70 Z=32.308	1768	1768	C	a	1.34	C 8 19-X-0.253 Y=1.16 Z=32.137	
1669	1669	C	a	8.00	C 8 19-X-0.327 Y=1.52 Z=32.141	1719	1719	C	a	4.62	C 8 19-X-0.241 Y=3.90 Z=32.308	1769	1769	C	a	0.27	C 8 19-X-0.254 Y=0.61 Z=32.183	
1670	1670	C	a	1.40	C 8 19-X-0.327 Y=2.87 Z=32.223	1720	1720	C	a	0.45	C 8 19-X-0.243 Y=3.40 Z=32.219	1770	1770	C	a	0.49	C 8 19-X-0.258 Y=0.53 Z=32.171	
1671	1671	C	a	1.56	C 8 19-X-0.327 Y=2.87 Z=32.223	1721	1721	C	a	0.12	C 8 19-X-0.245 Y=3.77 Z=32.220	1771	1771	C	a	0.33	C 8 19-X-0.261 Y=1.43 Z=32.174	
1672	1672	C	a	0.30	C 8 19-X-0.329 Y=2.87 Z=32.429	1722	1722	C	a	0.29	C 8 19-X-0.249 Y=0.40 Z=32.282	1772	1772	D	a	0.05	C 8 19-X-0.264 Y=0.61 Z=32.196	
1673	1673	D	a	0.01	C 8 19-X-0.329 Y=2.08 Z=32.412	1723	1723	C	a	0.49	C 8 19-X-0.257 Y=3.85 Z=32.326	1773	1773	C	a	0.64	C 8 19-X-0.268 Y=1.70 Z=32.187	
1674	1674	D	a	0.02	C 8 19-X-0.329 Y=2.08 Z=32.412	1724	1724	C	a	0.08	C 8 19-X-0.256 Y=3.91 Z=32.325	1774	1774	C	a	0.08	C 8 19-X-0.271 Y=1.87 Z=32.179	
1675	1675	D	a	0.18	C 8 19-X-0.335 Y=1.28 Z=32.544	1725	1725	C	a	0.04	C 8 19-X-0.255 Y=3.94 Z=32.324	1775	1775	C	a	1.52	C 8 19-X-0.272 Y=1.87 Z=32.177	
1676	1676	C	a	1.34	C 8 19-X-0.335 Y=0.86 Z=32.452	1726	1726	C	a	1.44	C 8 19-X-0.254 Y=3.92 Z=32.320	1776	1776	C	a	3.02	C 8 19-X-0.275 Y=0.43 Z=32.123	
1677	1677	D	a	0.00	C 8 19-X-0.340 Y=0.85 Z=32.411	1727	1727	C	a	0.24	C 8 19-X-0.253 Y=3.95 Z=32.323	1777	1777	D	a	0.28	C 8 19-X-0.282 Y=3.72 Z=32.211	
1678	1678	C	a	0.41	C 8 19-X-0.340 Y=0.32 Z=32.435													
1679	1679	C	a	0.29	C 8 17-X-0.29 Y=3.91 Z=32.384	1729	1729	C	a	0.41	C 8 19-X-0.268 Y=3.42 Z=32.297	1779	1779	C	a	2.18	C 8 17-X-0.271 Y=3.71 Z=32.234	
1680	1680	C	a	0.68	C 8 19-X-0.349 Y=0.18 Z=32.419	1730	1730	C	a	0.89	C 8 19-X-0.269 Y=3.87 Z=32.292	1780	1780	C	a	0.15	C 8 17-X-0.274 Y=3.76 Z=32.210	
1681	1681	C	a	0.04	C 8 19-X-0.246 Y=0.83 Z=32.223	1731	1731	C	a	1.18	C 8 19-X-0.271 Y=3.77 Z=32.297	1781	1781	C	a	0.52	C 8 19-X-0.280 Y=3.78 Z=32.289	
1682	1682	C	a	0.20	C 8 19-X-0.246 Y=0.83 Z=32.223	1732	1732	C	a	1.28	C 8 19-X-0.272 Y=3.15 Z=32.311	1782	1782	C	a	11.20	C 8 19-X-0.283 Y=3.78 Z=32.276	
1683	1683	C	a	0.30	C 8 19-X-0.241 Y=0.71 Z=32.235	1733	1733	C	a	0.25	C 8 19-X-0.276 Y=3.97 Z=32.309	1783	1783	C	a	0.26	C 8 19-X-0.284 Y=3.80 Z=32.225	
1684	1684	C	a	1.14	C 8 19-X-0.250 Y=0.88 Z=32.353	1734	1734	C	a	0.40	C 8 19-X-0.276 Y=3.94 Z=32.309	1784	1784	C	a	0.23	C 8 19-X-0.285 Y=3.28 Z=32.240	
1685	1685	C	a	0.58	C 8 19-X-0.250 Y=0.88 Z=32.353	1735	1735	C	a	2.00	C 8 19-X-0.277 Y=3.12 Z=32.311	1785	1785	C	a	22.20	C 8 19-X-0.287 Y=3.78 Z=32.193	
1686	1686	C	a	0.23	C 8 19-X-0.27 Y=3.28 Z=32.307	1736	1736	C	a	0.50	C 8 19-X-0.276 Y=2.86 Z=32.155	1786	1786	A	118.00	C 8 19-X-0.288 Y=3.77 Z=32.226		
1687	1687	C	a	0.18	C 8 19-X-0.27 Y=3.23 Z=32.300	1737	1737	C	a	0.36	C 8 19-X-0.276 Y=2.86 Z=32.155	1787	1787	C	a	1.34	C 8 19-X-0.289 Y=3.93 Z=32.188	
1688	1688	C	a	0.29	C 8 19-X-0.27 Y=3.23 Z=32.300	1738	1738	C	a	0.55	C 8 19-X-0.277 Y=2.81 Z=32.158	1788	1788	C	a	0.23	C 8 19-X-0.290 Y=3.90 Z=32.197	
1689	1689	C	a	1.78	C 8 19-X-0.27 Y=3.23 Z=32.300	1739	1739	D	a	0.33	C 8 19-X-0.279 Y=2.53 Z=32.313	1789	1789	C	a	0.21	C 8 19-X-0.291 Y=3.97 Z=32.279	
1690	1690	C	a	0.56	C 8 19-X-0.27 Y=3.45 Z=32.203	1740	1740	C	a	3.74	C 8 19-X-0.279 Y=3.98 Z=32.305	1790	1790	C	a	4.00	C 8 19-X-0.292 Y=3.80 Z=32.272	
1691	1691	C	a	0.45	C 8 19-X-0.27 Y=3.45 Z=32.203	1741	1741	C	a	0.55	C 8 19-X-0.279 Y=3.98 Z=32.312	1791	1791	C	a	1.00	C 8 19-X-0.293 Y=3.80 Z=32.294	
1692	1692	C	a	0.69	C 8 19-X-0.27 Y=3.71 Z=32.215	1742	1742	C	a	0.15	C 8 19-X-0.278 Y=3.97 Z=32.311	1792	1792	D	a	0.12	C 8 19-X-0.294 Y=3.78 Z=32.201	
1693	1693	D	a	0.00	C 8 19-X-0.27 Y=3.71 Z=32.215	1743	1743	D	a	0.04	C 8 19-X-0.278 Y=2.73 Z=32.307	1793	1793	C	a	0.20	C 8 19-X-0.295 Y=3.74 Z=32.272	
1694	1694	D	a	0.10	C 8 19-X-0.27 Y=3.71 Z=32.215	1744	1744	C	a	0.11	C 8 19-X-0.279 Y=3.98 Z=32.307	1794	1794	C	a	1.91	C 8 19-X-0.296 Y=3.82 Z=32.277	
1695	1695	C	a	0.09	C 8 19-X-0.27 Y=3.86 Z=32.324	1745	1745	D	a	0.03	C 8 19-X-0.279 Y=2.85 Z=32.155	1795	1795	C	a	0.04	C 8 19-X-0.297 Y=3.68 Z=32.253	
1696	1696	C	a	5.25	C 8 19-X-0.27 Y=3.86 Z=32.324	1746	1746	C	a	1.00	C 8 19-X-0.279 Y=2.36 Z=32.301	1796	1796	C	a	0.61	C 8 19-X-0.298 Y=3.81 Z=32.202	
1697	1697	C	a	0.29	C 8 19-X-0.27 Y=3.86 Z=32.324													
1698	1698	C	a	0.93	C 8 19-X-0.27 Y=3.71 Z=32.308	1748	1748	C	a	0.25	C 8 19-X-0.279 Y=2.33 Z=32.182	1798	1798	C	a	4.82	C 8 19-X-0.299 Y=0.61 Z=32.189	
1699	1699	C	a	1.12	C 8 19-X-0.27 Y=3.87 Z=32.288	1749	1749	C	a	0.74	C 8 19-X-0.279 Y=2.33 Z=32.182	1799	1799	C	a	0.10	C 8 19-X-0.300 Y=3.82 Z=32.232	
1700	1700	D	a	0.02	C 8 19-X-0.27 Y=3.70 Z=32.334	1750	1750	C	a	0.20	C 8 19-X-0.279 Y=2.18 Z=32.280	1800	1800	C	a	1.22	C 8 19-X-0.301 Y=3.70 Z=32.276	

番号	符号	図形	石質	重量	出土位置	番号	符号	図形	石質	重量	出土位置	番号	符号	図形	石質	重量	出土位置
1801	1801	C	a	0.35	$C 8 \beta - X - 2, 13$ $Y = 2, 23$ $Z = 27, 231$	1851	1851	C	a	0.05	$C 8 \beta - X - 0, 71$ $Y = 2, 21$ $Z = 27, 372$	1901	1901	C	a	16.00	$C 8 \beta - X - 0, 78$ $Y = 1, 20$ $Z = 27, 269$
1802	1802	C	a	0.61	$C 8 \beta - X - 2, 13$ $Y = 3, 65$ $Z = 27, 327$	1852	1852	C	a	4.62	$C 8 \beta - X - 0, 92$ $Y = 2, 26$ $Z = 27, 373$	1902	1902	D	a	0.16	$C 8 \beta - X - 0, 75$ $Y = 1, 62$ $Z = 27, 261$
1803	1803	C	a	0.34	$C 8 \beta - X - 0, 99$ $Y = 2, 27$ $Z = 27, 326$	1853	1853	C	a	3.22	$C 8 \beta - X - 0, 68$ $Y = 2, 25$ $Z = 27, 264$	1903	1903	B	a	186.30	$C 8 \beta - X - 0, 73$ $Y = 1, 20$ $Z = 27, 261$
1904	1904	D	a	0.02	$C 8 \beta - X - 2, 16$ $Y = 2, 93$ $Z = 27, 330$	1854	1854	D	a	0.02	$C 8 \beta - X - 0, 78$ $Y = 2, 28$ $Z = 27, 374$	1904	1904	B	a	41.20	$C 8 \beta - X - 0, 85$ $Y = 1, 63$ $Z = 27, 267$
1805	1805	C	a	0.04	$C 8 \beta - X - 2, 14$ $Y = 3, 93$ $Z = 27, 326$	1855	1855	C	a	1.36	$C 8 \beta - X - 0, 75$ $Y = 2, 24$ $Z = 27, 374$	1905	1905	C	a	0.48	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 1, 63$ $Z = 27, 269$
1906	1906	D	a	0.08	$C 8 \beta - X - 2, 49$ $Y = 3, 94$ $Z = 27, 311$	1856	1856	C	a	16.00	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 2, 28$ $Z = 27, 418$	1906	1906	B	a	33.20	$C 8 \beta - X - 0, 96$ $Y = 1, 20$ $Z = 27, 265$
1807	1807	C	a	0.16	$C 8 \beta - X - 2, 49$ $Y = 3, 96$ $Z = 27, 357$	1857	1857	C	a	0.17	$C 8 \beta - X - 0, 82$ $Y = 2, 24$ $Z = 27, 371$	1907	1907	D	a	0.18	$C 8 \beta - X - 0, 82$ $Y = 1, 71$ $Z = 27, 323$
1808	1808	C	a	0.37	$C 8 \beta - X - 2, 42$ $Y = 3, 78$ $Z = 27, 324$	1858	1858	C	a	0.03	$C 8 \beta - X - 0, 89$ $Y = 2, 16$ $Z = 27, 418$	1908	1908	B	a	88.20	$C 8 \beta - X - 1, 03$ $Y = 0, 67$ $Z = 27, 325$
1809	1809	C	a	2.00	$C 8 \beta - X - 2, 46$ $Y = 3, 76$ $Z = 27, 313$	1859	1859	C	a	0.87	$C 8 \beta - X - 0, 94$ $Y = 2, 16$ $Z = 27, 286$	1909	1909	D	a	0.01	$C 8 \beta - X - 1, 06$ $Y = 1, 55$ $Z = 27, 311$
1810	1810	C	a	2.52	$C 8 \beta - X - 2, 40$ $Y = 3, 79$ $Z = 27, 343$	1860	1860	C	a	10.60	$C 8 \beta - X - 0, 92$ $Y = 2, 05$ $Z = 27, 377$	1910	1910	B	a	116.00	$C 8 \beta - X - 1, 02$ $Y = 1, 08$ $Z = 27, 264$
1811	1811	D	a	0.04	$C 8 \beta - X - 2, 91$ $Y = 3, 98$ $Z = 27, 316$	1861	1861	C	a	0.43	$C 8 \beta - X - 0, 83$ $Y = 2, 04$ $Z = 27, 417$	1911	1911	C	a	0.16	$C 8 \beta - X - 0, 97$ $Y = 0, 52$ $Z = 27, 416$
1812	1812	C	a	0.37	$C 8 \beta - X - 2, 91$ $Y = 3, 92$ $Z = 27, 326$	1862	1862	C	a	0.43	$C 8 \beta - X - 0, 93$ $Y = 2, 05$ $Z = 27, 413$	1912	1912	C	a	0.30	$C 8 \beta - X - 0, 85$ $Y = 1, 47$ $Z = 27, 375$
1813	1813	D	a	0.03	$C 8 \beta - X - 3, 04$ $Y = 3, 95$ $Z = 27, 349$	1863	1863	G	a	3.14	$C 8 \beta - X - 0, 82$ $Y = 2, 08$ $Z = 27, 357$	1913	1913	C	a	0.21	$C 8 \beta - X - 0, 86$ $Y = 0, 51$ $Z = 27, 277$
1814	1814	D	a	0.01	$C 8 \beta - X - 3, 04$ $Y = 3, 77$ $Z = 27, 365$	1864	1864	C	a	1.28	$C 8 \beta - X - 0, 86$ $Y = 2, 07$ $Z = 27, 411$	1914	1914	C	a	0.29	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 1, 26$ $Z = 27, 386$
1815	1815	C	a	0.04	$C 8 \beta - X - 3, 01$ $Y = 3, 72$ $Z = 27, 369$	1865	1865	C	a	1.98	$C 8 \beta - X - 0, 87$ $Y = 2, 08$ $Z = 27, 413$	-	-	-	-	-	-
1816	1816	C	a	0.18	$C 8 \beta - X - 3, 19$ $Y = 3, 82$ $Z = 27, 349$	1866	1866	D	a	0.01	$C 8 \beta - X - 0, 98$ $Y = 1, 98$ $Z = 27, 420$	1916	1916	D	a	0.01	$C 8 \beta - X - 0, 68$ $Y = 1, 08$ $Z = 27, 306$
1817	1817	C	a	0.03	$C 8 \beta - X - 3, 18$ $Y = 3, 72$ $Z = 27, 385$	1867	1867	G	a	46.70	$C 8 \beta - X - 0, 77$ $Y = 1, 98$ $Z = 27, 255$	1917	1917	C	a	0.17	$C 8 \beta - X - 0, 86$ $Y = 0, 51$ $Z = 27, 277$
1818	1818	C	a	0.85	$C 8 \beta - X - 3, 49$ $Y = 3, 91$ $Z = 27, 264$	1868	1868	C	a	1.60	$C 8 \beta - X - 0, 97$ $Y = 1, 90$ $Z = 27, 283$	1918	1918	C	a	0.17	$C 8 \beta - X - 0, 97$ $Y = 0, 98$ $Z = 27, 396$
1819	1819	C	a	0.28	$C 8 \beta - X - 3, 46$ $Y = 3, 85$ $Z = 27, 280$	1869	1869	C	a	1.08	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 1, 88$ $Z = 27, 421$	1919	1919	C	a	0.32	$C 8 \beta - X - 0, 72$ $Y = 1, 26$ $Z = 27, 417$
1820	1820	C	a	2.14	$C 8 \beta - X - 3, 04$ $Y = 3, 75$ $Z = 27, 420$	1870	1870	C	a	0.03	$C 8 \beta - X - 0, 78$ $Y = 1, 83$ $Z = 27, 414$	1920	1920	C	a	0.36	$C 8 \beta - X - 0, 92$ $Y = 0, 37$ $Z = 27, 367$
1821	1821	C	a	0.07	$C 8 \beta - X - 3, 74$ $Y = 3, 98$ $Z = 27, 366$	1871	1871	C	a	0.18	$C 8 \beta - X - 0, 73$ $Y = 1, 81$ $Z = 27, 416$	1921	1921	C	a	4.91	$C 8 \beta - X - 0, 86$ $Y = 0, 58$ $Z = 27, 306$
1822	1822	C	a	0.46	$C 8 \beta - X - 2, 76$ $Y = 3, 76$ $Z = 27, 366$	1872	1872	C	a	0.73	$C 8 \beta - X - 0, 60$ $Y = 1, 80$ $Z = 27, 286$	1922	1922	C	a	1.66	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 0, 51$ $Z = 27, 311$
1823	1823	C	a	1.30	$C 8 \beta - X - 2, 77$ $Y = 3, 56$ $Z = 27, 044$	1873	1873	C	a	0.31	$C 8 \beta - X - 0, 60$ $Y = 1, 81$ $Z = 27, 191$	1923	1923	C	a	2.75	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 0, 68$ $Z = 27, 408$
1824	1824	C	a	0.12	$C 8 \beta - X - 1, 97$ $Y = 3, 71$ $Z = 27, 366$	1874	1874	C	a	0.21	$C 8 \beta - X - 0, 59$ $Y = 1, 83$ $Z = 27, 184$	1924	1924	C	a	0.18	$C 8 \beta - X - 0, 98$ $Y = 0, 53$ $Z = 27, 311$
1825	1825	C	a	0.25	$C 8 \beta - X - 1, 86$ $Y = 1, 76$ $Z = 27, 046$	1875	1875	C	a	0.80	$C 8 \beta - X - 1, 05$ $Y = 1, 35$ $Z = 27, 268$	1925	1925	C	a	0.21	$C 8 \beta - X - 0, 82$ $Y = 0, 41$ $Z = 27, 376$
1826	1826	C	a	0.94	$C 8 \beta - X - 2, 04$ $Y = 1, 72$ $Z = 27, 313$	1876	1876	C	a	1.81	$C 8 \beta - X - 0, 91$ $Y = 1, 34$ $Z = 27, 387$	1926	1926	C	a	0.54	$C 8 \beta - X - 0, 93$ $Y = 0, 33$ $Z = 27, 396$
1827	1827	C	a	0.58	$C 8 \beta - X - 2, 32$ $Y = 1, 74$ $Z = 27, 136$	1877	1877	C	a	7.08	$C 8 \beta - X - 1, 02$ $Y = 1, 35$ $Z = 27, 356$	1927	1927	C	a	0.14	$C 8 \beta - X - 1, 08$ $Y = 1, 51$ $Z = 27, 179$
1828	1828	C	a	0.13	$C 8 \beta - X - 2, 84$ $Y = 3, 68$ $Z = 27, 203$	1878	1878	C	a	0.43	$C 8 \beta - X - 0, 94$ $Y = 1, 36$ $Z = 27, 376$	1928	1928	C	a	0.30	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 1, 26$ $Z = 27, 169$
1829	1829	C	a	0.02	$C 8 \beta - X - 0, 94$ $Y = 3, 65$ $Z = 27, 289$	1879	1879	D	a	0.04	$C 8 \beta - X - 0, 96$ $Y = 1, 25$ $Z = 27, 459$	1929	1929	D	a	0.02	$C 8 \beta - X - 0, 39$ $Y = 1, 24$ $Z = 27, 186$
1830	1830	C	a	8.81	$C 8 \beta - X - 0, 96$ $Y = 3, 40$ $Z = 27, 289$	1880	1880	C	a	5.58	$C 8 \beta - X - 0, 77$ $Y = 1, 14$ $Z = 27, 433$	-	-	-	-	-	-
1831	1831	C	a	0.70	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 3, 37$ $Z = 27, 392$	1881	1881	C	a	0.77	$C 8 \beta - X - 0, 91$ $Y = 3, 06$ $Z = 27, 287$	1931	1931	C	a	0.07	$C 8 \beta - X - 0, 65$ $Y = 1, 12$ $Z = 27, 151$
1832	1832	B	a	68.00	$C 8 \beta - X - 0, 92$ $Y = 3, 28$ $Z = 27, 286$	1882	1882	C	a	6.56	$C 8 \beta - X - 1, 97$ $Y = 3, 06$ $Z = 27, 277$	1932	1932	C	a	1.98	$C 8 \beta - X - 0, 18$ $Y = 0, 80$ $Z = 27, 173$
1833	1833	C	a	0.60	$C 8 \beta - X - 0, 76$ $Y = 3, 17$ $Z = 27, 337$	1883	1883	C	a	0.13	$C 8 \beta - X - 0, 74$ $Y = 2, 88$ $Z = 27, 297$	1933	1933	C	a	0.14	$C 8 \beta - X - 1, 15$ $Y = 3, 26$ $Z = 27, 116$
1834	1834	C	a	0.32	$C 8 \beta - X - 0, 88$ $Y = 3, 14$ $Z = 27, 428$	1884	1884	C	a	3.22	$C 8 \beta - X - 0, 75$ $Y = 2, 83$ $Z = 27, 181$	-	-	-	-	-	-
1835	1835	C	a	0.11	$C 8 \beta - X - 0, 88$ $Y = 3, 11$ $Z = 27, 423$	1885	1885	C	a	0.04	$C 8 \beta - X - 0, 86$ $Y = 2, 82$ $Z = 27, 352$	1935	1935	C	a	0.18	$C 8 \beta - X - 0, 78$ $Y = 3, 79$ $Z = 27, 103$
1836	1836	C	a	0.13	$C 8 \beta - X - 0, 75$ $Y = 3, 10$ $Z = 27, 300$	1886	1886	C	a	0.32	$C 8 \beta - X - 0, 83$ $Y = 2, 52$ $Z = 27, 195$	-	-	-	-	-	-
1837	1837	C	a	0.29	$C 8 \beta - X - 0, 74$ $Y = 3, 01$ $Z = 27, 213$	1887	1887	D	a	0.02	$C 8 \beta - X - 0, 80$ $Y = 2, 47$ $Z = 27, 258$	1937	1937	C	a	0.20	$C 8 \beta - X - 0, 39$ $Y = 3, 81$ $Z = 27, 094$
1838	1838	C	a	4.26	$C 8 \beta - X - 0, 94$ $Y = 2, 96$ $Z = 27, 394$	1888	1888	C	a	0.28	$C 8 \beta - X - 0, 96$ $Y = 2, 45$ $Z = 27, 253$	1938	1938	C	a	1.12	$C 8 \beta - X - 0, 29$ $Y = 3, 82$ $Z = 27, 096$
1839	1839	C	a	1.27	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 2, 92$ $Z = 27, 422$	1889	1889	C	a	0.57	$C 8 \beta - X - 1, 03$ $Y = 2, 51$ $Z = 27, 228$	1939	1939	C	a	0.38	$C 8 \beta - X - 0, 25$ $Y = 0, 96$ $Z = 27, 102$
1840	1840	C	a	2.00	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 2, 88$ $Z = 27, 289$	1890	1890	C	a	1.90	$C 8 \beta - X - 0, 41$ $Y = 2, 23$ $Z = 27, 159$	1940	1940	C	a	0.23	$C 8 \beta - X - 0, 21$ $Y = 3, 81$ $Z = 27, 090$
1841	1841	C	a	0.36	$C 8 \beta - X - 0, 94$ $Y = 2, 83$ $Z = 27, 406$	1891	1891	C	a	0.48	$C 8 \beta - X - 0, 76$ $Y = 2, 28$ $Z = 27, 323$	1941	1941	C	a	2.68	$C 8 \beta - X - 1, 07$ $Y = 3, 64$ $Z = 27, 207$
1842	1842	C	a	0.98	$C 8 \beta - X - 0, 81$ $Y = 2, 78$ $Z = 27, 180$	1892	1892	D	a	0.03	$C 8 \beta - X - 0, 90$ $Y = 2, 26$ $Z = 27, 276$	1942	1942	D	a	0.11	$C 8 \beta - X - 1, 25$ $Y = 3, 81$ $Z = 27, 130$
1843	1843	C	a														

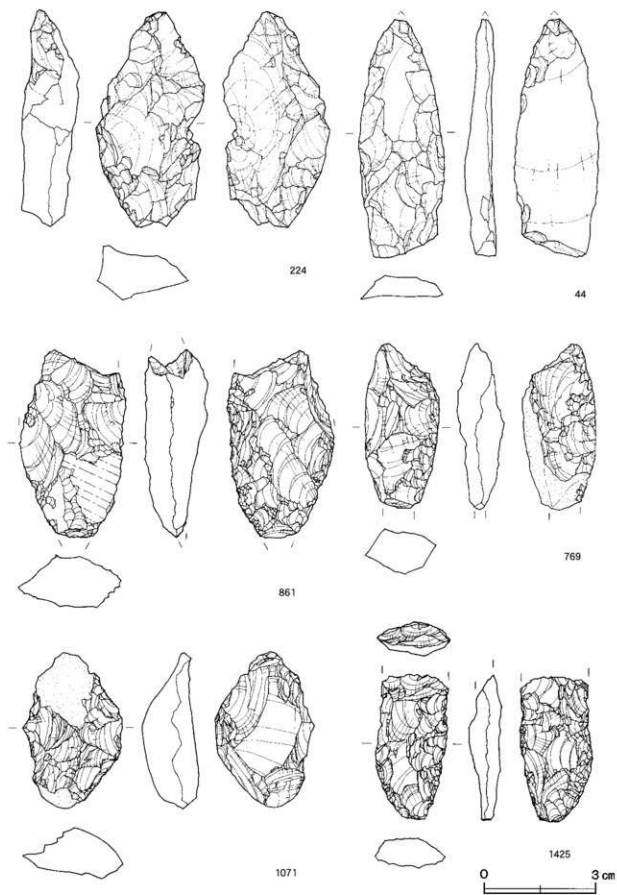
序号	新序号	路幅	石质	重量	出土位置	序号	新序号	路幅	石质	重量	出土位置	序号	新序号	路幅	石质	重量	出土位置	
1501	1501	C	a	0.80	C 8 8-X-1.10 Y=2.43 Z=37.135	-	-	-	-	-	-	2051	2051	C	a	0.16	C 8 8-X-1.19 Y=1.50 Z=37.112	
1502	1502	C	a	0.32	C 8 8-X-1.05 Y=2.00 Z=37.189	2002	2002	C	a	0.23	C 8 8-X-0.85 Y=1.27 Z=37.203	2052	2052	C	a	0.29	C 8 8-X-1.68 Y=2.57 Z=37.102	
1503	1503	C	a	0.16	C 8 8-X-1.10 Y=1.72 Z=37.135	2003	2003	C	a	0.34	C 8 8-X-0.91 Y=1.91 Z=37.202	2053	2053	C	a	0.13	C 8 8-X-1.96 Y=2.62 Z=37.107	
1504	1504	C	a	0.05	C 8 8-X-1.10 Y=1.23 Z=37.135	2004	2004	C	a	0.08	C 8 8-X-1.19 Y=3.98 Z=37.199	2054	2054	C	a	0.43	C 8 8-X-2.25 Y=3.35 Z=37.116	
1505	1505	C	a	0.19	C 8 8-X-1.10 Y=1.24 Z=37.175	2005	2005	C	a	0.01	C 8 8-X-1.10 Y=3.89 Z=37.201	2055	2055	C	a	0.04	C 8 8-X-1.76 Y=2.00 Z=37.185	
1506	1506	C	a	0.11	C 8 8-X-1.10 Y=2.47 Z=37.131	2006	2006	C	a	0.06	C 8 8-X-1.13 Y=1.31 Z=37.227	2056	2056	C	a	0.71	C 8 8-X-1.08 Y=1.28 Z=37.147	
1507	1507	D	a	0.02	C 8 8-X-1.10 Y=2.66 Z=37.151	2007	2007	C	a	0.07	C 8 8-X-1.64 Y=3.83 Z=37.118	2057	2057	D	a	0.01	C 8 8-X-0.23 Y=2.17 Z=37.147	
1508	1508	C	a	0.09	C 8 8-X-2.46 Y=3.85 Z=37.214	2008	2008	C	a	0.24	C 8 8-X-2.01 Y=0.85 Z=37.200	2058	2058	C	a	1.60	C 8 8-X-0.86 Y=1.17 Z=37.168	
1509	1509	E	a	2.82	C 8 8-X-0.84 Y=0.36 Z=37.237	2009	2009	D	a	0.02	C 8 8-X-1.04 Y=2.48 Z=37.129	2059	2059	C	a	0.30	C 8 8-X-0.89 Y=2.18 Z=37.154	
-	-	-	-	-	-	2010	2010	C	a	0.25	C 8 8-X-0.67 Y=1.31 Z=37.227	2060	2060	C	a	0.12	C 8 8-X-0.66 Y=1.97 Z=37.167	
1861	1861	D	a	0.04	C 8 8-X-0.73 Y=0.85 Z=37.247	2011	2011	D	a	0.04	C 8 8-X-0.78 Y=1.39 Z=37.287	2061	2061	D	a	0.04	C 8 8-X-0.96 Y=1.83 Z=37.165	
1862	1862	C	a	0.51	C 8 8-X-1.11 Y=1.17 Z=37.241	2012	2012	C	a	0.08	C 8 8-X-0.30 Y=1.54 Z=37.201	2062	2062	C	a	0.14	C 8 8-X-1.52 Y=1.51 Z=37.157	
1863	1863	C	a	0.57	C 8 8-X-0.67 Y=1.15 Z=37.297	2013	2013	D	a	0.09	C 8 8-X-0.86 Y=1.30 Z=37.283	2063	2063	C	a	0.49	C 8 8-X-0.81 Y=2.40 Z=37.134	
1864	1864	D	a	0.05	C 8 8-X-1.11 Y=0.88 Z=37.232	2014	2014	C	a	0.40	C 8 8-X-0.50 Y=2.31 Z=37.228	2064	2064	C	a	4.14	C 8 8-X-0.27 Y=2.05 Z=37.130	
1905	1905	B	a	25.30	C 8 8-X-1.10 Y=0.85 Z=37.201	2015	2015	C	a	0.18	C 8 8-X-2.43 Y=1.42 Z=37.207	第 2 号石器集中地点出土石器一览表						
1906	1906	C	a	2.76	C 8 8-X-1.17 Y=0.85 Z=37.201	2016	2016	C	a	4.66	C 8 8-X-0.81 Y=1.42 Z=37.275	2065	D 8 8-0	1	a	399.00	D 8 8-X-2.58 Y=0.68 Z=37.101	
1907	1907	I	I	13.70	C 8 8-X-1.11 Y=0.85 Z=37.201	2017	2017	C	a	20.30	C 8 8-X-0.79 Y=1.18 Z=37.204	2066	D 8 8-0	2	I	814.00	D 8 8-X-1.96 Y=0.42 Z=37.008	
1908	1908	I	I	210.00	C 8 8-X-1.11 Y=0.76 Z=37.312	2018	2018	C	a	3.28	C 8 8-X-0.86 Y=1.93 Z=37.322	2067	D 8 8-0	1	h	2050.00	D 8 8-X-1.59 Y=0.71 Z=37.083	
1909	1909	C	a	0.80	C 8 8-X-1.11 Y=0.85 Z=37.201	2019	2019	G	a	2.04	C 8 8-X-0.77 Y=1.18 Z=37.202	2068	D 8 8-0	4	J	179.00	D 8 8-X-1.67 Y=0.42 Z=37.093	
1970	1970	C	a	2.68	C 8 8-X-1.11 Y=0.81 Z=37.278	2020	2020	C	a	9.00	C 8 8-X-0.86 Y=1.99 Z=37.292	2069	D 8 8-0	5	I	973.00	D 8 8-X-1.59 Y=0.84 Z=37.116	
1971	1971	C	a	11.00	C 8 8-X-1.11 Y=0.77 Z=37.278	2021	2021	C	a	1.10	C 8 8-X-0.52 Y=1.30 Z=37.211	2070	D 8 8-0	6	I	492.00	D 8 8-X-1.68 Y=0.88 Z=37.140	
1972	1972	B	a	115.20	C 8 8-X-1.10 Y=0.85 Z=37.201	2022	2022	C	a	0.40	C 8 8-X-0.97 Y=1.10 Z=37.294	2071	D 8 8-0	7	I	97.00	D 8 8-X-1.62 Y=0.42 Z=37.117	
1973	1973	C	a	16.90	C 8 8-X-1.16 Y=0.85 Z=37.316	2023	2023	C	a	0.13	C 8 8-X-0.82 Y=1.94 Z=37.295	2072	D 8 8-0	8	I	17.00	D 8 8-X-1.14 Y=1.16 Z=37.129	
1974	1974	D	a	0.84	C 8 8-X-1.12 Y=0.85 Z=37.216	2024	2024	D	a	0.05	C 8 8-X-0.97 Y=2.13 Z=37.301	2073	D 8 8-0	9	I	38.00	D 8 8-X-1.51 Y=0.42 Z=37.096	
1975	1975	C	a	0.18	C 8 8-X-1.82 Y=1.63 Z=37.310	2025	2025	C	a	0.08	C 8 8-X-0.92 Y=2.41 Z=37.190	2074	D 8 8-0	1	G	4.12	D 8 8-X-1.97 Y=1.39 Z=37.082	
1976	1976	C	a	0.16	C 8 8-X-1.10 Y=0.85 Z=37.160	2026	2026	C	a	0.67	C 8 8-X-0.94 Y=2.85 Z=37.147	2075	D 8 8-0	1	J	1170.00	D 8 8-X-1.70 Y=0.42 Z=37.094	
1977	1977	C	a	16.50	C 8 8-X-1.10 Y=0.73 Z=37.256	2027	2027	C	a	0.23	C 8 8-X-0.94 Y=2.81 Z=37.141	2076	D 8 8-0	1	2	73.70	D 8 8-X-1.79 Y=1.70 Z=37.076	
1978	1978	D	a	0.01	C 8 8-X-1.10 Y=0.85 Z=37.201	2028	2028	C	a	1.54	C 8 8-X-0.91 Y=2.81 Z=37.107	2077	D 8 8-0	1	h	43.10	D 8 8-X-1.68 Y=1.80 Z=37.086	
1979	1979	C	a	0.07	C 8 8-X-0.73 Y=2.16 Z=37.227	2029	2029	F	a	0.85	C 8 8-X-0.70 Y=1.39 Z=37.211	2078	D 8 8-0	1	h	34.20	D 8 8-X-1.41 Y=1.74 Z=37.065	
1980	1980	C	a	0.15	C 8 8-X-0.80 Y=2.31 Z=37.283	2030	2030	C	a	0.35	C 8 8-X-0.70 Y=1.82 Z=37.229	2079	D 8 8-0	1	5	23.50	D 8 8-X-1.23 Y=1.58 Z=37.147	
1981	1981	C	a	0.30	C 8 8-X-0.80 Y=2.38 Z=37.210	2031	2031	C	a	0.50	C 8 8-X-0.80 Y=1.80 Z=37.218	2080	D 8 8-0	1	a	227.00	D 8 8-X-1.18 Y=1.28 Z=37.095	
1982	1982	C	a	1.02	C 8 8-X-0.80 Y=2.30 Z=37.214	2032	2032	C	a	3.50	C 8 8-X-0.51 Y=2.41 Z=37.155	2081	D 8 8-0	1	7	82.90	D 8 8-X-1.02 Y=1.73 Z=37.085	
1983	1983	C	a	0.86	C 8 8-X-0.80 Y=2.30 Z=37.205	2033	2033	C	a	1.17	C 8 8-X-0.72 Y=2.54 Z=37.151	2082	D 8 8-0	1	8	856.00	D 8 8-X-0.88 Y=1.82 Z=37.065	
1984	1984	C	a	1.92	C 8 8-X-0.85 Y=2.23 Z=37.234	-	-	-	-	-	-	2083	D 8 8-0	1	8	313.00	D 8 8-X-0.65 Y=1.83 Z=37.075	
1985	1985	D	a	0.06	C 8 8-X-1.02 Y=2.03 Z=37.180	2035	2035	C	a	0.00	C 8 8-X-0.96 Y=2.54 Z=37.160	2084	D 8 8-0	1	h	16.80	D 8 8-X-0.61 Y=1.81 Z=37.021	
1986	1986	C	a	0.12	C 8 8-X-0.85 Y=2.05 Z=37.214	2036	2036	D	a	0.92	C 8 8-X-0.72 Y=2.54 Z=37.156	2085	D 8 8-0	1	a	6.50	D 8 8-X-2.08 Y=1.89 Z=37.011	
1987	1987	D	a	0.02	C 8 8-X-0.81 Y=2.85 Z=37.211	2037	2037	E	a	2.04	C 8 8-X-0.66 Y=2.81 Z=37.222	2086	D 8 8-0	2	C	1.20	D 8 8-X-2.72 Y=2.72 Z=37.199	
1988	1988	C	a	0.19	C 8 8-X-2.29 Y=2.81 Z=37.092	2038	2038	D	a	0.13	C 8 8-X-0.94 Y=2.87 Z=37.189	第 3 号石器集中地点出土石器一览表						
1989	1989	D	a	0.07	C 8 8-X-2.46 Y=0.81 Z=37.190	2039	2039	D	a	0.03	C 8 8-X-2.17 Y=2.42 Z=37.311	2087	A	1	B	34.80	B 9 41-X-1.81 Y=2.80 Z=37.276	
1990	1990	C	a	0.65	C 8 8-X-0.70 Y=3.80 Z=37.130	2040	2040	C	a	0.04	C 8 8-X-2.27 Y=2.70 Z=37.130	2088	A	2	C	77.30	B 9 41-X-3.89 Y=2.12 Z=37.408	
1991	1991	C	a	0.18	C 8 8-X-2.67 Y=1.80 Z=37.130	2041	2041	C	a	0.33	C 8 8-X-2.11 Y=2.70 Z=37.125	2089	A	3	B	94.80	B 9 41-X-2.18 Y=2.12 Z=37.408	
1992	1992	C	a	0.17	C 8 8-X-0.73 Y=1.80 Z=37.130	2042	2042	D	a	0.02	C 8 8-X-1.82 Y=2.88 Z=37.099	2090	A	4	C	20.50	B 9 41-X-2.57 Y=2.12 Z=37.392	
1993	1993	C	a	0.26	C 8 8-X-0.78 Y=1.26 Z=37.318	2043	2043	C	a	0.54	C 8 8-X-1.58 Y=2.90 Z=37.071	2091	A	5	B	78.60	B 9 41-X-3.50 Y=1.81 Z=37.093	
1994	1994	C	a	0.09	C 8 8-X-0.73 Y=1.53 Z=37.322	2044	2044	C	a	0.35	C 8 8-X-1.43 Y=2.85 Z=37.092	2092	A	6	C	d	3.80	B 9 41-X-3.23 Y=1.70 Z=37.259
1995	1995	C	a	1.10	C 8 8-X-0.78 Y=1.82 Z=37.305	2045	2045	C	a	1.80	C 8 8-X-0.97 Y=2.81 Z=37.125	2093	A	7	C	d	76.80	B 9 41-X-3.13 Y=1.70 Z=37.412
1996	1996	C	a	28.30	C 8 8-X-0.88 Y=1.78 Z=37.290	-	-	-	-	-	-	2094	A	8	L	d	99.60	B 9 41-X-3.00 Y=1.68 Z=37.269
1997	1997	D	a	0.05	C 8 8-X-0.90 Y=1.81 Z=37.208	2047	2047	D	a	0.01	C 8 8-X-0.75 Y=2.82 Z=37.151	2095	A	9	L	d	270.00	B 9 41-X-3.89 Y=1.59 Z=37.373
1998	1998	D	a	0.02	C 8 8-X-0.83 Y=2.18 Z=37.208	2048	2048	E	a	5.65	C 8 8-X-0.75 Y=2.82 Z=37.189	2096	A	10	L	d	848.00	B 9 41-X-2.84 Y=1.59 Z=37.373
1999	1999	D	a	0.02	C 8 8-X-0.88 Y=2.23 Z=37.185	2049	2049	C	a	1.02	C 8 8-X-0.82 Y=2.82 Z=37.185	2097	A	11	L	j	223.00	B 9 41-X-2.19 Y=1.59 Z=37.429
2000	2000	C	a	0.08	C 8 8-X-0.78 Y=2.23 Z=37.163	2050	2050	D	a	0.02	C 8 8-X-0.71 Y=2.36 Z=37.151	2098	A	12	B	d	452.00	B 9 41-X-2.19 Y=0.21 Z=37.421



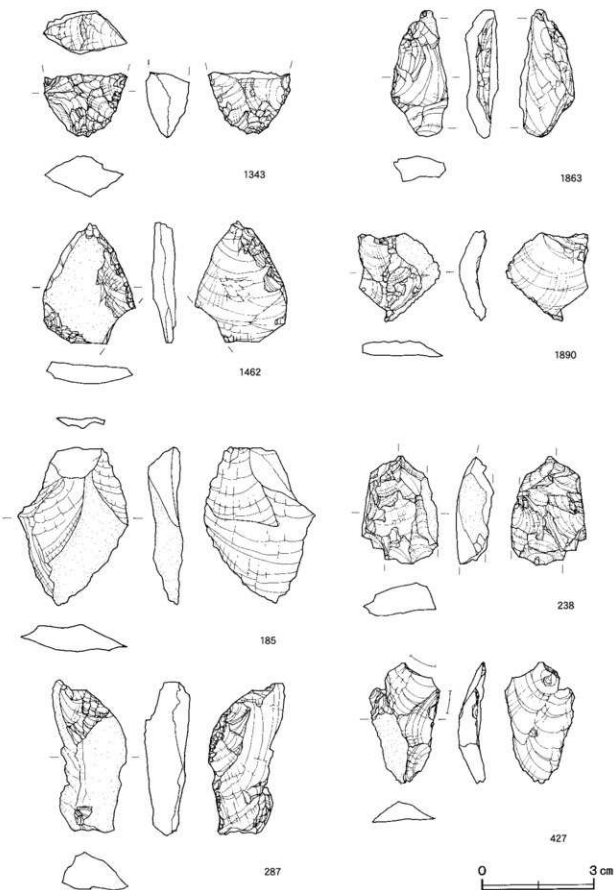
序号	站号	站名	石质	重量	出土位置	序号	站号	站名	石质	重量	出土位置	序号	站号	站名	石质	重量	出土位置
2099	A14	H	J	103.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.90$ $Y=-3.28$ $Z=37.4167$	2107	D11	C	a	2.74	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.60$ $Y=-2.28$ $Z=37.110$	2196	E49	C	a	2.24	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.98$ $Y=-1.08$ $Z=36.76$
2100	A15	H	J	63.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.19$ $Y=-1.94$ $Z=37.312$	2108	D12	C	d	3.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.42$ $Y=-0.98$ $Z=36.931$	2197	E50	T	a	0.02	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.21$ $Y=-1.20$ $Z=36.730$
2101	A16	L	d	30.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.41$ $Y=-1.41$ $Z=37.003$	第6号石质器集中地点出土石器一览表						2108	E51	C	a	1.06	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.98$ $Y=-1.41$ $Z=36.96$
2102	A17	C	J	31.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.26$ $Y=-1.70$ $Z=37.318$	2109	E1	C	a	2.62	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.17$ $Y=-1.16$ $Z=36.630$	2199	E52	C	b	28.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.73$ $Y=-1.20$ $Z=36.957$
2103	A18	H	J	61.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.37$ $Y=-3.93$ $Z=37.496$	2110	E2	C	a	1.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.71$ $Y=-3.70$ $Z=36.657$	2200	E53	C	a	6.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.98$ $Y=-1.12$ $Z=36.948$
2104	A19	H	a	67.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.81$ $Y=-1.08$ $Z=37.496$	2111	E3	C	a	1.50	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.46$ $Y=-0.98$ $Z=36.706$	2201	E54	C	a	12.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.60$ $Y=-1.08$ $Z=36.792$
2105	A20	B	a	72.40	—	2112	E4	C	a	1.12	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.68$ $Y=-2.90$ $Z=36.614$	2202	E55	C	b	3.78	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.75$ $Y=-1.56$ $Z=36.856$
第4号石质器集中地点出土石器一览表						2113	E5	C	a	2.58	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.81$ $Y=-3.79$ $Z=36.800$	2203	E56	C	a	5.25	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.20$ $Y=-1.70$ $Z=36.722$
2106	B1	C	e	5.65	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.10$ $Y=-3.00$ $Z=37.127$	2114	E6	C	a	4.64	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.22$ $Y=-3.68$ $Z=36.761$	2204	E57	C	b	9.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.56$ $Y=-1.91$ $Z=36.736$
2107	B2	C	a	1.74	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.40$ $Y=-0.87$ $Z=37.035$	2115	E7	D	a	0.34	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.28$ $Y=-3.56$ $Z=36.761$	2205	E58	C	a	1.32	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.48$ $Y=-1.60$ $Z=36.812$
2108	B3	C	a	3.14	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.32$ $Y=-0.96$ $Z=37.322$	2116	E8	D	a	0.96	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.43$ $Y=-3.56$ $Z=36.796$	2206	E59	E	a	0.79	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.63$ $Y=-1.66$ $Z=36.765$
2109	B4	C	a	36.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.11$ $Y=-1.14$ $Z=37.267$	2117	E9	D	a	2.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.58$ $Y=-3.78$ $Z=36.500$	2207	E60	C	a	0.16	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.72$ $Y=-1.20$ $Z=36.612$
2110	B5	C	a	15.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.45$ $Y=-3.30$ $Z=37.241$	2118	E10	D	a	0.73	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.90$ $Y=-3.48$ $Z=36.754$	2208	E61	E	a	0.17	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.78$ $Y=-1.20$ $Z=36.651$
2111	B6	H	a	30.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.50$ $Y=-0.53$ $Z=37.247$	2119	E11	C	a	7.65	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.96$ $Y=-3.90$ $Z=36.603$	2209	E62	E	a	2.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.90$ $Y=-1.20$ $Z=36.710$
2112	B7	J	e	116.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.90$ $Y=-3.90$ $Z=37.288$	2120	E12	C	a	1.78	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.03$ $Y=-2.74$ $Z=36.635$	2210	E63	C	a	2.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.80$ $Y=-1.56$ $Z=36.786$
2113	B8	L	e	52.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.05$ $Y=-0.54$ $Z=37.415$	2121	E13	C	a	5.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.45$ $Y=-3.00$ $Z=36.951$	2211	E64	C	a	1.48	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-1.41$ $Z=36.793$
2114	B9	L	e	100.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.89$ $Y=-3.68$ $Z=37.288$	2122	E14	C	a	7.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.38$ $Y=-3.68$ $Z=36.902$	2212	E65	C	a	0.31	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.35$ $Y=-1.56$ $Z=36.792$
2115	H10	M	e	97.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.87$ $Y=-0.49$ $Z=37.006$	2123	E15	C	a	0.64	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.80$ $Y=-2.85$ $Z=36.693$	2213	E66	C	a	2.04	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.28$ $Y=-1.18$ $Z=36.280$
2116	H11	L	e	12.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.50$ $Y=-0.87$ $Z=37.415$	2124	E16	C	a	11.50	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.40$ $Y=-2.75$ $Z=36.600$	2214	E67	C	e	4.94	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-1.56$ $Z=36.717$
2117	H12	M	e	71.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.48$ $Y=-0.48$ $Z=37.288$	2125	E17	C	a	15.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.80$ $Y=-0.15$ $Z=36.674$	2215	E68	C	a	0.40	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.70$ $Y=-1.56$ $Z=36.722$
2118	H13	E	a	5.65	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.50$ $Y=-1.46$ $Z=37.171$	2126	E18	C	a	0.93	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.68$ $Y=-3.58$ $Z=36.578$	2216	E69	C	a	0.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-1.20$ $Z=36.763$
2119	H14	C	a	4.74	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.40$ $Y=-0.87$ $Z=37.304$	2127	E19	C	a	0.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.56$ $Y=-2.74$ $Z=36.735$	2217	E70	C	a	3.94	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.50$ $Y=-1.56$ $Z=36.763$
2120	H15	L	J	3.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.51$ $Y=-2.57$ $Z=37.044$	2128	E20	C	a	0.29	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-3.76$ $Z=36.662$	2218	E72	C	a	0.72	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.62$ $Y=-0.61$ $Z=36.863$
第5号石质器集中地点出土石器一览表						2129	E21	C	a	1.36	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.90$ $Y=-0.11$ $Z=36.657$	2219	E73	C	a	12.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.17$ $Y=-0.87$ $Z=36.717$
2121	C1	L	d	152.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.64$ $Y=-3.98$ $Z=36.996$	2130	E22	C	a	0.77	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.75$ $Y=-0.48$ $Z=36.516$	2220	E74	C	a	30.50	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.30$ $Y=-0.41$ $Z=36.925$
2122	C2	I	d	102.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.49$ $Y=-2.90$ $Z=36.974$	2131	E23	C	a	31.40	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.61$ $Y=-3.45$ $Z=36.623$	2221	E75	C	a	0.08	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.18$ $Y=-0.79$ $Z=36.815$
2123	C3	C	a	1.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.27$ $Y=-0.27$ $Z=36.925$	2132	E25	C	a	1.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.50$ $Y=-2.97$ $Z=36.649$	2222	E76	C	a	0.97	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.60$ $Y=-0.16$ $Z=36.727$
2124	C4	C	e	39.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-4.95$ $Y=-3.90$ $Z=36.864$	2133	E26	C	a	0.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.64$ $Y=-3.90$ $Z=36.233$	2223	E77	C	a	2.64	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.80$ $Y=-0.87$ $Z=36.628$
2125	C5	C	a	3.34	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.10$ $Y=-2.64$ $Z=36.985$	2134	E27	C	a	30.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.70$ $Y=-2.63$ $Z=36.676$	2224	E78	C	a	1.96	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.21$ $Y=-0.45$ $Z=36.745$
2126	C6	C	m	17.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.90$ $Y=-0.37$ $Z=36.905$	2135	E28	C	j	30.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.80$ $Y=-2.61$ $Z=36.687$	2225	E80	C	a	6.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.70$ $Y=-0.33$ $Z=36.777$
2127	C7	C	a	73.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.50$ $Y=-0.07$ $Z=36.636$	2136	E29	C	a	0.64	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.90$ $Y=-0.88$ $Z=36.653$	2226	E81	C	a	1.16	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.52$ $Y=-0.87$ $Z=36.717$
2128	C8	C	a	8.72	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.20$ $Y=-0.30$ $Z=36.924$	2137	E30	C	a	11.50	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.92$ $Y=-3.04$ $Z=36.622$	2227	E82	C	a	14.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.10$ $Y=-0.72$ $Z=37.119$
2129	C9	L	d	2.14	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.21$ $Y=-2.95$ $Z=36.599$	2138	E31	H	a	16.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.11$ $Y=-2.68$ $Z=36.678$	2228	E83	C	a	1.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.20$ $Y=-0.13$ $Z=36.907$
2130	C10	C	d	7.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.20$ $Y=-2.84$ $Z=37.023$	2139	E32	C	j	4.14	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.14$ $Y=-2.63$ $Z=36.783$	2229	E84	C	a	4.18	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.81$ $Y=-0.62$ $Z=37.112$
2131	C11	C	m	12.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-4.33$ $Y=-3.62$ $Z=36.825$	2140	E33	H	a	81.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.40$ $Y=-3.45$ $Z=36.617$	2230	E85	L	e	10.30	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.23$ $Y=-0.33$ $Z=36.058$
2132	C12	C	a	4.02	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.80$ $Y=-2.23$ $Z=37.056$	2141	E34	C	a	0.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-2.30$ $Z=36.763$	2231	E86	C	a	28.00	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.60$ $Y=-3.16$ $Z=36.873$
2133	C15	C	a	2.34	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.75$ $Y=-0.40$ $Z=36.784$	2142	E35	C	a	0.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.08$ $Y=-2.30$ $Z=36.768$	2232	E87	H	a	9.35	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.20$ $Y=-0.83$ $Z=37.063$
2134	C16	H	J	28.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.59$ $Y=-3.90$ $Z=36.704$	2143	E36	D	a	0.64	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.74$ $Y=-2.15$ $Z=36.796$	2233	E88	C	a	53.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.18$ $Y=-0.87$ $Z=36.636$
2135	C17	C	b	19.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.40$ $Y=-0.53$ $Z=37.096$	2144	E37	C	a	7.80	$B_{942}^{-1}X^{-2}-0.60$ $Y=-2.45$ $Z=36.672$	2234	E89	C	a	5.10	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.70$ $Y=-0.45$ $Z=36.189$
—	—	—	—	—	—	2145	E38	C	a	1.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.73$ $Y=-0.15$ $Z=36.782$	2235	E90	J	d	20.40	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.33$ $Y=-0.87$ $Z=36.717$
2137	D1	A	a	117.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.70$ $Y=-2.22$ $Z=36.925$	2146	E39	C	a	0.79	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.70$ $Y=-2.56$ $Z=36.868$	2236	E91	H	a	27.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.50$ $Y=-3.30$ $Z=36.991$
2138	D2	A	a	91.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.97$ $Y=-3.62$ $Z=36.828$	2147	E40	C	b	86.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.35$ $Y=-3.43$ $Z=36.631$	2237	E92	B	a	245.90	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.55$ $Y=-0.87$ $Z=36.636$
2139	D3	M	d	28.70	$B_{942}^{-1}X^{-2}-3.72$ $Y=-3.11$ $Z=36.889$	2148	E41	C	a	29.60	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.17$ $Y=-2.16$ $Z=36.645$	2238	E93	H	a	36.40	$B_{942}^{-1}X^{-2}-2.20$ $Y=-0.43$ $Z=36.771$
2140	D4	M	d	32.20	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.52$ $Y=-2.35$ $Z=37.027$	2149	E42	C	a	0.48	$B_{942}^{-1}X^{-2}-1.02$ $Y=-2.$						

序号	组号	组别	石质	重量	出土位置	序号	组号	组别	石质	重量	出土位置	序号	组号	组别	石质	重量	出土位置	
2246	E01	B	b	78.10	$B943-X-1-397$ $Y=0.14 Z=36.150$	2296	E176	E	a	0.96	$B942-X-1-176$ $Y=2.18 Z=36.867$	2346	E234	D	j	0.02	$B942-X-1-165$ $Y=2.04 Z=36.615$	
2247	E102	L	e	0.37	$B943-X-1-397$ $Y=0.10 Z=36.157$	2297	E177	C	j	13.70	$B942-X-1-171$ $Y=1.99 Z=36.806$	2347	E235	C	a	0.04	$B942-X-1-161$ $Y=3.21 Z=36.995$	
2248	E103	C	b	0.17	$B942-X-1-397$ $Y=2.14 Z=36.615$	2298	E178	C	e	2.30	$B942-X-1-170$ $Y=1.87 Z=36.786$	2348	E236	C	e	56.85	$B942-X-1-162$ $Y=1.42 Z=36.676$	
2249	E104	C	a	0.75	$B942-X-1-397$ $Y=0.23 Z=36.785$	2299	E179	C	e	2.38	$B942-X-1-171$ $Y=1.73 Z=36.781$	2349	E239	C	e	0.55	$B943-X-0-90$ $Y=1.36 Z=36.535$	
2250	E108	C	a	0.20	$B942-X-1-397$ $Y=3.81 Z=36.785$	2300	E180	C	a	7.10	$B942-X-1-171$ $Y=1.59 Z=36.817$	2350	E242	L	e	0.03	$B942-X-1-171$ $Y=1.18 Z=36.693$	
2251	E114	C	a	0.11	$B942-X-1-397$ $Y=0.60 Z=36.696$	2301	E181	C	a	4.82	$B942-X-1-170$ $Y=1.86 Z=36.711$	2351	E244	C	a	0.05	$B942-X-1-164$ $Y=2.04 Z=36.686$	
2252	E115	C	e	0.64	$B942-X-1-397$ $Y=0.71 Z=36.674$	2302	E182	C	a	3.96	$B942-X-1-169$ $Y=1.83 Z=36.901$	2352	E247	C	e	0.02	$B942-X-1-171$ $Y=0.40 Z=36.810$	
2253	E118	C	a	2.64	$B942-X-1-397$ $Y=2.18 Z=36.658$	2303	E183	C	a	12.10	$B942-X-1-167$ $Y=0.18 Z=36.729$	2353	E252	C	a	0.59	$B941-X-2-314$ $Y=2.04 Z=36.711$	
2254	E123	C	a	3.24	$B942-X-1-397$ $Y=2.20 Z=36.589$	2304	E184	C	a	0.24	$B942-X-1-161$ $Y=1.55 Z=36.769$	2354	E253	-	-	-	-	-
2255	E126	B	a	36.30	$B942-X-1-397$ $Y=1.86 Z=36.945$	2305	E185	C	a	1.52	$B942-X-1-166$ $Y=1.17 Z=36.735$	2355	E254	E	a	3.36	$B942-X-1-169$ $Y=2.20 Z=36.615$	
2256	E27	C	a	0.98	$B942-X-1-397$ $Y=2.80 Z=36.960$	2306	E186	C	b	0.83	$B942-X-1-168$ $Y=1.34 Z=36.765$	2356	E255	D	a	0.04	$B942-X-1-161$ $Y=2.38 Z=36.627$	
2257	E128	C	e	81.60	$B942-X-1-397$ $Y=3.26 Z=36.980$	2307	E187	B	a	0.40	$B942-X-1-160$ $Y=1.43 Z=36.751$	2357	E257	C	j	0.50	$B942-X-1-171$ $Y=1.85 Z=36.649$	
2258	E129	K	e	305.00	$B942-X-1-397$ $Y=3.20 Z=36.679$	2308	E188	K	e	111.00	$B942-X-1-166$ $Y=1.46 Z=36.721$	2358	E259	C	j	0.05	$B942-X-1-170$ $Y=1.65 Z=36.630$	
2259	E130	C	a	3.92	$B943-X-0-42$ $Y=1.21 Z=36.825$	2309	E189	C	a	0.98	$B942-X-1-169$ $Y=1.00 Z=36.839$	2359	E273	E	a	2.67	$B942-X-1-170$ $Y=1.85 Z=36.651$	
2260	E131	B	a	16.80	$B943-X-0-42$ $Y=3.26 Z=36.751$	2310	E190	C	e	6.25	$B942-X-1-171$ $Y=0.43 Z=36.752$	2360	E276	C	a	0.26	$B943-X-0-22$ $Y=1.85 Z=36.651$	
2261	E132	C	a	1.06	$B941-X-3-28$ $Y=3.26 Z=36.796$	2311	E191	C	e	1.28	$B942-X-1-163$ $Y=0.43 Z=36.838$	2361	E279	C	a	0.70	$B942-X-1-170$ $Y=1.10 Z=36.915$	
2262	E134	C	a	1.12	$B942-X-1-397$ $Y=2.54 Z=36.658$	2312	E192	C	j	1.36	$B942-X-1-171$ $Y=0.18 Z=36.729$	2362	E280	C	a	0.12	$B942-X-1-170$ $Y=0.43 Z=36.627$	
2263	E136	C	j	1.24	$B942-X-1-397$ $Y=2.26 Z=36.912$	2313	E193	C	a	8.80	$B942-X-1-166$ $Y=0.42 Z=36.785$	第7号石器集中地点出土石器一览表						
2264	E137	C	a	1.31	$B942-X-1-397$ $Y=2.54 Z=36.909$	2314	E194	C	e	14.30	$B942-X-1-163$ $Y=0.43 Z=36.839$	2363	F 1	A	a	88.20	$B943-X-1-176$ $Y=2.20 Z=36.852$	
2265	E138	C	j	5.40	$B942-X-1-397$ $Y=3.81 Z=36.785$	2315	E195	C	e	16.50	$B941-X-0-60$ $Y=2.41 Z=36.950$	2364	F 2	L	j	167.80	$B943-X-1-192$ $Y=2.65 Z=36.886$	
2266	E139	C	a	1.58	$B942-X-1-397$ $Y=0.83 Z=36.820$	2316	E196	L	j	6.15	$B941-X-1-169$ $Y=2.23 Z=37.077$	2365	F 3	B	a	188.00	$B943-X-1-192$ $Y=2.50 Z=36.882$	
2267	E140	C	a	0.20	$B942-X-1-397$ $Y=0.83 Z=36.820$	2317	E197	B	j	180.40	$B941-X-1-169$ $Y=2.41 Z=36.951$	2366	F 4	B	a	46.00	$B943-X-1-239$ $Y=2.95 Z=36.892$	
2268	E142	D	j	1.36	$B942-X-1-397$ $Y=3.81 Z=36.785$	2318	E198	C	a	6.80	$B941-X-1-169$ $Y=2.41 Z=36.951$	2367	F 5	M	d	271.00	$B943-X-1-250$ $Y=3.58 Z=36.841$	
2269	E143	C	a	2.84	$B942-X-1-397$ $Y=0.83 Z=36.820$	2319	E199	C	a	0.96	$B941-X-1-166$ $Y=0.43 Z=36.839$	2368	F 6	B	a	129.80	$B943-X-1-165$ $Y=2.95 Z=36.892$	
2270	E144	E	e	1.04	$B942-X-1-397$ $Y=3.20 Z=36.745$	2320	E201	D	a	0.63	$B941-X-1-166$ $Y=1.84 Z=36.906$	2369	F 7	C	j	5.70	$B943-X-1-181$ $Y=3.50 Z=36.830$	
2271	E145	C	a	2.06	$B943-X-1-171$ $Y=1.05 Z=36.721$	2321	E202	C	a	0.10	$B942-X-1-171$ $Y=1.81 Z=36.625$	2370	F 8	C	e	11.80	$B943-X-1-181$ $Y=3.50 Z=36.830$	
2272	E146	C	a	1.34	$B942-X-1-397$ $Y=2.27 Z=36.805$	2322	E203	C	a	0.10	$B942-X-1-160$ $Y=2.45 Z=36.670$	2371	F 9	B	a	14.80	$B943-X-2-01$ $Y=3.75 Z=36.832$	
2273	E147	C	b	24.80	$B943-X-1-171$ $Y=1.13 Z=36.625$	2323	E204	C	a	16.50	$B942-X-1-169$ $Y=2.8 Z=36.811$	2372	F 10	L	d	13.50	$B943-X-1-181$ $Y=3.23 Z=36.893$	
2274	E148	C	j	9.25	$B942-X-1-397$ $Y=2.64 Z=36.859$	2324	E205	C	j	18.10	$B942-X-1-164$ $Y=2.66 Z=36.641$	2373	F 11	C	e	9.45	$B943-X-1-181$ $Y=3.01 Z=36.893$	
2275	E149	C	j	2.62	$B942-X-1-397$ $Y=2.64 Z=36.859$	2325	E207	C	e	9.90	$B942-X-1-171$ $Y=0.89 Z=36.742$	2374	F 12	B	b	24.60	$B943-X-1-181$ $Y=2.98 Z=36.876$	
2276	E150	C	b	6.35	$B942-X-1-397$ $Y=0.81 Z=36.912$	2326	E208	C	a	12.00	$B942-X-1-172$ $Y=0.89 Z=36.742$	2375	F 13	C	e	11.40	$B943-X-2-14$ $Y=2.72 Z=36.783$	
2277	E151	B	a	15.50	$B942-X-1-397$ $Y=3.41 Z=36.659$	2327	E209	C	e	8.90	$B942-X-1-166$ $Y=1.67 Z=36.879$	2376	F 14	C	a	5.90	$B943-X-2-15$ $Y=3.14 Z=36.921$	
2278	E152	E	a	13.90	$B942-X-1-397$ $Y=3.19 Z=36.660$	2328	E210	B	j	52.90	$B942-X-1-168$ $Y=0.85 Z=36.729$	2377	F 16	C	j	5.05	$B943-X-1-227$ $Y=1.82 Z=36.753$	
2279	E153	C	j	0.43	$B942-X-1-397$ $Y=2.89 Z=36.790$	2329	E211	C	e	0.29	$B943-X-1-190$ $Y=0.72 Z=36.601$	2378	F 17	C	j	5.35	$B943-X-2-199$ $Y=1.28 Z=36.783$	
2280	E154	B	a	30.70	$B942-X-1-397$ $Y=0.81 Z=36.742$	2330	E212	C	e	1.37	$B943-X-1-191$ $Y=0.72 Z=36.601$	2379	F 19	B	a	51.30	$B943-X-1-188$ $Y=2.59 Z=36.921$	
2281	E156	K	j	2.25	$B942-X-1-397$ $Y=0.61 Z=36.742$	2331	E213	C	e	0.67	$B943-X-1-194$ $Y=0.87 Z=36.669$	2380	F 20	B	a	56.30	$B943-X-1-188$ $Y=2.56 Z=36.993$	
2282	E159	C	a	2.14	$B942-X-1-397$ $Y=1.66 Z=36.629$	2332	E214	C	e	2.36	$B942-X-1-169$ $Y=3.79 Z=36.629$	2381	F 21	B	a	169.20	$B943-X-1-188$ $Y=2.59 Z=36.921$	
2283	E160	C	j	0.31	$B942-X-1-397$ $Y=2.89 Z=36.790$	2333	E215	C	e	0.18	$B942-X-1-161$ $Y=3.20 Z=36.621$	2382	F 22	C	a	2.28	$B943-X-1-172$ $Y=1.52 Z=36.950$	
2284	E164	C	a	4.04	$B942-X-1-397$ $Y=1.69 Z=36.646$	2334	E216	D	a	0.60	$B942-X-1-162$ $Y=3.28 Z=36.621$	2383	F 23	C	j	5.45	$B943-X-1-188$ $Y=1.91 Z=36.921$	
2285	E165	C	e	8.00	$B943-X-0-90$ $Y=0.60 Z=36.646$	2335	E217	C	a	8.20	$B942-X-1-169$ $Y=2.74 Z=36.650$	2384	F 24	B	a	212.00	$B943-X-0-79$ $Y=3.69 Z=36.865$	
2286	E166	C	a	0.15	$B943-X-1-196$ $Y=0.60 Z=36.646$	2336	E218	D	a	0.63	$B942-X-0-58$ $Y=2.74 Z=36.650$	2385	F 25	C	d	5.20	$B943-X-3-54$ $Y=3.69 Z=36.865$	
2287	E167	C	b	4.82	$B943-X-1-191$ $Y=2.81 Z=36.755$	2337	E219	C	a	0.14	$B942-X-0-79$ $Y=0.89 Z=36.646$	第8号石器集中地点出土石器一览表						
2288	E168	C	a	3.48	$B942-X-1-397$ $Y=3.43 Z=36.749$	2338	E221	C	a	6.64	$B942-X-0-53$ $Y=2.15 Z=36.963$	2386	G 2	C	a	6.80	$C846-X-0-16$ $Y=0.52 Z=37.441$	
2289	E169	C	a	0.78	$B942-X-1-397$ $Y=2.81 Z=36.755$	2339	E222	C	a	0.22	$B942-X-1-170$ $Y=2.28 Z=36.639$	2387	G 3	L	d	8.95	$C846-X-1-165$ $Y=0.22 Z=37.141$	
2290	E170	C	a	0.45	$B942-X-1-397$ $Y=2.81 Z=36.755$	2340	E223	D	a	0.06	$B942-X-1-161$ $Y=1.35 Z=36.662$	2388	G 4	d	a	1.18	$C846-X-1-176$ $Y=0.22 Z=37.141$	
2291	E171	E	b	131.20	$B942-X-1-397$ $Y=3.83 Z=36.785$	2341	E226	D	a	0.02	$B942-X-1-169$ $Y=1.17 Z=36.608$	2389	G 5	C	a	3.26	$C846-X-1-176$ $Y=0.22 Z=37.141$	
2292	E172	C	a	0.31	$B942-X-1-397$ $Y=2.81 Z=36.755$	2342	E227	C	a	1.32	$B942-X-1-169$ $Y=1.17 Z=36.608$	2390	G 7	B	m	88.40	$C846-X-2-92$ $Y=0.44 Z=37.441$	
2293	E173	C	a	1.46	$B942-X-1-397$ $Y=2.42 Z=36.769$	2343	E229	C	e	0.15	$B942-X-1-171$ $Y=1.39 Z=36.781$	2391	G 8	M	d	39.60	$C846-X-1-176$ $Y=0.71 Z=37.021$	
2294	E174	E	a	1.84	$B942-X-1-397$ $Y=2.28 Z=36.810$	2344	E230	C	j	0.30	$B942-X-0-73$ $Y=0$							

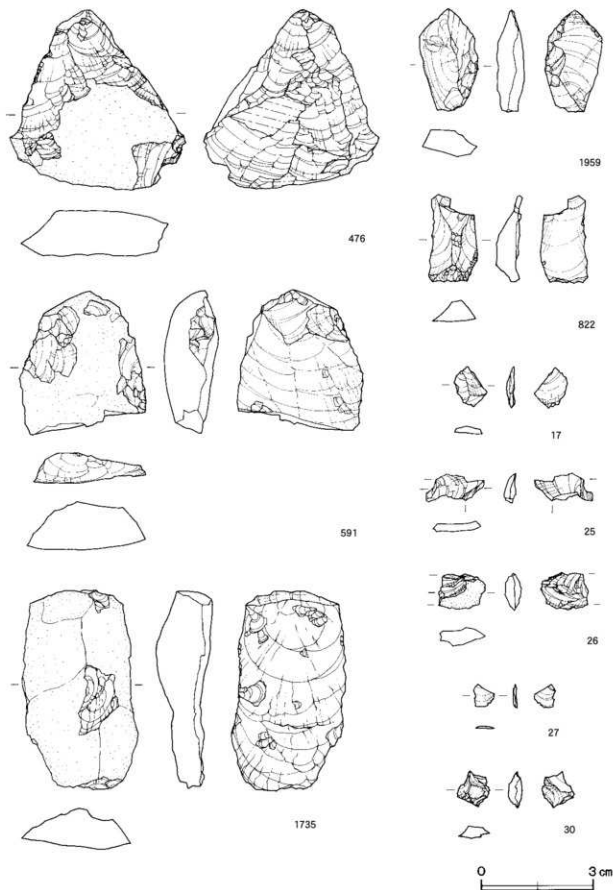
番号	符号	図様	石質	重量	出土位置	番号	符号	図様	石質	重量	出土位置	番号	符号	図様	石質	重量	出土位置
2394	G11	M	d	79.40	$C 810-X-0-16$ $Y=0.32 Z=37.411$	2419	G36	M	e	68.50	$C 810-X-3-05$ $Y=3.55 Z=37.382$	2444	G61	M	d	31.30	$C 810-X-0-3.06$ $Y=0.67 Z=37.690$
2395	G12	M	m	136.90	$C 810-X-3-170$ $Y=0.19 Z=37.412$	2420	G37	M	m	2.20	$C 810-X-0-2.99$ $Y=3.56 Z=37.428$	2445	G62	M	d	22.30	$C 810-X-0-3.93$ $Y=1.32 Z=37.348$
2396	G13	C	b	30.40	$C 810-X-3-56$ $Y=0.31 Z=37.456$	2421	G38	C	e	80.80	$C 810-X-2-90$ $Y=3.56 Z=37.430$	2446	G63	M	d	67.60	$C 810-X-0-59$ $Y=3.99 Z=37.313$
2397	G14	M	d	26.20	$C 810-X-3-32$ $Y=0.21 Z=37.422$	2422	G39	L	d	193.50	$C 810-X-0-2.78$ $Y=3.72 Z=37.490$	2447	G64	K	e	877.00	$C 810-X-0-6.83$ $Y=5.73 Z=37.321$
2398	G15	M	d	6.25	$C 810-X-3-47$ $Y=0.21 Z=37.430$	2423	G40	L	d	49.50	$C 810-X-0-2.75$ $Y=3.70 Z=37.463$	2448	G65	L	d	305.00	$C 810-X-0-1.35$ $Y=3.71 Z=37.309$
2399	G16	M	d	38.30	$C 810-X-3-39$ $Y=0.41 Z=37.480$	2424	G41	L	d	40.10	$C 810-X-0-2.52$ $Y=3.75 Z=37.392$	2449	G66	L	d	149.00	$C 810-X-0-1.80$ $Y=3.67 Z=37.357$
2400	G17	M	d	59.80	$C 810-X-3-32$ $Y=0.41 Z=37.427$	2425	G42	L	d	119.00	$C 810-X-0-2.73$ $Y=3.76 Z=37.450$	2450	G67	L	d	149.60	$C 810-X-0-1.62$ $Y=3.59 Z=37.383$
2401	G18	M	d	62.10	$C 810-X-3-32$ $Y=0.31 Z=37.469$	2426	G43	L	d	46.10	$C 810-X-0-2.44$ $Y=3.41 Z=37.481$	2451	G68	M	d	151.40	$C 810-X-0-1.75$ $Y=3.52 Z=37.489$
2402	G19	M	d	138.10	$C 810-X-3-34$ $Y=0.26 Z=37.449$	2427	G44	L	d	26.40	$C 810-X-0-2.16$ $Y=3.44 Z=37.412$	2452	G69	L	d	3128.00	$C 810-X-0-1.92$ $Y=3.55 Z=37.330$
2403	G20	M	d	72.70	$C 810-X-3-39$ $Y=0.30 Z=37.433$	2428	G45	L	d	108.60	$C 810-X-0-1.90$ $Y=3.66 Z=37.316$	2453	G70	C	e	30.50	$C 810-X-0-1.84$ $Y=0.61 Z=37.499$
2404	G21	M	d	14.80	$C 810-X-3-25$ $Y=0.31 Z=37.442$	2429	G46	L	d	6.60	$C 810-X-0-1.53$ $Y=2.96 Z=37.435$	2454	G71	F	f	1.00	$C 810-X-0-3.49$ $Y=3.74 Z=37.377$
2405	G22	M	d	372.00	$C 810-X-3-20$ $Y=0.26 Z=37.428$	2430	G47	L	d	17.20	$C 810-X-0-1.56$ $Y=2.84 Z=37.418$	2455	G72	B	k	164.80	$C 810-X-0-3.10$ $Y=3.41 Z=37.559$
2406	G23	M	d	55.70	$C 810-X-3-35$ $Y=0.19 Z=37.450$	2431	G48	C	a	13.20	$C 810-X-0-1.81$ $Y=2.19 Z=37.528$	2456	G73	M	d	34.50	$C 810-X-0-3.00$ $Y=2.59 Z=37.492$
2407	G24	M	d	76.00	$C 810-X-3-28$ $Y=0.11 Z=37.462$	2432	G49	M	d	21.00	$C 810-X-0-2.90$ $Y=2.11 Z=37.432$	2457	G74	M	d	29.30	$C 810-X-0-3.62$ $Y=0.63 Z=37.469$
2408	G25	M	d	44.90	$C 810-X-3-05$ $Y=0.19 Z=37.466$	2433	G50	M	d	8.20	$C 810-X-0-2.19$ $Y=2.26 Z=37.394$	2458	G75	C	a	3.58	-
2409	G26	C	a	8.05	$C 810-X-3-24$ $Y=0.10 Z=37.439$	2434	G51	M	j	6.65	$C 810-X-0-2.20$ $Y=1.71 Z=37.415$	2459	G76	M	e	145.70	$C 810-X-0-2.84$ $Y=3.60 Z=37.454$
2410	G27	M	a	226.00	$C 810-X-3-06$ $Y=0.10 Z=37.439$	2435	G52	M	d	34.00	$C 810-X-0-2.81$ $Y=1.71 Z=37.420$	2460	G77	M	d	78.80	$C 810-X-0-3.00$ $Y=3.65 Z=37.460$
2411	G28	M	d	776.00	$C 810-X-3-26$ $Y=0.01 Z=37.465$	2436	G53	C	j	1.92	$C 810-X-0-3.22$ $Y=2.22 Z=37.476$	2461	G78	M	d	80.20	$C 810-X-0-3.02$ $Y=3.94 Z=37.403$
2412	G29	M	d	341.00	$C 810-X-3-01$ $Y=3.81 Z=37.459$	2437	G54	M	d	16.30	$C 810-X-0-2.90$ $Y=1.45 Z=37.453$	2462	G79	M	d	62.90	$C 810-X-0-3.32$ $Y=0.26 Z=37.421$
2413	G30	M	d	23.20	$C 810-X-3-01$ $Y=2.39 Z=37.474$	2438	G55	M	d	9.30	$C 810-X-0-2.90$ $Y=1.38 Z=37.494$	2463	G80	C	d	98.90	$C 810-X-0-3.38$ $Y=0.22 Z=37.434$
2414	G31	M	d	256.00	$C 810-X-3-43$ $Y=3.95 Z=37.486$	2439	G56	L	a	17.30	$C 810-X-0-2.44$ $Y=0.16 Z=37.493$	2464	G81	M	m	57.90	$C 810-X-0-3.31$ $Y=0.32 Z=37.409$
2415	G32	M	d	47.20	$C 810-X-3-20$ $Y=2.93 Z=37.428$	2440	G57	C	j	2.82	$C 810-X-0-2.13$ $Y=0.46 Z=37.580$	2465	G82	C	b	5.73	$C 810-X-0-2.81$ $Y=3.96 Z=37.441$
2416	G33	M	d	7.05	$C 810-X-3-60$ $Y=3.91 Z=37.480$	2441	G58	M	d	8.40	$C 810-X-0-1.32$ $Y=0.09 Z=37.524$	2466	G83	M	d	4.98	$C 810-X-0-2.82$ $Y=0.11 Z=37.270$
2417	G34	M	d	83.30	$C 810-X-3-45$ $Y=2.87 Z=37.466$	2442	G59	C	j	32.10	$C 810-X-0-1.52$ $Y=1.18 Z=37.476$	2467	G84	M	d	201.00	$C 810-X-0-2.25$ $Y=0.26 Z=37.367$
2418	G35	M	d	88.30	$C 810-X-3-08$ $Y=3.68 Z=37.484$	2443	G60	M	e	4.88	$C 810-X-0-1.54$ $Y=1.22 Z=37.480$						



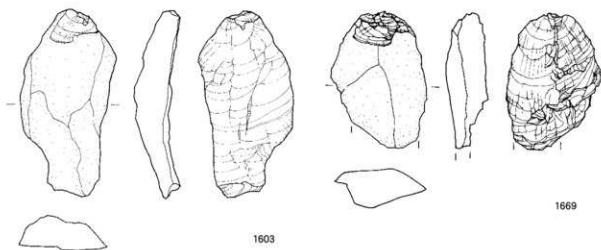
第110图 第1号石器集中地点出土物实測图(1)



第111图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(2)

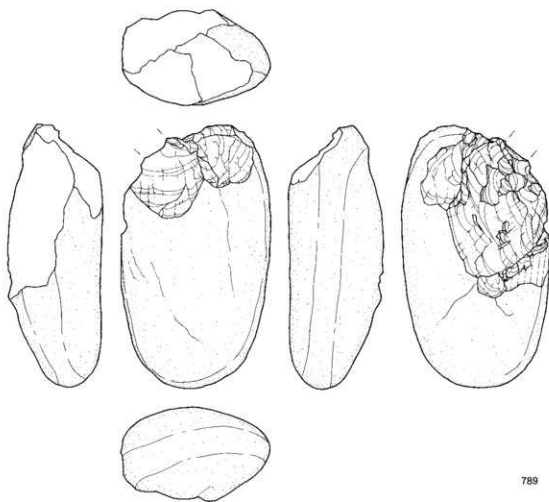


第112図 第1号石器集中地点出土遺物実測図(3)



1603

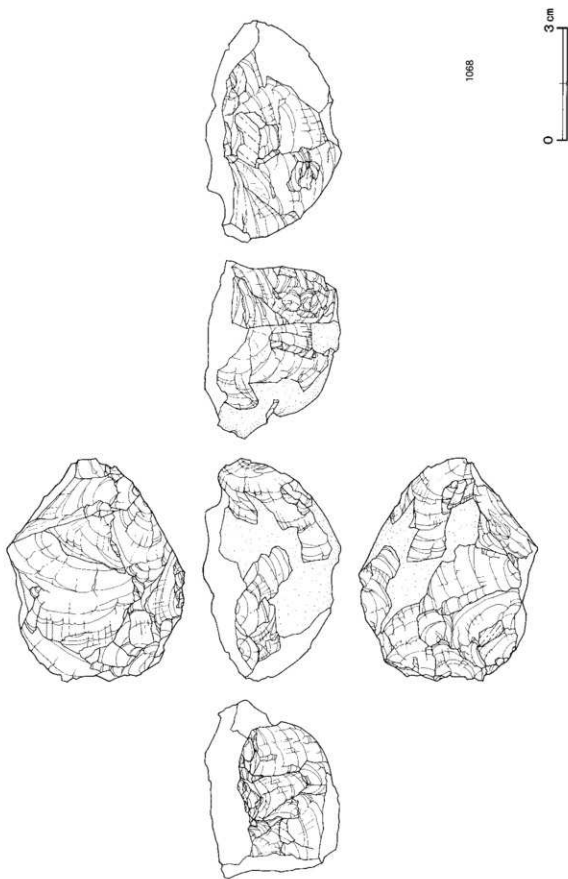
1669



789

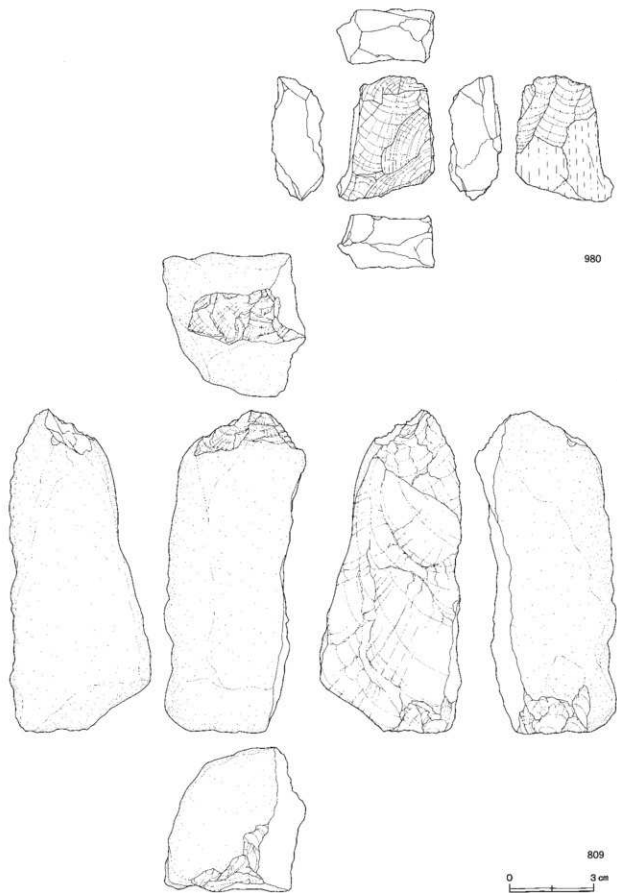


第113图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(4)

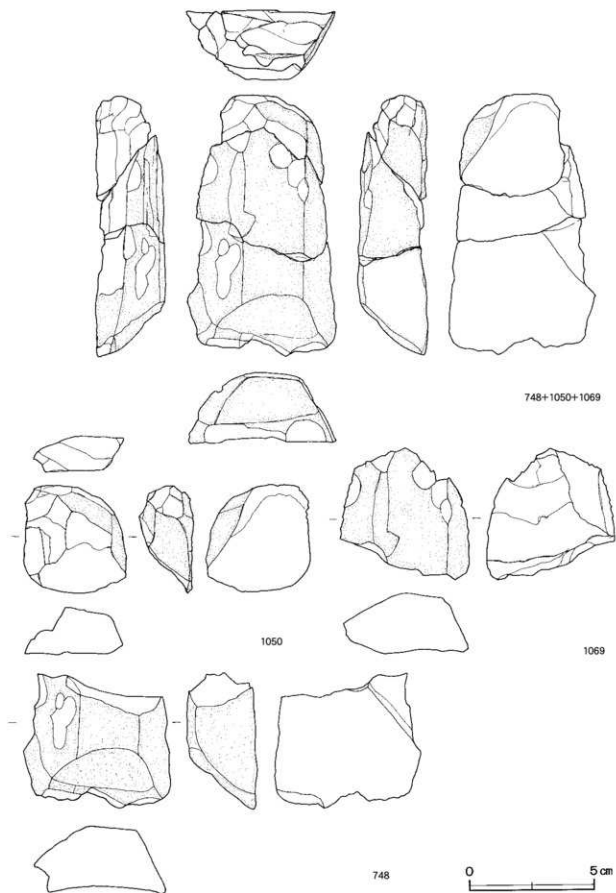


第114図 第1号石器集中地点出土遺物実測図(5)

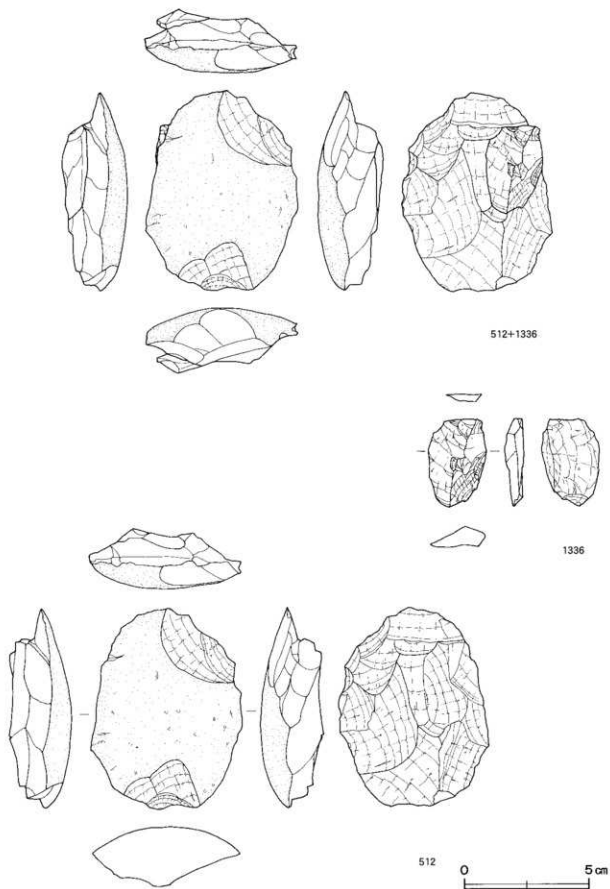




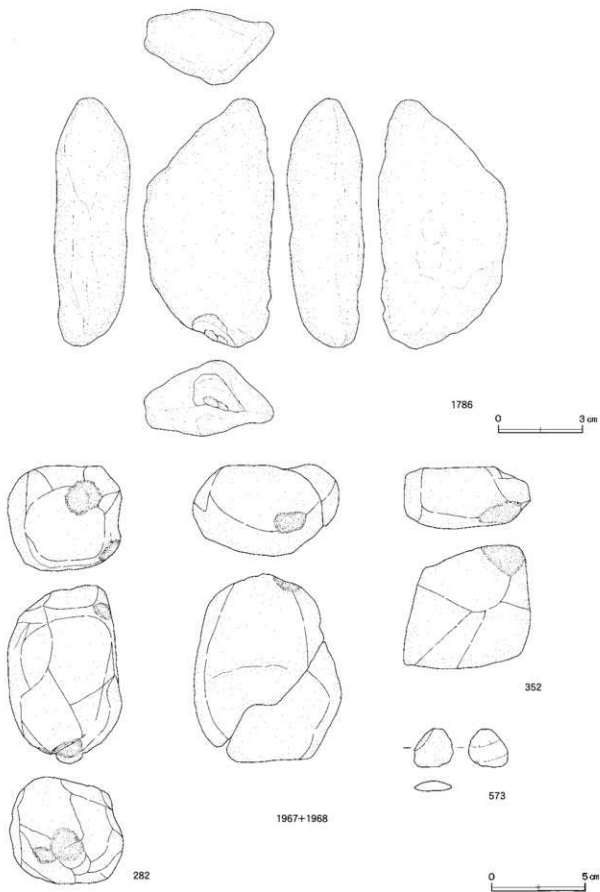
第115图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(6)



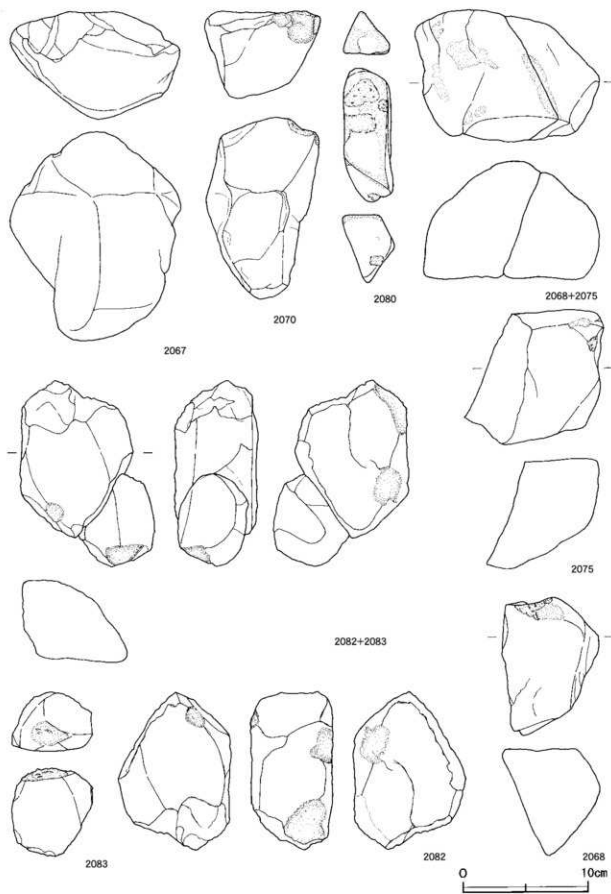
第116図 第1号石器集中地点出土遺物実測図(7)



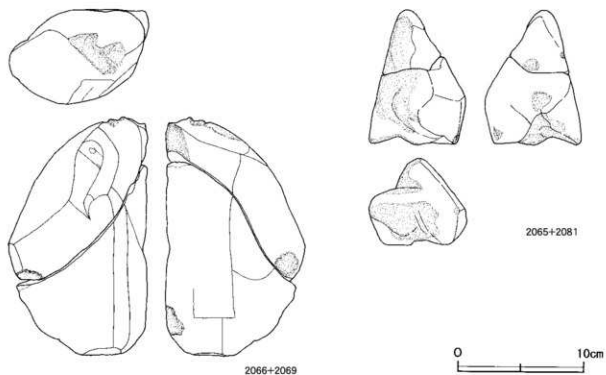
第117图 第1号石器集中地点出土遗物实测图(8)



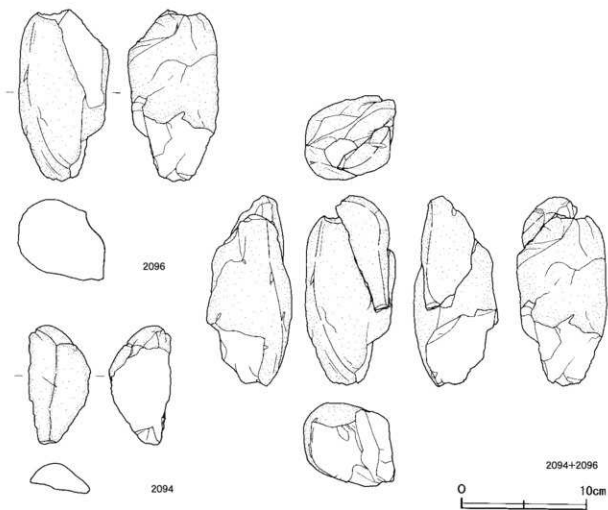
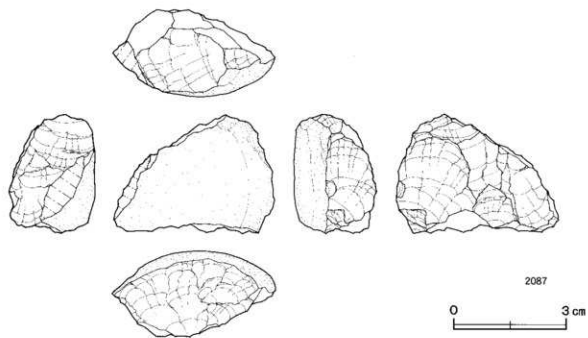
第118図 第1号石器集中地点出土遺物実測図(9)



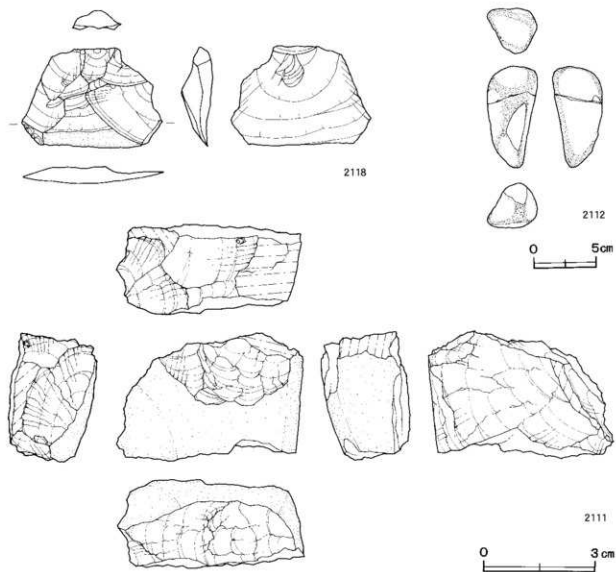
第119图 第2号石器集中地点出土遗物实测图(1)



第120図 第2号石器集中地点出土遺物実測図(2)

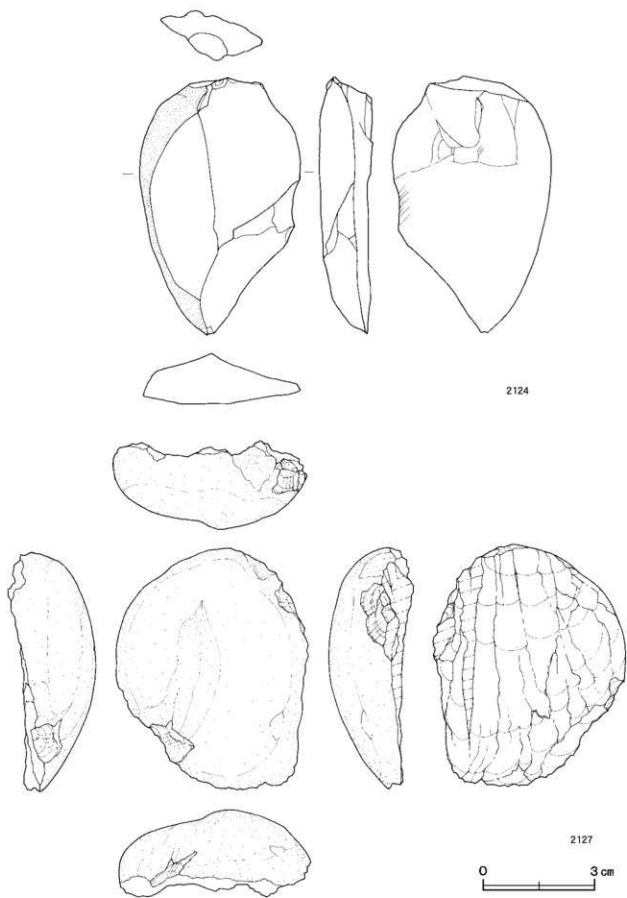


第121图 第3号石器集中地点出土遗物实测图

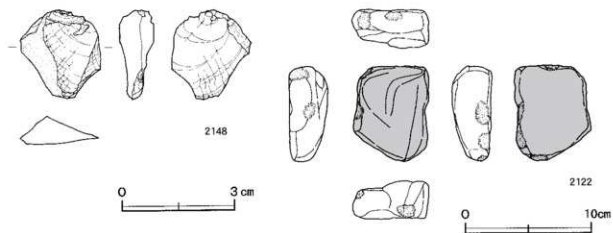


第122図 第4号石器集中地点出土遺物実測図

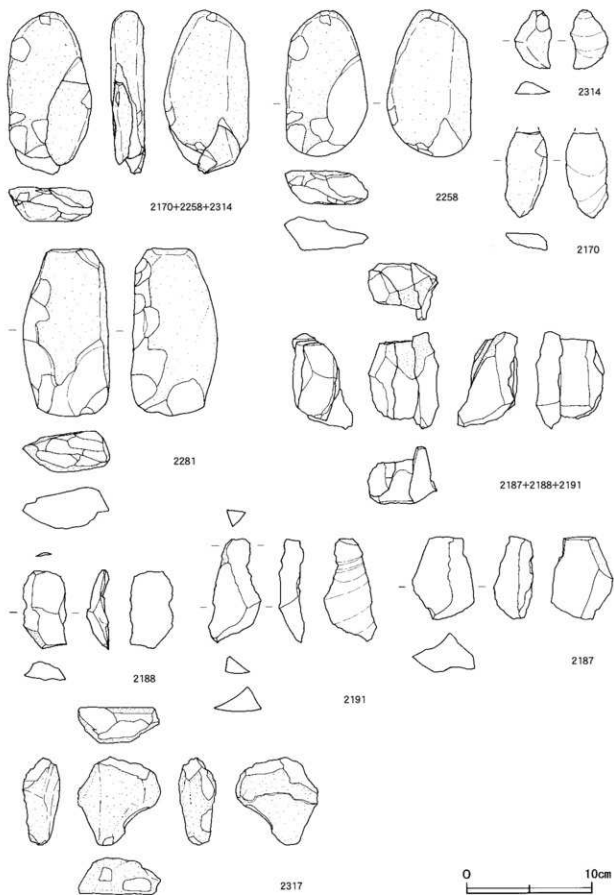




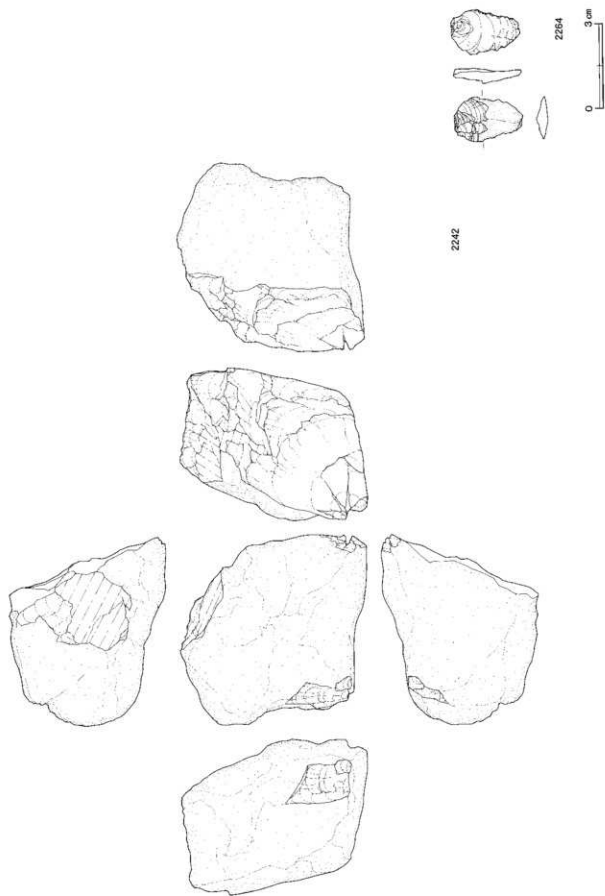
第123图 第5号石器集中地点出土遗物实测图(1)



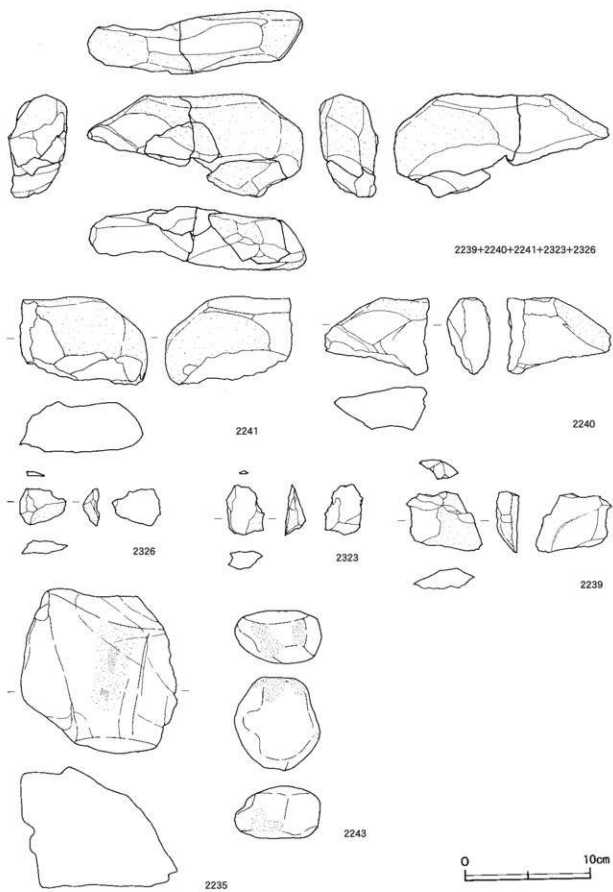
第124図 第5号石器集中地点出土遺物実測図(2)



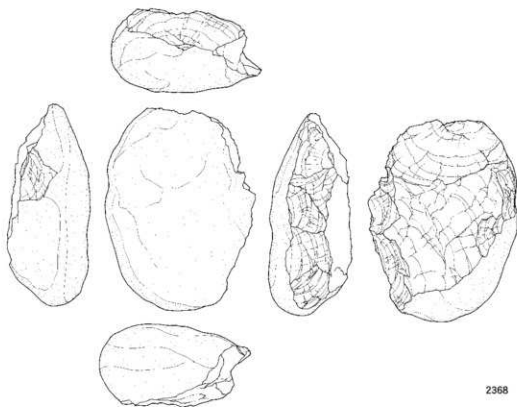
第125图 第6号石器集中地点出土物实测图(1)



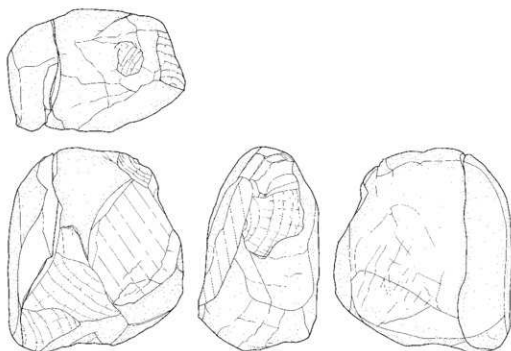
第126図 第6号石器集中地点出土遺物実測図(2)



第127图 第6号石器集中地点出土遗物实测图(3)



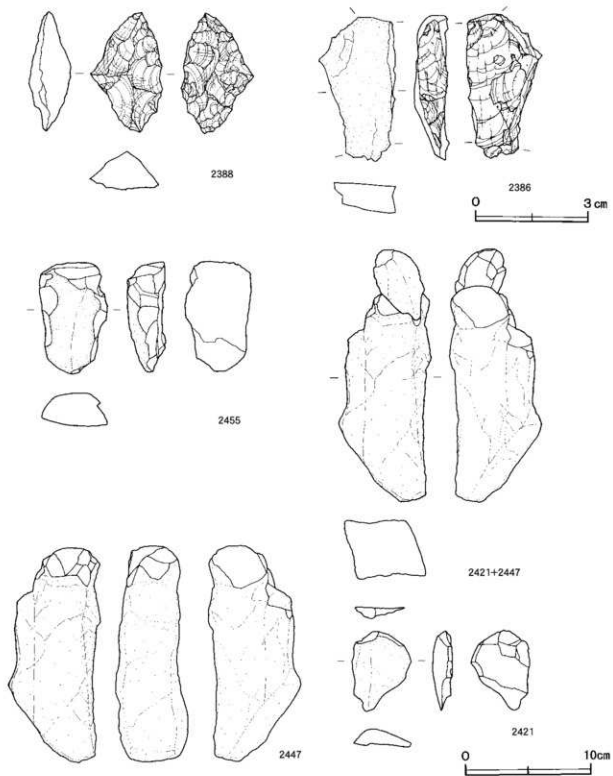
2368



2366+2384



第126図 第7号石器集中地点出土遺物実測図



第129图 第8号石器集中地点出土遗物实测图

## 2 縄文時代の遺構と遺物

縄文時代の遺構は、陥し穴13基が調査Ⅰ～Ⅲ・Ⅴ区にかけて列状に並んで確認されている。以下、遺構と遺物について記述する。

### 第1号陥し穴（SK42）（第130図）

**位置** 調査Ⅰ区のA2d6区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

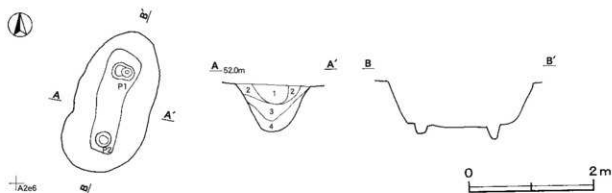
**規模と形状** 長径2.30m、短径1.14m、深さ76cmの長楕円形で、長径方向はN-20°-Eである。壁は長・短径方向ともに外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、小ピットが2か所確認されている。深さはP1が24cmで、P2が15cmである。

**覆土** 4層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

- |       |                         |       |                     |
|-------|-------------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、粘土ブロック微量 | 3 暗褐色 | ローム粒子多量、粘土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量          | 4 褐色  | ローム粒子多量、炭化粒子微量      |

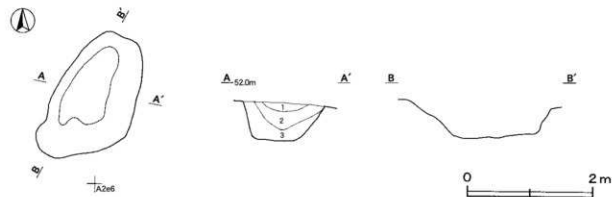
**所見** 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。第2号陥し穴とほぼ主軸を描えて東西に並んでいる。



第130図 第1号陥し穴実測図

### 第2号陥し穴（SK50）（第131図）

**位置** 調査Ⅰ区のA2d6区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。



第131図 第2号陥し穴実測図



**規模と形状** 長径2.24m、短径1.30m、深さ60cmの長楕円形で、長径方向はN-29°-Eである。底面は凹凸があり、壁は長・短径方向ともゆるやかに外傾して立ち上がっている。

**覆土** 3層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                  |      |         |
|-------|------------------|------|---------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量   | 3 褐色 | ローム粒子多量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量 |      |         |

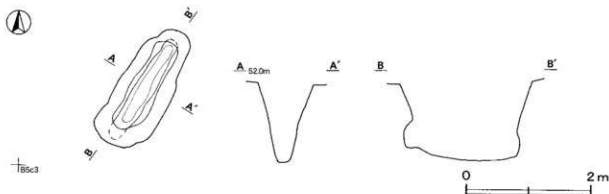
**所見** 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。第1号陥し穴とはほぼ主軸を揃えて東西に並んでいる。

**第3号陥し穴 (SK59) (第132図)**

**位置** 調査Ⅱ区のB5b3区で、標高52mほどの丘陵上平坦部の東縁に位置している。

**規模と形状** 長径2.12m、短径0.88m、深さ125cmの長楕円形で、主軸方向はN-35°-Eである。底面はほぼ平坦で、壁は長径方向では中位がオーバーハングしており、上部は外傾して立ち上がっている。短径方向では下部が直立し、上部は外傾して立ち上がっている。

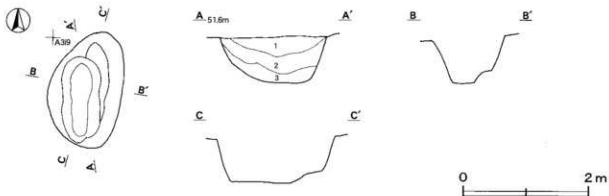
**所見** 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。覆土の堆積状況は、観察から自然堆積と考えられる。



第132図 第3号陥し穴実測図

**第4号陥し穴 (SK76) (第133図)**

**位置** 調査Ⅱ区のA3i9区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。



第133図 第4号陥し穴実測図

**規模と形状** 長径1.85m、短径1.17m、深さ74cmの長楕円形で、長径方向はN-10°-Eである。底面はほぼ平坦で、壁は長・短径方向ともに外傾して立ち上がっており、壁の一部は階段状に掘削されている。

**覆土** 3層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                       |      |                  |
|-------|-----------------------|------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量        | 3 褐色 | ロームブロック中量、炭化粒子微量 |
| 2 褐色  | ロームブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |      |                  |

**所見** 時期は、形態および覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。第7号陥し穴とほぼ軸を揃えて南北に並んでいる。

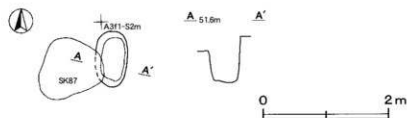
**第5号陥し穴 (SK78) (第134図)**

**位置** 調査I区のA3f1区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

**重複関係** 第87号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長径0.89m、短径0.51m、深さ85cmの楕円形で、長径方向はN-5°-Eである。底面はほぼ平坦で、壁は長・短径方向ともに直立している。

**所見** 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。覆土の堆積状況は、観察から自然堆積と考えられる。



第134図 第5号陥し穴実測図

**第6号陥し穴 (SK85) (第135図)**

**位置** 調査II区のA3g7区で、標高51mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

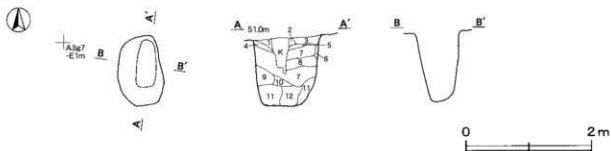
**規模と形状** 長径1.12m、短径0.80m、深さ110cmの楕円形で、長径方向はN-3°-Eである。底面はほぼ平坦で、壁は長・短径方向ともに直立している。

**覆土** 12層に分層される。同じ土が交互に堆積していることやローム土が中層に厚く堆積しているなど、不自然な堆積状況であるため、人為堆積と考えられる。なお、6層は壁が崩落したものと考えられる。

**土層解説**

- |       |                         |        |                       |
|-------|-------------------------|--------|-----------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量     | 8 褐色   | ローム粒子多量、赤土・赤色スコリア中量   |
| 2 暗褐色 | ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量     | 9 明褐色  | ローム土                  |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量、焼土粒子微量          | 10 暗褐色 | ローム粒子多量、赤土・赤色スコリア微量   |
| 4 暗褐色 | ローム粒子中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量 | 11 黒褐色 | ロームブロック少量、赤土・赤色スコリア微量 |
| 5 暗褐色 | 焼土ブロック・ローム粒子中量、炭化粒子微量   | 12 褐色  | ローム粒子中量、赤土・赤色スコリア微量   |
| 6 明褐色 | ローム土                    |        |                       |
| 7 黒褐色 | ローム粒子多量、赤土・赤色スコリア少量     |        |                       |

**所見** 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。



第135図 第6号陥し穴実測図

### 第7号陥し穴（SK88）（第136図）

位置 調査Ⅱ区のA3h9区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

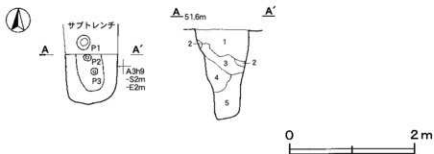
規模と形状 断ち割り調査を行ったため、長径は不明である。短径は0.80mで、深さ138cmの楕円形である。長径方向はN-0°と推測される。壁は長・短径方向ともに下部が直立しており、上部は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、小ピットが3か所確認されている。深さはP1・P2が1cm、P3は4cmである。また、西壁には底面から10cmほど上の位置に、深さ10cmの小ピットが斜めに掘削されている。

覆土 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。なお、第2層は壁が崩落したものと考えられる。

#### 土層解説

- |       |                        |      |                          |
|-------|------------------------|------|--------------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子・鹿沼パミス多量、炭化粒子少量   | 4 褐色 | ロームブロック少量、鹿沼パミス・赤色スコリア微量 |
| 2 明褐色 | ローム土                   | 5 褐色 | ローム粒子少量、鹿沼パミス微量          |
| 3 暗褐色 | ローム粒子中量、鹿沼パミス少量、炭化粒子微量 |      |                          |

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。第4号陥し穴とはほぼ主軸を揃えて南北に並んでいる。西壁の小ピットは、断ち割り調査を行い土層観察をした結果、植物が腐植したものと考えられ、木の枝などが打ち込まれていたものと推測される。



第136図 第7号陥し穴実測図

### 第8号陥し穴（SK120）（第137図）

位置 調査Ⅲ区のD9h7区で、標高36mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 長径2.60m、短径0.82m、深さ111cmの長楕円形で、長径方向はN-3°-Wである。底面はほぼ平坦で、壁は長・短径方向ともに外傾して立ち上がっている。

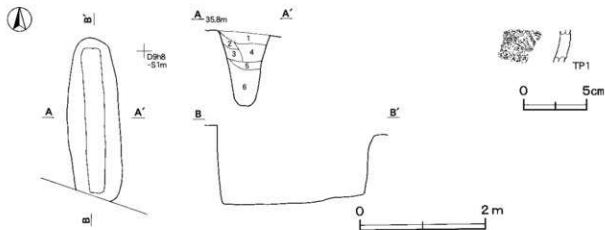
覆土 6層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

- |       |                         |       |                      |
|-------|-------------------------|-------|----------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子多量, 炭化粒子少量, 焼土粒子微量 | 4 暗褐色 | ローム粒子中量, 焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子多量, 炭化粒子少量         | 5 暗褐色 | ローム粒子多量, 炭化粒子微量      |
| 3 黒褐色 | ロームブロック多量, 炭化粒子微量       | 6 褐色  | ローム粒子多量, 炭化粒子微量      |

遺物出土状況 縄文土器片2点(深鉢)が覆土中から出土している。

所見 形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられる。2点の土器片は色調・胎土・焼成から同一個体のものであり、中期の土器である。器面及び破断面の摩擦がみられることから、流れ込んだものと考えられる。よって本跡の時期は、中期以降と考えられる。



第137図 第8号陥し穴・出土遺物実測図

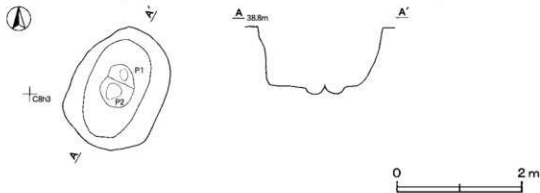
第8号陥し穴出土遺物観察表 (第137図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
TP1	縄文土器	深鉢	—	(2.5)	—	長石・石英	橙	普通	沈澱により文様腐文	覆土中	

第9号陥し穴 (SX2) (第138図)

位置 調査Ⅲ区のC 8g3区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 長径1.98m, 短径1.48m, 深さ98cmの楕円形で、長径方向はN-27°-Eである。壁は長・短径方向ともに外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、小ピットが2か所確認されている。深さはP1が14cmで、P2が17cmである。



第138図 第9号陥し穴実測図

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。覆土の堆積状況は、観察から自然堆積と考えられる。

### 第10号陥し穴（SK202）（第139図）

位置 調査V区のC6d4区で、標高47mほどの斜面部に位置している。

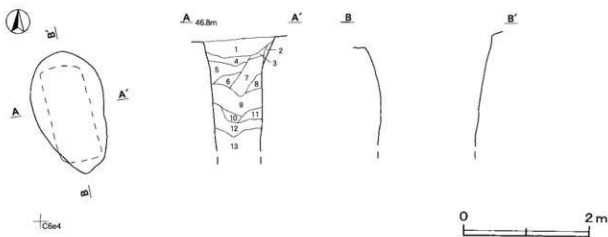
規模と形状 長径1.98m、短径1.17mの長楕円形で、長径方向はN-20°-Wである。深さは180cmまで確認されており、底面までの深さは推定で240cmほどである。壁は長・短径方向ともに直立し、上部で外傾して立ち上がっている。

覆土 13層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量	8 暗褐色 ローム粒子中量
2 褐色 ローム粒子中量	9 暗褐色 ローム粒子少量
3 暗褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量	10 暗褐色 ロームブロック少量
4 暗褐色 ローム粒子微量	11 暗褐色 ローム粒子少量
5 暗褐色 ロームブロック微量	12 暗褐色 鹿沼パミス少量、ロームブロック微量
6 暗褐色 ローム粒子少量	13 暗褐色 ローム粒子・鹿沼パミス微量
7 黒褐色 ローム粒子少量	

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期は明確にできない。本跡は、鹿沼軽石層直下のハードローム層まで掘り込みが達している。



第139図 第10号陥し穴実測図

### 第11号陥し穴（SK216）（第140図）

位置 調査V区のB5h9区で、標高50mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長径1.78m、短径1.11m、深さ185cmの長楕円形で、長径方向はN-18°-Wである。底面はほぼ平坦で、壁は長・短径方向ともに中位がオーバーハングしており、上部は外傾して立ち上がっている。

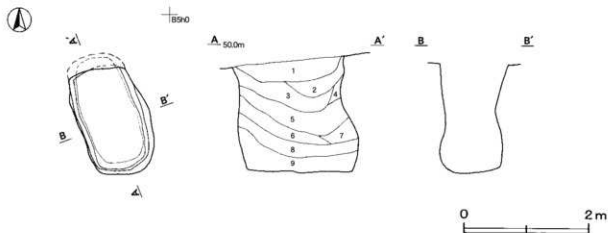
覆土 9層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

1 暗褐色 ローム粒子少量	6 褐色 ロームブロック中量
2 黒褐色 ローム粒子少量	7 黒褐色 鹿沼パミス少量、ローム粒子微量
3 黒褐色 ローム粒子・鹿沼パミス微量	8 黒褐色 ローム粒子・鹿沼パミス少量
4 黒褐色 ロームブロック少量	9 黒褐色 鹿沼パミス微量
5 暗褐色 ローム粒子・鹿沼パミス少量	

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期は明確にできない。

本跡は、鹿沼軽石層直下のハードローム層まで掘り込みが達している。



第140図 第11号陥し穴実測図

#### 第12号陥し穴 (SK223) (第141図)

位置 調査V区のB 6 i2区で、標高50mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長径1.90m、短径1.40m、深さ200cmの楕円形で、長径方向はN-60°-Wである。壁は長・短径方向ともに下部が直立しており、上部は外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、小ピットが3か所確認されている。深さはP 1が11cm、P 2が15cm、P 3が12cmである。

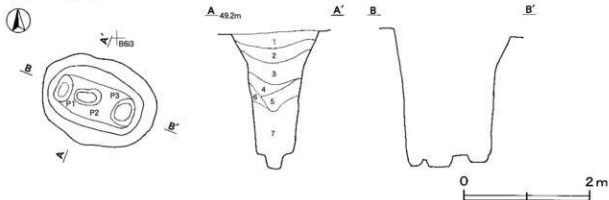
覆土 7層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

##### 土層解説

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子少量       | 5 褐色 ローム粒子中量、鹿沼パミス微量 |
| 2 暗褐色 ロームブロック微量     | 6 暗褐色 ローム粒子・鹿沼パミス少量  |
| 3 黒褐色 ローム粒子少量       | 7 暗褐色 ローム粒子微量        |
| 4 黒褐色 ローム粒子・鹿沼パミス微量 |                      |

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期は明確にできない。

本跡は、鹿沼軽石層直下のハードローム層まで掘り込みが達している。



第141図 第12号陥し穴実測図

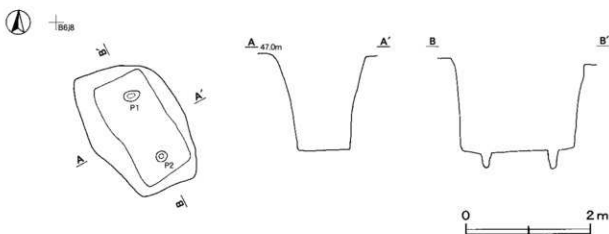
#### 第13号陥し穴 (SK294) (第142図)

位置 調査V区のB 6 j8区で、標高47mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長径2.05m、短径1.55m、深さ154cmの楕円形で、長径方向はN-27°-Wである。壁は長・短径

方向ともほぼ直立している。底面はほぼ平坦で、小ピットが2か所確認されている。深さはP1が25cm、P2が30cmである。

所見 時期は、形態及び覆土の土質から縄文時代と考えられるが、出土土器がないため時期を明確にできない。覆土の堆積状況は、観察から自然堆積と考えられる。



第142図 第13号陥し穴実測図

表12 縄文時代陥し穴一覧表

番号	位置	長径方向	平面形	規模(m) (長径×短径)	深さ (cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
1	A246	N-20°-E	長槽円形	2.30×1.14	76	外傾	平坦	自然	—	
2	A246	N-29°-E	長槽円形	2.24×1.30	60	外傾	凹凸	自然	—	
3	B563	N-35°-E	長槽円形	2.12×0.88	125	漏斗状	平坦	自然	—	
4	A319	N-10°-E	長槽円形	1.85×1.17	74	外傾	平坦	自然	—	
5	A311	N-5°-E	槽円形	0.89×0.51	85	直立	平坦	自然	—	本跡→S K87
6	A347	N-3°-E	槽円形	1.12×0.80	110	直立	平坦	人為	—	
7	A316	[N-0°]	槽円形	0.80×0.80	138	漏斗状	平坦	自然	—	土層に杭の痕跡確認
8	D967	N-3°-W	長槽円形	2.60×0.82	111	外傾	平坦	自然	縄文土器片(深鉢胴部)	
9	C843	N-27°-E	槽円形	1.98×1.48	98	外傾	平坦	自然	—	
10	C64	N-20°-W	長槽円形	1.98×1.17	[240]	漏斗状	—	自然	—	
11	B516	N-18°-W	長槽円形	1.78×1.11	185	袋状	平坦	自然	—	
12	B612	N-60°-W	槽円形	1.90×1.40	200	漏斗状	平坦	自然	—	
13	B618	N-27°-W	槽円形	2.05×1.35	154	直立	平坦	自然	—	

### 3 平安時代の遺構と遺物

平安時代の遺構は、竪穴住居跡25軒、火葬墓1基、土坑5基、不明遺構1基が確認されている。これらの遺構は、調査Ⅲ～Ⅵ区を中心に分布している。以下、遺構と遺物について記述する。

#### (1) 竪穴住居跡

##### 第1号住居跡(第143・144図)

位置 調査Ⅱ区のB4a5区で、標高52mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

重複関係 第83号土坑と第4号溝に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.15m，短軸2.91mの方形で，主軸方向はN—15°—Eである。壁高は36～48cmで，外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で，壁際を除いて全体的によく踏み固められている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで103cm，袖部幅は105cmである。袖部は棚状施設を一部掘削し，白色粘土を貼り付けて構築されている。火床部は床面から7cm皿状に掘りくぼめて，暗褐色土（竈土層断面図，第4層）を埋め土している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外へ28cm掘り込まれ，火床部から外傾して立ち上がっている。

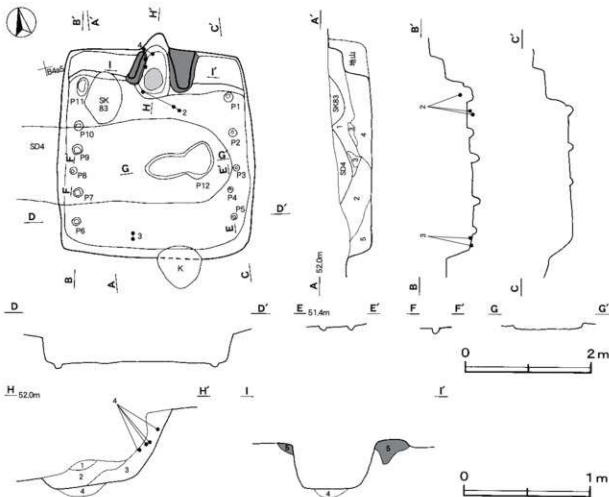
**竈土層解説**

- |       |                          |       |               |
|-------|--------------------------|-------|---------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量           | 4 暗褐色 | 粘土粒子多量，炭化粒子中量 |
| 2 暗褐色 | 粘土粒子・粘土粒子少量，炭化粒子微量       | 5 灰白色 | 砂多量           |
| 3 暗褐色 | 粘土粒子・粘土粒子中量，ローム粒子・炭化粒子少量 |       |               |

**棚状施設** 竈の両側に付設されている。壁の外側の地山を掘り込んで，そのまま平坦な使用面が構築されている。遺構確認面から使用面までの深さは25cm，使用面の幅は2.85m，奥行きは0.48mで，床面から使用面までの高さは45cmである。

**ピット** 12か所。P1～P11は深さ3～12cmで，壁際に並ぶ主柱穴と考えられる。P12は深さ5cmで，底面が平坦な断面皿状のピットであり，性格は不明である。

**覆土** 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており，自然堆積と考えられる。第3



第143図 第1号住居跡実測図



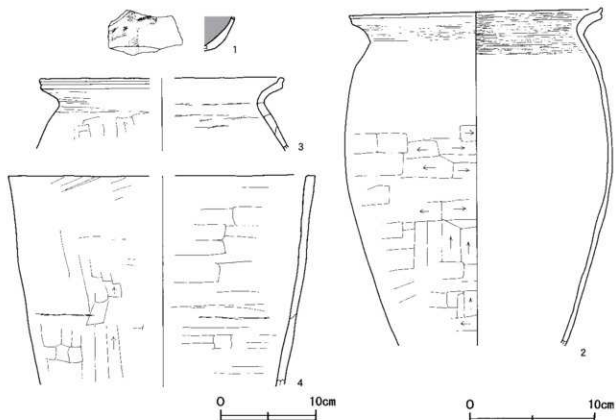
層は焼土層であり、埋没の途中で投棄されたと考えられる。

土層解説

- 1 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子・炭屑バミ 3 赤褐色 焼土粒子・炭化粒子多量  
 2 褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量 4 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量  
 5 明褐色 ローム土、炭化粒子・炭屑バミ少量

遺物出土状況 土師器片99点（坏2，碗1，甕91，甌5）が出土している。土器の大半は小破片で、中央部から甕前方にかけて多く出土しており、特に甕内から集中して出土している。2は甕前方の床面から出土した破片と、甕覆土下層から出土した破片が接合したものである。4は甕の覆土上層から中層にかけて散在している破片が接合したものである。1は覆土中から出土している。また、小破片で図示することができないが、甕覆土中から土師器碗片が出土している。甕内及び甕前方にかけて出土した土器は、離れた位置から出土した破片が接合しており、廃絶後の窪地に廃棄されたものと考えられる。

所見 廃絶時期は、土師器碗と2から10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。柵状施設は素掘りのタイプである。使用面には、小ピット、周溝、階段などの付属施設は確認されていない。



第144図 第1号住居跡出土遺物実測図

第1号住居跡出土遺物観察表（第144図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	土師器	坏々	—	(2.7)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	に4%・橙	普通	内面へラ磨き	覆土中層	5% 墨書体部外面(口)
2	土師器	甕	20.0	(26.8)	—	長石・石英・赤色粒子	に4%・橙	普通	口縁部内・外面横ナゲ 体部外面へラケリ後ナゲ 内面ナゲ	床面+下層	45%
3	土師器	甕	[19.2]	(6.7)	—	長石・石英・赤色粒子	に4%・橙	普通	口縁部内・外面横ナゲ 体部外面へラケリ後ナゲ 内面ナゲ 輪積み痕あり	床面+下層	5%
4	土師器	甌	[32.4]	(22.3)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	明褐色	普通	体部外面へラケリ後ナゲ 内面へラナゲ 輪積み痕あり	甕内上へ中層	5%

## 第2号住居跡（第145～147図）

**位置** 調査Ⅲ区のD9c1区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 長軸4.74m、短軸3.71mの長方形で、主軸方向はN-3°-Wである。壁高は16～45cmで、ほぼ直立している。

**床** 凹凸があり、壁際を除いて全体的によく踏み固められている。貼床はロームブロックを含む暗褐色土（覆土土層断面図、第8層）を埋め土して構築されている。掘り方は、中央部を島状に掘り残すように壁近くを一段深く掘り込んでいる。壁溝が、南東コーナーを除いて確認されている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。火床から50cmほど上に白色粘土で構築された厚さ20cmほどの天井部が一部遺存している。規模は焚口部から煙道部まで120cm、袖部幅は128cmである。袖部は地山を掘り残して基部とし、その上に暗褐色土とローム土と赤化した粘土を互層にし、さらに白色粘土を貼り付けて構築されている。内側は火熱により強く赤変している。焼けた粘土が付着した土師器片は、粘土に混ぜた補強材と考えられる。火床部は床面から10cm凹凸に掘りくぼめて、暗褐色土（竈土層断面図、第30～32層）を埋め土している。火床部の中央部やや左寄りに支脚が据えられており、支脚・火床面は強く赤変硬化している。煙道部は壁外へ68cm掘り込まれ、火床部から階段状に立ち上がっている。

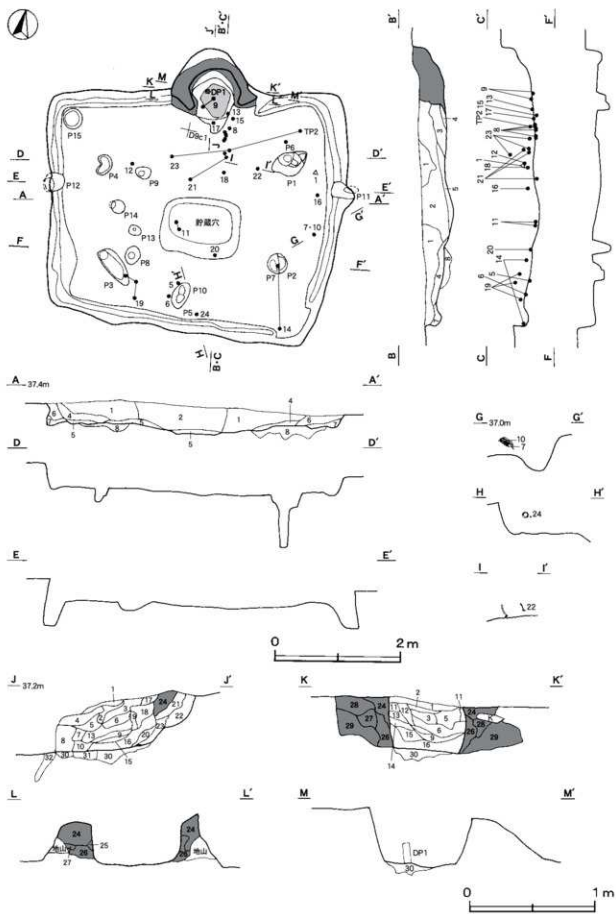
## 竈土層解説

1 暗褐色 粘土ブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	17 黒褐色 焼土ブロック・粘土ブロック微量
2 暗褐色 粘土ブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量	18 灰褐色 粘土粒子多量、焼土粒子少量、炭化粒子微量
3 暗褐色 粘土ブロック中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量	19 暗褐色 焼土粒子多量、粘土粒子微量
4 浅黄褐色 焼土粒子・炭化粒子少量	20 暗褐色 焼土粒子・粘土粒子微量
5 黒褐色 焼土ブロック・炭化粒子微量	21 暗褐色 粘土ブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
6 浅黄褐色 焼土ブロック少量、炭化物微量	22 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量
7 黒褐色 焼土ブロック微量	23 暗褐色 焼土ブロック微量
8 暗褐色 焼土粒子中量、粘土ブロック・炭化粒子少量	24 浅黄褐色 焼土ブロック少量
9 暗褐色 焼土粒子多量、粘土ブロック中量、炭化物少量	25 浅黄褐色 暗褐色土ブロック多量
10 赤褐色 焼土粒子多量	26 赤褐色 焼土粒子多量
11 黒褐色 粘土ブロック中量、焼土粒子・炭化粒子微量	27 明褐色 ローム土
12 暗褐色 粘土ブロック・焼土粒子中量、炭化粒子少量	28 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量
13 灰褐色 粘土ブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量	29 明褐色 ローム土
14 浅黄褐色 焼土粒子・炭化粒子微量	30 赤褐色 焼土粒子多量
15 灰褐色 粘土ブロック・焼土粒子多量	31 暗褐色 焼土ブロック少量
16 灰赤褐色 焼土粒子多量、炭化粒子中量	32 暗褐色 ローム粒子中量

**ピット** 15か所。P1～P4は深さ15～24cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。P5は深さ10cmで、南壁際の中央部にあり、P1～P4に対応する出入り口施設に伴うピットと考えられる。P6～P9はP1～P4の内側から確認され、深さ20～84cmである。掘り込みの深さにばらつきがあるが、規模と配置から主柱穴と考えられる。P10はP5の内側から確認され、P6～P9に対応する出入り口施設に伴うピットと考えられる。P9が貼床を除去した後に確認されたことから、P6～P10が建て替え前の住居に伴うピットであり、P1～P5が建て替え後のピットと考えられる。P11は深さ42cmで、東壁の中央部を内傾して掘り込んでいる。P12は深さ39cmで、西壁の中央部を内傾して掘り込んでいる。P11・P12は、対になるものと考えられ、屋根部材を支える補助柱穴と考えられる。P13～P15は深さ10cmで、性格は不明である。

**貯蔵穴** 中央部に位置している。長軸1.25m、短軸0.95mの隅丸長方形で、深さ15cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに外傾して立ち上がっており、断面形は皿状を呈している。覆土は住居全体とともに埋められたと考えられる。

**覆土** 7層に分層される。ほぼ同じ色調・含有物のよく締まっている土砂が、床面全体の覆土上層まで堆積しており、人為堆積と考えられる。第8層は貼床の構築土である。



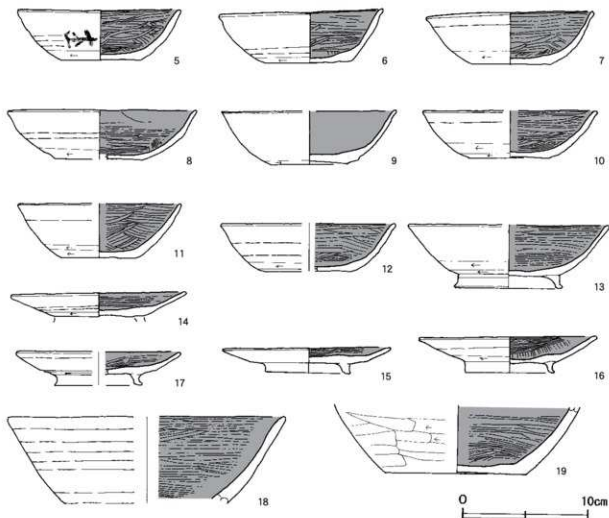
第145图 第2号住居跡実測图

土層解説

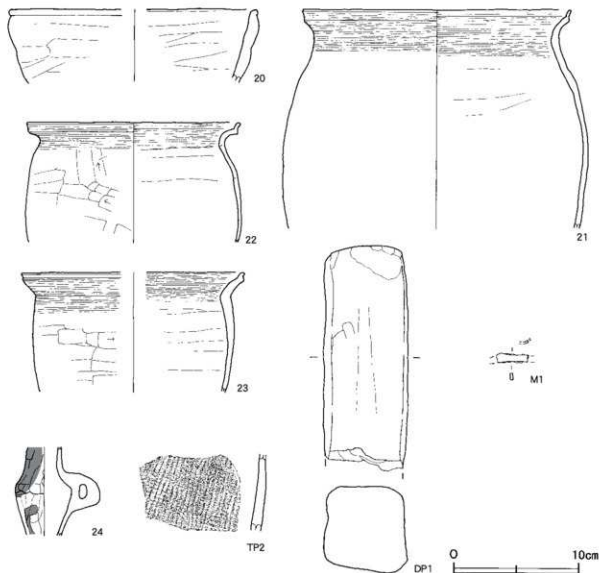
1 黒褐色	ロームブロック多量、炭化粒子少量	5 暗褐色	ローム粒子多量
2 黒褐色	炭化粒子中量、ロームブロック少量、炭化粒子微量	6 暗褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
3 暗褐色	焼土粒子・炭化粒子中量、粘土粒子少量	7 褐色	ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量
4 黒褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	8 暗褐色	ロームブロック多量、炭化粒子微量（粘床構築土）

**遺物出土状況** 土師器片526点（坏340、椀17、高台付皿34、鉢1、甕133、瓶1）、須恵器片8点（瓶2、甕6）、ミニチュア土器1点、土製品1点（支脚）、鉄製品1点（不明）が出土している。多量の土器片が住居全域の覆土下層から床面にかけて出土している。5・6は南壁中央寄りの床面、8・15は竈前方の床面、22は中央部の床面から逆位で出土している。7・10は東壁中央の覆土下層から他の5個体の土師器供膳具と重なって逆位で出土している。14は南東コーナー部と中央部の覆土下層から出土した破片が接合したものである。16は東壁際の覆土下層、24は南壁中央際の覆土下層から出土している。TP2は北東コーナー寄りの覆土下層、M1は東壁寄りの覆土下層から出土している。覆土下層から床面にかけて出土した遺物は、遺棄されたもの及び廃絶時に一括して廃棄されたものと考えられる。この他に混入した須恵器坏片、陶器片、黒曜石の剥片が出土している。

**所見** 廃絶時期は、須恵器供膳具が見られず貯蔵具が残ること、及び土師器供膳具の構成から10世紀初頭と考えられる。住居を拡張しており、他の住居より居住期間が長いものと考えられる。また、多量の土師器供膳具が出土しており、集落の中心的な住居の可能性がある。



第146図 第2号住居跡出土遺物実測図(1)



第147図 第2号住居跡出土遺物実測図②

第2号住居跡出土遺物観察表 (第146・147図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
5	土師器	環	12.7	4.1	6.3	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	床面	100% 磨き 体面外面横位(口) PL25
6	土師器	環	12.8	4.3	6.8	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部ヘラ切の後未調整	床面	100%
7	土師器	環	13.1	4.2	6.4	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	下層	75% 体面外面横位付
8	土師器	環	14.7	4.0	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	床面	75%
9	土師器	環	[13.7]	4.3	6.2	長石・石英	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面未調整 底部切の磨し後ナデ	竈火床部	40%
10	土師器	環	[13.7]	3.8	[6.4]	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	下層	30%
11	土師器	環	[12.8]	4.3	6.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	貯蔵穴内下層	30%
12	土師器	環	[13.7]	3.8	6.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	明橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ	下層	15%
13	土師器	碗	[15.8]	5.0	8.6	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後高台貼り付け	床面	25% 磨けた粘土付着 磨き跡付
14	土師器	高台付皿	13.8	(2.1)	—	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後ナデ 高台貼り付け	下層	95%
15	土師器	高台付皿	13.2	2.2	6.6	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後ナデ 高台貼り付け	床面	80%
16	土師器	高台付皿	14.1	2.9	7.0	長石・石英	にぶい赤橙	普通	体部下端内転ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の磨し後内転ヘラケズリ 高台貼り付け	下層	50% 体面内・外面が二次火焼により赤色

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
17	土師器	高台付皿	[12.8]	2.6	[6.9]	長石・石英・雲母・赤色粒子	にじみ焼	普通	体部下端部断ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切の難し後ナデ 高台貼り付	床面	3% 底部外周部二次火熱により赤変 底面 紅褐色に染み 黒変あり
18	土師器	鉢	[21.8]	(6.9)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	にじみ焼	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土下層	15%
19	土師器	鉢	—	(5.4)	11.3	長石・石英	にじみ焼	普通	体部外面ヘラケズリ 内面ヘラ磨き	床面+下層	10%
20	土師器	鉢	[19.6]	(8.8)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	にじみ焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部内外面削りナデ	床面	5%
21	土師器	甕	21.2	(17.5)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	にじみ焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部内外面削りナデの痕ナデ	床面+下層+覆土	40%
22	土師器	甕	16.8	(9.5)	—	長石・石英・雲母	にじみ赤焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面ヘラケズリ後ナデ 内面ナデ 輪積み痕あり	床面	35%
23	土師器	甕	[17.6]	(9.6)	—	長石・石英・雲母	にじみ焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面ヘラケズリ後ナデ 内面ナデ	下層	20%
24	ミニチュア土器	—	—	(7.0)	—	長石・石英	にじみ焼	普通	体部外面ヘラケズリ後磨き 把手は体部に貼り付け後ナデながらびつに整形	下層	80% 体部外面が二次火熱により弱く赤変P1.26
Tp2	須恵器	甕	—	(6.1)	—	長石・石英・雲母	明焼	普通	体部外面平行明き 内面指節による押さふ痕あり	下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DF1	支脚	(18.0)	6.8	6.9	(1050)	粘土(長石・石英・雲母)	外面ヘラナデ ナデ	火床部設置	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M1	不明	(2.6)	0.7	0.3	(0.94)	鉄	断面長方形 一端が折り返されている	下層	

### 第3号住居跡(第148図)

位置 調査Ⅲ区のD 9g4区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

確認状況 遺構確認の段階で削平され、南側は調査区域外に延びている。

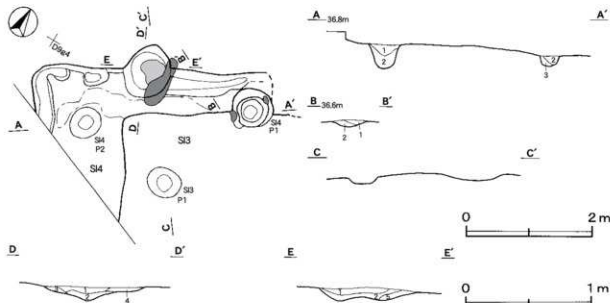
重複関係 第4号住居跡を掘り込んでいる。

規模と形状 不明である。主軸方向はN-30°-Wと推定される。

床 硬化面が一部確認されている。

竈 白色粘土と径35cmほどの焼土範囲が、第4号住居跡のP1の上の面から確認され、それぞれ竈構築材及び火床面と考えられる。これらの位置から竈は北壁に付設されていたと考えられる。

ピット 1か所。深さは11cmで、竈との位置関係から主柱穴と考えられる。



第148図 第3・4号住居跡実測図

**遺物出土状況** 土師器片が1点、P1の底面から出土している。

**所見** 遺存状態が悪く詳細は不明である。土師器片も細片であり時期を明確にできないが、集落の継続期間内に属する10世紀代と考えられる。

#### 第4号住居跡（第148図）

**位置** 調査Ⅲ区のD9g4区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**確認状況** 遺構確認の段階で大半が削平され、南側は調査区域外に延びている。

**重複関係** 第3号住居に掘り込まれている。

**規模と形状** 東西3.82m、南北2.05mが確認されている。平面形は方形もしくは長方形と考えられ、主軸方向はN-30°-Wと推定される。

**床** 硬面が一部確認されている。壁溝が北・西壁下に確認されている。

**竈** 北壁に付設されている。右袖部の基部と考えられる白色粘土が確認されている。火床部は床面より5~10cm皿状にくぼんでおり、火床面は赤変している。煙道部は壁外へ48cm掘り込まれ、立ち上がりがわずかに確認されている。

##### 覆土層解説

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量    | 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量 |
| 2 暗褐色 粘土粒子・砂粒中量、焼土粒子少量     | 5 灰褐色 焼土ブロック中量、ローム粒子少量  |
| 3 暗赤灰色 粘土粒子少量、ローム粒子・焼土粒子微量 |                         |

**ピット** 2か所。P1・P2は深さ15cm・38cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。

##### P1・P2土層解説（各ピット共通）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1 暗褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量 | 3 明褐色 ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量  |                      |

**覆土** 2層に分層される。覆土が薄いため、堆積状況は不明である。

##### 土層解説

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量 | 2 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量 |
|--------------------|----------------------|

**遺物出土状況** 土師器片10点（坏3、甕7）が、竈火床部とP2及び壁溝内から出土している。この他に混入した陶器片1点、磁器片1点が出土している。

**所見** 遺存状態が悪く詳細は不明である。土師器片も細片であり時期を明確にできないが、集落の継続期間内に属する10世紀代と考えられる。

#### 第5号住居跡（第149・150図）

**位置** 調査Ⅲ区のD8a5区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 長軸3.54m、短軸3.08mの方形で、主軸方向はN-16°-Eである。壁高は29~38cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で、壁際を除いて全体的に踏み固められている。壁溝が、北壁下を除いて確認されている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。袖部は住居の内部に延びておらず、竈は北壁ラインから外側に粘土で構築されていたと推測される。規模は焚口部から煙道部まで102cm、焚口部幅65cmである。火床部から出土している焼けた粘土が付着した土師器片は、白色粘土に混ぜられた補強材と考えられる。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変している。煙道部は壁外へ30cm掘り込まれ、火床部から緩やかに外傾して立ち上がっている。煙道部及び火床部の壁面には、白色粘土が厚さ8~15cm貼り付けられており、赤変している。

覆土層解説

- |       |                       |        |                 |
|-------|-----------------------|--------|-----------------|
| 1 暗褐色 | 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量   | 4 暗褐色  | 焼土ブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗赤褐色 | 焼土粒子多量          |
| 3 灰褐色 | 焼土粒子少量、炭化粒子微量         | 6 赤褐色  | 砂多量             |

ピット 7か所。P1～P3は深さ12～18cmで、東西壁際で対になるものと考えられ、屋根部材を支える補助柱穴と考えられる。P4～P7は深さ21～36cmで、性格は不明である。

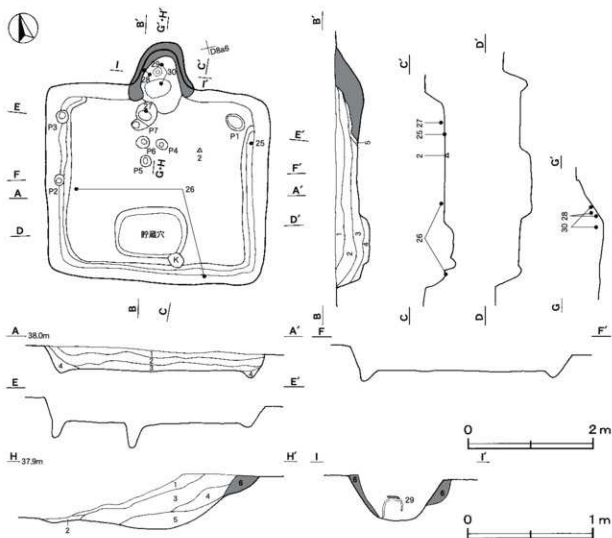
貯蔵穴 南壁寄りの中央部に位置している。長軸115cm、短軸80cmの隅丸方形で、深さは17cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに外傾して立ち上がっており、断面形は皿状を呈している。覆土は周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

覆土 5層に分層される。周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

- |       |                   |       |                     |
|-------|-------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量      | 4 明褐色 | ローム粒子中量             |
| 2 黒色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 |       |                     |

遺物出土状況 土師器片296点（坏34、碗10、鉢2、甕類250）、須恵器片1点（甕）、土製品1点（支脚）、鉄製品1点（刀子）が出土している。土器の大半は小破片で、住居全域から散在して出土しており、特に竈内から集中して出土している。29は火床面よりやや煙道部寄りの位置で、焼土層である第5層中から逆位で出土し

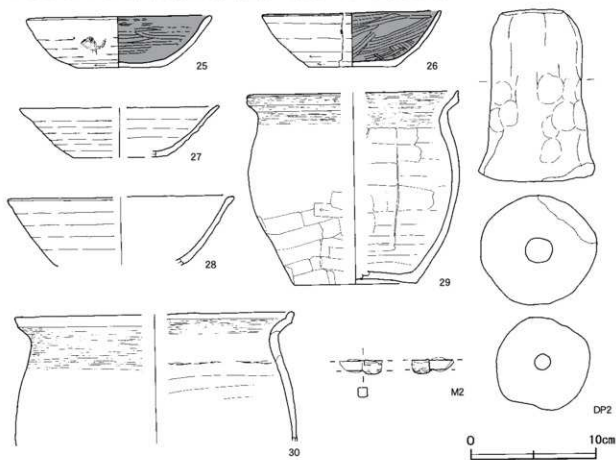


第149図 第5号住居跡実測図



ている。DP2は竈の覆土中から出土している。M2は中央部の床面から出土している。29・DP2・M2は廃絶時に遺棄されたものと考えられる。26は南壁中央の壁溝の底面と西壁中央際の覆土下層から出土した破片が接合したものである。25は北東コーナー寄りの壁溝の底面から出土している。壁際及び中央部から出土した土器は、離れた位置から出土した破片が接合した26のように廃絶後の窪地に廃棄されたもの、又は、器面や破断面が摩滅した須恵器片のように流入したものと考えられる。

所見 廃絶時期は、覆土下層から出土した土器及び須恵器が伴わないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。自然礫が南壁寄りの床面から出土しており、火熱により赤変していることから、竈構築材と考えられる。完形の支脚が竈の覆土中から出土していることや、天井部が自然に崩落した様相も無いことから、竈を廃絶時に意図的に壊して、構築材を廃棄していったものと推測される。29は二次火熱による赤変及び煤の付着が見られないことから、竈を壊した後に意図的に遺棄されたものと考えられる。



第150図 第5号住居跡出土遺物実測図

第5号住居跡出土遺物観察表(第150図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
25	土師器	坏	14.5	4.1	6.5	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	褐色	普通	体部下端削輪ヘラクスリ 内面ヘラ磨き 底部切り離し後回転ヘラクスリ	壁溝	100% 墨書 体部外面「口」PL25
26	土師器	坏	14.2	4.5	6.8	長石・石英・雲母	にぶい・黄褐色	普通	体部下端削輪ヘラクスリ 内面ヘラ磨き 底部切り離し後回転ヘラクスリ	壁溝+下層	50% 墨痕 体部外面
27	土師器	坏	[15.6]	3.9	[7.6]	石英・雲母	明褐色	普通	ロクロナデ 内面未調整	下層	20% 体部内・外面が二次火熱により赤変・剥落 煤・粘土付着
28	土師器	坏	[17.8]	(5.4)	—	長石・石英・雲母	にぶい・褐色	普通	ロクロナデ 内面未調整	竈下層	20% 体部内・外面が二次火熱により赤変・剥落

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
29	土師器	甕	[16.6]	15.2	9.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラケズリ横ナデ 内面へラナデ 輪積み痕あり	火床部	40%
30	土師器	甕	[22.0]	(10.3)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部内・外面ナデ 内面輪積み痕あり	電下層	10%

番号	器種	長さ	最大径	最小径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
IP2	支脚	13.6	9.2	4.9	1000	粘土(長石・石英・雲母)	指彫による整形 外面ナデ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M2	刀子	(3.3)	0.8	0.7	(4.18)	鉄	基部に木質遺存	床面	

### 第6号住居跡 (第151・152図)

**位置** 調査Ⅲ区のD 8 d5区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

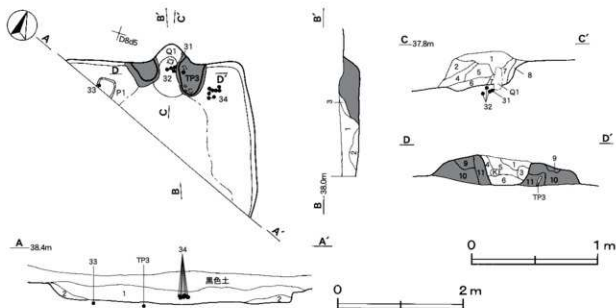
**規模と形状** 南西側が調査区域外に延びており、東西2.80m、南北2.45mだけが確認されている。平面形は方形もしくは長方形と考えられ、主軸方向はN-15°-Wと考えられる。壁高は15cmで、外傾して立ち上がっている。

**床** ほぼ平坦で、中央部が踏み固められているものと考えられる。

**竈** 北壁のやや東寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで84cm、袖部幅は120cmである。袖部は白色粘土の中に土師器片・須恵器片を補強材として混ぜて、床面の上に盛り上げて構築されている。袖部の内側は火熱により赤変している。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は焼土粒子・炭化粒子が見られるだけである。火床部の煙道部寄りに、自然産の支脚が据えられており、全面が強く赤変し、斑点状に黒変している。煙道部は壁外へ24cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がっている。

#### 竈土層解説

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 灰褐色 粘土ブロック中量、焼土ブロック微量 | 7 暗赤褐色 焼土ブロック少量、炭化物微量 |
| 2 暗褐色 粘土ブロック中量、ローム粒子微量  | 8 赤褐色 焼土粒子多量          |
| 3 黒褐色 焼土ブロック中量、粘土ブロック微量 | 9 黄褐色 砂多量、暗褐色土ブロック中量  |
| 4 暗褐色 粘土粒子少量            | 10 灰白色 砂多量            |
| 5 暗褐色 粘土ブロック中量          | 11 暗赤褐色 砂多量           |
| 6 黄褐色 砂多量               |                       |



第151図 第6号住居跡実測図

ピット 1か所。深さ15cmで、北壁寄りの位置にあり、性格は不明である。

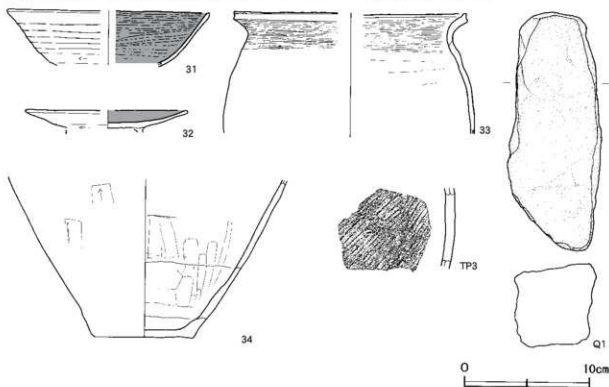
覆土 3層に分層される。周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量  
 2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量  
 3 黒褐色 粘土粒子中量、ローム粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片81点（坏13、高台付皿5、甕類63）、須恵器片1点（甕）、石製品1点（支脚）が出土している。土器の大半は小破片で、竈内から多く出土している。31・32と小破片で図示できないが土師器碗が、竈火床部から出土している。34は甕脇の覆土下層から潰れた状態で出土している。覆土下層から出土した土器は、廃絶後の窪地に廃棄されたものや流入したものと考えられる。32は全面が強く赤変し著しく剥落しており、TP3とともに粘土に混ぜられた甕補強材と考えられ、構築時のものである。

所見 廃絶時期は、出土土器及び須恵器が伴わないことから10世紀前葉と考えられる。



第152図 第6号住居跡出土遺物実測図

第6号住居跡出土遺物観察表（第152図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手付の特徴	出土位置	備考
31	土師器	坏	〔15.9〕	(4.4)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい、黄褐色	普通	体部下端凹縁へラ削り 内面へラ磨き	火床部	15%
32	土師器	高台付皿	〔12.8〕	(1.4)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい、黒	普通	体部下端凹縁へラ削り 内面へラ磨き 底部切の難し底凹縁へラ削り	火床部	50% 体部全面二次火焼により赤変、剥落 補強材
33	土師器	甕	〔18.4〕	(9.6)	—	長石・石英・雲母	にぶい、褐色	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラ削り	P1上層	5%
34	土師器	甕	—	(12.1)	7.9	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい、黄褐色	普通	体部下端凹縁へラ削り 内面ナデ 体部と底部の接合部に輪積を施す	下層	20%
TP3	須恵器	甕	—	(5.4)	—	長石・石英	明褐色	普通	外面平行叩き 内面指掘による押さえ	甕石積層補強材	二次火焼前補強材

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q1	支脚	18.8	7.5	6.6	1060	花崗岩	自然礫 全面赤変 端面剥落 端部粘土付着	火床部設置	

第7号住居跡 (第153・154図)

位置 調査Ⅲ区のD 8b2区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第131号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸3.15m、短軸2.87mの方形で、主軸方向はN-105°-Eである。壁高は26~32cmで、外傾して立ち上がっている。

床 凹凸があり、壁際を除いて全体的によく踏み固められており、特に竈前方が硬化している。壁溝が全周している。

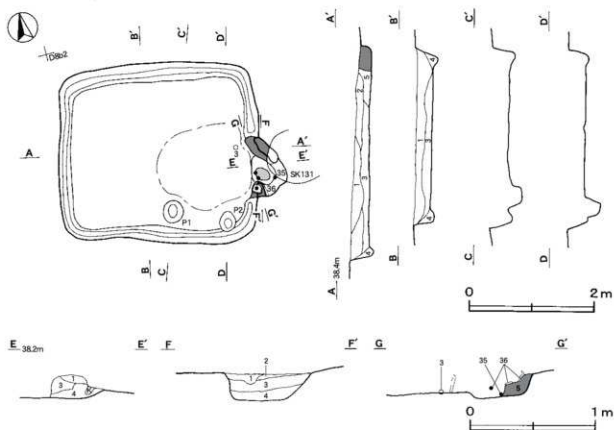
竈 東壁のやや南寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで48cm、袖幅は105cmである。袖部は床面の上に白色粘土を盛り上げて構築されており、右袖部には土師器甕が袖材として転用されている。袖部の内側は火熱により赤変している。火床部は床面とはほぼ同じ高さで、火床面は赤変硬化している。火床部中央の煙道部よりの位置に、土師器坏が支脚に転用されており、火熱により赤変し器面が剥落している。煙道部は壁外へ40cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ち上がっている。

竈土層解説

- |                               |                       |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 黒褐色 ロームブロック中量、ロームブロック炭化粒子微量 | 4 黒褐色 焼土ブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 焼土ブロック少量                | 5 灰褐色 焼土粒子・炭化粒子中量     |
| 3 灰褐色 粘土粒子中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量  |                       |

ピット 2か所。P1・P2は深さ23cm・20cmで、南壁際にある。規則性もなく性格は不明である。

覆土 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入しており、自然堆積と考えられる。



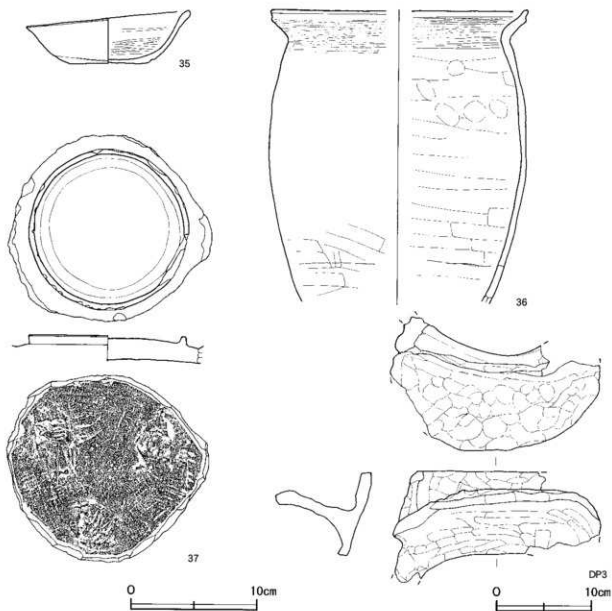
第153図 第7号住居跡実測図

土層解説

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック中量、ロームブロック微量   | 4 褐色 ローム粒子中量             |
| 2 黒褐色 粘土ブロック・焼土粒子少量、炭化粒子微量 | 5 黒褐色 粘土粒子中量、焼土粒子・炭化粒子少量 |
| 3 黒褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量       |                          |

遺物出土状況 土師器片144点（坏21，椀3，高台付皿1，甕類118，瓶1），須恵器片6点（坏1，甕4，円面碗1），土製品1点（置き籠）が出土している。土器の大半は小破片で、中央部と竈前方から多く出土しており、特に竈内に集中して出土している。DP3は竈前方の床面から出土しており、破損品を廃絶時にそのまま遺棄したものと考えられる。37は覆土中から出土している。須恵器破片は覆土下層から出土しており、破断面が摩滅していない比較的大きな破片で、廃棄されたものと考えられる。覆土下層から出土した遺物は、廃絶後の窪地に廃棄されたもの、又は、器面や破断面が摩滅した須恵器坏片のように流入したものと考えられる。

所見 廃絶時期は、出土土器及び須恵器供膳具が見られず貯蔵具が残ることから10世紀初頭ないしそれ以前と考えられる。



第154図 第7号住居跡出土遺物実測図

第7号住居跡出土遺物観察表(第154図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
35	土師器	杯	12.9	4.2	6.2	長石・石英・雲母	橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切り 履し後未調整	竈火床部	50% 文庫転用 体部内・外面二次火焼
36	土師器	甕	[20.2]	[23.4]	—	長石・石英・雲母	淡黄橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラケツリ横ナデ 内面へラナデ	竈右袖部内	50% 甕形転用 体部外面二次火焼
37	須恵器	円面硯	—	[2.1]	—	長石・石英	青灰	普通	横断面部 内径径 12.0cm 縁部断面一部残存 縦断面裏面に発成面の線状の刻みがある 方形の剥離痕あり 膠接部なし	覆土中	50% P1.26

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
DP3	置き竈	(22.2)	(14.4)	(11.9)	(80)	粘土(長石・雲母)	体部内・外面へラナデ 焚口部上位に直貼付 室内・外面指跡による整形 端部ナデ によって平滑 内面壁付着	床面	

## 第8号住居跡(第155・156図)

位置 調査IV区のC 8 d1区で、斜面部から裾部へ移行する位置に広がっている黒色土帯に位置している。

規模と形状 長軸3.15m、短軸2.91mの方形で、主軸方向はN-0°である。壁高は32~49cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部より西半分がよく踏み固められており、東壁側は軟弱である。

竈 北壁のほぼ中央部に棚状施設と一体化しており、白色粘土を充填して構築されている。規模は焚口部から煙道部まで67cm、焚口部前方は、床面からわずかにくぼんでいる。袖部は花崗岩の自然礫を白色粘土に埋め込み袖材としている。袖材間は43cmで、両袖材とも全面が赤変しており、特に火床部側の礫面が強く赤変して部分的に剥落している。右袖部の袖材と粘土の間に須恵器甕の体部片が挟まれており、袖補材として転用されたものである。火床部は床面から6cm皿状に掘りくぼめて、暗褐色土(竈土層断面図、第7層)を埋め土している。火床面は火熱により赤変硬化している。火床部中央の煙道部寄りの位置に、自然礫の支脚が据えられ、上端に土師器甕の底部片が、逆位で置かれている。支脚・甕の底部片は全面が強く赤変し、支脚は斑点状に黒変も見られる。煙道部は壁外へ49cm掘り込まれ、火床部からほぼ直立して立ちあがっている。

## 竈土層解説

1 黒褐色 焼土粒子微量	7 赤褐色 焼土粒子多量
2 灰褐色 焼土ブロック微量	8 灰褐色 砂多量(棚状施設)
3 黄褐色 砂多量(粘土)	9 暗赤褐色 炭化粒子・砂多量(棚状施設)
4 灰褐色 焼土ブロック少量	10 黄褐色 砂多量(棚状施設)
5 灰褐色 焼土ブロック中量、粘土粒子少量	11 赤褐色 焼土ブロック多量
6 暗赤褐色 焼土粒子多量	

棚状施設 竈の両側に付設されている。壁の外側の地山である黒色土を階段状に粗掘りして掘り方を設けてから、白色粘土を2~48cm充填して平坦な使用面が構築されている。遺構確認面と使用面の高さは同じである。使用面の幅は2.27m、奥行き0.62mの長方形で、床面から使用面までの高さは44cmである。

ピット 2か所。P1・P2は深さ35cm・17cmで、東壁際にある。規則性もなく性格不明である。

貯蔵穴 西壁寄りの中央部に位置している。長径1.36m、短径0.77mの楕円形で、深さは55cmである。底面はほぼ平坦で、壁はほぼ直立して立ち上がっており、断面形は箱状を呈している。覆土は周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

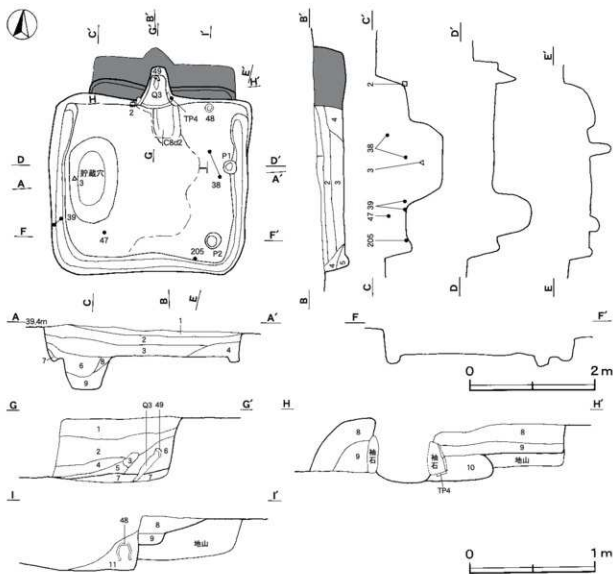
覆土 9層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入しており、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

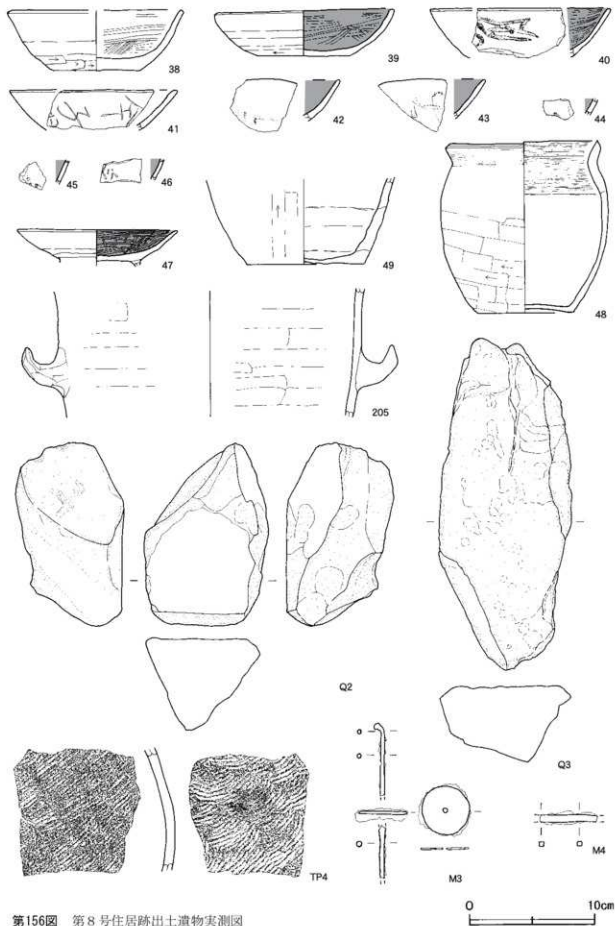
1 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量	6 褐色 ロームブロック多量
2 暗褐色 ローム粒子・焼土粒子中量、炭化粒子少量	7 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
3 黒褐色 ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量	8 暗褐色 ロームブロック多量
4 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子少量	9 褐色 ローム粒子多量
5 暗褐色 焼土粒子少量、ロームブロック微量	

**遺物出土状況** 土師器片817点（坏309, 钵18, 鉢4, 甕・瓶類486）、須恵器片23点（甕）、石製品2点（砥石1, 支脚1）、鉄製品2点（紡錘車1, 不明1）が出土している。土器の大半は小破片で、全域に散在して出土している。48は甕を挟んで右側の棚状施設の前方に堆積している焼土層中から逆位で出土している。Q2は竈脇の床面から出土している。48・Q2は廃絶時に遺棄されたものと考えられる。38は東壁寄りの覆土下層と床面の破片が接合したものである。39は南西コーナー寄りの壁溝内に散在している破片が接合したものである。205は南東コーナー部の床面から出土している。M3は貯蔵穴の覆土上層から出土している。40~46・M4は覆土中から出土している。壁際や貯蔵穴から出土した遺物は、離れた位置から出土した破片が接合しており、廃絶後の窪地に廃棄されたものと考えられる。また、器面や破断面が摩擦している47・205や覆土中から出土した須恵器破片は、流入したものと考えられる。また、電構築材に転用されている須恵器破片は構築時のものである。

**所見** 廃絶時期は、壁寄りの位置から出土した土器及び須恵器が伴わないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。棚状施設は充填タイプである。使用面には、小ピット、周溝、階段などの付属施設は確認されていない。焼土層の中から出土した土師器の小形甕はほぼ完形品で、焼土を意図的に覆い被せたものと考えられ、廃絶時に棚状施設の前で何らかの祭祀的行為が行われたと推測される。



第155図 第8号住居跡実測図



第156图 第8号住居跡出土遺物実測図



第8号住居跡出土遺物観察表 (第156図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
38	土師器	杯	[13.5]	4.8	7.0	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	体部下端手押らへラケズリ 内面へラ磨き 底面凹輪へラ切り後土調整	下層+床面	85%
39	土師器	杯	14.0	3.9	7.0	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい黄橙	普通	体部下端凹輪へラケズリ 内面へラ磨き 底面凹輪へラ切り後土調整	床面	70%
40	土師器	杯	[14.2]	(3.9)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	体部下端凹輪へラケズリ 内面へラ磨き	覆土中	10% 表面 雲母片散見(黒色)
41	土師器	杯	[13.0]	(3.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土・黒色粘土	にぶい黄橙	普通	体部内面へラ磨き 黒色処理	覆土中	10% 表面 雲母片散見(黒色)
42	土師器	杯 <small>α</small>	-	(3.0)	-	長石・雲母・黒色粘土	にぶい明	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	15% 表面 雲母片散見(黒色)
43	土師器	杯 <small>α</small>	-	(3.1)	-	長石・雲母・赤色粘土・黒色粘土	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	15% 表面 雲母片散見(黒色)
44	土師器	杯 <small>α</small>	-	(1.3)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	15% 表面 雲母片散見(黒色)
45	土師器	杯 <small>α</small>	-	(1.8)	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	15% 表面 雲母片散見(黒色)
46	土師器	杯 <small>α</small>	-	(1.4)	-	石英・雲母・赤色粘土・黒色粘土	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	15% 表面 雲母片散見(黒色)
47	土師器	高台付皿	12.6	(2.9)	-	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部下端土調整 体部内面へラ磨き 底面凹輪へラ切り後土調整 高台振り付け	中層	60%
48	土師器	甕	11.9	13.8	7.7	長石・赤色粘土	にぶい橙	普通	口縁部内・外面磨ナゲ 体部外面へラケズリ磨ナゲ 内面ナゲ	土層中	10% 体部内・外面 二次火焼により赤化・剥離
49	土師器	甕	-	(6.6)	9.3	長石・石英・雲母・赤色粘土・黒色粘土	橙	普通	体部外面へラ削り後ナゲ	支脚端部	30%
205	須恵器	甕	-	(10.1)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	普通	体部内・外面へラナゲ 把手取り付け後ナゲ	床面	10%
TP4	須恵器	甕	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	焼灰	普通	外面平行叩き 内面同心円文の当て具痕	右袖部補強材	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q2	磁石	14.5	9.8	8.5	1290	花崗岩	断面3面 部分的に磁面剥落	床面	
Q3	支脚	26.3	10.6	6.9	1990	花崗岩	自然産 全面焼て赤変し 磁面剥落一部剥落 端部へ粘土付着	穴床部設置	

番号	器種	長さ	筋室部最大径	筋室部最小径	重量(筋輪+基部)	材質	特徴	出土位置	備考
M3	紡錘車	(12.3)	0.4	0.3	(15.50)	鉄	紡輪径3.8cm円盤形 筋室断面円形 鈎残存	貯蔵穴上層	
M4	不明	(4.6)	(0.6)	(0.5)	(3.92)	鉄	断面長方形 両端折損	覆土中	

## 第9号住居跡 (第157～159図)

位置 調査Ⅵ区のC8a4区で、斜面部から裾部へ移行する位置に広がっている黒色土帯に位置している。

規模と形状 南北3.12m、西側は調査区域外に延びており、東西は2.70mだけ確認され、方形と考えられる。主軸方向はN-12°-Wである。壁高は12～25cmで、ほぼ直立している。

床 凹凸があり、中央部がよく踏み固められている。貼床はロームブロックを含む黒褐色土(覆土土層断面図、第4層)を埋め土して構築されている。掘り方は壁際を帯状に掘り残すように、中央部を一段深く掘り込んでいる。

竈 北壁の中央部に付設されていると考えられる。袖部は住居の内部に延びておらず、竈は北壁ラインから外側に構築されたと考えられる。規模は焚口部から煙道部まで80cm、焚口部幅63cmである。火床部は床面より17cm皿状に掘りくぼめて、暗褐色土(竈土層断面図、第7層)を埋め土している。火床部の壁面には、土師器片を補強材として混ぜ込んだ白色粘土が貼り付けられている。火床面は焼土粒子・炭化粒子が広がっているだけで、赤変等は見られない。火床部中央の煙道部寄りの位置に土製支脚が据えられており、全面が赤変している。支脚と火床部底面の接地面は硬化しており、煮炊き具の荷重によって硬化したものと考えられる。煙道部は壁外へ74cm掘り込まれ、火床部から緩やかに立ち上がっている。

## 竈土層解説

- |        |                       |        |               |
|--------|-----------------------|--------|---------------|
| 1 黒 褐色 | 焼土粒子少量                | 5 暗赤褐色 | 焼土粒子中量、粘土粒子少量 |
| 2 灰 褐色 | 焼土ブロック少量、炭化物・粘土ブロック微量 | 6 暗赤褐色 | 焼土粒子中量        |
| 3 灰 褐色 | 焼土粒子多量、炭化粒子微量         | 7 暗 褐色 | 焼土ブロック・炭化粒子多量 |
| 4 暗 褐色 | 焼土粒子中量、粘土粒子微量         |        |               |

ピット 7か所。P1～P6は深さ10～35cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。P7は貼床除去後にP

5とP6の間で確認され、斜めに深さ94cm掘り込まれている。床下でピットは他に確認されず、性格は不明である。

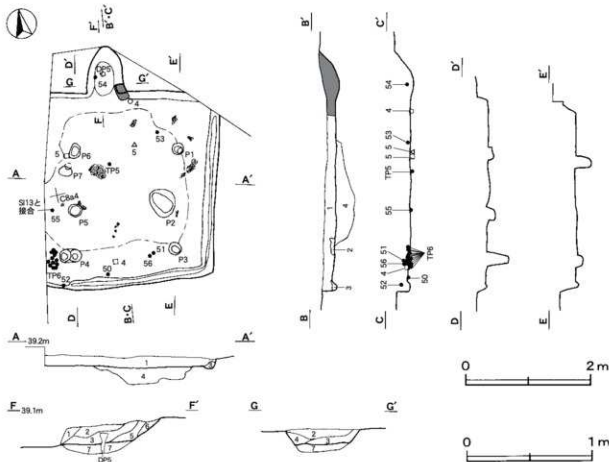
**覆土** 3層に分層される。同一層と捉えられる土砂が、床面全体に厚く堆積していることから、人為堆積と考えられる。第4層は、貼床の構築土である。

## 土層解説

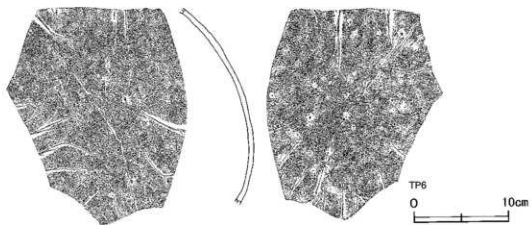
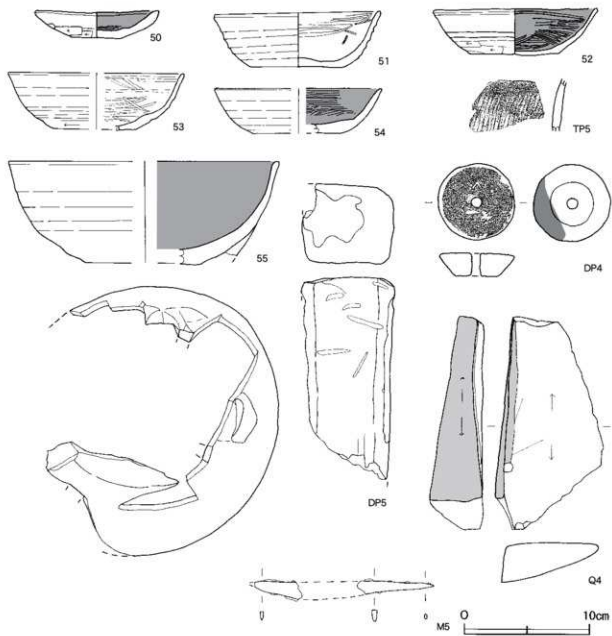
- |       |                      |       |                  |
|-------|----------------------|-------|------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・粘土ブロック・炭化物多量 | 3 暗褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量   |
| 2 褐色  | ローム粒子多量、炭化粒子微量       | 4 黒褐色 | ロームブロック中量（貼床構築土） |

**遺物出土状況** 土師器片161点（小皿1、坏36、椀8、高台付皿4、鉢10、甕類102）、土製品2点（支脚1、紡錘車1）、石製品2点（砥石）、鉄製品1点（刀子）、椀状滓2点、鉄滓1点が出土している。土器の大半は小破片で、全域に散在して出土しており、特に竈内に集中している。また、床面の中央部から径5cmほどの丸材と考えられる炭化材が確認されている。50は南壁際、53・M5は中央部、DP4は竈脇、Q4は南壁寄り、Q5はP6脇の床面から出土している。51は56の内部に入って、南壁寄りの覆土下層から出土している。52は南壁寄りの覆土下層から出土している。55は中央部の床面と第13号住居跡の中央部の床面から出土している破片が接合したものである。遺物は炭化材と同じ高さのもの、その上から出土しているものに分けられ、前者は廃絶時に遺棄されたもの、もしくはすぐに廃棄されたものであり、後者は埋め戻す段階で廃棄されたものと考えられる。また、TP5・TP6のように土砂に混入したものもある。

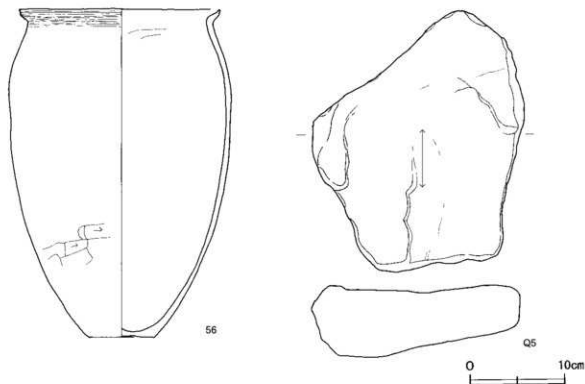
**所見** 廃絶時期は、床面から出土した土器に土師器小皿が見られることから10世紀中葉と考えられる。55の接合関係から、第13号住居跡は同時期のものと考えられる。炭化材の出土状況から、焼失住居と考えられ、床面に遺棄された遺物の量がさほど多くないことから、廃絶時に片付けてから火をつけたと考えられる。



第157図 第9号住居跡実測図



第158图 第9号住居跡出土遺物実測図(1)



第159図 第9号住居跡出土遺物実測図(2)

第9号住居跡出土遺物観察表 (第158・159図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
30	土師器	小皿	9.5	2.3	4.0	長石・石英	に5%焼	普通	体部下端手持ちへつ削り 内面へつ磨き 底部調整へつ切り後未調整	床面	93% PL25
31	土師器	杯	13.2	4.6	7.0	長石・石英・雲母・黒色粒子	に5%焼	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し後回転へつ削り	下層 P36内	93% 体面外周縁部 45% 内面磨く 調整 45%
32	土師器	杯	13.0	3.7	7.2	長石・石英・雲母	灰黄焼	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し後回転へつ削り	下層	80% 体面外面調整
33	土師器	杯	13.7	4.5	16.4	長石・石英・雲母・黒色粒子	に5%焼	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し後回転へつ削り	床面	40%
34	土師器	杯	13.1	3.6	6.8	長石・石英・雲母	に5%焼	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し後回転へつ削り	壺下層	30% 体面全面調整 調整 粘土付 調整 調整
35	土師器	鉢	[21.2]	8.1	[9.0]	長石・石英	に5%焼	普通	体部下端未調整 内面へつ磨き 体部下端3.5cm所方形に焼成前穿孔 粘土塊貼付(調整)	床面+SI13	60% 体面内面調整 調整 調整
36	土師器	壺	21.1	34.7	6.8	長石・石英・雲母	に5%焼	普通	口縁部内・外面調整ナデ 体面外面へつ削り後ナデ 内面ナデ 底部未調整	下層	73%
TP5	須恵器	壺	—	—	—	長石・石英・雲母	艶灰	普通	外面平行叩き 内面指頭による押さえ	床面	
TP6	須恵器	壺	—	[21.6]	—	長石・石英・雲母	艶灰	普通	内外面ナデ	床面+下層	

番号	器種	上面径	下面径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
D4	紡錘車	6.1	6.1	1.9	(73.80)	粘土(長石)	孔径8.8mm 全面丁寧なナデ 二次火焼こり後付着	床面	
DP5	支脚	(16.2)	7.4	6.9	(740)	粘土(長石・雲母)	角柱状に整形しへつナデ ナデ調整 全面焼く未調整	火床部設置	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q4	砥石	16.9	8.6	4.3	485	砂岩	砥面2面 1面に輪状痕あり 3面に二次火焼こり未調整	床面	
Q5	砥石	28.0	22.5	8.8	5830	花崗岩	砥面1面 床面掘埋面以外は二次火焼こり未調整	床面	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M5	刀子	[14.3]	(1.5)	(0.4)	(8.80)	鉄	切っ先欠損 基層残存	床面	

## 第10号住居跡 (第160・161図)

位置 調査Ⅳ区のC8b4区で、斜面部から裾部へ移行する位置に広がっている黒色土帯に位置している。

重複関係 第124号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 長軸6.02m、短軸3.90mの長方形で、主軸方向はN-9°-Eである。壁高は35~50cmで、ほぼ直立している。

床 黒色土の地山を平坦にして、そのまま床面としている。中央部がよく踏み固められている。壁溝が壁下を全周している。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで102cm、袖部幅は148cmである。袖部は白色粘土の中に土師器片を補強材として混ぜ込んで、床面の上に盛り上げて構築されている。袖部の内側は強く赤変している。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変硬化している。火床部中央部の煙道部寄りの位置に、砥石を転用した支脚が据えられており、その上に土製支脚が据えられている。土製支脚の上部部に土師器高台付皿が逆位で置かれている。二個体の支脚及び高台付皿は、全面が赤変している。煙道部は壁外へ36cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がり、上部で直立している。煙道部には火床部から20cmほど上に、白色粘土で構築された厚さ20cmほどの天井部が遺存しており、径10cmほどの煙出しの穴が確認されている。

### 竈土層解説

1 黒褐色 焼土ブロック中量	5 黒褐色 焼土粒子微量
2 黒褐色 焼土粒子微量	6 赤褐色 焼土ブロック多量
3 暗褐色 焼土ブロック少量、炭化物微量	7 赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子少量
4 灰褐色 焼土ブロック中量	

炉 中央部より南壁寄りの位置に、径40cmほどの不整形円形を呈した赤変範囲が確認されており、この付近が特に硬化して一段高くなっている。

ピット 10か所。P1~P10は深さ11~32cmで平面形も規模も多様で、柱穴等のように配置に規則性がない。P8~P10は炉の近くにまとまっており、炉との関連が考えられる。

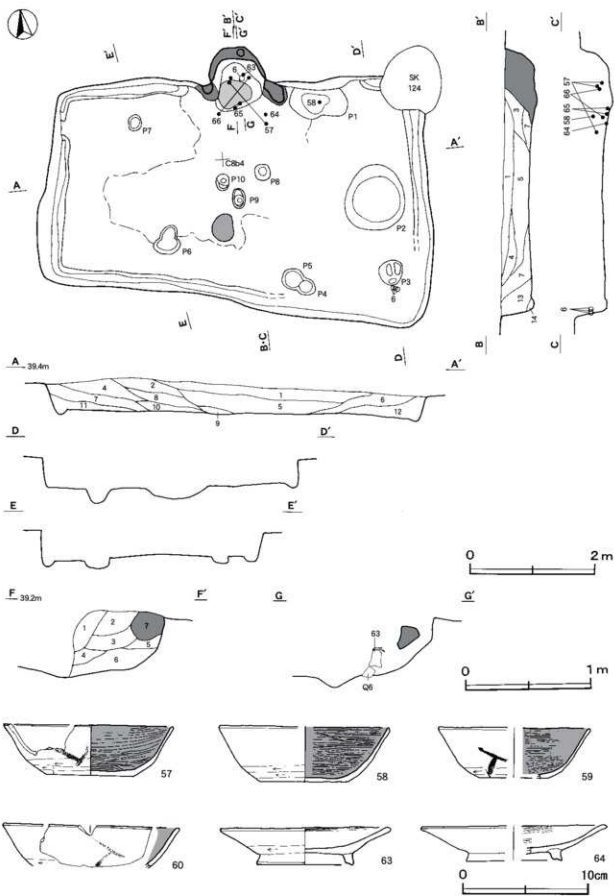
覆土 14層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入された様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

### 土層解説

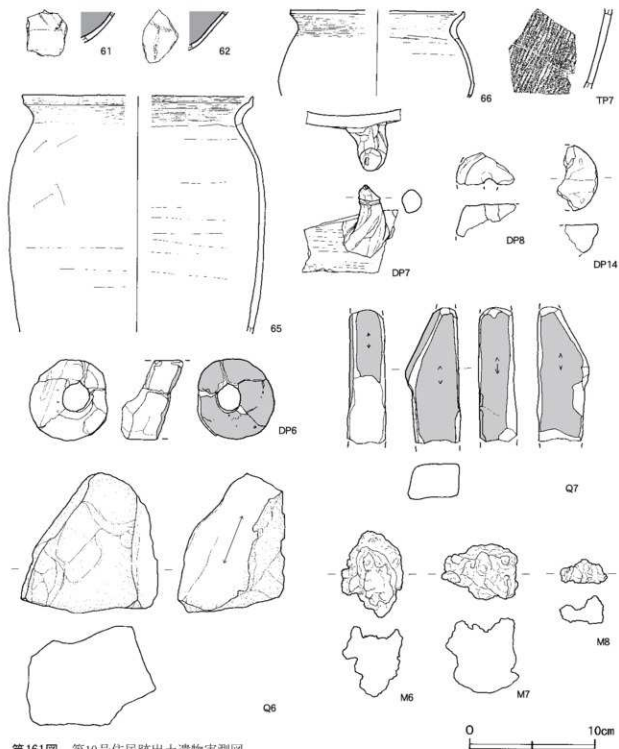
1 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子微量	8 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
2 黒褐色 ローム粒子多量、焼土粒子少量	9 暗褐色 ローム粒子中量
3 暗褐色 焼土粒子・粘土粒子中量、ローム粒子微量	10 黒褐色 ローム粒子中量、焼土粒子微量
4 黒褐色 ロームブロック中量、焼土粒子微量	11 暗褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量
5 黒褐色 焼土粒子少量、炭化粒子微量	12 黒褐色 ローム粒子、炭化粒子少量
6 黒褐色 ロームブロック少量	13 黒褐色 ロームブロック、炭化粒子少量
7 暗褐色 ローム粒子中量、焼土粒子少量	14 暗褐色 ローム粒子多量

遺物出土状況 土師器片478点(坏179、椀3、高台付皿16、甕・甌類280)、須恵器片12点(甕)、土製品4点(紡錘車1、羽口1、陽物形把手1、不明1)、石製品2点(支脚1、砥石1)、鉄製品2点(不明)、椀状滓2点、鉄滓100点が出土している。土器片は中央部と竈内から多く出土している。椀状滓・鉄滓は主に南東コーナー部の覆土下層に集中している。57・66は竈の覆土下層と竈前方の覆土下層から出土した破片が接合したものである。58は竈脇の覆土下層、DP6は南東コーナー部の覆土中層から出土している。65は竈火床部から出土している。59~62・TP7・DP7・DP8・DP14・M6~M8・Q7は覆土中から出土している。壁寄りの覆土下層から出土した遺物は廃絶後の早い段階で廃棄されたもので、中央部の覆土中から出土した遺物は、廃絶後の窪地に廃棄されたもの、又は、器面や破断面が摩滅した須恵器甕片のように流入したものと考えられる。

所見 廃絶時期は、壁寄りの覆土下層から出土した土器及び須恵器が伴わないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。椀状滓、鉄滓、羽口や住居形態及び炉の存在から鍛冶工房と考えられ、DP7は鍛冶に関わる祭祀的な遺物の可能性がある。



第160图 第10号住居跡・出土遺物実測図



第161図 第10号住居跡出土遺物実測図

第10号住居跡出土遺物観察表 (第160・161図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
57	土師器	坏	13.3	4.1	6.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい相	普通	体部下端凹溝へラケズリ 内面へラ磨き 底部切り離し後ナツ	壘下層+下層	95% 壘体部内面 焼成(人)
58	土師器	坏	[13.4]	4.4	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	粗	普通	体部下端凹溝へラケズリ 内面へラ磨き 底部へラ切り後凹溝へラ削り	下層	50%
59	土師器	坏	[12.0]	4.0	[8.5]	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい・黄相	普通	体部下端凹溝へラケズリ 内面へラ磨き	壘土中	15% 壘体部内面 焼成(人)
60	土師器	坏	[13.8]	(3.3)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい相	普通	体部下端凹溝へラケズリ 内面へラ磨き	壘土中	15% 壘体部内面 焼成(人)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
61	土師器	坏か	—	(2.5)	—	長石・石英・雲母・褐色粒子	にぶい橙	普通	体部内面へう磨き	覆土中	3% 雲母 鉄燐 赤褐色 焼土付着
62	土師器	坏か	—	(3.0)	—	長石・石英・雲母・褐色粒子	にぶい黄橙	普通	体部内面へう磨き	覆土中	3% 雲母 鉄燐 赤褐色 焼土付着
63	土師器	高台付皿	13.4	3.0	7.6	長石・石英・雲母	橙	普通	体部下端の筋へうラケズリ 内面へう磨き 底部へう切り離し 後未調整 高台貼り付け	支脚端部	50% 体部内面・底部面が二次大粒により赤変 焼土付着
64	土師器	高台付皿	[14.5]	2.8	[7.6]	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端未調整 内面へう磨き 底部へう切り離し 後未調整 高台貼り付け	床面	20% 体部内面・底部面が二次大粒により赤変 焼土付着 焼土付着
65	土師器	甕	[18.2]	[18.8]	—	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 輪積み痕あり 体部外面へうラケ ナデ	竈火床部	20%
66	土師器	甕	[13.6]	[6.8]	—	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へうラケ ナデ 輪積み痕あり	竈下層下層	10%
TP7	須恵器	甕	—	(6.4)	—	長石・石英・雲母	艶灰	普通	外面平行引き 内面指頭による押さえ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP6	羽口	(4.9)	(6.1)	(6.5)	(6.5)	粘土(長石・石英)	外面青灰色 内面赤褐色 青灰色部は伊との焼跡部を	中層	
DP7	陶物形把手	5.7	3.6	1.7	(86.7)	粘土 (長石・石英・褐色粒子)	酸化焙焼後の須恵器態の把手 丁寧な造形	覆土中	P126
DP8	紡輪車	—	—	(2.7)	(13.0)	粘土(長石・石英)	断面逆台形か 外面ナデ	覆土中	
DP14	不明	(5.2)	(3.3)	(2.2)	(25.6)	粘土(長石・石英)	羽口も 外面ナデ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q6	支脚	11.2	10.8	8.5	1360	砂岩	紙面1面の砥石を転用 全面に粘土付着	火床部設置	
Q7	砥石	10.8	4.6	4.2	202	砂岩	紙面4面すべて赤変	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	着磁	特徴	出土位置	備考
M6	柄状浮	7.0	4.8	5.6	167.00	無	平面不整形	覆土中	
M7	柄状浮	7.1	6.1	6.0	177.40	有	平面不整形	覆土中	
M8	鉄浮	1.9	3.8	2.2	11.10	有	平面不整形長方形	覆土中	

### 第11号住居跡 (第162・163図)

**位置** 調査IV区のC7c8区で、標高41mほどの斜面部に位置している。

**規模と形状** 東部が削平されており、南北長3.41m、東西長は3.54mだけ確認され、主軸方向がN-27°-Eの長方形と考えられる。壁高は2〜26cmで、ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。

**竈** 北壁の西寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで84cmである。深さ4cm・6cmのビットが、50cmの間隔で東西に並んでいる。左側のビットには、角柱状の自然礫が据えられており、その上から板状の自然礫が、右側のビット前方からは、角柱状の自然礫が倒れた状態で出土している。自然礫で天井石と袖石を組んで焚口部を構築し、その周囲に白色粘土を盛り上げたものと考えられる。火床部は床面とほぼ同じ高さである。火床部の煙道部寄りの位置に、角柱状の自然礫が支脚として据えられており、その上端部に土師器坏が置かれている。火床面と支脚とその端部に置かれた土師器坏や天井石や袖石は、赤変している。竈を挟んだ左側の壁が内側に入り込み、壁のラインが一直線にならず食い違っている。そのため煙道部の壁外への掘り込みは48cm・54cmであり、火床部から直立している。

#### 竈土層解説

- 1 黒褐色 焼土粒子微量  
2 黒褐色 焼土ブロック多量、ローム粒子少量、砂微量  
3 暗褐色 焼土粒子少量、炭化粒子・粘土粒子微量

**ビット** 3か所。P1・P2は深さ7cm・11cmで、規模と配置から主柱穴と考えられる。P3は深さ21cmで、南壁の中央部寄りの位置にあり、出入り口施設に伴うビットと考えられる。

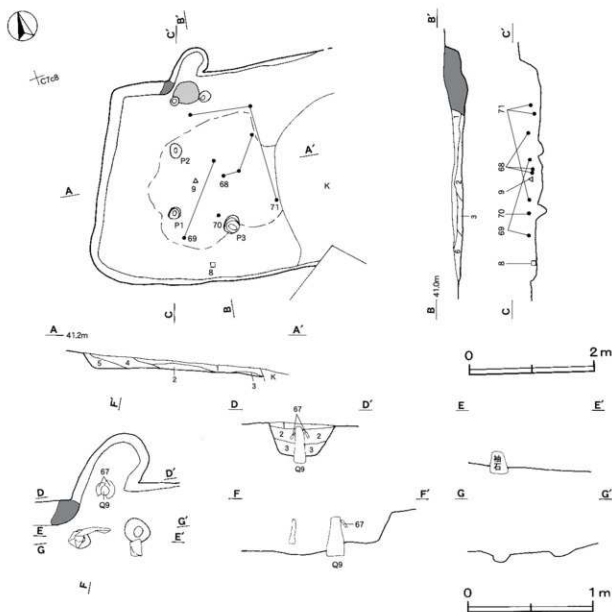


覆土 6層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

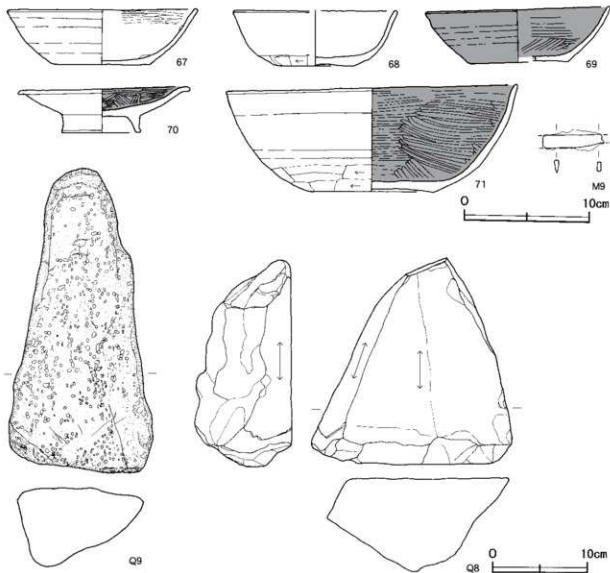
土層解説

- |       |                     |       |                     |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 黒褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 暗褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子少量      |
| 3 暗褐色 | ローム粒子多量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 6 暗褐色 | 焼土粒子多量              |

遺物出土状況 土師器片104点(坏54, 椀1, 高台付皿1, 鉢8, 甕類40), 石製品2点(支脚1, 砥石1), 鉄製品1点(刀子)が出土している。土器の大半は小破片で、中央部から竈前方にかけて多く出土している。Q8は南壁中央の床面に遺棄されたものである。68~70・M9は中央部の覆土下層から出土している。71は中央部と竈前方の覆土下層から出土した破片が接合したもので、廃絶後の窪地に廃棄されたものと考えられる。所見 廃絶時期は、覆土下層から出土した土器及び須恵器が見られないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。竈を挟んだ壁が食い違っているプランは、棚状施設の立ち上がりが確認された第14号住居と同じであり、本跡も棚状施設を持つ住居の可能性がある。



第162図 第11号住居跡実測図



第163図 第11号住居跡出土遺物実測図

第11号住居跡出土遺物観察表 (第163図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
67	土師器	坏	15.0	4.5	7.6	長石・石英・雲母	赤褐色	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部へラ切り磨し 後未調整	支脚部	90%
68	土師器	坏	[12.7]	4.5	6.0	長石・石英・雲母	橙	普通	体部下端手持ちへラ磨り 内面へラ磨き 底部へラ切り 後未調整	下層	50%
69	土師器	坏	14.6	4.3	7.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	黒	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切り磨し 後未調整	下層	33%
70	土師器	高台付皿	15.1	3.7	6.2	長石・石英・雲母	褐色	普通	体部内面へラ磨き 底部切り磨し 後ナア調整 蓋付皿の付け	下層	80%
71	土師器	鉢	22.8	8.6	9.6	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	体部下端手持ちへラ磨り 内面へラ磨き 底部切り磨し 後内面へラ磨り	下層	70%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q8	砥石	22.0	22.0	10.2	4740	砂岩	砥面2面 2面が二次火熱により赤変し一部黒変	床面	
Q9	支脚	32.3	15.3	8.4	4120	砂岩	全面縦打による整形 全面赤変し一部黒変	火床部設置	

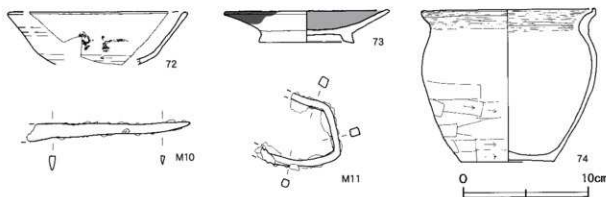
  

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M9	刀子	(4.9)	0.9	0.3	(5.3)	鉄	刀身部断面三角形 基部断面長方形	下層	



したものである。M10は西壁寄りの、M11竈前方の覆土下層からそれぞれ出土している。72は北西コーナー部の覆土中層から出土している。壁寄りの覆土下層から出土している遺物は、散在した破片が接合しており、廃絶後の比較的早い段階で廃棄されたものである。

所見 廃絶時期は、床面出土の土器から10世紀初頭と考えられる。



第165図 第12号住居跡出土遺物実測図

第12号住居跡出土遺物観察表 (第165図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
72	土師器	坏	[14.0]	4.2	—	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	橙	普通	体部下端凹陥へラ削り 内面へラ磨き 黒色処理	中層	15% 黒色 体蓋外面 破片「面田」残部
73	土師器	高台付皿	12.8	2.6	7.4	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	に50%橙	普通	底部切り離し後ナデ 高台貼り付け	床面	100% 外面油煙付着
74	土師器	甕	13.7	12.1	7.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	に50%橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラ削りナデ 内面ナデ	床面+下層	60%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M10	刀子	(13.1)	(1.4)	(0.4)	(10.5)	鉄	刀身部断面三角形 基部断面三角形 基部に木炭遺存	下層	
M11	不明	(6.0)	6.8	0.7	(18.9)	鉄	コの字状 断面方形	下層	

### 第13号住居跡 (第166・167図)

位置 調査IV区のB 8el区で、斜面部から裾部に移行する位置に広がっている黒色土帯に位置している。

規模と形状 長軸2.92m、短軸2.80mの方形で、主軸方向はN-17°-Eである。壁高は8~24cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、壁際を除き全体がよく踏み固められている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで71cmである。角柱状の自然礫をピットに埋め、袖石として焚口部を構築している。袖材は全面が赤変しており、袖石間は70cmである。焼けた粘土が付着した土師器片は、白色粘土に混ぜられた補強材と考えられる。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変している。また、焚口部の前の床面から角柱状の自然礫が出土しており、形状と赤変していることから、支脚と考えられる。煙道部は壁外へ57cm掘り込まれ、火床部から外傾して立ち上がっている。

#### 覆土層解説

1 暗 褐色	ローム粒子少量、焼土粒子微量	5 暗 褐色	ロームブロック・炭化粒子微量
2 灰 褐色	焼土ブロック少量	6 灰 褐色	焼土粒子・炭化粒子多量
3 褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量	7 褐色	焼土粒子・炭化粒子多量
4 暗 赤褐色	焼土粒子少量、ロームブロック微量		

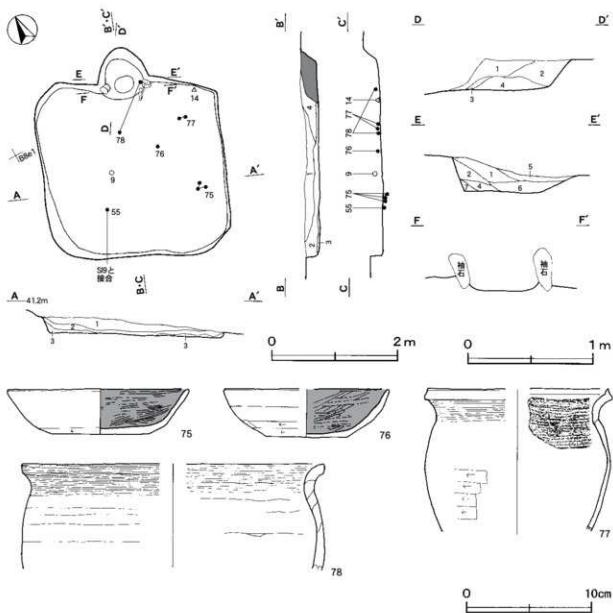
覆土 4層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

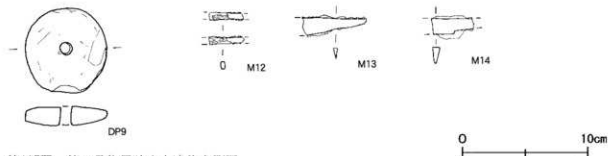
- |       |                   |       |                   |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量      | 3 褐色  | ローム粒子少量、焼土粒子微量    |
| 2 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 |

遺物出土状況 土師器片157点（坏47，碗3，高台付皿1，甕・瓶類106），須恵器片1点（甕），土製品1点（紡錘車），鉄製品3点（刀子2，不明1），鉄滓2点が出土している。土器片は小破片が大半で，全域から出土している。75は東壁寄り，76は中央部，M14は北東コーナー部の床面からそれぞれ出土しており，75・M14は遺棄されたものと考えられる。78は竈火床部と竈前方の床面からそれぞれ出土した破片が接合したものである。DP9は中央部の覆土下層から，M12・M13は覆土中から出土している。中央部の床面から出土している破片は，第9号住居跡の中央部の床面から出土した55と接合している。覆土下層や76と同じく中央部の床面から出土したものは，廃絶後の窪地に廃棄されたもの，又は，器面や破断面が摩擦した須恵器残片や鉄滓のように流入したものと考えられる。

所見 廃絶時期は，出土土器及び第9号住居跡との遺構間接合から10世紀中葉と考えられる。



第166図 第13号住居跡・出土遺物実測図



第167図 第13号住居跡出土遺物実測図

## 第13号住居跡出土遺物観察表 (第166・167図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
75	土師器	坏	14.2	3.6	7.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し 後未調整	床面	75%
76	土師器	坏	[14.0]	3.8	[6.4]	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい褐	普通	体部下端回転へつ削り 内面へつ磨き 底部切り離し 後一定方向のへつ削り	床面	45%
77	土師器	甕	[14.4]	(11.2)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口縁部内・外面種ナデ 体部外面へつ削り 底ナデ 内面へつ削り 具こより強いナデ	床面	15%
78	土師器	甕	[24.0]	(8.3)	—	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内・外面種ナデ 体部外面へつ削り 内面ナデ 輪指み痕あり	床面	10%

番号	器種	最大径	最小径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP9	紡錘車	7.0	6.5	1.5	(79.4)	粘土(長石・雲母)	外面丁寧なナデで平滑 黒色処理	下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M12	刀子	(2.8)	0.6	0.3	(1.26)	鉄	基部 木質遺存	覆土中	
M13	刀子	(5.2)	(1.4)	(0.3)	(5.30)	鉄	基部断面三角形	覆土中	
M14	刀子	(3.4)	1.2	0.6	(6.75)	鉄	片側 刀身断面三角形	床面	

## 第14号住居跡 (第168図)

位置 調査IV区のB 7j6区で、標高43mほどの丘陵斜面部に位置している。

規模と形状 長軸2.91m、短軸2.78mの方形で、主軸方向はN-13°Eである。壁高は28~62cmで、外傾して立ち上がっている。

床 ほぼ平坦で、壁際を除いて全体的によく踏み固められている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで68cmである。袖部は左袖部しか遺存しておらず幅は不明である。左袖部は、床面の上に白色粘土を盛り上げて構築されている。火床部の底面は床面とほぼ同じ高さで、火床面は赤変硬化している。竈を挟んだ左側の壁が内側に入り込み、壁のラインが一直線にならず食い違っている。そのため煙道部の壁外への掘り込みは27cm・45cmであり、火床部からほぼ直立している。

## 竈土層解説

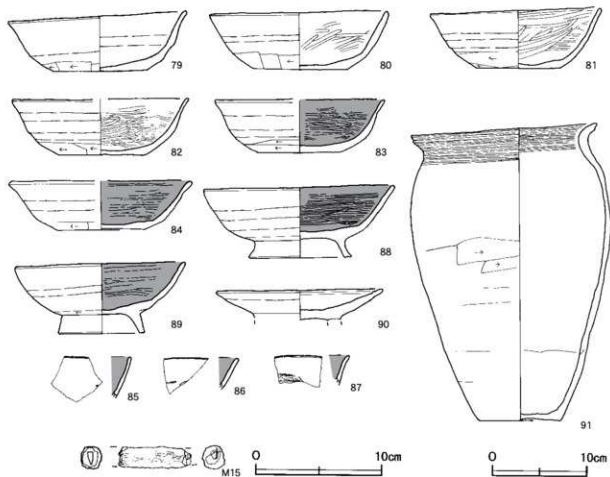
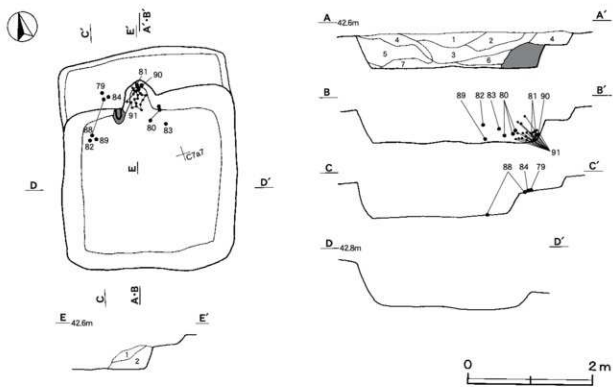
- 1 暗 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量      2 暗 褐色 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量

覆土 7層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- 1 黒 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量      5 褐色 ロームブロック微量  
2 黒 褐色 ローム粒子少量、焼土粒子微量      6 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量、焼土粒子微量  
3 黒 褐色 ローム粒子中量、炭化粒子微量      7 明 褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量  
4 褐色 ローム粒子少量、炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片160点(坏36、碗8、高台付皿4、鉢10、甕類102)、鉄製品1点(刀子)が出土している。土器片は比較的大きな破片が多く、竈内及び棚状施設の前方から多く出土している。79・84は棚状施設



第168图 第14号住居跡・出土物実測図

の使用面に遺棄されたものである。88は棚状施設の使用面と、棚状施設際の床面から出土した破片が接合したものである。80・82・83・89は棚状施設際の覆土中層から下層にかけて出土している。81・90は覆土下層から出土している。85～87・M15は覆土中から出土している。

**所見** 棚状施設は素掘りのタイプである。使用面には、小ピット、周溝、階段などの付属施設は確認されていない。棚状施設の使用面に遺棄された土器や棚状施設の前方、及び竈火床部から出土している土器は、ほぼ完形のものや部分的に破損しているだけの土器が多い。これらの土器は、棚状施設の使用面に遺棄されたものが土砂の流入とともに転落したと考えられる。遺棄された土器と併せて棚状施設が物を置くスペースと考えられる出土状況である。ただし90は全面及び破断面が赤変していることから、破損後に竈の補強材や支脚に転用された可能性がある。廃絶時期は、棚状施設に遺棄された土器及び転落したと考えられる土器、さらに、須臾器が見られないことから10世紀前葉と考えられる。

第14号住居跡出土遺物観察表（第168図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
79	土師器	坏	14.0	4.6	7.2	長石・石英・雲母・黒色粒子	に高い橙	普通	体部下端手持ヘラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	棚状施設	95%
80	土師器	坏	14.1	4.4	7.0	長石・石英・雲母・黒色粒子	橙	普通	体部下端手持ヘラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	中層	93%
81	土師器	坏	13.6	4.8	6.7	長石・石英・雲母	橙	普通	体部下端の転へラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	覆下層	90%
82	土師器	坏	[13.8]	4.5	6.8	長石・石英・雲母	に高い橙	普通	体部下端の転へラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	中層	70%
83	土師器	坏	[13.4]	4.2	6.6	長石・石英・雲母・黒色粒子	に高い橙	普通	体部下端の転へラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	中層	60%
84	土師器	坏	[14.2]	3.9	7.0	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子	に高い黄緑	普通	体部下端の転へラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整	棚状施設使用面	45%
85	土師器	坏 <small>カ</small>	—	(3.2)	—	長石・石英・雲母	に高い橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	3% 重曹 体部外面 <small>□</small>
86	土師器	坏 <small>カ</small>	—	(2.5)	—	雲母	に高い橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	3% 重曹 体部外面 <small>□</small>
87	土師器	坏 <small>カ</small>	—	(2.3)	—	雲母・赤色粒子	に高い橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	3% 重曹 体部外面 <small>□</small>
88	土師器	輪	15.0	5.7	8.2	長石・石英・雲母・黒色粒子	に高い橙	普通	体部内面へラ磨き 底部回転へラ切り後未調整 高台盛り付け	棚状施設上床	93%
89	土師器	輪	13.3	5.7	6.8	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	に高い橙	普通	体部下端の転へラ削り 内面へラ磨き 底部切り離し 後未調整 高台盛り付け	下層	20%
90	土師器	高台付皿	13.0	(2.4)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	に高い橙	普通	火熱により器面剥離のため調整不明	覆下層	90%
91	土師器	甕	19.4	31.4	8.6	長石・石英・雲母・黒色粒子	に高い橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラ削り 後ナデ 内面ナデ	覆中層+下層	43%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M15	刀子	(5.8)	1.7	1.7	(16.1)	鉄	木質残存 身の幅1.0cm厚3.4cmの断面 三角形	覆土中	

## 第15号住居跡（第169・170図）

**位置** 調査V区のC 6 d2区で、標高48mほどの斜面部に位置している。

**重複関係** 第203・205号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.59m、短軸3.19mの方形で、主軸方向はN—25°—Wである。壁高は3～24cmで、ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。貼床は暗褐色土（覆土土層断面図、第7・8層）を埋め土して構築されている。掘り方は、全体がほぼ均一の深さで掘り込まれている。また、壁溝が東・西壁下で確認されている。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで128cm、袖部幅は85cmである。袖部は壁を階段状に削削し、そこに土師器片を補強材として混ぜ込んだ白色粘土を充填して構築されている。火床部の底面は床面から15cm皿状に掘りくぼめて、暗褐色土（覆土土層断面図、第8層）を埋め土している。埋土の上面が



火床面と想定される。火床部中央の煙道部寄りの位置に、土師器碗と土師器高台付皿が重ねられ、支脚に転用されている。火床面と支脚は赤変している。煙道部は壁外へ55cm掘り込まれている。第205号土坑に掘り込まれているため、立ち上がりはわずかに残っているのみである。

#### 毒土層解説

- |        |                      |        |                     |
|--------|----------------------|--------|---------------------|
| 1 暗褐色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量    | 6 暗赤褐色 | 炭化粒子多量、焼土粒子中量       |
| 2 暗褐色  | 粘土粒子少量、ローム粒子・焼土粒子微量  | 7 褐色   | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 灰褐色  | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量  | 8 暗赤褐色 | ロームブロック・焼土粒子少量      |
| 4 暗赤褐色 | 焼土粒子中量、ローム粒子・炭化粒子微量  | 9 黄褐色  | 焼土粒子・炭化粒子微量         |
| 5 暗褐色  | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 |        |                     |

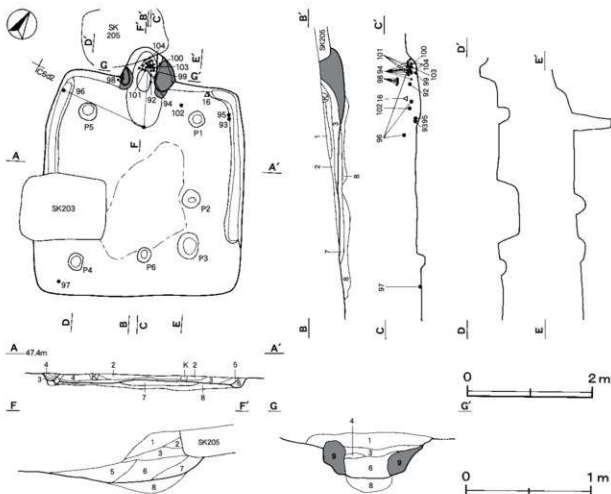
**ピット** 6か所。P1～P5は深さ11～60cmで、規模と配置から主柱穴であり本来は6本あったものと考えられる。P6は深さ9cmで、P3・P4間のほぼ中心に位置しており、出入口施設に伴うピットと考えられる。

**覆土** 6層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。7・8層は貼床の構築土である。

#### 土層解説

- |       |                     |       |                     |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子微量             | 5 黒褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子少量             | 6 暗褐色 | 焼土粒子・炭化粒子微量         |
| 3 暗褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 7 暗褐色 | ロームブロック少量、焼土粒子微量    |
| 4 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   | 8 暗褐色 | ローム粒子少量             |

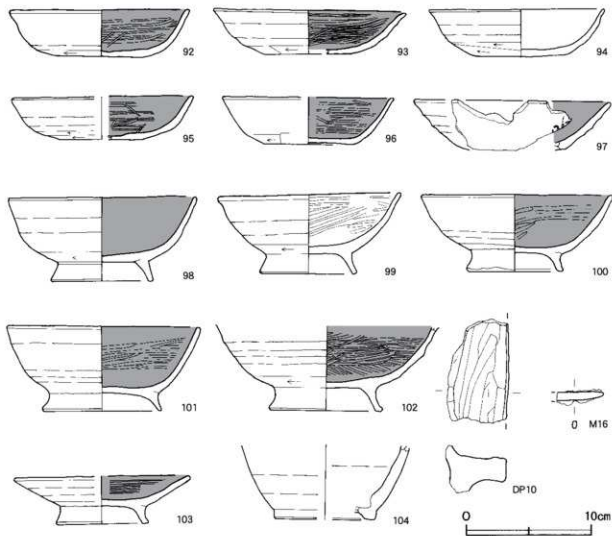
**遺物出土状況** 土師器片200点（坏131, 碗11, 鉢1, 甕類57, 須恵器片1点（瓶）, 土製品1点（不明）, 鉄製品1点（刀子）が出土している。土器片は大半が小破片で全域に散在しており、特に竈内と竈前方に集中し



第169図 第15号住居跡実測図

ている。97は南西コーナー一部の床面，98は竈を挟んで左側の北壁の壁面から潰れた状態で出土している。93・95・M16は北東コーナー一部の覆土中層から下層にかけて，92は竈内の覆土中層から出土している。102・104は竈脇と竈内の覆土中層から出土している。96は北西コーナー一部の覆土上層と竈内と竈前方の覆土中層から出土した破片が接合したものである。DP10は覆土中から出土している。壁際から出土した土器は，104のように器面及び破断面が摩滅していない破片が接合したもの，又は，離れた位置から出土した破片が接合したものであることから，廃絶後の窪地に廃棄されたものと考えられる。

所見 98は遺棄されたものと考えられ，棚状施設が構築されていた可能性がある。廃絶時期は，98及び壁際の覆土中から出土した土器から，10世紀初頭ないしそれ以前と考えられる。



第170図 第15号住居跡出土遺物実測図

第15号住居跡出土遺物観察表 (第170図)

番号	種別	形種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
92	土師器	環	14.0	3.9	6.6	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端凹縁へつ割り 内面へつ磨き 底部へつ切り後ナデ	竈中層	100% 支脚に転用
93	土師器	環	15.2	3.7	6.8	長石・石英	にぶい黄褐	普通	体部下端凹縁へつ割り 内面へつ磨き 底部凹ひ摩・後調整不明	下層	50%
94	土師器	環	13.9	3.8	7.5	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい黄褐	普通	体部下端凹縁へつ割り 内面火熱による 削落のため調整不明	竈中層	60%
95	土師器	環	[14.2]	3.4	6.4	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	体部下端凹縁へつ割り 内面へつ磨き 底部凹ひ摩・後調整不明	下層	70%
96	土師器	環	[13.5]	3.7	7.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端凹縁へつ割り 内面へつ磨き 底部へつ切り後ナデ	竈中層+中層+下層	30%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
97	土師器	坏	[15.6]	(3.9)	—	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部内面へラ磨き	床面	10% 墨書体部外底積位「カ」
98	土師器	碗	14.6	6.6	8.0	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ調整 高台貼り付け	北壁面	90%
99	土師器	碗	14.3	6.6	7.6	長石・雲母・黒色粒子	橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ調整 高台貼り付け	竈火床部	70% 支脚に転用
100	土師器	碗	15.0	6.1	7.7	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ調整 高台貼り付け	竈中層	70% 支脚に転用
101	土師器	碗	15.1	6.8	8.3	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ調整 高台貼り付け	竈中層	70% 支脚に転用
102	土師器	碗	—	(6.5)	9.0	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ調整 高台貼り付け	中層	70%
103	土師器	高台付皿	[13.7]	3.8	7.2	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き 底部切の磨し後ナゲ	竈中層	40% 支脚に転用
104	須恵器	瓶	—	(6.0)	[7.8]	長石・石英・雲母・黒色粒子	青灰	普通	高台貼り付け	竈中層	10%

番号	器種	最大径	最小径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
DP10	不明	(8.2)	(4.8)	(3.7)	(110.9)	粘土(長石・石英)	外面へラナゲ ナゲ	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M16	刀子	(3.8)	(0.7)	0.4	(2.62)	鉄	基部 断面方形	中層	

## 第16号住居跡 (第171・172図)

位置 調査V区のC5e8区で、標高49mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長軸3.16m、短軸3.06mの方形で、主軸方向はN-7°-Eである。壁高は24~35cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。壁溝が東・西・南壁下の一部に確認されている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで132cm、袖部幅は105cmである。袖部は壁を階段状に掘り込んで暗褐色土を充填し、その上に土師器片を補強材として混ぜ込んだ白色粘土を盛り上げて構築されている。火床部は床面から17cm皿状に掘りくぼめて、褐色土(竈土層断面図、第8・9層)を埋め土している。埋土の上面が火床面と想定される。火床部中央の煙道部寄りの位置に、角柱状の自然礫が火床部の埋土に若干埋めこまれ、支脚として据えられている。支脚・火床面は赤変している。煙道部は壁外へ76cm掘り込まれ、奥壁に須恵器瓶が斜位に据えられており煙出しに転用されている。

### 竈土層解説

- |   |      |                      |   |      |              |
|---|------|----------------------|---|------|--------------|
| 1 | 暗褐色  | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子少量  | 6 | 灰褐色  | 焼土粒子微量       |
| 2 | 暗褐色  | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量    | 7 | 暗褐色  | ローム粒子・焼土粒子中量 |
| 3 | 暗褐色  | 粘土粒子中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量 | 8 | 暗赤褐色 | 焼土ブロック中量     |
| 4 | 暗赤褐色 | 焼土粒子中量、炭化粒子微量        | 9 | 褐色   | ロームブロック中量    |
| 5 | 褐色   | ローム粒子中量              |   |      |              |

ピット 2か所。P1は深さ24cmで、南壁際中央に位置しており、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

P2は深さ5cmで、北西コーナーに位置しており、性格は不明である。

貯蔵穴 2か所。貯蔵穴1は南東コーナーに位置している。径85cmの円形で、深さが47cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がっており、断面碗状を呈している。貯蔵穴2は南西コーナーに位置している。径80cmの円形で、深さが43cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がっており、断面碗状を呈している。覆土は両貯蔵穴ともに周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

### 貯蔵穴土層解説 (各貯蔵穴共通)

- |   |     |         |   |    |         |
|---|-----|---------|---|----|---------|
| 1 | 暗褐色 | ローム粒子微量 | 3 | 褐色 | ローム粒子少量 |
| 2 | 褐色  | ローム粒子中量 |   |    |         |

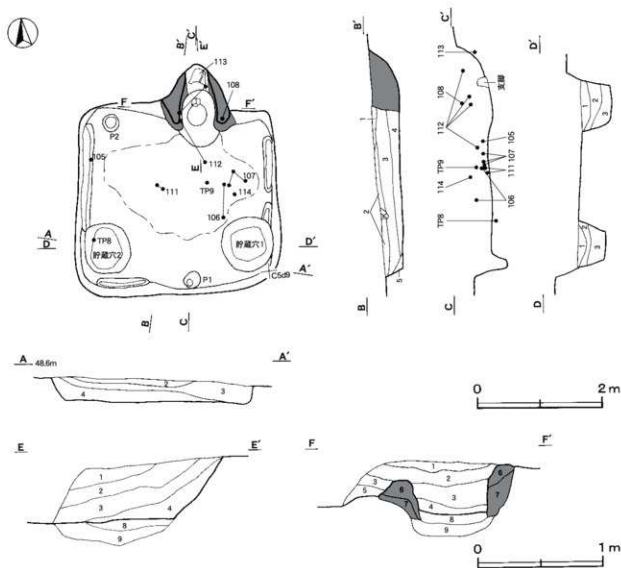
覆土 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

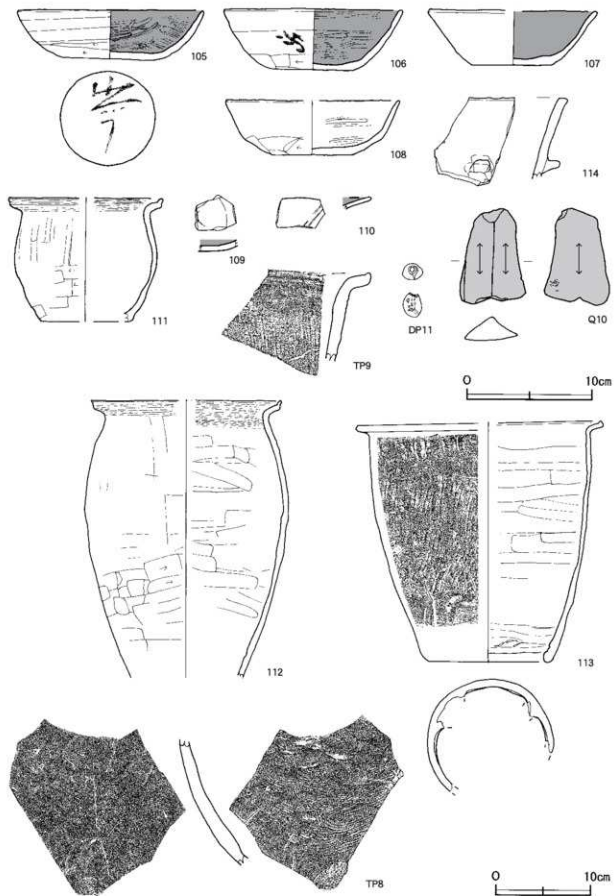
- |       |                     |       |                     |
|-------|---------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子微量             | 4 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量        | 5 褐色  | ローム粒子中量             |
| 3 暗褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |       |                     |

**遺物出土状況** 土師器片227点（坏56，鉢5，甕・瓶類166），須恵器片4点（甕1，瓶3），土製品1点（土玉），石製品2点（支脚1，砥石1）が出土している。105は西壁際の覆土下層から出土している。106・107・111は中央部の覆土下層に散在している破片が接合したものである。112は竈覆土上層～中層と竈前方の覆土下層から出土した破片が接合したものである。109・110・Q10・DP11は覆土中から出土している。中央部と竈内及び竈前方から出土した土器は、離れた位置から出土した破片が接合しており廃絶後の窪地に廃棄されたものと考えられる。須恵器片も比較的大きな破片で、器面や破断面が摩滅しておらず廃棄されたものと考えられる。

**所見** 廃絶時期は、覆土下層から出土した土器及び須恵器貯蔵具が残ることから10世紀初頭ないしそれ以前と考えられる。



第171図 第16号住居跡実測図



第172图 第16号住居跡出土遺物実測図

第16号住居跡出土文物観察表(第172図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
105	土師器	坏	14.7	4.1	7.4	長石・石英・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい黄緑	普通	体部下端凹縁へう削り 内面へう磨き 底部切り離し後ナデ	下層	90% 蓋部 蓋部外面(裏) 付着
106	土師器	坏	14.0	4.9	6.3	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	体部下端手持ちへう削り 内面へう磨き 底部切り離し後凹縁へう削り	下層	90% 蓋部 体部 外面 裏面 付着 付着
107	土師器	坏	[13.4]	4.4	6.4	長石・雲母・赤色粒子・白色針状鉱物	にぶい黄緑	普通	体部下端未調整 内面割落のため調整不明 底部切り離し後ナデ	下層	50%
108	土師器	坏	[13.4]	4.4	6.6	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端手持ちへう削り 内面へう磨き 底部切り離し後ナデ	覆土中	30%
109	土師器	坏	—	(0.8)	—	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部内面へう磨き	覆土中	5% 蓋部 体部 外面(裏)
110	土師器	高台付 皿	—	(1.0)	—	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	体部内面へう磨き	覆土中	5% 蓋部 体部 外面(裏)
111	土師器	甕	[12.1]	9.8	[7.0]	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へう削り 後ナデ 内面ナデ	下層	20%
112	土師器	甕	[19.8]	[29.6]	—	長石・石英・赤色粒子	明焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へう削り 後ナデ 輪縁みねあり 内面ナデ	覆土中層下 下層	33%
113	須恵器	瓶	[26.0]	25.6	13.5	長石・石英・赤色粒子・黒色粒子	にぶい黄	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面上平行削り 後ナデ 下半へう削り 内面へう削りナデ	罐埋溝部	70% 罐埋出 しに転出
114	須恵器	瓶	—	(6.5)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	にぶい黄	普通	口縁部内・外面横ナデ 把手は指節により 調整した凸縁付	上層	5%
TP8	須恵器	甕	—	(14.0)	—	長石・石英・雲母・黒色粒子	灰白	普通	外面平行引き後ナデ 内面弧状の当て具痕	貯蔵穴2	
TP9	須恵器	瓶	—	(7.0)	—	長石・石英・赤色粒子・針状鉱物	灰白	普通	外面平行削り 内面指節による押さえ	中層	

番号	器種	最大径	最小径	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
DP1	土玉	1.6	1.3	1.9	3.2	粘土(長石)	形が歪んでいる 外面ナデ 焼成前穿孔未貫通	覆土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q10	砥石	7.7	5.2	2.6	(77.3)	凝灰岩	砥面3面 全面赤変	覆土中	

## 第17号住居跡(第173・174図)

位置 調査V区のC 6a5区で、標高48mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長軸3.48m、短軸3.25mの方形で、主軸方向はN-30°-Wである。壁高は24~42cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。壁溝が北・東・西壁下に部分的に確認されている。

竈 西壁の中央部に付設されていたものが、北壁の中央部に改築されている。旧竈は壁外への掘り込みのみが確認され、暗褐色土で塞がれている。新竈の規模は焚口部から煙道部まで109cm。袖部は自然礫を火床部の掘り方に据えて、白色粘土に埋め込んでいる。袖材間は61cmである。両袖材とも全面が赤変しており、火床部側の礫面が強く赤変している。竈付近の床面から火熱により赤変した角柱状の自然礫が出土しており、自然礫を天井石と袖石を組んで焚口部を構築し、その周囲に白色粘土を盛り上げたものと考えられる。火床部は床面から5~17cm凹凸に掘りくぼめて、褐色土(覆土層断面図、第9・10層)を埋め土している。火床部中央部の煙道部寄りの位置に、砥石が支脚に転用され火床部埋土内に埋め込まれ、据えられている。支脚・火床面は赤変している。煙道部は壁外へ53cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ち上がっている。

## 覆土層解説

1	暗褐色	ローム粒子・炭化粒子微量	7	暗赤褐色	焼土粒子中量、炭化粒子微量
2	暗褐色	ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量	8	赤褐色	ロームブロック中量、焼土粒子少量
3	暗褐色	ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量	9	赤褐色	焼土ブロック中量、ローム粒子少量
4	暗褐色	焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子微量	10	褐色	ロームブロック・澱沼バミヌ中量
5	暗赤褐色	焼土粒子中量、炭化粒子中量	11	黄褐色	ロームブロック・澱沼バミヌ中量
6	暗赤褐色	焼土粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量			

貯蔵穴 2か所。貯蔵穴1は竈の右脇に位置している。径47cmの円形で、深さが40cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立しておりピット状を呈している。貯蔵穴2は南西コーナーに位置している。径52cmの円形で、深さが19cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立しておりピット状を呈している。覆土の堆積状況は両貯蔵穴と

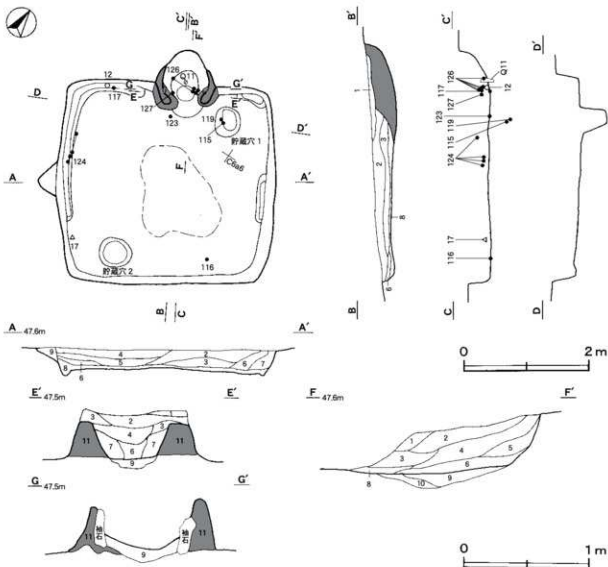
も不明である。

**覆土** 9層に分層される。床面全体に鹿沼バミスを含んでいるローム土(覆土土層断面図, 第8層)が埋められ、その後は周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                        |       |                     |
|-------|------------------------|-------|---------------------|
| 1 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量      | 6 暗褐色 | ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子少量、炭化粒子微量         | 7 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・鹿沼バミス微量  |
| 3 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量 | 8 褐色  | 鹿沼バミス少量             |
| 4 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子微量           | 9 暗褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   |
| 5 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量    |       |                     |

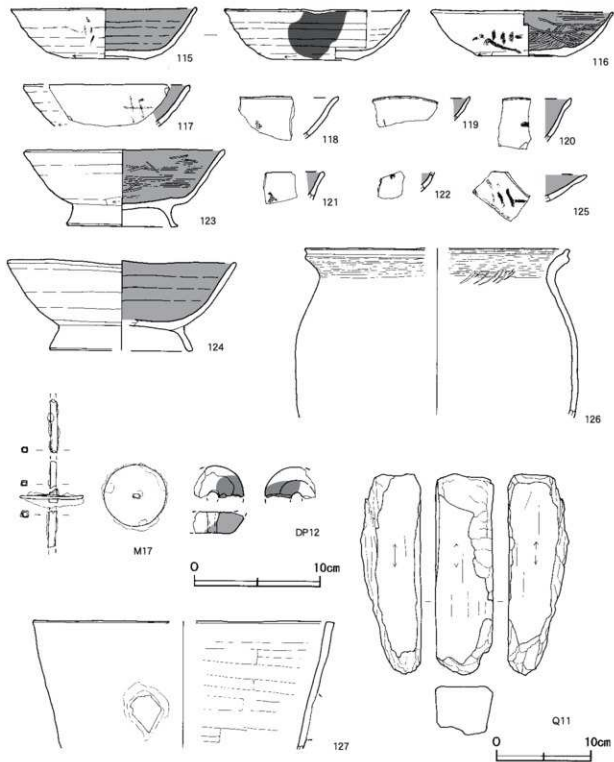
**遺物出土状況** 土師器片434点(環177, 椀25, 鉢6, 甕類226), 灰軸陶器片1点, 土製品1点(紡錘車), 石製品2点(砥石1, 支脚1), 鉄製品1点(紡錘車)が出土している。土器片は大半が小破片で、全域に散在しており、特に竈内に集中している。115・119は貯蔵穴1の底面から出土している。116は南東コーナー部、123は竈前方の床面から出土しており、115とともに遺棄されたものと考えられる。117は北西コーナー部の壁溝内から出土している。124は西壁際の覆土下層に散在している破片が接合したものである。DP12は北西コーナー部、M17は南西コーナー部の覆土下層から出土している。118・120・121・122・125は覆土中から出土してい



第173図 第17号住居跡実測図

る。119のような小破片や覆土下層及び竈の覆土下層から火床部にかけて散在している遺物は、離れた位置から出土した破片が接合しており、廃絶時に埋め戻す際に廃棄されたものと考えられる。また、混入した陶器片が出土している。

所見 廃絶時期は、遺棄された土器及び須恵器が見られないことから10世紀前葉と考えられる。



第174図 第17号住居跡出土遺物実測図



第17号住居跡出土遺物観察表 (第174図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
115	土師器	坏	14.6	4.1	6.5	長石・雲母・赤色粘土・黒色粘土	にぶい黄橙	普通	体部下端凹形ヘラケズリ 内面未調整	貯蔵穴1底面	5% 雲母 体底外周 (□)
116	土師器	坏	14.4	3.8	6.6	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい黄橙	普通	体部下端凹形ヘラケズリ 内面ヘラ磨き 底部切り離し後凹形ヘラ有り	床面	5% 雲母 体底外周 (□)
117	土師器	坏	(13.0)	(3.4)	—	長石・石英・雲母・赤色粘土	黄	普通	体部内面ヘラ磨き	壁溝内	5% 雲母 体底外周 (□)
118	土師器	坏	—	(3.5)	—	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土中	5% 雲母 体底外周 (□)
119	土師器	坏か	—	(1.9)	—	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	貯蔵穴1底面	5% 雲母 体底外周 (□)
120	土師器	坏か	—	(3.6)	—	石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土中	5% 雲母 体底外周 (□)
121	土師器	坏か	—	(2.3)	—	長石・石英・赤色粘土	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土中	5% 雲母 体底外周 (□)
122	土師器	坏か	—	(1.6)	—	長石・石英	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土中	5% 雲母 体底外周 (□)
123	土師器	碗	15.8	6.3	8.8	長石・石英・雲母・黒色粘土	にぶい黄橙	普通	体部下端凹形ヘラ有り 内面ヘラ磨き 底部切り離し後土ダ 高台取付付	床面	95%
124	土師器	碗	18.0	7.3	(11.3)	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	体部下端・内面未調整 底部切り離し後土ダ 高台取付付	下層	45%
125	土師器	高台付皿	—	(2.2)	—	長石・雲母・黒色粘土	にぶい黄橙	普通	体部内面ヘラ磨き	覆土中	5% 雲母 体底外周 (□)
126	土師器	甕	[20.8]	(13.3)	—	長石・石英	明赤褐	普通	口縁部内・外面横ナデ 内面ヘラ状工具のアタリ 体部内・外面土ダ	覆下層	20%
127	土師器	甕	[31.6]	(13.7)	—	長石・石英・雲母・赤色粘土	黄	普通	口縁部・体部外面ヘラ磨き後土ダ 内面土ダ	覆火床部	5%

番号	器種	上面径	下面径	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
MP12	紡錘車	(2.6)	(2.8)	1.8	(16.5)	粘土(長石・石英・雲母)	外面丁寧なナデで平滑	下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q11	支脚	21.2	6.1	6.5	1400	砂岩	底石敷用 底面3面 全ての底面に溝状痕あり 全面に粘土付着 赤変	火床部設置	

番号	器種	長さ	結束部幅	結束部厚さ	重量(土器)	材質	特徴	出土位置	備考
M17	紡錘車	(11.7)	0.7	0.5	(30.0)	鉄	紡錘径1.9cmの円盤形 結束断面方形で中空	下層	

## 第18号住居跡 (第175図)

位置 調査V区のB 6 d1区で、標高50mほどの斜面部に位置している。

規模と形状 長軸3.06m、短軸2.87mの方形で、主軸方向はN-9°-Eである。壁高は11~30cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。壁溝が西壁下及び東壁下の一部に確認されている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで101cm、袖部幅は107cmである。袖部は床面から8cmだけ白色粘土の盛り上がり確認されている。火床部は床面より10cm皿状に掘りくぼめて、暗褐色土(竈土層断面図、第5層)を埋め土している。火床面は赤変している。煙道部は壁外へ66cm掘り込まれており、火床部から緩やかに立ち上がってさらに外傾しており、厚さ7~33cmの白色粘土が貼り付けられている。

## 竈土層解説

1	暗褐色	ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量	4	暗赤褐色	焼土粒子中量、粘土粒子微量
2	暗褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量	5	暗褐色	焼土粒子中量、粘土粒子少量
3	暗赤褐色	焼土粒子中量、ローム粒子微量	6	灰褐色	ローム粒子中量、焼土粒子微量

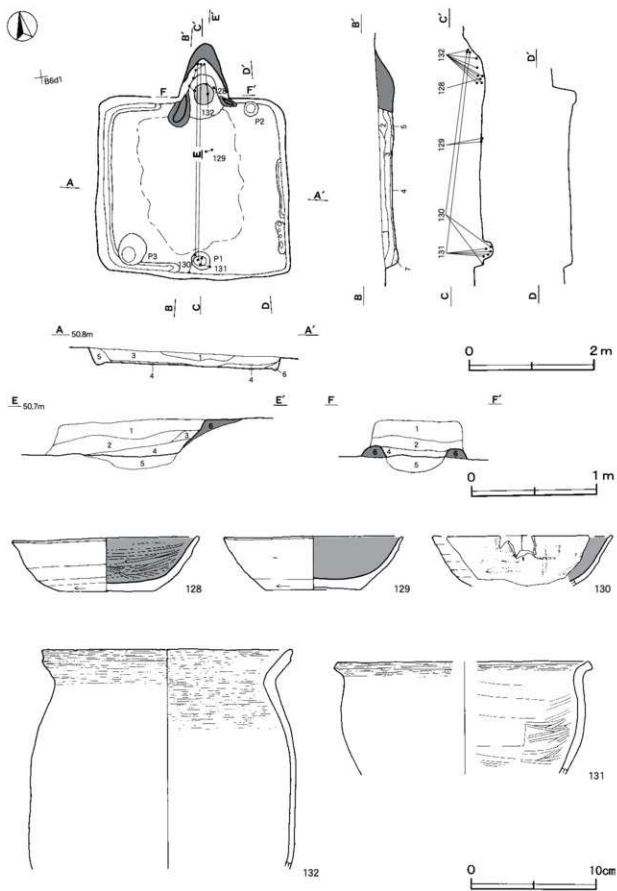
ピット 3か所。P 1は深さ16cmで、南壁際中央に位置しており、出入り口施設に伴うピットと考えられる。

P 2・P 3は深さ9~26cmで、性格は不明である。

覆土 7層に分層される。周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

1	暗褐色	ローム粒子少量、炭化粒子微量	5	褐色	ローム粒子中量
2	黒褐色	ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量	6	暗褐色	ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量
3	暗褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	7	褐色	ローム粒子・炭化粒子微量
4	暗褐色	ロームブロック・炭化粒子微量			



第175図 第18号住居跡・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師器片114点（環62，碗3，甕類49）が出土している。土器の大半は小破片で、南壁際と竈内に集中している。129は中央部の床面から潰れた状態で出土しており、遺棄されたものと考えられる。128は竈の覆土下層から出土しており、二次的な火熱痕が見られないことから廃絶後に廃棄されたものと考えられる。130・131はP1の覆土上層から底面にかけて出土した破片と、竈の覆土上層から出土した破片が接合したものである。132は竈の覆土上層から火床部にかけて出土した破片が接合したものである。接合する破片が竈とP1という正対する位置から出土しており、廃絶後の窪地に意図的に正対する位置に分けて廃棄した可能性がある。また、流れ込んだ縄文土器片、石鏡が出土している。

**所見** 廃絶時期は、床面出土の土器及び須恵器が見られないことから10世紀前葉と考えられる。

#### 第18号住居跡出土遺物観察表（第175図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
128	土師器	環	14.6	4.5	7.6	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端凹縁へラ磨り 底面外側を削り 底面外側を削り	竈下層	100% 二次火熱痕無し
129	土師器	環	14.0	4.3	7.6	長石・雲母・赤色粒子・黒色粒子	にぶい橙	普通	体部下端凹縁へラ磨り 底面外側を削り	床面	90% 黒書カ
130	土師器	坏	[14.3]	(4.1)	—	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き	P1+覆土層	20% 黒書カ 体部外側を削り 底面外側を削り
131	土師器	鉢	[19.9]	(9.0)	—	長石・石英・黒色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 後ナデ 内面へラ磨き	P1+覆土層	10% 体部外側を削り 底面外側を削り
132	土師器	甕	19.6	(17.5)	—	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 底面外側を削り 調整不明	上層+下層	25%

#### 第19号住居跡（第176図）

**位置** 調査V区のB6J7区で、標高48mほどの斜面部に位置している。

**規模と形状** 長軸2.97m、短軸2.40mの方形で、主軸方向はN-14°-Wである。壁高は24~45cmで、ほぼ直立している。

**床** ほぼ平坦で、中央部の狭い範囲に硬化面が確認されているが、全体的に軟弱である。

**竈** 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで75cmである。袖部は遺存していない。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床面は焼土粒子・炭化粒子が広がっているだけで、赤変等は見られない。煙道部は壁外へ59cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ち上がっている。

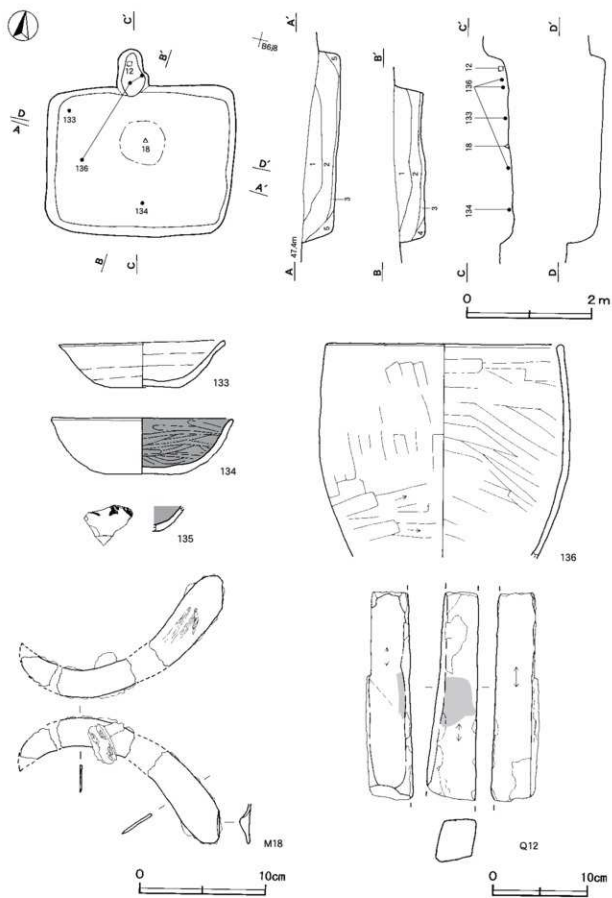
**覆土** 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

##### 土層解説

1	黒色	ロームブロック微量	4	褐色	ローム粒子少量
2	暗褐色	ローム粒子少量	5	暗褐色	ローム粒子微量
3	暗褐色	ローム粒子中量			

**遺物出土状況** 土師器片157点（環24，鉢37，甕類96），須恵器片1点（坏），石製品1点（砥石），鉄製品1点（鎌）が出土している。土器片は大半が小破片で、全城に散在している。M18は中央部の床面から出土しており、遺棄されたものと考えられる。133は北西コーナー部の覆土下層から出土している。完形品であり壁面に置かれて遺棄されていたものが、土砂の流入とともに転落した可能性がある。134は南壁寄りの覆土下層から出土している。136は竈の覆土下層と西壁寄りの覆土下層からそれぞれ出土した破片が接合したものである。Q12は竈の覆土下層から出土している。135は覆土中から出土している。覆土下層から出土している遺物は、離れた位置から出土した破片が接合した136のように、廃絶後の窪地に廃棄されたもの、又は、破断面や器面が摩滅している須恵器破片のように流入したものと考えられる。

**所見** 廃絶時期は、覆土下層から出土した土器及び須恵器が伴わないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。



第176图 第19号住居跡・出土遺物実測図

第19号住居跡出土遺物観察表（第176図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
133	土師器	坏	13.0	3.8	6.0	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部下端未調整 内面未調整 底部へア切の検土調整	下層	100%
134	土師器	坏	14.2	4.5	6.0	長石・石英	にぶい橙	普通	体部内面へラ磨き 器底割落のため体部下端 底径調整不明	下層	85%
135	土師器	坏	—	(2.0)	—	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	5% 重層 体部外面 横径φ (□□)
136	土師器	甕か	25.1	(22.8)	—	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラ削り後へラナデ 内面へラナデ	下層+覆下層	50%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q12	砥石	(22.1)	(5.3)	(5.1)	(910)	砂岩	縦溝3面 2面の一部分が二次火焼により赤変 端部に粘土付着	覆下層	支脚に転用カ

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M18	鎌	(15.9)	(5.5)	0.2	(44.0)	鉄	曲刃 端部折り返し 表面面に木質接着 表面に別個体の鉄製品接着	床面	

第20号住居跡（第177図）

位置 調査Ⅵ区のC8F0区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

確認状況 道路部分は未調査であるため、全体は確認されていない。

重複関係 第283号土坑と第10号溝と第5号ピット群に掘り込まれている。

規模と形状 東西軸1.80m、南北軸2.00mだけが確認され、形状は不明である。西壁のラインを主軸と想定すると、主軸方向はN-7°-Wである。壁高は20cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、南壁際は踏み固められておらず、中央部から北壁側にかけて硬化面が広がっていたと推測される。

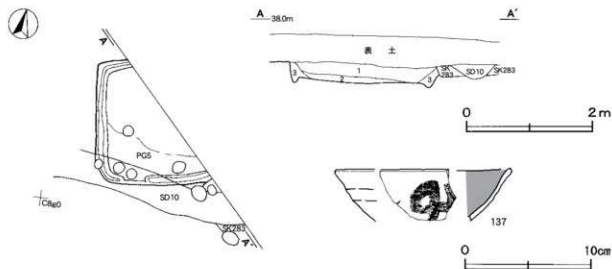
覆土 3層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様子を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

- 1 黒褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量      3 暗褐色 ロームブロック少量  
2 黒褐色 ローム粒子中量

遺物出土状況 土師器片9点（坏2、甕類6）が出土している。137は覆土中から出土している。

所見 調査範囲が狭く詳細は不明である。土師器片も細片が多く時期を明確にできないが、集落の継続期間内に属する10世紀代と考えられる。



第177図 第20号住居跡・出土遺物実測図

第20号住居跡出土遺物観察表 (第177図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
137	土師器	環	13.8	4.1	-	石英・雲母	にがい黄橙	普通	体部内面へ磨き	覆土中	305番器高調査(口)

第21号住居跡 (第178・179図)

位置 調査Ⅵ区のB 8b0区で、標高39mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第323・324・344号土坑と第14号溝に掘り込まれている。

規模と形状 長軸4.18m、短軸2.86mの長方形で、主軸方向はN-88°-Eである。壁高は10~26cmで、ほぼ直立している。

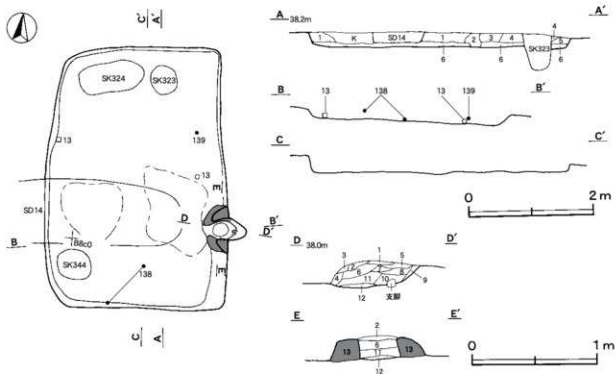
床 ほぼ平坦で、竈の前方と西壁寄りの位置がよく踏み固められている。

竈 東壁の南寄りに付設されている。規模は焚口部から煙道部まで75cm、袖部幅は73cmである。袖部は床面の上に白色粘土を盛り上げて構築されている。火床部は床面とほぼ同じ高さで、火床部の奥壁寄りの位置にあるピット状の掘り込みの中に、角柱状の自然礫が支脚として据えられている。支脚の全面と火床面は、赤変している。煙道部は壁外へ35cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ち上がっている。

覆土層解説

- |                          |                                |
|--------------------------|--------------------------------|
| 1 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量        | 8 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量      |
| 2 黒褐色 焼土粒子微量             | 9 赤褐色 焼土粒子少量、炭化粒子微量            |
| 3 暗褐色 焼土粒子微量             | 10 暗赤褐色 ロームブロック・焼土ブロック微量       |
| 4 灰褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量  | 11 暗赤褐色 粘土ブロック中量、焼土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 5 赤褐色 焼土ブロック微量、炭化粒子微量    | 12 赤褐色 焼土ブロック多量、炭化粒子微量         |
| 6 暗赤褐色 ローム粒子・焼土粒子・粘土粒子微量 | 13 黄褐色 ロームブロック少量、焼土粒子微量        |
| 7 赤褐色 焼土粒子・炭化粒子微量        |                                |

覆土 6層に分層される。同一層と捉えられる土砂が床面全体に厚く堆積しており、その上層も不規則な堆積状況を呈しており、人為堆積と考えられる。



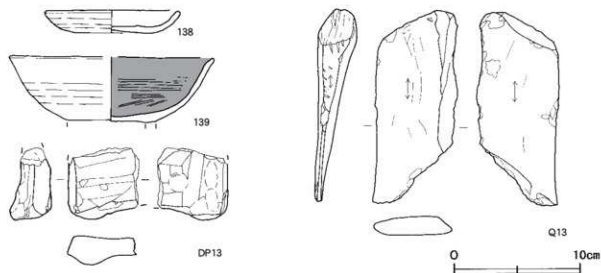
第178図 第21号住居跡実測図

土層解説

- |       |                       |       |                     |
|-------|-----------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量        | 4 黒褐色 | ローム粒子・炭化粒子少量        |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 | 5 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 3 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量  | 6 暗褐色 | ロームブロック少量           |

**遺物出土状況** 土師器片60点（小皿4，坏31，碗1，鉢2，甕類22），土製品1点（不明），石製品1点（砥石）が出土している。土器の大半は小破片で、全城の覆土下層から床面にかけて集中している。Q13は西壁際の床面から出土しており、遺棄されたものと考えられる。138は南壁際の覆土下層の破片と中央部寄りの床面から出土した破片が接合したものである。139・DP13は東壁寄りの覆土下層からそれぞれ出土している。覆土下層から床面にかけて出土した遺物は、離れた位置から出土した破片が接合しており、腐絶後埋め戻し際に廃棄されたものと考えられる。

**所見** 腐絶時期は、土師器小皿が見られることから10世紀中葉ないしそれ以前と考えられる。



第179図 第21号住居跡出土遺物実測図

第21号住居跡出土遺物観察表（第179図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手匠の特徴	出土位置	備考
138	土師器	小皿	10.5	1.8	6.0	長石・右産・雲母・赤色粒子	に濃い黄褐色	普通	底部回転糸切り後末調整	床面+下層	65% 二次大層により外面に付着内面割れ目甚だ
139	土師器	碗	[16.4]	(5.2)	—	長石・右産・雲母・赤色粒子	に濃い褐色	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部回転へラ切り後ナデ	下層	30%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
DP13	不明	(5.8)	(5.6)	3.3	(87.3)	粘土(石英)	外面へラナデ ナデ 指頭痕あり	下層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q13	砥石	15.5	6.5	3.1	286	凝灰岩	砥面3面 3面に溝状痕あり	床面	

第22号住居跡（第180・181図）

**位置** 調査VI区でのB 8 e0区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した斜面部に位置している。

**重複関係** 第428号土坑を掘り込み、第301・326号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.60m、短軸3.03mの方形で、主軸方向はN-0°である。壁高は12~23cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。壁溝が北東コーナーから西壁中央の壁下で確認されている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで118cm、袖部幅は105cmである。袖部は火床部の掘り方に白色粘土を盛り上げて構築されており、右袖部の内部には角柱状の自然礫が芯材で使用されている。また、二次的な火熱で器面が赤変・剥落している土師器片は、白色粘土に混ぜられた補強材と考えられる。火床部は床面より14cm凹凸に掘りくぼめて、黒褐色土（竈土層断面図、第4層）を埋め土しており、火床面は赤変している。煙道部は壁外へ71cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ちあがっている。

竈土層解説

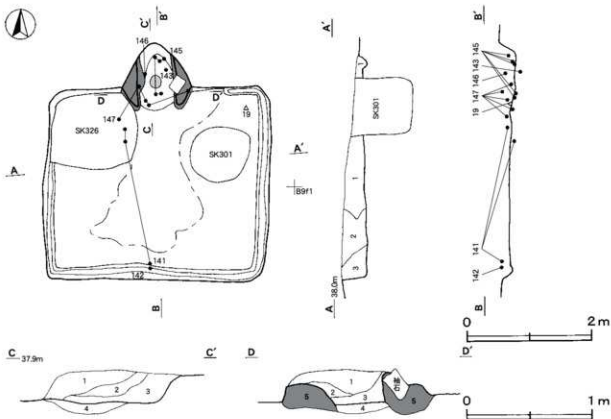
- |       |                       |       |                |
|-------|-----------------------|-------|----------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量  | 4 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量  |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化粒子微量 | 5 黄褐色 | ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 3 暗褐色 | ローム粒子・炭化粒子微量          |       |                |

覆土 3層に分層される。ロームブロックを含んでいる土砂が不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

土層解説

- |       |                      |       |                |
|-------|----------------------|-------|----------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 3 暗褐色 | ローム粒子中量、炭化粒子微量 |
| 2 褐色  | ローム粒子多量、炭化粒子微量       |       |                |

遺物出土状況 土師器片147点（坏39、椀4、鉢6、甕類98）、須恵器片1点（甕）、鉄製品1点（鉄鏝）が出土している。土器片は大半が小破片で、竈前方及び竈内から多く出土している。141は南壁中央際の覆土下層から出土した破片と第326号土坑に混入した破片が接合したものである。142は南壁中央際の覆土下層から、M19は北東コーナー際の覆土下層から出土している。143は竈の火床部から出土している。145は竈の覆土中層から火床部に散在している破片が接合したものである。146は竈中層から出土している。147は竈内と竈脇及び前

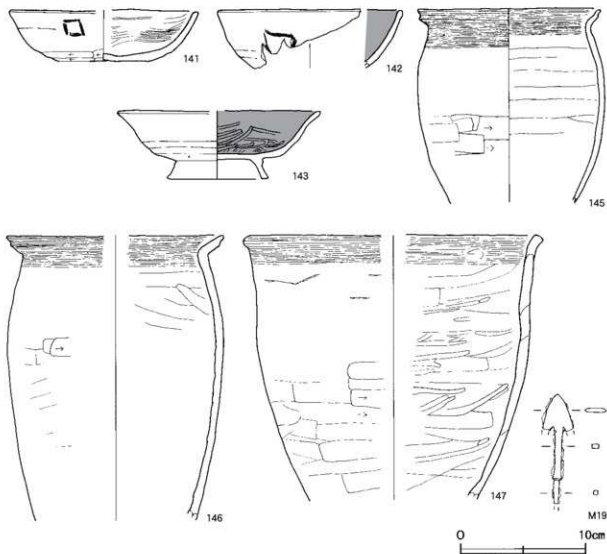


第180図 第22号住居跡実測図



方の覆土下層から出土した破片と第326号土坑に混入した破片が接合したものである。須恵器壺片は細片であり、混入したものである。

所見 廃絶時期は、甕の袖強化材に転用された143及び須恵器が見られないことから10世紀中葉以降と考えられる。



第181図 第22号住居跡出土遺物実測図

第22号住居跡出土遺物観察表 (第181図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
141	土師器	坏	[14.6]	4.1	7.0	長石・石英・雲母	にぶい相	普通	体部下端手持らへつ磨き 内面へつ磨き 底部へつ磨き後未調整	下層+SK326混入	45% 蓋蓋 体蓋 外面 痕位+ [口]
142	土師器	坏	[14.5]	(4.6)	—	長石・石英・雲母	にぶい相	普通	体部下端磨削へつ磨き 内面へつ磨き	下層	50% 蓋蓋 体蓋 外面 [口]
143	土師器	碗	16.0	5.5	7.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい相	普通	体部下端磨削へつ磨き 内面へつ磨き	竈火床部	70% 二次火 熱痕
145	土師器	甕	14.4	(15.5)	—	長石・石英・赤色粒子	にぶい相	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へつ磨き 後ナデ 内面へつ磨き ナデ	竈火床部+下層中へ下層	60%
146	土師器	甕	[16.8]	(22.6)	—	長石・石英	一般	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へつ磨き 後ナデ 内面へつ磨き	竈中層	10%
147	土師器	甕	[22.7]	(3.0)	—	長石・石英・赤色粒子	にぶい相	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へつ磨き 後ナデ 内面へつ磨き	竈+下層+SK326	20%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M19	鉄鏃	(8.8)	(2.5)	(0.4)	(10.4)	鉄	鋭稜部・基部断面方形 扁状欠損	下層	

第23号住居跡 (第182・183図)

位置 調査Ⅵ区のB8j0区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 長軸3.80m、短軸2.97mの方形で、主軸方向はN-7°-Eである。壁高は15~20cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、壁際を除いて全体的に踏み固められている。壁溝が東・西・南壁下で確認されている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで98cm、袖部幅は133cmである。袖部は床面に白色粘土を盛り上げて構築されている。火床部は床面から17cm皿状に掘りくぼめて、褐色土(竈土層断面図、第13層)を埋め土している。火床面は赤変硬化している。煙道部は壁外へ57cm掘り込まれており、火床部から外傾して立ちあがっている。

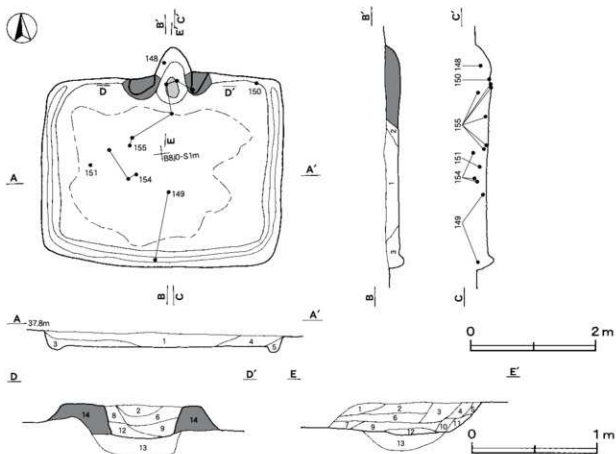
竈土層解説

- |                            |                              |
|----------------------------|------------------------------|
| 1 灰褐色 焼土ブロック・炭化粒子微量        | 8 灰褐色 粘土粒子中量、焼土ブロック少量、炭化粒子微量 |
| 2 灰黄褐色 焼土ブロック・炭化物微量        | 9 灰黄褐色 粘土粒子・焼土粒子少量、炭化粒子微量    |
| 3 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 10 黒褐色 焼土粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量    |
| 4 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量  | 11 暗褐色 焼土粒子少量、ロームブロック・炭化粒子微量 |
| 5 褐色 ロームブロック少量、炭化物微量       | 12 灰黄褐色 粘土粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量   |
| 6 黒褐色 炭化粒子少量、焼土ブロック微量      | 13 褐色 ロームブロック・焼土粒子少量         |
| 7 灰黄褐色 焼土粒子・炭化粒子微量         | 14 黄褐色 焼土ブロック少量              |

覆土 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

土層解説

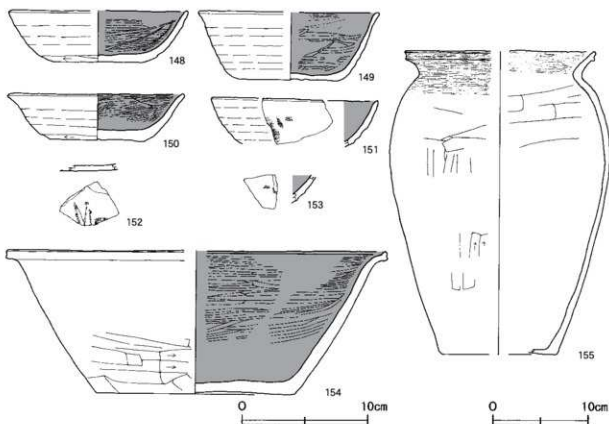
- |                           |                    |
|---------------------------|--------------------|
| 1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量   | 4 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 | 5 褐色 ローム粒子少量       |
| 3 暗褐色 ロームブロック少量、炭化粒子微量    |                    |



第182図 第23号住居跡実測図

**遺物出土状況** 土師器片191点(環43, 鉢10, 甕類138), 須恵器片2点(甕)が出土している。土器の大半は小破片で、竈前方及び中央部から集中している。150は北東コーナー部の床面から出土している。148は竈上層から出土している。151は西壁寄りの覆土上層から出土している。149は中央部の覆土下層と南壁際の覆土上層からそれぞれ出土した破片が接合したものである。154は中央部の覆土上層に散在している破片が接合したものである。155は竈の覆土上層から火床部にかけて散在している破片と、竈前方の覆土下層と中央部の床面から出土した破片が接合したものである。離れた位置から出土した破片が接合したものは、廃絶後の窪地に廃棄されたもの、器面や破断面が摩滅した須恵器片は流入したものと考えられる。

**所見** 廃絶時期は、出土土器及び須恵器が見られないことから10世紀前葉ないしそれ以前と考えられる。



第183図 第23号住居跡出土遺物実測図

第23号住居跡出土遺物観察表(第183図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
148	土師器	環	[14.0]	4.1	7.0	長石・石英・雲母	にぶい・焼	普通	体部下端凹溝へラケズリ 内面へラ磨き 底部凹溝し後凹溝へラ削り	竈上層	70%
149	土師器	環	[14.1]	5.4	7.8	長石・雲母	にぶい・黄橙	普通	体部下端の凹溝へラケズリ 内面へラ磨き 底部の凹溝へラ削り後土調整	上層+下層	50%
150	土師器	環	13.9	3.9	7.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい・黄橙	普通	体部下端凹溝へラ削り 内面へラ磨き 底部へラ削り後土調整	床面	45%
151	土師器	環	[13.1]	(3.7)	-	石英・雲母	にぶい・黄橙	普通	体部内面へラ磨き	上層	10% 器面 体部外面 埋位(1)
152	土師器	環か	-	(0.5)	-	石英・雲母・赤色粒子	にぶい・焼	普通	底部内面へラ磨き 底部削り後凹溝へラ削り	覆土中	5% 器面 底部外面(埋位)
153	土師器	環か	-	(2.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい・焼	普通	体部内面へラ磨き	覆土中	5% 器面 体部外面(埋位)
154	土師器	鉢	[30.1]	11.5	15.7	長石・石英・雲母	橙	普通	体部外面へラ削り後ナデ 内面へラ磨き	上層	30% 器面外面(埋位) 2次火焼
155	土師器	甕	[19.8]	32.4	(12.0)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい・赤焼	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へラナデ ナデ 内面へラナデ ナデ	竈+床面+下層	35%

## 第24号住居跡（第184・185図）

位置 調査VI区のB 8 i6区で、標高39mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第342号土坑、第8号井戸、第11・12号溝に掘り込まれている。

規模と形状 長軸3.10m、短軸3.06mの方形で、主軸方向はN—5°—Eである。壁高は5～12cmで、ほぼ直立している。

床 ほぼ平坦で、中央部がよく踏み固められている。

竈 北壁の中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで90cm、袖部幅は90cmである。袖部は床面上に白色粘土を盛り上げて構築されている。火床部は床面から21cm皿状に掘りくぼめて、褐色土（竈土層断面図、第6層）を埋め土している。火床面は赤変している。煙道部は壁外へ30cm掘り込まれており、火床部は緩やかに立ち上がっている。

## 竈土層解説

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 黒褐色 焼土粒子・炭化粒子・粘土粒子微量  | 4 黒褐色 焼土粒子少量、炭化粒子微量     |
| 2 褐色 焼土粒子・粘土粒子少量、炭化粒子微量 | 5 暗赤褐色 焼土粒子中量、粘土粒子少量    |
| 3 暗赤褐色 炭化物・焼土粒子・粘土粒子微量  | 6 暗赤褐色 焼土ブロック少量、ローム粒子微量 |

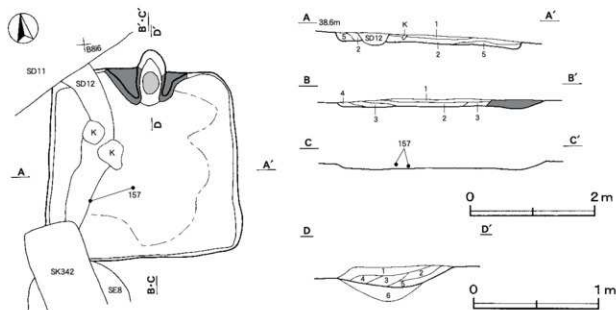
覆土 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

## 土層解説

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 黒褐色 焼土ブロック・炭化物・ローム粒子微量   | 4 暗褐色 ローム粒子少量、焼土ブロック・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 ロームブロック・焼土ブロック・炭化物微量 | 5 黒褐色 ローム粒子・炭化粒子少量          |
| 3 黒褐色 ロームブロック微量            |                             |

遺物出土状況 土師器片116点（坏51、椀1、高台付皿2、甕類62）が出土している。土器の大半は小破片で、中央部と竈内に集中している。157は中央部の覆土下層に散在している破片が接合している。156は覆土中から出土している。覆土下層から出土している土器は、離れた位置から出土した破片が接合しており、廃絶後の産地に廃棄されたものである。また、混入した陶器片が出土している。

所見 廃絶時期は、157から10世紀初頭ないしそれ以前と考えられる。



第184図 第24号住居跡実測図



第185図 第24号住居跡出土遺物実測図

第24号住居跡出土遺物観察表（第185図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
156	土師器	坏カ	-	(2.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部内面へ磨き	覆土中	5号 裏面 底面 磨き
157	土師器	高台付皿	[14.5]	3.5	7.1	長石・雲母	にぶい黄橙	普通	体部下端未面磨き 内面へ磨き 底面切り離した後ナデ 高台付の付け	下層	6号 裏面 底面 磨き

第25号住居跡（第186図）

**位置** 調査Ⅵ区のC9e1区で、標高39mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**確認状況** 遺構確認の段階で削平された状態で確認されており、掘り込みはほとんど遺存していない。

**重複関係** 第406・408・409・413・415号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸3.84m、短軸3.62mの方形で、主軸方向はN-100°-Eである。壁高は南西コーナー部で、5～16cmで、ほぼ直立している。

**床** 覆土が残っていた範囲ではほぼ平坦であり、硬化面も部分的に確認されている。

**竈** 火床面と考えられる赤変した範囲が東壁の中央部に確認されている。前方がよく踏み固められている。

**炉** 南東コーナー部に位置している。長径50cm、短径45cmの、床面から10cm掘りくぼめて構築された地床炉である。炉石は長軸方向に直交して据えられており、炉床は赤変している。

**炉土層解説**

- 1 赤褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量      2 褐色 ローム粒子少量

**ピット** 3か所。P1・P2は深さ40cm・45cmで、西壁寄りの中央に位置しており、出入り口施設に伴うピットと考えられる。P3は深さ12cmで、性格不明である。

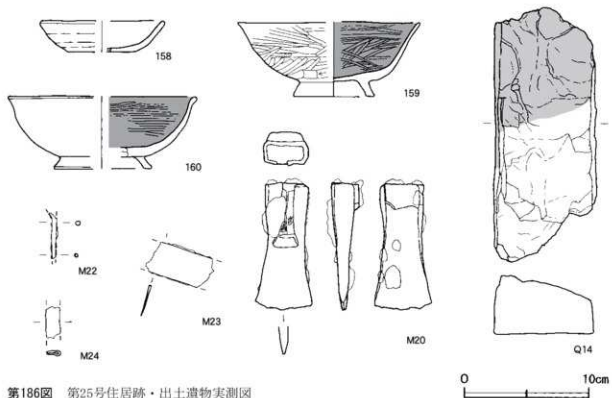
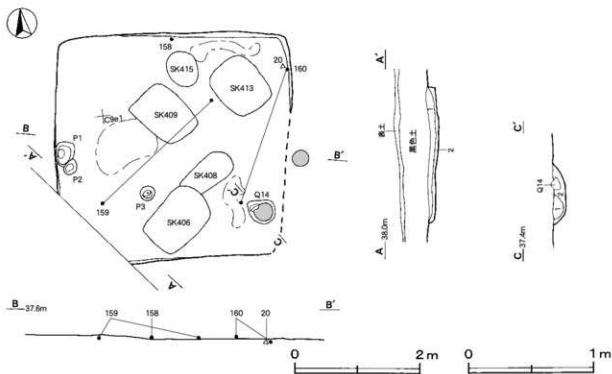
**覆土** 2層に分層される。周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック・炭化粒子微量      2 暗褐色 ローム粒子少量

**遺物出土状況** 土師器片29点（小皿5、環11、椀2、甕・瓶類11）、鉄製品4点（紡錘車1、鎌1、斧1、不明1）が出土している。土器の大半は小破片で、炉の周辺から比較的多く出土している。158・M20は北壁際及び北東コーナー部の床面からそれぞれ出土しており、遺棄されたと考えられる。159は中央部の床面に散在している破片が接合したものである。160は炉周辺及び北東コーナー際の床面からそれぞれ出土した破片が接合したものである。M22～M24は覆土中から出土している。159・160は離れた位置から出土した破片が接合しており、廃絶後の窪地に廃棄されたものである。他に、混入した陶器片が出土している。

**所見** 廃絶時期は、158・159・160から10世紀中葉ないしそれ以前と考えられる。竈と炉を持つ住居形態は、つくば市島名熊の山遺跡にも類型が見られ、手工業生産が行われていた可能性が指摘されている。本跡も同様な性格を持つ住居の可能性がある。



第186図 第25号住居跡・出土遺物実測図

第25号住居跡出土遺物観察表 (第186図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
158	土師器	小皿	[9.6]	2.5	[5.4]	長石・石英・赤色砂子	橙	普通	底部回転糸切り後未調整	床面	35%
159	土師器	碗	[14.3]	5.9	6.4	長石・雲母・黒色砂子	橙	普通	体部下端手持ちへラ削り 西外面へラ磨き 底部切り磨し 底部台彫り付	床面	60%
160	土師器	碗	[14.8]	5.8	[7.8]	長石・石英・雲母・赤色砂子	橙	普通	体部下端未調整 内面へラ磨き 底部切り磨し 底部台彫り付	床面	35%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q14	炉石	20.3	8.2	5.7	1140	チャート	縦面の全面が赤変	伊焼土層中	
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M20	斧	10.0	4.5	2.4	(158.30)	鉄	両方の有段鉄斧 刃部は扇形に開く 銜部の翼状の折り返しに開隔を持つ 銜部の内部に柄の木質遺存	床面	
M22	紡錘車	(3.7)	(0.7)	0.4	(1.38)	鉄	紡錘 断面円形	覆土中	
M23	鎌	(5.3)	2.5	0.2	(10.20)	鉄	両端欠損	覆土中	
M24	不明	(2.5)	(1.2)	(0.4)	(1.40)	鉄	板状の鉄を折り返している	覆土中	

## ② 火葬墓

### 第1号火葬墓（第187図）

位置 調査Ⅰ区西端のA2d2区で、標高51mほどの丘陵上の平坦部に位置している。

規模と形状 骨蔵器を埋納する土坑は、径0.2mほどの円形で、深さ10cmである。底面はほぼ平坦で、壁は直立している。

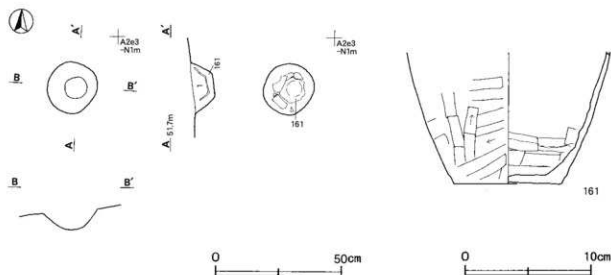
覆土 1層で、人為堆積である。

#### 土層解説

1 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子微量

遺物出土状況 土師器片1点（甕）が出土している。161は正位で埋納されており、内部に焼骨が確認されている。蓋に相当する土器は確認されていない。

所見 時期は、161から10世紀代と考えられる。甕の外表面は二次的な火熱を受けており、日常で使用していたものを骨蔵器に転用している。また、木跡から南に1.30mの位置に、骨片の集中が認められるが、土坑や骨蔵器は確認されていない。



第187図 第1号火葬墓・出土遺物実測図

### 第1号火葬墓出土遺物観察表（第187図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	粘土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
161	土師器	甕	-	(10.5)	8.4	長石・石英・赤色 鉄子・炭化粒子	にがい泥	普通	手法の特徴 体部外面へツボリ後ナデ 内面へラナデ ナデ 輪種みねあり	覆土中	30% 骨蔵器 に転用

## (3) 土坑

## 第110号土坑 (第188・189図)

**位置** 調査Ⅲ区のD 9e8区で、標高35mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 径1.21mほど、深さ35cmの円形である。底面はほぼ平坦で、壁は直立している。

**覆土** 3層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                   |       |                 |
|-------|-------------------|-------|-----------------|
| 1 黒褐色 | ロームブロック少量、黒沼バミス微量 | 3 暗褐色 | ローム粒子少量、黒沼バミス微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子中量、黒沼バミス少量   |       |                 |

**遺物出土状況** 土師器片4点(柄)が出土している。162はこれらの土器片が接合したものである。底面の中央部に遺棄されたものが、土圧で潰れたものと考えられる。

**所見** 時期は、10世紀後半と考えられる。性格は不明であるが、この時期の堅穴住居群とともに集落を構成する施設と考えられる。

## 第122号土坑 (第188・189図)

**位置** 調査Ⅲ区のD 9g3区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 径1.16mほど、深さ21cmの円形である。二段に掘り込まれており、底面はほぼ平坦で、中段に平坦面を持っている。壁は中段から外傾して立ち上がっている。

**覆土** 3層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                     |      |                |
|-------|---------------------|------|----------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子少量             | 3 褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 暗褐色 | ローム粒子中量、焼土粒子・炭化粒子微量 |      |                |

**遺物出土状況** 土師器柄が1点、中段の平坦面から斜位で出土している。正位で遺棄されたものが、土砂の流入で動いたものと考えられる。

**所見** 時期は、10世紀前半と考えられる。性格は不明であるが、この時期の堅穴住居群とともに集落を構成する施設と考えられる。

## 第232号土坑 (第188・189図)

**位置** 調査Ⅵ区のC 9j2区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 径1.61mほど、深さ49cmの円形である。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。底面及び壁の一部が、強く赤変している。

**覆土** 4層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

**土層解説**

- |       |                   |       |                     |
|-------|-------------------|-------|---------------------|
| 1 黒褐色 | ローム粒子少量、炭化物微量     | 3 黒褐色 | 焼土粒子少量、ローム粒子・炭化粒子微量 |
| 2 黒褐色 | ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子微量 | 4 黒褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量 |

**遺物出土状況** 土師器片135点(坏125、高台付皿8、甕2)が出土している。これらは小破片及び細片で、接合関係が希薄であり、覆土中層から下層にかけて出土している。165は覆土中層から出土している。土器片には二次的な火熱痕が認められず、埋没の途中で廃棄及び流入したものと考えられる。また、底面の一部に、炭化材が確認されている。

**所見** 時期は、出土土器とその出土状況から10世紀前半と考えられる。相当量の火の使用が考えられるが、集落内での用途は特定できない。



### 第234号土坑（第188・189図）

位置 調査VI区のC9J3区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 径約1.07mほど、深さ24cmの円形である。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 1層である。同じ土砂が周囲から流入した自然堆積と考えられる。

#### 土層解説

1 黒褐色 ローム粒子・焼土粒子・炭化粒子少量

遺物出土状況 土師器片62点(坏57, 碗5)が出土している。これらは小破片及び細片で、接合関係が希薄であり、覆土下層から底面にかけて出土している。166は底面から出土している。これらは埋没の途中で廃棄及び流入したものと考えられる。

所見 時期は、出土土器とその出土状況から10世紀前半と考えられる。

### 第428号土坑（第188図）

位置 調査VI区のB8e0区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第22号住居に掘り込まれている。

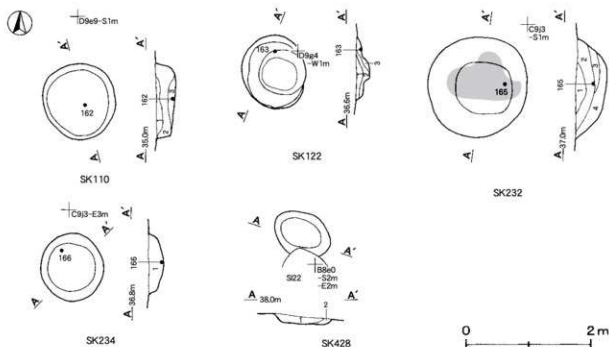
規模と形状 長径0.91m、短径0.69m、深さ12cmの楕円形で、長径方向はN-71°-Wである。底面はほぼ平坦で、壁は外傾して立ち上がっている。

覆土 2層である。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

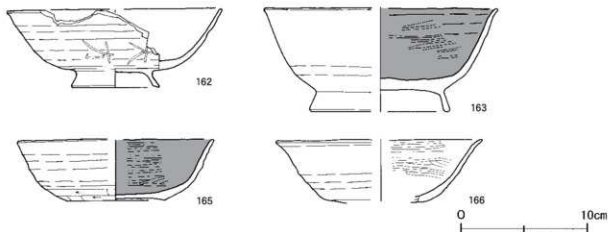
#### 土層解説

1 黒褐色 焼土ブロック・ローム粒子・炭化粒子少量      2 暗褐色 ローム粒子少量、焼土粒子・炭化粒子微量

所見 時期は、10世紀中葉の第22号住居との重複関係から、10世紀前半と考えられる。



第188図 第110・122・232・234・428号土坑実測図



第189図 第110・122・232・234号土坑出土遺物実測図

第110号土坑出土遺物観察表 (第189図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
162	土師器	碗	[17.0]	6.2	6.8	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部下端調整へつ削り 内面未調整 底部へつ切の後ナデ未調整 高台取り付け	底面	9% 黒土の調整 赤土の調整

第122号土坑出土遺物観察表 (第189図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
163	土師器	碗	[18.4]	8.3	[10.6]	長石・雲母・赤色粒子	橙	普通	体部下端未調整 内面へつ磨き 底部切り 削り後ナデ調整 高台取り付け	壁中段の平坦面	9% 黒土の調整 赤土の調整

第232号土坑出土遺物観察表 (第189図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
165	土師器	杯	[15.6]	4.8	7.8	長石・石英・雲母	にがみ・桃	普通	体部下端調整へつ削り 内面へつ磨き 底部へつ切の後へつ削り調整	中層	30%

第234号土坑出土遺物観察表 (第189図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
166	土師器	杯	[16.4]	5.0	[8.2]	長石・石英・雲母	にがみ・桃	普通	体部下端未調整 内面へつ磨き	底面	30%

#### (4) 不明遺構

##### 第1号不明遺構 (第190図)

**位置** 調査Ⅱ区のB 4e7区で、南側へ緩やかに傾斜した標高50mほどの丘陵上の平坦部南縁に位置している。  
**規模と形状** 長軸3.50m、短軸3.10mほどの不整な隅丸方形で、主軸方向はN-26°-Wである。壁高は25-35cmで、外傾して立ち上がっている。底面はほぼ平坦で、全体が軟弱である。

**覆土** 5層に分層される。全体的に周囲から土砂が流入した様相を呈しており、自然堆積と考えられる。

##### 土層解説

- |        |                       |        |                |
|--------|-----------------------|--------|----------------|
| 1 黒 褐色 | ロームブロック・炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 4 黒 褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 2 黒 褐色 | ロームブロック少量、炭化粒子微量      | 5 桃 色  | ローム粒子多量、炭化粒子微量 |
| 3 暗 褐色 | ローム粒子多量、炭化粒子微量        |        |                |

**遺物出土状況** 土師器片7点(杯2, 甕5)が底面全体に散在している。170は底面の中央部から出土している。

**所見** 土器がすべて細破片で、時期の特定が困難である。覆土の土質から平安時代と考えられ、集落の継続期間内に属する10世紀代と考えられる。



番号	位置	主軸方向	平面形	規模 (m) (長軸×短軸)	壁高 (cm)	床面	内 部 施 設						覆土	出土遺物	時代	備考	
							階段	土柱穴	出入口	ゴット	貯蔵穴	欄					が
22	B 8 e f	N-0°	方形	3.80×3.03	12-23	平坦	直立形	-	-	-	-	1	-	人瓦	土師器 須恵器 鉄器	10世紀中葉	S K 229→ S K 311、S 312→S K 311→328
23	B 8 f g	N-7°E	方形	3.80×3.97	10-20	平坦	直立形	-	-	-	-	1	-	自然	土師器 須恵器	10世紀前半	
24	B 8 e h	N-7°E	方形	3.80×3.96	5-11	平坦	-	-	-	-	-	1	-	自然	土師器	10世紀前半	本跡→ S K 311、S 312、S 311、 312
25	C 9 e f	N 160°-E	方形	3.80×3.62	5-18	平坦	-	-	2	1	-	1	1	自然	土師器 須恵器 陶器 鉄器	10世紀中葉	本跡→ S 308・411・ 409・413、 411

表14 平安時代土坑一覽表

番号	位置	長径方向	平面形	規模 (m) (長径×短径)	深さ (cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
110	D 9 e 8	N-0°	円形	1.21	35	直立	平坦	自然	土師器 陶	
122	D 9 g 3	N-0°	円形	1.16	21	外傾	平坦	自然	土師器 陶	
232	C 9 j 2	N-0°	円形	1.61	49	外傾	平坦	自然	土師器 (坏・高台付皿・甕)	
234	C 9 j 3	N-0°	円形	1.07	24	外傾	平坦	自然	土師器 (坏・碗)	
428	B 8 e 0	N-71°-W	楕円形	0.91×0.69	12	外傾	平坦	自然	—	本跡→S122

## 4 近世の遺構と遺物

近世の遺構は骨、副葬品、鉄釘等の出土から墓坑と特定できる9基が確認されている。以下、遺構と遺物について記述する。

## 第1号墓坑 (S K 229) (第191図)

位置 調査1区のC 8 e 7区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第230号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸0.88m、短軸0.70mの長方形で、深さ24cmである。長軸方向はN-50°-Eで、壁は長・短径方向ともにほぼ直立しており、底面はほぼ平坦である。

覆土 1層である。ロームブロックを含んでおり、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

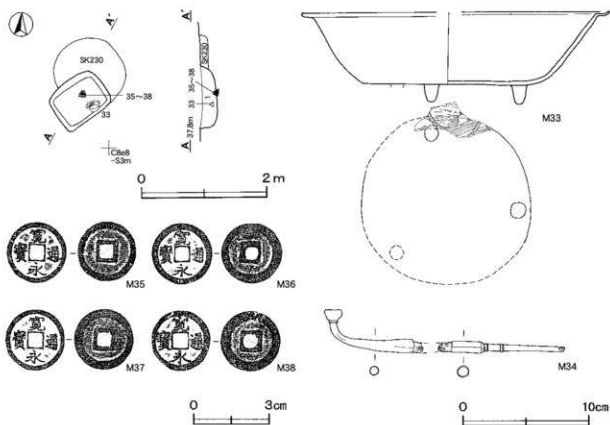
1 黒褐色 ロームブロック多量

遺物出土状況 金属製品6点(鉄鍋1、古銭4、煙管1)が出土している。M33は底面近くの覆土下層、M35～M38は底面、M34は覆土中から出土している。

所見 時期は、古銭と煙管の形態から17世紀前半以降と考えられる。鉄鍋は鍋被りと考えられ、鉄鍋に付着した木質は、木棺の可能性ある。

## 第1号墓坑出土遺物観察表 (第191図)

番号	器種	口径	器高	底径	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M33	鉄鍋	[24.2]	7.4	13.4	(385)	鉄	三足、底面に木質付着	下層	
番号	器種	長さ	標首径	吸口径	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M34	煙管	[17.8]	1.0	0.6	(13.1)	真鍮	標首標首 大皿形あり 大皿と首筒間部に標首帯 吸口の先端の鋳造痕跡認められる	覆土中	



第191図 第1号墓坑・出土遺物実測図

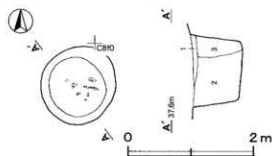
番号	銭名	径	孔径	厚さ	重さ	初鋳年	特徴	出土位置	備考
M35	寛永通寶	2.42	0.60	0.12	3.18	1636	古寛永	底面	
M36	寛永通寶	2.42	0.58	0.12	3.74	1636	古寛永	底面	
M37	寛永通寶	2.42	0.60	0.12	3.18	1636	古寛永	底面	
M38	寛永通寶	2.41	0.65	0.13	4.02	1636	古寛永	底面	

### 第2号墓坑 (SK231) (第192図)

位置 調査Ⅵ区のC8f9区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 径1.27mほどの円形で、深さ82cmである。壁は直立しており、底面はほぼ平坦である。

覆土 3層に分層される。各層ともロームブロックを含んで不規則に堆積しており、人為堆積と考えられる。



#### 土層解説

- 1 黒褐色 ロームブロック多量
- 2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量
- 3 褐色 ロームブロック少量

所見 時期を特定できる遺物は出土していないが、他の墓坑と形態が同じであり、近接した位置にあることから江戸時代と考えられる。また、底面近くの覆土下層から人骨が出土している。

第192図 第2号墓坑実測図

## 第3号墓坑 (SK238) (第193図)

位置 調査VI区のD 9a5区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第243・244号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 長軸1.15m、短軸0.74mの長方形で、深さ68cmである。長軸方向はN-70°-Eで、壁は直立しており、底面はほぼ平坦である。

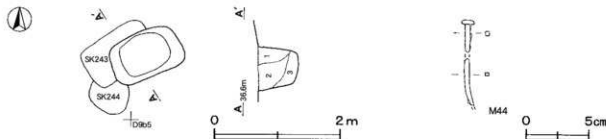
覆土 3層に分層される。各層ともロームブロックを含んで不規則に堆積しており、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- 1 暗褐色 ロームブロック多量  
2 暗褐色 ロームブロック中量、炭化粒子微量  
3 褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 鉄製品1点(釘)が出土している。M44は覆土中から出土している。

所見 時期を特定できる遺物は出土していないが、他の墓坑と形態が同じであり、近接した位置にあることから江戸時代と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第193図 第3号墓坑・出土遺物実測図

## 第3号墓坑出土遺物観察表 (第193図)

番号	器種	長さ	頭部径	脚部	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M44	鉄釘	(6.6)	0.9	0.3	(2.96)	鉄	頭部丸形 脚部断面方形	覆土中	

## 第4号墓坑 (SK245) (第194図)

位置 調査VI区のD 9b4区で、標高37mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

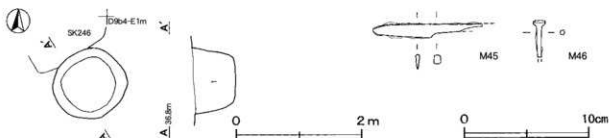
重複関係 第246号土坑を掘り込んでいる。

規模と形状 径1.14mほどの円形で、深さ61cmである。壁は直立しており、底面はほぼ平坦である。

覆土 1層である。ロームブロックを含んでおり、人為堆積と考えられる。

## 土層解説

- 1 褐色 ロームブロック多量



第194図 第4号墓坑・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 鉄製品2点(釘, 刀子)が出土している。M45・M46は覆土中から出土している。また、混入した土師器片が出土している。

**所見** 時期を特定できる遺物は出土していないが、他の墓坑と形態が同じであり、近接した位置にあることから江戸時代と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。

#### 第4号墓坑出土遺物観察表 (第194図)

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M45	刀子	(8.8)	1.1	0.3	(9.60)	鉄	片側 刀身断面三角形 基部断面方形	覆土中	

番号	器種	長さ	頭部径	脚部	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M46	鉄釘	(2.9)	0.9	0.4	(1.26)	鉄	頭部丸形 脚部断面方形	覆土中	

#### 第5号墓坑 (S K368) (第195図)

**位置** 調査Ⅵ区のB8e5区で、標高39mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**重複関係** 第359号土坑に掘り込まれている。

**規模と形状** 長軸1.32m、短軸0.72mの長方形で、深さ60cmである。長軸方向はN-10°-Wで、壁は直立しており、底面はほぼ平坦である。

**覆土** 2層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

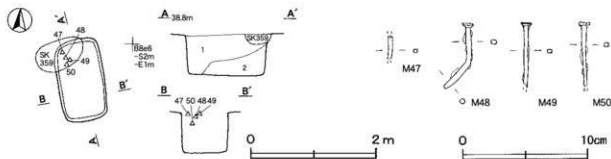
##### 土層解説

1 黒褐色 ロームブロック微量

2 暗褐色 ロームブロック少量

**遺物出土状況** 金属製品4点(釘)が出土している。M47～M50は覆土上層から出土している。第359号土坑に攪乱され、上層に持ち上げられたと考えられる。

**所見** 時期を特定できる遺物は出土していないが、他の墓坑と形態が同じであり、近接した位置にあることから江戸時代と考えられる。釘から木棺の存在がうかがわれる。



第195図 第5号墓坑・出土遺物実測図

#### 第5号墓坑出土遺物観察表 (第195図)

番号	器種	長さ	頭部径	脚部幅	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M47	鉄釘	1.9	—	0.3	(0.41)	鉄	脚部断面方形	上層	
M48	鉄釘	(5.1)	0.9	0.4	(5.90)	鉄	頭部丸形 脚部断面方形	上層	
M49	鉄釘	(5.2)	0.9	0.4	(2.98)	鉄	頭部丸形 脚部断面方形	上層	
M50	鉄釘	(2.9)	0.9	0.4	(1.26)	鉄	頭部丸形 脚部断面方形	上層	

## 第6号墓坑 (SK380) (第196図)

位置 調査VI区のB 8g6区で、標高39mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

重複関係 第2号掘立柱建物、第377・381号土坑に掘り込まれている。

規模と形状 径1.10mほどの円形で、深さ35cmである。壁は直立しており、底面はほぼ平坦である。

覆土 2層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

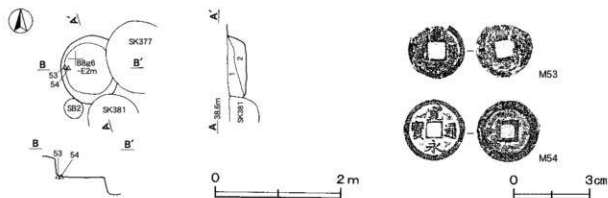
## 土層解説

1 黒褐色 ロームブロック微量

2 暗褐色 ロームブロック少量

遺物出土状況 金属製品2点(古銭)が出土している。M53・M54は底面から出土している。

所見 時期は、古銭から17世紀前半以降と考えられる。



第196図 第6号墓坑・出土遺物実測図

## 第6号墓坑出土遺物観察表 (第196図)

番号	銭名	径	孔径	厚さ	重さ	初鋳年	特徴	出土位置	備考
M53	寛永通寶	2.31	0.71	0.11	1.72	1636	古寛永	底面	
M54	寛永通寶	2.50	0.61	0.12	2.54	1636	古寛永	底面	

## 第7号墓坑 (SK398) (第197図)

位置 調査VI区のB 8i9区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 径0.78mほどの円形で、深さ16cmである。壁は外傾して立ち上がり、底面は皿状である。

覆土 4層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。



第197図 第7号墓坑・出土遺物実測図



土層解説

- |       |             |       |           |
|-------|-------------|-------|-----------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック微量   | 3 黒褐色 | ロームブロック微量 |
| 2 褐色  | ローム土、炭化粒子微量 | 4 暗褐色 | ロームブロック少量 |

遺物出土状況 金属製品1点(古銭)が出土している。M55は覆土上層から出土している。

所見 時期は、古銭から17世紀前半以降と考えられる。

第7号墓坑出土遺物観察表 (第197図)

番号	銭名	径	孔径	厚さ	重さ	初铸年	特徴	出土位置	備考
M55	寛永通寶	2.30	0.60	0.10	2.76	1636	古寛永	上層	

第8号墓坑 (SK402) (第198図)

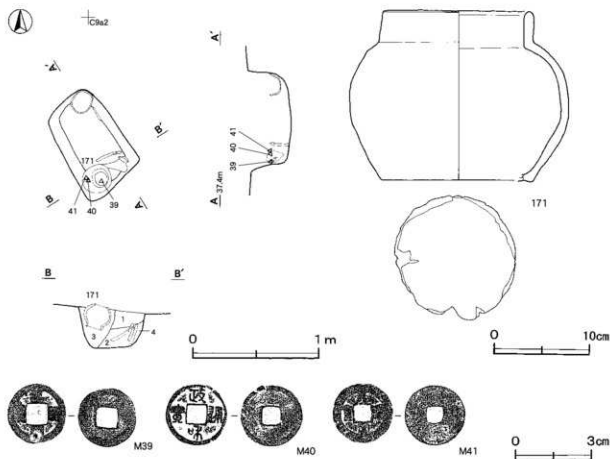
位置 調査Ⅵ区のC9a2区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

規模と形状 長軸0.80m、短軸0.52mの長方形で、深さ33cmである。長軸方向はN-32°-Wで、壁はほぼ直立しており、底面はほぼ平坦である。

覆土 4層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

土層解説

- |       |                  |       |               |
|-------|------------------|-------|---------------|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・遺屑・パミス微量 | 3 黒褐色 | ロームブロック・炭化物微量 |
| 2 暗褐色 | ロームブロック・炭化粒子微量   | 4 黒褐色 | ロームブロック微量     |



第198図 第8号墓坑・出土遺物実測図

**遺物出土状況** 土師質土器1点(短頸壺)、金属製品3点(古銭)が出土している。171は覆土上層から逆位で、M39～M41は覆土中層から出土している。

**所見** 本跡から出土している古銭は北宋銭であり、他の墓坑から出土する古銭はすべて寛永通寶(古寛永)である。これらの墓坑に形態差はなく、また近接した位置にあるが重複していないため、本跡も江戸時代の墓坑であり、人骨の出土状態から屈葬と考えられる。

第8号墓坑出土遺物観察表(第198図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
171	土師質土器	短頸壺	15.4	18.1	15.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	こげい赤褐色	普通	内・外面ナデ	上層	100% 底面を意図的に抜いている

番号	銭名	径	孔径	厚さ	重さ	初鋳年	特徴	出土位置	備考
M39	意祐通寶	2.38	0.85	0.07	1.62	1056	篆書	中層	
M40	政和通寶	2.42	0.60	0.12	2.26	1111	篆書	中層	
M41	皇宋通寶	2.41	0.68	0.10	3.18	1038	篆書	中層	

第9号墓坑(SK417)(第199図)

**位置** 調査VI区のC9b1区で、標高38mほどの緩やかに傾斜した裾部に位置している。

**規模と形状** 長軸1.35m、短軸0.96mの長方形で、深さ60cmである。長軸方向はN-63°-Eで、壁はほぼ直立しており、底面はほぼ平坦である。

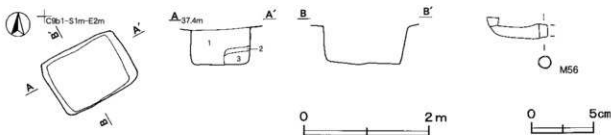
**覆土** 3層に分層される。各層ともロームブロックを含み不規則に堆積していることから、人為堆積と考えられる。

**土層解説**

- 1 黒褐色 ロームブロック微量、炭化物微量
- 2 暗褐色 ロームブロック微量
- 3 暗褐色 ロームブロック微量、炭化物微量

**遺物出土状況** 金属製品1点(煙管)が出土している。M56は覆土中から出土している。

**所見** 時期は、煙管の形態から19世紀以降と考えられる。



第199図 第9号墓坑・出土遺物実測図

第9号墓坑出土遺物観察表(第199図)

番号	器種	長さ	断面径	吸口径	重量	材質	特徴	出土位置	備考
M56	煙管	(4.9)	1.0	-	(6.15)	真鍮	鏤字煙管 火皿痕なし	覆土中	

表15 近世墓坑一覧表

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m)		深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)	面積(m <sup>2</sup> )						
1	C8e7	N-50°-E	長方形	0.88×0.70	24	直立	平坦	人為	鉄鍋 古銭 煙管	S K230→本跡	
2	C8f9	—	円形	1.27	82	直立	平坦	人為	—	人骨出土	
3	D9a5	N-70°-E	長方形	1.15×0.74	68	直立	平坦	人為	釘	S K243・244→本跡	
4	D9b4	—	円形	1.14	61	直立	平坦	人為	釘 刀子	S K246→本跡	
5	B8e5	N-10°-W	長方形	1.32×0.72	60	直立	平坦	人為	釘	本跡→S K359	
6	B8g6	—	円形	1.10	35	直立	平坦	人為	古銭	本跡→S B 2 S K377・381	
7	B8i9	—	円形	0.78	16	外傾	皿状	人為	古銭		
8	C9a2	N-32°-W	長方形	0.80×0.52	33	直立	平坦	人為	土師甕土器 古銭	人骨出土	
9	C9b1	N-63°-E	長方形	1.35×0.96	60	直立	平坦	人為	煙管		

## 5 その他の遺構と遺物

今回の調査で、時期不明の掘立柱建物跡5棟、井戸跡9基、土坑319基、溝跡15条、道路跡1条、柵跡5条、ビット群7か所が確認されている。実測図は遺構全体図で掲載し、解説は一覧表で記載する。また、遺構に伴わない旧石器時代から近世にかけての遺物が出土しており、特徴的な遺物を抽出して、実測図(第200・201図)を掲載し、解説は観察表で記載する。

表16 その他の掘立柱建物跡一覧表

番号	位置	桁行方向	柱間数(桁之梁)	規模(m)		面積(m <sup>2</sup> )	構造	桁行柱間(m)	梁行柱間(m)	柱穴平面形	深さ(cm)	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)	面積(m <sup>2</sup> )								
1	B9j1~C9a2	N-33°-W	2×2	4.8×3.3	15.84	側柱	1.8~2.7	1.5	円形	20			
2	B8f6~B8g7	N-12°-W	2×2	2.95×2.2	6.49	側柱	1.4~1.6	1.0~1.10	楕円形	46~60			
3	B8e6~B8e8	N-6°-W	6×2	10.1×5.0	50.50	側柱	2.0	2.5	円形	30~80	石臼		
4	B8g6~B8h7	N-70°-E	(2)×2	(3.74)×3.65	13.65	側柱	1.8	1.8	円形	20~35		本跡→S D11	
5	B8e5~B8e6	N-20°-W	(2)×1	5.4×3.1	16.74	側柱	1.9~2.8	3.1	円形	30~30			

表17 その他の井戸跡一覧表

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m)		深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)	面積(m <sup>2</sup> )						
1	A3e8	N-0°	[円形]	2.10×(1.40)	(160)	漏斗状	—	自然+人為	—		
2	D8a4	N-0°	円形	1.45	2.06	垂直	平坦	人為	—		
3	B8b6	N-0°	[円形]	3.24	(180)	漏斗状	—	—	陶器 磁器 砥石 古銭		
4	B8d5	N-0°	[円形]	0.85×0.75	—	垂直	—	自然+人為	—	掘土層から多量の自然曝露出土	
5	B8h7	N-0°	円形	0.88×0.83	(177)	垂直	—	自然+人為	—		
6	B8i7	N-0°	円形	1.06×1.02	(172)	垂直	—	自然+人為	—		
7	B9i2	N-0°	円形	0.88×0.78	(100)	垂直	—	自然+人為	陶器		
8	B8j5	N-0°	円形	1.65	170	垂直	平坦	自然+人為	—	本跡→S K342	
9	B8b6	N-0°	円形	1.80×(1.20)	188	垂直	—	自然+人為	—	本跡→S D11	

表18 その他の土坑一覧表

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m)		深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)	短径(軸)						
1	A3f7	N-56°-E	長方形	0.70×0.50		30	外傾	平坦	自然	—	
2	A3h3	N-17°-E	楕円形	0.58×0.43		15	漏斗状	皿状	自然	—	
3	A3e4	N-0°	円形	0.33		32	外傾	平坦	自然	—	
4	A3e3	N-26°-E	楕円形	(0.70)×1.00		50	外傾	皿状	自然	—	
5	A3d1	N-50°-E	楕円形	0.75×0.40		24	緩斜	平坦	—	—	
6	A3g2	N-82°-E	円形	0.84×0.74		19	外傾	皿状	自然	—	
7	A3g2	N-24°-E	円形	1.08×1.00		56	垂直	平坦	自然	—	
8	A3d1	N-36°-E	楕円形	1.47×1.10		45	外傾	平坦	自然	—	
9	A3h3	N-15°-E	楕円形	0.55×0.47		14	緩斜	皿状	自然	—	
10	A3d2	N-72°-W	不整形	1.04×0.95		22	外傾	皿状	自然	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
12	A2f0	N-58°-E	楕円形	0.90×0.50		29	垂直	平坦	自然	—	
13	A2f0	N-50°-E	円形	0.75×0.63		24	外傾	平坦	自然	—	
14	A3d2	N-40°-W	楕円形	1.26×(0.66)		18	緩斜	皿状	自然	—	
15	A3e3	N-0°	楕円形	0.78×0.46		26	外傾	皿状	自然	—	
16	A3e3	N-21°-W	楕円形	0.57×0.46		24	緩斜	皿状	自然	—	
17	A3e1	N-60°-W	楕円形	(0.89)×0.70		25	緩斜	皿状	自然	—	
18	A3e1	N-27°-E	円形	0.77×0.70		35	緩斜	皿状	自然	—	
19	A3e1	N-50°-W	楕円形	(0.75)×0.50		25	緩斜	皿状	自然	—	
20	A2e9	N-90°-W	楕円形	0.93×0.76		38	緩斜	皿状	自然	—	
21	A2f8	N-0°	円形	0.65×0.60		16	緩斜	皿状	自然	—	
22	A2f0	N-76°-E	楕円形	1.96×0.70		50	垂直	平坦	自然	—	
23	A2f8	N-82°-E	不整形	2.27×1.30		35	外傾	平坦	自然	—	
24	A2e7	N-48°-E	楕円形	1.23×0.78		28	緩斜	平坦	自然	—	
25	A2d7	N-85°-W	楕円形	(0.54)×(0.45)		49	垂直	平坦	自然	—	
26	A2e7	N-53°-W	楕円形	0.87×0.56		18	緩斜	皿状	自然	—	
27	A2e5	N-32°-W	楕円形	0.77×0.67		32	緩斜	皿状	自然	—	
28	A2e5	N-43°-W	楕円形	0.63×0.56		20	緩斜	皿状	自然	—	
29	A2e5	N-40°-E	円形	0.77×0.70		23	外傾	皿状	自然	—	
30	A2b4	N-41°-W	楕円形	0.77×0.64		15	外傾	皿状	自然	—	
31	A1e0	N-6°-E	楕円形	0.77×0.55		22	外傾	平坦	自然	—	
32	A2g1	N-75°-E	楕円形	0.72×0.62		15	緩斜	平坦	自然	—	
33	A2g2	N-47°-E	楕円形	1.31×0.70		36	外傾	平坦	自然	—	
34	B2e4	N-10°-W	楕円形	0.90×0.60		17	緩斜	平坦	自然	—	
35	A2h2	N-29°-W	楕円形	1.77×1.24		36	外傾	皿状	自然	—	
36	A2g4	N-11°-W	楕円形	1.13×0.57		20	緩斜	皿状	自然	—	
37	A2h5	N-6°-E	楕円形	0.77×0.65		41	外傾	平坦	自然	—	
38	B3a1	N-5°-W	楕円形	1.20×0.90		50	外傾	平坦	自然	—	
39	B2e0	N-70°-W	楕円形	0.65×0.56		38	外傾	皿状	自然	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
41	A2e1	N-44°-E	楕円形	0.82×0.73		17	外傾	平坦	自然	—	
42	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1号掘し穴に必要
43	A2e3	N-30°-W	不整形楕円形	1.96×0.92		18	緩斜	平坦	自然	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
45	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1号火葬墓に必要

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m) 長径(軸)×短径(軸)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
46	A2d2	N-28°-E	楕円形	0.51×0.43	14	緩斜	平坦	自然	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
49	A2d6	N-30°-W	不整形	0.78×0.50	14	緩斜	皿状	-	-	
50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第2号隔し穴に覆土
51	A2d5	N-24°-E	円形	0.60×0.58	16	外傾	平坦	自然	-	
52	C4d9	N-9°-E	楕円形	0.84×0.55	16	外傾	平坦	人為	-	
53	C4d9	N-89°-E	方形	0.82×(0.58)	24	外傾	皿状	人為	-	
54	B5g3	N-30°-E	楕円形	1.40×1.16	28	緩斜	皿状	自然	-	
55	B5d4	N-38°-W	楕円形	1.17×0.57	10	緩斜	皿状	自然	-	
56	B5d3	N-2°-E	楕円形	1.0×0.70	16	緩斜	皿状	自然	-	
57	B5e4	N-16°-W	楕円形	0.95×0.74	58	漏斗状	平坦	自然	-	
58	B5d3	N-15°-E	楕円形	1.0×0.79	25	緩斜	皿状	自然	-	
59	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3号隔し穴に覆土
60	B5a2	N-25°-E	楕円形	0.72×0.56	75	外傾	皿状	自然	-	
61	B5b3	N-12°-E	楕円形	0.84×0.55	15	緩斜	皿状	自然	-	
62	B5b3	N-63°-W	楕円形	1.23×0.62	17	緩斜	皿状	自然	-	
63	A5j2	N-35°-W	楕円形	0.91×0.64	25	緩斜	皿状	自然	-	
64	A5j1	N-16°-W	楕円形	1.26×1.08	20	緩斜	凹凸	自然	-	
65	A5j1	N-71°-W	楕円形	1.65×1.03	30	緩斜	凹凸	自然	-	
66	B5h4	N-88°-E	不整形	1.25×0.92	24	緩斜	凹凸	自然	-	
67	A4i8	N-60°-E	楕円形	0.90×0.55	24	緩斜	平坦	人為	-	
68	B4d9	N-18°-E	円形	1.11×0.98	30	緩斜	平坦	人為	-	
69	A4j7	N-42°-E	不整形	1.45×1.12	21	緩斜	平坦	自然	-	
70	A4j5	N-26°-E	楕円形	1.05×0.71	24	緩斜	皿状	自然	-	
71	A4h4	N-11°-W	楕円形	0.90×0.62	20	緩斜	皿状	人為	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
73	A4i2	N-0°	円形	0.34×0.33	32	垂直	平坦	自然	-	
74	A2g0	N-50°-W	長方形	0.90×0.64	11	緩斜	皿状	自然	-	
75	A4i9	N-29°-E	円形	0.80	33	緩斜	皿状	自然	-	
76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第4号隔し穴に覆土
77	A3d9	N-47°-W	円形	0.54×0.50	56	外傾	皿状	-	-	
78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第5号隔し穴に覆土
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
81	A3d9	N-11°-W	楕円形	1.10×0.94	26	緩斜	平坦	自然	-	
82	A3d8	N-90°-W	楕円形	1.24×0.82	16	緩斜	皿状	自然	-	
83	B4a5	N-24°-E	楕円形	0.87×0.38	12	外傾	平坦	自然	-	S11→本跡
84	B4d7	N-41°-E	楕円形	0.80×0.63	27	緩斜	皿状	自然	-	
85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第6号隔し穴に覆土
86	A3b7	N-0°	円形	0.81	18	緩斜	皿状	自然	-	
87	A2f0	-	不整形	1.00×(0.95)	26	緩斜	皿状	自然	-	T15→本跡
88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第7号隔し穴に覆土
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
90	C8b7	N-53°-E	楕円形	1.30×0.91	22	外傾	平坦	自然	-	

番号	位置	長径軸方向	平面形	規模(m) 長径(軸)×短径(軸)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
91	C817	N-30°-W	方形	1.12×1.05	27	緩斜	平垣	人為	—	
92	C817	N-3°-E	長方形	(1.26)×1.06	18	外傾	平垣	自然	—	
93	C818	N-7°-W	楕円形	0.72×0.64	29	漏斗状	平垣	自然	—	
94	C818	N-64°-E	楕円形	1.06×0.74	17	漏斗状	凹凸	自然	—	
95	C818	N-21°-E	楕円形	0.68×0.51	24	外傾	凹凸	自然	—	
96	C818	N-22°-W	楕円形	0.53×0.40	19	外傾	皿状	自然	—	
97	C810	N-28°-E	不整形	0.93×0.70	24	緩斜	皿状	自然	—	
98	C819	N-71°-E	楕円形	0.80×0.46	37	漏斗状	皿状	人為	—	
99	D9g9	N-35°-W	楕円形	1.10×0.82	25	漏斗状	平垣	自然	—	
100	D917	N-59°-E	長方形	1.35×0.94	110	垂直	平垣	人為	—	
101	D8e9	N-43°-E	不整形	1.05×0.95	23	緩斜	平垣	人為	—	
102	C911	N-79°-W	楕円形	0.92×0.58	26	緩斜	平垣	人為	—	
103	D8d0	N-27°-E	楕円形	0.88×0.75	30	緩斜	凹凸	自然	—	
104	D8e0	N-59°-E	楕円形	0.85×0.72	22	外傾	凹凸	自然	—	
105	D8d0	N-57°-E	楕円形	0.85×0.72	16	緩斜	凹凸	自然	—	
106	D8d0	N-43°-W	楕円形	0.57×0.46	10	緩斜	皿状	自然	—	
107	D9d0	N-38°-W	長方形	1.45×0.95	25	緩斜	皿状	—	—	
108	D9e9	N-24°-W	長方形	1.53×1.06	26	緩斜	皿状	—	—	
109	D9d8	N-21°-W	長方形	1.35×0.96	26	緩斜	平垣	—	—	
110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平安時代
111	D9f9	N-10°-W	長方形	1.41×0.81	70	垂直	平垣	—	—	
112	D9e8	N-31°-W	長方形	1.54×0.99	30	緩斜	平垣	—	—	
113	D9c3	N-67°-E	長方形	1.28×0.98	62	外傾	平垣	—	—	S K114→本跡
114	D9c3	N-14°-E	楕円形	1.73×1.40	75	緩斜	平垣	—	—	本跡→S K113
115	D9f9	N-54°-E	楕円形	0.97×0.82	15	緩斜	平垣	—	—	
116	D9g6	N-17°-W	長方形	1.50×0.83	80	漏斗状	平垣	—	—	
117	D9g5	N-55°-E	長方形	0.92×0.70	24	緩斜	皿状	—	—	
118	D9g6	N-20°-W	長方形	1.42×0.80	90	垂直	平垣	—	—	
119	D8e0	N-0°	円形	1.06	36	緩斜	皿状	—	土師器片	
120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第8号隔し穴に遺棄
121	D918	N-29°-W	楕円形	0.87×0.70	19	緩斜	皿状	—	—	
122	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平安時代の土坑
123	C7a2	N-24°-W	楕円形	1.53×0.98	60	緩斜	平垣	—	—	
124	C8e4	N-0°	円形	0.95	64	垂直	平垣	—	—	S110→本跡
125	C813	N-60°-E	方形	1.15×1.10	80	垂直	皿状	—	—	
126	C814	N-65°-E	長方形	1.25×0.80	60	垂直	皿状	—	—	
127	C814	N-68°-E	長方形	1.01×0.83	90	垂直	平垣	—	—	
128	C815	N-69°-E	不整形長方形	1.40×0.86	73	垂直	平垣	—	—	
129	D8a5	N-57°-E	楕円形	1.36×0.87	15	緩斜	皿状	—	—	
130	D813	N-6°-E	円形	1.11×1.06	30	緩斜	皿状	—	—	
131	D812	N-80°-W	楕円形	1.04×0.94	16	緩斜	皿状	—	—	S17→本跡
132	B8g3	N-84°-W	円形	1.31×0.76	28	緩斜	皿状	—	—	
133	A812	N-3°-W	円形	0.91×0.86	24	緩斜	凹凸	—	—	
134	A813	N-8°-W	楕円形	(1.17)×0.91	35	緩斜	平垣	—	—	
135	A814	N-58°-W	[楕円形]	[0.41]×1.00	24	緩斜	平垣	—	—	
136	A814	N-90°	円形	1.43×1.35	65	外傾	平垣	—	—	
137	A814	N-0°	円形	[0.41]×1.02	23	緩斜	皿状	—	—	

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m) 長径(軸)×短径(軸)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
201	C6e2	N-23°-W	楕円形	1.55×1.05	47	垂直	平坦	人為	—	
202	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第10号臨土穴に重要
203	C6e2	N-68°-E	長方形	1.36×1.05	35	外傾	平坦	—	—	S 115→本跡
204	C6a1	N-37°-W	長方形	1.38×1.03	31	外傾	平坦	人為	—	
205	C6e2	N-60°-E	長方形	1.31×0.98	26	外傾	平坦	—	—	S 115→本跡
206	B6j5	N-51°-E	楕円形	1.90×0.96	42	外傾	平坦	自然	—	
207	C6e6	N-32°-W	長方形	1.59×0.83	34	外傾	平坦	自然	—	
208	C6a1	N-0°	円形	0.92	14	外傾	平坦	—	—	
209	C6a5	N-0°	円形	0.92	19	外傾	平坦	—	—	
210	C6a7	N-60°-E	長方形	0.78×0.70	59	外傾	平坦	—	—	
211	B6a3	N-0°	円形	1.11	35	外傾	平坦	自然	—	
212	B6g1	N-34°-W	楕円形	0.91×0.80	12	緩斜	皿状	自然	—	
213	C6a5	N-64°-E	長方形	0.91×0.74	40	外傾	平坦	—	—	
214	C6a6	N-64°-E	円形	0.80×0.77	37	外傾	皿状	—	—	
215	C6a6	N-90°-W	円形	1.05×0.97	46	外傾	平坦	—	土師器片	
216	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第11号臨土穴に重要
217	C6a5	N-27°-W	楕円形	0.67×0.60	12	緩斜	平坦	—	—	
218	B6f3	N-37°-E	長方形	2.15×1.40	18	緩斜	平坦	自然	—	
219	B5d0	N-20°-E	円形	0.93	22	緩斜	平坦	自然	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
223	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第12号臨土穴に重要
224	C8e6	N-33°-W	長方形	1.28×0.80	66	垂直	平坦	自然	—	
225	C8e7	N-29°-W	長方形	1.13×0.69	15	外傾	凹凸	—	—	
226	C8e7	N-52°-E	長方形	0.82×0.63	60	垂直	平坦	人為	—	
227	C8d7	N-0°	円形	0.84	43	垂直	平坦	—	—	
228	C8d7	N-32°-W	長方形	1.00×0.73	28	垂直	平坦	—	—	
229	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1号墓坑に重要
230	C8e7	N-0°	円形	1.61	49	緩斜	皿状	—	—	本跡→第1号墓坑
231	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第2号墓坑に重要
232	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平安時代
233	C9j3	N-0°	円形	0.90	10	緩斜	平坦	—	—	
234	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平安時代
235	D9a3	N-59°-E	長方形	1.11×0.75	63	外傾	平坦	—	—	
236	D9a4	N-65°-E	長方形	1.07×0.73	72	垂直	平坦	—	—	
237	D9a5	N-53°-E	楕円形	0.74×0.69	7	緩斜	皿状	—	—	
238	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第3号墓坑に重要
239	D9a5	N-54°-E	長方形	1.17×0.85	70	外傾	平坦	—	—	
240	C8d7	N-72°-E	楕円形	0.82×0.70	8	緩斜	皿状	—	—	
241	D9a5	N-65°-E	方形	0.71×0.65	28	外傾	平坦	—	—	S 177→本跡
242	D9a5	N-0°	方形	1.00×0.96	52	外傾	平坦	—	—	
243	D9a4	N-58°-E	長方形	[1.14]×[0.70]	59	—	—	—	—	本跡→第3号墓坑
244	D9a4	N-40°-W	楕円形	0.68×0.56	34	緩斜	平坦	—	—	本跡→第3号墓坑 S R246→本跡 第4号墓坑に重要
245	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

番号	位置	長径軸方向	平面形	規模(m)		深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)							
246	D9b4	N-62°-E	[方形]	1.44×1.26		63	垂直	平坦	-	-	
247	D9b4	N-62°-E	方形	1.02×0.87		49	垂直	平坦	-	-	
248	D9b3	N-83°-E	楕円形	0.66×0.52		16	垂直	平坦	-	-	
249	D9c4	N-35°-W	方形	1.04		82	垂直	平坦	-	-	
250	D9c4	N-61°-E	長方形	1.00×0.89		99	垂直	平坦	-	-	
251	D9c5	N-61°-E	長方形	1.90×(0.59)		54	外傾	皿状	-	-	
252	D9c5	N-60°-E	長方形	0.88×0.70		42	外傾	平坦	-	-	
253	D9c5	N-59°-E	長方形	[1.14]×0.96		57	外傾	平坦	-	-	
254	D9c6	N-58°-E	長方形	1.35×0.82		75	垂直	平坦	-	-	
255	C9i6	N-15°-W	楕円形	0.54×0.25		35	外傾	平坦	-	-	
256	C9i6	N-0°	円形	0.74		32	外傾	平坦	-	-	
257	C9i6	N-68°-E	長方形	1.84×0.97		34	垂直	平坦	-	-	
258	C9i6	N-62°-E	長方形	1.81×1.05		14	緩斜	平坦	-	-	
259	C9i6	N-64°-E	長方形	1.08×0.70		37	外傾	皿状	-	-	
260	C9i6	N-30°-W	[長方形]	0.88×(0.48)		47	外傾	平坦	-	-	
261	C9j6	N-61°-E	[長方形]	(0.74)×(0.70)		25	外傾	平坦	-	-	
262	C9j6	N-31°-W	[長方形]	(0.67)×(0.58)		33	垂直	平坦	-	-	
263	C9j6	N-65°-E	長方形	0.92×0.81		22	緩斜	平坦	-	-	
264	C9i6	N-58°-E	長方形	1.46×0.78		45	緩斜	平坦	-	-	
265	C9j7	N-19°-W	長方形	0.95×(0.50)		27	外傾	平坦	-	-	
266	C9j7	N-16°-W	長方形	0.89×0.58		24	外傾	平坦	-	-	
267	C9j7	N-28°-W	長方形	1.09×0.87		42	外傾	平坦	-	-	
268	C9i7	N-34°-W	長方形	1.01×0.65		32	外傾	平坦	-	-	
269	C9j7	N-65°-E	長方形	0.62×0.49		23	垂直	平坦	-	-	
270	C9j7	N-24°-W	長方形	0.94×0.73		57	外傾	凹凸	-	-	
271	C9j7	N-60°-E	長方形	0.91×0.46		30	垂直	平坦	-	-	
272	C9j6	N-41°-E	楕円形	0.65×0.52		6	垂直	平坦	-	-	
273	C9j6	N-50°-E	[方形]	(0.57)×0.51		15	垂直	平坦	-	-	
274	D9a6	N-51°-E	[長方形]	(0.30)×(0.64)		65	垂直	平坦	-	-	
275	D9a7	N-52°-E	長方形	(0.87)×1.12		33	垂直	平坦	-	-	
276	D9a7	N-32°-W	長方形	1.24×0.74		58	外傾	平坦	-	-	
277	D9a7	N-36°-W	長方形	1.06×0.58		39	緩斜	皿状	-	-	
278	D9a7	N-27°-W	長方形	0.92×(0.50)		28	緩斜	平坦	-	-	
279	D9a8	N-31°-W	方形	0.73×0.71		49	緩斜	皿状	-	-	
280	D9i6	N-55°-W	長方形	1.11×0.75		29	外傾	平坦	-	-	
281	D9i6	N-55°-W	長方形	(0.88)×0.73		60	垂直	平坦	-	-	
282	D9a8	N-46°-E	長方形	(0.40)×0.75		32	緩斜	皿状	-	-	
283	C8g9	N-47°-E	[長方形]	1.04×0.35		18	垂直	平坦	-	-	本跡→SD10
284	D9d4	N-31°-W	長方形	0.95×0.82		79	垂直	平坦	-	-	
285	D9c4	N-54°-E	[長方形]	(0.49)×(0.75)		24	外傾	平坦	-	-	
286	D9c4	N-28°-W	[長方形]	(0.59)×0.72		32	垂直	平坦	-	-	
287	D9c4	N-65°-E	[長方形]	(0.23)×0.67		37	外傾	平坦	-	-	
288	D9d4	N-29°-W	楕円形	0.99×0.62		18	緩斜	平坦	-	-	
289	D9d5	N-43°-W	長方形	0.65×0.36		29	外傾	平坦	-	-	
290	D9b4	N-62°-E	長方形	1.06×0.84		51	外傾	平坦	-	-	



番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)						
291	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
292	D9a5	N-51°-E	方形	0.48×(0.30)	54	外傾	平垣	—	—	
293	D9a5	N-51°-E	長方形	0.64×0.55	54	外傾	平垣	—	—	
294	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第13号跡シ穴に変更
295	D9a5	N-23°-W	長方形	0.45×0.35	31	垂直	平垣	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
298	B8d8	N-18°-W	長方形	1.19×0.88	52	外傾	平垣	—	—	
299	B8d0	N-13°-W	長方形	1.12×0.99	24	外傾	平垣	—	—	
300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第3号窟窿柱建物跡P7に変更
301	B8d0	N-90°	楕円形	0.96×0.84	81	垂直	平垣	—	—	S122→本跡
302	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第3号井戸跡に変更
303	B9a1	N-88°-W	楕円形	0.51×0.45	22	緩斜	皿状	—	—	
304	B9a1	N-1°-E	楕円形	0.98×0.74	14	緩斜	皿状	—	—	
305	B9a1	N-43°-W	円形	1.09	14	外傾	平垣	—	—	
306	B9e2	N-51°-W	円形	1.30×1.22	15	緩斜	皿状	—	—	
307	B9e1	N-80°-W	円形	1.08×1.00	24	垂直	平垣	—	—	
308	B9e1	N-74°-E	楕円形	0.38×0.30	68	垂直	凹凸	—	—	
309	B9e2	N-0°	円形	0.85	11	緩斜	平垣	—	—	
310	B9e2	N-17°-W	長方形	1.33×0.85	35	外傾	平垣	—	—	
311	B9e1	N-12°-W	長方形	1.17×0.75	11	外傾	平垣	—	—	
312	B9e1	N-63°-W	長方形	1.03×0.85	13	外傾	平垣	—	—	
313	B9e2	N-36°-E	円形	0.86	14	緩斜	平垣	—	—	
314	B9d2	N-90°-E	楕円形	1.08×0.71	15	緩斜	平垣	人為	—	
315	B9d2	N-81°-E	長方形	0.95×0.58	25	緩斜	平垣	人為	—	
316	B9e1	N-7°-W	楕円形	0.40×0.34	68	外傾	皿状	人為	—	
317	B9d2	N-75°-E	長方形	1.33×0.83	18	緩斜	平垣	人為	—	
318	B9d2	N-88°-E	円形	1.65×1.58	63	外傾	平垣	—	—	
319	B9d2	N-85°-E	不整長方形	1.51×0.68	20	緩斜	皿状	人為	—	
320	B9d2	N-66°-E	[長方形]	(1.11)×(0.86)	16	外傾	皿状	人為	—	
321	B9e2	N-86°-E	楕円形	(1.44)×(1.11)	26	緩斜	平垣	人為	—	
322	B9f2	N-65°-E	楕円形	0.53×0.44	22	外傾	皿状	人為	—	
323	B8d0	N-12°-W	楕円形	0.47×0.40	57	外傾	平垣	人為	—	S121→本跡
324	B8d0	N-78°-E	楕円形	1.04×0.45	62	外傾	平垣	人為	—	S121→本跡
325	B8d0	N-14°-W	長方形	1.27×0.78	24	外傾	平垣	人為	—	
326	B8d0	N-90°	長方形	1.36×1.20	100	垂直	平垣	人為	—	S122→本跡
327	B8d0	N-16°-W	長方形	1.25×0.85	32	外傾	皿状	人為	—	
328	B8d9	N-22°-W	長方形	1.00×0.73	42	外傾	皿状	人為	—	
329	B8d9	N-21°-W	長方形	1.28×0.91	32	外傾	皿状	人為	—	
330	B8d8	N-14°-W	長方形	1.18×0.78	57	垂直	平垣	人為	—	
331	B8d9	N-0°	円形	0.61	9	緩斜	平垣	—	—	
332	B9e1	N-1°-W	長方形	1.06×0.62	18	外傾	平垣	—	—	
333	B8d7	N-11°-W	長方形	1.15×0.75	48	垂直	平垣	—	—	
334	B8d7	N-10°-W	楕円形	1.14×0.76	16	緩斜	皿状	—	—	
335	B8d7	N-0°	円形	0.73	14	緩斜	平垣	—	—	

番号	位置	長径軸方向	平面形	規模(m) 長径(軸)×短径(軸)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
336	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3号獨立柱建物跡P31に要裏
337	B8c8	N-81°-W	円形	1.42×1.36	14	緩斜	平坦	-	-	
338	B8c8	N-23°-E	楕円形	0.96×0.86	14	外傾	平坦	-	-	
339	B8c8	N-21°-W	楕円形	0.28×0.24	41	外傾	皿状	-	-	
340	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3号獨立柱建物跡P41に要裏
341	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3号獨立柱建物跡P41に要裏
342	B8f5	N-14°-W	長方形	2.26×0.92	61	垂直	平坦	人為	-	S 124+S E 8 一本跡
343	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第8号井戸跡に要裏
344	B8c0	N-48°-W	楕円形	0.56×0.47	31	外傾	皿状	人為	-	S 121→本跡
345	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第4号井戸跡に要裏
346	B8d5	N-43°-E	長方形	1.09×0.80	78	垂直	平坦	-	-	
347	B8d4	N-61°-E	楕円形	0.68×0.60	16	垂直	平坦	-	-	
348	B8d6	N-16°-W	長方形	1.07×0.74	31	垂直	平坦	-	-	
349	B8c6	N-34°-W	円形	0.83	8	緩斜	皿状	-	-	
350	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第5号井戸跡に要裏
351	B8d7	N-62°-W	楕円形	0.47×0.41	56	外傾	皿状	-	-	
352	B8d7	N-0°	円形	0.65	10	外傾	平坦	-	-	
353	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
354	B9c1	N-66°-E	円形	1.73×1.66	64	外傾	平坦	-	-	第3号獨立柱建物跡P12に要裏
355	B8d6	N-44°-E	楕円形	0.95×0.83	68	外傾	皿状	-	-	本跡→SK311
356	B8d6	N-44°-E	[楕円形]	(0.47)×0.80	70	外傾	皿状	-	-	本跡→SK312
357	B8e7	N-18°-W	長方形	1.02×0.74	55	外傾	平坦	-	-	
358	B8e7	N-3°-W	長方形	0.85×0.68	16	外傾	平坦	-	-	
359	B8e5	N-55°-E	楕円形	0.80×0.48	14	緩斜	皿状	-	-	第5号墓坑→本跡
360	B8d7	N-14°-W	長方形	1.16×0.83	15	垂直	平坦	-	-	
361	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第3号獨立柱建物跡P11に要裏
362	B8c6	N-13°-W	長方形	1.55×0.95	71	垂直	平坦	-	-	
363	B8f5	N-58°-E	長方形	1.56×0.74	73	垂直	平坦	-	-	
364	B8f5	N-11°-W	長方形	1.15×0.79	70	垂直	平坦	人為	-	
365	B8e9	N-30°-W	長方形	1.23×0.62	24	漏斗状	平坦	-	-	
366	B8g6	N-0°	楕円形	0.68×0.60	10	緩斜	皿状	-	-	
367	B8g9	N-25°-W	楕円形	1.02×0.84	15	緩斜	平坦	-	-	
368	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第5号墓坑に要裏
369	C8a9	N-61°-E	楕円形	0.95×0.85	10	緩斜	平坦	-	-	
370	C8a9	N-28°-W	円形	0.90×0.85	9	緩斜	平坦	-	-	
371	B8j9	N-44°-W	楕円形	1.01×0.86	17	外傾	平坦	-	-	
372	C9a1	N-41°-E	[楕円形]	1.14×(1.07)	14	外傾	平坦	人為	-	本跡→S K373
373	C9a1	N-40°-W	楕円形	0.60×0.52	25	緩斜	皿状	人為	-	
374	B8g6	N-14°-W	長楕円形	(1.05)×0.26	10	緩斜	皿状	-	-	
375	B8g6	N-45°-E	楕円形	0.96×0.84	29	外傾	平坦	-	-	
376	B8g6	N-35°-W	長方形	1.05×(0.63)	22	外傾	平坦	-	-	
377	B8f6	N-0°	円形	1.20	51	漏斗状	平坦	人為	-	本跡→S K373 SK376→本跡
378	B8f6	N-5°-W	長楕円形	(1.20)×0.70	34	緩斜	皿状	人為	-	
379	B8f6	N-2°-W	長楕円形	(0.61)×0.55	28	緩斜	皿状	人為	-	
380	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第6号墓坑に要裏

番号	位置	長径(軸)方向	平面形	規模(m) 長径(軸)×短径(軸)	深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
381	B8g6	N-0°	円形	0.84	49	外傾	平坦	自然	—	
382	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第3号堀立柱建物跡P4に変更
383	B9g1	N-10°-W	楕円形	1.10×0.70	10	緩斜	皿状	自然	—	
384	B9g3	N-25°-E	楕円形	0.85×0.70	16	外傾	平坦	—	—	
385	B9g2	N-38°-E	楕円形	0.85×0.71	34	外傾	皿状	人為	—	
386	B9g1	N-0°	円形	0.94	27	緩斜	皿状	人為	—	
387	B9i2	N-0°	円形	0.41	20	外傾	皿状	人為	—	
388	B9i2	N-90°-E	円形	0.45×0.41	25	垂直	皿状	人為	—	
389	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第6号井戸跡に変更
390	C8i0	N-32°-E	楕円形	0.95×0.85	8	緩斜	平坦	—	—	
391	C8i0	N-50°-W	円形	0.67×0.61	26	緩斜	平坦	—	—	
392	C8i0	N-41°-E	楕円形	1.36×1.18	15	緩斜	平坦	—	—	
393	C8i0	N-34°-E	楕円形	0.88×0.74	15	緩斜	平坦	—	—	
394	C8i9	N-43°-W	円形	0.62×0.57	22	外傾	平坦	—	—	
395	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第7号井戸跡に変更
396	B8i9	N-62°-W	楕円形	1.10×0.95	12	緩斜	皿状	人為	—	
397	B8i9	N-24°-E	楕円形	1.14×0.86	14	緩斜	平坦	人為	—	
398	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第7号墓坑に変更
399	B9i2	N-41°-E	楕円形	2.04×1.44	28	緩斜	平坦	人為	—	
400	B9i2	N-44°-E	不定形	1.12×0.72	39	外傾	皿状	人為	—	
401	B9i2	N-18°-E	不定形	1.21×0.98	19	緩斜	凹凸	—	—	
402	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第8号墓坑に変更
403	B9j1	N-55°-W	楕円形	0.78×0.56	28	緩斜	平坦	人為	—	
404	C9f2	N-50°-E	長方形	0.96×0.72	25	外傾	平坦	人為	—	
405	C9f2	N-44°-E	長方形	0.68×0.38	14	外傾	平坦	人為	—	
406	C9e1	N-51°-E	長方形	1.08×0.71	69	垂直	平坦	—	—	S I 25→SK 406→本跡
407	C9a3	N-61°-W	[楕円形]	(0.74)×0.54	12	緩斜	平坦	自然	—	本跡→SK 410
408	C9e1	N-39°-W	楕円形	(0.79)×0.45	21	外傾	皿状	人為	—	S I 25→本跡 本跡→SK 406
409	C9e1	N-37°-W	長方形	0.97×0.70	43	垂直	平坦	人為	—	S I 25→本跡
410	C9a3	N-27°-W	長方形	1.06×0.80	60	垂直	平坦	人為	—	SK 407→本跡
411	C8i0	N-53°-W	楕円形	0.96×0.68	51	外傾	皿状	人為	—	
412	C9g2	N-83°-W	楕円形	0.56×0.40	78	外傾	段状	人為	—	SD10→本跡
413	C9d1	N-30°-W	長方形	0.92×0.75	51	垂直	平坦	人為	—	S I 25→本跡
414	C9d1	N-30°-E	楕円形	0.85×0.44	19	緩斜	皿状	人為	—	
415	C9d1	N-20°-W	楕円形	0.57×0.48	16	緩斜	皿状	自然	—	S I 25→本跡
416	C9e1	N-46°-W	長方形	(0.90)×0.95	15	緩斜	平坦	—	—	
417	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第9号墓坑に変更
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
420	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第9号井戸跡に変更
421	B8e7	N-0°	長方形	1.50×1.25	14	緩斜	皿状	自然	—	
422	B8e7	N-5°-W	長方形	1.36×0.82	72	垂直	平坦	—	—	SK 433→本跡
423	B8e7	N-63°-E	楕円形	1.75×1.22	15	外傾	平坦	人為	—	SK 433→本跡 本跡→SK 425
424	B8f7	N-55°-E	楕円形	(0.71)×0.68	18	緩斜	平坦	—	—	本跡→SK 425
425	B8e7	N-0°	円形	1.59	8	緩斜	平坦	—	—	

番号	位置	長径軸方向	平面形	規模(m)		深さ(cm)	壁面	底面	覆土	出土遺物	備考
				長径(軸)×短径(軸)	幅						
426	B8f9	N-46°-E	楕円形	0.95×0.86		11	外傾	平坦	-	-	
427	B8e0	N-9°-W	楕円形	0.85×0.60		13	外傾	平坦	-	-	
428	-	-	-	-		-	-	-	-	-	平安時代
429	B8e0	N-9°-E	楕円形	0.86×0.52		45	漏斗状	皿状	-	-	
430	B8c7	N-25°-W	楕円形	1.60×1.30		-	-	-	-	-	
431	B8c7	N-25°-W	楕円形	1.00×(0.75)		10	緩斜	皿状	-	-	
432	-	-	-	-		-	-	-	-	-	第3号竪立柱建物跡P2に変更
433	B8e7	N-24°-W	円形	1.48×1.38		6	緩斜	平坦	-	-	
434	B8f5	N-0°	円形	0.50		20	外傾	平坦	-	-	
435	-	-	-	-		-	-	-	-	-	第3号竪立柱建物跡P8に変更
436	B8d6	N-8°-W	楕円形	1.76×0.70		56	外傾	平坦	-	-	
437	B8d6	N-25°-W	方形	0.49×0.46		18	垂直	平坦	-	-	
438	B8h0	N-72°-E	楕円形	1.40×1.03		64	外傾	平坦	-	-	
439	B8j9	N-8°-W	楕円形	0.72×0.53		75	外傾	皿状	-	-	
440	B9j3	N-41°-E	円形	1.22×1.13		24	緩斜	平坦	-	-	
441	C9a3	N-10°-E	円形	0.48×0.45		25	外傾	皿状	-	-	
442	B9j3	N-0°	円形	0.50		19	漏斗状	平坦	-	-	

表19 その他の溝跡一覧表

番号	位置	走向方向	規模				断面	底面	覆土	出土遺物	備考
			長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					
1	A3e6~A3g6	N-20°-E	8.18	1.22~2.16	0.22~0.35	59~67	U字状	弧状	自然	-	
2	A3f3~B3a3	N-60°-E	20.30	0.80~2.56	0.30~0.60	45~72	U字状	弧状	自然	磁石 剥片 磨管	
3	A4g7~B4d5	N-10°-E	28.00	0.10~0.12	0.62~0.73	62~73	U字状	弧状	自然	-	
4	A4j2~B4a5	N-100°-E	12.70	0.66~1.35	0.30~0.54	10~16	U字状	弧状	自然	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	C8f4~C8f6	N-90°-E	7.05	0.58~1.62	1.04~0.26	21~47	U字状	弧状	自然	-	
7	C6e4~C7e6	N-85°-E	48.00	0.62~1.36	0.16~0.71	16~68	U字状	弧状	自然	石礫	
8	C7h4~C7h5	N-30°-E	3.30	1.05~1.08	0.27~0.33	30	U字状	弧状	自然	支脚	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
10	C8f8~C9g2	N-95°-E	19.00	0.35~0.67	0.20~0.40	6~28	U字状	弧状	自然	-	320 SK200-02→本跡PG3上の副田工跡
11	B8j5~B9f2	N-70°-E	32.75	1.88~2.46	0.14~0.40	72~122	V字状	平坦	自然	-	S B 4 S E 9→本跡 S123 S311→本跡 本跡→S K 342・346
12	B8i0~B8i5	N-3°-W	43.00	0.38~1.20	0.10~0.73	5~22	U字状	弧状	自然	-	本跡→S B 3 S K 298・299
13	B8c0~B8f8	N-65°-E	19.30	0.83~1.50	0.12~0.58	30~61	U字状	弧状	自然	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	B8c7~B8i0	N-65°-E	9.38	0.38~0.63	0.12~0.58	4~6	U字状	弧状	自然	-	S B 3→本跡
16	B8i6~B8i9	N-60°-E	(12.43)	0.24~0.80	0.13~0.43	10~15	U字状	弧状	自然	-	SK431→本跡
17	B9e1~B9f2	N-46°-E	1.04	0.18~0.30	0.08~0.11	-	U字状	弧状	自然	-	本跡→S D 18
18	B9f1~B9e2	N-20°-W	3.82	0.23~0.45	0.10~0.23	19	U字状	弧状	自然	-	S117→本跡 本跡→S K 322

表20 その他の道路跡一覧表

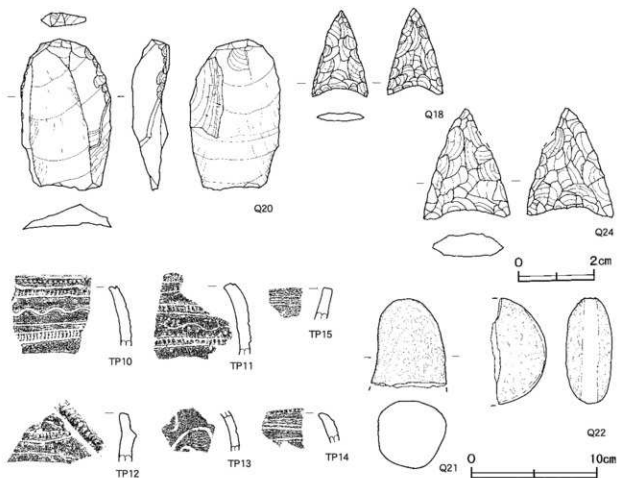
番号	位置	走向方向	規模				断面	底面	覆土	出土遺物	備考
			長さ(m)	上幅(m)	下幅(m)	深さ(cm)					
1	D9c7~D9f1	N-65°-E	24.00	1.22~2.16	0.22~0.35	58~67	U字状	弧状	自然	陶器片 磁器片	

表21 その他の柵跡一覧表

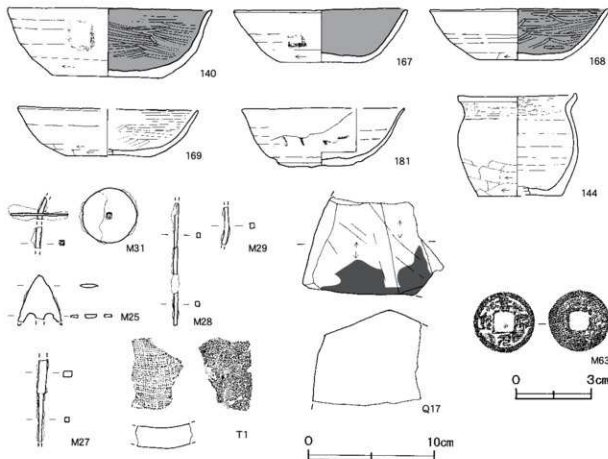
番号	位置	走行方向	柱穴本数	長さ(m)	柱穴平面形	深さ(cm)	出土遺物	備考
1	C8d0	N-50°-E	6	1.5	円形	16~35	-	
2	C8d0	N-25°-E	3	0.9	円形	7~18	-	
3	C8e0	N-35°-E	3	0.8	円形	15~36	-	
4	B8j6	N-36°-W	2	4	円形	8~38	-	
5	B9i3	N-30°-E	4	2	円形	26~47	-	

表22 その他のピット群一覧表

番号	位置	範囲		柱穴数	柱穴平面形	深さ(cm)	出土遺物	備考
		東西(m)	南北(m)					
1	C6e5~C6e4	1.5	2.1	11	円形	15~73	-	
2	B6i4~C6a3	4.4	5.6	9	円形	12~93	-	
3	C5e9~C6b1	7.4	6.6	11	円形	10~89	-	
4	C5a8~C5i6	4.3	4.2	5	円形	15~30	-	
5	C5f8~C5g0	16.5	20.2	32	円形	6~57	-	S120 S K283 S D10→本跡
6	C8i8~C9h1	20.5	20.3	23	円形	4~99	-	
7	B8d5~B9f1	16.5	20.5	34	円形	9~89	-	



第200図 遺構外出土遺物実測図(1)



第201図 遺構外出土遺物実測図②

遺構外出土遺物観察表 (第200・201図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
140	土師器	坏	16.2	5.5	8.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	体部下端の彫へら削り 内面へら磨き 底部へら切の履し後の未調整	SK326覆土中	85% 黒書 体部外面 正位(白)
167	土師器	坏	13.7	4.3	6.5	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部下端の彫へら削り 内面へら磨き 底部へら切の後ナデ	SK326覆土中	70% 黒書 体部外面 正位(白)
168	土師器	坏	14.2	4.2	6.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部下端の彫へら削り 内面へら磨き 底部へら切の履し後の未調整	SK326覆土中	60%
169	土師器	坏	14.2	3.8	6.6	長石・石英・赤色粒子・赤色雲母	橙	普通	体部下端の彫へら削り 内面へら磨き 底部切の履し後の未調整	SK326覆土中	40%
181	土師器	坏	12.8	4.7	6.4	長石・石英	浅黄色	普通	体部下端未調整 内面未調整 底部の彫へら切の後未調整	SK205覆土中	70% 黒書 体部外面 横位(正位)
144	土師器	甕	9.4	8.1	6.6	長石・石英・赤色粒子・赤色雲母	橙	普通	口縁部内・外面横ナデ 体部外面へら削り後ナデ 内面ナデ	SK326覆土中	95%

番号	種別	器種	胎土	色調	焼成	文様の特徴	位置	備考
TP10	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口唇部に圧縮を認め、その沈降に因って内外面に貝殻層文施文 沈降による直線文での区画内に貝殻層文施文	表土中	
TP11	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	灰黄橙	普通	沈降による直線文での区画内に貝殻層文施文	表土中	
TP12	縄文土器	深鉢	長石・石英	灰黄橙	普通	波状口縁 口縁部内面及び隆帯にキギマ 沈降による区画	表土中	
TP13	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	沈降による曲線文施文	表土中	
TP14	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	沈降による横位の波状文と直線文施文	表土中	
TP15	縄文土器	深鉢	長石・石英・雲母	灰橙	普通	器表面条痕文施文	表土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q17	砥石	(7.9)	(11.2)	(7.5)	(94.0)	砂岩	砥面2面 溝状痕あり 一部煤付着	SK205覆土中	
Q18	石鏝	2.3	1.5	0.2	0.80	チャート	平基無基式 押圧跡で両面全周に調整	SD7覆土中	
Q20	二次加工のある剥片	4.0	2.4	0.7	7.20	縄文頁岩	複数打面の縦長剥片 背面の縁刃に両面側から角度の小さい刃部加工が施される 右側縁に微細網目状の	調査地区 表土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
Q21	不明	(7.1)	6.0	5.4	(350)	砂岩	全面敲打による整形	調査地区表土中	
Q22	磨石	8.5	(4.5)	3.6	(160)	砂岩	側面に使用痕	表土中	
Q24	石織	2.9	2.3	0.6	3.40	チャート	平基無蓋式 押圧剥離で両面全体に調整	表土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M25	鉄鏝	(3.8)	3.5	0.3	(8.85)	鉄	鑄鉄部及び鋳鉄部欠損	SK326埋土中	S1222のみの 器入
M27	鉄鏝	(6.5)	0.7	0.4	(0.40)	鉄	鋳鉄部及び鋳部欠損	SK326埋土中	S1222のみの 器入
M28	紡錘車	(9.8)	0.3	0.4	(4.00)	鉄	紡輪 断面方形	SK326埋土中	S1222のみの 器入
M29	紡錘車	(3.0)	0.4	0.4	(1.18)	鉄	紡輪 断面方形	SK326埋土中	S1222のみの 器入

番号	器種	結束部最大径	結束部最小径	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
M31	紡錘車	4.7	4.7	0.20	3.05	鉄	円盤形 断面方形の紡輪残存	SK326埋土中	S1222のみの 器入

番号	銭名	径	孔径	厚さ	重さ	初鋳年	特 徴	出土位置	備考
M63	番祐元寶	2.50	0.80	0.10	2.86	1056	北宋銭	表土中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特 徴	出土位置	備考
T1	瓦	(6.1)	(4.5)	1.6	(2.50)	粘土(長石・石英)	四面布目煎	SF1路内	

## 第4節 ま と め

当遺跡の調査の成果は次の二つに集約される。

- 一つは、旧石器時代の石器集中地点が8か所確認されたことである。出土した石器の総数は2000点を越え、県内屈指の出土量である。そして、その大きな特徴は、石器の石材に「水晶」が選択されていることである。もう一つの成果は、時期が10世紀前半に限定された、山間部の集落が確認されたことである。ここでは、旧石器時代の石器集中地点と平安時代の集落について若干の考察を行いまとめたい。

### 1 旧石器時代の石器集中地点

#### (1) 石器集中地点の立地

平成14・16年度の二回の調査で確認された石器集中地点は、8か所である。これらの石器集中地点は、潤沼川に向かって緩やかに傾斜する丘陵裾部の、標高約38mの等高線上に間隔を開けて並ぶように分布している。第3～8号石器集中地点は近接しており、それらと離れた位置に第1・2号石器集中地点が確認されている。標高38m付近に集中している理由として、裾部の中で平坦な場所が広いことが考えられる。

#### (2) 第1・2号石器集中地点について

水晶を石材とした石器類の総数は2155点で、出土層位には幅があり、ローム漸移層からソフトローム層にかけて出土している。ただし、分布の中心はソフトローム層にある。そして、水晶製の石器類の90%を占める1977点が、第1号石器集中地点から出土している。その器種は、①東内野型有柄尖頭器の成品②尖頭器の未成品(製作途中で折れてしまったと考えられるものも含む)③原石④原石を粗削りしただけの礫片と呼べるもの⑤石核(剥片を多く取った残核とあまり取られていないもの両方がある)⑥ポイントブレイク⑦其他剥片や砕片などである。敲石など石器を製作するための道具は、第1号石器集中地点からも出土しているが、まとまって出土しているのは少し離れた第2号石器集中地点である。第2号石器集中

地点は、石器製作の道具である敲石や台石だけで構成されているのが特徴であり、意図的に集積されたものと考えられる。第2号石器集中地点と第1号石器集中地点の石器は、同じ文化層から出土している。

第1号石器集中地点では、その石器組成から、比較的大きな礫片と剥片の2種類の素材から尖頭器が製作されていたものと考えられる(表23)。第2号石器集中地点の石器は、石器製作に使用していた道具類で、何らかの理由で製作場所から離れた位置に集積されたものであり、関連性がうかがえる。

第1号石器集中地点出土の石器類は、有植尖頭器を含む尖頭器主体の石器群であり、県内及び隣接県の石器群の編年研究に基づくと、武蔵野地域のⅡb期・下総地域のⅡc期・常陸地域のⅡ期/Ⅲ期に該当するものと考えられる<sup>1)</sup>。

表23 第1号石器集中地点の主な石器

番号	器種及び手法の特徴	番号	器種及び手法の特徴
25	砕片 二次加工・微細剥離は認められない 上端及び左半を大きく欠損している	861	尖頭器 両面階段状剥離調整 基部・尖頭部欠損 表面微細剥離
26	砕片 横長剥片 背面下半に原石面を残置 腹面上部の縁辺に微細剥離が連結する 器体左半を欠損	1068	石核 円錐素材 円錐を打ち欠いた打割面を打面とし、周縁からの剥片剥離が行われている
44	尖頭器 表面調整 尖頭部作出 裏面は尖頭部のみ調整 安山岩製	1071	尖頭器 背面に原石面が残置することから、素材は礫面剥片と考えられる 主要剥離面の周縁を粗く加工した後に、そこを打点として背面側に器体中央に二次加工を高周縁より施す
224	有植尖頭器 素材は横長剥片 器体左側縁下半にあたる素材剥片下縁には連続した二次加工が施され、一部階段状 器体上端背面に左から右方向の植状剥離	1343	尖頭器 両面剥離調整 尖頭部欠損
238	尖頭器 正面・右側面に円錐の原石面 左側面に素材の先行剥離面が残置 素材主要剥離面は、均整としない 上・下端を欠損	1425	尖頭器 両面剥離調整 尖頭部作出 側縁部に微細調整
287	剥片 横長の礫面剥片素材 主要剥離面の打点付近に、二次加工及び微細剥離が連結し、一部階段状	1462	尖頭器 縦長の礫面剥片が素材 背面・右側縁の全縁及び左側縁の下部に、浅い二次加工が連続 右側縁の下部を欠損
427	剥片 正面の一部に素材面を残す 右側面に2か所の微細剥離痕	1603	礫面剥片 背面には2面の剥離面が認められる他は、二次加工・微細剥離は認められない
476	剥片 背面に原石面を大きく残置 端部側が幅広の剥片素材 背面の右側縁に微細剥離が認められ、下端を欠損	1669	礫面剥片 二次加工・微細剥離は認められない 下端を欠損
591	尖頭器 素材は縦長の礫面剥片 両側縁に腹面からの二次加工が施されている	1735	剥片 表面に原石面を多く残し、裏面の主要剥離以外、剥離は特に見られない
769	尖頭器 背・腹面ともそれぞれの面における右側縁から、面的な二次加工が施されている	1786	原石 剥離痕は認められない
789	石核 水晶の長円錐の一端より、表裏面におおよそ各2枚づつ剥片が剥離されている 打点部が欠損している	1863	尖頭器 左側縁上部に背面への、下部に素材打面側への二次加工が施される 右側縁を欠損
809	石核 右側面を一面削りだ後、上面よりおよそ3枚の剥片が剥離されている	1890	剥片 片面剥離調整 一部に原石面を残す
822	剥片 右側縁下に微細剥離	2388	有植尖頭器 背面左上部に、素材の先行剥離面が残置 調整は粗い

### (3) 水晶という石材について

石器を製作するための材料である石は、製作者が意図するように割れる石が選択されるはずである。例えば、安山岩などは石材として適しており、潤沼川流域からも採取できる。実際に、第1号石器集中地点からは、安山岩製の尖頭器が1点出土している。しかし、当遺跡では、そのような石材は選択されず、非常に硬く(硬度7)石器製作に不向きな水晶が石材に選ばれているのが特徴である。

水晶は、笠間市内では佐白山及び来栖地区などから、遺跡から離れたところでは、東茨城郡城里町(旧七会村)にある高取鉱山から採掘できるという。ところで、第1号石器集中地点から出土した原石及び原礫面を残す礫片を観察すると角が取れており、転石ということが分かる。水晶の転石が、遺跡周辺の潤沼



川流域にあり、入手しやすかったものと推測される。荒く割られただけの原石や剥片がそれほど取られていない石核が多量に出土していることも、水晶の原石が比較的入手しやすい位置にあることの証拠と考えられる。

入手しやすい石材ではあるが、石器製作にはあまり適していない水晶が何故選択されたのか、水晶における尖頭器製作技術、8か所の石器集中地点の関連性など不明な点があるが、2000点を超す石器類を出土した本遺跡は、今後の後期旧石器時代の研究に大きな資料を提供したのは間違いのないであろう。

## 2 平安時代の集落

当遺跡で確認された竪穴住居跡は、須恵器供膳具が伴わないことや土師器供膳具の器種構成から、いずれも10世紀前葉から中葉の時期のものであり、約50年間にわたり集落が形成されていたと考えられる。それ以前の竪穴住居跡は確認されておらず、空閑地だった場所に初めて開発が入った新規開発型の集落と考えられる。

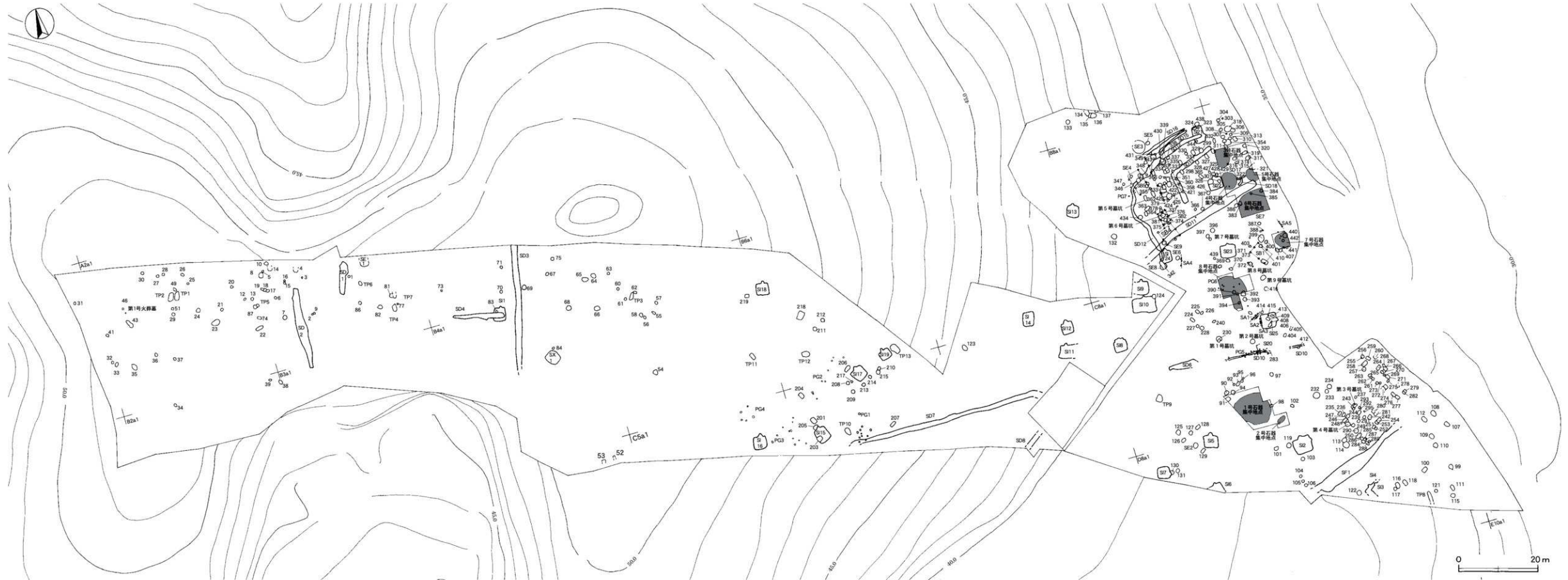
さて、当遺跡では「棚状施設」がある住居跡が25軒中3軒確認されており、その割合は比較的高いものと考えられる。棚状施設には、①地山面をそのまま使用するもの（素掘りタイプ）と、②地山を掘り込んで粘土を充填するもの（充填タイプ）の2種類がある。棚状施設をもつのは、第1・8・14号住居跡であり、第1・14号住居跡は素掘りタイプ、第8号住居跡は充填タイプである。第1号住居跡は東西壁際にピットが並んでおり、壁際柱穴と考えられる。第8号住居跡は、貯蔵穴があり鉄製紡錘車出土している。貯蔵穴がある住居跡は、その他にも確認されている。貯蔵穴の位置は、住居の中央部・壁側の2種類があり、いずれにしてもこの時期の住居構造としては特徴的である。

その他、特徴的な住居跡として第10・25号住居跡があげられる。第25号住居跡は、竈のほかに炉が併設されており、鉄製斧・鉄製紡錘車の紡輪などが出土している。炉が併設されていることと、加工具である鉄製斧が出土していることから、工房的な性格も推測される。また、第10号住居跡は、①竈のほかに炉が併設されている、②羽口・椀状滓・鉄滓が出土していることなどから、鍛冶工房跡と考えられる。本跡からは、陶物形土製品が出土しており、「火」に密接した土製品と推測される。

10世紀に突如、山間部に形成された集落の担い手は、新たな土地を開発するための集団と考えられる。その集団は、鍛冶や手工業を行いながら生活を営み、10世紀後半以降新たな土地に移り住んでいったものと考えられる。周囲の調査が進み、同時期の集落跡が確認され、集落構成・遺物の検討などが出来れば、本遺跡周辺の人々の動きが分かるものと考えられる。

註

- 1) 橋本勝雄「茨城県における旧石器時代の編年」『ひたちなか市埋蔵文化財調査センター開館10周年記念シンポジウム茨城県における旧石器時代研究の到達点—その現状と課題—』発表要旨・資料集 茨城県考古学協会 2002年12月



第202図 小組遺跡遺構全体図

## 第5章 上加賀田城跡

### 第1節 遺跡の概要

上加賀田城跡は、旧笠間市域の南東端に位置し、標高56mの独立した小丘陵に立地している。一辺50mほどの方形を呈した平坦な山頂部が主郭跡である。さらに、小丘陵を南側に下っていくと二の郭・三の郭跡がある。調査区は山頂部から見て、北東から北側の急斜面部と裾部にわずかに広がる平場で、調査前の現況は山林である。調査区の北側と東側は潤沼川で、かつては潤沼川が堀の役目を果たしていたと考えられる。調査では、城郭に伴う遺構は検出できなかった。

遺構は、炭焼窯跡7基（時期不明）、溝跡1条（時期不明）が確認された。遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に1箱出土している。主な出土遺物は、土師質土器（小皿・撞鉢・鍋）、陶磁器（碗）、土製品（炭焼窯構築材片）などである。

### 第2節 基本層序

裾部に広がる平場のB3d7区にテストピットを設定し、深さ1.95mまで掘り下げて基本土層（第203図）の観察を行った。土層は8層に分層される。以下、テストピットの観察から、層序を説明する。

第1層は黒褐色を呈する表土層で、炭化物を少量、粘土粒子を微量含んでいる。層厚は最大36cmである。

第2層は褐灰色を呈する表土層で、粘土粒子を少量、炭化物及び砂粒を微量含んでいる。層厚は最大25cmである。

第3層は灰黄褐色を呈する旧表土層で、砂粒を少量、炭化物を微量含んでいる。層厚は30～35cmである。

第4層は第1号溝跡の覆土で、にぶい黄褐色を呈し、砂粒を中量、炭化粒子及び粘土粒子を微量含んでいる。

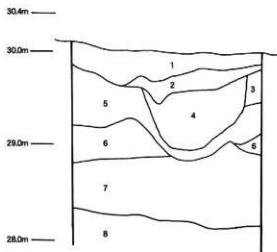
第5層は暗褐色を呈する旧表土層で、砂粒を少量、炭化物を微量含んでいる。層厚は33～64cmである。

第6層は褐色を呈する層で、砂粒を少量、炭化物を微量含んでいる。粘性がやや強い。層厚は最大44cmである。

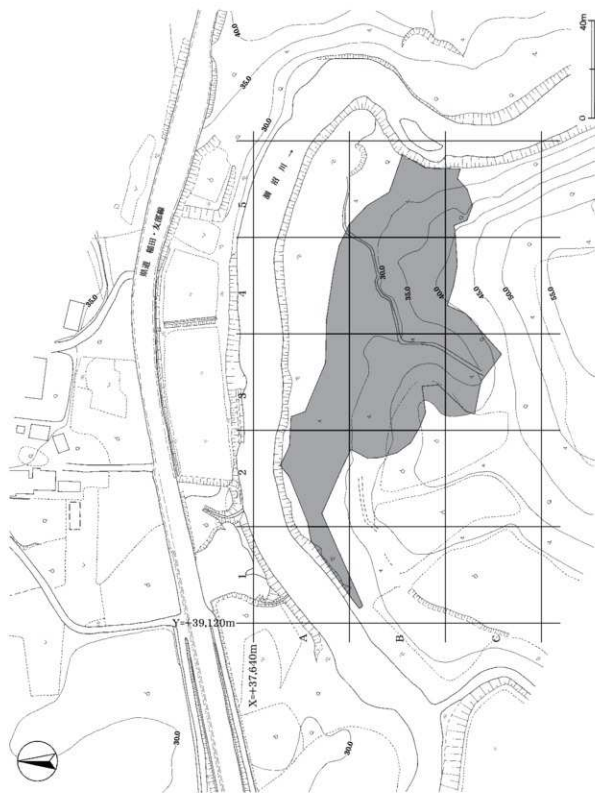
第7層は褐色を呈する層で、砂粒を少量、炭化粒子を微量含んでいる。縮まりがやや強い。層厚は48～75cmである。

第8層はにぶい黄褐色を呈する層で、砂粒を少量、礫を微量含んでいる。粘性及び縮まりはやや弱い。層厚は最大14cmであるが、下層は未掘のため本来の層厚は不明である。

遺構は、第3・5層上面で、溝1条を確認している。



第203図 基本土層図



第204図 上加賀田城跡調査区設定図

### 第3節 遺構と遺物

時期不明の炭焼窯跡7基と溝跡1条を確認したが、急斜面部の調査であったため、土塁跡や堀跡などの城郭施設は確認されなかった。以下、確認された遺構と遺物の特徴について記述する。

#### 1 炭焼窯跡

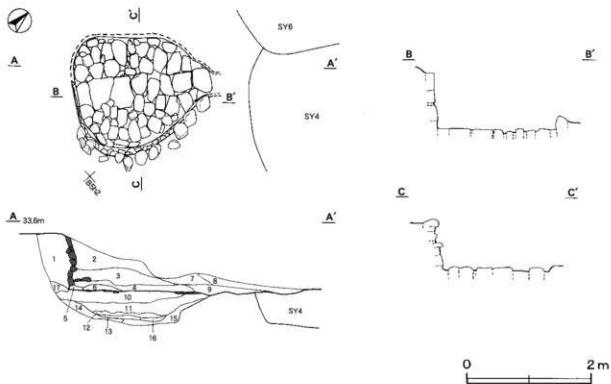
##### 第1号炭焼窯跡（第205図）

**位置** 調査区東部のB5g1区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高33mほどの北東斜面部に位置している。

**重複関係** 第4号炭焼窯跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 北西側は削平されており、全容は明らかではない。確認された部分は炭化室と考えられ、長径約4.4m、短径約1.9mの不整形円で、主軸方向（短径方向）はN-140°-Wである。遺存している壁高は78~88cmで、南西側は直立、南東側は外傾して立ち上がっている。窯底は、掘り方に焼土粒子を少量含む赤褐色系の土を最大28cmほど埋め土した上に、平らな面が上になるように石を敷き詰めて構築されている。壁全体にも石が積み上げられている。北東側には焼土や炭化物の広がりが見られ、前底部があったと推定される。

**覆土** 17層からなる。第12・14層を除き、いずれも焼土ブロックを含んでいる。第3~6層は炭化物又は炭化粒子を少量含んでいることから、室内に堆積した層と考えられる。第2・7・8・9層は暗赤褐色を呈し、天井部が崩落した層と想定される。第1・10~17層は、窯底の構築土である。



第205図 第1号炭焼窯跡実測図

土層解説

1 暗赤褐色	ローム粒子中量、砂粒少量、焼土ブロック・炭化物微量	9 暗赤褐色	焼土ブロック中量、砂粒少量、炭化物微量
2 暗赤褐色	焼土ブロック・砂粒少量、炭化物微量	10 黒褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック・砂粒微量
3 暗赤褐色	焼土ブロック・炭化物・砂粒少量（焼土粒子も含む）	11 赤褐色	焼土ブロック多量
4 暗赤褐色	焼土ブロック・炭化物・砂粒少量	12 暗赤褐色	焼土粒子少量、炭化物・砂粒微量
5 黒褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック・砂粒微量	13 極暗赤褐色	焼土ブロック・炭化粒子少量、砂粒微量
6 暗赤褐色	焼土ブロック・炭化粒子少量、砂粒微量	14 黒褐色	細礫微量
7 暗赤褐色	焼土ブロック・砂粒少量、炭化物微量	15 暗赤褐色	焼土ブロック少量、炭化粒子・砂粒微量
8 暗赤褐色	焼土ブロック・砂粒少量、炭化粒子微量	16 赤褐色	焼土ブロック少量、砂粒微量
		17 暗赤褐色	焼土ブロック・砂粒少量、炭化物・細礫微量

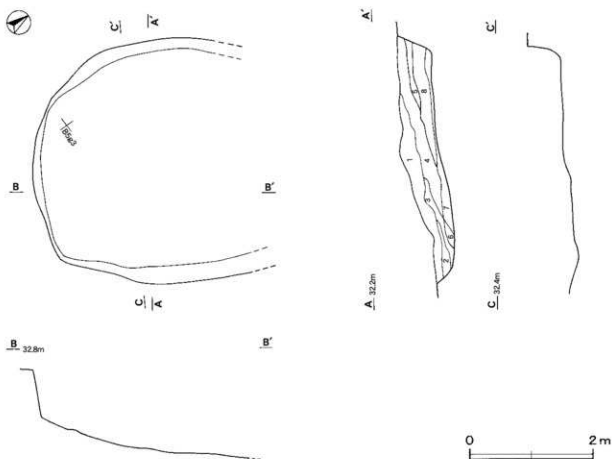
所見 第2～6号炭焼窯跡と重なり合うように確認されたことから、同じ場所で繰り返し炭焼窯を構築し、作業していたことが考えられる。時期は、不明である。

第2号炭焼窯跡（第206図）

位置 調査区東部のB5g3区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高32mほどの北東斜面部に位置している。  
重複関係 第4号炭焼窯跡を掘り込んでいる。

規模と形状 確認された部分は炭化室と考えられ、長径約4.0m、短径約3.2mの不整形円形で、主軸方向（短径方向）はN-143°-Wである。遺存する壁高は8～76cmで、外傾して立ち上っている。北東側に焚口部があったと考えられるが、削平されており全容は明らかではない。

覆土 8層からなる。第7層は灰、第8層は炭化粒子を含んでおり、室内に堆積した層と考えられる。第5層はぐい赤褐色を呈し焼土ブロックを含んでいることから、天井部が崩落した層と考えられる。第1～4・6層は窯が廃絶された後堆積した層と考えられる。



第206図 第2号炭焼窯跡実測図

## 土層解説

1 黒褐色	ローム粒子少量、焼土ブロック・炭化粒子・砂粒微量	5 濃い赤褐色	焼土ブロック少量、炭化粒子微量
2 黒褐色	炭化粒子・砂粒少量、ローム粒子微量	6 明黄褐色	砂粒中量
3 暗赤褐色	焼土粒子少量、炭化粒子微量	7 灰黄褐色	灰・砂粒少量、焼土粒子・炭化粒子微量
4 黒褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック微量	8 黒色	炭化粒子少量、焼土粒子微量

所見 第1・3～6号炭焼窯跡と隣接して確認されたことから、同じ場所で繰り返し炭焼窯を構築し、操業していたことが考えられる。時期は、不明である。

## 第3号炭焼窯跡（第207図）

位置 調査区東部のB5f2区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高32mほどの北東斜面部に位置している。

重複関係 第4・6号炭焼窯跡を掘り込んでいる。

規模と形状 北東側が削平されており、全容は明らかではないが、長径約2.0m、短径約1.7mの不整形円形の炭化室、裾れ部を挟んで一辺1.0mほどの方形の焚口部が確認された。主軸方向（長径方向）はN-145°-Wである。壁高は40～66cmで、外傾して立ち上がっている。

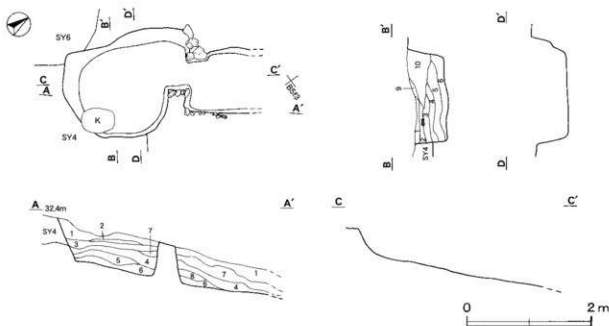
覆土 10層からなる。第3層は炭化材、第2・7層は炭化物、第4・5層は炭化粒子、第6・8層は炭化粒子と灰を含み、室内に堆積した層と考えられる。第1・9・10層は廃絶後に堆積した層と考えられる。

## 土層解説

1 黒色	炭化物中量、焼土粒子・砂粒微量	6 黒褐色	炭化粒子少量、灰微量
2 暗赤褐色	焼土ブロック少量、炭化物・砂粒微量	7 暗赤褐色	焼土ブロック少量、炭化物微量
3 暗赤褐色	焼土ブロック中量、炭化材・砂粒微量	8 黒褐色	炭化粒子少量、焼土粒子・灰微量
4 暗赤褐色	焼土ブロック中量、炭化粒子微量	9 黒色	炭化粒子中量、焼土ブロック微量
5 黒褐色	炭化粒子中量	10 黒褐色	炭化粒子中量、焼土ブロック微量

遺物出土状況 焚口部と考えられる付近を中心に、窯壁の構築材の破片が出土している。

所見 第1・2・4～6号炭焼窯跡と重なり合うように確認されたことから、同じ場所で繰り返し炭焼窯を構築し、操業していたと考えられる。時期は、不明である。



第207図 第3号炭焼窯跡実測図

#### 第4号炭焼窯跡（第208図）

**位置** 調査区東部のB5g2区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高32mほどの北東斜面部に位置している。

**重複関係** 第1～3・6号炭焼窯跡に掘り入り込まれている。南東部は擾乱を受けている。

**規模と形状** 重複と擾乱のため、全容は明らかではない。確認された部分は、長径約3.9m、短径約2.0mで、楕円形又は長方形と推定され、主軸方向（長径方向）はN-140°-Wである。遺存する壁高は50cmほどで、外傾して立ち上がっている。

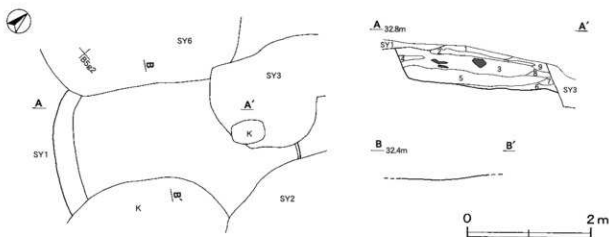
**覆土** 9層からなる。第5層は暗赤褐色を呈し、焼土ブロック、炭化粒子及び灰を含み、第6・7層は、黒褐色・黒色を呈し、炭化物を含んでいることから、いずれも室内に堆積した層と考えられる。本跡を掘り込んで、複数の炭焼窯が構築されていることから、人為堆積と考えられる。

##### 土層解説

1 褐色	ロームブロック少量、炭化物・砂粒微量	6 黒褐色	炭化物少量、焼土ブロック・砂粒・灰微量
2 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子少量、砂粒微量	7 黒色	炭化物中量、焼土粒子・砂粒微量
3 黒褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック・砂粒微量	8 黒色	炭化物中量
4 暗赤褐色	焼土ブロック・細礫少量、炭化物・砂粒微量	9 黒色	炭化粒子中量、焼土粒子微量
5 暗赤褐色	焼土ブロック・炭化粒子少量、砂粒・灰微量		

**遺物出土状況** 覆土中から、土師質土器小皿カの底部片1点と窯壁の構築材の破片が出土している。

**所見** 第1～3・5・6号炭焼窯跡と重なり合うように確認されたことから、同じ場所で繰り返し炭焼窯を構築し、操業していたと考えられる。遺存状況は極めて不良であり、時期は不明である。



第208図 第4号炭焼窯跡実測図

#### 第5号炭焼窯跡（第209図）

**位置** 調査区東部のB5f1区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高32mほどの北東斜面部に位置している。

**重複関係** 第6号炭焼窯跡を掘り込んでいる。

**規模と形状** 北東部は削平されているため、全容は明らかではない。確認された部分は、長軸約2.8m、短軸約2.3mの長方形の炭化室と考えられ、主軸方向（短軸方向）はN-140°-Wである。壁高は32～66cmで、外傾して立ち上がっている。北東側に、焚口部と考えられる細長い掘り込みが確認された。

**覆土** 14層からなる。第2・3・8～14層は、焼土ブロックや炭化粒子を含んでおり、室内に堆積した層と考えられる。第1・4は暗褐色を呈しローム粒子を含んでいることから、廃絶後に堆積した層と考えられる。

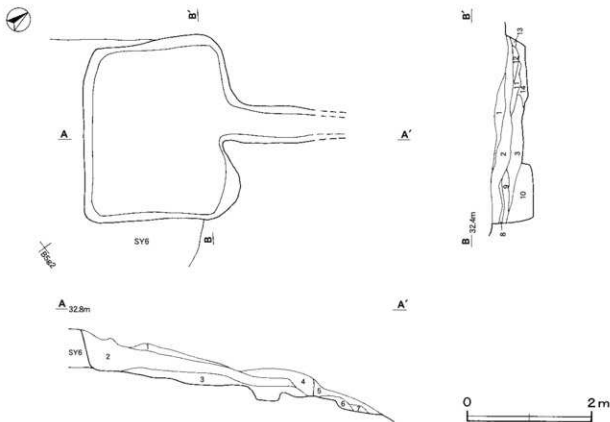


## 土層解説

1 暗褐色	ローム粒子中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量	8 明赤褐色	焼土ブロック少量、炭化物・砂粒微量
2 黒色	炭化粒子中量、焼土ブロック微量	9 暗赤褐色	焼土粒子少量、炭化粒子・砂粒微量
3 赤褐色	焼土ブロック中量、炭化粒子・砂粒微量	10 暗赤褐色	焼土粒子少量、炭化粒子微量
4 暗褐色	ローム粒子・炭化粒子少量	11 黒褐色	炭化粒子少量、焼土粒子微量
5 暗赤褐色	焼土粒子・炭化粒子少量、砂粒微量	12 暗赤褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック微量
6 極暗赤褐色	焼土粒子・炭化粒子少量	13 黒褐色	炭化粒子少量
7 暗赤褐色	焼土ブロック少量、炭化粒子・砂粒微量	14 暗褐色	炭化粒子少量、焼土ブロック微量

**遺物出土状況** 焚口部と考えられる付近を中心に、窯壁の構築材の破片が出土している。

**所見** 第1～4・6号炭焼窯跡と重なり合うように確認されたことから、同じ場所でも繰り返し炭焼窯を構築し、操業していたと考えられる。時期は不明である。



第209図 第5号炭焼窯跡実測図

### 第6号炭焼窯跡 (第210図)

**位置** 調査区東部のB5f1区で、山頂部が主郭跡である小丘陵の標高32mほどの北東斜面部に位置している。

**重複関係** 第4号炭焼窯跡を掘り込み、第3・5号炭焼窯に掘り込まれている。

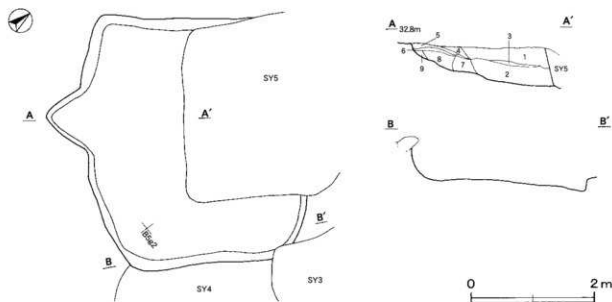
**規模と形状** 北東部は第5号炭焼窯に掘り込まれているため、全容は明らかではない。確認された部分は長軸約4.0m、短軸約3.6mの長方形の炭化室と考えられ、主軸方向(短軸方向)はN-140°-Wである。南西壁中央部が、60cmほど三角形に掘り込まれており、煙道が設けられていたと考えられる。遺存する壁高は22～68cmで、外傾して立ち上がっている。

**覆土** 9層からなる。第2層は、黒色を呈し、炭化粒子を含み、第7・8層は灰褐色を呈し、焼土や炭化物及び灰を含んでいることから、窯内に堆積した層と考えられる。第4～6層は焼土粒子や粘土粒子を含み、天井部が崩落した層と考えられる。第1層は暗褐色を呈し、ローム粒子を含んでいることから、廃絶後に埋め戻された層と考えられる。

土層解説

- |        |                      |        |                |
|--------|----------------------|--------|----------------|
| 1 暗褐色  | ローム粒子中量, 炭化物・砂粒微量    | 6 暗赤褐色 | 焼土粒子・炭化粒子少量    |
| 2 黒色   | 炭化粒子中量, 焼土ブロック微量     | 7 灰褐色  | 炭化材・焼土ブロック・炭微量 |
| 3 赤褐色  | ローム粒子・焼土粒子少量, 炭化物微量  | 8 灰褐色  | 焼土ブロック・炭化物・炭微量 |
| 4 灰褐色  | 焼土粒子少量, ローム粒子・炭化粒子微量 | 9 暗褐色  | ローム粒子少量, 炭化物微量 |
| 5 暗赤褐色 | 焼土粒子少量, 炭化物・ローム粒子微量  |        |                |

所見 第1～5号炭焼窯跡と重なり合うように確認されたことから, 同じ場所でも繰り返し炭焼窯を構築し, 作業していたと考えられる。遺存状況は不良であり, 時期は不明である。



第210図 第6号炭焼窯跡実測図

第7号炭焼窯跡 (第211図)

位置 調査区東部のB3e9区で, 山頂部が主郭跡である小丘陵の標高31mほどの北東斜面部に位置している。

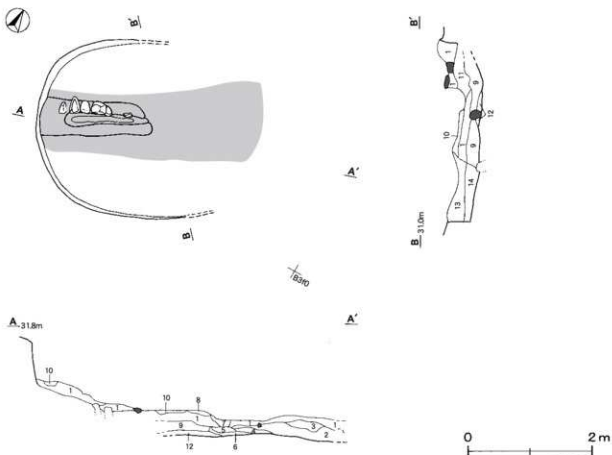
規模と形状 東部は削平されており, 全容は明らかではない。確認された部分は, 長径5.2m以上, 短径約2.8mの楕円形の炭化室と考えられ, 主軸方向(長径方向)はN-120°-Wである。遺存する壁高は38~64cmで, 直立している。西壁際の窯底には敷石が確認され, 窯底は西壁際から中央部にかけて赤変している。

覆土 14層からなる。第2・4~6・12層は, 室内に堆積した層と考えられる。天井部の崩落によると想定される層は確認できない。

土層解説

- |        |                     |        |                     |
|--------|---------------------|--------|---------------------|
| 1 灰褐色  | 砂粒少量, 焼土ブロック・炭化粒子微量 | 10 灰褐色 | 焼土ブロック・砂粒少量, 炭化粒子微量 |
| 2 黒色   | 炭化粒子中量, 砂粒・炭微量      | 11 灰褐色 | 焼土ブロック・砂粒微量         |
| 3 灰褐色  | 炭化粒子・粘土粒子少量, 砂粒微量   | 12 黒色  | 炭化粒子中量, 焼土ブロック・砂粒微量 |
| 4 灰褐色  | 炭化粒子・砂粒少量, 焼土ブロック微量 | 13 灰褐色 | 砂粒少量                |
| 5 黒褐色  | 焼土ブロック・砂粒微量         | 14 灰褐色 | 砂粒少量, 炭化粒子微量        |
| 6 暗褐色  | 焼土ブロック・砂粒微量         |        |                     |
| 7 暗褐色  | 砂粒少量, 焼土ブロック・炭化物微量  |        |                     |
| 8 黒褐色  | 焼土ブロック・炭化物・砂粒微量     |        |                     |
| 9 暗赤褐色 | 砂粒少量, 焼土ブロック・炭化物微量  |        |                     |

所見 遺存状況は不良であり, 時期は不明である。



第211図 第7号炭焼窯跡実測図

表24 炭焼窯跡一覧表

番号	位置	主軸方向	平面形	規模		壁面	底面	覆土	主な出土遺物	備考
				長軸(窓×窓軸径) (m)	深さ(cm)					
1	B5g1	N-140°-W	(不整形)	(4.4) × 1.9	78~88	外傾	平坦	人為	—	SY4→本跡
2	B5g3	N-143°-W	(不整形)	4.0 × (3.2)	8~76	外傾	平坦	人為	—	SY4→本跡
3	B5f2	N-145°-W	(瓢型)	(4.0) × 1.7	40~66	外傾	平坦	人為	構築材片	SY4・6→本跡
4	B5g2	N-140°-W	(楕円形又は長方形)	(3.9) × (2.0)	50	外傾	平坦	人為	土師質土器	本跡→SY1~3・6
5	B5f1	N-140°-W	(長方形)	(4.7) × 2.8	32~66	外傾	平坦	人為	構築材片	SY6→本跡
6	B5f1	N-140°-W	(長方形)	4.0 × (3.6)	22~68	外傾	平坦	人為	—	SY4→本跡→SY3・5
7	B3e9	N-120°-W	(楕円形)	(5.2) × 2.8	38~64	直立	平坦	人為	—	

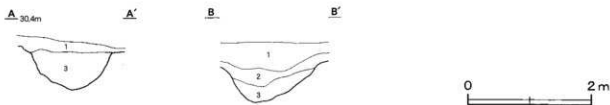
## 2 溝跡 (第212・221図)

調査区中央部のB3区で、溝跡1条を確認した。第1号溝跡は、裾部に広がる平場の最も南側で斜面部との境に位置し、東西方向に延びている。確認された長さは、25mほどである。全容は不明であり、遺物も出土していないため、時期や性格は不明である。

以下、この溝跡について、平面図は全体図に示し、土層断面図を記載する。

第1号溝跡土層解説 (1, 2は表土層)

- 1 黒 褐色 炭化物少量, 粘土粒子微量  
 2 褐 灰色 粘土粒子少量, 炭化物・砂粒微量
- 3 に近い黄褐色 砂粒中量, 炭化粒子・粘土粒子微量



第212図 第1号溝跡実測図

3 トレンチ (第213~216・221図)

遺構確認のために, A~Jのトレンチを設定した。以下, それらの土層断面図 (第213~216図) を示し, 併せて土層解説を記載する。なお, トレンチの位置は, 遺構全体図に示した。

A トレンチ土層解説

- 1 褐 色 ローム粒子中量, 細礫・砂粒少量  
 2 暗 褐色 ロームブロック・砂粒微量  
 3 暗 褐色 細礫少量, ロームブロック・砂粒微量  
 4 明 褐色 ローム粒子中量, 細礫・砂粒微量  
 5 褐 色 ローム粒子・砂粒少量, 炭化粒子・細礫微量  
 6 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子・細礫微量  
 7 暗 褐色 ローム粒子・砂粒少量, 細礫微量  
 8 黒 褐色 砂粒少量  
 9 暗 褐色 ロームブロック少量, 焼土ブロック・細礫・砂粒微量  
 10 暗 褐色 砂粒少量, ローム粒子・炭化粒子・細礫微量  
 11 黒 褐色 砂粒少量, ロームブロック・細礫微量  
 12 黒 褐色 ロームブロック・炭化物・細礫・砂粒微量  
 13 黒 褐色 ロームブロック・砂粒少量, 細礫微量  
 14 黒 褐色 炭化粒子・砂粒少量, ローム粒子・細礫微量  
 15 褐 色 ローム粒子・砂粒少量, 炭化粒子微量  
 16 暗 褐色 砂粒少量, ロームブロック・炭化粒子微量  
 17 暗 褐色 ロームブロック微量  
 18 暗 褐色 ロームブロック少量

B トレンチ土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子・細礫微量  
 2 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子・細礫少量  
 3 暗 褐色 ロームブロック・細礫少量  
 4 黒 褐色 ローム粒子・細礫・砂粒微量  
 5 黒 褐色 砂粒少量, ローム粒子・細礫微量  
 6 黒 褐色 砂粒少量, 炭化粒子微量  
 7 黒 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量

C トレンチ土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量  
 2 褐 色 ロームブロック少量, 炭化粒子微量  
 3 暗 褐色 ローム粒子少量  
 4 褐 色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量  
 5 褐 色 ロームブロック中量  
 6 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化粒子・細礫微量  
 7 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子・細礫少量  
 8 暗 褐色 ロームブロック・細礫少量  
 9 黒 褐色 砂粒少量, 炭化粒子微量  
 10 褐 色 ローム粒子中量, 細礫微量

D トレンチ土層解説

- 1 暗 褐色 砂粒少量, ロームブロック・細礫微量  
 2 灰 黄 褐色 砂粒・細礫少量, ロームブロック・炭化粒子微量  
 3 花園岩の岩盤

E トレンチ土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量, 炭化物微量  
 2 褐 色 ローム粒子中量, 炭化物微量  
 3 暗 褐色 ロームブロック・粘土粒子少量, 炭化物微量  
 4 黄 褐色 鹿沼パミス少量, 炭化物微量  
 5 暗 褐色 ロームブロック・炭化物・焼土粒子・鹿沼パミス微量  
 6 黒 褐色 炭化物・鹿沼パミス微量  
 7 褐 色 ローム粒子少量, 鹿沼パミス微量  
 8 黒 褐色 焼土粒子・炭化粒子少量, ローム粒子・鹿沼パミス微量  
 9 暗 褐色 ロームブロック微量  
 10 暗 褐色 炭化物少量, 砂粒微量  
 11 暗 褐色 炭化物・ローム粒子・細礫微量  
 12 褐 色 ローム粒子少量, 細礫・砂粒微量  
 13 暗 褐色 ローム粒子・細礫少量, 炭化物微量  
 14 褐 灰色 ローム粒子中量, 炭化物・細礫・砂粒微量

F トレンチ土層解説

- 1 暗 褐色 ロームブロック少量  
 2 褐 色 ローム粒子中量  
 3 暗 褐色 焼土ブロック少量, 炭化粒子微量  
 4 黒 褐色 ローム粒子・炭化粒子微量

G トレンチ土層解説

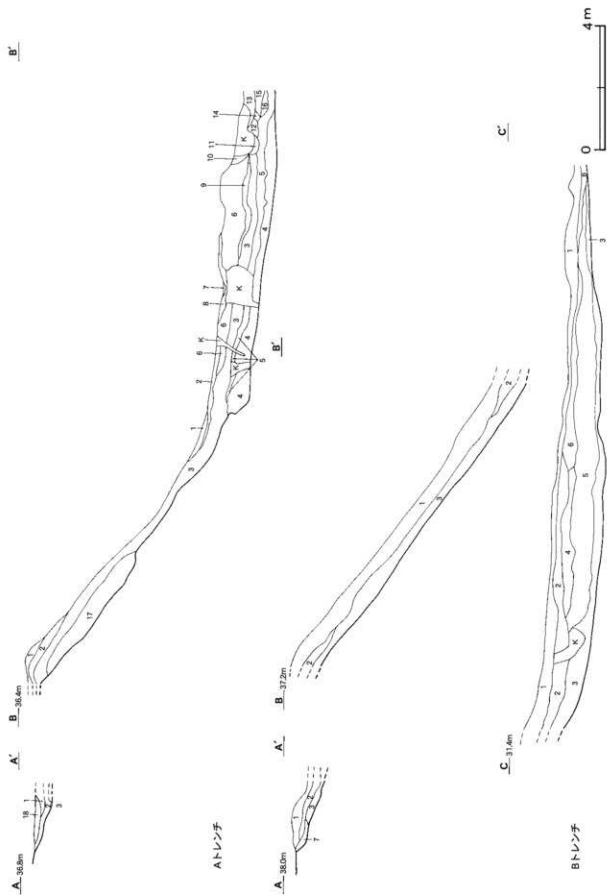
- 1 褐 色 ローム粒子多量  
 2 褐 色 ロームブロック中量  
 3 暗 褐色 ローム粒子少量, 炭化粒子微量  
 4 暗 褐色 ローム粒子・炭化粒子少量  
 5 暗 褐色 ロームブロック中量, 炭化粒子微量  
 6 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量  
 7 暗 褐色 ロームブロック・炭化粒子少量 (細まり弱い)  
 8 灰 黄 褐色 ロームブロック・粘土粒子少量, 炭化粒子・鹿沼パミス微量  
 9 灰 黄 褐色 ローム粒子中量, 粘土粒子・砂粒少量, 鹿沼パミス微量

H トレンチ土層解説

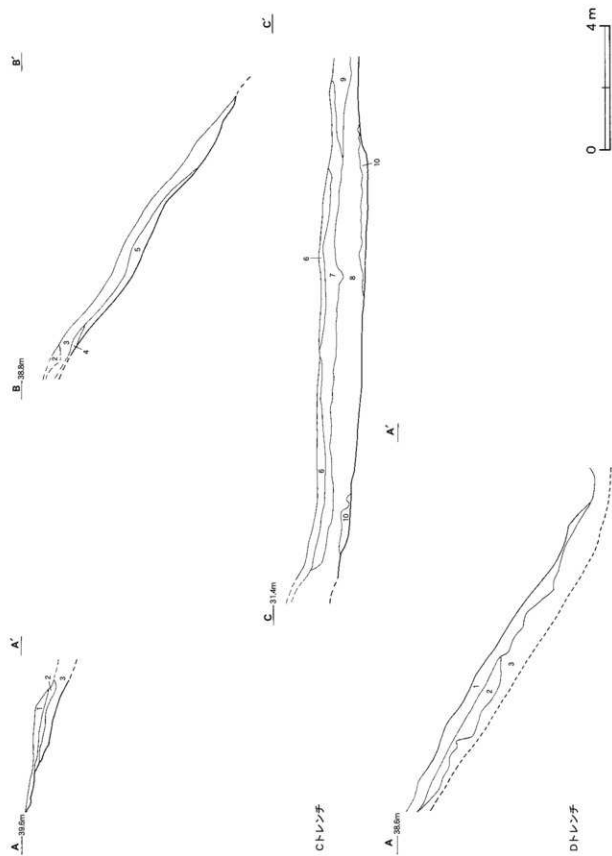
- 1 暗 褐色 粘土粒子少量, 細礫微量  
 2 黒 褐色 細礫少量  
 3 暗 褐色 細礫少量, 粘土粒子微量  
 4 黒 褐色 粘土粒子中量, 細礫微量  
 5 暗 褐色 細礫・砂粒少量  
 6 暗 灰 黄色 細礫微量

I トレンチ土層解説

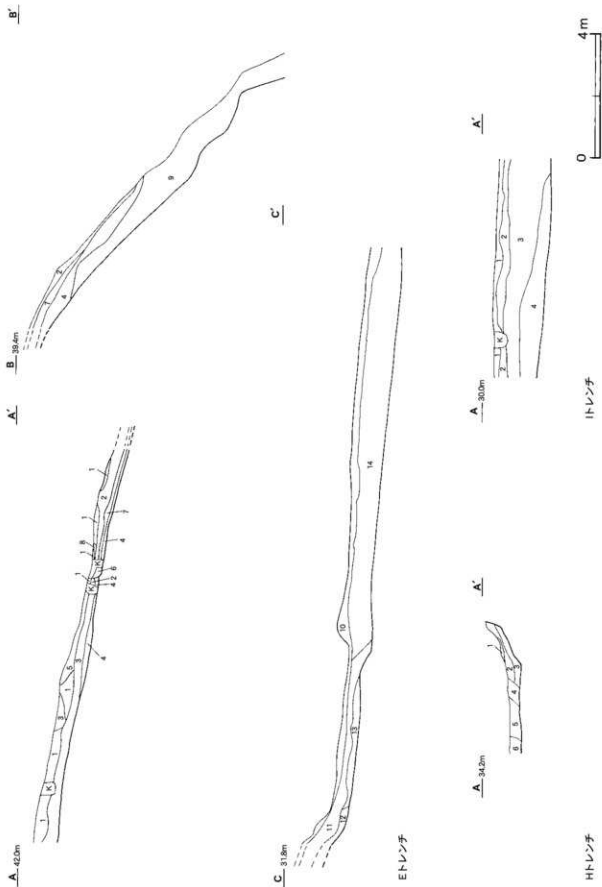
- 1 暗 褐色 粘土粒子中量, 砂粒少量  
 2 暗 褐色 粘土粒子・砂粒少量, ロームブロック微量  
 3 褐 色 粘土粒子・砂粒中量  
 4 黒 褐色 粘土粒子・砂粒中量, 細礫微量



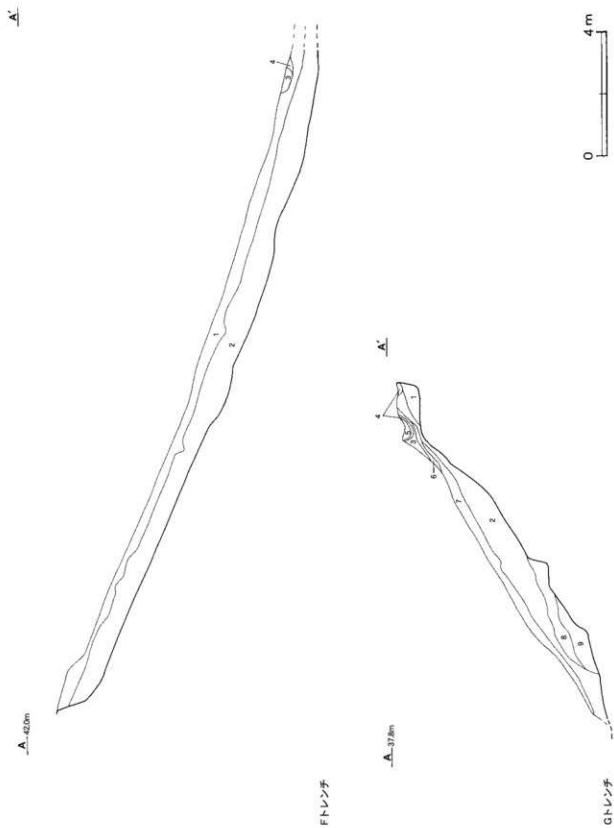
第213図 上加賀田城跡トレンチ土層断面図(1)



第214図 上加賀田城跡トレンチ土層断面図②



第215図 上加賀田城跡トレンチ土層断面図(3)

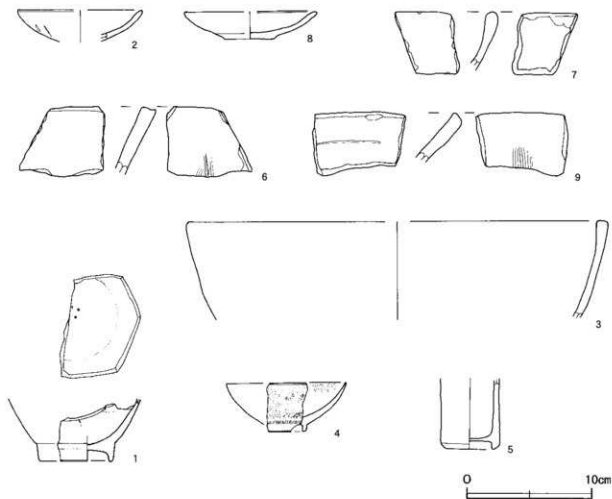


第216図 上加賀田城跡トレンチ土層断面図(4)



## 4 遺構外出土遺物

遺構に伴わない主な遺物について、実測図（第217図）と出土遺物観察表で記載する。



第217図 遺構外出土遺物実測図

遺構外出土遺物観察表（第217図）

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	手法の特徴	出土位置	備考
1	陶器	広東碗	-	(5.0)	5.7	緻密	灰白	普通	染め付け	Aトレンチ	30% PL31
2	土師質土器	小皿	[ 9.8]	(2.5)	-	長石・雲母	に5%焼	普通	ロクロナデ	Bトレンチ	10% PL31
3	土師質土器	鍋	[33.4]	(7.8)	-	長石・石英	に5%焼	普通	口縁部内・外面横ナデ	Bトレンチ	PL31
4	磁器	碗	[ 9.4]	3.9	3.0	緻密	灰白	普通	口縁部内埋込文	Bトレンチ	10% PL31
5	陶器	花器カ	-	(5.6)	3.8	緻密	に5%赤焼	普通	削り出し高台 外面無軸 内面締輪	Eトレンチ	PL31
6	土師質土器	搦鉢	-	(5.6)	-	長石・石英・雲母	灰白	普通	口縁部内・外面横ナデ	表採	PL31
7	土師質土器	鍋	-	(4.6)	-	長石・石英・雲母	に5%焼	普通	口縁部内・外面横ナデ	表採	PL31
8	土師質土器	小皿	[10.4]	2.2	3.9	長石・雲母・赤色胎土	明赤焼	普通	ロクロナデ	文化遺トレンチ	30% PL31
9	土師質土器	搦鉢	-	(4.0)	-	長石・石英・雲母	灰白	普通	口縁部内・外面横ナデ 摺り目8条確認	文化遺トレンチ	10% PL31

## 第4節 ま と め

今回の調査は、調査区が城郭北縁の斜面部のみであったことから、城郭に関わる施設等を確認することはできなかった。確認された遺構は、時期不明の炭焼窯7基と溝1条である。遺物も、表面採集やトレンチから出土した遺物がわずかにあるのみである。よって、上加賀田城跡について、発掘調査の結果から論じることは困難であるが、立地や時期、城主等について若干の考察をし、まとめたい。

### 1 上加賀田城跡の立地と構造

上加賀田城跡は標高56mの独立した小丘陵に立地している(第219図参照)。この小丘陵の平坦な山頂部が主郭跡である。北側と東側は急な斜面になっており、北側は堀部のわずかな平場を挟んで瀬沼川に接し、東側は堀部が瀬沼川に直接接している。南側はやや緩やかな斜面で、主郭から南へ下りながら二の郭、三の郭と続いており(第218図参照)、郭ごとに土塁と堀らしき跡が残っている。小丘陵の南側と西側は、現在は水田が広がっており、その標高は30~34mほどである。主郭跡との比高は約22~26mということになる。

上加賀田城が機能していた当時は、北と東は瀬沼川が堀の役目を、南と西は水田(当時は湿地帯であったと考えられる)が泥田堀の役目を果たし、守りは磐石であったと考えられる。

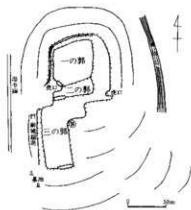
小丘陵の小字名をみると、主郭付近は「御城」、北から北東斜面部付近は「北古屋」、北西斜面部付近は「神宿」、西斜面部付近は「古屋」と呼ばれている(第220図参照)。また、小丘陵から西に150mほど離れた所には「堀ノ内」という小字もみられ、平時の屋敷はそこにあったのではないかと考えられる。

### 2 築城・廃城時期と城主

上加賀田城跡がある上加賀田地区は、旧友部町下加賀田地区とあわせて、中世には「加賀田」と呼ばれ、宍戸氏の支配下にあった。しかし、築城・廃城の時期や城主については、不明な点が多い。笠間市史<sup>1)</sup>には、築城時期は中世、城主は宍戸氏族と記され、友部町史<sup>2)</sup>にも、天文年間(1532~1555年)の宍戸氏の城館配置推定図が掲載されており、加賀田城(上加賀田城)も配置されているが、築城時期や城主の詳細について、それ以上は言及していない。

ここで、宍戸氏についてふれておく。宍戸氏は八田知家の子家政を祖とし、小鶴荘(現在の笠間市旧友部町城、東茨城郡茨城町)を本拠とした豪族の子孫である。同族の小田氏は、常陸国の守護職を世襲し大きな勢力を持っていた。宍戸氏も、一時期守護職に任じられたことがあり、有力な一族であった。

上加賀田城跡は、宍戸氏の出城の一つであることは間違いないと思われる。しかし、宍戸氏の居館がどこにあったかは明確でない。戦国期の宍戸氏の当主は宍戸持久、政家、政里、義利、義長の5代とされ、新編常陸国誌<sup>3)</sup>によれば、「是(持久)ヨリ四世宍戸城主タリ」とあるが、宍戸城は近世宍戸城の前身であったのか、あるいは近世宍戸城の東隣の「古館」の地が当てはまるのかは明らかではない。なお、新編常陸国誌によれば、持久の父持里は宍戸山尾城(現笠間市平町)に住んでいたこと、その祖家時も山尾に居していたことが記されている。

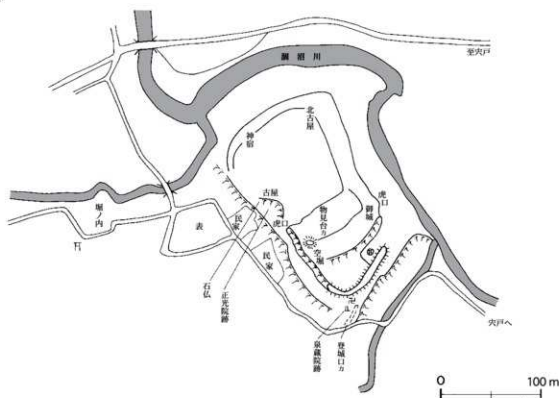


第218図 上加賀田城跡実測図

(註1 文献 図3-29を引用)



第219図 上加賀田城跡周辺地形図



第220図 上賀田城見取図（友部町史編さん室資料より作成）

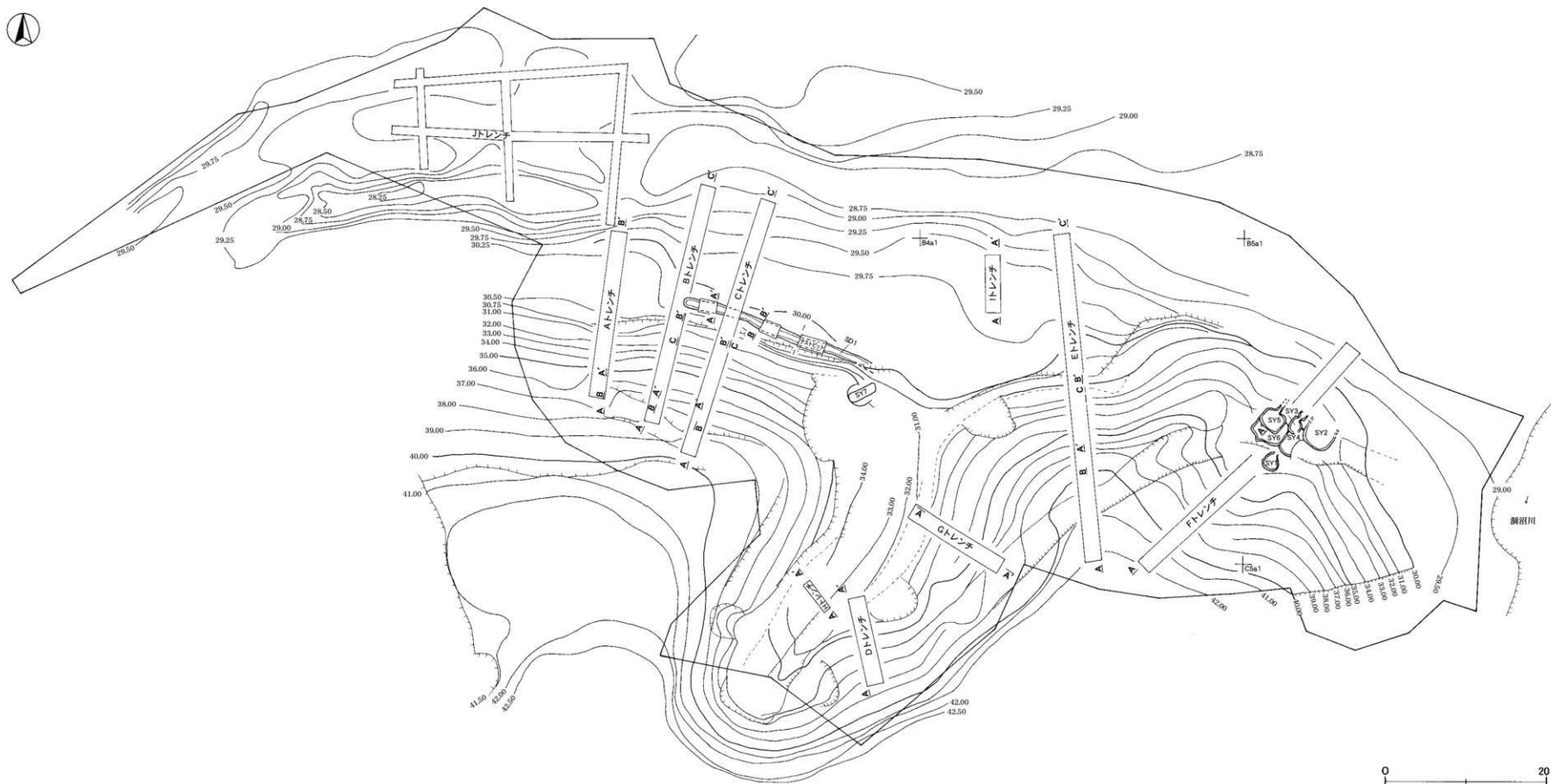
さて、宍戸氏も、戦国期に佐竹氏が勢力を拡大し、常陸統一を成し遂げる中で、最終的には佐竹氏の被官という立場に組み入れられて終焉を迎えることになる。宍戸氏は義利の代に初めて佐竹方として戦に加わっているが、佐竹氏被官としての立場が決定的になったのは、1562年の佐竹氏の宍戸氏攻撃である。既述した5代の関係は、持久の子が政家、政家の子が政里、義利で、義長は政里の養子義綱の子である。そして、政里の跡を継いだその弟の義利と養子の義綱の間で内紛があったとされる。佐竹氏は親佐竹の義利派擁護に動き、義綱派宍戸氏を攻撃したと考えられ、この後、宍戸氏は佐竹方に一本化された。その後、1595年に、豊臣秀吉から知行安堵の朱印状を与えられた佐竹義宣は武将の配置換えを実施した。宍戸義利は、真壁郡海老ヶ島城主として6700石の所領を預けられた。宍戸氏の去った旧領は、佐竹一族や家臣に分知され、加賀田は代官によって管理されることとなった。

註

- 1) 笠間市史編さん委員会「笠間市史」笠間市 1993年12月
- 2) 友部町史編さん委員会「友部町史」友部町 1990年3月
- 3) 中山信名 栗田寛「新編常陸国誌」宮崎報恩会 1981年10月

参考文献

- ・茨城県立歴史館「茨城県史料 中世編Ⅲ」茨城県 1990年3月



第221図 上加賀田城跡遺構全体図

写 真 图 版

向 原 遺 跡

PL 1

第3・4号住居跡  
確認状況



第3号住居跡  
完掘状況



第4号住居跡  
第105号土坑  
完掘状況





第 4 号住居跡  
炉完掘状況



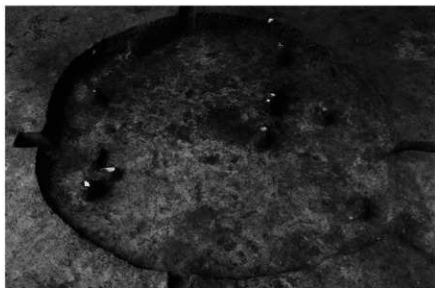
第 4 号住居跡  
遺物出土状況



第 7 号住居跡  
完掘状況



第7号住居跡  
遺物出土状況



第3遺物包含層  
遺物出土状況



第3遺物包含層  
遺物出土状況





第1号陥し穴完掘状況



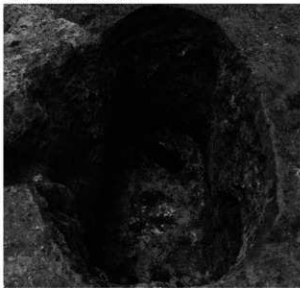
第2号陥し穴完掘状況



第4号陥し穴完掘状況



第5号陥し穴完掘状況



第6号陥し穴完掘状況



第7号陥し穴完掘状況



第8号陥し穴完掘状況



第9号陥し穴完掘状況



第11号陥し穴完掘状況



第13号陥し穴完掘状況



第14号陥し穴完掘状況



第17号陥し穴完掘状況



第18号陥し穴完掘状況



第23号陥し穴完掘状況



第24号陥し穴完掘状況



第25号陥し穴完掘状況



第27・28号陥し穴完掘状況



第29号陥し穴完掘状況

第1号住居跡  
完掘状況



第1号住居跡  
掘り方完掘状況

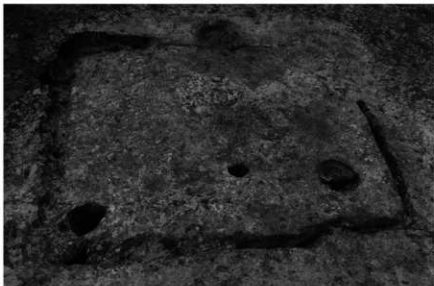


第1号住居跡  
竈完掘状況





第 2 号 住 居 跡  
確 認 状 況



第 2 号 住 居 跡  
完 掘 状 況



第 1 号 墓 坑  
完 掘 状 況

第 1 号 墓 坑  
人 骨 出 土 状 况



第 2 号 墓 坑  
完 掘 状 况



第 3 号 墓 坑  
完 掘 状 况



PL10



第 4 号 墓 坑  
完 掘 状 況



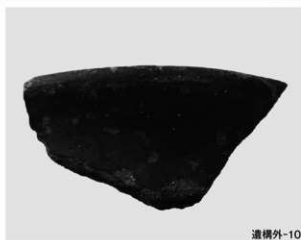
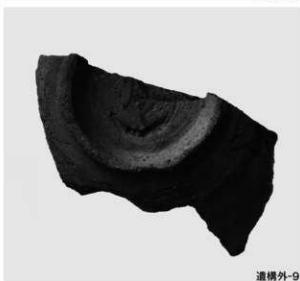
テ ス ト ビ ッ ト 1  
土 層 断 面



テ ス ト ビ ッ ト 2  
土 層 断 面



PL11



土器



SI 7-TP4



SI 4-TP2



SI 7-TP5



第8号隔し穴-TP8



第3遺物包含層-TP21



第2遺物包含層-TP18



第2遺物包含層-TP29



第2遺物包含層-TP17



遺構外-TP27



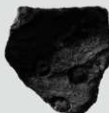
遺構外-TP25



遺構外-TP24



遺構外-TP26



遺構外-TP36



遺構外-TP37



遺構外-TP32



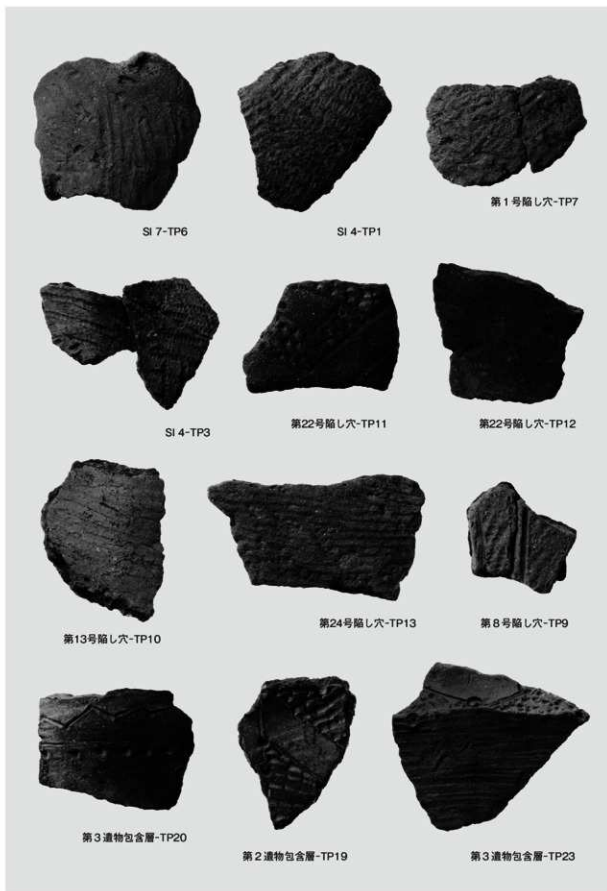
遺構外-TP33



遺構外-TP28



遺構外-TP39





第2遺物包含層-TP16



遺構外-TP40



遺構外-TP35



第3遺物包含層-TP22



遺構外-TP38



第1遺物包含層-TP15



遺構外-TP41



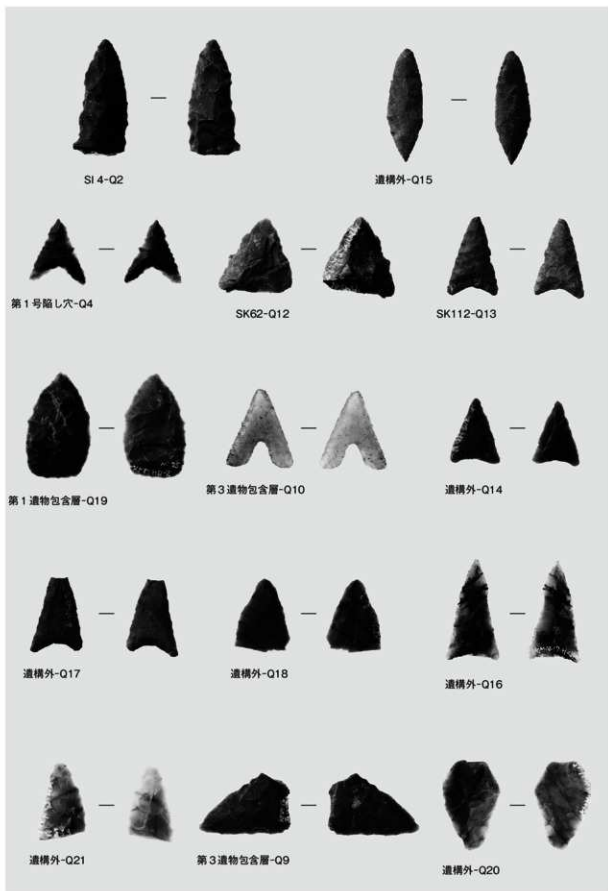
遺構外-TP30



遺構外-TP34



第2遺物包含層-TP31





第2遺物包含層-Q8



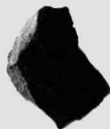
SI 1-Q11



第1遺物包含層-Q5



第1遺物包含層-Q6



第1遺物包含層-Q7

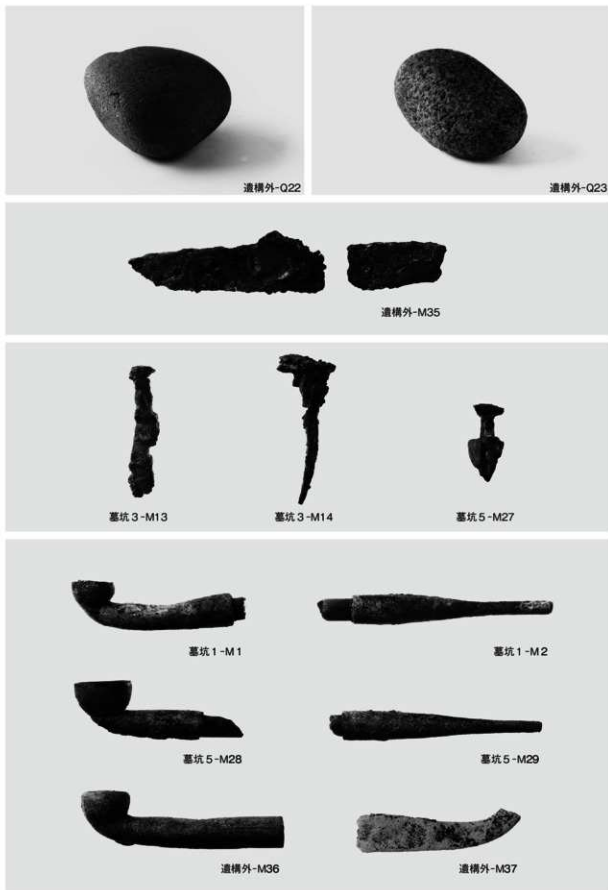


SI 3-Q1



遺構外-Q25

PL17



石器，金屬製品



墓坑1-M3



墓坑1-M4



墓坑1-M5



墓坑1-M6



墓坑1-M7



墓坑1-M8



墓坑2-M9



墓坑2-M10



墓坑2-M11



墓坑2-M12



墓坑3-M15



墓坑3-M16



墓坑3-M17



墓坑3-M18



墓坑3-M19



墓坑3-M20



墓坑4-M21



墓坑4-M22



墓坑4-M23



墓坑4-M24



墓坑4-M25



墓坑4-M26



墓坑5-M30



墓坑5-M31



墓坑5-M32



墓坑5-M33



墓坑5-M34



遺構外-M38



写 真 图 版

小 组 遗 迹

PL19

石器集中地点調査区過景  
(溜沼川側より平成14年度撮影)



第1号石器集中地点  
石器出土状況



第1号石器集中地点  
石器出土状況



PL20



第1号石器集中地点  
土层断面



第1号石器集中地点  
土层断面



第2号石器集中地点  
石器出土状况

PL21

第3号石器集中地点  
石器出土状况

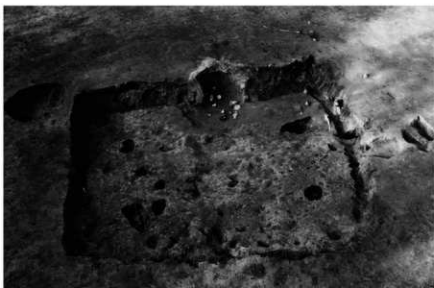


第3号石器集中地点  
石器出土状况



第4号石器集中地点  
石器出土状况





第 2 号 住 居 跡  
完 掘 状 況



第 2 号 住 居 跡  
遺 物 出 土 状 況



第 5 号 住 居 跡  
完 掘 状 況

PL23

第 8 号 住 居 跡  
完 掘 状 况



第 8 号 住 居 跡  
遺 物 出 土 状 况



第 9 号 住 居 跡  
遺 物 出 土 状 况



PL24



第10号住居跡  
完掘状況



第14号住居跡  
遺物出土状況



第14号住居跡  
遺物出土状況

PL25



SI 9-50



SI 21-138



SI 2-5



SI 5-25



SI 16-106



SI 17-116



SI 17-115



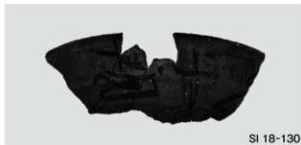
SI 8-41



SI 10-05



SI 12-72



SI 18-130

土器





SI 9-51



SI 10-DP7



SI 2-24



SI 7-37



PL27



石 器



写 真 図 版

上加賀田城跡

PL29



調査区全景（北から）



調査区全景（南から）



第1号炭焼窯跡  
完掘り状況



第1号炭焼窯跡  
掘り方土層断面



第1号溝跡  
完掘り状況

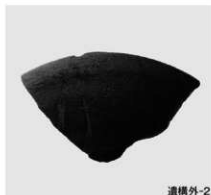
PL31



遺構外-1



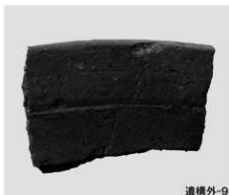
遺構外-8



遺構外-2



遺構外-7



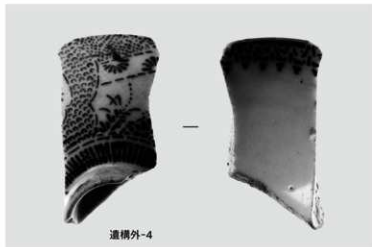
遺構外-9



遺構外-3



遺構外-6



遺構外-4



遺構外-5

土器

茨城県教育財団文化財調査報告第272集

向原遺跡  
小組遺跡  
上加賀田城跡

北関東自動車道（協和～友部）建設  
事業地内埋蔵文化財調査報告書XM

平成19（2007）年3月19日 印刷

平成19（2007）年3月23日 発行

発行 財団法人 茨城県教育財団  
〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2  
茨城県水戸生涯学習センター分館内  
TEL 029-225-6587

印刷 山三印刷株式会社  
〒311-4153 水戸市河和田町4433の33  
TEL 029-252-8481